別記様式第２号（その１の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

基　本　計　画　書

基本計画

事　　項	記入欄	備　　考
計　画　の　区　分	大学の収容定員に係る学則変更	
フ　リ　ガ　ナ 設　　置　　者	ｶﾞｯｺｳﾎｳｼﾞﾝ ｼﾊﾞｳﾗｺｳｷﾞｮｳﾀﾞｲｶﾞｸ 学校法人　芝浦工業大学	
フ　リ　ガ　ナ 大　学　の　名　称	ｼﾊﾞｳﾗｺｳｷﾞｮｳﾀﾞｲｶﾞｸ 芝浦工業大学（Shibaura Institute of Technology）	
大学本部の位置	東京都江東区豊洲三丁目７番５号	
大　学　の　目　的	本学は教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、学術の中心として深く工学の研究を行い世界文化に貢献し、併せて広く一般の学術教養と専門の工業教育を施すことにより、学生の人格を陶冶し、学理を究めさせ体位の向上を図り、もって優秀なる技術者を養成することを目的とする。	
新設学部等の目的	本改組の目的の一つとして、「特定成長分野（デジタル・Well-being・グリーン）への転換等に貢献できる人材育成の促進」を挙げている。 デジタル系では、「情報」や「デジタル化」を中心とした急速な社会構造の変革を背景に情報人材の育成の必要性が高まっている。それに応えるため、現在の電子情報システム学科（定員115名）を「情報課程」とし、「IoTコース」、「ソフトウェアコース」、「メディアコース」、「データサイエンスコース」を設け、情報学の特定領域に精通し、かつ他分野と連携してさまざまな社会課題の解決ができる次世代の情報人材をより多く輩出するため、収容定員を増加する（定員240名）。 Well-being系では、少子高齢化の進行に伴い、医療・福祉への関心が高まる中、人々のWell-beingに貢献できる人材の育成の必要性が高まっている。それに応えるため、現在の生命科学科（定員115名）を「生命科学課程」とし、「生命科学コース」、「医工学コース」、「スポーツ工学コース」を設け、生命科学の特定領域に精通し、かつ他分野と連携して、すべての人々を対象とした健康な生活や福祉の促進に貢献できる人材をより多く輩出するため、収容定員を増加する（定員180名）。 グリーン系では、災害が多発し気候変動の影響も深刻化する中、豊かに安心して暮らし続けることのできる、強靱で魅力ある持続可能な「まちづくり」に貢献できる人材の育成の必要性が高まっている。それに応えるため、現在の環境システム学科（定員90名）を「建築・環境課程」とし、「建築コース」、「環境・都市コース」を設け、建築学と環境工学・都市工学の特定領域に精通し、かつ他分野と連携してさまざまな社会課題の解決と持続可能な社会の形成に貢献できる人材をより多く輩出するため、収容定員を増加する（定員120名）。	

	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	
		年	人	年次人	人			年　月 第　年次		
新設学部等の	システム理工学部									
	生命科学課程	4	180 (0)	－	720 (0)	学士 （生命科学）	工学関係 理学関係 体育関係	令和8年4月 第1年次	埼玉県さいたま市見沼区深作307番地	※令和7年3月設置認可申請
	情報課程	4	240 (0)	－	960 (0)	学士 （工学）	工学関係	令和8年4月 第1年次	同上	※令和7年4月届出予定
	機械・電気課程	4	90 (0)	－	360 (0)	学士 （工学）	工学関係	令和8年4月 第1年次	同上	※令和7年4月届出予定
	建築・環境課程	4	120 (0)	－	480 (0)	学士 （工学）	工学関係	令和8年4月 第1年次	同上	※令和7年4月届出予定
	数理科学課程	4	75 (0)	－	300 (0)	学士 （数理科学）	理学関係	令和8年4月 第1年次	同上	※令和7年4月届出予定
	システム理工学部									
	生命科学科	4	0 (115)	－	0 (460)	学士 （生命科学）	工学関係 理学関係	平成20年4月 第１年次	同上	
	電子情報システム学科	4	0 (115)	－	0 (460)	学士 （工学）	工学関係	平成3年4月 第１年次	同上	
	機械制御システム学科	4	0 (90)	－	0 (360)	学士 （工学）	工学関係	平成3年4月 第１年次	同上	
	環境システム学科	4	0 (90)	－	0 (360)	学士 （工学）	工学関係	平成3年4月 第１年次	同上	
	数理科学科	4	0 (75)	－	0 (300)	学士 （数理科学）	理学関係	平成21年4月 第１年次	同上	

の概要	工学部								〔豊洲キャンパス〕 東京都江東区 豊洲三丁目7番5号	
	機械工学課程	4	228	－	912	学士 （工学）	工学関係	令和6年4月 第1年次	〔大宮キャンパス〕 埼玉県さいたま市 見沼区深作307番地	
	物質化学課程	4	208	－	832	学士 （工学）	工学関係	令和6年4月 第1年次	同上	
	電気電子工学課程	4	208	－	832	学士 （工学）	工学関係	令和6年4月 第1年次	同上	
	情報・通信工学課程	4	218	－	872	学士 （工学）	工学関係	令和6年4月 第1年次	同上	
	土木工学課程	4	104	－	416	学士 （工学）	工学関係	令和6年4月 第1年次	同上	
	先進国際課程	4	9		36	学士 （工学）	工学関係	令和6年4月 第1年次	同上	
	デザイン工学部									
	デザイン工学科	4	160	－	640	学士 （デザイン工学）	工学関係	平成21年4月 第１年次	同上	
	建築学部								〔豊洲キャンパス〕	
	建築学科	4	240	－	960	学士 （建築学）	工学関係	平成29年4月 第１年次	東京都江東区 豊洲三丁目7番5号	
	計		2080 (1860)	－	8320 (7440)					

同一設置者内における変更状況 （定員の移行，名称の変更等）	システム理工学部 生命科学科　（廃止）　（△115） 電子情報システム学科　（廃止）　（△115） 機械制御システム学科　（廃止）　（△90） 環境システム学科　（廃止）　（△90） 数理科学科　（廃止）　（△75） ※令和8年4月学生募集停止	

	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数	
		講義	演習	実験・実習	計		
教育課程	システム理工学部 生命科学課程	262科目	30科目	7科目	299科目	124単位	
	システム理工学部 情報課程	244科目	29科目	10科目	283科目	124単位	
	システム理工学部 機械・電気課程	244科目	20科目	12科目	276科目	124単位	
	システム理工学部 建築・環境課程	246科目	24科目	8科目	278科目	124単位	
	システム理工学部 数理科学課程	270科目	16科目	4科目	290科目	124単位	

	学部等の名称	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
		教授	准教授	講師	助教	計			
新	システム理工学部　生命科学課程	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　38人
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	12 (12)	8 (7)	0 (0)	0 (0)	19 (18)			令和7年3月認可申請
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	12 (12)	8 (7)	0 (0)	0 (0)	19 (18)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	12 (12)	8 (7)	0 (0)	0 (0)	19 (18)			
	システム理工学部　情報課程	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	令和7年4月届出済み（予定）
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	13 (13)	5 (5)	0 (0)	1 (1)	19 (19)			
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	13 (13)	5 (5)	0 (0)	1 (1)	19 (19)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	13 (13)	5 (5)	0 (0)	1 (1)	19 (19)			
	システム理工学部　機械・電気課程	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	令和7年4月届出済み（予定）
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	10 (10)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	12 (12)			
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	10 (10)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	12 (12)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	10 (10)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	12 (12)			

システム理工学部　建築・環境課程	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	令和7年4月届出済み（予定）
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	10 (10)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	11 (11)			
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	10 (10)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	11 (11)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	10 (10)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	11 (11)			
システム理工学部　数理科学課程	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	令和7年4月届出済み（予定）
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	8 (8)	4 (4)	0 (0)	1 (1)	13 (13)			
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	8 (8)	4 (4)	0 (0)	1 (1)	13 (13)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	8 (8)	4 (4)	0 (0)	1 (1)	13 (13)			
工学部　機械工学課程	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	24 (24)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	31 (31)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　40人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	24 (24)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	31 (31)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	24 (24)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	31 (31)			
工学部　物質化学課程	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	26 (28)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	32 (32)			
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	26 (28)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	32 (32)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	26 (28)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	32 (32)			
工学部　電気電子工学課程	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	22 (22)	8 (8)	0 (0)	1 (1)	31 (31)			
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	22 (22)	8 (8)	0 (0)	1 (1)	31 (31)			

設

	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計（ａ～ｄ）	22 (22)	8 (8)	0 (0)	1 (1)	31 (31)		
工学部　情報・通信工学課程		人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —
	ａ．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	26 (26)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	31 (31)		
	ｂ．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計（ａ～ｂ）	26 (26)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	31 (31)		
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計（ａ～ｄ）	26 (26)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	31 (31)		
工学部　土木工学課程		人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —
	ａ．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	15 (15)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	17 (17)		
	ｂ．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計（ａ～ｂ）	15 (15)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	17 (17)		
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計（ａ～ｄ）	15 (15)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	17 (17)		
工学部　先進国際課程		人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —
	ａ．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	7 (7)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	14 (14)		
	ｂ．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計（ａ～ｂ）	7 (7)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	14 (14)		
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計（ａ～ｄ）	7 (7)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	14 (14)		
デザイン工学部　デザイン工学科		17 (17)	4 (4)	0 (0)	2 (2)	23 (23)	0 (0)	62 (62)
	ａ．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	17 (17)	4 (4)	0 (0)	2 (2)	23 (23)		大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　12人
	ｂ．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計（ａ～ｂ）	17 (17)	4 (4)	0 (0)	2 (2)	23 (23)		
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計（ａ～ｄ）	17 (17)	4 (4)	0 (0)	2 (2)	23 (23)		

分	建築学部　建築学科	28 (28)	4 (4)	0 (0)	1 (1)	33 (33)	0 (0)	116 (116)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	28 (28)	4 (4)	0 (0)	1 (1)	33 (33)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　15人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	28 (28)	4 (4)	0 (0)	1 (1)	33 (33)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	28 (28)	4 (4)	0 (0)	1 (1)	33 (33)			
	計	217 (217)	62 (61)	0 (0)	7 (7)	286 (286)	0 (0)	－ (－)	
既設分	該当なし	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)			
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)			
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)			
	小計（ａ～ｂ）	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)			
	計（ａ～ｄ）	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)			
	計	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)			
合　計		217 (217)	62 (61)	0 (0)	7 (7)	286 (286)	0 (0)	－ (－)	

職　種	専　属	その他	計	
事務職員	184 人 (184)	159 人 (159)	343 人 (343)	
技術職員	13 (13)	7 (7)	20 (20)	
図書館職員	2 (2)	23 (23)	25 (25)	
その他の職員	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
指導補助者	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
計	199 (199)	189 (189)	388 (388)	

校地等	区　分	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	183,008㎡	0㎡	0㎡	183,008㎡	大学全体
	その他	18,995㎡	0㎡	0㎡	18,995㎡	
	合計	202,003㎡	0㎡	0㎡	202,003㎡	

校　舎	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	
	148,506㎡ (　148,506㎡)	0㎡ (　0㎡)	0㎡ (　0㎡)	148,506㎡ (　148,506㎡)	大学全体

教室・教員研究室	教室	533室	教員研究室	286室	大学全体

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点	
	大学全体	230,457〔22,846〕 (222,457〔22,846〕)	25,421〔23,041〕 (25,421〔23,041〕)	261〔23〕 261〔23〕	5,448〔5,266〕 (5,448〔5,266〕)	0 0	0 0	大学全体の数
	計	230,457〔22,846〕 (222,457〔22,846〕)	25,421〔23,041〕 (25,421〔23,041〕)	261〔23〕 261〔23〕	5,448〔5,266〕 (5,448〔5,266〕)	0 0	0 0	

（参考）学校法人芝浦工業大学　設置認可等に関わる組織の移行表

2025（令和7）年度	入学定員	編入学定員	収容定員	2026（令和8）年度	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由	
芝浦工業大学				**芝浦工業大学**					
システム理工学部				**システム理工学部**					
生命科学科	115	—	460		0	—	0	令和8年4月学生募集停止	
電子情報システム学科	115	—	460		0	—	0	令和8年4月学生募集停止	
機械制御システム学科	90	—	360		0	—	0	令和8年4月学生募集停止	
環境システム学科	90	—	360		0	—	0	令和8年4月学生募集停止	
数理科学科	75	—	300		0	—	0	令和8年4月学生募集停止	
				生命科学課程	180	—	720	課程の設置（認可）	〔定員増〕
				情報課程	240	—	960	課程の設置（届出）	〔定員増〕
				機械・電気課程	90	—	360	課程の設置（届出）	〔定員増〕
				建築・環境課程	120	—	480	課程の設置（届出）	〔定員増〕
				数理科学課程	75	—	300	課程の設置（届出）	〔定員増〕
工学部				**工学部**					
機械工学課程	228	—	912	機械工学課程	228	—	912		
物質化学課程	208	—	832	物質化学課程	208	—	832		
電気電子工学課程	208	—	832	電気電子工学課程	208	—	832		
情報・通信工学課程	218	—	872	情報・通信工学課程	218	—	872		
土木工学課程	104	—	416	土木工学課程	104	—	416		
先進国際課程	9	—	36	先進国際課程	9	—	36		
デザイン工学部				**デザイン工学部**					
デザイン工学科	160	—	640	デザイン工学科	160	—	640		
建築学部				**建築学部**					
建築学科	240	—	960	建築学科	240	—	960		
計	1,860	—	7,440	計	2,080	—	8,320		
芝浦工業大学大学院				**芝浦工業大学大学院**					
理工学研究科				**理工学研究科**					
【修士課程】				【修士課程】					
電気電子情報工学専攻	200	—	400	電気電子情報工学専攻	200	—	400		
材料工学専攻	50	—	100	材料工学専攻	50	—	100		
応用化学専攻	40	—	80	応用化学専攻	40	—	80		
機械工学専攻	140	—	280	機械工学専攻	140	—	280		
システム理工学専攻	150	—	300	システム理工学専攻	150	—	300		
国際理工学専攻	10	—	20	国際理工学専攻	10	—	20		
社会基盤学専攻	40	—	80	社会基盤学専攻	40	—	80		
建築学専攻	170	—	340	建築学専攻	170	—	340		
【博士（後期）課程】				【博士（後期）課程】					
地域環境システム専攻	15	—	45	地域環境システム専攻	15	—	45		
機能制御システム専攻	18	—	54	機能制御システム専攻	18	—	54		
	833	—	1699		833	—	1699		

校地校舎等の図面

（１）都道府県内における位置関係の図面



（２）最寄り駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面



大宮キャンパス

■ JR宇都宮線「東大宮」駅東口からスクールバス5分、または徒歩20分

■東武鉄道　東武アーバンパークライン「岩槻駅」よりスクールバス20分

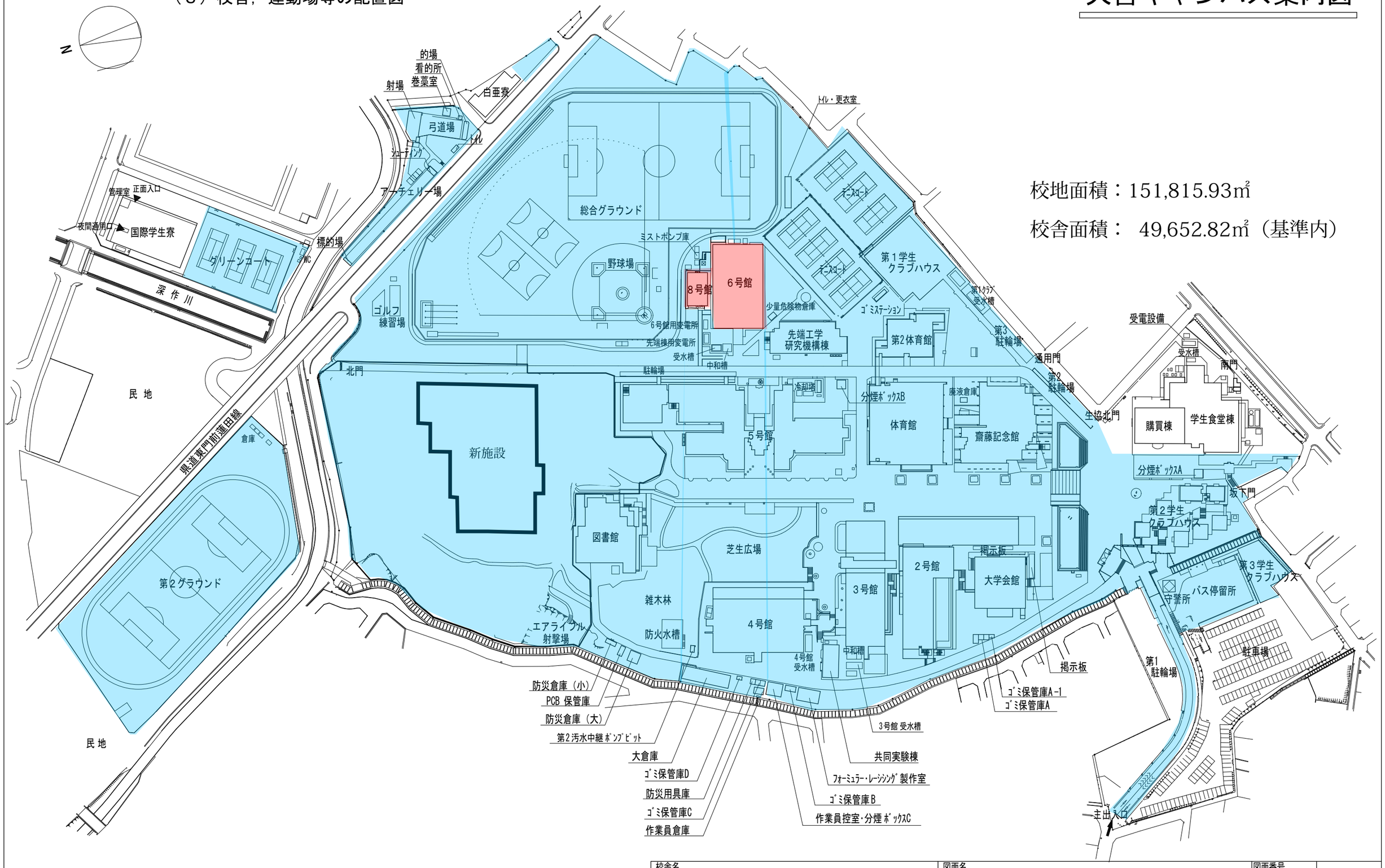
〒337-8570　埼玉県さいたま市見沼区深作307

（３）校舎，運動場等の配置図

大宮キャンパス案内図

校地面積：151,815.93㎡

校舎面積： 49,652.82㎡（基準内）



校舎名	図面名	図面番号	2024年4月
芝浦工業大学　大宮キャンパス	施設案内図 配　置　図	0	
		縮尺	1／2000

○芝浦工業大学学則

昭和24年３月25日
制定

第1章　総則

(目的)

第1条　本学は教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、学術の中心として深く工学の研究を行い世界文化に貢献し、併せて広く一般の学術教養と専門の工業教育を施すことにより、学生の人格を陶冶し、学理を究めさせ体位の向上を図り、もって優秀なる技術者を養成することを目的とする。

(自己点検・評価等)

第1条の2　本学は、教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。点検及び評価に関する必要事項は別に定める。

(認証評価)

第1条の3　本学は、第１条の２の措置に加え、学校教育法に則り、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受審し、その結果を公表するものとする。

(学校教育基本法施行規則第165条の２第１項に定める方針)

第1条の4　本学は、第１条の目的を踏まえた方針について、別表２―１のとおり定める。

(設置等)

第2条　本学は芝浦工業大学と称する。

第3条　本学は東京都江東区豊洲３丁目７番５号に置く。

(学部、課程、学科)

第4条　本学に次の学部・課程・学科を置く。

【工学部】

機械工学課程

物質化学課程

電気電子工学課程

情報・通信工学課程

土木工学課程

先進国際課程

【システム理工学部】

情報課程

機械・電気課程

建築・環境課程

生命科学科

数理科学課程

【デザイン工学部】

デザイン工学科

【建築学部】

建築学科

2　この学則に定めるもののほか、各学部に関する規則は別に定める。

(大学院)

第5条　本学に大学院を置く。

2　大学院に関する学則は、別に定める。

(学術情報センター)

第6条　本学に学術情報センターを置く。

2　学術情報センターに関する規程は別に定める。

(研究所等)

第7条　本学にSIT総合研究所を置く。

2　SIT総合研究所に関する規程は別に定める。

(教育イノベーション推進センター)

第8条　本学に教育イノベーション推進センターを置く。

2　教育イノベーション推進センターに関する規程は別に定める。

(収容定員)

第9条　本学の収容定員は別表１のとおりとする。

(学部等における教育研究上の目的及び方針)

第10条　学部、課程、学科における人材養成に関する目的、その他の教育研究上の目的及び方針は、別表２―２のとおりとする。

第2章　学部

第1節　教育課程及び授業科目

(教育課程の編成)

第11条　本学は学部等における教育研究上の目的を達成するために学位プログラムごとに教育課程を編成し、必要な授業科目を開設する。

第11条の2　(削除)

(主要授業科目)

第11条の3　第１条の４の方針を達成すべき能力を育成するために必要な科目群を主要授業科目とする。（主要授業科目は別表３、別表４、別表５、別表６のとおりとする。）

2　主要授業科目は、原則として基幹教員（教育課程の編成その他の学部の運営について責任を担う教員であって、当該学部の教育課程に係る主要授業科目を担当する者（専任教員に限る）、又は1年につき8単位以上の当該学部の教育課程に係る授業科目を担当する者）が担当する。

3　主要授業科目に関する必要な事項は、別に定める。

(指導補助者)

第11条の4　本学は、各授業科目について、当該授業科目を担当する教員以外の教員、学生その他の本学が定める者　（「授業補助者」という）を補助にあたらせることができる

(教育内容等改善のための組織的研修等)

第15条　本学は各学部の授業の内容及び方法の改善等を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

第2節　履修及び授業科目修了認定

(単位)

第16条　本学所定の授業科目に対する課程を修了し、正規の試験等に合格した学生には、その授業科目所定の単位を与える。

2　各授業科目の１単位は45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して、次の基準によって単位数を計算する。

(1)　講義及び演習については、15時間から30時間までの授業をもって１単位とする。

(2)　実験、実習及び実技等については、30時間から45時間の授業をもって１単位とする。

(3)　前項の各規定に関わらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

(4)　学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、学生が１年間または１学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を別に定める。

(5)　所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、別に定めるところにより上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。

(各授業科目の授業期間)

第16条の2　各授業科目の授業は、14週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場

合は、この限りでない。

(授業の方法)

第16条の3　授業は講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2　本学学生は前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修することができる。

3　本学学生は本条第１項の授業を外国において履修することができる。また、前項の規定により多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修する場合についても同様とする。

(学外単位等認定及び入学前の既修得単位等認定)

第17条　本学学生が本学在籍中に外国を含む他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位は、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2　本学学生が本学入学前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を認めることができる。

3　前項により修得したものとみなし、又は認めることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、第１項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

4　本学に学士入学又は編入学を許可された者は、別に定めるところにより既修得単位の認定をうけることができる。

5　本学に再入学した者は、別に定めるところにより既修得単位の認定をうけることができる。

6　本条第１項から前項で認定された単位は、本学で開講されている授業科目に振替えることができる。

(教育職員の免許状)

第18条　教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を取得しなければならない。

2　本学の課程・学科において当該所要資格を取得できる教員免許状の種類・専門科目及び単位数は別表３、別表４、別表５に掲げるとおりとする。

(授業科目の修了認定)

第19条　授業科目履修修了の認定は試験等による。

(成績評価)

第20条　成績評価はS・A・B・C・D・Fとし、C以上を合格とする。

第3節　卒業及び学位の授与

(卒業認定)

第21条　第14条に定める修業年限以上在学し、別表７に定める所定の単位を取得した者

につき、教授会の議を経て学長が認定する。

2　卒業の要件として修得すべき単位のうち、第16条の３第２項の授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。

(学位)

第22条　本学を卒業した者には別表９に定める学位を授与する。

第4節　入学、退学、休学及び転学

(入学時期)

第23条　入学の時期は、４月又は10月とする。

(入学資格)

第24条　本学に入学することのできる者は、次の各号の一つに該当する者でなければならない。

(1)　高等学校、若しくは中等教育学校を卒業した者

(2)　通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程により、これに相当する学校を修了したと文部科学大臣が認めた者を含む。)

(3)　文部科学大臣が指定した者

(4)　高等学校卒業程度認定試験規則により高等学校卒業程度認定試験に合格した者(大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)

(5)　外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者

(6)　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(7)　本学が、相当の年齢に達し高等学校、若しくは中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(入学許可)

第25条　前条の者のうち本学が行う選考に合格した者につき、教授会の議を経て学長が入学を許可する。

(学士入学)

第26条　大学を卒業した者及びこれと同等以上の資格を有する者で、本学に入学すること(学士入学と称する。)を希望する者があるときは、別に定めるところにより教授会の議を経て入学を許可することができる。

(編入学)

第27条　本学の各学部に編入学を志願する者があるときは、志願先課程、学科及び在学生の学修に支障のない限り、別に定めるところにより選考の上、当該学部教授会の議を経て、入学を許可することができる。

(外国人特別入学・帰国子女特別入学)

第28条　本学の各学部に入学を志願する外国人志願者及び帰国子女志願者があるとき

は、志願先課程、学科及び在学生の学修に支障のない限り、別に定めるところにより選考の上、当該学部教授会の議を経て、入学を許可することができる。

(出願書類等)

第29条　本学に入学を志願する者は、所定の入学願書、出身学校長の提出する調査書又はこれに代わるものと認められる証明書及び写真に入学検定料を添えて提出しなければならない。

(入学手続)

第30条　入学を許可された者は、本学所定の誓約書に保証人と連署の上、住民票その他所定の書類に学費を添えて指定日までに提出しなければならない。

(保証人)

第31条　保証人は父母又は独立生計を営む成年者で、確実に保証人としての責を果たし得る者でなければならない。保証人として不適当と認めたときは変更を命ずることがある。なお、その身分及び住所に変更があったときは速やかに届け出なければならない。

(休学)

第32条　病気又はその他の理由によって出席できない者は、その理由(兵役の場合は、徴兵に関する証明書等)を記して保証人連署の休学願を提出し、学長の許可を経て休学することができる。ただし、入学初年度の１年前期は、休学することはできない。

2　休学の願い出に際しては、休学開始日の前日の属する期までの学費等を納入していなければならない。

3　休学は１ヵ年以内とする。ただし、特別の理由のある者は休学延期の願い出により引き続き休学することができる。

4　休学期間は、連続して２年を超えることはできない。また、通算して４年を越えることはできない。

5　休学期間は在学年数に算入しないが、在籍年数には算入する。

6　休学者は休学した学期の単位を取得することはできない。

(休学期間中の学費)

第33条　休学期間中の学費は、許可された期の翌期から、休学する期に限り、授業料および維持料を免除し、休学在籍料を徴収する。ただし、兵役による休学の場合は、兵役期間に限り授業料および維持料に加え、休学在籍料を免除する。

(復学)

第34条　休学者が復学しようとするときはその理由を記し、保証人連署の復学願を提出し、学長の許可を経て復学することができる。

(退学)

第35条　退学しようとする者は、保証人連署の上、その理由を記して願い出て学長の許可を受けなければならない。

2　退学の願い出に際しては、退学の日の属する期までの学費等を納入していなければな

らない。

(再入学)

第36条　正当な理由により退学した者、又は第71条第１項第２号若しくは第４号により除籍された者が再入学を願い出た時は、第14条ただし書に定める在籍年数(通算年数とする。)内に卒業見込みのある者に限り、選考の上、教授会の議を経て入学許可することがある。

(転学)

第37条　本学の学生が他に転学を志望するときは、その理由を記して願い出て学長の許可を受けなければならない。

第5節　学費等

(学費等)

第38条　学費は別表８に定めるところによる。

2　学費とは入学金、維持料、授業料をいう。

3　入学検定料は、諸納入金に関する内規に定めるところによる。

(学費の納付)

第39条　学費その他の納入金は指定の期日までに納入しなければならない。

(転部・転課程・転科生等の学費)

第40条　転部、転課程・コース、転科、又は再入学の許可を受けた者は、新たに所属する学年の学費を納入するものとする。

(学費の取扱)

第41条　既に納入した学費は、事情のいかんにかかわらず一切返還しない。

第6節　職員組織

(職員)

第42条　本学に次の職員を置く。

学長、副学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、その他必要な職員

第7節　学長、学部長、教授会及び学部長・研究科長会議

(学長・副学長)

第43条　学長は校務をつかさどり、所属職員を統督するとともに本学を代表する。

2　学長は、校務における決定権を有し、最終的な責任を負う。

第43条の2　副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

(学部長)

第44条　学部長は当該学部の校務をつかさどり、当該学部を代表する。

(教授会)

第45条　各学部に教授会を置く。

2　教授会に関する事項は本学則によるほか、各学部教授会規則の定めるところによる。

第46条　学部長は教授会を招集する。

第47条　教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり、意見を述べるものとする。

(1)　学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項

(2)　学位の授与に関する事項

(3)　教育及び研究組織に関する事項

(4)　課程、学科、学科目及び授業に関する事項

(5)　教員の研究育成及び留学に関する事項

(6)　教育研究予算の配分の方針に関する事項

(7)　教員の任用に関する事項

(8)　学生の指導育成に関する事項

(9)　学生の賞罰に関する事項

(10)　教員の資格審査に関する事項

(11)　学則に関する事項

(12)　その他学長から意見を求められた事項

第48条　教授会は、前条各号に定める事項のほか、学長及び学部長その他の教授会等が置かれる組織の長(以下「学長等」という)がつかさどる次の事項について審議し、及び学長等の求めに応じて意見を述べることができる。

(1)　教授会の運営に関する事項

(2)　図書、設備及び施設に関する事項

(3)　学生の試験、進級、転科、転課程・コース、転部に関する事項

(4)　授業日数及び休業に関する事項

(5)　学生団体及び学生活動、並びに学生生活に関する事項

(6)　学部規則に関する事項

(7)　その他学長等から意見を求められた事項

2　第１項にいう審議とは、議論・検討することを意味し、決定権を含意するものではない。

第49条　学長が必要と認める時は、他の学部の教授会と共同して合同の委員会を設けることができる。

(学部長・研究科長会議)

第50条　本学に学部長・研究科長会議を置き、学長が求める教学に関する重要な事項を審議する。

2　学部長・研究科長会議について必要な事項は別に定める。

第51条　(削除)

第8節　科目等履修生、研究生、特別聴講生、外国人学生及び特別留学生

(科目等履修生)

第52条　本学学生以外の者が、本学所定の授業科目を一又は複数選択して履修する者を

科目等履修生とする。
2　科目等履修生に出願できる者は、高校卒業又はこれと同等以上の学力を有する者とする。
3　科目等履修生は、本学学生の授業に支障のない限り教授会の議を経て、学長が入学を許可する。
4　科目等履修生の学費等は、別表８のとおりとする。
5　科目等履修生について必要な事項は、別に定める。
(研究生)
第53条　一定の研究課題について研究する者を研究生とする。
2　研究生の入学資格は、大学卒業又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。
3　選考は、研究内容の該当する課程・学科等が志願者の学力および希望と芝浦工業大学の受け入れ能力を検討し、教授会の議を経るものとする。
4　研究生は、本学学生の授業、研究に支障のない限り教授会の議を経て、学長が入学を許可する。
5　研究生の研究期間は６ヶ月以上２年以内とする。
6　研究生は、研究終了後、研究成果を指導教員を経て学長に報告しなければならない。
7　研究生はその研究成果についての研究証明書の交付を受けることができる。
8　研究生の学費等は、別表８のとおりとする。
(特別聴講生)
第54条　国内の他の大学と本大学との間で締結した協定に基づき、当該大学に在学する学生のうち、本大学における授業科目の履修を許可された者を特別聴講生とする。
2　特別聴講生について必要な事項は、別に定める。
(外国人学生)
第55条　日本国籍を有さず外国において通常の課程による12年の学校教育を修了した者は又はこれに準ずる者で、本学での学位取得を目的として入学を志願する者を外国人学生とする。
第55条の2　外国人学生は、特別に選考の上、教授会の議を経て学長が入学を許可する。
2　外国人学生について必要な事項は、別に定める。
(特別留学生)
第56条　日本国籍を有さず、外国において通常の課程による12年の学校教育を修了した者は又はこれに準ずる者で、本学での学位取得を目的とせず、１年以内の留学を希望する者を特別留学生とする。
第56条の2　特別留学生とは次の各号の一つに該当するものでなければならない。
(1)　本学との海外学術協定校に在籍する者
(2)　学位授与権をもつ外国の大学に在籍する者

(3)　その他、学部長・研究科長会議で認めた者

2　特別留学生は、学部長・研究科長会議の議を経て、学長が入学を許可する。

3　特別留学生について必要な事項は、別に定める。

第57条　科目等履修生、研究生、特別聴講生、外国人学生及び特別留学生については、本章に規定するもののほか本学則の各章の規定を準用する。

第9節　公開講座

(公開講座)

第58条　本学は、技術者の再教育及び一般公衆の文化向上を期して講座を公開することがある。

第59条　(削除)

第60条　公開講座の聴講料は、必要に応じ適当と認める額を納入させることがある。

第10節　学年・学期及び休業日

(学年)

第61条　本学の学年は４月１日に始まり、翌年３月31日に終わる。

(学期)

第62条　学年を分けて、次の２学期とする。

(1)　前期　４月１日より９月30日まで

(2)　後期　10月１日より３月31日まで

2　各学期における授業開始日及び授業終了日等は、年度毎に定める学年暦による。

(休業日)

第63条　本学の休業日は次のとおりとする。

(1)　日曜日

(2)　国民の祝日に関する法律に規定する休日

(3)　創立記念日(11月４日)

(4)　春季休業

(5)　夏季休業

(6)　冬季休業

2　学長は教授会の議を経て休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることができる。

3　第１項の休業日のうち春季、夏季及び冬季の休業日期間は別に定める。

第11節　寮及び厚生保健

(学生寮)

第64条　必要に応じ学生寮を置き、本学が管理する。学生寮に関する規則は別に定める。

(厚生寮等)

第65条　本学に教職員学生のための寮、セミナーハウス等を置く。寮、セミナーハウス等に関する規則は別に定める。

(学校医・健康診断)

第66条　本学は、学生の保健衛生に留意し体位向上を期するため、学校医を委嘱する。また、毎年度定期に健康診断を行う。

第12節　賞罰

(授業料免除)

第67条　品行方正、学力優秀、精勤で学生の範と認められた者には特待生として賞状を授け、授業料を免除することがある。ただし、特待生としての資格に欠けた場合は、その待遇は解かれるものとする。

(学長賞)

第68条　在学期間中、品行方正、学力優秀で学生の範と認められた者には卒業に際し、学長賞が授けられることがある。

(懲戒)

第69条　学生にして本学則にそむき、又は学生の本分に反する行為があった場合は、教育目的のために懲戒する。懲戒処分はその事情によって譴責、停学及び退学とする。

(退学)

第70条　次の各号の一つに該当する者は、教授会の議を経て学長が退学を命ずる。

(1)　入学誓約書に違反した者

(2)　性行不良で学生の品位を乱し、改善の見込みがないと認められた者

(3)　学力劣等で成業の見込みがないと認められた者

(4)　正当な理由がなく常に出席しない者

(5)　学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第13節　除籍

(除籍)

第71条　学長は、次の各号の一つに該当する者について除籍する。

(1)　行方不明の届け出のあった者

(2)　学費の納入を怠り、督促を受けても納入しない者

(3)　第14条ただし書きに定める在籍年数を超えた者

(4)　休学期間満了となっても復学等の手続きをしない者

第3章　雑則

(雑則)

第72条　この学則の改廃は、教授会で審議し、学部長・研究科長会議の議を経て学長が行う。

附　則

昭和24年３月25日(機械工学科・土木工学科設置)

昭和25年３月１日(電気工学科増設)

昭和27年３月１日(教職課程設置)

昭和29年２月15日(建築学科・工業化学科増設)
昭和29年４月１日(教育職員免許状授与認定)
昭和29年４月１日(同上。聴講生制度認定)
昭和30年１月20日(機械工学科・電気工学科定員増)
昭和31年３月１日(二部機械工学科・電気工学科増設)
昭和34年３月１日(金属工学科・電子工学科増設)
昭和40年12月27日(機械工学第二学科・通信工学科・建築工学科・工業経営学科増設)
(機械工学科・電気工学科定員変更)
昭和43年６月21日(教授会構成員・卒業単位数変更)
昭和44年５月16日(教授会構成員変更)
昭和47年11月17日(講座制・教授会その他変更)
昭和49年４月１日(全学科定員変更及び教育職員免許状取得に関する授業科目変更)
本改正学則は昭和49年４月１日より実施する。ただし、入学検定料は昭和49年１月21日より実施し、学費は昭和49年度入学生に適用する。
昭和50年４月１日(大学院及び研究生の制度並びに抹籍処理の付加、別表１の授業科目、単位数の一部変更、一部学費の改訂及び休学中の授業料免除額の規定)
本改正学則は、昭和50年４月１日より実施する。ただし、学費及び休学中の授業料の免除額については、昭和50年度以降の入学生に適用する。
昭和51年４月１日(教育職員免許状授与に関する記載事項の修正並びに入学検定料の変更)
本改正学則は、昭和51年４月１日より実施する。ただし、入学検定料は昭和51年１月10日より実施する。
昭和52年４月１日(授業料目・単位数の一部変更並びに入学検定料の変更)
本改正学則は、昭和52年４月１日より実施する。ただし、入学検定料は昭和52年１月10日より実施する。
昭和53年４月１日(授業料目・単位数の一部の変更並びに学費の変更)
本改正学則は、昭和53年４月１日より実施する。ただし、学費は昭和53年度以降の入学生に適用する。
昭和54年４月１日(編入学・休学・復学等の条文並びに授業料目・単位数の一部変更)
昭和55年４月１日(授業料目・単位数の一部変更並びに入学検定料の変更)
本改正学則は、昭和55年４月１日より実施する。ただし、入学検定料は昭和55年１月10日より実施する。
昭和56年４月１日(授業料目・単位数の一部変更並びに学費の変更)
本改正学則は、昭和56年４月１日より実施する。ただし、学費は昭和56年度以降の入学生に適用する。
昭和57年４月１日(授業料目・単位数の一部変更、学費納入に関する条文の修正並びに入学検定料の変更)

本改正学則は昭和57年４月１日より実施する。ただし、入学検定料は昭和57年１月10日より実施する。

昭和58年４月１日(授業科目・単位数の一部変更、教育職員免許状の資格取得に関する記載事項の修正)

昭和59年４月１日(授業料目・単位数の一部変更並びに入学検定料、学費の変更)

本改正学則は、昭和59年４月１日より実施する。ただし、入学検定料は昭和59年１月10日より実施し、学費は昭和59年度入学生に適用する。

昭和60年４月１日(授業料目・単位数の一部変更並びに学費の変更)

本改正学則は、昭和60年４月１日より実施する。ただし、学費は昭和60年度以降の入学生に適用する。

昭和60年12月25日(全学科定員変更)

本改正学則は、昭和61年４月１日より実施する。

昭和61年４月１日(定員の変更、授業料目・単位数の一部変更、一部廃寮に伴う条文修正及び入学検定料の変更)

本改正学則は、昭和61年４月１日より実施する。ただし、入学検定料は、昭和61年１月10日より実施する。

昭和62年４月１日(授業科目・単位数の一部変更)

本改正学則は、昭和62年４月１日より実施する。

昭和63年４月１日(授業料目・単位数の一部変更。)

本改正学則は、昭和63年４月１日より実施する。

平成元年４月１日(他大学等における既修得単位の認定に関する条項の追加、入学手続き時の提出書類に関する条文修正、抹籍及び再入学に関する条文の修正、授業料目の一部変更、学費・入学検定料等の変更)

本改正学則は、平成元年４月１日より実施する。

ただし、入学検定料は、平成元年１月10日より実施する。

平成２年４月１日(条文(第９条第２項、第21条)、授業科目・単位数の一部、教職課程に関する授業科目等及び学費の変更)

本改正学則は、平成２年４月１日より実施する。

ただし、学費は平成２年度入学生に適用する。

平成３年４月１日(新学部設置による変更)

学則条文の整理、別表(入学定員、授業科目等、卒業要件、学費等)の変更。

この学則(改正)は、平成３年４月１日から施行する。ただし、学費および入学検定料は平成３年度入学生より適用する。

平成３年10月１日(学費の一部変更)

本改正学則は平成３年10月１日より実施する。

平成４年４月１日(大学設置基準の改正に伴う学則条文の一部改正、別表の収容定員、授業

科目・単位数、卒業要件及び学費等の一部変更)

この学則(改正)は、平成４年４月１日から実施する。

ただし、第９条、第18条、第34条に係る事項は次の通りとする。

１．第９条の別表１は、この規程にかかわらず、平成４年度から平成11年度までの入学定員を次表の通りとする。

期間付入学定員

工学部	学科名	入学定員
一部	機械工学科	90名
	機械工学第二学科	90名
	材料工学科	90名
	工業化学科	90名
	電気工学科	90名
	通信工学科	90名
	電子工学科	90名
	土木工学科	90名
	建築学科	90名
	建築工学科	90名
	工業経営学科	90名
	合計	990名

２．第18条は、平成４年３月18日より実施する。

３．第34条の別表第５は、平成４年度入学生より適用する。

平成５年４月１日(別表の授業科目・単位数、卒業要件、学費等の一部変更)

この学則(改正)は、平成５年４月１日から実施する。

ただし、第34条の別表第５は、平成５年度入学生より適用する。

平成６年４月１日(学則条文第13条、第24条、第46条、第48条、第49条、第50条、第51条、第52条、第53条の一部改正、別表の授業科目・単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)

この学則(改正)は、平成６年４月１日から実施する。

平成７年４月１日(二部新学科設置に係る学則条文第４条、収容定員の減少(修学年数の変更)に係る学則条文第11条、第28条の一部改正。別表の収容定員、授業科目・単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)

この学則(改正)は、平成７年４月１日入学生より適用する。

ただし、第９条の別表１は、この規程にかかわらず、平成７年度から平成10年度までの工学部二部機械工学科・電気工学科の収容定員は、次の通りとする。

学部	年度	機械工学科	電気工学科
工学部	平成7年度	400名	400名

二部	平成8年度	400名	400名
	平成9年度	400名	400名
	平成10年度	400名	400名

平成８年４月１日(学科名称変更に係る学則条文第４条の一部変更。学則条文第13条の一部改正。別表の収容定員。工学部授業科目(教職課程を含む)単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)

(経過措置)

工学部一部金属工学科は、平成８年３月31日に当該学科に在学するものが当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

この学則(改正)は、平成８年４月１日から実施する。

平成９年４月１日(学則条文第７条の一部改正、第８条の削除、別表の授業科目、単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)

この学則(改正)は、平成９年４月１日から実施する。

ただし、第34条の別表５は平成９年度入学生より適用する。

平成10年４月１日(学則条文第６条並びに第46条の一部改正、別表の授業科目、単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)

この学則(改正)は、平成10年４月１日から実施する。

ただし、第34条の別表５は平成10年度入学生より適用する。

また、第６条の学術情報センターについては平成10年２月１日より適用する。

平成11年４月１日(別表の授業科目・単位数、卒業要件、学費等の一部変更)

この学則(改正)は、平成11年４月１日から実施する。

ただし、第34条の別表５は平成11年度入学生より適用する。

平成12年４月１日(システム工学部電子情報システム学科の定員の変更、工学部一部の臨時定員の延長および恒常化入学定員の変更、授業科目・単位数、卒業要件及び学費等の一部変更)

この学則は、平成12年４月１日から実施する。

ただし、第９条、第34条に係わる事項は次の通りとする。

１．第９条の別表１は、この規程にかかわらず、平成12年度から平成15年度までの入学定員を次表の通りとする。

期間付入学定員

工学部一部	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
機械工学科	89名	88名	87名	86名
機械工学第二学科	89名	88名	87名	86名

材料工学科	89名	88名	87名	86名
工業化学科	89名	88名	87名	86名
電気工学科	89名	88名	87名	86名
通信工学科	89名	88名	87名	86名
電子工学科	89名	88名	87名	86名
土木工学科	89名	88名	87名	86名
建築学科	89名	88名	87名	86名
建築工学科	89名	88名	87名	86名
工業経営学科	89名	88名	87名	86名

２．第34条の別表５は、平成12年度入学生から適用する。

平成13年４月１日(学科名称変更に係る学則条文第４条の一部変更。別表の収容定員。授業科目(教職課程を含む)、単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)

(経過措置)

工学部一部工業化学科及び工業経営学科は、平成13年３月31日に当該学科に在学するものが当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

この学則(改正)は、平成13年４月１日から実施する。

ただし、第34条の別表５は平成13年度入学生より適用する。

平成14年４月１日(学則条文第32条、第38条、第46条、第67条の一部改正。別表の授業科目(教職課程を含む)、単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更。)

この学則(改正)は、平成14年４月１日から実施する。

ただし、第34条の別表５は平成14年度入学生より適用する。

平成15年４月１日(工学部の収容定員の増加に係る学則条文第４条の一部変更。別表の収容定員。工学部の名称及び入学定員の変更、工学部二部２学科の廃止、授業科目・単位数、学部・学科別卒業要件、教育職員免許状の種類・教科の一部変更。学則条文第10条、第24条の一部改正、別表の納入金等の一部変更。)

(経過措置)

工学部一部及び工学部二部機械工学科・電気工学科は、平成15年３月31日に当該学部・学科に在学するものが当該学部・学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

この学則(改正)は、平成16年４月１日から実施する。
ただし、第34条の別表５は平成15年度入学生より適用する。
平成16年４月１日(工学部の収容定員の増加に係る学則条文第４条の一部変更。別表１の収容定員、入学定員の変更。工学部二部１学科の廃止に係わる学則第29条、第34条、別表２の授業科目・別表４の単位数等の一部変更。学費に係わる別表５の一部変更。)
(経過措置)
工学部二部電気設備学科は、平成16年３月31日に当該学部・学科に在学するものが当該学部・学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
この学則(改正)は、平成16年４月１日から実施する。ただし、第34条の別表５は平成16年度入学生より適用する。
平成17年４月１日(学則条文第８条の追加、第29条の一部改正。別表５の納入金等の一部改正。)
この学則(改正)は、平成17年４月１日から実施する。ただし、第29条の休学期間中の学費の取扱は、平成17年度の在籍者から適用する。
平成18年４月１日(学則条文第３条の変更、第10条、第46条の一部改正。別表２の工学部授業科目、別表３のシステム工学部授業科目、別表４の学部・学科別卒業要件、別表５の納入金等の一部改正。)
この学則(改正)は、平成18年４月１日から実施する。
平成19年４月１日(学則条文第38条並びに第43条の一部改正。別表２の工学部授業科目、別表３のシステム工学部授業科目、別表４の学部・学科別卒業要件、別表５の納入金等の一部改正。)
この学則(改正)は、平成19年４月１日から実施する。
平成20年４月１日(学則条文第１条、第４条、第18条、第34条、第36条、の一部改正。別表１収容定員、別表２の工学部授業科目、別表３システム工学部授業科目、別表４の学部学科別・卒業要件の変更、別表５の納入金の一部改正、別表６学位の種類の追加。)
この学則(改正)は、平成20年４月１日から施行する。
平成21年４月１日(学則条文第29条、第46条、別表６の一部改正。デザイン工学部設置、システム工学部数理科学科設置、工学部機械工学第二学科名称変更、システム工学部名称変更、収容定員の変更に係る学則第４条、第10条、第17条、第18条、第34条、第51条の一部改正。別表１収容定員、別表２の工学部授業科目、別表３システムの工学部授業科目、別表４のデザイン工学部授業科目、別表５学部学科別・卒業要件の変更、別表７学位の種類の一部追加ならびに改正。)
工学部機械工学第二学科は、平成21年３月31日に当該学科に在学するものが当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
システム工学部は、平成21年３月31日に在学するものが、当該学部に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

この学則(改正)は、平成21年４月１日から実施する。

ただし、別表６納入金の取り扱いは、平成21年度の在籍者から適用する。

平成22年４月１日(条項に項目(見出し)を追加。認証評価に係る学則第１条の３の追加。SIT総合研究所に係る学則第７条の２の追加。学部等における教育研究上の目に係る学則第10条の追加。教育課程編成方針に係る学則第11条の追加。成績評価基準等の明示等に係る学則第12条の追加。教育内容等改善のための組織的研修等に係る学則第15条の追加。学則条文第21条、第30条、第63条の一部改正。学則第65条と第66条の入れ替え。学部等における教育研究上の目に係る別表２の追加。別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５のデザイン工学部授業科目、別表６学部学科別・卒業要件の変更。)

この学則(改正)は、平成22年４月１日から適用する。

平成23年４月１日(学長に係る学則第43条の追加。公開講座に係る学則第59条の削除。学期係る学則第62条第２項の追加。別表２芝浦工業大学における教育研究上の目的、別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５デザイン工学部授業科目、別表６学部学科別・卒業要件の変更。)

この学則(改正)は、平成23年４月１日から適用する。

平成24年４月１日(学則条文第８条の変更。別表２学部等における教育研究上の目的、別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５デザイン工学部授業科目、別表６学部学科別・卒業要件の変更。)

この学則(改正)は、平成24年４月１日から実施する。

教育イノベーション推進センター設置にともない教育支援センターは廃止する。

平成25年４月１日別表２学部等における教育研究上の目的、別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５デザイン工学部授業科目、別表６学部学科別・卒業要件の変更。学則条文第８条の変更)

この学則(改正)は、平成25年４月１日から実施する。

平成26年４月１日(学則第11条の２に副専攻プログラムを追加。学則第16条の一部改正。学則第23条入学時期の一部改正。別表２学部等における教育研究上の目的、別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５デザイン工学部授業科目、別表６学部学科別・卒業要件の変更。)

この学則(改正)は、平成26年４月１日から実施する。

平成27年４月１日(学校教育法および同施行規則改正に伴う変更)学則第43条学長の権限と責任、及び同第43条の２副学長職務についての追加。同44条から同48条まで教授会の役割について改正および一部削除。同50条大学協議会の役割について一部改正。

この学則(改正)は、平成27年４月１日から実施する。

平成28年４月１日(学則第３条の変更。先端工学研究機構に係る学則第７条の１及び２の削除。学則第16条を単位、各授業科目の授業期間、授業の方法に分類。学則第16条２に卒

業論文等の授業科目に係わる単位数及び履修科目として登録できる単位数上限を追加。学則第16条の３に授業の方法を追加。学則第17条の一部改正。学則第18条の２の一部改正。学則第21条の一部改正。学則第24条の一部改正。学則第27条の一部改正。学則第28条の一部改正。学則第31条の一部改正。別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５デザイン工学部授業科目の変更。)

この学則(改正)は、平成28年４月１日から実施する。

平成28年６月15日(学則第43条の３を追加)

この学則(改正)は、平成28年６月15日から実施する。

平成28年６月15日(学則第44条の２を追加)

この学則(改正)は、平成28年６月15日から実施する。

平成28年６月15日(学則第48条の(6)学部長選挙に関する事項の削除)

この学則(改正)は、平成28年６月15日から実施する。

平成29年４月１日(建築学部設置及び収容定員の変更に係る学則第４条、第13条、第21条、第22条、第38条、第50条の２、第55条の改正。別表１収容定員、別表２教育研究上の目的、別表６建築学部授業科目、別表７学部・学科別卒業要件、別表８納入金、別表９学位の種類の一部追加ならびに改正。)

工学部建築学科及び建築工学科は、平成29年３月31日に在学するものが、当該学部に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

この学則(改正)は、平成29年４月１日から実施する。

平成30年４月１日(工学部通信工学科名称変更に係る学則条文第４条の一部変更。別表の収容定員、授業科目(教職課程を含む)、単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。第７節　大学協議会廃止に係わる学部長・研究科長会議の役割について一部改正。第８節　科目等履修生・委託生・研究生の一部改正および項目削除。

この学則(改正)は、平成30年４月１日から実施する。

平成31年４月１日(兵役義務により休学する場合の学費免除に係る第32条第１項、第33条の一部改正)

この学則(改正)は、平成31年４月１日から実施する。

令和２年４月１日(工学部先進国際課程の設置に係わる学則条文第４条、10条、27条、28条、別表１収容定員、別表２芝浦工業大学における教育研究上の目的、別表３工学部授業科目(教職課程含む)、別表７学部・学科別卒業要件、別表８納入金、別表９学位の種類の一部追加ならびに改正)

この学則(改正)は、令和２年４月１日から実施する。

令和３年４月１日(別表７工学部・システム理工学部・建築学部卒業要件の一部追加ならびに改正)

この学則(改正)は、令和３年４月１日から実施する。

令和４年４月１日(休学に係わる学則条文第32条、休学期間中の学費に係わる学則条文第33条の一部変更。別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５デザイン工学部授業科目、別表６建築学部授業科目、別表７工学部・システム理工学部・デザイン工学部・建築学部卒業要件、別表８納入金の一部追加ならびに改正)

この学則(改正)は、令和４年４月１日から実施する。ただし、第33条休学期間中の学費の取扱は、令和４年度の在籍者から適用する。

令和５年４月１日(自己点検・評価等に係わる学則条文第１条の２、設置等に係わる学則条文第３条の住所、教育課程に係わる学則条文第13条別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５デザイン工学部授業科目、別表６建築学部授業科目、卒業認定に係る学則条文第21条別表７システム理工学部卒業要件、学費等に係る学則条文第38条別表８科目等履修生の学費等の一部改正)

この学則(改定)は、令和５年４月１日から実施する。

令和６年４月１日(学校教育法施行規則第165条の２第１項に定める方針に係わる学則条文第１条の４、学部等における教育研究上の目的及び方針に係わる学則条文第10条、教育課程の編成に係わる学則条文第11条、授業期間に係わる学則条文第16条の２、芝浦工業大学における三つの方針に係わる別表２―１、学部等における教育研究上の目的及び方針に係わる別表２―２、工学部５課程の設置に係わる学則条文第４条、別表１収容定員、別表３工学部授業科目(教職課程含む)、別表７学部・課程・学科別卒業要件、別表９学位の種類の一部追加ならびに改正)工学部機械工学科及び機械機能工学科・材料工学科・応用化学科・電気工学科・情報通信工学科・電子工学科・土木工学科・情報工学科は、令和６年３月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

この学則(改定)は、令和６年４月１日から実施する。

別表

別表1……収容定員

別表2―1……芝浦工業大学における三つの方針

別表2―2……学部等における教育研究上の目的及び方針

別表4……システム理工学部授業科目(教職課程含む)

別表7……学部・課程・学科別卒業要件

別表8……納入金

別表9……学位の種類

別表1

収容定員

学部	課程・学科名	入学定員	収容定員

工学部	機械工学課程	228	912
	物資化学課程	208	832
	電気電子工学課程	208	832
	情報・通信工学課程	218	872
	土木工学課程	104	416
	先進国際課程	9	36
	合計	975名	3,900名
システム理工学部	情報課程	240	960
	機械・電気課程	90	360
	建築・環境課程	120	480
	生命科学科	115	460
	数理科学課程	75	300
	合計	640名	25,60名
デザイン工学部	デザイン工学科	160	640
	合計	160名	640名
建築学部	建築学科	240	960
	合計	240名	960名

別表2―1

芝浦工業大学における三つの方針

大学の目的

本学は教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、学術の中心として深く工学の研究を行い世界文化に貢献し、併せて広く一般の学術教養と専門の工業教育を施すことにより、学生の人格を陶冶し、学理を究めさせ体位の向上を図り、もって優秀なる技術者を養成することを目的とする。

(芝浦工業大学学則第１条第１項)

三つの方針	
卒業の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	芝浦工業大学は、理工学の基礎知識及び幅広い専門分野の知識を活用して、持続型社会の実現のために世界の諸問題を解決できるとともに、建学の精神に謳われる社会に貢献する理工学人材にふさわしい能力を有し、卒業要件を満たしたものに学位を授与します。 (学修・教育目標) ・世界と社会の多様性を認識し、高い倫理観を持った理工学人材として行動できる。 ・問題を特定し、問題解決に必要な知識・スキルを認識し、不足分を自己学修し、社会・経済的制約条件を踏まえ、基礎科学と専門知識を運用し、問題を解決できる。 ・関係する人々とのコミュニケーションを図り、チームで仕事ができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	芝浦工業大学は、学位授与の方針に掲げる知識・スキル・能力・態度を修得させるため、講義、演習、実験、実習により体系的にカリキュラムを編成します。学生の主体的・能動的な学修・研究を促す教育方法を実施し、その学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことにより、学修・教育到達目標を達成します。
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	芝浦工業大学へ入学を志望する受験生は、本学の建学の精神と以下に挙げる「求める人物像」を理解し、さらに各学部の教育方針、学科のカリキュラム、教育および研究の内容をよく理解して出願することが望まれます。 本学が求める人物像を以下に示します。 ・本学での学修、研究を強く希望し、本学で自己成長・自己実現を成そうと希望する人。 ・数学および自然科学(物理学、化学、生物学などの科目)の基礎を学び、理工学と科学技術に対して強い興味関心を持ち、将来この学問を通じて我が国と世界の持続的発展に貢献しようという意思を持つ人。 ・大学において幅広い教養と経験、さらにコミュニケーション能力を身につけ、世界が多様であることを意識しながら市民社会の一員としての責務を自覚し、人類の進歩と地球環境の保全に尽くすとの気概を持つ人 上記に賛同し、本学への入学を希望する人は、高等学校等に

	おいて以下の能力等を身につけておくことが望まれます。 (1)　高等学校等の課程で学ぶ知識・技能(特に外国語、数学、理科) (2)　思考力・判断力・表現力等の能力 (3)　主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度 ・一般選抜の前期日程、英語資格・検定試験利用方式、全学統一日程、後期日程では、(1)及び(2)を評価します。 ・一般入試の大学入学共通テスト利用方式では、多科目の成績により(1)及び(2)を評価します。 ・総合型選抜では、筆記試験や外部検定試験などにより(1)及び(2)を評価し、面接や口頭試問などにより(1)及び(2)、(3)を総合的に評価します。 ・学校推薦型選抜では、調査書や外部検定試験などにより(1)及び(2)を評価し、面接や口頭試問などにより(1)及び(2)、(3)を総合的に評価します。

別表2―2

学部等における教育研究上の目的及び方針

1　工学部

人材の育成及び教育研究上の目的
工学部では、現代社会が抱える様々な課題を自ら発見、解決する工学技術者を養成するため、確かな基礎学力に基づく各専門分野の高い専門能力に加え、工学部内の多彩な専門分野を横断的に学べる新たな教育プログラムにより学際的な思考能力を涵養する。さらに、修得した分野横断的知識に加え、研究を軸とした実践型教育により課題解決能力を高め、様々な課題の本質を捉え、学際的アプローチにより解決する能力を涵養し、持続可能な社会の発展に、多様な価値観と高い倫理観をもって貢献する創造性豊かな人材を養成する。 具体的には、卒業までに以下に挙げる能力を持った人材を養成することを教育研究上の目的とする。 ・工学専門教育の修得に必要な基礎学力・教養を身に付けている。 (豊かな教養を涵養する学修) ・工学の専門知識と論理的思考法を体系的に学び、身に付けている。 (工学知識の体系的学修) ・複数分野の知識を修得し、学際的な思考能力を身に付けている。 (分野横断的知識の修得) ・研究を通じ、課題を発見・解決し、未踏分野に挑戦できる力を身に付けている。 (創造性の育成)

・社会の要求、多様な価値観を理解し、他者と協働して主体的に行動できる能力を身に付けている。(他者との共生)

三つの方針	
卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)	工学部は、確かな基礎学力に基づく高い専門能力を備え、社会が抱えるさまざまな課題を発見・解決することで、持続可能な社会の発展に貢献する創造性豊かな人材を育成します。そして以下の能力を身に付けて卒業要件を満たした者に、学位を授与します。 1. 豊かな人格形成の基本と基礎的な学力を備え、課題を自ら発見し、関係する人々と意思疎通を図りながら協働できる。 2. 工学の本質の体系的な理解に加え、分野横断的な知識による多様な手法によって課題の核心に迫り、その解決方法を導き出せる。 3. 工学技術者教育や研究を軸とした実践型教育を通じ、社会の多様性を認識して高い倫理観を持った理工学人材として行動できる。
教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)	工学部ではディプロマ・ポリシーに掲げる能力を身に付けるため、以下の教育課程の編成、教育内容・方法および学修成果の評価に基づいた教育を実施します。 教育課程の編成 教育課程を「基礎・教養科目」と「専門科目」に区分し、工学を体系的に学修できるように科目を以下のように配置する。 「基礎・教養科目」は、「数理基礎科目」「英語科目」「情報科目」「人文社会系教養科目」「体育健康科目」「工学部共通教養科目」の細区分で構成した科目を配置する。また「専門科目」は、「工学部共通専門科目」「自コース専門科目」「他コース専門科目」の細区分で構成した科目を配置する。 教育内容・方法の実施 ・技術者として必要な基礎能力を得るため、各科目で質の高い授業を展開する。 ・「数理基礎科目」「英語科目」「情報科目」「人文社会系教養科目」により、工学の専門教育の修得に必要な基礎学力・教養・倫理観を涵養する。 「体育健康科目」「工学部共通教養科目」により社会の要求、多様な価値観を理解し、他者と協働して主体的に行動できる能力を育成する。 ・「専門科目」では工学の専門知識と論理的思考法を体系的に学び、身に付ける。また未踏分野に挑戦し、社会における課題を自ら発見、社会の多様性を認識しながら他者と協働して解決できる創造性豊かな技術者を養成するため、研究を軸とした実践型教育を実施する。 ・複数分野の知識を修得した学際的な思考能力を養成するため、技術者に必要な分野横断的知識を学修する。具体的には、所属するコースの専門科目に加えて所属するコース以外の専門科目履修も可能とする。

	・カリキュラムツリーを示し、学修・教育到達目標に応じた科目履修の理解を促す。 学修成果の評価 ・単位制を採用し、学修成果を総合的に評価する。 ・各コースに設定した学修・教育到達目標、各授業科目の達成目標に対して、学修成果が一定のレベルに達した際に単位を付与する。 ・所属するコース以外からの専門科目を履修し、所定の条件を満たした場合に副コース認定を行う。
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	工学部では知識偏重教育ではなく、実践型教育による課題解決型人材の輩出に力点を置いた教育を行なっています。そのため、本学の建学の精神と工学部の教育方針、各コースのカリキュラム、教育・研究の内容をよく理解した、以下のような学生を求めます。 (工学部が求める人物像) ・工学部での学修・研究を強く志望し、関連する教育分野における基礎学力を身に付けた人 ・工学各分野における技術と、その基礎・応用に興味がある人 ・実際に対象に触れ、実践的に学修・研究することに価値を見出す人 ・国際的な視野を持って社会の課題解決に主体的に取り組み、人類や社会の持続的発展に貢献しようという意志を持つ人

課程

課程名	人材の育成及び教育研究上の目的
機械工学課程	科学技術の現状や社会の要望をグローバルな視点で捉え、環境や感性との調和に配慮しながら、機械工学の学理を用いて有用な機械やシステムを創成できる人材を養成する。 具体的には、卒業までに以下のような人材を養成することを教育研究上の目的とする。 ・機械工学に関わる数理知識を用いて機械のメカニズムを理解する能力と、それらを活用して有用な機能を創成できる設計能力を身に付けている。 ・社会や環境との関わりに配慮して機械工学の必要性を常に見直すことができる倫理観および責任感を持ち、グローバルな視点から多面的に科学技術を捉える能力を身に付けている。 ・工学的な問題に対して機械工学の見地から取り組むべき事柄を整理し、与えられた条件の下で様々な分野の知識を関連付けて課題解決に適用できる能力を身に付けている。 ・地球的視野から科学技術の現状を捉えて能動的に考え分析し、

	社会の発展に向けて行動することができる研究推進能力を身に付けている。 ・多様性を尊重し他者と協調して活動できる能力と、意思疎通を図りながら自らの判断や意見について説明できるコミュニケーション能力を身に付けている。 ・技術的課題の探求に関心を持ち、情報環境等を利用して継続的に自己学修できる能力を身に付けている。
物質化学課程	環境・物質工学分野ならびに化学・生命工学分野における広範囲な産業界に適用し、柔軟な対応力に加え、即戦力、実践力を持って活躍できる人材、社会の財産となりうる人材を養成する。 具体的には、卒業までに以下のような人材を養成することを教育研究上の目的とする。 ・物質化学を基盤とする自然科学ならびに工学にかかわる幅広い視野を育み、広範囲な領域の課題を探求する姿勢と技術を身に付けている。 ・物質化学の体系的な理解・整理と生産技術の開発・管理を基に、環境保全や生命工学を含めた分野における課題を見出し、問題を解決する能力を身に付けている。 ・物質化学の幅広い分野において、境界領域や融合領域および未踏科学分野に、創造力を持って積極的に取り組む姿勢や能力を身に付けている。 ・高度な知性に加え、産業界での即戦力となる創造性豊かな実践力を身に付けている。 ・社会における責任感と倫理感、他者との協力・協働の姿勢を基に、社会貢献できる能力を身に付けている。
電気電子工学課程	技術の進歩に対応して主体的に活動できる人間性豊かな人材、電気電子分野の技術をもって、持続的な社会の構築に貢献できる人材を養成する。 具体的には、卒業までに以下のような人材を養成することを教育研究上の目的とする。 ・電気電子工学に関わる専門分野の基本知識を有し、これらを用いて、技術者として当該分野の問題を分析し、その問題解決のために応用できる力を身に付けている。 ・自らの意見を文書あるいは口頭説明で他者に論理的に説明する、他者が発信した情報や意見を理解することができ、自らの意図を実現できるプレゼンテーション能力、コミュニケーショ

	ン能力を身に付けている。 ・チームの一員として自己のなすべき行動を理解し実行できる協調性、自らの活動の結果が社会および環境に及ぼす影響を認識できる倫理観、および社会から付託されている責任を理解し実務の場で技術者倫理に基づいた行動ができる責任感を身に付けている。
情報・通信工学課程	コンピュータと情報通信を利用して人間の社会と生活を豊かにする技術を体系的に広く学ぶことを教育の目的とし、時代に左右されない技術の基盤を支える普遍的な基礎学力を身に付けた技術者を養成する。 具体的には、卒業までに以下のような人材を養成することを教育研究上の目的とする。 ・技術の基盤を支える数学と物理などの自然科学の基礎学力を身に付けている。 ・情報・通信工学の基本的な考え方と基礎技術、およびそれらを創造的に応用して課題を解決する能力を身に付けている。 ・情報技術・情報通信技術が社会に及ぼす影響や制約条件を考えながらシステムの設計・実装を行うことで課題を解決する能力を身に付けている。 ・幅広い教養と豊かな人間性を基に、地球的視点からの広い視野を持って課題に自律的に取り組み探求する能力を身に付けている。 ・技術者として必要な他者とのコミュニケーションの能力を身に付けている。
土木工学課程	グローバルな視点で持続可能な社会に貢献できる創造性豊かな土木技術者の育成を目指す。土木工学の対象である「人」、「自然」、「モノ」が相互に影響する社会基盤システムを大局的に捉える能力と集団の中での自己の役割と責任の自覚をもつ人材を養成する。 具体的には、卒業までに以下のような人材を養成することを教育研究上の目的とする。 ・真に市民の立場に立った都市づくりを行える姿勢や能力を身に付けている。 ・科学技術と土木工学の専門知識を基礎とした問題を分析、洞察、解決する能力を身に付けている。 ・自然や社会の環境変化に対処する能力と創造力を身に付けてい

	る。 ・日本のみならず国際社会での指導力と倫理観に基づく行動力を身に付けている。
先進国際課程	工学、理学など広く学問を統合することをもって、持続的社会の構築に貢献できる人材を育成することを目的とする。特に、多様な価値観のもと産業と技術革新基盤を創造できる人材の育成に重点を置く。

２　システム理工学部　学科

人材の育成及び教育研究上の目的
システム理工学部は、幅広い教養、国際性及び理工学に対する体系的な知識を身に付け、総合的問題解決のためのシステム工学の思考と手法を活用して持続可能な社会の構築に貢献できる人材を養成することを目的とする。

三つの方針	
卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)	システム理工学部は、理工学の基礎知識と幅広い専門分野の知識に加え、学問体系を横断し関連づけるシステム工学の手法、すなわち総合的解決策を追求する「システム思考」、目標達成の機能を作る「システム手法」、および問題解決の人・知識・技術を統合する「システムマネジメント」を修得し、地域と人類社会の発展に貢献する高い倫理観を持ち、卒業要件を満たしたものに学位を授与します。 (学修・教育到達目標) 1. 地球的観点から多面的に物事を考える幅広い教養を備え、他分野・異文化と相互理解・交流し、社会や世界の問題解決に取り組み、高い倫理観を持った理工学人材として行動できる。 2. 科学技術の知識を修得するとともに、これを総合して問題解決するまでの行動計画を推進するためのシステム思考を修得し、問題を発見し、総合的解決策を導き出すことができる。 3. 社会の問題解決に必要なシステム工学の理論とその運用能力を備え、人・知識・技術をマネジメントし、関係する人々とのコミュニケーションを図りながらチームで仕事ができる。 4. 専門的知識とその運用能力を備え、問題解決に必要な知識・スキルを認識し、不足分を自己学修し、問題を解決できる。

教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	システム理工学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、学問体系を横断し関連づけるシステム工学の手法と、専門的知識を深めるための学科専門教育を体系的に学修・研究するための手法により、教育プログラムを実施しています。この教育プログラムは、全学共通科目、共通科目、専門科目の講義、演習、実験、実習で構成されています。学部理念の核となる共通科目のシステム工学教育では、学生の主体的・能動的な学修を促すために、プロジェクトを通した演習と講義の組み合わせにより実践と経験を繰り返して学修していくカリキュラムを編成しています。カリキュラムは、次の科目群で編成され、その学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことで学修・教育到達目標を達成します。 1. 全学共通科目　建学の精神に則り教養を養う。 2. 共通科目　システム理工学部生として共通に有すべき基礎力の育成 2—1　教職科目　教育職に関する専門的知識と技能、実践的指導力を修得し、豊かな人間性を養う。 2—2　総合科目　幅広い教養と他分野・異文化の理解力を修得 2—3　基礎科目　理工学人材の基盤となる数学、物理、化学、生物学の修得 2—4　システム・情報科目　社会の問題解決に必要な情報リテラシーとシステム工学理論を　修め、グループワークによる解決力を養成 3. 専門科目　専門的知識を深める。 3—1　学科専門科目　学科特有の専門的知識を深める。 3—2　総合研究　各自が設定したテーマを解明、解決策を導く。
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	システム理工学部は、分野横断教育を特徴としています。本学部への入学を志望する受験生は、以下に挙げる「求める人物像」及び本学部の教育方針、学科のカリキュラム、教育・研究の内容をよく理解して出願することが望まれます。 (システム理工学部が求める人物像) 1.　身の回りにあるさまざまな「もの」や「こと」の仕組みや成り立ちに関心を持ち、それについて深く考え、問題点を解明することに興味を持っている人。 2.　他学科の学生とチームを組んで課題に取り組むなど、システム理工学部における学科の枠を超えた演習科目に興味を持ち、主体的であり積極的に学修することに強い意欲を持っている人。 3.　システムを構成する要素のつながりを重視した付加価値のある「ものづくり」や「新たな枠組みづくり」に携わることを通じて社会に貢献する意志を持っている人。

	上記に賛同し、本学部への入学を志望する人は、高等学校等において芝浦工業大学アドミッション・ポリシーに定める(1)～(3)の能力を身につけておくことが望まれます。

課程

養成する人材像
持続可能な社会の実現に貢献するために、科学技術が社会や自然に及ぼす利点と欠点を見据えて、ひと・もの・ことが関係する現象をシステムと捉え（システム思考）、総合的、学際的に問題解決できる知識やスキルを修得し、世界に貢献する職業人としての倫理観をもつグローバル理工系人材を養成する。
教育研究上の目的
地球規模で複雑化、多様化する現代社会において、諸問題を総合的、学際的に解決できる力が必要とされている。 システム理工学部は、複数の学問体系を横断し関連付けるシステム思考とシステム工学の知識と手法を生かし、新たな時代の要請に応え、地域と人類社会の発展に寄与する教育研究を行う。幅広い教養と国際性を礎にした分野横断型の教育を通して、体系的な理工学の知識や自ら行動し多様な人々と共創できる能力を身につけたグローバル理工系人材を養成することを目的とする。

三つの方針	
卒業の認定に関する方針	
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	システム理工学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、学問体系を横断し関連付けるシステム思考とシステム工学の知識、学修者の主軸となる専門知識と他分野を関連付ける分野横断型の知識、そして自ら行動し多様な人々と共創できる能力を修得します。カリキュラムは、「学際科目」、「基礎教養科目」、「専門科目」で構成しています。専門科目は、新たな価値を創生し、社会に貢献する職業人としてのキャリア形成に必要となるスキルに紐づけられます。スキルに紐づけられた科目のセット（モジュール）を組み合わせることで、主軸となる分野の専門知識と他分野を関連付け問題解決するための能力を修得することもできます。 各科目の学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことで学修・教育到達目標を達成します １．学際科目 ・システム工学 取り組むべき具体的な課題を設定し、目的達成に向けて、関連するひと・もの・ことの諸現象をシステムと捉え（システム思考）、総合的、学際的に解決策を導き出すためのシステムズアプローチの方法論と、プロジェクト活動によりチームで共同 して活動できる能力を養成する。

	・SDGs・キャリアデザイン 　持続可能な社会の構成員としての職業人生を主体的・能動的にデザインし、実現に向けて行動するためのスキルを養成する。 ・アントレプレナーシップ 　社会の具体的な課題を解決するアイデアをかたちにし、社会実装に向けて行動できるスキルを養成する。 ２．基礎教養科目 ・理数・情報 　自然科学、情報技術等に関する基礎知識を養成する。 ・社会科学・人文科学・保健体育・英語 　英語、職業倫理 、幅広い視野と教養を養成する。 ３．専門科目 ・主軸となる分野の専門知識を修得し、課題の解決に応用できる能力を養成する。 ・主軸となる分野の専門知識を他分野と関連付ける能力を養成する。 ・総合研究では、各自が設定したテーマについての問題を解明し、具体的な解決策を導く能力を修得し、総合的、学際的に問題解決できる能力を養成する。 システム理工学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、学問体系を横断し関連づけるシステム工学の手法と、専門的知識を深めるための学科専門教育を体系的に学修・研究するための手法により、教育プログラムを実施しています。この教育プログラムは、全学共通科目、共通科目、専門科目の講義、演習、実験、実習で構成されています。学部理念の核となる共通科目のシステム工学教育では、学生の主体的・能動的な学修を促すために、プロジェクトを通した演習と講義の組み合わせにより実践と経験を繰り返して学修していくカリキュラムを編成しています。カリキュラムは、次の科目群で編成され、その学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことで学修・教育到達目標を達成します。
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリ	本学部への入学を志望する者は、本学の建学の精神と以下に挙げる「求める人物像」及び教育方針、課程のカリキュラム、教育・研究の内容をよく理解して出願することを求めます。 (システム理工学部が求める人物像) 1.　身の回りのさまざまなひと・こと・ものの仕組みや成り立ちについて深く

シー）	考え、課題を解決することに興味や関心を持つ者。 2. 総合的、学際的に課題を解決することで、新たな価値を創生し、社会に貢献する意志を持つ者。 3. 他分野の学生とチームを組んで課題に取り組む等、システム理工学部における分野の枠を超えたプロジェクト演習に興味を持ち、主体的かつ積極的に行動することに強い意欲を持つ者

情報課程

養成する人材像
情報に関連する幅広い分野に対する基礎的知識と職業倫理を身につけた上で専門とする分野をもち、これらの技術に関する社会的ニーズに対して、システム思考に基づく創造的な発想から問題解決できる人材を養成する。
教育研究上の目的
「IoT技術」、「ソフトウェア技術」、「メディア技術」、「データサイエンス」のいずれかの分野に基盤を置き、幅広い裾野をもった基礎的専門知識と実践的専門知識・技術を修得させ、自ら問題を発見し、具体的な解決策を探るための「使える知識」をもった創意ある情報技術人材を養成する。研究においては、実践的な研究活動を通して、情報に関連するさまざまな問題を、システム思考に基づく創造的な発想からグローバルな視点で問題解決し、情報社会の発展に貢献することを目的とする。

機械・電気課程

養成する人材像
価値創造と社会の持続的発展を担う「ものづくり」を実現するために、多様な人々と協働する力と職業倫理を身につけ、未来の機械・電気システムに関する社会的ニーズに対して、システム思考に基づく創造的な発想から問題解決できる人材を養成する。
教育研究上の目的
機械・電気分野の基礎的専門知識と、機械、電気、電気・熱流体、モビリティ・ロボティクス、デザイン領域の内の３つの領域の実践的専門知識・技術を修得させ、専門知識と分野横断型の知識を有機的に組み合わせ、機械・電気システムを研究開発できる技術者を養成する。研究においては、社会的ニーズに適切に対応した機械・電気システムに関連する実践的な研究活動を通して、高度情報社会の発展に貢献することを目的とする。

建築・環境課程

養成する人材像
建築・環境・都市分野を中心とする実践的専門知識・技術、および市民や企業との合意形成手法と職業倫理を身につけ、システム思考に基づく創造的な発想から国際社会や地域における諸問題を解決できる人材を養成する。

教育研究上の目的
建築・環境・都市分野を中心とする実践的専門知識・技術と、これらを横断的に関連付ける知識・手法を修得させ、多様なステークホルダーと協働し、持続可能な社会の形成に貢献できる人材を養成する。研究においては、国際社会や地域における諸問題の探究と多様化する社会的ニーズに対応した学際的な研究を通して、持続可能な社会の発展に貢献することを目的とする。

生命科学科

生命科学科は、生命科学に対する体系的な知識を身に付け、生命現象の科学的解明、健康の回復・増進や生活支援を実現する新しい技術の開発を通して、健康寿命の延伸と活気あふれる持続可能な社会の実現に貢献できる人材を養成することを目的とする。

数理科学課程

養成する人材像
数理科学の専門知識と職業倫理を身につけ、理論に基づくシミュレーション技術等の応用力をもち、社会が要請する具体的な問題を見据え、システム思考に基づく創造的な発想から科学・教育・産業の幅広い分野で諸問題を論理的に解決できる人材を養成する。
教育研究上の目的
数理科学は、数学はもとより数学と諸科学との学際領域の総称であり、持続可能な社会を支える科学技術の基礎である。数理科学コースは、純粋数学と応用数学を両輪とした数理科学の教育研究を行うとともに、数学および学際領域の専門知識をもつ人材を養成することによって、数理科学の発展に寄与し、社会に貢献することを目的とする。

3　デザイン工学部

人材の育成及び教育研究上の目的	
デザイン工学部は、幅広い工学の素養をもち、コンセプトが明確になっていない段階からアイディアを生み出し、人間の感性及び社会との調和・融合を図りながら創造的なものづくりをすることによって、持続可能な社会の構築に貢献できる実践的な人材を育成することを目的とする。	
三つの方針	
卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)	デザイン工学部は、社会が求める「あるべき姿(当為)を構築する設計科学技術」を身につけ、工学的知識と技術を基礎として、人間の感性および社会との調和・融合を図り、創造的ものづくり能力、すなわちものづくり全体を表現するための1)認識力、2)構想力、3)計画力、4)意匠・設計力というデザイン能力を有し、卒業要件を満たしたものに学位を授与します。 【学修・教育到達目標】 A.　幅広い教養を身につけ、地球的視点から多面的に物事を考えることができる。

	B.　技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者の社会に対する貢献と責任を理解し、行動できる。 C.　数学、自然科学、および情報技術の基礎的な考え方を理解し、それらを応用することができる。 D.　種々の科学、技術及び情報を活用して、人間の感性や社会との調和・融合を図ったうえで、社会の要求を解決するためのデザインをすることができる。 D―1　社会的要請や利用者からの要望を認識・理解し、求められている姿・あるべき姿を見い出し、目標を設定するという全体を構想することができる。 D―2　目標に対して情報を収集・分析し課題設定を行い、計画を立案し、他者と協力して進め、結果をまとめることができる。 E.　専門分野の知識・技術を継続的・自主的に修得して、意匠・設計力を身に付け、それらを応用して課題を解決できる。 F.　論理的な記述、口頭発表、ならびに討議等のコミュニケーションができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	デザイン工学部は、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、工学と人間の感性および社会との調和・融合を図り、創造的なものづくり能力を素養にもつ、実践的な人材を育成するため、次のように科目を編成しています。幅広い工学の素養や技術を身につけるため、共通教養科目とデータ・サイエンス科目を置きます。また、コンセプトが明確になっていない段階からアイディアを生み出し、リーダーシップをもって個々の要求を整理・統合化し、ものづくりができるようになるためのデザイン科目とエンジニアリング科目を置きます。さらに知識を実践的に修得するためのプロジェクト科目を置きます。これらの科目を講義、演習、実験、実習により体系的に編成します。学生の主体的・能動的な学修・研究を促す教育方法を実施し、その学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことにより、教育目標を達成します。
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	デザイン工学部は、デザイン能力醸成教育を特徴としています。本学部への入学を志望する受験生は、以下に挙げる「求める人物像」及び本学部の教育方針、学科のカリキュラム、教育・研究の内容をよく理解して出願することが望まれます。 (デザイン工学部が求める人物像) 1. 十分な基礎学力に加えて、21世紀における社会と産業が求める技術者をめざす人。 2. 創造的な発想と、問題発見・解決能力、そして総合的な視野に立ち自律的に思考できる素養を持つ人。 3. 多彩な才能と可能性を秘め、国際社会、産業、個人の生活・関心の変化に対して敏感に適応できる人。 上記に賛同し、本学部への入学を志望する人は、高等学校等において芝浦工業

	大学アドミッション・ポリシーに定める(1)～(3)の能力を身につけておくことが望まれます。

4　建築学部

人材の育成及び教育研究上の目的
建築学部は、これからの時代に建築を「いかにつくるか」だけでなく「何のためにつくるか」を重視します。そのために、自然科学や人文社会科学なども含んだ学際的視点を持ち、持続可能な社会における豊かな建築や都市空間を創造する力を持った人材を育てます。また、多様な価値観が共存する21世紀の世界に適応できる、建築をベースにした特色ある人材を育てます。具体的には、卒業までに以下に挙げる能力を持った人材を養成します。 1　歴史的発展を踏まえてさまざまな側面を理解し、現代の建築の技術的・社会的問題点を理解することができる。 2　人々の生命や財産に深く関連する建築に、技術者や設計者としてたずさわるための倫理観を身に付ける。 3　普遍的法則である科学に関する基礎知識を身に付け、なおかつ建築設計や建築技術に関する幅広い専門知識を身に付ける。 4　それらの幅広い知識を統合、駆使し、建築や都市をめぐる現在的課題に対して自らの役割や責任を認識しつつ、解決に導くことができる 5　豊富なコミュニケーション能力を使って他者や他集団とのあいだに適切な社会関係を築くことができ、さらにそれを踏まえて21世紀のグローバル社会で活躍できる。

三つの方針	
卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)	建築学部は、自然科学や人文社会科学を含んだ学際的視点を持ち、豊かな建築・都市空間の創造により社会に貢献できる能力、また、多様な価値観が共存する21世紀の世界に適応できる能力を有し、卒業要件を満たしたものに学位を授与します。 (学修・教育到達目標) ①　歴史的発展を踏まえて建築を捉え、現代の建築を取り巻く技術的・社会的問題を理解できる。 ②　自然・社会・人間に深く関わる建築に、専門家としてたずさわるための高い倫理観を身につけている。 ③　自然科学や人文社会科学に関する基礎知識と、建築設計や建築技術に関する幅広い専門知識を身につけている。 ④　世界と社会の多様性を認識し、高いコミュニケーション能力を持ち、21世紀のグローバル社会で活躍できる国際感覚とチームで仕事ができる能力を身につけている。 ⑤　豊富な教養と幅広い知識を統合・駆使し、建築や都市をめぐる現代的課題を解決できる。 ⑥　課題の発見・解決のために、建築に関わる広範な知識・技術を自ら進んで探求

	し、理解しようとする姿勢を身につけている。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	・建築学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、これからの時代に建築を「いかにつくるか」だけでなく「何のためにつくるか」を重視します。そのため、建築の専門科目に加えて多様な基礎・教養科目によってカリキュラムを構成し教育を行います。 ・専門科目が建築学の専門性を高めるための科目であるのに対し、基礎・教養科目は自然科学の一般法則の知識とその運用方法、基本的な外国語・コミュニケーション能力、社会・文化に関する教養などを身につけるための科目です。また、「建築デザイン」、「工学」、「幅広い教養」の融合を実現するため、専門性の高い科目と基礎・教養科目の横断的な学修を促し、各科目間の相乗効果を生むようカリキュラムを設計しています。これらの教育課程編成方針に基づき、以下の科目構成により授業を実施します。 ① 専門科目では建築設計や建築技術に関する幅広い専門知識と倫理観を身につけることを狙いとした科目を配置しています。 ② 基礎・教養科目では、数学・理科・英語のほか、幅広い分野を持つ人文社会系科目を中心に構成し、年次を通じて履修可能とすることで専門教育との横断的融合を実現します。 ③ 講義科目で学んだ知識を演習・実習科目で実践することで理解を深めていくことを基本としますが、実社会や現場の体験から得られる視点やコミュニケーション能力も重視しています。そのため、国内外でのプロジェクト型実習科目も豊富に配置しています。 ・上記の各授業科目においては知識の伝達のみならず、学生同士や教員との双方向のやり取りを通じて専門知識の深化とコミュニケーション能力の向上を図ります。なお、建築学部では学生が無理のない学修計画を立てられるよう、年間に履修できる科目数に制限を設けています。 ・各授業科目に評価方法・評価基準を設定し、学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことにより、建築学部の学修・教育到達目標を達成します。
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	建築学部は、豊かな感性と技術力を身につけた高い志を持つ建築の専門家を養成します。本学部への入学を志望する受験生は、以下に挙げる「求める人物像」及び本学部の教育方針、カリキュラム、教育・研究の内容をよく理解して出願することが望まれます。 (建築学部が求める人物像) 1. 建築・都市におけるさまざまな課題に対して積極的な興味・関心を持つ人 2. 本学部での学修、研究を強く志望し、自らの意思と行動力を持って人々の暮らしを支え喜びをもたらす建築を生み出すことに、情熱を持つ人 3. 建築をベースに、社会や時代・環境の変化を見据え、多様な価値観を受け入

	れ、場所・地域・国を問わずに活躍することを志向する人上記に賛同し、本学部への入学を志望する人は、高等学校等において以下の能力を身につけていることが望まれます。 上記に賛同し、本学部への入学を志望する人は、高等学校等において、以下の能力を身につけていることが望まれます。 (1) 科学的な思考・判断をするための基礎学力(特に数学・物理・化学・英語) (2) 論理的な思考にもとづく、判断力、読解力、表現力 (3) 建築・都市を取り巻く社会や文化について、その歴史をふまえて理解するための基礎的知識 (4) 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度 (5) 独自の視点により空間や思考を表現する能力

別表３

授　業　科　目

工学部

専門科目【機械工学課程　基幹機械コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	科目コード	科目名	単位数	実施期	1年			2年			3年			4年		週コマ数	講義区分	選択必修グループ	学修・教育到達目標
					前期	後期	不定	前期	後期	不定	前期	後期	不定	前期	後期				
自コース専門	A0001000	機械材料	2	ー	○											1	講義	B	E
	A0002000	機械工学の基礎1	2	ー	△											1	講義	ー	G
	AB001000	材料力学1	2	ー		◎										1	講義	ー	D
	A0003000	機械運動学	2	ー		○										1	講義	B	E
	A0004000	機械設計製図1	3	ー				◎								3	製図	ー	E
	AB002000	流体力学1	2	ー				◎								1	講義	ー	D
	AB003000	熱力学1	2	ー				◎								1	講義	ー	D
	A0005000	材料力学2（基幹機械コース）	2	ー				○								1	講義	B	D
	A0006000	機械設計	2	ー				○								1	講義	B	E
	A0007000	応用解析学	2	ー				△								1	講義	ー	E
	A0008000	機械設計製図2	3	ー					◎							3	製図	ー	E
	AB004000	振動工学1	2	ー					◎							1	講義	ー	D
	A0009000	加工学	2	ー					○							1	講義	B	E
	A0010000	流体力学2（基幹機械コース）	2	ー					○							1	講義	A	D
	A0011000	Thermodynamics 2	2	ー					○							1	講義	A	D
	A0012000	エネルギー・環境論	2	ー					○							1	講義	A	E
	A0013000	確率統計	2	ー					△							1	講義	ー	C
	A0014000	機械工学の基礎2	2	ー					△							1	講義	ー	G
	A0015000	振動工学2	2	ー							○					1	講義	B	D
	A0016000	粘性流体力学	2	ー							○					1	講義	A	D
	A0017000	エンジンシステム	2	ー							○					1	講義	A	E
	A0018000	伝熱工学	2	ー							○					1	講義	A	D
	A0019000	制御工学1	2	ー							○					1	講義	B	E
	A0020000	Mechatronics	2	ー							○					1	講義	B	E
	A0021000	低温工学	2	ー							○					1	講義	A	E
	A0022000	材料強度学	2	ー							○					1	講義	B	E
	A0023000	安全と倫理	2	ー							△					1	講義	ー	A
	A0024000	プログラミング言語	2	ー							△					1	講義	ー	E
	AB005000	工学英語3	2	ー							△					1	講義	ー	A
	A0025000	エネルギー変換工学	2	ー								○				1	講義	A	E
	A0026000	材料設計学	2	ー								○				1	講義	B	E
	A0027000	Combustion Engineering	2	ー								○				1	講義	A	E
	A0028000	制御工学2	2	ー								○				1	講義	B	E
	A0029000	計算力学	2	ー								○				1	講義	A	E
	A0030000	航空宇宙工学	2	ー								○				1	講義	A	E
	A0031000	機械分子工学	2	ー								○				1	講義	A	D
	A0032000	プログラミング演習	2	ー								△				1	演習	ー	E
	A0032500	Advanced Course on Mechanical Engineering	2	ー								□				1	講義	ー	ー
	A0033000	卒業研究1	2	ー							◎	(◎)				1	卒研	ー	B,F,G
	A0034000	卒業研究2	2	ー							(◎)	◎				1	卒研	ー	B,F,G
	A0035000	卒業研究3	4	ー										◎	(◎)	2	卒研	ー	B,F,G
	A0036000	卒業研究4	4	ー										(◎)	◎	2	卒研	ー	B,F,G

授　業　科　目

工学部

共通専門科目【機械工学課程　基幹機械コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
共通専門	共通専門科目	EN830100	社会の中の工学	1	1	前期	◎	1	講義	F
	共通専門科目	EN830150	グローバルPBL（機械工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830160	グローバルPBL（物質化学課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830170	グローバルPBL（電気電子工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830180	グローバルPBL（情報・通信工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830190	グローバルPBL（土木工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830200	グローバルPBL（先進国際課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830110	工学研究探訪1	1	2	後期	◎	1	講義	F
	共通専門科目	EN830120	工学研究探訪2	1	2	後期	△	1	講義	F
	共通専門科目	EN830210	国際インターンシップ1	2	2	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830220	国際インターンシップ2	2	2	不定	□	2	演習	ー
	共通専門科目	EN830130	学内研究留学1	2	3	後期	△	1	演習	F
	共通専門科目	EN830140	学内研究留学2	2	3	後期	△	1	演習	F

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【機械工学課程　基幹機械コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
数理基礎	数学科目	11731100	線形代数1	2	1	前期	◎	1	講義	C
	数学科目	11731120	微分積分1	4	1	前期	◎	2	講義	C
	数学科目	11731150	確率と統計1	2	1	前期・後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731110	線形代数2	2	1	後期	◎	1	講義	C
	数学科目	11731130	微分積分2	4	1	後期	◎	2	講義	C
	数学科目	11731140	微分方程式	2	1	後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731160	確率と統計2	2	2	前期・後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731170	関数論	2	2	前期・後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731180	ベクトル解析	2	2	前期・後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731190	フーリエ解析	2	2	前期・後期	△	1	講義	C
	物理学科目	11732120	基礎力学	2	1	前期	◎	1	講義	C
	物理学科目	11732130	基礎力学演習	2	1	前期	△	1	演習	C
	物理学科目	11732110	物理学実験	3	1	後期	◎	3	実験	C
	物理学科目	11732150	基礎電磁気学	2	1	後期	△	1	講義	C
	物理学科目	11732180	基礎熱統計力学	2	2	前期	△	1	講義	C
	物理学科目	11732190	基礎熱統計力学演習	2	2	前期	△	1	演習	C
	物理学科目	11732200	相対論と量子論の基礎	2	2	後期	△	1	講義	C
	化学科目	11733100	化学の基礎と実験	2	1	前期	◎	2	講義	C
	化学科目	11733140	基礎無機化学	2	1	後期	△	1	講義	C
	化学科目	11733150	基礎有機化学	2	1	後期	△	1	講義	C
	化学科目	11733160	基礎生物化学	2	1	後期	△	1	講義	C
	化学科目	11733170	基礎固体化学	2	1	後期	△	1	講義	C
英語	英語科目	11810100	Reading & Writing 1	2	1	前期	◎	1	講義	A
	英語科目	11810140	TOEIC	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	英語科目	11810120	Listening & Speaking 1	2	1	後期	◎	1	講義	A
	英語科目	11810130	Listening & Speaking 2	2	2	前期	△	1	講義	A
	英語科目	11810150	工学英語1	2	2	前期	△	1	講義	A
	英語科目	11810110	Reading & Writing 2	2	2	後期	△	1	講義	A
	英語科目	11810160	工学英語2	2	2	後期	△	1	講義	A
	英語科目	11810170	Academic English	2	3	前期・後期	△	1	講義	A
情報	情報科目	11750100	情報リテラシー	1	1	前期・後期	△	1	講義	C
	情報科目	11750110	情報処理概論	2	1	前期・後期	△	1	講義	C
	情報科目	11750120	Java入門	3	1	前期・後期	△	2	演習	C
	情報科目	11750130	C言語入門	3	1	前期・後期	△	2	演習	C
	情報科目	11750140	データサイエンス演習	2	1	後期	◎	1	演習	C
人文社会系教養	人文社会系教養科目	11760100	技術者の倫理	2	1	前期	◎	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760220	社会心理学	2	1	前期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760280	教育原論	2	1	前期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760110	生命倫理	2	1	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760120	人間社会と環境問題	2	1	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760140	経済学	2	1	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760150	現代の日本経済	2	1	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760160	現代日本の社会	2	1	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760170	福祉と技術	2	1	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760180	法学入門	2	1	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760190	日本国憲法	2	1	前期・後期	○	1	講義	A

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【機械工学課程　基幹機械コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
人文社会系教養	人文社会系教養科目	11760200	世界の言語と文化	2	1	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760210	文化人類学	2	1	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760230	認知心理学	2	1	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760240	レポートライティング	2	1	前期・後期	○	1	演習	A
	人文社会系教養科目	11760250	プレゼンテーション入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760260	自己表現とコミュニケーション	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760270	教育心理学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760300	教育の近現代史	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760290	人間関係論	2	1	後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760320	生産と消費の環境論	2	2	前期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760310	地域と環境	2	2	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760330	情報技術と現代社会	2	2	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760340	地方自治論	2	2	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760360	地域と経済	2	3	前期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760390	地域社会学	2	3	前期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760350	哲学・倫理学	2	3	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760370	応用経済学	2	3	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760380	グローバリゼーション論	2	3	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760400	知的財産法	2	3	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760410	教育社会学	2	3	前期・後期	△	1	講義	A
体育健康	体育健康科目	11770100	スポーツ健康学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	体育健康科目	11770110	スポーツバイオメカニクス	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	体育健康科目	11770120	コンディショニング演習	2	1	前期・後期	△	1	演習	A
	体育健康科目	11772100	スポーツ科学実技1	1	1	前期・後期	◎	1	実技	A
	体育健康科目	11772110	スポーツ科学実技2	1	1	前期・後期	△	1	実技	A
	体育健康科目	11772120	スポーツ科学実技3	1	1	前期・後期	□	1	実技	ー
	体育健康科目	11772130	スポーツ科学実技4	1	1	前期・後期	□	1	実技	ー
共通教養	共通教養科目	11820110	データサイエンスリテラシー	1	1	前期・後期	△	1	講義	C
	共通教養科目	11820140	ダイバーシティ入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	共通教養科目	11820100	統計学基礎	1	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820120	芝浦工業大学通論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820130	技術経営入門	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820150	消費者行動論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820160	マーケティング概論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820170	デジタルプレゼンテーション	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
課程外		XX990100	海外語学演習1	2	1	不定	△	2	演習	A
		XX990110	海外語学演習2	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990120	海外語学演習3	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990130	海外語学演習4	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990140	海外語学演習1（短期）	1	1	不定	△	1	演習	A
		XX990150	海外語学演習2（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990160	海外語学演習3（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990170	海外語学演習4（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990900	学外英語検定	2	1	不定	△	1	その他	A

授　業　科　目

工学部

専門科目【機械工学課程　先進機械コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	科目コード	科目名	単位数	実施期	1年			2年			3年			4年		週コマ数	講義区分	選択必修グループ	学修・教育到達目標
					前期	後期	不定	前期	後期	不定	前期	後期	不定	前期	後期				
自コース専門	B0001000	先進機械基礎1	2	ー	◎											1	講義	ー	B,G
	B0002000	機械工学概論1	2	ー		◎										1	講義	ー	E
	AB001000	材料力学1	2	ー		◎										1	講義	ー	D
	B0003000	マテリアル・サイエンス	2	ー		△										1	講義	ー	D
	B0004000	機械工学概論2	2	ー				◎								1	講義	ー	E
	AB002000	流体力学1	2	ー				◎								1	講義	ー	D
	AB003000	熱力学1	2	ー				◎								1	講義	ー	D
	AB004000	振動工学1	2	ー				◎								1	講義	ー	D
	B0005000	先進機械基礎2	2	ー				△								1	講義	ー	B,G
	B0006000	メカトロニクス	2	ー				△								1	講義	ー	D
	B0007000	材料力学2（先進機械コース）	2	ー				△								1	講義	ー	D
	B0008000	電気工学	2	ー				△								1	講義	ー	D
	B0009000	機械工学概論3	2	ー					◎							1	講義	ー	E
	B0010000	機械力学	2	ー					△							1	講義	ー	D
	B0011000	流体力学2（先進機械コース）	2	ー					△							1	講義	ー	D
	B0012000	熱力学2	2	ー					△							1	講義	ー	D
	B0013000	エネルギー／環境概論	2	ー					△							1	講義	ー	D
	B0014000	制御工学	2	ー					△							1	講義	ー	D
	B0015000	研究導入講義1（知能機械）	2	ー							○					1	講義	A	D
	B0016000	研究導入講義1（生体工学）	2	ー							○					1	講義	A	D
	B0017000	研究導入講義1（計測工学）	2	ー							○					1	講義	A	D
	B0018000	研究導入講義1（サイエンス・メカニクス）	2	ー							○					1	講義	A	D
	B0019000	研究導入講義1（ナノ・マイクロ）	2	ー							○					1	講義	A	D
	B0020000	研究導入演習1	2	1Q							○					2	演習	B	E
	B0021000	研究導入演習2	2	2Q							○					2	演習	B	E
	AB005000	工学英語3	2	ー							△					1	講義	ー	A
	B0022000	研究導入講義2（知能機械）	2	ー								○				1	講義	A	D
	B0023000	研究導入講義2（生体工学）	2	ー								○				1	講義	A	D
	B0024000	研究導入講義2（計測工学）	2	ー								○				1	講義	A	D
	B0025000	研究導入講義2（サイエンス・メカニクス）	2	ー								○				1	講義	A	D
	B0026000	研究導入講義2（ナノ・マイクロ）	2	ー								○				1	講義	A	D
	B0027000	研究導入演習3	2	3Q								○				2	演習	B	E
	B0028000	研究導入演習4	2	4Q								○				2	演習	B	E
	B0029000	卒業研究1	2	ー							◎	(◎)				1	卒研	ー	B,F,G
	B0030000	卒業研究2	2	ー							(◎)	◎				1	卒研	ー	B,F,G
	B0031000	卒業研究3	4	ー										◎	(◎)	2	卒研	ー	B,F,G
	B0032000	卒業研究4	4	ー										(◎)	◎	2	卒研	ー	B,F,G

授　業　科　目

工学部

共通専門科目【機械工学課程　先進機械コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列 グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
共通専門	共通専門科目	EN830100	社会の中の工学	1	1	前期	◎	1	講義	F
	共通専門科目	EN830150	グローバルPBL（機械工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830160	グローバルPBL（物質化学課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830170	グローバルPBL（電気電子工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830180	グローバルPBL（情報・通信工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830190	グローバルPBL（土木工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830200	グローバルPBL（先進国際課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830110	工学研究探訪1	1	2	後期	◎	1	講義	F
	共通専門科目	EN830120	工学研究探訪2	1	2	後期	△	1	講義	F
	共通専門科目	EN830210	国際インターンシップ1	2	2	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830220	国際インターンシップ2	2	2	不定	□	2	演習	ー
	共通専門科目	EN830130	学内研究留学1	2	3	後期	△	1	演習	F
	共通専門科目	EN830140	学内研究留学2	2	3	後期	△	1	演習	F

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【機械工学課程　先進機械コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
数理基礎	数学科目	11731100	線形代数1	2	1	前期	◎	1	講義	C
	数学科目	11731120	微分積分1	4	1	前期	◎	2	講義	C
	数学科目	11731140	微分方程式	2	1	前期・後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731110	線形代数2	2	1	後期	◎	1	講義	C
	数学科目	11731130	微分積分2	4	1	後期	◎	2	講義	C
	数学科目	11731150	確率と統計1	2	1	後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731160	確率と統計2	2	2	前期・後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731170	関数論	2	2	前期・後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731180	ベクトル解析	2	2	前期・後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731190	フーリエ解析	2	2	前期・後期	△	1	講義	C
	物理学科目	11732120	基礎力学	2	1	前期	◎	1	講義	C
	物理学科目	11732130	基礎力学演習	2	1	前期	△	1	演習	C
	物理学科目	11732110	物理学実験	3	1	後期	◎	3	実験	C
	物理学科目	11732150	基礎電磁気学	2	1	後期	△	1	講義	C
	物理学科目	11732200	相対論と量子論の基礎	2	2	後期	△	1	講義	C
	化学科目	11733100	化学の基礎と実験	2	1	前期	◎	2	講義	C
	化学科目	11733140	基礎無機化学	2	1	後期	△	1	講義	C
	化学科目	11733150	基礎有機化学	2	1	後期	△	1	講義	C
	化学科目	11733160	基礎生物化学	2	1	後期	△	1	講義	C
	化学科目	11733170	基礎固体化学	2	1	後期	△	1	講義	C
英語	英語科目	11810100	Reading & Writing 1	2	1	前期	◎	1	講義	A
	英語科目	11810140	TOEIC	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	英語科目	11810120	Listening & Speaking 1	2	1	後期	◎	1	講義	A
	英語科目	11810130	Listening & Speaking 2	2	2	前期	△	1	講義	A
	英語科目	11810150	工学英語1	2	2	前期	△	1	講義	A
	英語科目	11810110	Reading & Writing 2	2	2	後期	△	1	講義	A
	英語科目	11810160	工学英語2	2	2	後期	△	1	講義	A
	英語科目	11810170	Academic English	2	3	前期・後期	△	1	講義	A
情報	情報科目	11750100	情報リテラシー	1	1	前期・後期	△	1	講義	C
	情報科目	11750110	情報処理概論	2	1	前期・後期	△	1	講義	C
	情報科目	11750120	Java入門	3	1	前期・後期	△	2	演習	C
	情報科目	11750140	データサイエンス演習	2	1	前期・後期	△	1	演習	C
	情報科目	11750130	C言語入門	3	2	前期	◎	2	演習	C
人文社会系教養	人文社会系教養科目	11760100	技術者の倫理	2	1	前期	◎	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760220	社会心理学	2	1	前期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760280	教育原論	2	1	前期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760110	生命倫理	2	1	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760120	人間社会と環境問題	2	1	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760140	経済学	2	1	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760150	現代の日本経済	2	1	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760160	現代日本の社会	2	1	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760170	福祉と技術	2	1	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760180	法学入門	2	1	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760190	日本国憲法	2	1	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760200	世界の言語と文化	2	1	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760210	文化人類学	2	1	前期・後期	○	1	講義	A

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【機械工学課程　先進機械コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
人文社会系教養	人文社会系教養科目	11760230	認知心理学	2	1	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760240	レポートライティング	2	1	前期・後期	○	1	演習	A
	人文社会系教養科目	11760250	プレゼンテーション入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760260	自己表現とコミュニケーション	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760270	教育心理学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760300	教育の近現代史	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760290	人間関係論	2	1	後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760320	生産と消費の環境論	2	2	前期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760310	地域と環境	2	2	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760330	情報技術と現代社会	2	2	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760340	地方自治論	2	2	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760360	地域と経済	2	3	前期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760390	地域社会学	2	3	前期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760350	哲学・倫理学	2	3	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760370	応用経済学	2	3	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760380	グローバリゼーション論	2	3	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760400	知的財産法	2	3	前期・後期	○	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760410	教育社会学	2	3	前期・後期	△	1	講義	A
体育健康	体育健康科目	11770100	スポーツ健康学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	体育健康科目	11770110	スポーツバイオメカニクス	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	体育健康科目	11770120	コンディショニング演習	2	1	前期・後期	△	1	演習	A
	体育健康科目	11772100	スポーツ科学実技1	1	1	前期・後期	◎	1	実技	A
	体育健康科目	11772110	スポーツ科学実技2	1	1	前期・後期	△	1	実技	A
	体育健康科目	11772120	スポーツ科学実技3	1	1	前期・後期	□	1	実技	ー
	体育健康科目	11772130	スポーツ科学実技4	1	1	前期・後期	□	1	実技	ー
共通教養	共通教養科目	11820110	データサイエンスリテラシー	1	1	前期・後期	△	1	講義	C
	共通教養科目	11820140	ダイバーシティ入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	共通教養科目	11820100	統計学基礎	1	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820120	芝浦工業大学通論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820130	技術経営入門	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820150	消費者行動論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820160	マーケティング概論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820170	デジタルプレゼンテーション	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
課程外		XX990100	海外語学演習1	2	1	不定	△	2	演習	A
		XX990110	海外語学演習2	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990120	海外語学演習3	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990130	海外語学演習4	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990140	海外語学演習1（短期）	1	1	不定	△	1	演習	A
		XX990150	海外語学演習2（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990160	海外語学演習3（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990170	海外語学演習4（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990900	学外英語検定	2	1	不定	△	1	その他	A

授　業　科　目

工学部

専門科目【物質化学課程　環境・物質工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	科目コード	科目名	単位数	実施期	1年			2年			3年			4年		週コマ数	講義区分	選択必修グループ	学修・教育到達目標
					前期	後期	不定	前期	後期	不定	前期	後期	不定	前期	後期				
自コース専門	C0001000	環境と化学	2	ー	◎											1	講義	ー	B
	C0002000	環境物質工学入門	2	ー	◎											1	講義	ー	D
	C0003000	材料力学	2	ー	○											1	講義	ー	A
	C0004000	熱力学	2	ー		◎										1	講義	ー	A
	C0005000	有機材料	2	ー		◎										1	講義	ー	B
	C0006000	状態図と金属組織	2	ー		◎										1	講義	ー	A
	CD001000	生物化学実験	2	ー		○										2	実験	ー	A,E
	C0007000	材料化学演習1	2	ー		△										1	演習	ー	B
	C0008000	材料化学演習2	2	ー		△										1	演習	ー	B
	CD002000	塗料・塗装工学概論	2	ー		△										1	講義	ー	B
	C0009000	結晶構造解析	2	ー				○								1	講義	ー	A
	C0010000	無機材料	2	ー				○								1	講義	ー	A
	C0011000	物質移動論	2	ー				○								1	講義	ー	A
	C0012000	材料科学	2	ー				○								1	講義	ー	A
	C0013000	材料電気化学	2	ー				○								1	講義	ー	B
	C0014000	図学と製図1	3	ー				△								2	講義	ー	A
	C0015000	電気化学演習	2	ー				△								1	演習	ー	B
	C0016000	環境物質工学通論	2	ー					◎							1	講義	ー	D
	C0017000	生体材料化学	2	ー					◎							1	講義	ー	B
	C0018000	固体物理	2	ー					○							1	講義	ー	A
	C0019000	弾塑性論	2	ー					○							1	講義	ー	A
	C0020000	触媒化学	2	ー					○							1	講義	ー	B
	CD003000	環境物質基礎実験	2	ー					○							2	実験	ー	D,E
	C0021000	接合工学	2	ー					△							1	講義	ー	A
	C0022000	図学と製図2	3	ー					△							2	講義	ー	A
	CD004000	惑星科学	2	ー					△							1	講義	ー	A
	C0023000	環境物質科学実験1	2	ー							◎					2	実験	ー	D,E
	C0024000	環境物質科学実験2	2	ー							◎					2	実験	ー	D,E
	C0025000	Semiconductor Materials	2	ー							○					1	講義	ー	A
	C0026000	Phase Transitions in Materials	2	ー							○					1	講義	ー	A
	C0027000	複合材料	2	ー							○					1	講義	ー	A
	C0028000	凝固工学	2	ー							○					1	講義	ー	A
	C0029000	Organic Materials Chemistry	2	ー							○					1	講義	ー	B
	C0030000	鉄鋼材料製造法	2	ー							△					1	講義	ー	A
	C0031000	生体有機材料	2	ー							△					1	講義	ー	B
	CD005000	現代生物学	2	ー							△					1	講義	ー	A
	CD006000	宇宙空間科学	2	ー							△					1	講義	ー	A
	C0032000	環境物質工学実験1	2	ー								◎				2	実験	ー	D,E
	C0033000	環境物質工学実験2	2	ー								◎				2	実験	ー	D,E
	C0034000	マテリアルインフォマティクス	2	ー								○				1	講義	ー	A
	C0035000	電子顕微鏡とナノサイエンス	2	ー								○				1	講義	ー	A
	C0036000	物性物理学	2	ー								○				1	講義	ー	A
	C0037000	Strength of Materials	2	ー								○				1	講義	ー	A
	C0038000	表界面の物理化学	2	ー								○				1	講義	ー	A
	C0039000	リサイクル工学	2	ー								○				1	講義	ー	B
	C0039750	Surface Treatment	2	ー								○				1	講義	ー	B
	C0041250	機器分析	2	ー								○				1	講義	ー	A
	C0042000	粉体成形	2	ー								△				1	講義	ー	A
	C0043000	生体金属材料	2	ー								△				1	講義	ー	B
	C0044000	卒業研究1	2	ー							◎	(◎)				1	卒研	ー	D,E
	C0045000	卒業研究2	2	ー							(◎)	◎				1	卒研	ー	D,E
	C0046000	卒業研究3	4	ー										◎	(◎)	2	卒研	ー	A,B,C,D,E
	C0047000	卒業研究4	4	ー										(◎)	◎	2	卒研	ー	A,B,C,D,E

授　業　科　目

工学部

共通専門科目【物質化学課程　環境・物質工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列 グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
共通専門	共通専門科目	EN830100	社会の中の工学	1	1	前期	◎	1	講義	B
	共通専門科目	EN830150	グローバルPBL（機械工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	C
	共通専門科目	EN830160	グローバルPBL（物質化学課程）	2	1	不定	△	2	演習	C
	共通専門科目	EN830170	グローバルPBL（電気電子工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	C
	共通専門科目	EN830180	グローバルPBL（情報・通信工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	C
	共通専門科目	EN830190	グローバルPBL（土木工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	C
	共通専門科目	EN830200	グローバルPBL（先進国際課程）	2	1	不定	△	2	演習	C
	共通専門科目	EN830110	工学研究探訪1	1	2	後期	◎	1	講義	B
	共通専門科目	EN830120	工学研究探訪2	1	2	後期	△	1	講義	B
	共通専門科目	EN830210	国際インターンシップ1	2	2	不定	△	2	演習	C
	共通専門科目	EN830220	国際インターンシップ2	2	2	不定	□	2	演習	ー
	共通専門科目	EN830130	学内研究留学1	2	3	後期	△	1	演習	E
	共通専門科目	EN830140	学内研究留学2	2	3	後期	△	1	演習	E

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【物質化学課程　環境・物質工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
数理基礎	数学科目	11731100	線形代数1	2	1	前期	△	1	講義	A
	数学科目	11731120	微分積分1	4	1	前期	△	2	講義	A
	数学科目	11731140	微分方程式	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	数学科目	11731150	確率と統計1	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	数学科目	11731110	線形代数2	2	1	後期	△	1	講義	A
	数学科目	11731130	微分積分2	4	1	後期	△	2	講義	A
	数学科目	11731160	確率と統計2	2	2	前期・後期	△	1	講義	A
	数学科目	11731170	関数論	2	2	前期・後期	△	1	講義	A
	数学科目	11731180	ベクトル解析	2	2	前期・後期	△	1	講義	A
	数学科目	11731190	フーリエ解析	2	2	前期・後期	△	1	講義	A
	物理学科目	11732100	物理学入門	4	1	前期	△	2	講義	A
	物理学科目	11732110	物理学実験	3	1	前期・後期	△	3	実験	E
	物理学科目	11732140	基礎力学および演習	4	1	後期	△	2	講義	A
	物理学科目	11732160	基礎電磁気学および演習	4	1	後期	△	2	講義	A
	物理学科目	11732180	基礎熱統計力学	2	2	前期	△	1	講義	A
	物理学科目	11732190	基礎熱統計力学演習	2	2	前期	△	1	演習	A
	物理学科目	11732200	相対論と量子論の基礎	2	2	後期	△	1	講義	A
	化学科目	11733110	基礎化学	2	1	前期	△	1	講義	A
	化学科目	11733120	化学実験	2	1	後期	◎	2	実験	E
	化学科目	11733140	基礎無機化学	2	1	後期	△	1	講義	A
	化学科目	11733150	基礎有機化学	2	1	後期	△	1	講義	A
	化学科目	11733160	基礎生物化学	2	1	後期	△	1	講義	A
	化学科目	11733170	基礎固体化学	2	1	後期	△	1	講義	A
英語	英語科目	11810100	Reading & Writing 1	2	1	前期	◎	1	講義	C
	英語科目	11810140	TOEIC	2	1	前期・後期	△	1	講義	C
	英語科目	11810120	Listening & Speaking 1	2	1	後期	◎	1	講義	C
	英語科目	11810130	Listening & Speaking 2	2	2	前期	△	1	講義	C
	英語科目	11810150	工学英語1	2	2	前期	△	1	講義	C
	英語科目	11810110	Reading & Writing 2	2	2	後期	△	1	講義	C
	英語科目	11810160	工学英語2	2	2	後期	△	1	講義	C
	英語科目	11810170	Academic English	2	3	前期・後期	△	1	講義	C
情報	情報科目	11750100	情報リテラシー	1	1	前期・後期	△	1	講義	A
	情報科目	11750110	情報処理概論	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	情報科目	11750120	Java入門	3	1	前期・後期	△	2	演習	A
	情報科目	11750130	C言語入門	3	1	前期・後期	△	2	演習	A
	情報科目	11750140	データサイエンス演習	2	1	前期・後期	△	1	演習	A
人文社会系教養	人文社会系教養科目	11760100	技術者の倫理	2	1	前期	◎	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760220	社会心理学	2	1	前期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760280	教育原論	2	1	前期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760110	生命倫理	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760120	人間社会と環境問題	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760140	経済学	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760150	現代の日本経済	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760160	現代日本の社会	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760170	福祉と技術	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760180	法学入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760190	日本国憲法	2	1	前期・後期	△	1	講義	D

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【物質化学課程　環境・物質工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
人文社会系教養	人文社会系教養科目	11760200	世界の言語と文化	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760210	文化人類学	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760230	認知心理学	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760240	レポートライティング	2	1	前期・後期	△	1	演習	D
	人文社会系教養科目	11760250	プレゼンテーション入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760260	自己表現とコミュニケーション	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760270	教育心理学	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760300	教育の近現代史	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760290	人間関係論	2	1	後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760320	生産と消費の環境論	2	2	前期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760310	地域と環境	2	2	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760330	情報技術と現代社会	2	2	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760340	地方自治論	2	2	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760360	地域と経済	2	3	前期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760390	地域社会学	2	3	前期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760350	哲学・倫理学	2	3	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760370	応用経済学	2	3	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760380	グローバリゼーション論	2	3	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760400	知的財産法	2	3	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760410	教育社会学	2	3	前期・後期	△	1	講義	D
体育健康	体育健康科目	11770100	スポーツ健康学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	体育健康科目	11770110	スポーツバイオメカニクス	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	体育健康科目	11770120	コンディショニング演習	2	1	前期・後期	△	1	演習	C
	体育健康科目	11772100	スポーツ科学実技1	1	1	前期・後期	◎	1	実技	C
	体育健康科目	11772110	スポーツ科学実技2	1	1	前期・後期	△	1	実技	C
	体育健康科目	11772120	スポーツ科学実技3	1	1	前期・後期	□	1	実技	ー
	体育健康科目	11772130	スポーツ科学実技4	1	1	前期・後期	□	1	実技	ー
共通教養	共通教養科目	11820110	データサイエンスリテラシー	1	1	前期・後期	△	1	講義	D
	共通教養科目	11820140	ダイバーシティ入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	共通教養科目	11820100	統計学基礎	1	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820120	芝浦工業大学通論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820130	技術経営入門	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820150	消費者行動論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820160	マーケティング概論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820170	デジタルプレゼンテーション	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
課程外		XX990100	海外語学演習1	2	1	不定	△	2	演習	C
		XX990110	海外語学演習2	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990120	海外語学演習3	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990130	海外語学演習4	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990140	海外語学演習1（短期）	1	1	不定	△	1	演習	C
		XX990150	海外語学演習2（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990160	海外語学演習3（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990170	海外語学演習4（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990900	学外英語検定	2	1	不定	△	1	その他	C
教職		Z1510100	教職論	2	1	前期・後期	△	1	講義	C
		Z1510240	情報機器の操作	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510120	教育課程論	2	2	前期・後期	△	1	講義	C
		Z1510130	道徳の理論及び指導法	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【物質化学課程　環境・物質工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
教職		Z1510160	教育の方法及び技術	1	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510170	教育におけるICT活用	1	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1512100	理科指導法1	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1512110	理科指導法2	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510150	特別活動の指導法	1	2	1Q・3Q	□	1	講義	ー
		Z1510140	総合的な学習の時間の指導法	1	2	2Q・4Q	□	1	講義	ー
		Z1510110	特別支援教育論	1	3	前期・後期	△	1	講義	C
		Z1510190	教育相談論	2	3	前期・後期	△	1	講義	C
		Z1510180	生徒・進路指導論	2	3	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1512120	理科指導法3	2	3	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1512130	理科指導法4	2	3	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510230	教職実践演習（中・高）	2	4	後期	□	1	演習	ー
		Z1510200	事前・事後指導	1	4	通年	□	1	講義	ー
		Z1510210	教育実習1	2	4	通年	□	2	実習	ー
		Z1510220	教育実習2	2	4	通年	□	2	実習	ー

授　業　科　目

工学部

専門科目【物質化学課程　化学・生命工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	科目コード	科目名	単位数	実施期	1年			2年			3年			4年		週コマ数	講義区分	選択必修グループ	学修・教育到達目標
					前期	後期	不定	前期	後期	不定	前期	後期	不定	前期	後期				
自コース専門	D0001000	工業化学概論	2	ー	◎											1	講義	ー	B,D
	D0002000	化学結合論	2	ー	○											1	講義	A	A
	D0003000	生物化学	2	ー	○											1	講義	B	A
	D0004000	物理化学1	2	ー	○											1	講義	C	A
	CD001000	生物化学実験	2	ー		◎										2	実験	ー	A,E
	D0005000	分析化学	2	ー		○										1	講義	B	A
	D0006000	有機化学	2	ー		○										1	講義	A	A
	D0007000	無機化学1	2	ー		○										1	講義	A	A
	D0008000	化学工学1	2	ー		○										1	講義	C	A
	CD002000	塗料・塗装工学概論	2	ー		△										1	講義	ー	B
	D0009000	分析化学実験	3	ー				◎								4	実験	ー	A,E
	D0010000	生物有機化学	2	ー				○								1	講義	B	A
	D0011000	物理化学2	2	ー				○								1	講義	C	A
	D0012000	化学工学2	2	ー				○								1	講義	C	A
	D0013000	有機反応論	2	ー				○								1	講義	A	A
	D0014000	物理化学実験	2	3Q					◎							4	実験	ー	A,E
	D0015000	化学工学実験	2	4Q					◎							4	実験	ー	A,E
	D0016000	応用生物化学	2	ー					○							1	講義	B	A
	D0017000	無機化学2	2	ー					○							1	講義	A	A
	D0018000	化学分光学	2	ー					△							1	講義	ー	A
	CD003000	環境物質基礎実験	2	ー					△							2	実験	ー	D,E
	CD004000	惑星科学	2	ー					△							1	講義	ー	A
	D0019000	有機化学実験	3	ー							◎					4	実験	ー	A,E
	D0019500	反応工学	2	ー							△					1	講義	ー	A
	D0021000	分離工学	2	ー							△					1	講義	ー	A
	D0022000	セラミックス化学	2	ー							△					1	講義	ー	A
	D0023000	電気化学	2	ー							△					1	講義	ー	A
	D0024000	有機構造決定法	2	ー							△					1	講義	ー	A
	D0025000	ケミカルバイオロジー基礎	2	ー							△					1	講義	ー	A
	D0026000	応用分析化学	2	ー							△					1	講義	ー	A
	D0026500	Applied Chemistry Laboratory	3	ー							△					2	実験	ー	A
	D0026875	Introduction to Chemical Spectroscopy	2	ー							△					1	講義	ー	A
	D0033500	Basic Thermodynamics for Chemists and Chemical Engineers	2	ー							△					1	講義	ー	A
	CD005000	現代生物学	2	ー							△					1	講義	ー	A
	CD006000	宇宙空間科学	2	ー							△					1	講義	ー	A
	D0027000	化学工業総論	2	ー								◎				1	講義	ー	B,D
	D0028000	無機物質化学	2	ー								△				1	講義	ー	A
	D0029000	地球科学	2	ー								△				1	講義	ー	A
	D0030000	生物無機化学	2	ー								△				1	講義	ー	A
	D0031000	応用物理化学	2	ー								△				1	講義	ー	A
	D0032000	有機合成化学	2	ー								△				1	講義	ー	A
	D0033000	高分子化学	2	ー								△				1	講義	ー	A
	D0033750	Foundations of Chemical Biology	2	ー								△				1	講義	ー	A
	D0026750	Introduction to Applied Chemistry	2	ー								△				1	講義	ー	A
	D0034000	卒業研究1	2	ー							◎	(◎)				1	卒研	ー	A,C,E
	D0035000	卒業研究2	2	ー							(◎)	◎				1	卒研	ー	A,C,E
	D0036000	卒業研究3	4	ー										◎	(◎)	2	卒研	ー	A,C,E
	D0037000	卒業研究4	4	ー										(◎)	◎	2	卒研	ー	A,C,E

授　業　科　目

工学部

共通専門科目【物質化学課程　化学・生命工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列 グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
共通専門	共通専門科目	EN830100	社会の中の工学	1	1	前期	◎	1	講義	B
	共通専門科目	EN830150	グローバルPBL（機械工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	C
	共通専門科目	EN830160	グローバルPBL（物質化学課程）	2	1	不定	△	2	演習	C
	共通専門科目	EN830170	グローバルPBL（電気電子工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	C
	共通専門科目	EN830180	グローバルPBL（情報・通信工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	C
	共通専門科目	EN830190	グローバルPBL（土木工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	C
	共通専門科目	EN830200	グローバルPBL（先進国際課程）	2	1	不定	△	2	演習	C
	共通専門科目	EN830110	工学研究探訪1	1	2	後期	◎	1	講義	B
	共通専門科目	EN830120	工学研究探訪2	1	2	後期	△	1	講義	B
	共通専門科目	EN830210	国際インターンシップ1	2	2	不定	△	2	演習	C
	共通専門科目	EN830220	国際インターンシップ2	2	2	不定	□	2	演習	ー
	共通専門科目	EN830130	学内研究留学1	2	3	後期	△	1	演習	E
	共通専門科目	EN830140	学内研究留学2	2	3	後期	△	1	演習	E

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【物質化学課程　化学・生命工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
数理基礎	数学科目	11731100	線形代数1	2	1	前期	△	1	講義	A
	数学科目	11731120	微分積分1	4	1	前期	△	2	講義	A
	数学科目	11731140	微分方程式	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	数学科目	11731150	確率と統計1	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	数学科目	11731110	線形代数2	2	1	後期	△	1	講義	A
	数学科目	11731130	微分積分2	4	1	後期	△	2	講義	A
	数学科目	11731160	確率と統計2	2	2	前期・後期	△	1	講義	A
	数学科目	11731170	関数論	2	2	前期・後期	△	1	講義	A
	数学科目	11731180	ベクトル解析	2	2	前期・後期	△	1	講義	A
	数学科目	11731190	フーリエ解析	2	2	前期・後期	△	1	講義	A
	物理学科目	11732100	物理学入門	4	1	前期	△	2	講義	A
	物理学科目	11732110	物理学実験	3	1	前期・後期	△	3	実験	E
	物理学科目	11732140	基礎力学および演習	4	1	後期	△	2	講義	A
	物理学科目	11732160	基礎電磁気学および演習	4	1	後期	△	2	講義	A
	物理学科目	11732180	基礎熱統計力学	2	2	前期	△	1	講義	A
	物理学科目	11732190	基礎熱統計力学演習	2	2	前期	△	1	演習	A
	物理学科目	11732200	相対論と量子論の基礎	2	2	後期	△	1	講義	A
	化学科目	11733120	化学実験	2	1	前期	◎	2	実験	E
英語	英語科目	11810100	Reading & Writing 1	2	1	前期	◎	1	講義	C
	英語科目	11810140	TOEIC	2	1	前期・後期	△	1	講義	C
	英語科目	11810120	Listening & Speaking 1	2	1	後期	◎	1	講義	C
	英語科目	11810130	Listening & Speaking 2	2	2	前期	△	1	講義	C
	英語科目	11810150	工学英語1	2	2	前期	△	1	講義	C
	英語科目	11810110	Reading & Writing 2	2	2	後期	△	1	講義	C
	英語科目	11810160	工学英語2	2	2	後期	△	1	講義	C
	英語科目	11810170	Academic English	2	3	前期・後期	△	1	講義	C
情報	情報科目	11750100	情報リテラシー	1	1	前期・後期	△	1	講義	A
	情報科目	11750110	情報処理概論	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	情報科目	11750120	Java入門	3	1	前期・後期	△	2	演習	A
	情報科目	11750130	C言語入門	3	1	前期・後期	△	2	演習	A
	情報科目	11750140	データサイエンス演習	2	1	前期・後期	△	1	演習	A
人文社会系教養	人文社会系教養科目	11760100	技術者の倫理	2	1	前期	◎	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760220	社会心理学	2	1	前期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760280	教育原論	2	1	前期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760110	生命倫理	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760120	人間社会と環境問題	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760140	経済学	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760150	現代の日本経済	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760160	現代日本の社会	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760170	福祉と技術	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760180	法学入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760190	日本国憲法	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760200	世界の言語と文化	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760210	文化人類学	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760230	認知心理学	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760240	レポートライティング	2	1	前期・後期	△	1	演習	D
	人文社会系教養科目	11760250	プレゼンテーション入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	D

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【物質化学課程　化学・生命工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
人文社会系教養	人文社会系教養科目	11760260	自己表現とコミュニケーション	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760270	教育心理学	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760300	教育の近現代史	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760290	人間関係論	2	1	後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760320	生産と消費の環境論	2	2	前期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760310	地域と環境	2	2	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760330	情報技術と現代社会	2	2	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760340	地方自治論	2	2	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760360	地域と経済	2	3	前期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760390	地域社会学	2	3	前期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760350	哲学・倫理学	2	3	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760370	応用経済学	2	3	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760380	グローバリゼーション論	2	3	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760400	知的財産法	2	3	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760410	教育社会学	2	3	前期・後期	△	1	講義	D
体育健康	体育健康科目	11770100	スポーツ健康学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	体育健康科目	11770110	スポーツバイオメカニクス	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	体育健康科目	11770120	コンディショニング演習	2	1	前期・後期	△	1	演習	C
	体育健康科目	11772100	スポーツ科学実技1	1	1	前期・後期	◎	1	実技	C
	体育健康科目	11772110	スポーツ科学実技2	1	1	前期・後期	△	1	実技	C
	体育健康科目	11772120	スポーツ科学実技3	1	1	前期・後期	□	1	実技	ー
	体育健康科目	11772130	スポーツ科学実技4	1	1	前期・後期	□	1	実技	ー
共通教養	共通教養科目	11820110	データサイエンスリテラシー	1	1	前期・後期	△	1	講義	D
	共通教養科目	11820140	ダイバーシティ入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	共通教養科目	11820100	統計学基礎	1	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820120	芝浦工業大学通論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820130	技術経営入門	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820150	消費者行動論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820160	マーケティング概論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820170	デジタルプレゼンテーション	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
課程外		XX990100	海外語学演習1	2	1	不定	△	2	演習	C
		XX990110	海外語学演習2	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990120	海外語学演習3	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990130	海外語学演習4	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990140	海外語学演習1（短期）	1	1	不定	△	1	演習	C
		XX990150	海外語学演習2（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990160	海外語学演習3（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990170	海外語学演習4（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990900	学外英語検定	2	1	不定	△	1	その他	C
教職		Z1510100	教職論	2	1	前期・後期	△	1	講義	C
		Z1510240	情報機器の操作	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510120	教育課程論	2	2	前期・後期	△	1	講義	C
		Z1510130	道徳の理論及び指導法	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510160	教育の方法及び技術	1	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510170	教育におけるICT活用	1	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1512100	理科指導法1	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1512110	理科指導法2	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510150	特別活動の指導法	1	2	1Q・3Q	□	1	講義	ー

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【物質化学課程　化学・生命工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
教職		Z1510140	総合的な学習の時間の指導法	1	2	2Q・4Q	□	1	講義	ー
		Z1510110	特別支援教育論	1	3	前期・後期	△	1	講義	C
		Z1510190	教育相談論	2	3	前期・後期	△	1	講義	C
		Z1510180	生徒・進路指導論	2	3	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1512120	理科指導法3	2	3	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1512130	理科指導法4	2	3	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510230	教職実践演習（中・高）	2	4	後期	□	1	演習	ー
		Z1510200	事前・事後指導	1	4	通年	□	1	講義	ー
		Z1510210	教育実習1	2	4	通年	□	2	実習	ー
		Z1510220	教育実習2	2	4	通年	□	2	実習	ー

工学部全課程共通

「教育の基礎的理解に関する科目等」

施行規則の科目区分	授業科目名	単位数	免許状要件	卒業要件
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	2	必修	選択
	教育の近現代史	2	選択	選択
	教職論	2	必修	選択
	教育社会学	2	必修	選択
	教育心理学	2	必修	選択
	特別支援教育論	1	必修	選択
	教育課程論	2	必修	選択
道徳、総合的な学習の時間の指導法及び生徒指導、教育相談などに関する科目	道徳の理論及び指導法	2	中学校：必修 高等学校：選択	自由
	総合的な学習の時間の指導法	1	必修	自由
	特別活動の指導法	1	必修	自由
	教育の方法及び技術	1	必修	自由
	教育におけるICT活用	1	必修	自由
	生徒・進路指導論	2	必修	自由
	教育相談論	2	必修	選択
教育実践に関する科目	事前・事後指導	1	必修	自由
	教育実習１	2	必修	自由
	教育実習２	2	中学校：必修 高等学校：選択	自由
	教職実践演習（中・高）	2	必修	自由

「大学が独自に設定する科目」

施行規則の科目区分	授業科目名	単位数	免許状要件	卒業要件
大学が独自に設定する科目	人間関係論	2	選択	選択

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

施行規則の科目区分	授業科目名	単位数	免許状要件	卒業要件	
日本国憲法	日本国憲法	2	必修	選択	
体育	スポーツ科学実技1	1	必修	必修	
	スポーツ科学実技2	1	選択必修	選択	この中から1単位以上選択必修
	コンディショニング演習	2	選択必修	選択	
	スポーツ健康学	2	選択必修	選択	
	スポーツバイオメカニクス	2	選択必修	選択	
外国語コミュニケーション	Reading & Writing 1	2	選択必修	必修	
	Listening & Speaking 1	2	選択必修	必修	
情報機器の操作	情報機器の操作	2	選択必修	自由	この中から2単位以上選択必修
	C言語入門	3	選択必修	コース別科目配当表参照	
	情報通信ソフトウェア演習A	1	選択必修	Fコース必修	
	情報通信ソフトウェア演習B	1	選択必修	Fコース必修	
	プログラミング入門１	2	選択必修	Lコース必修	
	土木情報処理	2	選択必修	Hコース必修	

物質化学課程

「教科及び教科の指導法に関する科目」

教科名『理科』

施行規則の科目区分	授業科目名	単位数	免許状要件	備考	
物理学	物理学入門	4	必修		
	熱力学	2	選択必修		いずれか１科目選択必修
	物理化学1	2	選択必修		
	結晶構造解析	2	選択		
	固体物理	2	選択		
	Semiconductor Materials	2	選択		
	電子顕微鏡とナノサイエンス	2	選択		
	物性物理学	2	選択		
	物理化学2	2	選択		
化学	無機材料	2	選択必修		いずれか１科目選択必修
	無機化学1	2	選択必修		
	有機材料	2	選択必修		いずれか１科目選択必修
	有機化学	2	選択必修		
	材料科学	2	選択		
	触媒化学	2	選択		
	Organic Materials Chemistry	2	選択		
	Phase Transitions in Materials	2	選択		
	環境と化学	2	選択		
	化学結合論	2	選択		
	分析化学	2	選択		
	有機反応論	2	選択		
	生物有機化学	2	選択		
	有機合成化学	2	選択		
	ケミカルバイオロジー基礎	2	選択		
	化学分光学	2	選択		
生物学	現代生物学	2	必修		
	生体材料化学	2	選択		
	生物化学	2	選択		
	応用生物化学	2	選択		
地学	地球科学	2	選択必修		いずれか１科目選択必修
	惑星科学	2	選択必修		
	リサイクル工学	2	選択		
	宇宙空間科学	2	選択		
物理学実験・化学実験・生物学実験・地学実験	環境物質科学実験1	2	選択必修	物理学実験	中学校： いずれか１科目選択必修
	化学工学実験	2	選択必修	物理学実験	
	物理化学実験	2	選択必修	物理学実験	
	環境物質工学実験1	2	必修	化学実験	中学校： いずれか１科目選択必修
	有機化学実験	3	必修	化学実験	
	生物化学実験	2	中学校：必修 高等学校：選択	生物学実験	中学校：「物理学実験」「化学実験」「生物学実験」「地学実験」 各区分1科目以上必修 高等学校：科目区分「物理学実験・化学実験・生物学実験・地学実験」 の中から1科目選択必修
	環境物質基礎実験	2	中学校：必修 高等学校：選択	地学実験	
各教科の指導法	理科指導法1	2	必修		
	理科指導法2	2	必修		
	理科指導法3	2	中学校：必修 高等学校：選択		
	理科指導法4	2	中学校：必修 高等学校：選択		

授　業　科　目

工学部

専門科目【電気電子工学課程　電気・ロボット工学コース】

系列	科目コード	科目名	単位数	実施期	1年			2年			3年			4年		週コマ数	講義区分	選択必修グループ	学修・教育到達目標
					前期	後期	不定	前期	後期	不定	前期	後期	不定	前期	後期				
自コース専門	E0001000	電気回路1A	2	1Q	◎											2	講義	ー	D
	E0002000	電気回路1B	2	2Q	◎											2	講義	ー	D
	E0003000	電気磁気学1A	2	3Q		◎										2	講義	ー	D
	E0004000	電気磁気学1B	2	4Q		◎										2	講義	ー	D
	E0005000	電気回路2A	2	3Q		○										2	講義	ー	D
	E0006000	電気回路2B	2	4Q		○										2	講義	ー	D
	E0007000	製作実験	2	ー		○										2	実験	ー	E
	E0044000	電気･ロボット工学国際インターンシップA	2	ー			○									2	実習	ー	D,F
	E0045000	電気･ロボット工学国際インターンシップB	2	ー			○									2	実習	ー	D,F
	E0008000	基礎実験1	1	ー				◎								2	実験	ー	B,D,F,H,I
	E0009000	電気磁気学2A	2	1Q				○								2	講義	ー	D
	E0010000	電気磁気学2B	2	2Q				○								2	講義	ー	D
	E0011000	電気回路3A	2	1Q				○								2	講義	ー	D
	E0012000	電気回路3B	2	2Q				○								2	講義	ー	D
	E0013000	アナログ電子回路	2	ー				○								1	講義	ー	D
	E0014000	ディジタル回路	2	ー				○								1	講義	ー	D
	E0015000	基礎実験2	3	ー					◎							3	実験	ー	B,D,F,H,I
	E0016000	電気･ロボット工学研究概論	1	ー					◎							1	講義	ー	D
	E0017000	電気磁気学3A	2	3Q					○							2	講義	ー	D
	E0018000	電気磁気学3B	2	4Q					○							2	講義	ー	D
	E0019000	電子基礎物理	2	ー					○							1	講義	ー	D
	E0020000	電気計測	2	ー					○							1	講義	ー	D
	E0021000	応用実験1	2	ー							◎					4	実験	ー	B,D,F,H,I
	E0022000	電気工学技術英語	2	1Q・2Q							◎					2	講義	ー	F
	E0023000	Introduction of Electrical Engineering Research	2	1Q							△					2	講義	ー	D
	E0024000	マイクロコンピュータ	2	1Q							△					2	講義	ー	D
	E0025000	電気機器学	2	1Q							△					2	講義	ー	D
	E0026000	電力系統工学	2	1Q							△					2	講義	ー	D
	E0027000	制御工学	2	2Q							△					2	講義	ー	D
	E0028000	Applied Mathematics	2	2Q							△					2	講義	ー	D
	E0029000	パワーエレクトロニクス	2	2Q							△					2	講義	ー	D
	EG001000	電子物性	2	1Q							△					2	講義	ー	D
	E0030000	応用実験2	2	ー								◎				4	実験	ー	B,D,F,H,I
	E0031000	電気材料	2	3Q								△				2	講義	ー	D
	E0032000	電動機制御	2	3Q								△				2	講義	ー	D
	E0033000	Mechatronics	2	3Q								△				2	講義	ー	D
	E0034000	ロボティクス	2	3Q								△				2	講義	ー	D
	E0035000	ディジタル信号処理	2	3Q								△				2	講義	ー	D
	E0036000	現代制御	2	3Q								△				2	講義	ー	D
	E0037000	発変電工学	2	4Q								△				2	講義	ー	D
	E0038000	電気応用	2	4Q								△				2	講義	ー	D
	EG003000	電子デバイス	2	4Q								△				2	講義	ー	D
	E0039000	電気法規	2	1Q										△		2	講義	ー	D
	E0040000	高電圧工学	2	2Q										△		2	講義	ー	D
	E0041000	Electric Railway	2	2Q										△		2	講義	ー	D
	E0042000	電気機器設計製図	2	ー										△		2	講義	ー	D
	E0043000	電力情報システム設計	2	ー										△		2	講義	ー	D
	EG002000	電波工学	2	ー										△		1	講義	ー	D
	EG005000	電波法規	2	ー										△		1	講義	ー	D
	EG004000	無線機器	2	ー											△	1	講義	ー	D
	E0046000	卒業研究1	2	ー							◎	(◎)				1	卒研	ー	B,E,G
	E0047000	卒業研究2	2	ー							(◎)	◎				1	卒研	ー	B,E,G
	E0048000	卒業研究3	4	ー										◎	(◎)	2	卒研	ー	B,E,G
	E0049000	卒業研究4	4	ー										(◎)	◎	2	卒研	ー	B,E,G

授　業　科　目

工学部

共通専門科目【電気電子工学課程　電気・ロボット工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列 グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
共通専門	共通専門科目	EN830100	社会の中の工学	1	1	前期	◎	1	講義	D
	共通専門科目	EN830150	グローバルPBL（機械工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830160	グローバルPBL（物質化学課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830170	グローバルPBL（電気電子工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830180	グローバルPBL（情報・通信工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830190	グローバルPBL（土木工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830200	グローバルPBL（先進国際課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830110	工学研究探訪1	1	2	後期	◎	1	講義	D
	共通専門科目	EN830120	工学研究探訪2	1	2	後期	△	1	講義	D
	共通専門科目	EN830210	国際インターンシップ1	2	2	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830220	国際インターンシップ2	2	2	不定	□	2	演習	ー
	共通専門科目	EN830130	学内研究留学1	2	3	後期	△	1	演習	E
	共通専門科目	EN830140	学内研究留学2	2	3	後期	△	1	演習	E

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【電気電子工学課程　電気・ロボット工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
数理基礎	数学科目	11731100	線形代数1	2	1	前期	◎	1	講義	C
	数学科目	11731120	微分積分1	4	1	前期	◎	2	講義	C
	数学科目	11731150	確率と統計1	2	1	前期・後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731110	線形代数2	2	1	後期	◎	1	講義	C
	数学科目	11731130	微分積分2	4	1	後期	◎	2	講義	C
	数学科目	11731140	微分方程式	2	2	前期	◎	1	講義	C
	数学科目	11731160	確率と統計2	2	2	前期・後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731170	関数論	2	2	前期・後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731180	ベクトル解析	2	2	前期・後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731190	フーリエ解析	2	2	前期・後期	△	1	講義	C
	物理学科目	11732100	物理学入門	4	1	前期	○	2	講義	C
	物理学科目	11732170	基礎熱力学	2	1	後期	○	1	講義	C
	物理学科目	11732140	基礎力学および演習	4	1	後期	△	2	講義	C
	物理学科目	11732180	基礎熱統計力学	2	2	前期	△	1	講義	C
	物理学科目	11732190	基礎熱統計力学演習	2	2	前期	△	1	演習	C
	物理学科目	11732200	相対論と量子論の基礎	2	2	後期	△	1	講義	C
	化学科目	11733110	基礎化学	2	1	前期	○	1	講義	C
	化学科目	11733120	化学実験	2	1	前期・後期	△	2	実験	C
	化学科目	11733140	基礎無機化学	2	1	後期	△	1	講義	C
	化学科目	11733150	基礎有機化学	2	1	後期	△	1	講義	C
	化学科目	11733160	基礎生物化学	2	1	後期	△	1	講義	C
	化学科目	11733170	基礎固体化学	2	1	後期	△	1	講義	C
英語	英語科目	11810100	Reading & Writing 1	2	1	前期	◎	1	講義	F
	英語科目	11810140	TOEIC	2	1	前期・後期	△	1	講義	F
	英語科目	11810120	Listening & Speaking 1	2	1	後期	◎	1	講義	F
	英語科目	11810130	Listening & Speaking 2	2	2	前期	△	1	講義	F
	英語科目	11810150	工学英語1	2	2	前期	△	1	講義	F
	英語科目	11810110	Reading & Writing 2	2	2	後期	△	1	講義	F
	英語科目	11810160	工学英語2	2	2	後期	△	1	講義	F
	英語科目	11810170	Academic English	2	3	前期・後期	△	1	講義	F
情報	情報科目	11750100	情報リテラシー	1	1	前期・後期	△	1	講義	C
	情報科目	11750110	情報処理概論	2	1	前期・後期	△	1	講義	C
	情報科目	11750120	Java入門	3	1	前期・後期	△	2	演習	C
	情報科目	11750140	データサイエンス演習	2	1	前期・後期	□	1	演習	ー
	情報科目	11750130	C言語入門	3	2	前期	◎	2	演習	C
	情報科目	11750150	データサイエンス	3	2	後期	◎	2	演習	C
人文社会系教養	人文社会系教養科目	11760220	社会心理学	2	1	前期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760280	教育原論	2	1	前期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760110	生命倫理	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760140	経済学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760150	現代の日本経済	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760160	現代日本の社会	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760170	福祉と技術	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760180	法学入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760190	日本国憲法	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760200	世界の言語と文化	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760210	文化人類学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760230	認知心理学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760240	レポートライティング	2	1	前期・後期	△	1	演習	F
	人文社会系教養科目	11760250	プレゼンテーション入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	F

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【電気電子工学課程　電気・ロボット工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
人文社会系教養	人文社会系教養科目	11760260	自己表現とコミュニケーション	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760270	教育心理学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760300	教育の近現代史	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760100	技術者の倫理	2	1	後期	◎	1	講義	B
	人文社会系教養科目	11760120	人間社会と環境問題	2	1	後期	◎	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760290	人間関係論	2	1	後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760320	生産と消費の環境論	2	2	前期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760310	地域と環境	2	2	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760330	情報技術と現代社会	2	2	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760340	地方自治論	2	2	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760360	地域と経済	2	3	前期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760390	地域社会学	2	3	前期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760350	哲学・倫理学	2	3	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760370	応用経済学	2	3	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760380	グローバリゼーション論	2	3	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760400	知的財産法	2	3	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760410	教育社会学	2	3	前期・後期	△	1	講義	A
体育健康	体育健康科目	11770100	スポーツ健康学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	体育健康科目	11770110	スポーツバイオメカニクス	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	体育健康科目	11770120	コンディショニング演習	2	1	前期・後期	△	1	演習	A
	体育健康科目	11772100	スポーツ科学実技1	1	1	前期・後期	◎	1	実技	A
	体育健康科目	11772110	スポーツ科学実技2	1	1	前期・後期	△	1	実技	A
	体育健康科目	11772120	スポーツ科学実技3	1	1	前期・後期	□	1	実技	ー
	体育健康科目	11772130	スポーツ科学実技4	1	1	前期・後期	□	1	実技	ー
共通教養	共通教養科目	11820110	データサイエンスリテラシー	1	1	前期・後期	△	1	講義	A
	共通教養科目	11820140	ダイバーシティ入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	共通教養科目	11820100	統計学基礎	1	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820120	芝浦工業大学通論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820130	技術経営入門	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820150	消費者行動論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820160	マーケティング概論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820170	デジタルプレゼンテーション	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
課程外		XX990100	海外語学演習1	2	1	不定	△	2	演習	F
		XX990110	海外語学演習2	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990120	海外語学演習3	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990130	海外語学演習4	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990140	海外語学演習1（短期）	1	1	不定	△	1	演習	F
		XX990150	海外語学演習2（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990160	海外語学演習3（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990170	海外語学演習4（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990900	学外英語検定	2	1	不定	△	1	その他	F
教職		Z1510100	教職論	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
		Z1510240	情報機器の操作	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511110	幾何学A	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510120	教育課程論	2	2	前期・後期	△	1	講義	A
		Z1510130	道徳の理論及び指導法	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510160	教育の方法及び技術	1	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510170	教育におけるICT活用	1	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511100	代数学概論	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511120	幾何学B	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【電気電子工学課程　電気・ロボット工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
教職		Z1511130	解析学概論	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511140	数学科指導法1	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511150	数学科指導法2	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510150	特別活動の指導法	1	2	1Q・3Q	□	1	講義	ー
		Z1510140	総合的な学習の時間の指導法	1	2	2Q・4Q	□	1	講義	ー
		Z1510110	特別支援教育論	1	3	前期・後期	△	1	講義	A
		Z1510190	教育相談論	2	3	前期・後期	△	1	講義	A
		Z1510180	生徒・進路指導論	2	3	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511160	数学科指導法3	2	3	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511170	数学科指導法4	2	3	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510230	教職実践演習（中・高）	2	4	後期	□	1	演習	ー
		Z1510200	事前・事後指導	1	4	通年	□	1	講義	ー
		Z1510210	教育実習1	2	4	通年	□	2	実習	ー
		Z1510220	教育実習2	2	4	通年	□	2	実習	ー

授　業　科　目

工学部

専門科目【電気電子工学課程　先端電子工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	科目コード	科目名	単位数	実施期	1年			2年			3年			4年		週コマ数	講義区分	選択必修グループ	学修・教育到達目標
					前期	後期	不定	前期	後期	不定	前期	後期	不定	前期	後期				
自コース専門	G0001000	電気数学1	2	ー	◎											1	講義	ー	C
	G0002000	電気回路1	2	ー	◎											1	講義	ー	D
	G0003000	電子工学一般	2	ー	○											1	講義	ー	G
	G0004000	電気数学2	2	ー		◎										1	講義	ー	C
	G0005000	電気回路2	2	ー		◎										1	講義	ー	D
	G0006000	電磁気学1	2	ー		◎										1	講義	ー	D
	G0007000	ものつくり入門	2	ー		○										1	講義	ー	G
	G0039000	電子工学国際インターンシップ4	2	ー			△									2	実習	ー	E,H
	G0040000	電子工学国際インターンシップ5	2	ー			△									2	実習	ー	E,H
	G0008000	電気回路3	2	ー				◎								1	講義	ー	D
	G0009000	電磁気学2	2	ー				◎								1	講義	ー	D
	G0010000	アナログ電子回路1	2	ー				○								1	講義	ー	D
	G0011000	電子材料基礎	2	ー				○								1	講義	ー	D
	G0012000	電子工学製作実習	2	ー				○								2	実習	ー	E,H
	G0013000	電磁気学3	2	ー					◎							1	講義	ー	D
	G0014000	電子工学基礎実験	2	ー					◎							2	実験	ー	B,F,H
	G0015000	先端技術1	2	ー					◎							1	講義	ー	G
	G0016000	電気回路総合	2	ー					○							1	講義	ー	D
	G0017000	電磁気学総合	2	ー					○							1	講義	ー	D
	G0018000	アナログ電子回路2	2	ー					○							1	講義	ー	D
	G0019000	ディジタル電子回路	2	ー					○							1	講義	ー	D
	G0020000	電子物性基礎	2	ー					○							1	講義	ー	D
	G0036000	電子工学国際インターンシップ1	2	ー						△						2	実習	ー	E,H
	G0041000	電子工学国際インターンシップ6	2	ー						△						2	実習	ー	E,H
	G0042000	電子工学国際インターンシップ7	2	ー						△						2	実習	ー	E,H
	G0021000	電子工学倫理	2	ー							◎					1	講義	ー	B
	G0022000	電子制御工学	2	ー							○					1	講義	ー	D
	G0023000	電子材料	2	ー							○					1	講義	ー	D
	G0024000	半導体工学	2	ー							○					1	講義	ー	D
	G0025000	光エレクトロニクス	2	ー							○					1	講義	ー	D
	G0026000	情報理論	2	ー							○					1	講義	ー	C
	G0027000	信号処理回路	2	ー							○					1	講義	ー	D
	G0028000	情報伝送回路	2	ー							○					1	講義	ー	D
	G0029000	信頼性品質工学	2	ー							○					1	講義	ー	D
	G0030000	先端技術2	2	ー							○					1	講義	ー	G
	EG001000	電子物性	2	ー							○					1	講義	ー	D
	EG002000	電波工学	2	ー							△					1	講義	ー	D
	G0031000	電子材料評価論	2	ー								○				1	講義	ー	D
	G0032000	集積回路工学	2	ー								○				1	講義	ー	D
	G0033000	音響システム	2	ー								○				1	講義	ー	D
	G0034000	メディカルエレクトロニクス	2	ー								○				1	講義	ー	D
	EG003000	電子デバイス	2	ー								○				1	講義	ー	D
	EG004000	無線機器	2	ー								○				1	講義	ー	D
	G0037000	電子工学国際インターンシップ2	2	ー									△			2	実習	ー	E,H
	G0038000	電子工学国際インターンシップ3	2	ー									△			2	実習	ー	E,H
	EG005000	電波法規	2	ー										△		1	講義	ー	D
	G0035000	通信法令	2	ー											△	1	講義	ー	D
	G0043000	卒業研究1	2	ー							◎	(◎)				1	卒研	ー	B,E,F
	G0044000	卒業研究2	2	ー							(◎)	◎				1	卒研	ー	B,E,F
	G0045000	卒業研究3	4	ー										◎	(◎)	2	卒研	ー	B,E,F
	G0046000	卒業研究4	4	ー										(◎)	◎	2	卒研	ー	B,E,F

授　業　科　目

工学部

共通専門科目【電気電子工学課程　先端電子工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列 グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
共通専門	共通専門科目	EN830100	社会の中の工学	1	1	前期	◎	1	講義	E
	共通専門科目	EN830150	グローバルPBL（機械工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830160	グローバルPBL（物質化学課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830170	グローバルPBL（電気電子工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830180	グローバルPBL（情報・通信工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830190	グローバルPBL（土木工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830200	グローバルPBL（先進国際課程）	2	1	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830110	工学研究探訪1	1	2	後期	◎	1	講義	E
	共通専門科目	EN830120	工学研究探訪2	1	2	後期	△	1	講義	E
	共通専門科目	EN830210	国際インターンシップ1	2	2	不定	△	2	演習	A
	共通専門科目	EN830220	国際インターンシップ2	2	2	不定	□	2	演習	ー
	共通専門科目	EN830130	学内研究留学1	2	3	後期	△	1	演習	E
	共通専門科目	EN830140	学内研究留学2	2	3	後期	△	1	演習	E

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【電気電子工学課程　先端電子工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
数理基礎	数学科目	11731100	線形代数1	2	1	前期	△	1	講義	C
	数学科目	11731120	微分積分1	4	1	前期	△	2	講義	C
	数学科目	11731140	微分方程式	2	1	前期・後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731150	確率と統計1	2	1	前期・後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731110	線形代数2	2	1	後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731130	微分積分2	4	1	後期	△	2	講義	C
	数学科目	11731160	確率と統計2	2	2	前期・後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731170	関数論	2	2	前期・後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731180	ベクトル解析	2	2	前期・後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731190	フーリエ解析	2	2	前期・後期	△	1	講義	C
	物理学科目	11732100	物理学入門	4	1	前期	△	2	講義	C
	物理学科目	11732140	基礎力学および演習	4	1	後期	△	2	講義	C
	物理学科目	11732110	物理学実験	3	2	前期	◎	3	実験	C
	物理学科目	11732180	基礎熱統計力学	2	2	前期	△	1	講義	C
	物理学科目	11732190	基礎熱統計力学演習	2	2	前期	△	1	演習	C
	物理学科目	11732200	相対論と量子論の基礎	2	2	後期	△	1	講義	C
	化学科目	11733110	基礎化学	2	1	前期	△	1	講義	C
	化学科目	11733120	化学実験	2	1	後期	◎	2	実験	C
	化学科目	11733140	基礎無機化学	2	1	後期	△	1	講義	C
	化学科目	11733150	基礎有機化学	2	1	後期	△	1	講義	C
	化学科目	11733160	基礎生物化学	2	1	後期	△	1	講義	C
	化学科目	11733170	基礎固体化学	2	1	後期	△	1	講義	C
英語	英語科目	11810100	Reading & Writing 1	2	1	前期	◎	1	講義	A
	英語科目	11810140	TOEIC	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	英語科目	11810120	Listening & Speaking 1	2	1	後期	◎	1	講義	A
	英語科目	11810130	Listening & Speaking 2	2	2	前期	△	1	講義	A
	英語科目	11810150	工学英語1	2	2	前期	△	1	講義	A
	英語科目	11810110	Reading & Writing 2	2	2	後期	△	1	講義	A
	英語科目	11810160	工学英語2	2	2	後期	△	1	講義	A
	英語科目	11810170	Academic English	2	3	前期・後期	△	1	講義	A
情報	情報科目	11750100	情報リテラシー	1	1	前期・後期	△	1	講義	C
	情報科目	11750110	情報処理概論	2	1	前期・後期	△	1	講義	C
	情報科目	11750120	Java入門	3	1	前期・後期	△	2	演習	C
	情報科目	11750130	C言語入門	3	1	前期・後期	△	2	演習	C
	情報科目	11750140	データサイエンス演習	2	1	前期・後期	△	1	演習	C
人文社会系教養	人文社会系教養科目	11760220	社会心理学	2	1	前期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760280	教育原論	2	1	前期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760100	技術者の倫理	2	1	前期・後期	△	1	講義	B
	人文社会系教養科目	11760110	生命倫理	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760120	人間社会と環境問題	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760140	経済学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760150	現代の日本経済	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760160	現代日本の社会	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760170	福祉と技術	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760180	法学入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760190	日本国憲法	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760200	世界の言語と文化	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760210	文化人類学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760230	認知心理学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760240	レポートライティング	2	1	前期・後期	△	1	演習	A

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【電気電子工学課程　先端電子工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
人文社会系教養	人文社会系教養科目	11760250	プレゼンテーション入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760260	自己表現とコミュニケーション	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760270	教育心理学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760300	教育の近現代史	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760290	人間関係論	2	1	後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760320	生産と消費の環境論	2	2	前期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760310	地域と環境	2	2	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760330	情報技術と現代社会	2	2	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760340	地方自治論	2	2	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760360	地域と経済	2	3	前期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760390	地域社会学	2	3	前期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760350	哲学・倫理学	2	3	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760370	応用経済学	2	3	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760380	グローバリゼーション論	2	3	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760400	知的財産法	2	3	前期・後期	△	1	講義	A
	人文社会系教養科目	11760410	教育社会学	2	3	前期・後期	△	1	講義	A
体育健康	体育健康科目	11770100	スポーツ健康学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	体育健康科目	11770110	スポーツバイオメカニクス	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	体育健康科目	11770120	コンディショニング演習	2	1	前期・後期	△	1	演習	A
	体育健康科目	11772100	スポーツ科学実技1	1	1	前期・後期	◎	1	実技	A
	体育健康科目	11772110	スポーツ科学実技2	1	1	前期・後期	△	1	実技	A
	体育健康科目	11772120	スポーツ科学実技3	1	1	前期・後期	□	1	実技	ー
	体育健康科目	11772130	スポーツ科学実技4	1	1	前期・後期	□	1	実技	ー
共通教養	共通教養科目	11820110	データサイエンスリテラシー	1	1	前期・後期	△	1	講義	A
	共通教養科目	11820140	ダイバーシティ入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	共通教養科目	11820100	統計学基礎	1	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820120	芝浦工業大学通論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820130	技術経営入門	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820150	消費者行動論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820160	マーケティング概論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820170	デジタルプレゼンテーション	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
課程外		XX990100	海外語学演習1	2	1	不定	△	2	演習	A
		XX990110	海外語学演習2	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990120	海外語学演習3	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990130	海外語学演習4	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990140	海外語学演習1（短期）	1	1	不定	△	1	演習	A
		XX990150	海外語学演習2（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990160	海外語学演習3（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990170	海外語学演習4（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990900	学外英語検定	2	1	不定	△	1	その他	A
教職		Z1510100	教職論	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
		Z1510240	情報機器の操作	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511110	幾何学A	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510120	教育課程論	2	2	前期・後期	△	1	講義	A
		Z1510130	道徳の理論及び指導法	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510160	教育の方法及び技術	1	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510170	教育におけるICT活用	1	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511100	代数学概論	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511120	幾何学B	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511130	解析学概論	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【電気電子工学課程　先端電子工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
教職		Z1511140	数学科指導法1	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511150	数学科指導法2	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510150	特別活動の指導法	1	2	1Q・3Q	□	1	講義	ー
		Z1510140	総合的な学習の時間の指導法	1	2	2Q・4Q	□	1	講義	ー
		Z1510110	特別支援教育論	1	3	前期・後期	△	1	講義	A
		Z1510190	教育相談論	2	3	前期・後期	△	1	講義	A
		Z1510180	生徒・進路指導論	2	3	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511160	数学科指導法3	2	3	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511170	数学科指導法4	2	3	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510230	教職実践演習（中・高）	2	4	後期	□	1	演習	ー
		Z1510200	事前・事後指導	1	4	通年	□	1	講義	ー
		Z1510210	教育実習1	2	4	通年	□	2	実習	ー
		Z1510220	教育実習2	2	4	通年	□	2	実習	ー

工学部全課程共通

「教育の基礎的理解に関する科目等」

施行規則の科目区分	授業科目名	単位数	免許状要件	卒業要件
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	2	必修	選択
	教育の近現代史	2	選択	選択
	教職論	2	必修	選択
	教育社会学	2	必修	選択
	教育心理学	2	必修	選択
	特別支援教育論	1	必修	選択
	教育課程論	2	必修	選択
道徳、総合的な学習の時間の指導法及び生徒指導、教育相談などに関する科目	道徳の理論及び指導法	2	中学校：必修 高等学校：選択	自由
	総合的な学習の時間の指導法	1	必修	自由
	特別活動の指導法	1	必修	自由
	教育の方法及び技術	1	必修	自由
	教育におけるICT活用	1	必修	自由
	生徒・進路指導論	2	必修	自由
	教育相談論	2	必修	選択
教育実践に関する科目	事前・事後指導	1	必修	自由
	教育実習１	2	必修	自由
	教育実習２	2	中学校：必修 高等学校：選択	自由
	教職実践演習（中・高）	2	必修	自由

「大学が独自に設定する科目」

施行規則の科目区分	授業科目名	単位数	免許状要件	卒業要件
大学が独自に設定する科目	人間関係論	2	選択	選択

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

施行規則の科目区分	授業科目名	単位数	免許状要件	卒業要件	
日本国憲法	日本国憲法	2	必修	選択	
体育	スポーツ科学実技1	1	必修	必修	
	スポーツ科学実技2	1	選択必修	選択	この中から1単位以上選択必修
	コンディショニング演習	2	選択必修	選択	
	スポーツ健康学	2	選択必修	選択	
	スポーツバイオメカニクス	2	選択必修	選択	
外国語コミュニケーション	Reading & Writing 1	2	選択必修	必修	
	Listening & Speaking 1	2	選択必修	必修	
情報機器の操作	情報機器の操作	2	選択必修	自由	この中から2単位以上選択必修
	C言語入門	3	選択必修	コース別科目配当表参照	
	情報通信ソフトウェア演習A	1	選択必修	Fコース必修	
	情報通信ソフトウェア演習B	1	選択必修	Fコース必修	
	プログラミング入門１	2	選択必修	Lコース必修	
	土木情報処理	2	選択必修	Hコース必修	

電気電子工学課程

「教科及び教科の指導法に関する科目」

教科名『数学』

施行規則の科目区分	授業科目名	単位数	免許状要件	
代数学	代数学概論	2	必修	
幾何学	幾何学A	2	必修	
	幾何学B	2	選択	
解析学	解析学概論	2	必修	
	Applied Mathematics	2	選択必修	この中から6単位以上選択必修
	制御工学	2	選択必修	
	電動機制御	2	選択必修	
	ディジタル信号処理	2	選択必修	
	現代制御	2	選択必修	
	電気計測	2	選択必修	
	電気数学1	2	選択必修	
	電気数学2	2	選択必修	
	電子制御工学	2	選択必修	
確率論、統計学	確率と統計1	2	必修	
コンピュータ	情報処理概論	2	必修	
	マイクロコンピュータ	2	選択必修	この中から4単位以上選択必修
	製作実験	2	選択必修	
	ロボティクス	2	選択必修	
	Mechatronics	2	選択必修	
	情報理論	2	選択必修	
	信号処理回路	2	選択必修	
	電子工学製作実習	2	選択必修	
各教科の指導法	数学科指導法1	2	必修	
	数学科指導法2	2	必修	
	数学科指導法3	2	中学校：必修 高等学校：選択	
	数学科指導法4	2	中学校：必修 高等学校：選択	

授　業　科　目

工学部

専門科目【情報・通信工学課程　情報通信コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	科目コード	科目名	単位数	実施期	1年			2年			3年			4年		週コマ数	講義区分	選択必修グループ	学修・教育到達目標
					前期	後期	不定	前期	後期	不定	前期	後期	不定	前期	後期				
自コース専門	F0001000	情報通信ソフトウェア演習A	1	1Q・2Q	◎											2	演習	ー	A-4,B-1,B-2
	F0002000	情報通信ハードウェア実験A	1	1Q・2Q	◎											2	実験	ー	A-4,B-1,B-2,G
	F0003000	情報処理入門	2	ー	△											1	講義	ー	A-3
	F0004000	情報処理基礎	2	ー	△											1	講義	ー	A-4
	F0005000	情報通信ソフトウェア演習B	1	3Q・4Q		◎										2	演習	ー	A-4,B-1,B-2
	F0006000	情報通信ハードウェア実験B	1	3Q・4Q		◎										2	実験	ー	A-4,B-1,B-2,G
	F0007000	電気回路基礎	2	ー		△										1	講義	ー	B-1
	F0008000	論理設計	2	ー		△										1	講義	ー	B-1
	F0044000	情報通信工学実習	1	ー			△									1	実習	ー	F
	F0009000	情報通信ソフトウェア演習C	1	1Q・2Q				◎								2	演習	ー	A-4,B-1,B-2
	F0010000	情報通信ハードウェア実験C	1	1Q・2Q				◎								2	実験	ー	A-4,B-1,B-2,G
	F0011000	電磁気学1	4	ー				△								2	講義	ー	B-1
	F0013000	回路の過渡現象	2	ー				△								1	講義	ー	B-1
	F0014000	情報通信数学	2	ー				△								1	講義	ー	A-3
	F0015000	通信計測	2	ー				△								1	講義	ー	B-1
	F0016000	情報通信ネットワーク	2	ー				△								1	講義	ー	B-3
	F0017000	情報通信ソフトウェア演習D	1	3Q・4Q					◎							2	演習	ー	A-4,B-1,B-2
	F0018000	情報通信ハードウェア実験D	1	3Q・4Q					◎							2	実験	ー	A-4,B-1,B-2,G
	F0019000	情報理論	2	ー					△							1	講義	ー	B-1
	F0020000	情報処理1	2	ー					△							1	演習	ー	A-4
	F0021000	回路設計演習	2	ー					△							1	演習	ー	B-3
	F0022000	ネットワーク理論	2	ー					△							1	講義	ー	B-3
	F0023000	情報通信工学概論	2	ー					△							1	講義	ー	C-1,C-2
	F0012000	電子回路	2	ー					△							1	講義	ー	B-1
	F0024000	情報通信応用実験A	3	ー							◎					2	実験	ー	B-2,B-3,G
	F0025000	電磁気学2	2	ー							△					1	講義	ー	B-1
	F0026000	通信方式	2	ー							△					1	講義	ー	B-3
	F0027000	メディア情報工学	2	ー							△					1	講義	ー	B-3
	F0028000	電波工学1	2	ー							△					1	講義	ー	B-3
	F0029000	電波法規	2	ー							△					1	講義	ー	B-3
	F0030000	情報処理2	2	ー							△					1	演習	ー	B-3
	F0031000	情報通信特論1	1	ー							△					1	講義	ー	B-3
	F0032000	音響工学	2	ー							△					1	講義	ー	B-3
	FL001000	データベース	2	ー							△					1	講義	ー	A-4
	FL002000	移動通信工学	2	ー							△					1	講義	ー	B-3
	FL003000	情報通信技術英語	2	ー							△					1	講義	ー	D-2
	FL004000	光通信工学	2	ー							△					1	講義	ー	B-3
	F0033000	情報通信応用実験B	3	ー								◎				2	実験	ー	B-2,B-3,G
	F0034000	ディジタル信号処理	2	ー								△				1	講義	ー	B-3
	F0035000	マイクロ波工学	2	ー								△				1	講義	ー	B-3
	F0036000	無線機器	2	ー								△				1	講義	ー	B-3
	F0037000	電波工学2	2	ー								△				1	講義	ー	B-3
	F0038000	宇宙通信工学	2	ー								△				1	講義	ー	B-3
	F0039000	通信法令	2	ー								△				1	講義	ー	B-3
	F0040000	メディア通信工学	2	ー								△				1	講義	ー	B-3
	F0041000	パターン認識	2	ー								△				1	講義	ー	A-3
	F0042000	生体情報工学	2	ー								△				1	講義	ー	B-3
	F0043000	情報通信システム設計論	2	ー								△				1	講義	ー	B-3
	FL005000	情報倫理	2	ー								△				1	講義	ー	E
	FL006000	情報通信特論2	1	ー								△				1	講義	ー	B-3
	FL007000	セキュアネットワーク	2	ー								△				1	講義	ー	B-3
	FL008000	情報工学特論	1	ー								△				1	講義	ー	B-3
	F0045000	卒業研究1	2	ー							◎	(◎)				1	卒研	ー	C-1,C-2,D-1
	F0046000	卒業研究2	2	ー							(◎)	◎				1	卒研	ー	C-1,C-2,D-1
	F0047000	卒業研究3	4	ー										◎	(◎)	2	卒研	ー	C-1,C-2,D-1,F
	F0048000	卒業研究4	4	ー										(◎)	◎	2	卒研	ー	C-1,C-2,D-1,F

授　業　科　目

工学部

共通専門科目【情報・通信工学課程　情報通信コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列 グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
共通専門	共通専門科目	EN830100	社会の中の工学	1	1	前期	◎	1	講義	F
	共通専門科目	EN830150	グローバルPBL（機械工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	G
	共通専門科目	EN830160	グローバルPBL（物質化学課程）	2	1	不定	△	2	演習	G
	共通専門科目	EN830170	グローバルPBL（電気電子工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	G
	共通専門科目	EN830180	グローバルPBL（情報・通信工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	G
	共通専門科目	EN830190	グローバルPBL（土木工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	G
	共通専門科目	EN830200	グローバルPBL（先進国際課程）	2	1	不定	△	2	演習	G
	共通専門科目	EN830110	工学研究探訪1	1	2	後期	◎	1	講義	F
	共通専門科目	EN830120	工学研究探訪2	1	2	後期	△	1	講義	F
	共通専門科目	EN830210	国際インターンシップ1	2	2	不定	△	2	演習	G
	共通専門科目	EN830220	国際インターンシップ2	2	2	不定	□	2	演習	ー
	共通専門科目	EN830130	学内研究留学1	2	3	後期	△	1	演習	C-1,C-2,D-1,F
	共通専門科目	EN830140	学内研究留学2	2	3	後期	△	1	演習	C-1,C-2,D-1,F

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【情報・通信工学課程　情報通信コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
数理基礎	数学科目	11731100	線形代数1	2	1	前期	◎	1	講義	A-3
	数学科目	11731120	微分積分1	4	1	前期	◎	2	講義	A-3
	数学科目	11731140	微分方程式	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-3
	数学科目	11731150	確率と統計1	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-3
	数学科目	11731110	線形代数2	2	1	後期	◎	1	講義	A-3
	数学科目	11731130	微分積分2	4	1	後期	◎	2	講義	A-3
	数学科目	11731160	確率と統計2	2	2	前期・後期	△	1	講義	A-3
	数学科目	11731170	関数論	2	2	前期・後期	△	1	講義	A-3
	数学科目	11731180	ベクトル解析	2	2	前期・後期	△	1	講義	A-3
	数学科目	11731190	フーリエ解析	2	2	前期・後期	△	1	講義	A-3
	物理学科目	11732100	物理学入門	4	1	前期	◎	2	講義	A-2
	物理学科目	11732110	物理学実験	3	1	後期	◎	3	実験	A-2
	物理学科目	11732140	基礎力学および演習	4	1	後期	△	2	講義	A-2
	物理学科目	11732180	基礎熱統計力学	2	2	前期	△	1	講義	A-2
	物理学科目	11732190	基礎熱統計力学演習	2	2	前期	△	1	演習	A-2
	物理学科目	11732200	相対論と量子論の基礎	2	2	後期	△	1	講義	A-2
	化学科目	11733110	基礎化学	2	1	前期	△	1	講義	A-3
	化学科目	11733120	化学実験	2	1	前期・後期	△	2	実験	A-3
	化学科目	11733140	基礎無機化学	2	1	後期	△	1	講義	A-3
	化学科目	11733150	基礎有機化学	2	1	後期	△	1	講義	A-3
	化学科目	11733160	基礎生物化学	2	1	後期	△	1	講義	A-3
	化学科目	11733170	基礎固体化学	2	1	後期	△	1	講義	A-3
英語	英語科目	11810100	Reading & Writing 1	2	1	前期	◎	1	講義	D-2
	英語科目	11810140	TOEIC	2	1	前期・後期	△	1	講義	D-2
	英語科目	11810120	Listening & Speaking 1	2	1	後期	◎	1	講義	D-2
	英語科目	11810130	Listening & Speaking 2	2	2	前期	△	1	講義	D-2
	英語科目	11810150	工学英語1	2	2	前期	△	1	講義	D-2
	英語科目	11810110	Reading & Writing 2	2	2	後期	△	1	講義	D-2
	英語科目	11810160	工学英語2	2	2	後期	△	1	講義	D-2
	英語科目	11810170	Academic English	2	3	前期・後期	△	1	講義	D-2
情報	情報科目	11750100	情報リテラシー	1	1	前期・後期	△	1	講義	A-4
	情報科目	11750120	Java入門	3	1	前期・後期	△	2	演習	A-4
	情報科目	11750140	データサイエンス演習	2	1	前期・後期	△	1	演習	A-4
	情報科目	11750130	C言語入門	3	1	前期・後期	□	2	演習	ー
人文社会系教養	人文社会系教養科目	11760220	社会心理学	2	1	前期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760280	教育原論	2	1	前期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760110	生命倫理	2	1	前期・後期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760120	人間社会と環境問題	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760140	経済学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760150	現代の日本経済	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760160	現代日本の社会	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760170	福祉と技術	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760180	法学入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760190	日本国憲法	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760200	世界の言語と文化	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760210	文化人類学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760230	認知心理学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760240	レポートライティング	2	1	前期・後期	△	1	演習	D-1
	人文社会系教養科目	11760250	プレゼンテーション入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	D-1
	人文社会系教養科目	11760260	自己表現とコミュニケーション	2	1	前期・後期	△	1	講義	D-1

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【情報・通信工学課程　情報通信コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
人文社会系教養	人文社会系教養科目	11760270	教育心理学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760300	教育の近現代史	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760100	技術者の倫理	2	1	後期	◎	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760290	人間関係論	2	1	後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760320	生産と消費の環境論	2	2	前期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760310	地域と環境	2	2	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760330	情報技術と現代社会	2	2	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760340	地方自治論	2	2	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760360	地域と経済	2	3	前期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760390	地域社会学	2	3	前期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760350	哲学・倫理学	2	3	前期・後期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760370	応用経済学	2	3	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760380	グローバリゼーション論	2	3	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760400	知的財産法	2	3	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760410	教育社会学	2	3	前期・後期	△	1	講義	A-1
体育健康	体育健康科目	11770100	スポーツ健康学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	体育健康科目	11770110	スポーツバイオメカニクス	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	体育健康科目	11770120	コンディショニング演習	2	1	前期・後期	△	1	演習	A-1
	体育健康科目	11772100	スポーツ科学実技1	1	1	前期・後期	◎	1	実技	A-1
	体育健康科目	11772110	スポーツ科学実技2	1	1	前期・後期	△	1	実技	A-1
	体育健康科目	11772120	スポーツ科学実技3	1	1	前期・後期	□	1	実技	ー
	体育健康科目	11772130	スポーツ科学実技4	1	1	前期・後期	□	1	実技	ー
共通教養	共通教養科目	11820110	データサイエンスリテラシー	1	1	前期・後期	△	1	講義	A-4
	共通教養科目	11820140	ダイバーシティ入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	共通教養科目	11820100	統計学基礎	1	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820120	芝浦工業大学通論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820130	技術経営入門	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820150	消費者行動論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820160	マーケティング概論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820170	デジタルプレゼンテーション	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
課程外		XX990100	海外語学演習1	2	1	不定	△	2	演習	D-2
		XX990110	海外語学演習2	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990120	海外語学演習3	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990130	海外語学演習4	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990140	海外語学演習1（短期）	1	1	不定	△	1	演習	D-2
		XX990150	海外語学演習2（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990160	海外語学演習3（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990170	海外語学演習4（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990900	学外英語検定	2	1	不定	△	1	その他	D-2
教職		Z1510100	教職論	2	1	前期・後期	△	1	講義	G
		Z1510240	情報機器の操作	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511110	幾何学A	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510120	教育課程論	2	2	前期・後期	△	1	講義	G
		Z1510130	道徳の理論及び指導法	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510160	教育の方法及び技術	1	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510170	教育におけるICT活用	1	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511100	代数学概論	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511120	幾何学B	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511130	解析学概論	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511140	数学科指導法1	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【情報・通信工学課程　情報通信コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
教職		Z1511150	数学科指導法2	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1513110	工業科指導法1	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1513120	工業科指導法2	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1514110	情報科指導法1	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1514120	情報科指導法2	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510150	特別活動の指導法	1	2	1Q・3Q	□	1	講義	ー
		Z1510140	総合的な学習の時間の指導法	1	2	2Q・4Q	□	1	講義	ー
		Z1510110	特別支援教育論	1	3	前期・後期	△	1	講義	G
		Z1510190	教育相談論	2	3	前期・後期	△	1	講義	G
		Z1513100	職業指導	2	3	前期・後期	△	1	講義	G
		Z1514100	情報と職業	2	3	前期・後期	△	1	講義	A-4,G
		Z1510180	生徒・進路指導論	2	3	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511160	数学科指導法3	2	3	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511170	数学科指導法4	2	3	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510230	教職実践演習（中・高）	2	4	後期	□	1	演習	ー
		Z1510200	事前・事後指導	1	4	通年	□	1	講義	ー
		Z1510210	教育実習1	2	4	通年	□	2	実習	ー
		Z1510220	教育実習2	2	4	通年	□	2	実習	ー

授　業　科　目

工学部

専門科目【情報・通信工学課程　情報工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	科目コード	科目名	単位数	実施期	1年			2年			3年			4年		週コマ数	講義区分	選択必修グループ	学修・教育到達目標
					前期	後期	不定	前期	後期	不定	前期	後期	不定	前期	後期				
自コース専門	L0001000	コンピュータ科学序説	2	ー	◎											1	講義	ー	B-2
	L0002000	離散数学1	2	ー	◎											1	講義	ー	B-1
	L0003000	プログラミング入門1	2	ー	◎											2	演習	ー	A,C
	L0004000	情報工学通論	2	ー		◎										1	講義	ー	D,F-1,G
	L0005000	プログラミング入門2	2	ー		◎										2	演習	ー	C
	L0006000	コンピュータアーキテクチャ	2	ー		◎										1	講義	ー	B-2
	L0007000	離散数学2	2	ー		○										1	講義	ー	B-1
	L0008000	論理回路	2	ー		△										1	講義	ー	B-2
	L0042000	情報工学実習	1	ー			△									1	実習	ー	G
	L0043000	情報工学海外実習1	2	ー			△									2	実習	ー	G
	L0044000	情報工学海外実習2	2	ー			△									2	実習	ー	G
	L0045000	情報工学海外実習3	2	ー			△									2	実習	ー	G
	L0046000	情報工学海外実習4	2	ー			△									2	実習	ー	G
	L0009000	データ構造とアルゴリズム1	2	ー				◎								1	講義	ー	B-2
	L0010000	基礎情報演習1A	2	ー				◎								2	演習	ー	C
	L0011000	基礎情報演習1B	2	ー				◎								1	演習	ー	C
	L0012000	H.C.インタラクション	2	ー				○								1	講義	ー	B-2
	L0013000	オペレーティングシステム	2	ー				○								1	講義	ー	B-2
	L0014000	数理論理学	1	1Q				△								1	講義	ー	B-1
	L0015000	信号処理	2	ー				△								1	講義	ー	B-1,B-2
	L0015500	Engineering Mathematics	2	ー				△								1	講義	ー	B-1
	L0016000	基礎情報演習2A	2	ー					◎							2	演習	ー	C
	L0017000	基礎情報演習2B	2	ー					◎							2	演習	ー	C
	L0018000	データ構造とアルゴリズム2	2	ー					○							1	講義	ー	B-2
	L0019000	ディジタルメディア処理	2	ー					○							1	講義	ー	B-2
	L0020000	コンピュータ通信	2	ー					△							1	講義	ー	B-2
	L0021000	形式言語とオートマトン	2	ー					△							1	講義	ー	B-1
	L0022000	プログラミング言語論	1	3Q					△							1	講義	ー	B-2
	L0023000	数値計算法	2	ー					△							1	講義	ー	B-1
	L0024000	卒研プレゼミナール	2	ー					△							1	講義	ー	G
	L0024500	Foundations for Programming Languages	2	ー					△							1	講義	ー	B-2
	L0024750	Operating Systems and Exercises	2	ー					△							1	演習	ー	B-2
	L0024875	Introduction to Computer Science and Engineering	2	ー					△							1	講義	ー	F-1
	L0025000	コンピュータビジョン	2	ー							△					1	講義	ー	B-2
	L0025500	Interaction Design	2	ー							△					1	講義	ー	B-2
	L0026000	人工知能	2	ー							△					1	講義	ー	B-2
	L0027000	組込みシステム	2	ー							△					1	講義	ー	C
	L0028000	情報ネットワーク	2	ー							△					1	講義	ー	B-2
	L0029000	集積回路工学	2	ー							△					1	講義	ー	B-2
	L0030000	数理計画法	1	1Q							△					1	講義	ー	B-1
	L0031000	ソフトウェア工学	2	ー							△					1	講義	ー	B-2
	L0032000	情報セキュリティ	2	ー							△					1	講義	ー	D
	L0033000	ソフトウェア開発演習	3	ー							△					2	演習	ー	C
	L0034000	Java応用プログラミング	2	1Q							△					2	講義	ー	B-2,C
	L0035500	人工知能プログラミング	2	2Q							△					2	講義	ー	B-2,C
	FL001000	データベース	2	ー							△					1	講義	ー	B-2
	FL002000	移動通信工学	2	ー							△					1	講義	ー	B-2
	FL003000	情報通信技術英語	2	ー							△					1	講義	ー	F-2
	FL004000	光通信工学	2	ー							△					1	講義	ー	B-2
	L0036000	自然言語処理	2	ー								△				1	講義	ー	B-2
	L0037000	音響・音声処理工学	2	ー								△				1	講義	ー	B-2
	L0038000	コンピュータグラフィックス	2	ー								△				1	講義	ー	B-2
	L0039000	データ解析法	2	ー								△				1	講義	ー	B-1
	L0040000	プログラミング言語処理演習	3	ー								△				2	演習	ー	C
	L0041000	情報システムプログラミング	2	ー								△				1	講義	ー	B-2
	L0041500	Exercise on Object Oriented Programming	2	ー								△				1	演習	ー	C
	FL005000	情報倫理	2	ー								△				1	講義	ー	D
	FL006000	情報通信特論2	1	ー								△				1	講義	ー	G
	FL007000	セキュアネットワーク	2	ー								△				1	講義	ー	B-2,D
	FL008000	情報工学特論	1	ー								△				1	講義	ー	G
	L0047000	卒業研究1	2	ー							◎	(◎)				1	卒研	ー	C,F-1,G
	L0048000	卒業研究2	2	ー							(◎)	◎				1	卒研	ー	C,F-1,G
	L0049000	卒業研究3	4	ー										◎	(◎)	2	卒研	ー	C,F-1,G
	L0050000	卒業研究4	4	ー										(◎)	◎	2	卒研	ー	C,F-1,G

授　業　科　目

工学部

共通専門科目【情報・通信工学課程　情報工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列 グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
共通専門	共通専門科目	EN830100	社会の中の工学	1	1	前期	◎	1	講義	G
	共通専門科目	EN830150	グローバルPBL（機械工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	G
	共通専門科目	EN830160	グローバルPBL（物質化学課程）	2	1	不定	△	2	演習	G
	共通専門科目	EN830170	グローバルPBL（電気電子工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	G
	共通専門科目	EN830180	グローバルPBL（情報・通信工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	G
	共通専門科目	EN830190	グローバルPBL（土木工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	G
	共通専門科目	EN830200	グローバルPBL（先進国際課程）	2	1	不定	△	2	演習	G
	共通専門科目	EN830110	工学研究探訪1	1	2	後期	◎	1	講義	G
	共通専門科目	EN830120	工学研究探訪2	1	2	後期	△	1	講義	G
	共通専門科目	EN830210	国際インターンシップ1	2	2	不定	△	2	演習	G
	共通専門科目	EN830220	国際インターンシップ2	2	2	不定	□	2	演習	ー
	共通専門科目	EN830130	学内研究留学1	2	3	後期	△	1	演習	G
	共通専門科目	EN830140	学内研究留学2	2	3	後期	△	1	演習	G

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【情報・通信工学課程　情報工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
数理基礎	数学科目	11731100	線形代数1	2	1	前期	◎	1	講義	A
	数学科目	11731120	微分積分1	4	1	前期	◎	2	講義	A
	数学科目	11731140	微分方程式	2	1	前期・後期	△	1	講義	A
	数学科目	11731150	確率と統計1	2	1	後期	◎	1	講義	A
	数学科目	11731110	線形代数2	2	1	後期	△	1	講義	A
	数学科目	11731130	微分積分2	4	1	後期	△	2	講義	A
	数学科目	11731160	確率と統計2	2	2	前期・後期	△	1	講義	A
	数学科目	11731170	関数論	2	2	前期・後期	△	1	講義	A
	数学科目	11731180	ベクトル解析	2	2	前期・後期	△	1	講義	A
	数学科目	11731190	フーリエ解析	2	2	前期・後期	△	1	講義	A
	物理学科目	11732100	物理学入門	4	1	前期	◎	2	講義	A
	物理学科目	11732110	物理学実験	3	1	前期・後期	△	3	実験	A
	物理学科目	11732140	基礎力学および演習	4	1	後期	△	2	講義	A
	物理学科目	11732160	基礎電磁気学および演習	4	1	後期	△	2	講義	A
	物理学科目	11732180	基礎熱統計力学	2	2	前期	△	1	講義	A
	物理学科目	11732190	基礎熱統計力学演習	2	2	前期	△	1	演習	A
	物理学科目	11732200	相対論と量子論の基礎	2	2	後期	△	1	講義	A
	化学科目	11733110	基礎化学	2	1	前期	◎	1	講義	A
	化学科目	11733120	化学実験	2	1	前期・後期	△	2	実験	A
	化学科目	11733140	基礎無機化学	2	1	後期	△	1	講義	A
	化学科目	11733150	基礎有機化学	2	1	後期	△	1	講義	A
	化学科目	11733160	基礎生物化学	2	1	後期	△	1	講義	A
	化学科目	11733170	基礎固体化学	2	1	後期	△	1	講義	A
英語	英語科目	11810100	Reading & Writing 1	2	1	前期	◎	1	講義	F-2
	英語科目	11810140	TOEIC	2	1	前期・後期	△	1	講義	F-2
	英語科目	11810120	Listening & Speaking 1	2	1	後期	◎	1	講義	F-2
	英語科目	11810130	Listening & Speaking 2	2	2	前期	△	1	講義	F-2
	英語科目	11810150	工学英語1	2	2	前期	△	1	講義	F-2
	英語科目	11810110	Reading & Writing 2	2	2	後期	△	1	講義	F-2
	英語科目	11810160	工学英語2	2	2	後期	△	1	講義	F-2
	英語科目	11810170	Academic English	2	3	前期・後期	△	1	講義	F-2
人文社会系教養	人文社会系教養科目	11760220	社会心理学	2	1	前期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760280	教育原論	2	1	前期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760100	技術者の倫理	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760110	生命倫理	2	1	前期・後期	△	1	講義	D
	人文社会系教養科目	11760120	人間社会と環境問題	2	1	前期・後期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760140	経済学	2	1	前期・後期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760150	現代の日本経済	2	1	前期・後期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760160	現代日本の社会	2	1	前期・後期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760170	福祉と技術	2	1	前期・後期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760180	法学入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760190	日本国憲法	2	1	前期・後期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760200	世界の言語と文化	2	1	前期・後期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760210	文化人類学	2	1	前期・後期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760230	認知心理学	2	1	前期・後期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760240	レポートライティング	2	1	前期・後期	△	1	演習	F-1
	人文社会系教養科目	11760250	プレゼンテーション入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	F-1
	人文社会系教養科目	11760260	自己表現とコミュニケーション	2	1	前期・後期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760270	教育心理学	2	1	前期・後期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760300	教育の近現代史	2	1	前期・後期	△	1	講義	E

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【情報・通信工学課程　情報工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
人文社会系教養	人文社会系教養科目	11760290	人間関係論	2	1	後期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760320	生産と消費の環境論	2	2	前期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760310	地域と環境	2	2	前期・後期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760330	情報技術と現代社会	2	2	前期・後期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760340	地方自治論	2	2	前期・後期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760360	地域と経済	2	3	前期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760390	地域社会学	2	3	前期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760350	哲学・倫理学	2	3	前期・後期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760370	応用経済学	2	3	前期・後期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760380	グローバリゼーション論	2	3	前期・後期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760400	知的財産法	2	3	前期・後期	△	1	講義	E
	人文社会系教養科目	11760410	教育社会学	2	3	前期・後期	△	1	講義	E
体育健康	体育健康科目	11770100	スポーツ健康学	2	1	前期・後期	△	1	講義	E
	体育健康科目	11770110	スポーツバイオメカニクス	2	1	前期・後期	△	1	講義	E
	体育健康科目	11770120	コンディショニング演習	2	1	前期・後期	△	1	演習	E
	体育健康科目	11772100	スポーツ科学実技1	1	1	前期・後期	◎	1	実技	E
	体育健康科目	11772110	スポーツ科学実技2	1	1	前期・後期	△	1	実技	E
	体育健康科目	11772120	スポーツ科学実技3	1	1	前期・後期	□	1	実技	ー
	体育健康科目	11772130	スポーツ科学実技4	1	1	前期・後期	□	1	実技	ー
共通教養	共通教養科目	11820110	データサイエンスリテラシー	1	1	前期・後期	△	1	講義	A,D
	共通教養科目	11820140	ダイバーシティ入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	E
	共通教養科目	11820100	統計学基礎	1	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820120	芝浦工業大学通論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820130	技術経営入門	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820150	消費者行動論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820160	マーケティング概論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820170	デジタルプレゼンテーション	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
課程外		XX990100	海外語学演習1	2	1	不定	△	2	演習	F-2
		XX990110	海外語学演習2	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990120	海外語学演習3	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990130	海外語学演習4	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990140	海外語学演習1（短期）	1	1	不定	△	1	演習	F-2
		XX990150	海外語学演習2（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990160	海外語学演習3（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990170	海外語学演習4（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990900	学外英語検定	2	1	不定	△	1	その他	F-2
教職		Z1510100	教職論	2	1	前期・後期	△	1	講義	D,E
		Z1510240	情報機器の操作	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511110	幾何学A	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510120	教育課程論	2	2	前期・後期	△	1	講義	E
		Z1510130	道徳の理論及び指導法	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510160	教育の方法及び技術	1	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510170	教育におけるICT活用	1	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511100	代数学概論	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511120	幾何学B	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511130	解析学概論	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511140	数学科指導法1	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511150	数学科指導法2	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1513110	工業科指導法1	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1513120	工業科指導法2	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【情報・通信工学課程　情報工学コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
教職		Z1514110	情報科指導法1	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1514120	情報科指導法2	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510150	特別活動の指導法	1	2	1Q・3Q	□	1	講義	ー
		Z1510140	総合的な学習の時間の指導法	1	2	2Q・4Q	□	1	講義	ー
		Z1510110	特別支援教育論	1	3	前期・後期	△	1	講義	D,E
		Z1510190	教育相談論	2	3	前期・後期	△	1	講義	E
		Z1513100	職業指導	2	3	前期・後期	△	1	講義	D,E
		Z1514100	情報と職業	2	3	前期・後期	△	1	講義	D,E
		Z1510180	生徒・進路指導論	2	3	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511160	数学科指導法3	2	3	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511170	数学科指導法4	2	3	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510230	教職実践演習（中・高）	2	4	後期	□	1	演習	ー
		Z1510200	事前・事後指導	1	4	通年	□	1	講義	ー
		Z1510210	教育実習1	2	4	通年	□	2	実習	ー
		Z1510220	教育実習2	2	4	通年	□	2	実習	ー

工学部全課程共通

「教育の基礎的理解に関する科目等」

施行規則の科目区分	授業科目名	単位数	免許状要件	卒業要件
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	2	必修	選択
	教育の近現代史	2	選択	選択
	教職論	2	必修	選択
	教育社会学	2	必修	選択
	教育心理学	2	必修	選択
	特別支援教育論	1	必修	選択
	教育課程論	2	必修	選択
道徳、総合的な学習の時間の指導法及び生徒指導、教育相談などに関する科目	道徳の理論及び指導法	2	中学校：必修 高等学校：選択	自由
	総合的な学習の時間の指導法	1	必修	自由
	特別活動の指導法	1	必修	自由
	教育の方法及び技術	1	必修	自由
	教育におけるICT活用	1	必修	自由
	生徒・進路指導論	2	必修	自由
	教育相談論	2	必修	選択
教育実践に関する科目	事前・事後指導	1	必修	自由
	教育実習１	2	必修	自由
	教育実習２	2	中学校：必修 高等学校：選択	自由
	教職実践演習（中・高）	2	必修	自由

「大学が独自に設定する科目」

施行規則の科目区分	授業科目名	単位数	免許状要件	卒業要件
大学が独自に設定する科目	人間関係論	2	選択	選択

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

施行規則の科目区分	授業科目名	単位数	免許状要件	卒業要件	
日本国憲法	日本国憲法	2	必修	選択	
体育	スポーツ科学実技1	1	必修	必修	
	スポーツ科学実技2	1	選択必修	選択	この中から1単位以上選択必修
	コンディショニング演習	2	選択必修	選択	
	スポーツ健康学	2	選択必修	選択	
	スポーツバイオメカニクス	2	選択必修	選択	
外国語コミュニケーション	Reading & Writing 1	2	選択必修	必修	
	Listening & Speaking 1	2	選択必修	必修	
情報機器の操作	情報機器の操作	2	選択必修	自由	この中から2単位以上選択必修
	C言語入門	3	選択必修	コース別科目配当表参照	
	情報通信ソフトウェア演習A	1	選択必修	Fコース必修	
	情報通信ソフトウェア演習B	1	選択必修	Fコース必修	
	プログラミング入門１	2	選択必修	Lコース必修	
	土木情報処理	2	選択必修	Hコース必修	

情報・通信工学課程

「教科及び教科の指導法に関する科目」

教科名『数学』

施行規則の科目区分	授業科目名	単位数	免許状要件	
代数学	代数学概論	2	必修	
幾何学	幾何学A	2	必修	
	幾何学B	2	選択	
解析学	解析学概論	2	必修	
	回路の過渡現象	2	選択必修	この中から4単位以上選択必修
	情報通信数学	2	選択必修	
	ディジタル信号処理	2	選択必修	
	離散数学1	2	選択必修	
	離散数学2	2	選択必修	
	数値計算法	2	選択必修	
	数理計画法	1	選択必修	
確率論、統計学	確率と統計1	2	必修	
	データ解析法	2	選択	
コンピュータ	情報処理入門	2	選択必修	いずれか1科目選択必修
	コンピュータ科学序説	2	選択必修	
	基礎情報演習1B	2	選択必修	この中から6単位以上選択必修
	情報処理基礎	2	選択必修	
	情報処理2	2	選択必修	
	生体情報工学	2	選択必修	
	コンピュータアーキテクチャ	2	選択必修	
	基礎情報演習2B	2	選択必修	
	数理論理学	1	選択必修	
	人工知能プログラミング	2	選択必修	
	人工知能	2	選択必修	
	集積回路工学	2	選択必修	
	形式言語とオートマトン	2	選択必修	
各教科の指導法	数学科指導法1	2	必修	
	数学科指導法2	2	必修	
	数学科指導法3	2	中学校：必修 高等学校：選択	
	数学科指導法4	2	中学校：必修 高等学校：選択	

教科名『工業』

施行規則の科目区分	授業科目名	単位数	免許状要件	
工業の関係科目	社会の中の工学	1	必修	
	電気回路基礎	2	選択必修	この中から17単位以上選択必修
	電磁気学1	4	選択必修	
	電子回路	2	選択必修	
	論理設計	2	選択必修	
	通信計測	2	選択必修	
	回路設計演習	2	選択必修	
	電磁気学2	2	選択必修	
	情報通信特論1	1	選択必修	
	情報通信特論2	1	選択必修	
	光通信工学	2	選択必修	
	マイクロ波工学	2	選択必修	
	情報工学特論	1	選択必修	
	プログラミング入門1	2	選択必修	
	プログラミング入門2	2	選択必修	
	基礎情報演習1A	2	選択必修	
	基礎情報演習2A	2	選択必修	
	データ構造とアルゴリズム2	2	選択必修	
	H.C.インタラクション	2	選択必修	
	論理回路	2	選択必修	
	信号処理	2	選択必修	
	コンピュータ通信	2	選択必修	
	プログラミング言語論	1	選択必修	
	コンピュータビジョン	2	選択必修	
	Java応用プログラミング	2	選択必修	
	自然言語処理	2	選択必修	
	情報システムプログラミング	2	選択必修	
	ソフトウェア開発演習	3	選択必修	
	プログラミング言語処理演習	3	選択必修	
職業指導	職業指導	2	必修	
各教科の指導法	工業科指導法1	2	必修	
	工業科指導法2	2	必修	

教科名『情報』

施行規則の科目区分	授業科目名	単位数	免許状要件	
情報社会（職業に関する内容を含む。）・情報倫理	情報倫理	2	必修	
	情報と職業	2	必修	いずれか1科目選択必修
	知的財産法	2	選択	
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ・情報処理	情報処理入門	2	選択必修	この中から2単位以上選択必修
	コンピュータ科学序説	2	選択必修	
	情報処理2	2	選択必修	
	基礎情報演習1B	2	選択必修	
	情報処理基礎	2	選択	
	生体情報工学	2	選択	
	コンピュータアーキテクチャ	2	選択	
	基礎情報演習2B	2	選択	
	数理論理学	1	選択	
	人工知能プログラミング	2	選択	
	人工知能	2	選択	
	集積回路工学	2	選択	この中から4単位以上選択必修
	形式言語とオートマトン	2	選択	
情報ｼｽﾃﾑ	情報処理1	2	選択必修	
	オペレーティングシステム	2	選択必修	
	データベース	2	選択必修	
	ソフトウェア工学	2	選択必修	
	データ構造とアルゴリズム1	2	選択必修	いずれか1科目選択必修
	組込みシステム	2	選択	
情報通信ﾈｯﾄﾜｰｸ	情報通信ネットワーク	2	選択必修	いずれか1科目選択必修
	情報ネットワーク	2	選択必修	
	セキュアネットワーク	2	選択必修	
	情報セキュリティ	2	選択必修	
	ネットワーク理論	2	選択	
	移動通信工学	2	選択	いずれか1科目選択必修
	情報理論	2	選択	
ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ表現・ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ技術	メディア情報工学	2	選択必修	いずれか1科目選択必修
	ディジタルメディア処理	2	選択必修	
	パターン認識	2	選択必修	
	コンピュータグラフィックス	2	選択必修	
	音響工学	2	選択	
	音響・音声処理工学	2	選択	
各教科の指導法	情報科指導法1	2	必修	
	情報科指導法2	2	必修	

授　業　科　目

工学部

専門科目【土木工学課程　都市・環境コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	科目コード	科目名	単位数	実施期	1年			2年			3年			4年		週コマ数	講義区分	選択必修グループ	学修・教育到達目標
					前期	後期	不定	前期	後期	不定	前期	後期	不定	前期	後期				
自コース専門	H0001000	導入ゼミナール	1	ー	◎											1	ゼミ	ー	J
	H0002000	環境の科学	2	ー	◎											1	講義	ー	A-1
	H0003000	土木構造物概論	2	ー	△											1	講義	ー	D
	H0004000	土木数学1	2	ー		◎										1	講義	ー	C
	H0005000	地盤工学1	2	ー		◎										1	講義	ー	A-1
	H0006000	土木情報処理	2	ー		◎										1	講義	ー	F
	H0007000	土木と心理学	2	ー		△										1	講義	ー	A-1,H
	H0008000	土木計画学1	2	ー		△										1	講義	ー	D
	H0009000	測量学	2	ー		△										1	講義	ー	D
	H0010000	Introduction to Transportation Systems	2	ー		△										1	講義	ー	D
	H0053000	海外土木工学演習1	2	ー			△									2	演習	ー	G,I
	H0054000	海外土木工学演習2	2	ー			△									2	演習	ー	G,I
	H0055000	海外土木工学演習3	2	ー			△									2	演習	ー	G,I
	H0056000	土木工学国際演習1	2	ー			△									2	演習	ー	G,I
	H0057000	土木工学国際演習2	2	ー			△									2	演習	ー	G,I
	H0058000	土木工学国際演習3	2	ー			△									2	演習	ー	G,I
	H0011000	流れの力学	2	ー				◎								1	講義	ー	D
	H0012000	土木の力学	2	ー				◎								1	講義	ー	D
	H0013000	マテリアルデザイン	2	ー				◎								1	講義	ー	D
	H0014000	土木数学2	2	ー				△								1	講義	ー	C
	H0015000	土質力学1	2	ー				△								1	講義	ー	D
	H0016000	土木と社会学	2	ー				△								1	講義	ー	A-1,H
	H0017000	交通計画	2	ー				△								1	講義	ー	D
	H0018000	応用測量学	2	ー				△								1	講義	ー	D
	H0019000	測量学実習1	2	ー				△								2	実習	ー	D,F,K
	H0020000	地盤工学2	2	ー					◎							1	講義	ー	D
	H0021000	水理学	2	ー					◎							1	講義	ー	D
	H0022000	都市計画	2	ー					◎							1	講義	ー	D
	H0023000	土木工学総合講義	2	ー					◎							1	講義	ー	G
	H0024000	空間情報科学	2	ー					△							1	講義	ー	G
	H0025000	構造力学1	2	ー					△							1	講義	ー	D
	H0026000	コンクリート構造学1	2	ー					△							1	講義	ー	D
	H0027000	地域デザイン演習1	2	ー					△							1	演習	ー	B,F
	H0028000	測量学実習2	2	ー					△							2	実習	ー	D,F,K
	H0029000	構造力学演習	1	ー					△							1	演習	ー	F
	H0059000	学外体験学習1	1	ー						△						1	実習	ー	G
	H0029500	材料実験	1	1Q・2Q・3Q							◎	◎				2	実験	ー	D,E
	H0031000	土質実験	1	1Q・2Q・3Q							◎	◎				2	実験	ー	D,E
	H0032000	水理実験	1	1Q・2Q・3Q							◎	◎				2	実験	ー	D,E
	H0033000	地盤工学演習	1	ー							◎					1	演習	ー	D,F,H,K
	H0034000	水文学	2	ー							△					1	講義	ー	D
	H0035000	土質力学2	2	ー							△					1	講義	ー	G
	H0036000	地震防災工学	2	ー							△					1	講義	ー	H
	H0037000	土木計画学2	2	ー							△					1	講義	ー	G
	H0038000	鋼構造学	2	ー							△					1	講義	ー	G
	H0039000	構造力学2	2	ー							△					1	講義	ー	D
	H0040000	コンクリート構造学2	2	ー							△					1	講義	ー	D
	H0040500	社会調査演習	2	2Q							△					2	演習	ー	F
	H0042000	Mobility and Regional Development	1	1Q							△					1	演習	ー	F,I
	H0043000	土木キャリアセミナー	1	ー								◎				1	ゼミ	ー	H,J
	H0044000	土木応用実験	1	4Q								◎				2	実験	ー	D,E
	H0045000	土木設計演習	1	ー								◎				1	演習	ー	D,F,K
	H0046000	地盤環境工学	2	ー								△				1	講義	ー	G
	H0047000	都市環境工学	2	ー								△				1	講義	ー	G
	H0048000	地理情報システム	2	ー								△				1	講義	ー	G
	H0049000	維持管理工学	2	ー								△				1	講義	ー	G
	H0050000	国際開発工学	2	ー								△				1	講義	ー	B,D
	H0051000	地理情報システム演習	1	ー								△				1	演習	ー	F,K
	H0052000	地域デザイン演習2	2	ー								△				2	演習	ー	F,H,K
	H0052875	Lectures on Civil Engineering	2	3Q								□				1	講義	ー	ー
	H0060000	学外体験学習2	1	ー									△			1	実習	ー	G
	H0061000	卒業研究1	2	ー							◎	(◎)				1	卒研	ー	B,F,H,I,J,K
	H0062000	卒業研究2	2	ー							(◎)	◎				1	卒研	ー	B,F,H,I,J,K
	H0063000	卒業研究3	4	ー										◎	(◎)	2	卒研	ー	B,F,H,I,J,K
	H0064000	卒業研究4	4	ー										(◎)	◎	2	卒研	ー	B,F,H,I,J,K

授　業　科　目

工学部

共通専門科目【土木工学課程　都市・環境コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列 グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
共通専門	共通専門科目	EN830100	社会の中の工学	1	1	前期	◎	1	講義	G
	共通専門科目	EN830150	グローバルPBL（機械工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	I,J
	共通専門科目	EN830160	グローバルPBL（物質化学課程）	2	1	不定	△	2	演習	I,J
	共通専門科目	EN830170	グローバルPBL（電気電子工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	I,J
	共通専門科目	EN830180	グローバルPBL（情報・通信工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	I,J
	共通専門科目	EN830190	グローバルPBL（土木工学課程）	2	1	不定	△	2	演習	I,J
	共通専門科目	EN830200	グローバルPBL（先進国際課程）	2	1	不定	△	2	演習	I,J
	共通専門科目	EN830110	工学研究探訪1	1	2	後期	◎	1	講義	G
	共通専門科目	EN830120	工学研究探訪2	1	2	後期	△	1	講義	G
	共通専門科目	EN830210	国際インターンシップ1	2	2	不定	△	2	演習	I,J
	共通専門科目	EN830220	国際インターンシップ2	2	2	不定	□	2	演習	ー
	共通専門科目	EN830130	学内研究留学1	2	3	後期	△	1	演習	A-1
	共通専門科目	EN830140	学内研究留学2	2	3	後期	△	1	演習	A-1

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【土木工学課程　都市・環境コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
数理基礎	数学科目	11731100	線形代数1	2	1	前期	◎	1	講義	C
	数学科目	11731120	微分積分1	4	1	前期	◎	2	講義	C
	数学科目	11731150	確率と統計1	2	1	前期・後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731110	線形代数2	2	1	後期	◎	1	講義	C
	数学科目	11731130	微分積分2	4	1	後期	△	2	講義	C
	数学科目	11731140	微分方程式	2	1	後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731160	確率と統計2	2	2	前期・後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731170	関数論	2	2	前期・後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731180	ベクトル解析	2	2	前期・後期	△	1	講義	C
	数学科目	11731190	フーリエ解析	2	2	前期・後期	△	1	講義	C
	物理学科目	11732100	物理学入門	4	1	前期	△	2	講義	C
	物理学科目	11732110	物理学実験	3	1	前期・後期	△	3	実験	C
	物理学科目	11732140	基礎力学および演習	4	1	後期	△	2	講義	C
	物理学科目	11732180	基礎熱統計力学	2	2	前期	△	1	講義	C
	物理学科目	11732190	基礎熱統計力学演習	2	2	前期	△	1	演習	C
	物理学科目	11732200	相対論と量子論の基礎	2	2	後期	△	1	講義	C
	化学科目	11733130	基礎環境化学	2	1	前期	◎	1	講義	C
	化学科目	11733120	化学実験	2	1	前期・後期	△	2	実験	C
	化学科目	11733140	基礎無機化学	2	1	後期	△	1	講義	C
	化学科目	11733150	基礎有機化学	2	1	後期	△	1	講義	C
	化学科目	11733160	基礎生物化学	2	1	後期	△	1	講義	C
	化学科目	11733170	基礎固体化学	2	1	後期	△	1	講義	C
英語	英語科目	11810100	Reading & Writing 1	2	1	前期	◎	1	講義	I
	英語科目	11810140	TOEIC	2	1	前期・後期	△	1	講義	I
	英語科目	11810120	Listening & Speaking 1	2	1	後期	◎	1	講義	I
	英語科目	11810130	Listening & Speaking 2	2	2	前期	△	1	講義	I
	英語科目	11810150	工学英語1	2	2	前期	△	1	講義	I
	英語科目	11810110	Reading & Writing 2	2	2	後期	△	1	講義	I
	英語科目	11810160	工学英語2	2	2	後期	△	1	講義	I
	英語科目	11810170	Academic English	2	3	前期・後期	△	1	講義	I
情報	情報科目	11750100	情報リテラシー	1	1	前期・後期	△	1	講義	C
	情報科目	11750110	情報処理概論	2	1	前期・後期	△	1	講義	C
	情報科目	11750120	Java入門	3	1	前期・後期	△	2	演習	C
	情報科目	11750130	C言語入門	3	1	前期・後期	△	2	演習	C
	情報科目	11750140	データサイエンス演習	2	1	前期・後期	△	1	演習	C
人文社会系教養	人文社会系教養科目	11760130	土木と経済学	2	1	前期	◎	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760220	社会心理学	2	1	前期	△	1	講義	A-1,J
	人文社会系教養科目	11760280	教育原論	2	1	前期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760110	生命倫理	2	1	前期・後期	△	1	講義	B
	人文社会系教養科目	11760120	人間社会と環境問題	2	1	前期・後期	△	1	講義	B
	人文社会系教養科目	11760150	現代の日本経済	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760160	現代日本の社会	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760170	福祉と技術	2	1	前期・後期	△	1	講義	B
	人文社会系教養科目	11760180	法学入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760190	日本国憲法	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760200	世界の言語と文化	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760210	文化人類学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760230	認知心理学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760240	レポートライティング	2	1	前期・後期	△	1	演習	I
	人文社会系教養科目	11760250	プレゼンテーション入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	I

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【土木工学課程　都市・環境コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
人文社会系教養	人文社会系教養科目	11760260	自己表現とコミュニケーション	2	1	前期・後期	△	1	講義	I
	人文社会系教養科目	11760270	教育心理学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1,J
	人文社会系教養科目	11760300	教育の近現代史	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760100	技術者の倫理	2	1	後期	◎	1	講義	B
	人文社会系教養科目	11760290	人間関係論	2	1	後期	△	1	講義	A-1,I
	人文社会系教養科目	11760320	生産と消費の環境論	2	2	前期	△	1	講義	B
	人文社会系教養科目	11760310	地域と環境	2	2	前期・後期	△	1	講義	B
	人文社会系教養科目	11760330	情報技術と現代社会	2	2	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760340	地方自治論	2	2	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760360	地域と経済	2	3	前期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760390	地域社会学	2	3	前期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760350	哲学・倫理学	2	3	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760370	応用経済学	2	3	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760380	グローバリゼーション論	2	3	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760400	知的財産法	2	3	前期・後期	△	1	講義	A-1
	人文社会系教養科目	11760410	教育社会学	2	3	前期・後期	△	1	講義	A-1,J
体育健康	体育健康科目	11770100	スポーツ健康学	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-2
	体育健康科目	11770110	スポーツバイオメカニクス	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-2
	体育健康科目	11770120	コンディショニング演習	2	1	前期・後期	△	1	演習	A-2
	体育健康科目	11772100	スポーツ科学実技1	1	1	前期・後期	◎	1	実技	A-2
	体育健康科目	11772110	スポーツ科学実技2	1	1	前期・後期	△	1	実技	A-2
	体育健康科目	11772120	スポーツ科学実技3	1	1	前期・後期	□	1	実技	ー
	体育健康科目	11772130	スポーツ科学実技4	1	1	前期・後期	□	1	実技	ー
共通教養	共通教養科目	11820110	データサイエンスリテラシー	1	1	前期・後期	△	1	講義	C
	共通教養科目	11820140	ダイバーシティ入門	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
	共通教養科目	11820100	統計学基礎	1	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820120	芝浦工業大学通論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820130	技術経営入門	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820150	消費者行動論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820160	マーケティング概論	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
	共通教養科目	11820170	デジタルプレゼンテーション	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
課程外		XX990100	海外語学演習1	2	1	不定	△	2	演習	I
		XX990110	海外語学演習2	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990120	海外語学演習3	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990130	海外語学演習4	2	1	不定	□	2	演習	ー
		XX990140	海外語学演習1（短期）	1	1	不定	△	1	演習	I
		XX990150	海外語学演習2（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990160	海外語学演習3（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990170	海外語学演習4（短期）	1	1	不定	□	1	演習	ー
		XX990900	学外英語検定	2	1	不定	△	1	その他	I
教職		Z1510100	教職論	2	1	前期・後期	△	1	講義	A-1
		Z1510240	情報機器の操作	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511110	幾何学A	2	1	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510120	教育課程論	2	2	前期・後期	△	1	講義	A-1
		Z1510130	道徳の理論及び指導法	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510160	教育の方法及び技術	1	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510170	教育におけるICT活用	1	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511100	代数学概論	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511120	幾何学B	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511130	解析学概論	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー

授　業　科　目

工学部

専門科目以外【土木工学課程　都市・環境コース】

◎必修　○選択必修　△選択　□自由

系列	系列グループ	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	週コマ数	講義区分	学修・教育到達目標
教職		Z1511140	数学科指導法1	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511150	数学科指導法2	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1513110	工業科指導法1	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1513120	工業科指導法2	2	2	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510150	特別活動の指導法	1	2	1Q・3Q	□	1	講義	ー
		Z1510140	総合的な学習の時間の指導法	1	2	2Q・4Q	□	1	講義	ー
		Z1510110	特別支援教育論	1	3	前期・後期	△	1	講義	A-1,I
		Z1510190	教育相談論	2	3	前期・後期	△	1	講義	A-1,I
		Z1513100	職業指導	2	3	前期・後期	△	1	講義	I,J
		Z1510180	生徒・進路指導論	2	3	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511160	数学科指導法3	2	3	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1511170	数学科指導法4	2	3	前期・後期	□	1	講義	ー
		Z1510230	教職実践演習（中・高）	2	4	後期	□	1	演習	ー
		Z1510200	事前・事後指導	1	4	通年	□	1	講義	ー
		Z1510210	教育実習1	2	4	通年	□	2	実習	ー
		Z1510220	教育実習2	2	4	通年	□	2	実習	ー

工学部全課程共通

「教育の基礎的理解に関する科目等」

施行規則の 科目区分	授業科目名	単位数	免許状 要件	卒業要件
教育の基礎的 理解に関する 科目	教育原論	2	必修	選択
	教育の近現代史	2	選択	選択
	教職論	2	必修	選択
	教育社会学	2	必修	選択
	教育心理学	2	必修	選択
	特別支援教育論	1	必修	選択
	教育課程論	2	必修	選択
道徳、総合的な学習の時間の 指導法及び生徒指導、教育相談 などに関する科目	道徳の理論及び指導法	2	中学校：必修 高等学校：選択	自由
	総合的な学習の時間の指導法	1	必修	自由
	特別活動の指導法	1	必修	自由
	教育の方法及び技術	1	必修	自由
	教育におけるICT活用	1	必修	自由
	生徒・進路指導論	2	必修	自由
	教育相談論	2	必修	選択
教育実践 に関する科目	事前・事後指導	1	必修	自由
	教育実習１	2	必修	自由
	教育実習２	2	中学校：必修 高等学校：選択	自由
	教職実践演習（中・高）	2	必修	自由

「大学が独自に設定する科目」

施行規則の 科目区分	授業科目名	単位数	免許状 要件	卒業要件
大学が独自に設定する科目	人間関係論	2	選択	選択

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

施行規則の 科目区分	授業科目名	単位数	免許状 要件	卒業要件	
日本国憲法	日本国憲法	2	必修	選択	
体育	スポーツ科学実技1	1	必修	必修	
	スポーツ科学実技2	1	選択必修	選択	この中から 1単位以上選択必修
	コンディショニング演習	2	選択必修	選択	
	スポーツ健康学	2	選択必修	選択	
	スポーツバイオメカニクス	2	選択必修	選択	
外国語コミュニケーション	Reading & Writing 1	2	選択必修	必修	
	Listening & Speaking 1	2	選択必修	必修	
情報機器の操作	情報機器の操作	2	選択必修	自由	
	C言語入門	3	選択必修	コース別科目配当 表参照	
	情報通信ソフトウェア演習A	1	選択必修	Fコース必修	この中から 2単位以上選択必修
	情報通信ソフトウェア演習B	1	選択必修	Fコース必修	
	プログラミング入門１	2	選択必修	Lコース必修	
	土木情報処理	2	選択必修	Hコース必修	

土木工学課程

「教科及び教科の指導法に関する科目」

教科名『数学』

施行規則の科目区分	授業科目名	単位数	免許状要件	卒業要件	
代数学	代数学概論	2	必修	自由	
幾何学	幾何学A	2	必修	自由	
	幾何学B	2	選択	自由	
	測量学	2	選択必修	選択	この中から2単位以上選択必修
	測量学実習1	2	選択必修	選択	
	測量学実習2	2	選択必修	選択	
解析学	解析学概論	2	必修	自由	
	土木数学1	2	必修	必修	
確率論、統計学	確率と統計1	2	必修	選択	
	土木数学2	2	選択必修	選択	この中から2単位以上選択必修
	交通計画	2	選択必修	選択	
	土木計画学2	2	選択必修	選択	
	社会調査演習	2	選択必修	選択	
コンピュータ	情報処理概論	2	必修	選択	
	土木情報処理	2	必修	必修	
	地理情報システム	2	選択必修	選択	この中から2単位以上選択必修
	応用測量学	2	選択必修	選択	
	地理情報システム演習	1	選択必修	選択	
各教科の指導法	数学科指導法1	2	必修	自由	
	数学科指導法2	2	必修	自由	
	数学科指導法3	2	中学校：必修 高等学校：選択	自由	
	数学科指導法4	2	中学校：必修 高等学校：選択	自由	

教科名『工業』

施行規則の科目区分	授業科目名	単位数	免許状要件	卒業要件	
工業の関係科目	社会の中の工学	1	必修	必修	
	環境の科学	2	選択必修	必修	この中から17単位以上選択必修
	土木の力学	2	選択必修	必修	
	流れの力学	2	選択必修	必修	
	マテリアルデザイン	2	選択必修	必修	
	水文学	2	選択必修	選択	
	都市計画	2	選択必修	必修	
	地盤工学演習	1	選択必修	必修	
	土木計画学1	2	選択必修	選択	
	地盤環境工学	2	選択必修	選択	
	維持管理工学	2	選択必修	選択	
	鋼構造学	2	選択必修	選択	
	地震防災工学	2	選択必修	選択	
	土木構造物概論	2	選択必修	選択	
	構造力学1	2	選択必修	選択	
	コンクリート構造学1	2	選択必修	選択	
	水理学	2	選択必修	必修	
	構造力学2	2	選択必修	選択	
	コンクリート構造学2	2	選択必修	選択	
	地域デザイン演習2	2	選択必修	選択	
	構造力学演習	1	選択必修	選択	
	国際開発工学	2	選択必修	選択	
職業指導	職業指導	2	必修	選択	
各教科の指導法	工業科指導法1	2	必修	自由	
	工業科指導法2	2	必修	自由	

授　業　科　目

工学部

専門科目群【先進国際課程】

系列	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	単位数	講義区分	学修・教育到達目標
Advanced Engineering Research Courses	M0001000	Freshman thesis program I	6	1	Spring/(Fall)		2	Graduation Research	A-1,E
	M0005000	Freshman　thesis program II	6	1	(Spring)/Fall		2	Graduation Research	A-1,E
	M0009000	Sophomore thesis program I	6	2	Spring/(Fall)		2	Graduation Research	A-2,E
	M0013000	Sophomore thesis program II	6	2	(Spring)/Fall		2	Graduation Research	A-2,E
	M0017000	Junior　thesis program I	6	3	Spring/(Fall)		2	Graduation Research	C,E
	M0021000	Junior　thesis program II	6	3	(Spring)/Fall		2	Graduation Research	C,E
	M0025000	Graduation thesis program I	6	4	Spring/(Fall)		2	Graduation Research	D,E
	M0029000	Graduation thesis program II	6	4	(Spring)/Fall		2	Graduation Research	D,E
	M0033000	Freshman lab seminar I	2	1	Spring/(Fall)		1	Graduation Research	A-2,B
	M0037000	Freshman lab seminar II	2	1	(Spring)/Fall		1	Graduation Research	A-2,B
	M0041000	Sophomore lab seminar I	2	2	Spring/(Fall)		1	Graduation Research	A-2,B
	M0045000	Sophomore lab seminar II	2	2	(Spring)/Fall		1	Graduation Research	A-2,B
	M0049000	Junior lab seminar I	2	3	Spring/(Fall)		1	Graduation Research	A-2,B
	M0053000	Junior lab seminar II	2	3	(Spring)/Fall		1	Graduation Research	A-2,B
	M0057000	Senior lab seminar I	2	4	Spring/(Fall)		1	Graduation Research	A-2,D
	M0061000	Senior lab seminar II	2	4	(Spring)/Fall		1	Graduation Research	A-2,D
Introduction to Advanced Engineering Courses	M0065000	Advanced Course on Mechanical Engineering	2	1	Spring	○	1	Lecture	A-2
	M0069000	Advanced Course on Engineering Science & Mechanics	2	1	Fall	○	1	Lecture	A-2
	M0073000	Advanced Course on Materials Science and Engineering	2	1	Spring	○	1	Lecture	A-2
	M0077000	Introduction to Applied Chemistry	2	1	Spring	○	1	Lecture	A-2
	M0081000	Introduction of Electrical Engineering Research	2	1	Fall	○	1	Lecture	A-2
	M0085000	Introduction to Advanced Electronics	2	1	Fall	○	1	Lecture	A-2
	M0089000	Introduction to Information and Communications Engineering	2	1	Spring	○	1	Lecture	A-2
	M0093000	Introduction to Computer Science and Engineering	2	1	Fall	○	1	Lecture	A-2
	M0097000	Lectures on Civil Engineering	2	1	Fall	○	1	Lecture	A-2
	M0101000	Introduction to Advanced Science and Technology	2	1	Fall	○	1	Lecture	A-2
Specialized Courses	M0105000	Hydrodynamics	2	2	Spring	○	1	Lecture	A-1
	M0109000	Combustion Engineering	2	2	Spring	○	1	Lecture	A-1
	M0113000	Semiconductor Materials	2	2	Spring	○	1	Lecture	A-1
	M0117000	Applied Chemistry Laboratory	3	2	Spring	○	2	Experiment	A-1
	M0121000	Applied Mathematics	2	2	Spring	○	2	Lecture	A-1
	M0125000	Experiments in electronic engineering course	2	2	Spring	○	2	Experiment	A-1
	M0129000	Seminar on Information and Communications Engineering	2	2	Fall	○	1	Seminar	A-1
	M0133000	Interaction Design	2	2	Spring	○	1	Lecture	A-1
	M0137000	Soil Mechanics	2	2	Spring	○	1	Lecture	A-1
	M0141000	Advanced Techniques for Materials Characterization	2	2	Fall	○	1	Lecture	A-1
	M0145000	Biophysics	4	2	Spring	○	2	Lecture	A-1
	M0149000	Introduction to Relativity	2	3	Fall	○	1	Lecture	A-1
	M0153000	Biophotonics	2	2	Fall	○	1	Lecture	A-1
	M0157000	Nanostructure Physics I	2	2	Fall	○	1	Lecture	A-1

授　業　科　目

工学部

専門科目群【先進国際課程】

系列	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	単位数	講義区分	学修・教育 到達目標
Specialized Courses	M0161000	Functional Materials	2	2	Fall	○	1	Lecture	A-1
	M0165000	Nanostructure Physics II	2	2	Spring	○	1	Lecture	A-1
	M0169000	Magnetism and Magnetic Materials	2	2	Spring	○	1	Lecture	A-1
	M0173000	Practical Materialography	2	2	Spring	○	1	Lecture	A-1
	M0177000	Fundamentals of Inorganic Chemistry	2	2	Fall	○	1	Lecture	A-1
	M0181000	Fundamentals of Organic Chemistry	2	2	Fall	○	1	Lecture	A-1
	M0185000	Fundamentals of Analytical Chemistry	2	2	Spring	○	1	Lecture	A-1
	M0189000	Fundamentals of Physical Chemistry	2	2	Spring	○	1	Lecture	A-1
	M0193000	Biochemistry	2	2	Fall	○	1	Lecture	A-1
	M0197000	Materials Science	2	2	Fall	○	1	Lecture	A-1
	M0201000	Materials for Energy	2	2	Fall	○	1	Lecture	A-1
	M0205000	Solid State Chemistry	2	2	Spring	○	1	Lecture	A-1
	M0209000	Nanotechnology	2	2	Spring	○	1	Lecture	A-1
	M0213000	Polymer Chemistry	2	2	Spring	○	1	Lecture	A-1
	M0217000	Techniques of Analysis for Urban Planning Research	2	2	Fall	○	1	Lecture	A-1
	M0261000	Global PBL 1	2	1	Spring/ Fall	○	2	Seminar	D
	M0262000	Global PBL 2	2	1	Spring/ Fall	○	2	Seminar	D
	M0263000	Global PBL 3	2	1	Spring/ Fall	○	2	Seminar	D

授　業　科　目

工学部

数理基礎科目・情報科目【先進国際課程】

系列	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	単位数	講義区分	学修・教育到達目標
Physics	M2030000	Mathematical Methods in Physics and Engineering	2	1	Fall	○	1	Lecture	A-1
	M2041000	Physics: Electromagnetism	4	2	Fall	○	2	Lecture	A-1
	M2025000	Basic Physics	2	1	Fall	○	1	Lecture	A-1
	M2029000	Methodics in Physics	2	1	Fall	○	1	Lecture	A-1
	M2033000	Physics: Mechanics	2	1	Spring	○	1	Lecture	A-1
	M2037000	Physics: Thermodynamics	2	1	Spring	○	1	Lecture	A-1
	M2045000	Physics: Fluidodynamics, Oscillations and Waves	2	2	Fall	○	1	Lecture	A-1
	M2049000	Physics: Optics	2	2	Spring	○	1	Lecture	A-1
	M2053000	Materials Physics	2	2	Spring	○	1	Lecture	A-1
Mathematics	M2001000	Pre-calculus	2	1	Fall	○	1	Lecture	A-1
	M2005000	Calculus I	4	1	Fall	○	2	Lecture	A-1
	M2009000	Calculus II	4	1	Spring	○	2	Lecture	A-1
	M2017000	Linear Algebra	4	1	Spring	○	2	Lecture	A-1
	M2013000	Calculus III	4	2	Fall	○	2	Lecture	A-1
	M2021000	Probability and Statistics	2	2	Spring	○	1	Lecture	A-1
	M3066000	Basic Satistics	1	1	Fall	○	1	Seminar	A-1
Chemistry	M2057000	Basic Chemistry	2	1	Fall	○	1	Lecture	A-1
	M2061000	General Chemistry A	2	1	Fall	○	1	Lecture	A-1
	M2065000	Instrumental Analysis	2	1	Spring	○	1	Lecture	A-1
	M2069000	General Chemistry B	2	1	Spring	○	1	Lecture	A-1
Computer Science	M2073000	Introduction to Multimedia technology	3	3	Fall	○	2	Lecture	A-1
	M2081000	Web design and programming	3	1	Spring	○	2	Lecture	A-1
	M2085000	Introduction to Computer Networks	3	1	Fall	○	2	Lecture	A-1
	M2089000	Information Literacy	2	1	Fall	○	1	Lecture	A-1
	M2093000	Introduction to Information Processing	2	1	Spring	○	1	Lecture	A-1
	M2077000	Introduction to Computer Programming (Python, R, C, Java)	2	1	Fall	○	1	Lecture	A-1
	M3067000	Data Science Literacy	1	1	Fall	○	1	Lecture	A-1

授　業　科　目

工学部

教養科目【先進国際課程】

系列	科目コード	科目名	単位数	年次	開講期	単位区分	単位数	講義区分	学修・教育到達目標
Communication, Social Science and Humanities	M3025000	Science and Religion in Japan	2	1	Spring	○	1	Lecture	B,E
	M3017000	Contemporary Society : Changes in Japanese Work Culture	2	1	Spring	○	1	Lecture	B,E
	M3021000	Career Design : Developing yourself for your future career	2	1	Spring	○	1	Lecture	B,E
	M3001000	Usage of Research Tools & Research Writing	2	1	Spring	○	1	Lecture	A-1
	M3005000	Academic English Writing for University Coursework	2	1	Fall	○	1	Lecture	A-1
	M3009000	Making Effective Presentations	2	1	Spring	○	1	Lecture	A-1
	M3013000	Diversity and Cultures of other countries	2	1	Fall	○	1	Lecture	B
	M3029000	Engineering Ethics	1	1	Spring		1	Practical Training	C
	M3057000	Japanese Language I	2	1	Spring/ Fall	○	1	Lecture	B
	M3061000	Japanese Language II	2	1	Spring/ Fall	○	1	Lecture	B
	M3065000	Japanese Language III	2	1	Spring/ Fall	○	1	Lecture	B
	M3069000	Japanese Language IV	2	1	Spring/ Fall	○	1	Lecture	B
Physical Education and Health	M4001000	Sport fitness and health 1	1	1	Spring/ Fall	○	1	Practical	E
	M4004000	Sport fitness and health 2	1	1	Spring/ Fall	○	1	Practical	E
	M4007000	Sport fitness and health 3	1	1	Spring/ Fall	□	1	Practical	E
	M4010000	Sport fitness and health 4	1	1	Spring/ Fall	□	1	Practical	E
	M4013000	Sports Biomechanics	2	1	Spring/ Fall	○	2	Practical	E

授　業　科　目

工学部

【教職課程】

工学部　物質化学課程　電気電子工学課程　情報・通信工学課程　土木工学課程

授業科目		単位数			摘要
		必修	選択	自由	
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論		2		人文社会系教養科目
	教育の近現代史		2		人文社会系教養科目
	教育心理学		2		人文社会系教養科目
	教育社会学		2		人文社会系教養科目
	教職論		2		
	特別支援教育論		1		
	教育課程論		2		
	総合的な学習の時間の指導法			1	
	道徳の理論及び指導法			2	
	特別活動の指導法			1	
	教育の方法及び技術			1	
	教育におけるICT活用			1	
	生徒・進路指導論			2	
	教育相談論		2		
	事前・事後指導		1		
	教育実習1		2		
	教育実習2		2		
	教職実践演習（中・高）		2		
教科及び教科の指導法に関する科目	数学科指導法1			2	
	数学科指導法2			2	
	数学科指導法3			2	
	数学科指導法4			2	
	理科指導法1			2	
	理科指導法2			2	
	理科指導法3			2	
	理科指導法4			2	
	工業科指導法1			2	
	工業科指導法2			2	
	情報科指導法1			2	
	情報科指導法2			2	
大学が独自に設定する科目	道徳の理論及び指導法			2	高等学校免許状の課程のみ適用
	人間関係論		2		人文社会系教養科目
施行規則第66条の6に定める科目	情報機器の操作			2	

教育職員免許状の種類・教職課程開設科目及び修得単位数

1. 教育職員免許状の種類・教科

学部	学科名	免許状の種類	教科名
工学部	物質化学課程	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科
	電気電子工学課程	中学校教諭一種免許状	数学
		高等学校教諭一種免許状	数学
	情報・通信工学課程	中学校教諭一種免許状	数学
		高等学校教諭一種免許状	数学・情報・工業
	土木工学課程	中学校教諭一種免許状	数学
		高等学校教諭一種免許状	数学・工業

２．教員免許状取得に要する教科別単位数

所要資格等 ＼ 免許状の種類	基礎資格	状取			
		教科及び教科の指導法に関する科目		教育の基礎的理解に関する科目	大学が独自に設定する科目
		教科名	単位数		
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること 日本国憲法 体育 外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 情報機器の操作 （それぞれ２単位取得を要する）	数学	２８単位以上	２８単位	３単位
		理科	２８単位以上		
高等学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること 日本国憲法 体育 外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 情報機器の操作 （それぞれ２単位取得を要する）	数学	２４単位以上	２４単位	１１単位
		理科	２４単位以上		
		情報	２４単位以上		
		工業	２４単位以上		

３．教育の基礎的理解に関する科目および大学が独自に設定する科目

資格・教科 / 授業科目名	中学校教諭一種免許状		高等学校教諭一種免許状			
	数学	理科	数学	理科	情報	工業
教職論	２単位	２単位	２単位	２単位	２単位	２単位
教育原論 ○	２単位	２単位	２単位	２単位	２単位	２単位
教育の近現代史 ○	２単位	２単位	２単位	２単位	２単位	２単位
教育心理学 ○	２単位	２単位	２単位	２単位	２単位	２単位
特別支援教育論	１単位	１単位	１単位	１単位	１単位	１単位
教育社会学 ○	２単位	２単位	２単位	２単位	２単位	２単位
教育課程論	２単位	２単位	２単位	２単位	２単位	２単位
道徳の理論及び指導法	２単位	２単位	２単位＊	２単位＊	２単位＊	２単位＊
総合的な学習の時間の指導法	１単位	１単位	１単位	１単位	１単位	１単位
特別活動の指導法	１単位	１単位	１単位	１単位	１単位	１単位
教育の方法及び技術	１単位	１単位	１単位	１単位	１単位	１単位
教育におけるICT活用	１単位	１単位	１単位	１単位	１単位	１単位
生徒・進路指導論	２単位	２単位	２単位	２単位	２単位	２単位
教育相談論	２単位	２単位	２単位	２単位	２単位	２単位
人間関係論 ○	２単位＊	２単位＊	２単位＊	２単位＊	２単位＊	２単位＊
事前・事後指導	１単位	１単位	１単位	１単位	１単位	１単位
教育実習 1	２単位	２単位	２単位	２単位	２単位	２単位
教育実習 2	２単位	２単位	２単位	２単位	２単位	２単位
教職実践演習（中・高）	２単位	２単位	２単位	２単位	２単位	２単位

○人文社会系教養科目

＊大学が独自に設定する科目

４．教科及び教科の指導法に関する科目

教科名	施行規則に定める科目区分等	修得単位数 中学校教諭一種免許状	修得単位数 高等学校教諭一種免許状
数学	代数学 幾何学 解析学 確率論、統計学 コンピュータ	計２０単位以上	計２０単位以上
	各教科の指導法	計８単位	計４単位以上
理科	物理学 化学 生物学 地学 物理学実験・化学実験・生物学実験・地学実験	計２０単位以上	計２０単位以上
	各教科の指導法	計８単位	計４単位以上
情報	情報社会（職業に関する内容を含む。）・情報倫理 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ・情報処理 情報システム 情報通信ネットワーク ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ表現・ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ技術		計２０単位以上
	各教科の指導法		計４単位
工業	職業指導 工業の関係科目		計２０単位以上
	各教科の指導法		計４単位

別表４

授業科目

システム理工学部

【情報課程】

科目区分		授業科目の名称	単位数 必修	選択	自由	適要
学際科目	SDGs・キャリアデザイン	SDGs入門	2			☆…教科及び教科の指導法に関する科目(理科)
		未来を創る1	2			
		未来を創る2	1			
		ダイバーシティ入門		2		
		インターンシップ		2		
		芝浦工業大学通論		2		
	アントレプレナーシップ	アントレプレナーシップA(価値創造)	2			□…教科及び教科の指導法に関する科目(情報)
		アントレプレナーシップB(事業創出)		2		
		経営工学		2		
		産学官金連携PBL		2		
		会計簿記		2		
	システム工学	システム工学Ａ(システム計画方法論)	3			△…教科及び教科の指導法に関する科目(工業)
		システム工学Ｂ(数理計画法)	3			
		プロジェクトマネジメント		2		
		Advanced Systems Science and Engineering1		2		
		Advanced Systems Science and Engineering2		2		
		信頼性工学		2		
		人間工学		2		
		サイバーセキュリティと社会		2		
基礎教養科目	理数・情報	微分積分1	2			○…教科及び教科の指導法に関する科目(数学)
		微分積分2		2		
		線形代数1	2			
		線形代数2		2		
		力学1		2		
		力学2		2		
		波動・熱力学		2		
		電磁気学		2		
		生物学		2		
		化学		2		
		現代物理学概論		2		
		情報基礎	3			
		AI基礎	1			
		統計学基礎	1			
		データサイエンスリテラシー	1			
	社会科学	科学技術史		2		
		科学技術と社会		2		
		行政学		2		
		政治学		2		
		社会福祉論		2		
		情報社会と法		2		
		日本国憲法		2		
		社会学概論		2		
		人間と自然環境		2		

		教育社会学		2		
	人文科学	哲学1		2		
		哲学2		2		
		倫理学		2		
		生命倫理概論		2		
		技術者と倫理		2		
		世界史A		2		
		世界史B		2		
		国際デザイン史		2		
		認知心理学		2		
		組織心理学		2		
		教育の近現代史		2		
		教育原論		2		
		人間関係論		2		
基礎教養科目	保健体育	体育実技1		1		
		体育実技2		1		
		からだの仕組みと運動		2		
		身体運動のメカニズム		2		
		健康科学論Ａ		2		
		健康科学論Ｂ		2		
	英語	English Basic Skills1		2		
		English Basic Skills2		2		
		English Advanced Skills1		2		
		English Advanced Skills2		2		
		English Remedial Course1			2	
		English Remedial Course2			2	
		Basic English for Science and Technology1		2		
		Basic English for Science and Technology2		2		
		Advanced English for Science and Technology1		2		
		Advanced English for Science and Technology2		2		
		理工系英語プレゼンテーション		2		
		海外英語研修1		2		
		海外英語研修2		2		
		海外短期英語研修1		1		
		海外短期英語研修2		1		
		学外英語検定1		2		
		学外英語検定2		2		
教職課程		事前・事後指導			1	
		教育実習1			2	
		教育実習2			2	
		教職実践演習(中・高)			2	
		教職インターンシップ1			1	
		教職インターンシップ2			1	
		Cプログラミング(情報)		3		
		Global Project-based Learning		2		
		ICT Systems Design		2		
		Introduction to Embedded Programming		2		
		IoT基礎		2		
		IoT設計論		2		
		IoTプロジェクト		3		
		LSI設計		3		
		MATALBプログラミング		2		
		プログラミング入門		1		
		Python入門		1		
		Recent Trends on IoT		2		
		Recent Trends on Media Technology		2		
		Recent Trends on Software Engineering		2		
		VR/AR1		2		

		VR/AR2		2			
		宇宙観測技術		2			
		エージェントシミュレーション		3			
		エレクトロニクスプロジェクト		2			
		エンタテインメントコンピューティング		2			
		マーケティング論		2			
		オブジェクト指向言語		2			
		オペレーティングシステム		2			
		音声音響情報処理		2			
		画像情報処理		2			
		環境・都市基礎		2			
		環境ビジネス		3			
		脱炭素と地域創発		2			
		機械学習		2			
		機械学習プロジェクト		2			
		機械学習データサイエンス演習		1			
		組込みシステム		2			
		クラウドコンピューティング		2			
		クリエイティブ産業論		2			
		計測工学		2			
		シミュレーション&ゲーミング		2			
		ゲーミング入門		1			
		ゲームプログラミング		2			
		現代的ソフトウェア構築技法		2			
		交通システム計画		2			
		コミュニケーションシステム		2			
		コンピュータアーキテクチャ		2			
		コンピュータグラフィックス		2			
		Computer Simulation		2			
		サイバーセキュリティ		2			
		資源・エネルギーシステム論		3			
		システム科学		2			
		システム制御		2			
		Basic Control Engineering		2			
		自然言語処理		2			
		データ解析		2			
		社会シミュレーション入門		1			
		社会システム入門		1			
		データサイエンス入門		1			
		社会システム実践演習		3			
		情報処理入門		2			
		情報セキュリティ		2			
主専攻		インターネットプロトコル		2			
		情報ネットワークプロジェクト		2			
		情報理論		2			
		情報倫理	1				
		信号解析		2			
		人工知能基礎		2			
		人工知能データサイエンス演習		1			
		深層学習		2			
		深層学習データサイエンス演習		1			
		センサとアクチュエータ		2			
		ソフトウェア開発管理		2			
		ソフトウェア開発プロジェクト		2			
		ソフトウェア設計論		2			

専門科目		多変量解析		2		
		ディジタル信号処理		2		
		データ構造とアルゴリズム		3		
		データサイエンス応用		3		
		データサイエンス実践1		3		
		データサイエンス実践2		3		
		データサイエンス実践3		3		
		データサイエンス実践4		3		
		データベース		2		
		電気回路		2		
		電気回路演習		1		
		電子回路		3		
		都市計画基礎		2		
		ビジネスエコノミクス		2		
		ネットワークアプリケーション		2		
		ネットワークプログラミング		2		
		ハードウェア基礎		2		
		ヒューマンコンピュータインタラクション		2		
		符号理論		2		
		フロントエンドとインタフェース基礎		2		
		数値解析		2		
		数理シミュレーション		3		
		消費者行動論		2		
		保健医療福祉政策概論		2		
		メディアコンテンツビジネス		2		
		メディア処理基礎		2		
		メディアデザイン1		2		
		メディアデザイン2		2		
		メディア処理1		2		
		メディア処理2		2		
		メディア認知心理・人間工学		2		
		メディア表現応用		2		
		メディア表現基礎		2		
		モバイルプログラミング		2		
		離散数学		2		
		環境政策		2		
		金融・経済リテラシー		2		
		社会調査法		2		
		情報経営論		2		
		都市・地域システム計画		2		
		情報科指導法1		2		
		情報科指導法2		2		
		教育の方法及び技術		1		
		教育におけるICT活用		1		
		Cross-cultural Student Support		1		
		教職論		2		
		特別活動の指導法		1		
		総合的な学習の時間の指導法		1		
		道徳の理論及び指導法		2		
		生徒・進路指導論		2		
		教育課程論		2		
		教育相談論		2		
		教育心理学		2		
		特別支援教育論		1		
		機械・電気システムセミナー		2		

		機構学		2		
		電気機器システム		2		
		材料・加工学		2		
		Introduction to Industrial Design		2		
		ものづくり工学		2		
		制御工学		2		
		機械計測工学		2		
		自動車工学		2		
		建築史		2		
		建築基礎演習		2		
		建築構造基礎		2		
		建築計画基礎		2		
		建築環境設備基礎		2		
		建築設計情報演習		2		
		建設プロジェクトマネジメント		2		
		建築材料		2		
		建築生産・施工		2		
		建築環境工学		2		
		建築構造設計		3		
		建築構造力学1		2		
		建築構造力学2		2		
		環境・都市基礎演習		1		
		SDGsと環境		2		
		都市計画演習		1		
		都市環境デザイン		2		
		都市及び都市計画史		2		
		Global Governance and Sustainable Strategy		2		
		土地利用計画		3		
	副専攻	景観・ランドスケープデザイン		2		
		生命科学概論		2		
		神経生理学		2		
		分子生物学		2		
		有機化学		2		
		食品栄養学		2		
		微生物学		2		
		発生生物学		2		
		分析化学		2		
		生物物理学		2		
		バイオイメージング		2		
		医工学概論		1		
		機械力学		2		
		バイオマテリアル		2		
		バイオレオロジー		2		
		バイオメカニクス		2		
		メカトロニクス		2		
		バイオエレクトロニクス		2		
		バイオメカニカルエンジニアリング		2		
		スポーツ工学概論		2		
		スポーツ工学研究法		2		
		生体計測学		2		
		電気電子回路		2		
		スポーツ信号処理		2		
		映像メディア解析		2		
		応用バイオメカニクス		2		
		脳機能計測学		2		

		健康長寿学		2		
		論理と集合		2		
		解析基礎		2		
		代数学1		2		
		幾何学1		2		
		ベクトル解析		2		
		複素解析		2		
		数値解析1		2		
		数理計画法		2		
		現象の数理		2		
		数理科学概論		2		
		金融工学		2		
		保険数学		2		
	総合研究	総合研究1	2			
		総合研究2	2			
		総合研究3	4			
		総合研究4	4			

【機械・電気課程】

科目区分		授業科目の名称	単位数 必修	選択	自由	適要
学際科目	SDGs・キャリアデザイン	SDGs入門	2			☆…教科及び教科の指導法に関する科目(理科)
		未来を創る1	2			
		未来を創る2	1			
		ダイバーシティ入門		2		
		インターンシップ		2		
		芝浦工業大学通論		2		
	アントレプレナーシップ	アントレプレナーシップA(価値創造)	2			□…教科及び教科の指導法に関する科目(情報)
		アントレプレナーシップB(事業創出)		2		
		経営工学		2		
		産学官金連携PBL		2		
		会計簿記		2		
	システム工学	システム工学Ａ(システム計画方法論)	3			△…教科及び教科の指導法に関する科目(工業)
		システム工学Ｂ(数理計画法)	3			
		プロジェクトマネジメント		2		
		Advanced Systems Science and Engineering1		2		
		Advanced Systems Science and Engineering2		2		
		信頼性工学		2		
		人間工学		2		
		サイバーセキュリティと社会		2		
	理数・情報	微分積分1	2			○…教科及び教科の指導法に関する科目(数学)
		微分積分2	2			
		線形代数1	2			
		線形代数2	2			
		力学1	2			
		力学2		2		
		波動・熱力学	2			
		電磁気学		2		
		生物学		2		
		化学		2		
		現代物理学概論		2		
		情報基礎	3			
		AI基礎	1			
		統計学基礎	1			
		データサイエンスリテラシー	1			
	社会科学	科学技術史		2		
		科学技術と社会		2		
		行政学		2		
		政治学		2		
		社会福祉論		2		
		情報社会と法		2		
		日本国憲法		2		
		社会学概論		2		
		人間と自然環境		2		
		教育社会学		2		
		哲学1		2		
		哲学2		2		
		倫理学		2		

基礎教養科目	人文科学	生命倫理概論		2		
		技術者と倫理		2		
		世界史A		2		
		世界史B		2		
		国際デザイン史		2		
		認知心理学		2		
		組織心理学		2		
		教育の近現代史		2		
		教育原論		2		
		人間関係論		2		
	保健体育	体育実技1		1		
		体育実技2		1		
		からだの仕組みと運動		2		
		身体運動のメカニズム		2		
		健康科学論Ａ		2		
		健康科学論Ｂ		2		
	英語	English Basic Skills1		2		
		English Basic Skills2		2		
		English Advanced Skills1		2		
		English Advanced Skills2		2		
		English Remedial Course1			2	
		English Remedial Course2			2	
		Basic English for Science and Technology1		2		
		Basic English for Science and Technology2		2		
		Advanced English for Science and Technology1		2		
		Advanced English for Science and Technology2		2		
		理工系英語プレゼンテーション		2		
		海外英語研修1		2		
		海外英語研修2		2		
		海外短期英語研修1		1		
		海外短期英語研修2		1		
		学外英語検定1		2		
		学外英語検定2		2		
教職課程		事前・事後指導			1	
		教育実習1			2	
		教育実習2			2	
		教職実践演習(中・高)			2	
		教職インターンシップ1			1	
		教職インターンシップ2			1	
		Basic Control Engineering		2		
		制御工学		2		
		Introduction to Control Engineering		2		
		生体計測学		2		
		Cプログラミング(機械・電気)	3			
		医工学概論		1		
		Introduction to Biomedical-Engineering		1		
		Introduction to Embedded Programming		2		
		Introduction to Industrial Design		2		
		デザインエルゴノミクス		2		
		ディジタル信号処理		2		
		メカトロニクス		2		
		ものづくり工学		2		
		ロボット工学演習		1		
		ロボティクス		2		
		応用材料力学		2		
		応用設計		3		

	主専攻	回路とシステム		2		
		機械・電気システムセミナー		2		
		機械・電気基礎数学	2			
		機械・電気工学実験		3		
		ものづくり工学実習	2			
		機械基礎製図		2		
		機械計測工学		2		
		機械力学	2			
		機構学		2		
		計測工学		2		
		工業デザイン演習		2		
		材料・加工学		2		
		材料力学		2		
		自動車工学		2		
		振動工学		2		
		数値流体力学概論		2		
		設計製図		2		
		線形システム制御		2		
		創生設計		3		
		伝熱工学		2		
		電気・熱流体機器演習		3		
		電気電子回路		2		
		電気機器システム		2		
		熱力学		2		
		微分方程式	2			
		流れ学		2		
		フロントエンドとインタフェース基礎		2		
		センサとアクチュエータ		2		
		エンジニアリング・プラクティス1		1		
		エンジニアリング・プラクティス2		2		
		技術科指導法１		2		
		技術科指導法2		2		
		技術科指導法３		2		
		技術科指導法４		2		
		工業科指導法１		2		
		工業科指導法2		2		
		職業指導		2		
		工学基礎概論		1		
		栽培学		2		
		教育におけるICT活用		1		
		教育の方法及び技術		1		
		Cross-cultural Student Support		1		
		教職論		2		
		特別活動の指導法		1		
		総合的な学習の時間の指導法		1		
		道徳の理論及び指導法		2		
		生徒・進路指導論		2		
		教育課程論		2		
		教育相談論		2		
		教育心理学		2		
		特別支援教育論		1		
		IoT基礎		2		
		IoT設計論		2		
		電気回路		2		
		数値解析		2		

専門科目		電子回路		3			
		プログラミング入門		1			
		Python入門		1			
		Cプログラミング(情報)			3		
		データ構造とアルゴリズム		3			
		オブジェクト指向言語		2			
		モバイルプログラミング		2			
		ネットワークプログラミング		2			
		Computer Simulation		2			
		ソフトウェア設計論		2			
		ソフトウェア開発管理		2			
		現代的ソフトウェア構築技法		2			
		ゲームプログラミング		2			
		データベース		2			
		情報セキュリティ		2			
		インターネットプロトコル		2			
		情報理論		2			
		符号理論		2			
		ネットワークアプリケーション		2			
		ICT Systems Design		2			
		クラウドコンピューティング		2			
		メディア処理基礎		2			
		メディア処理1		2			
		メディア処理2		2			
		音声音響情報処理		2			
		自然言語処理		2			
		画像情報処理		2			
		コンピュータグラフィックス		2			
		VR/AR1		2			
		VR/AR2		2			
		ヒューマンコンピュータインタラクション		2			
		サイバーセキュリティ		2			
		エンタテインメントコンピューティング		2			
		メディアデザイン1		2			
		メディアデザイン2		2			
		メディア認知心理・人間工学		2			
		メディア表現基礎		2			
		メディア表現応用		2			
		メディアコンテンツビジネス		2			
		社会システム入門		1			
		システム科学		2			
		社会システム実践演習		3			
		データサイエンス応用		3			
		数理シミュレーション		3			
		シミュレーション＆ゲーミング		2			
		消費者行動論		2			
		社会調査法		2			
		ビジネスエコノミクス		2			
		金融・経済リテラシー		2			
	副専攻	マーケティング論		2			
		クリエイティブ産業論		2			
		保健医療福祉政策概論		2			
		建築史		2			
		建築基礎演習		2			
		建築構造基礎		2			

		建築計画基礎		2		
		建築環境設備基礎		2		
		建築設計情報演習		2		
		建設プロジェクトマネジメント		2		
		建築材料		2		
		建築生産・施工		2		
		建築環境工学		2		
		建築構造設計		3		
		建築構造力学1		2		
		建築構造力学2		2		
		環境・都市基礎		2		
		環境・都市基礎演習		1		
		SDGsと環境		2		
		都市計画基礎		2		
		都市計画演習		1		
		都市環境デザイン		2		
		都市及び都市計画史		2		
		都市・地域システム計画		2		
		Global Governance and Sustainable Strategy		2		
		土地利用計画		3		
		景観・ランドスケープデザイン		2		
		資源・エネルギーシステム論		3		
		環境政策		2		
		環境ビジネス		3		
		脱炭素と地域創発		2		
		生命科学概論		2		
		神経生理学		2		
		分子生物学		2		
		有機化学		2		
		食品栄養学		2		
		微生物学		2		
		発生生物学		2		
		分析化学		2		
		生物物理学		2		
		バイオイメージング		2		
		バイオマテリアル		2		
		バイオレオロジー		2		
		バイオメカニクス		2		
		バイオエレクトロニクス		2		
		バイオメカニカルエンジニアリング		2		
		スポーツ工学概論		2		
		スポーツ工学研究法		2		
		スポーツ信号処理		2		
		映像メディア解析		2		
		応用バイオメカニクス		2		
		脳機能計測学		2		
		健康長寿学		2		
		論理と集合		2		
		解析基礎		2		
		代数学1		2		
		幾何学1		2		
		ベクトル解析		2		
		複素解析		2		
		数値解析1		2		
		数理計画法		2		

		現象の数理		2		
		数理科学概論		2		
		金融工学		2		
		保険数学		2		
	総合研究	総合研究１	2			
		総合研究２	2			
		総合研究３	4			
		総合研究４	4			

【建築・環境課程】

科目区分		授業科目の名称	単位数			適要
			必修	選択	自由	
学際科目	SDGs・キャリアデザイン	SDGs入門	2			☆…教科及び教科の指導法に関する科目(理科)
		未来を創る1	2			
		未来を創る2	1			
		ダイバーシティ入門		2		
		インターンシップ		2		
		芝浦工業大学通論		2		
	アントレプレナーシップ	アントレプレナーシップA(価値創造)	2			□…教科及び教科の指導法に関する科目(情報)
		アントレプレナーシップB(事業創出)		2		
		経営工学		2		
		産学官金連携PBL		2		
		会計簿記		2		
	システム工学	システム工学A(システム計画方法論)	3			△…教科及び教科の指導法に関する科目(工業)
		システム工学B(数理計画法)	3			
		プロジェクトマネジメント		2		
		Advanced Systems Science and Engineering1		2		
		Advanced Systems Science and Engineering2		2		
		信頼性工学		2		
		人間工学		2		
		サイバーセキュリティと社会		2		
	理数・情報	微分積分1		2		○…教科及び教科の指導法に関する科目(数学)
		微分積分2		2		
		線形代数1		2		
		線形代数2		2		
		力学1		2		
		力学2		2		
		波動・熱力学		2		
		電磁気学		2		
		生物学		2		
		化学		2		
		現代物理学概論		2		
		情報基礎	3			
		AI基礎	1			
		統計学基礎	1			
		データサイエンスリテラシー	1			

基礎教養科目	社会科学	科学技術史		2		
		科学技術と社会		2		
		行政学		2		
		政治学		2		
		社会福祉論		2		
		情報社会と法		2		
		日本国憲法		2		
		社会学概論		2		
		人間と自然環境		2		
		教育社会学		2		
	人文科学	哲学1		2		
		哲学2		2		
		倫理学		2		
		生命倫理概論		2		
		技術者と倫理		2		
		世界史A		2		
		世界史B		2		
		国際デザイン史		2		
		認知心理学		2		
		組織心理学		2		
		教育の近現代史		2		
		教育原論		2		
		人間関係論		2		
	保健体育	体育実技1		1		
		体育実技2		1		
		からだの仕組みと運動		2		
		身体運動のメカニズム		2		
		健康科学論Ａ		2		
		健康科学論Ｂ		2		
	英語	English Basic Skills1		2		
		English Basic Skills2		2		
		English Advanced Skills1		2		
		English Advanced Skills2		2		
		English Remedial Course1			2	
		English Remedial Course2			2	
		Basic English for Science and Technology1		2		
		Basic English for Science and Technology2		2		
		Advanced English for Science and Technology1		2		
		Advanced English for Science and Technology2		2		
		理工系英語プレゼンテーション		2		
		海外英語研修1		2		
		海外英語研修2		2		

		海外短期英語研修1		1		
		海外短期英語研修2		1		
		学外英語検定1		2		
		学外英語検定2		2		
教職課程		事前・事後指導			1	
		教育実習1			2	
		教育実習2			2	
		教職実践演習(中・高)			2	
		教職インターンシップ1			1	
		教職インターンシップ2			1	
		社会システム入門		1		
		SDGsと環境		2		
		マーケティング論		2		
		消費者行動論		2		
		データサイエンス入門		1		
		ビジネスエコノミクス		2		
		社会調査法		2		
		都市及び都市計画史		2		
		環境・都市基礎		2		
		建築基礎演習		2		
		建築構造基礎		2		
		建築史		2		
		データサイエンス応用		3		
		環境・都市基礎演習		1		
		環境フィールド実習		2		
		Urban and Regional Studies		2		
		建築計画基礎		2		
		建築環境設備基礎		2		
		建築構造力学1		2		
		建築構造力学2		2		
		建築設計情報演習		2		
		資源・エネルギーシステム論		3		
		都市計画演習		1		
		都市計画基礎		2		
		情報倫理		1		
		Architecture and Environmental Design		2		
		Environmental Management		2		
		Environmental Urban Planning		2		
		Global Governance and Sustainable Strategy		2		
		History of Housing and Interior Design		2		
		International Comparison of AEC Industry		2		
		観光建築デザイン論		2		

		建築環境工学		2			
		建築デジタルデザイン演習		2			
		都市住宅論		2			
		環境ビジネス		3			
		建築デジタル・ファブリケーション		3			
	主専攻	土地利用計画		3			
		Architectural Planning and Design		2			
		Life Cycle Assessment		2			
		Planning for Community Resilience		2			
		Sustainable Business Practices		2			
		居住環境デザイン演習		2			
		建築生産・施工		2			
		建築材料		2			
		建築構造設計		3			
		居住環境デザイン論		2			
		建築・都市・環境総論		2			
		交通システム計画		2			
		都市・地域システム計画		2			
		都市環境デザイン		2			
		都市環境デザイン演習		2			
		International Studies on Planning, Architecture and Environmental Systems		1			
		景観・ランドスケープデザイン		2			
		建設プロジェクトマネジメント		2			
		建築・都市法規		2			
		環境政策		2			
		建築・都市・環境応用演習A		3			
		建築・都市・環境応用演習Ｂ		3			
		建築設備学		3			
		脱炭素と地域創発		2			
		都市環境基盤計画		2			
		Introduction to Embedded Programming		1			
		Environmental Field Survey 1		1			
		Environmental Field Survey 2		1			
		International Workshop on Environmental Planning and Design 1		1			
		International Workshop on Environmental Planning and Design 2		1			
		情報科指導法1		2			
		情報科指導法２		2			
		工業科指導法１		2			
		工業科指導法2		2			
		職業指導		2			
		工学基礎概論		1			
		教育の方法及び技術		1			

		教育におけるICT活用		1		
		Cross-cultural Student Support		1		
専門科目		教職論		2		
		生徒・進路指導論		2		
		教育課程論		2		
		教育相談論		2		
		特別支援教育論		1		
		特別活動の指導法		1		
		総合的な学習の時間の指導法		1		
		道徳の理論及び指導法		2		
		教育心理学		2		
		IoT基礎		2		
		IoT設計論		2		
		電気回路		2		
		フロントエンドとインタフェース基礎		2		
		センサとアクチュエータ		2		
		ディジタル信号処理		2		
		数値解析		2		
		電子回路		3		
		プログラミング入門		1		
		Python入門		1		
		Cプログラミング(情報)		3		
		データ構造とアルゴリズム		3		
		オブジェクト指向言語		2		
		モバイルプログラミング		2		
		ネットワークプログラミング		2		
		Computer Simulation		2		
		ソフトウェア設計論		2		
		ソフトウェア開発管理		2		
		現代的ソフトウェア構築技法		2		
		ゲームプログラミング		2		
		データベース		2		
		情報セキュリティ		2		
		インターネットプロトコル		2		
		情報理論		2		
		符号理論		2		
		ネットワークアプリケーション		2		
		ICT Systems Design		2		
		クラウドコンピューティング		2		
		メディア処理基礎		2		
		メディア処理1		2		
		メディア処理2		2		

		音声音響情報処理		2			
		自然言語処理		2			
		画像情報処理		2			
		コンピュータグラフィックス		2			
		VR/AR1		2			
		VR/AR2		2			
		ヒューマンコンピュータインタラクション		2			
		サイバーセキュリティ		2			
		エンタテインメントコンピューティング		2			
		メディアデザイン1		2			
		メディアデザイン2		2			
		メディア認知心理・人間工学		2			
		メディア表現基礎		2			
		メディア表現応用		2			
	副専攻	メディアコンテンツビジネス		2			
		システム科学		2			
		社会システム実践演習		3			
		数理シミュレーション		3			
		シミュレーション&ゲーミング		2			
		金融・経済リテラシー		2			
		クリエイティブ産業論		2			
		保健医療福祉政策概論		2			
		機械・電気システムセミナー		2			
		機構学		2			
		電気機器システム		2			
		材料・加工学		2			
		Introduction to Industrial Design		2			
		ものづくり工学		2			
		制御工学		2			
		機械計測工学		2			
		自動車工学		2			
		生命科学概論		2			
		神経生理学		2			
		分子生物学		2			
		有機化学		2			
		食品栄養学		2			
		微生物学		2			
		発生生物学		2			
		分析化学		2			
		生物物理学		2			
		バイオイメージング		2			
		医工学概論		1			

		機械力学		2		
		電気電子回路		2		
		バイオマテリアル		2		
		バイオレオロジー		2		
		バイオメカニクス		2		
		メカトロニクス		2		
		バイオエレクトロニクス		2		
		バイオメカニカルエンジニアリング		2		
		スポーツ工学概論		2		
		スポーツ工学研究法		2		
		生体計測学		2		
		スポーツ信号処理		2		
		映像メディア解析		2		
		応用バイオメカニクス		2		
		脳機能計測学		2		
		健康長寿学		2		
		論理と集合		2		
		解析基礎		2		
		代数学1		2		
		幾何学1		2		
		ベクトル解析		2		
		複素解析		2		
		数値解析1		2		
		数理計画法		2		
		現象の数理		2		
		数理科学概論		2		
		金融工学		2		
		保険数学		2		
	総合研究	総合研究１	2			
		総合研究２	2			
		総合研究３	4			
		総合研究４	4			

授業科目		単位数			適要
		必修	選択	自由	
基礎科目	微分積分Ⅰ	2			☆…教科及び教科の指導法に関する科目（理科）
	微分積分Ⅱ		2		
	線形代数Ⅰ	2			
	線形代数Ⅱ		2		
	微分方程式		2		
	ベクトル解析		2		
	☆ 力学Ⅰ		2		
	☆ 力学Ⅱ		2		
	☆ 波動・熱力学		2		
	☆ 電磁気学		2		
	☆ 生物学Ⅰ		2		
	☆ 生物学Ⅱ		2		
	☆ 化学Ⅰ		2		
	☆ 化学Ⅱ		2		
	☆ 現代物理学概論		2		
システム・情報目	情報処理Ⅰ	2			
	情報処理Ⅱ	2			
	情報処理演習Ⅰ	1			
	情報処理演習Ⅱ	1			
	システム工学A（システム計画方法論）	2			
	システム工学B（数理計画法）	2			
	システム工学C（データサイエンス）		2		
	システム工学演習A	1			
	システム工学演習B	1			
	システム工学演習C		2		
	創る		2		
	信頼性工学		2		
	人間工学		2		
	システム理工学入門		2		
	データサイエンス（応用）		2		
	AI基礎		1		
	データサイエンスリテラシー		1		
	Advanced Systems Science and Engineering		2		
	システム科学		2		

授業科目		単位数			適要
		必修	選択	自由	
専門科目	☆ 生命科学概論		2		☆…教科及び教科の指導法に関する科目（理科）
	☆ 解剖学		2		
	☆ 生理学Ⅰ		2		
	☆ 生理学Ⅱ		2		
	☆ 分子生物学		2		
	☆ 医学概論		2		
	☆ 微生物学		2		
	☆ 発生遺伝学		2		
	☆ 環境化学		2		
	☆ 公衆衛生学		2		
	☆ 生命倫理		2		
	生命統計学		2		
	☆ 生化学		2		
	☆ 生体計測学		2		
	☆ Advanced Bioscience		2		
	Assistive Technology		2		
	☆ Genetic Engineering		2		
	☆ Basic Biology		2		
	グローバル課題解決実習1		1		
	グローバル課題解決実習2		1		
	グローバル課題解決実習3		1		
	キャリアデザイン		2		
	インターンシップ		1		
	総合研究Ⅰ	4			
	総合研究Ⅱ	4			
	☆ 無機化学		2		
	☆ 物理化学		2		
	☆ 分析化学		2		
	☆ 有機化学Ⅰ		2		
	☆ 有機化学Ⅱ		2		
	☆ 生体高分子工学		2		
	☆ 食品栄養学		2		
	☆ 細胞生理学		2		
	☆ 環境生物学		2		
	☆ 応用生物工学		2		
	☆ 医薬化学概論		2		
	☆ 生命科学実験A		3		
	☆ 生命科学実験B		3		

	☆ 生命科学実験C		3		
	☆ 応用生命科学実験		2		
	☆ 機械力学		2		
	☆ 材料力学		2		
	☆ 流れ学		2		
	☆ 電気回路		2		
	☆ 生体力学		2		
	機械設計製作演習		3		
	制御工学		2		
	☆ 電子回路		2		
	メカトロニクス		2		
	医工学プログラミング演習		2		
	医療福祉機器設計演習		3		
	☆ 生体材料学		2		
	☆ 生物物理学		2		
	CAD／CAM演習		2		
	福祉リハビリテーション工学		2		
	医用画像工学		2		
	生命医工学セミナー		2		
	☆ 生命医工学実験Ⅰ		3		
	☆ 生命医工学実験Ⅱ		3		
	Introduction to Embedded Programming（International Training）		2		
	☆ Introduction of Bioengineering		2		
	Basic Control Engineering		2		
	Introduction to Control Engineering		2		
	Embedded Control Systems（International Training）		2		
	理科指導法1		2		
	理科指導法2		2		

【数理科学課程】

科目区分		授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	適要
学際科目	SDGs・キャリアデザイン	SDGs入門	2			☆…教科及び教科の指導法に関する科目(理科)
		未来を創る1	2			
		未来を創る2	1			
		ダイバーシティ入門		2		
		インターンシップ		2		
		芝浦工業大学通論		2		
	アントレプレナーシップ	アントレプレナーシップA(価値創造)	2			□…教科及び教科の指導法に関する科目(情報)
		アントレプレナーシップB(事業創出)		2		
		経営工学		2		
		産学官金連携PBL		2		
		会計簿記		2		
	システム工学	システム工学A(システム計画方法論)	3			△…教科及び教科の指導法に関する科目(工業)
		システム工学B(数理計画法)	3			
		プロジェクトマネジメント		2		
		Advanced Systems Science and Engineering1		2		
		Advanced Systems Science and Engineering2		2		
		信頼性工学		2		
		人間工学		2		
		サイバーセキュリティと社会		2		
	理数・情報	微分積分1	2			○…教科及び教科の指導法に関する科目(数学)
		微分積分2	2			
		線形代数1	2			
		線形代数2	2			
		力学1	2			
		力学2		2		
		波動・熱力学		2		
		電磁気学		2		
		生物学		2		
		化学		2		
		現代物理学概論		2		
		情報基礎	3			
		AI基礎	1			
		統計学基礎	1			
		データサイエンスリテラシー	1			
	社	科学技術史		2		
		科学技術と社会		2		
		行政学		2		
		政治学		2		

基礎教養科目	社会科学	社会福祉論		2		
		情報社会と法		2		
		日本国憲法		2		
		社会学概論		2		
		人間と自然環境		2		
		教育社会学		2		
	人文科学	哲学1		2		
		哲学2		2		
		倫理学		2		
		生命倫理概論		2		
		技術者と倫理		2		
		世界史A		2		
		世界史B		2		
		国際デザイン史		2		
		認知心理学		2		
		組織心理学		2		
		教育の近現代史		2		
		教育原論		2		
		人間関係論		2		
	保健体育	体育実技1		1		
		体育実技2		1		
		からだの仕組みと運動		2		
		身体運動のメカニズム		2		
		健康科学論Ａ		2		
		健康科学論Ｂ		2		
	英語	English Basic Skills1		2		
		English Basic Skills2		2		
		English Advanced Skills1		2		
		English Advanced Skills2		2		
		English Remedial Course1			2	
		English Remedial Course2			2	
		Basic English for Science and Technology1		2		
		Basic English for Science and Technology2		2		
		Advanced English for Science and Technology1		2		
		Advanced English for Science and Technology2		2		
		理工系英語プレゼンテーション		2		
		海外英語研修1		2		
		海外英語研修2		2		
		海外短期英語研修1		1		
		海外短期英語研修2		1		
		学外英語検定1		2		
		学外英語検定2		2		

教職課程		事前・事後指導			1	
		教育実習1			2	
		教育実習2			2	
		教職実践演習(中・高)			2	
		教職インターンシップ1			1	
		教職インターンシップ2			1	
	主専攻	基礎数理セミナー	2			
		情報リテラシー	1			
		Cプログラミング(数理科学)	3			
		数学入門1	2			
		数学入門2	2			
		論理と集合	2			
		確率統計	2			
		微分方程式	2			
		数値解析1	2			
		数値解析2		2		
		数理科学概論		2		
		集合と位相		2		
		代数学1	2			
		代数学2		2		
		代数学3		2		
		Introduction to Applied Algebra		2		
		幾何学1	2			
		幾何学2		2		
		幾何学3		2		
		Introduction to Advanced Mathematics		2		
		計算機代数		2		
		Linear Space and Vector Calculus		2		
		数理科学特論Ａ		1		
		数理科学特論Ｂ		1		
		数理科学特論Ｃ		1		
		数理科学特論Ｄ		1		
		解析基礎		2		
		現象の数理		2		
		複素解析		2		
		測度と積分		2		
		関数方程式論		2		
		ベクトル解析		2		
		関数解析1		2		
		関数解析2		2		
		Calculus with Differential Equations		2		
		数理計画法		2		

		制御理論基礎		2		
		離散数理		2		
		シミュレーション		2		
		Advanced Control Theory		2		
		Topics in Numerical Analysis		2		
		計算理論基礎		2		
		ハイパフォーマンスコンピューティング		2		
		Javaプログラミング		3		
		記号処理		2		
		Theory of Computation		2		
		情報理論		2		
		インターネットプロトコル		2		
		メディア処理基礎		2		
		多変量解析		2		
		金融工学		2		
		保険数学		2		
		確率統計学特論		2		
		Practical English in Mathematical Sciences		2		
		Topics in Pure and Applied Mathematics		2		
		国際数理科学実習1		2		
		国際数理科学実習2		2		
		数学科指導法1		2		
		数学科指導法2		2		
		数学科指導法3		2		
		数学科指導法4		2		
		教育の方法及び技術		1		
		教育におけるICT活用		1		
		情報科指導法1		2		
		情報科指導法2		2		
		情報倫理		1		
		データサイエンス入門		1		
		データベース		2		
		Cross-cultural Student Support		1		
		教職論		2		
		特別活動の指導法		1		
		総合的な学習の時間の指導法		1		
		道徳の理論及び指導法		2		
		生徒・進路指導論		2		
		教育課程論		2		
		教育相談論		2		
		教育心理学		2		
		特別支援教育論		1		

		IoT基礎		2			
		IoT設計論		2			
		データ構造とアルゴリズム		3			
		電気回路		2			
		フロントエンドとインタフェース基礎		2			
		センサとアクチュエータ		2			
		ディジタル信号処理		2			
		数値解析		2			
		電子回路		3			
		プログラミング入門		1			
		Python入門		1			
		Cプログラミング(情報)			3		
		オブジェクト指向言語		2			
		モバイルプログラミング		2			
		ネットワークプログラミング		2			
		Computer simulation		2			
		ソフトウェア設計論		2			
		ソフトウェア開発管理		2			
		現代的ソフトウェア構築技法		2			
		ゲームプログラミング		2			
		情報セキュリティ		2			
専門科目		符号理論		2			
		ネットワークアプリケーション		2			
		ICT Systems Design		2			
		クラウドコンピューティング		2			
		メディア処理1		2			
		メディア処理2		2			
		音声音響情報処理		2			
		自然言語処理		2			
		画像情報処理		2			
		コンピュータグラフィックス		2			
		VR/AR1		2			
		VR/AR2		2			
		ヒューマンコンピュータインタラクション		2			
		サイバーセキュリティ		2			
		エンタテインメントコンピューティング		2			
		メディアデザイン1		2			
		メディアデザイン2		2			
		メディア認知心理・人間工学		2			
		メディア表現基礎		2			
		メディア表現応用		2			
		メディアコンテンツビジネス		2			

		社会システム入門		1			
		システム科学		2			
		社会システム実践演習		3			
		データサイエンス応用		3			
		数理シミュレーション		3			
		シミュレーション＆ゲーミング		2			
		消費者行動論		2			
		社会調査法		2			
		ビジネスエコノミクス		2			
		金融・経済リテラシー		2			
		マーケティング論		2			
		クリエイティブ産業論		2			
		保健医療福祉政策概論		2			
	副専攻	機械・電気システムセミナー		2			
		機構学		2			
		電気機器システム		2			
		材料・加工学		2			
		Introduction to Industrial Design		2			
		ものづくり工学		2			
		制御工学		2			
		機械計測工学		2			
		自動車工学		2			
		建築史		2			
		建築基礎演習		2			
		建築構造基礎		2			
		建築計画基礎		2			
		建築環境設備基礎		2			
		建築設計情報演習		2			
		建設プロジェクトマネジメント		2			
		建築材料		2			
		建築生産・施工		2			
		建築環境工学		2			
		建築構造設計		3			
		建築構造力学1		2			
		建築構造力学2		2			
		環境・都市基礎		2			
		環境・都市基礎演習		1			
		SDGsと環境		2			
		都市計画基礎		2			
		都市計画演習		1			
		都市環境デザイン		2			
		都市及び都市計画史		2			

		都市・地域システム計画		2		
		Global Governance and Sustainable Strategy		2		
		土地利用計画		3		
		景観・ランドスケープデザイン		2		
		資源・エネルギーシステム論		3		
		環境政策		2		
		環境ビジネス		3		
		脱炭素と地域創発		2		
		生命科学概論		2		
		神経生理学		2		
		分子生物学		2		
		有機化学		2		
		食品栄養学		2		
		微生物学		2		
		発生生物学		2		
		分析化学		2		
		生物物理学		2		
		バイオイメージング		2		
		医工学概論		1		
		機械力学		2		
		生体計測学		2		
		電気電子回路		2		
		バイオマテリアル		2		
		バイオレオロジー		2		
		バイオメカニクス		2		
		メカトロニクス		2		
		バイオエレクトロニクス		2		
		バイオメカニカルエンジニアリング		2		
		スポーツ工学概論		2		
		スポーツ工学研究法		2		
		生体計測学		2		
		スポーツ信号処理		2		
		映像メディア解析		2		
		応用バイオメカニクス		2		
		脳機能計測学		2		
		健康長寿学		2		
	総合研究	総合研究１	2			
		総合研究２	2			
		総合研究３	4			
		総合研究４	4			

システム理工学部
【教職課程】

システム理工学部　情報課程　機械・電気課程　建築・環境課程　生命科学科　数理科学課程

授業科目		単位数			摘要
		必修	選択	自由	
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論		2		共通科目(総合科目)
	教育の近現代史		2		共通科目(総合科目)
	教育心理学		2		共通科目(総合科目)
	教育社会学		2		共通科目(総合科目)
	教職論		2		共通科目(教職科目)
	特別支援教育論		1		共通科目(教職科目)
	教育課程論		2		共通科目(総合科目)
	総合的な学習の時間の指導法			1	
	道徳の理論及び指導法			2	
	特別活動の指導法			1	
	教育の方法及び技術		1		共通科目(教職科目)
	教育におけるICT活用		1		共通科目(教職科目)
	生徒・進路指導論		2		共通科目(教職科目)
	教育相談論		2		共通科目(総合科目)
	事前・事後指導			1	
	教職インターンシップ1			1	
	教職インターンシップ2			1	
	教育実習1			2	
	教育実習2			2	
	教職実践演習(中・高)			2	
教科及び教科の指導法に関する科目	○ 数学科指導法1		2		
	○ 数学科指導法2		2		
	○ 数学科指導法3			2	
	○ 数学科指導法4			2	
	☆ 理科指導法1		2		
	☆ 理科指導法2		2		
	☆ 理科指導法3			2	○…教科及び教科の指導法に関する科目(数学)
	☆ 理科指導法4			2	☆…教科及び教科の指導法に関する科目(理科)
	☆ 総合科実験			1	△…教科及び教科の指導法に関する科目(工業)
	△ 工業科指導法1		2		□…教科及び教科の指導法に関する科目(情報)
	△ 工業科指導法2		2		
	△ 職業指導			2	
	□ 情報科指導法1		2		
	□ 情報科指導法2		2		
	道徳の理論及び指導法			2	高等学校免許状の課程のみ適用
大学が独自に設定する科目	人間関係論		2		共通科目(教職科目)

教育職員免許状の種類・教職課程開設科目及び修得単位数
1. 教育職員免許状の種類・教科

学部	課程名	免許状の種類	教科名
システム理工学部	情報課程	高等学校教諭一種免許状	
	機械・電気課程	高等学校教諭一種免許状	
	建築・環境課程	中学校教諭一種免許状	
	生命科学科	高等学校教諭一種免許状	
	数理科学課程	中学校教諭一種免許状	

2. 教員免許状取得に要する教科別単位数

所要資格等 ＼ 免許状の種類	基礎資格	免許状取得に必要な最低修得単位数			
		教科及び教科の指導法に関する科目		教育の基礎的理解に関する科目	大学が独自に設定する科目
		教科名	単位数		
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること 日本国憲法 体育 外国語コミュニケーション 情報機器の操作 それぞれ2単位取得を要する	数学	28単位以上	28単位	3単位
		理科	28単位以上		
高等学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること 日本国憲法 体育 外国語コミュニケーション 情報機器の操作 それぞれ2単位取得を要する	数学	24単位以上	24単位	11単位
		理科	24単位以上		
		情報	24単位以上		
		工業	24単位以上		

3. 教育の基礎的理解に関する科目および大学が独自に設定する科目

資格・教科	中学校教諭一種免許状		高等学校教諭一種免許状			
授業科目名	数学	理科	数学	理科	情報	工業
教職論●	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
教育原論○	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
教育の近現代史○	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
教育心理学○	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
特別支援教育論●	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位

教育社会学○	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
教育課程論○	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
道徳の理論及び指導法	2単位	2単位	2単位＊	2単位＊	2単位＊	2単位＊
総合的な学習の時間の指導法	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
特別活動の指導法	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
教育の方法及び技術●	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
教育におけるICT活用●	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
生徒・進路指導論●	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
教育相談論○	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
人間関係論●	2単位＊	2単位＊	2単位＊	2単位＊	2単位＊	2単位＊
事前・事後指導	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
教育実習1	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
教育実習2	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
教職実践演習(中・高)	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位

○共通科目(総合科目)
●共通科目(教職科目)
＊大学が独自に設定する科目

4. 教科及び教科の指導法に関する科目

教科名	施行規則に定める科目区分等	修得単位数	
		中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
数学	代数学 幾何学 解析学 確率論・統計学 コンピュータ	計20単位以上	計20単位以上
	各教科の指導法	計8単位	計4単位以上
理科	物理学 化学 生物学 地学 物理学実験 化学実験 生物学実験 地学実験	計20単位以上	計20単位以上
	各教科の指導法	計8単位	計4単位以上
情報	情報社会(職業に関する内容を含む)・情報倫理 コンピュータ・情報処理 情報システム 情報通信ネットワーク マルチメディア表現・マルチメディア技術		計20単位以上
	各教科の指導法		計4単位
工業	職業指導 工業の関係科目		計20単位以上
	各教科の指導法		計4単位

別表５

授　業　科　目

デザイン工学部
【デザイン工学科】

◎必修科目　△選択科目　□自由科目

系列	科目番号	科目名称	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次		週コマ数	授業形態	学修・教育到達目標	備考
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
全学共通科目	10017004	ダイバーシティ入門	2	△	△							1	講義	A	
	40072600	芝浦工業大学通論	2	△	△							1	講義	A	
	40211100	消費者行動論	2	△	△							1	講義	A	
	40211200	マーケティング概論	2	△	△							1	講義	A	
	40211300	デジタルプレゼンテーション	2	△	△							1	講義	A	
	40076100	Ｊａｐａｎｅｓｅ　Ｌａｎｇｕａｇｅ　Ⅰ	2	□	□							1	講義	－	
	40076200	Ｊａｐａｎｅｓｅ　Ｌａｎｇｕａｇｅ　Ⅱ	2	□	□							1	講義	－	
	40076300	Ｊａｐａｎｅｓｅ　Ｌａｎｇｕａｇｅ　Ⅲ	2	□	□							1	講義	－	
	40076400	Ｊａｐａｎｅｓｅ　Ｌａｎｇｕａｇｅ　Ⅳ	2	□	□							1	講義	－	

系列		科目番号	科目名称	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次		週コマ数	授業形態	学修・教育到達目標	備考
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
共通教養科目	人文系	40003000	哲学（存在と心）	2	△								1	講義	A	
		40003700	工学倫理	2	△								1	講義	A,B	
		40005500	民俗学	2	△								1	講義	A	
		40049000	環境学	2	△								1	講義	A	
		40075000	科学技術論	2	△								1	講義	A,B	
		40075450	近現代史	2	△								1	講義	A	
		40061200	体育講義	2	△	△							1	講義	A	
		40062300	体育実技	1	△	△							1	実技	A	
		40006400	比較文化論	2		△							1	講義	A	
		40050900	エコロジー	2		△							1	講義	A,B	
		40075200	哲学（知識と言語）	2		△							1	講義	A	
		40075350	美学・美術史	2		△							1	講義	A	
		40075500	現代文芸論	2		△							1	講義	A	
		40216000	Engineering Ethics	2						△			1	講義	A,B	
	社会科学系	40046200	経済学	2	△								1	講義	A	
		40024400	社会学／社会情報学	2		△							1	講義	A	
		40025500	行動科学	2		△							1	講義	A	
		40041800	法学	2		△							1	講義	A	
		40042700	日本国憲法	2		△							1	講義	A	
		40048500	政治と国際関係	2						△			1	講義	A	
		10019004	アントレプレナーシップ入門	2	△	△							1	講義	A	※1
		10023004	アントレプレナーシップ応用	2			△	△					1	講義	A	※1
		40078400	地域志向型デザイン	1	△（不定）								1	演習	A	集中
		40078500	地域創生インターンシップ	2			□（不定）						2	実習	A	集中
	キャリア系	40073600	キャリアプラン	1				△					2	演習	A	
		40074700	キャリア・デザイン	1					△				2	演習	A	
		40077000	海外工学英語研修	1	△（不定）								1	演習	A	集中
		40078100	グローバルPBL1	1	△（不定）								1	演習	A	集中
		40078200	グローバルPBL2	1	△（不定）								1	演習	A	集中
		40078300	グローバルPBL3	1	△（不定）								1	演習	A	集中
	教育系	40096010	教育原論	2	△	△							1	講義	A	
		40096040	教育心理学	2	△	△							1	講義	A	
		40096060	教育の近現代史	2	△	△							1	講義	A	
		40096080	人間関係論	2	△	△							1	講義	A	※1
		Z4041700	教職論	2	△	△							1	講義	A	※1
		Z4045800	特別活動の指導法	1			△	△					1	講義	A	※1
		Z4060700	道徳の理論及び指導法	2			△	△					1	講義	A	
		Z4060800	総合的な学習の時間の指導法	1			△	△					1	講義	A	※1
		Z4070600	工業科指導法１	2			△	△					1	講義	A	※1
		Z4071400	工業科指導法２	2			△	△					1	講義	A	※1
		Z4260300	教育課程論	2			△	△					1	講義	A	
		Z4012810	教育の方法及び技術	1			△	△					1	講義	A	※1
		Z4012820	教育におけるICT活用	1			△	△					1	講義	A	※1
		40096050	教育社会学	2					△	△			1	講義	A	
		Z4025000	生徒・進路指導論	2					△	△			1	講義	A	※1
		Z4026800	教育相談論	2					△	△			1	講義	A	※1
		Z4060900	特別支援教育論	1					△	△			1	講義	A	集中
	外国語（その他）	40091300	基礎中国語	2	△								1	講義	A	
		40092400	中国語表現	2		△							1	講義	A	
	外国語（英語）	40081700	総合英語	2	△								1	講義	A	
		40082600	英語表現	2		△							1	講義	A	
		40083500	英語講読１	2			△						1	講義	A	
		40084400	英語講読２	2				△					1	講義	A	
		40086200	ライティング	2			△						1	講義	A	
		40087500	テクニカルイングリッシュ	2				△					1	講義	A	
		40088000	英語プレゼンテーション	2					△				1	講義	A	
		40087000	ビジネス英語	2						△			1	講義	A	
		40095000	英語圏の言語と文化	2	△（不定）								1	講義	A	集中
		40095500	英語圏の言語と文化(短期プログラム)	1	△（不定）								1	講義	A	集中

※1　前期または後期のいずれかに開講

授　業　科　目

デザイン工学部
【デザイン工学科】

◎必修科目　○選択必修科目　△選択科目

系列		科目番号	科目名称	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次		週コマ数	授業形態	学修・教育到達目標	備考
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
データ・サイエンス科目	データ解析	40101600	線形代数１	2	◎								1	講義	C	
		40105200	微積分学１	2	◎								1	講義	C	
		Y0211100	統計学基礎	1		◎							1	演習	C,D2	
		40206000	数理計画法	2			△						1	講義	C	
		Y0211110	数理モデリング	2			△						1	講義	C,D2	
		40113040	数値解析	2				△					2	講義	C,D2	
		40047200	計量経済学	2					△				1	講義	C,D2	
		40215080	シミュレーション工学	2					△				1	講義	C	
		Y0071030	マーケティング・リサーチ	2						△			2	演習	C,D2	
		Y0150800	データマイニング	2						△			1	講義	C,D2	
	データ・サイエンス	Y0211200	データ・サイエンス入門	1	◎								1	講義	C	
		40121400	基礎力学	2	△								1	講義	C	
		40126900	集合と論理	2	△								1	講義	C	
		40103400	線形代数２	2		△							1	講義	C	
		40107000	微積分学２	2		△							1	講義	C	
		40124700	物理学（電磁気）	2		△							1	講義	C	
		Y0211210	工業力学・静力学	2		△							1	講義	C	
		Y0211220	データサイエンスリテラシー	1		△							1	講義	C	集中
		Y0211230	工業力学・動力学	2			△						1	講義	C	
		Y0211240	データ・サイエンス演習	1			△						1	演習	C	
		40110700	ベクトル解析	2					△				1	講義	C	
		Y0211250	フーリエ変換	1					△				1	講義	C	
		Y0073090	ゲーム理論	2						△			1	講義	C	
デザイン科目	デザインリテラシー	Y0002600	ものづくり概論	2	◎								1	講義	E	
		Y0027100	デザイン基礎表現演習	2	◎								2	演習	E	
		Y0212100	構想デザイン入門	2	◎								1	講義	D1	
		Y0006000	構想デザイン論	2			◎						1	講義	D1	
		40021100	認知心理学入門	2		△							1	講義	E	
		Y0004800	デザイン史	2		△							1	講義	E	
		Y0102000	ユニバーサルデザイン	2			△						1	講義	E	
		40026600	人間工学	1				△					1	講義	E	
		Y0104600	インターフェースデザイン	1				△					1	講義	E	
		Y0106400	サービスデザイン	2					△				1	講義	E	
		Y0212110	論文作成演習	2					△				1	演習	F	
		Y0107100	デザインマネージメント	2						△			1	講義	E	
		Y0150400	プロモーション計画論	2						△			1	講義	E	
	ビジネスメイキング	40022200	組織心理学	2	△								1	講義	A	
		40048100	経営学	2	△								1	講義	D1	
		40071400	プレゼンテーション	2		△							1	講義	F	
		40004600	企業倫理	2			△						1	講義	B	
		Y0070400	マーケティング	2			△						1	講義	D1	
		Y0068600	財務会計	2				△					1	講義	A	
		Y0074070	ビジネスモデル論	2					△				1	講義	D1	
エンジニアリング科目	プロダクトデザイン	Y0027200	造形基礎演習	2		○							2	演習	E	
		Y0213100	構成基礎演習	2	△								2	演習	E	
		Y0022300	プロダクトデザイン	2		△							1	講義	E	
		Y0108900	プロダクトデザイン演習1	2			△						2	演習	E	
		Y0109700	プロダクトデザイン演習2	2				△					2	演習	E	
		Y0103800	エモーショナルデザイン	2						△			1	講義	E	
	機能デザイン	40207000	SDGs入門	2		△							1	講義	B,E	
		Y0026900	3D CAD	2		△							1	講義	E	
		Y0027800	機構設計学	2				△					1	講義	E	
		Y0213200	有限要素法	2				△					2	講義	E	
		Y0213200	基礎熱力学	2					△				1	講義	E	
		Y0213220	基礎流体力学	2					△				1	講義	E	
		Y0213230	熱流体シミュレーション	2						△			1	講義	E	
		Y0213240	機械要素設計	2						△			1	講義	E	

授　業　科　目

デザイン工学部
【デザイン工学科】

◎必修科目　○選択必修科目　△選択科目

系列		科目番号	科目名称	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次		週コマ数	授業形態	学修・教育到達目標	備考
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
エンジニアリング科目	メカニカルデザイン	Y0213300	基礎製図演習	2		○							2	演習	E	
		40125800	化学	2	△								1	講義	E	
		40213020	材料力学	2			△						1	講義	E	
		Y0145300	材料工学	2			△						1	講義	E	
		Y0213310	ものづくり実習	2			△						2	実習	E	
		40209700	機械力学	2				△					1	講義	E	
		Y0063100	金型工学	2				△					1	講義	E	
		Y0066800	生産加工学	2					△				1	講義	E	
		Y0213320	エコマテリアル	2						△			1	講義	E	
	UI/UXデザイン	40302000	情報表現基礎演習	2		○							2	演習	E	
		Y0154000	UXデザイン	2			△						1	講義	E	
		Y0154400	UXデザイン演習	2			△						2	演習	E	
		Y0007100	色彩論	2				△					1	講義	E	
			Color Theory	2				△					1	講義		英語開講
		Y0153200	コンテンツデザイン	2				△					1	講義	E	
		Y0153600	コンテンツデザイン演習	2				△					2	演習	E	
		40303000	情報デザイン論	2					△				1	講義	E	
			Information Design	2					△				1	講義	E	英語開講
	ソフトウェア	40203300	情報処理演習	2		○							2	演習	E	
		Y0201100	プログラミング１	2			△						3	演習	E	
		Y0201200	プログラミング２	2			△						3	演習	E	
		Y0045000	コンピュータアーキテクチャ	2				△					1	講義	E	
		Y0122600	データ構造とアルゴリズム	2				△					1	講義	E	
		Y0123400	オブジェクト指向プログラミング	2				△					1	講義	E	
		Y0124200	オブジェクト指向プログラミング演習	1				△					1	演習	E	
		Y0127700	ソフトウェア設計論	2					△				1	講義	E	
		Y0128500	ソフトウェア設計論演習	1					△				1	演習	E	
		Y0155600	要求工学	2						△			1	講義	E	
	ロボティクス	40205100	電気回路	2		△							1	講義	E	
		40212040	基礎エレクトロニクス	2			△						1	講義	E	
		Y0041600	ディジタル回路	2			△						1	講義	E	
		Y0156400	ロボット製作演習	2				△					2	実習	E	
		Y0213600	計測工学	1				△					1	講義	E	
		Y0213610	制御工学	1				△					1	講義	E	
		Y0240010	信号処理	1					△				1	講義	E	
		Y0133050	モーションコントロール	2					△				1	講義	E	
		Y0156000	人工知能	2					△				1	講義	E	
		Y0132070	ロボティクス	2						△			1	講義	E	
プロジェクト科目		Y0170001	プロジェクト演習１	2					△	△			3	演習	D2,E,F	
		Y0170002	プロジェクト演習２	2					△	△			3	演習	D2,E,F	
		Y0170003	プロジェクト演習３	2					△	△			3	演習	D2,E,F	
		Y0170004	プロジェクト演習４	2					△	△			3	演習	D2,E,F	
		Y0170005	プロジェクト演習５	2					△	△			3	演習	D2,E,F	
		Y0170006	プロジェクト演習６	2					△	△			3	演習	D2,E,F	
		Y0170007	プロジェクト演習７	2					△	△			3	演習	D2,E,F	
		Y0170008	プロジェクト演習８	2					△	△			3	演習	D2,E,F	
		Y0170009	プロジェクト演習９	2					△	△			3	演習	D2,E,F	
		Y0170010	プロジェクト演習１０	2					△	△			3	演習	D2,E,F	
		Y0170011	プロジェクト演習１１	2					△	△			3	演習	D2,E,F	
		Y0170012	プロジェクト演習１２	2					△	△			3	演習	D2,E,F	
		Y0170013	プロジェクト演習１３	2					△	△			3	演習	D2,E,F	
		Y0170014	プロジェクト演習１４	2					△	△			3	演習	D2,E,F	
		Y0170015	プロジェクト演習１５	2					△	△			3	演習	D2,E,F	
		Y0170016	プロジェクト演習１６	2					△	△			3	演習	D2,E,F	
		Y0170017	プロジェクト演習１７	2					△	△			3	演習	D2,E,F	
		Y0170018	プロジェクト演習１８	2					△	△			3	演習	D2,E,F	
		Y0170019	プロジェクト演習１９	2					△	△			3	演習	D2,E,F	
		Y0214000	プロジェクト研究	2						◎			2	演習	B,D1,D2,E,F	
		Y0214010	総合プロジェクト1	6							◎	◎	2	卒研	D1,D2,E,F	
		Y0214020	総合プロジェクト2	6							◎	◎	2	卒研	D2,E,F	

授　業　科　目

デザイン工学部
【教職課程】
デザイン工学部　デザイン工学科

◎必修科目　△選択科目

系　列	科目番号	科目名称	単位数	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		週コマ数	授業形態	免許科目	備 考
				前	後	前	後	前	後	前	後				
教育の基礎的理解に関する科目	Z4041700	教職論	2	◎	◎							1	講義		※1
	40096010	教育原論	2	◎	◎							1	講義		
	40096040	教育心理学	2	◎	◎							1	講義		
	40096060	教育の近現代史	2	△	△							1	講義		
	Z4260300	教育課程論	2			◎	◎					1	講義		
	40096050	教育社会学	2					◎	◎			1	講義		
	Z4060900	特別支援教育論	1					◎	◎			1	講義		
道徳、総合的な学習の時間の指導法及び生徒指導、教育相談などに関する科目	Z4012810	教育の方法及び技術	1			◎	◎					1	講義		※1
	Z4012820	教育におけるICT活用	1			◎	◎					1	講義		
	Z4045800	特別活動の指導法	1			◎	◎					1	講義		
	Z4060700	道徳の理論及び指導法	2			△	△					1	講義		
	Z4025000	生徒・進路指導論	2					◎	◎			1	講義		
	Z4026800	教育相談論	2					◎	◎			1	講義		
	Z4060800	総合的な学習の時間の指導法	1			◎	◎					1	講義		
教育実践に関する科目	Z4182900	事前・事後指導	1							◎		1	講義		
	Z4183700	教育実習1	2							◎		－	実習		集中
	Z4184600	教育実習2	2							△		－	実習		集中
	Z4780000	教職実践演習（中・高）	2								◎	1	演習		
大学が独自に設置する科目	40096080	人間関係論	2	△	△							1	講義		※1
教科及び教育の指導法に関する科目	Y0240030	ラボ探究	1				◎					1	講義	工業	
	Z4070600	工業科指導法1	2			◎	◎					1	講義	工業	※1
	Z4071400	工業科指導法2	2			◎	◎					1	講義	工業	
職業指導	Z4051700	職業指導	2					◎				1	講義	工業	
情報機器の操作	Z4021100	情報機器の操作	2		◎							1	講義		

備考欄「※ 1 」の科目は共通教養科目として取得単位は卒業要件単位数に参入されますが、教職課程履修者以外の履修は制限されることがあります。それ以外の科目は自由科目となり、卒業要件単位数に参入されません。

教育職員免許状の種類・教職課程開設科目及び修得単位数

１．教育職員免許状の種類・教科

学　　部	学　　科　　名	免　許　状　の　種　類	教 科 名
デザイン工学部	デザイン工学科	高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	工業

２．教員免許状取得に要する教科別単位数

所要資格等 ／ 免許状の種類	基　礎　資　格	専門教育科目の最低単位数			
		教科及び教科の指導法に関する科目		教育の基礎的理解に関する科目	大学が独自に設定する科目
		教科名	単位数		
高等学校教諭一種免許状	学士の称号を有すること 日本国憲法 体育 外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 情報機器の操作 （それぞれ２単位取得を要する）	工　　業	２４単位以上	２４単位	１１単位

３．教育の基礎的理解に関する科目及び大学が独自に設定する科目

授業科目名 ／ 資格・教科	高等学校教諭一種免許状 工　　業
教　育　原　論　※	２単位
教育の近現代史　※	２単位
教　職　論　※	２単位
教　育　社　会　学　※	２単位
教　育　心　理　学　※	２単位
特別支援教育論　※	１単位
教　育　課　程　論　※	２単位
道徳の理論及び指導法※	２単位
総合的な学習の時間の指導法※	１単位
特別活動の指導法　※	１単位
教育の方法及び技術※	１単位
教育におけるＩＣＴ活用※	１単位
生徒・進路指導論　※	２単位
教　育　相　談　論　※	２単位
事　前　・　事　後　指　導	１単位
教　育　実　習　１	２単位
教　育　実　習　２	２単位
教職実践演習（中・高）	２単位
人　間　関　係　論　※	２単位

※共通教養科目

４．教科及び教科の指導法に関する科目

教科名	施行規則に定める科目区分等	修得単位数 高等学校教諭一種免許状
工業	職業指導 工業の関係科目 各教科の指導法	計２０単位以上 ４単位
	計	２４単位以上

別表６

授　業　科　目

建築学部

【建築学科　基礎・教養科目群】

◎ 必修科目 △ 選択科目 □ 自由科目

系列		科目番号	科目名称	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次		週コマ数	授業形態	学修・教育到達目標	備考
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
数理基礎科目	数学科目	S2014000	線形代数1	2	△	△							1	講義	3	
		S2020000	線形代数2	2		△							1	講義	3	
		S2027000	微分積分及び演習1	3	△	△							2	講義	3	
		S2033000	微分積分及び演習2	3		△							2	講義	3	
		S2045000	統計学基礎	1		◎							1	演習	3	
		S2050000	微分方程式	2			△	△					1	講義	3	
		S2056000	ベクトル解析	2			△	△					1	講義	3	
		S2063000	応用解析概論	2				△					1	講義	3	
	理科科目	S2076000	物理学入門	2	△								2	講義	3	
		S2079000	基礎力学	2		△							1	講義	3	
		S2082000	基礎力学演習	2		△							1	演習	3	
		S2085000	基礎環境化学	2	△	△							1	講義	3	
		S2094000	基礎熱統計力学	2			△						1	講義	3	
		S2097000	基礎熱統計力学演習	2			△						1	演習	3	
外国語科目	英語科目	S2210000	Listening and Speaking	2	△								1	講義	6	
		S2213000	Reading and Writing	2		△							1	講義	6	
		S2220000	Reading	2			△	△					1	講義	6	
		S2226000	Writing	2			△	△					1	講義	6	
		S2228000	Presentation Ⅰ	2			△	△					1	講義	6	
		S2231000	Presentation Ⅱ	2			△	△					1	講義	6	
		S2241000	TOEIC1	2			△	△					1	講義	6	
		S2243000	TOEIC2	2			△	△					1	講義	6	
人文社会・情報系教養科目		S2410000	情報リテラシ	2	△								1	講義	3,5	
		S2412000	データサイエンスリテラシー	1		△							1	講義	3,5	集中
		S2419000	情報時代の地域・都市	2			△	△					1	講義	3,5	
		S2423000	哲学・倫理学	2					△	△			1	講義	3,5	
		S2428000	技術者の倫理	2	△	△							1	講義	3,5	
		S2434000	生命倫理	2	△	△							1	講義	3,5	
		S2437000	日本国憲法	2	△	△							1	講義	3,5	
		S2440000	知的財産法	2					△	△			1	講義	3,5	
		S2443000	法学入門	2	△	△							1	講義	3,5	
		S2446000	民法	2			△	△					1	講義	3,5	
		S2449000	地方自治論	2			△	△					1	講義	3,5	
		S2452000	社会学	2	△	△							1	講義	3,5	
		S2455000	ジェンダー論	2			△	△					1	講義	3,5	
		S2458000	地域社会学	2			△	△					1	講義	3,5	
		S2461000	生産と消費の環境論	2			△	△					1	講義	3,5	
		S2473000	人間社会と環境問題	2	△	△							1	講義	3,5	
		S2476000	地域と環境	2			△	△					1	講義	3,5	
		S2479000	福祉と技術	2	△	△							1	講義	3,5	
		S2485000	都市と文学	2	△	△							1	講義	3,5	
		S2488000	現代日本の社会	2	△	△							1	講義	3,5	
		S2489000	グローバリゼーション論	2			△	△					1	講義	3,5	
		S2491000	芸術学	2	△	△							1	講義	3,5	
		S2494000	文化人類学	2	△	△							1	講義	3,5	
		S2497000	比較文化論	2					△	△			1	講義	3,5	
		S2503000	現代の日本経済	2	△	△							1	講義	3,5	
		S2505000	経済学	2	△	△							1	講義	3,5	
		S2512000	応用経済学	2					△	△			1	講義	3,5	
		S2518000	プレゼンテーション入門	2	△	△							1	講義	3,5	
		S2521000	レポートライティング	2	△	△							1	演習	3,5	
		S2524000	地域・社会調査入門	2			△	△					1	講義	3,5	
		S2527000	地域と経済	2			△	△					1	講義	3,5	
体育・健康科目	シミュレーションスキー科目（身体的コミュニケーション）	S2611000	スポーツ科学実技1	1	△	△							1	実技	9	
		S2621000	スポーツ科学実技2	1	△	△							1	実技	9	
		S2632000	スポーツ科学実技3	1	□	□							1	実技	9	
		S2642000	スポーツ科学実技4	1	□	□							1	実技	9	
	理論科目	S2682000	スポーツバイオメカニクス	2	△								1	講義	9	
		S2688000	スポーツ健康学	2	△	△							1	講義	9	
		S2694000	コンディショニング演習	2	△	△							1	演習	9	
その他の基礎教養科目		10099002	芝浦工業大学通論	2	□	□							1	講義	1	
		10017002	ダイバーシティ入門	2	□	□							1	講義	6	
		10099042	アントレプレナーシップ入門	2	□	□							1	講義	3,5	
		10099072	アントレプレナーシップ応用	2			□	□					1	講義	3,5	
		10017102	消費者行動論	2	□	□							1	講義	3,5	
		10017202	マーケティング概論	2	□	□							1	講義	3,5	
		10017302	デジタルプレゼンテーション	2	□	□							1	講義	3,5	
		10099012	Japanese Language Ⅰ	2	□	□							1	講義	6	
		10099022	Japanese Language Ⅱ	2	□	□							1	講義	6	
		10099032	Japanese LanguageⅢ	2	□	□							1	講義	6	
		10099062	Japanese LanguageⅣ	2	□	□							1	講義	6	
学科課程外		W0000001	学外英語検定	2	△不定								1	その他	6	
		W0000002	海外語学演習（短期） 1	1	△不定								1	演習	6	
		W0000003	海外語学演習（短期） 2	1	△不定								1	演習	6	
		W0000004	海外語学演習（短期） 3	1	△不定								1	演習	6	
		W0000005	海外語学演習（短期） 4	1	△不定								1	演習	6	
		W0000006	海外語学演習１	2	△不定								2	演習	6	
		W0000007	海外語学演習２	2	△不定								2	演習	6	
		W0000008	海外語学演習３	2	△不定								2	演習	6	
		W0000009	海外語学演習４	2	△不定								2	演習	6	

※「学外英語検定」(２単位)は学科課程外科目。なお、学科課程外科目のうち「海外語学演習(短期)１」(１単位)、「海外語学演習(短期)２」(１単位)、「海外語学演習(短期)３」(１単位)、「海外語学演習（短期）4」（1単位）、「海外語学演習１」(２単位)、「海外語学演習２」(２単位)、「海外語学演習３」(２単位)、「海外語学演習４」(２単位)は、４単位を上限に卒業要件に算入されます。

授　業　科　目

建築学部

【建築学科 APコース　専門科目群】

◎ 必修科目　　○ コース必修

1 選択必修科目（１群）　　2 選択必修科目（2群）　　△ 選択科目

科目番号	科目名称	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次		週コマ数	授業形態	学修・教育到達目標	備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
S0010000	建築デザイン基礎1	2	◎								3	演習	4	
S0013000	建築デザイン入門	2	△								1	講義	2,4	
S0016000	居住空間史	2	△								1	講義	1	
S0022000	デザイン史	2		△							1	講義	1	
S0025000	建築デザイン基礎2	2		◎							3	演習	4	
S0034000	建築スタジオ演習1	2		△							2	演習	4,5	APコースのみ
S0037000	建築の形態と空間	2		△							1	講義	4	
S0040000	建築ものづくり	2		△							1	講義	4	
S0043000	建築環境工学1	2		◎							1	講義	2,4	
S0046000	構造力学・演習	3		◎							2	講義	3,4	
S0210000	住生活論	2			△						1	講義	1	
S0219000	建築スタジオ演習2	2			○						3	演習	4,5	APコースのみ
S0221099 S0222000	CAD・CG演習	2			△						2	演習	4	
S0225000	建築設計計画論	2			△						1	講義	4	
S0228000	建築計画1	2			△						1	講義	4	
S0231000	都市地域計画	2			△						1	講義	4	
S0234000	西洋建築史	2			△						1	講義	1	
S0237000	建築環境工学2	2			△						1	講義	2,4	
S0240000	材料力学・演習	3			△						2	講義	3,4	
S0243000	建築構造計画	2			△						1	講義	3,4	
S0246000	構造材料	2			△						1	講義	4	
S0249000	色彩・素材論	2				△					1	講義	4	
S0252000	建築環境心理学	2				△					1	講義	4	
S0261000	建築スタジオ演習3	2				○					3	演習	4,5	APコースのみ
S0270000	地域マネジメント	2				△					1	講義	4	
S0273000	地域設計論	2				△					1	講義	4	
S0282000	日本建築史	2				△					1	講義	1	
S0285000	木造建築	2				△					1	講義	4	
S0288000	BIM演習1	2				△					2	演習	4	
S0291000	建築設備	2				△					1	講義	4	
S0294000	建築構造解析・演習	3				△					2	講義	3,4	
S0297000	仕上げ材料	2				△					1	講義	4	
S0300000	建築エネルギー計画	2				△					1	講義	4	
S0410000	空調システム計画	2					△				1	講義	4	
S0413000	都市環境設備計画	2					△				1	講義	2,4	
S0422000	建築スタジオ演習4A	1					△				3	演習	4,5	APコースのみ
S0422500	建築スタジオ演習4B	1					△				3	演習	4,5	APコースのみ
S0428000	空間情報デザイン演習	2					△				2	演習	4,5	APコースのみ
S0431000	近代建築と技術	2					△				1	講義	1,4	
S0434000	近代建築作家論	2					△				1	講義	1,4	
S0438000	ユニバーサル施設計画論	2					△				1	講義	4	
S0440000	建築法規	2					△				1	講義	2,4	
S0443000	都市住宅論	2					△				1	講義	4	
S0446000	都市デザイン論	2					△				1	講義	4	
S0539000	建築文化史	2					△				1	講義	1	
S0452000	建築生産	2					△				1	講義	4	
S0455000	建築プロジェクトマネジメント	2					△				1	講義	4	
S0458000	BIM演習2	2					△				2	演習	4	
S0461000	建築構工法1	2					△				1	講義	4	
S0466999 S0467000	鉄筋コンクリート造の設計1	2					△				1	講義	3,4	
S0469999 S0470000	鋼構造の設計	2					△				1	講義	3,4	
S0473000	建築環境実験	2					△				3	実験	8,9	
S0476000	建築材料施工実験	2					△				3	実験	8,9	
S0479000	建築構造実験	2					△				3	実験	8,9	
S0482000	建築材料構造実験	2					△				3	実験	8,9	
S0485000	プロジェクトゼミ	2						○			2	実習	3,4,5,7,8,9	
S0488000	建築英語	2						△			1	講義	6	
S0491000	GIS演習	2						△			2	演習	4	
S0494000	建築音響計画	2						△			1	講義	4	
S0497000	給排水システム計画	2						△			1	講義	4	
S0500000	光環境計画	2						△			1	講義	4	

授　業　科　目

建築学部

【建築学科 APコース　専門科目群】

◎ 必修科目　　○ コース必修

1 選択必修科目（１群）　　2 選択必修科目（2群）　　△ 選択科目

科目番号	科目名称	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次		週コマ数	授業形態	学修・教育到達目標	備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
S0503000	基礎構造	2						△			1	講義	3,4	
S0506000	鉄筋コンクリート造の設計2	2						△			1	講義	3,4	
S0509000	マトリックス構造解析	2						△			1	講義	3,4	
S0463999 S0464000	建築振動解析	2						△			1	講義	3,4	
S0512000	建築防災	2						△			1	講義	2,4	
S0515000	維持保全・改修	2						△			1	講義	2,4	
S0521000	ランドスケープ論	2						△			1	講義	4	
S0524000	建築計画2	2						△			1	講義	4	
S0528000	建築保全再生計画	2						△			1	講義	2,4	
S0530000	建築・都市法規	2						△			1	講義	2,4	
S0533000	都市再生マネジメント	2						△			1	講義	4	
S0536000	都市防災計画	2						△			1	講義	2,4	
S0542000	近代建築史	2						△			1	講義	1	
S0545000	施工計画・管理	2						△			1	講義	4	
S0548000	建築経済	2						△			1	講義	4	
S0551000	木造建築の設計	2						△			1	講義	4	
S0554000	建築構工法2	2						△			1	講義	4	
S0557000	建築環境学	2						△			1	講義	4	
S0610000	建築家職能論	2							△		1	講義	2,4	
S0613000	卒業研究1	2							◎	◎	2	実習	1,2,3,4,5,6,7,8,9	
S0616000	卒業研究2	2							◎	◎	2	実習	1,2,3,4,5,6,7,8,9	
S0810000	国際ワークショップ1A	1	2（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0810100	国際ワークショップ2A	1	2（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0810200	国際ワークショップ3A	1	2（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0810300	国際ワークショップ4A	1	2（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0813000	国際ワークショップ1B	1	2（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0813100	国際ワークショップ2B	1	2（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0813200	国際ワークショップ3B	1	2（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0813300	国際ワークショップ4B	1	2（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0816000	インターンシップ1	1					△（不定）				1	実習	6,7,8,9	集中
S0819000	インターンシップ2	1					△（不定）				1	実習	6,7,8,9	集中
S0822000	海外建築研修	2				2					2	実習	6,7,9	集中
S0825000	国内プロジェクト1	1	1（不定）								1	実習	8,9	集中 APコースのみ
S0828000	国内プロジェクト2	1	1（不定）								1	実習	8,9	集中 APコースのみ
S0831000	国内プロジェクト3	1	1（不定）								1	実習	8,9	集中 APコースのみ
S0834000	国内プロジェクト4	1	1（不定）								1	実習	8,9	集中 APコースのみ
S0853000	イタリア・ローマ建築実習Ａ	2			2（不定）						2	実習	6,7,9	集中 APコースのみ
S0854000	イタリア・ローマ建築実習Ｂ	2			2（不定）						2	実習	6,7,9	集中 APコースのみ
S0837000	韓国建築実習A	2					2（不定）				2	実習	6,7,9	集中
S0840000	韓国建築実習B	2					2（不定）				2	実習	6,7,9	集中
S0843000	フランス建築実習A	2					2（不定）				2	実習	6,7,9	集中
S0846000	フランス建築実習B	2					2（不定）				2	実習	6,7,9	集中
S0849000	イタリア・ラクイラ建築実習Ａ	2					2（不定）				2	実習	6,7,9	集中
S0852000	イタリア・ラクイラ建築実習Ｂ	2					2（不定）				2	実習	6,7,9	集中
S0855000	ロシア建築実習A	2					2（不定）				2	実習	6,7,9	集中 APコースのみ
S0858000	ロシア建築実習B	2					2（不定）				2	実習	6,7,9	集中 APコースのみ
S0861000	プロジェクト研究1	2			△						1	講義	7,8,9	集中 APコースのみ
S0864000	プロジェクト研究2	2				△					1	講義	7,8,9	集中 APコースのみ

授　業　科　目

建築学部

【建築学科 APコース　専門科目群】

◎ 必修科目　　○ コース必修

1 選択必修科目（１群）　　2 選択必修科目（2群）　　△ 選択科目

科目番号	科目名称	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次		週コマ数	授業形態	学修・教育到達目標	備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
S0867000	プロジェクト研究3	2			△						1	講義	7,8,9	集中 APコースのみ
S0871000	国内ワークショップ1	1	△（不定）								1	実習	8,9	集中
S0872000	国内ワークショップ2	1	△（不定）								1	実習	8,9	集中
S0873000	国内ワークショップ3	1	△（不定）								1	実習	8,9	集中
S0874000	国内ワークショップ4	1	△（不定）								1	実習	8,9	集中

授　業　科　目

建築学部

【建築学科 SAコース　専門科目群】

◎ 必修科目　　○ コース必修

3 選択必修科目（3群）　　△ 選択科目

科目番号	科目名称	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次		週コマ数	授業形態	学修・教育到達目標	備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
S0010001	建築デザイン基礎1	2	◎								3	演習	4	
S0013001	建築デザイン入門	2	△								1	講義	2,4	
S0016001	居住空間史	2	△								1	講義	1	
S0022000	デザイン史	2		△							1	講義	1	
S0025001	建築デザイン基礎2	2		◎							3	演習	4	
S0028001	空間建築デザイン演習1	2		△							2	演習	4,5	SAコースのみ
S0037001	建築の形態と空間	2		△							1	講義	4	
S0043001	建築環境工学1	2		◎							1	講義	2,4	
S0046001	構造力学・演習	3		◎							2	講義	3,4	
S0049001	建築計画	2		△							1	講義	4	
S0210000	住生活論	2			△						1	講義	1	
S0213001	空間建築デザイン演習2	2			○						3	演習	4,5	SAコースのみ
S0222001	CAD・CG演習	2			△						2	演習	4	
S0225001	建築設計計画論	2			△						1	講義	4	
S0231001	都市地域計画	2			△						1	講義	4	
S0234001	西洋建築史	2			△						1	講義	1	
S0237001	建築環境工学2	2			△						1	講義	2,4	
S0240001	材料力学・演習	3			△						2	講義	3,4	
S0243001	建築構造計画	2			△						1	講義	3,4	
S0246001	構造材料	2			△						1	講義	4	
S0249000	色彩・素材論	2				△					1	講義	4	
S0252000	建築環境心理学	2				△					1	講義	4	
S0255001	空間建築デザイン演習3	2				○					3	演習	4,5	SAコースのみ
S0267001	建築設計論	2				△					1	講義	4	SAコースのみ
S0273001	地域設計論	2				△					1	講義	4	
S0279001	建築構法	2				△					1	講義	4	SAコースのみ
S0282001	日本建築史	2				△					1	講義	1	
S0288001	BIM演習1	2				△					2	演習	4	
S0291001	建築設備	2				△					1	講義	4	
S0294001	建築構造解析・演習	3				△					2	講義	3,4	
S0297001	仕上げ材料	2				△					1	講義	4	
S0300001	建築エネルギー計画	2				△					1	講義	4	
S0410001	空調システム計画	2					△				1	講義	4	
S0413000	都市環境設備計画	2					△				1	講義	2,4	
S0416001	空間建築デザイン演習4A	1					△				3	演習	4,5	SAコースのみ
S0416501	空間建築デザイン演習4B	1					△				3	演習	4,5	SAコースのみ
S0518001	空間地域デザイン演習	1					△				3	演習	4,5	SAコースのみ
S0431001	近代建築と技術	2					△				1	講義	1,4	
S0438001	ユニバーサル施設計画論	2					△				1	講義	4	
S0440001	建築法規	2					△				1	講義	2,4	
S0443001	都市住宅論	2					△				1	講義	4	
S0539001	建築文化史	2					△				1	講義	1	
S0452001	建築生産	2					△				1	講義	4	
S0458001	BIM演習2	2					△				2	演習	4	
S0467001	鉄筋コンクリート造の設計1	2					△				1	講義	3,4	
S0470001	鋼構造の設計	2					△				1	講義	3,4	
S0473001	建築環境実験	2					3				3	実験	8,9	
S0476001	建築材料施工実験	2					3				3	実験	8,9	
S0479001	建築構造実験	2					3				3	実験	8,9	
S0485001	プロジェクトゼミ	2						○			2	実習	3,4,5,7,8,9	
S0488000	建築英語	2						△			1	講義	6	
S0491000	GIS演習	2						△			2	演習	4	
S0494000	建築音響計画	2						△			1	講義	4	
S0497000	給排水システム計画	2						△			1	講義	4	
S0500000	光環境計画	2						△			1	講義	4	
S0503000	基礎構造	2						△			1	講義	3,4	
S0506000	鉄筋コンクリート造の設計2	2						△			1	講義	3,4	
S0509000	マトリックス構造解析	2						△			1	講義	3,4	
S0464001	建築振動解析	2						△			1	講義	3,4	
S0512000	建築防災	2						△			1	講義	2,4	
S0515000	維持保全・改修	2						△			1	講義	2,4	
S0521001	ランドスケープ論	2						△			1	講義	4	
S0542001	近代建築史	2						△			1	講義	1	
S0545001	施工計画・管理	2						△			1	講義	4	

授　業　科　目

建築学部

【建築学科 SAコース　専門科目群】

◎ 必修科目　　○ コース必修

3 選択必修科目（3群）　　△ 選択科目

科目番号	科目名称	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次		週コマ数	授業形態	学修・教育到達目標	備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
S0548001	建築経済	2						△			1	講義	4	
S0551001	木造建築の設計	2						△			1	講義	4	
S0557001	建築環境学	2						△			1	講義	4	
S0610001	建築家職能論	2							△		1	講義	2,4	
S0613000	卒業研究1	2							◎	◎	2	実習	1,2,3,4,5,6,7,8,9	
S0616000	卒業研究2	2							◎	◎	2	実習	1,2,3,4,5,6,7,8,9	
S0810001	国際ワークショップ1A	1	△（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0810101	国際ワークショップ2A	1	△（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0810201	国際ワークショップ3A	1	△（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0810301	国際ワークショップ4A	1	△（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0813001	国際ワークショップ1B	1	△（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0813101	国際ワークショップ2B	1	△（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0813201	国際ワークショップ3B	1	△（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0813301	国際ワークショップ4B	1	△（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0816000	インターンシップ1	1					△（不定）				1	実習	6,7,8,9	集中
S0819000	インターンシップ2	1					△（不定）				1	実習	6,7,8,9	集中
S0822001	海外建築研修	2				△					2	実習	6,7,9	集中
S0871001	国内ワークショップ1	1	△（不定）								1	実習	8,9	集中
S0872001	国内ワークショップ2	1	△（不定）								1	実習	8,9	集中
S0873001	国内ワークショップ3	1	△（不定）								1	実習	8,9	集中
S0874001	国内ワークショップ4	1	△（不定）								1	実習	8,9	集中

授　業　科　目

建築学部

【建築学科 UAコース　専門科目群】

◎ 必修科目　　○ コース必修

4 選択必修科目（4群）　　△ 選択科目

科目番号	科目名称	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次		週コマ数	授業形態	学修・教育到達目標	備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
S0010002	建築デザイン基礎1	2	◎								3	演習	4	
S0013002	建築デザイン入門	2	△								1	講義	2,4	
S0016002	居住空間史	2	△								1	講義	1	
S0022000	デザイン史	2		△							1	講義	1	
S0025002	建築デザイン基礎2	2		◎							3	演習	4	
S0031002	都市建築デザイン演習1	2		△							2	演習	4,5	UAコースのみ
S0037002	建築の形態と空間	2		△							1	講義	4	
S0040002	建築ものづくり	2		△							1	講義	4	
S0043002	建築環境工学1	2		◎							1	講義	2,4	
S0046002	構造力学・演習	3		◎							2	講義	3,4	
S0210000	住生活論	2			△						1	講義	1	
S0216002	都市建築デザイン演習2	2			○						3	演習	4,5	UAコースのみ
S0222002	CAD・CG演習	2			△						2	演習	4	
S0228002	建築計画1	2			△						1	講義	4	
S0231002	都市地域計画	2			△						1	講義	4	
S0234002	西洋建築史	2			△						1	講義	1	
S0237002	建築環境工学2	2			△						1	講義	2,4	
S0240002	材料力学・演習	3			△						2	講義	3,4	
S0243002	建築構造計画	2			△						1	講義	3,4	
S0246002	構造材料	2			△						1	講義	4	
S0249000	色彩・素材論	2				△					1	講義	4	
S0252000	建築環境心理学	2				△					1	講義	4	
S0258002	都市建築デザイン演習3	2				○					3	演習	4,5	UAコースのみ
S0270002	地域マネジメント	2				△					1	講義	4	
S0282002	日本建築史	2				△					1	講義	1	
S0285002	木造建築	2				△					1	講義	4	
S0288002	BIM演習1	2				△					2	演習	4	
S0291002	建築設備	2				△					1	講義	4	
S0294002	建築構造解析・演習	3				△					2	講義	3,4	
S0297002	仕上げ材料	2				△					1	講義	4	
S0300002	建築エネルギー計画	2				△					1	講義	4	
S0539002	建築文化史	2					△				1	講義	1	
S0410002	空調システム計画	2					△				1	講義	4	
S0413000	都市環境設備計画	2					△				1	講義	2,4	
S0419002	都市建築デザイン演習4A	1					△				3	演習	4,5	UAコースのみ
S0419502	都市建築デザイン演習4B	1					△				3	演習	4,5	UAコースのみ
S0425002	都市地域デザイン演習	2					△				3	演習	4,5	UAコースのみ
S0434002	近代建築作家論	2					△				1	講義	1,4	
S0446002	都市デザイン論	2					△				1	講義	4	
S0455002	建築プロジェクトマネジメント	2					△				1	講義	4	
S0458002	BIM演習2	2					△				2	演習	4	
S0461002	建築構工法1	2					△				1	講義	4	
S0464002	建築振動解析	2						△			1	講義	3,4	
S0467002	鉄筋コンクリート造の設計1	2					△				1	講義	3,4	
S0470002	鋼構造の設計	2					△				1	講義	3,4	
S0473002	建築環境実験	2					4				3	実験	8,9	
S0482002	建築材料構造実験	2					4				3	実験	8,9	
S0485002	プロジェクトゼミ	2						○			2	実習	3,4,5,7,8,9	
S0488000	建築英語	2						△			1	講義	6	
S0491000	GIS演習	2						△			2	演習	4	
S0494000	建築音響計画	2						△			1	講義	4	
S0497000	給排水システム計画	2						△			1	講義	4	
S0500000	光環境計画	2						△			1	講義	4	
S0503000	基礎構造	2						△			1	講義	3,4	
S0506000	鉄筋コンクリート造の設計2	2						△			1	講義	3,4	
S0509000	マトリックス構造解析	2						△			1	講義	3,4	
S0512000	建築防災	2						△			1	講義	2,4	
S0515000	維持保全・改修	2						△			1	講義	2,4	
S0521002	ランドスケープ論	2						△			1	講義	4	
S0524002	建築計画2	2						△			1	講義	4	
S0528002	建築保全再生計画	2						△			1	講義	2,4	
S0530002	建築・都市法規	2						△			1	講義	2,4	
S0533002	都市再生マネジメント	2						△			1	講義	4	
S0536002	都市防災計画	2						△			1	講義	2,4	

授　業　科　目

建築学部

【建築学科 UAコース　専門科目群】

◎ 必修科目　　○ コース必修

4 選択必修科目（4群）　　△ 選択科目

科目番号	科目名称	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次		週コマ数	授業形態	学修・教育到達目標	備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
S0542002	近代建築史	2						△			1	講義	1	
S0545002	施工計画・管理	2						△			1	講義	4	
S0548002	建築経済	2						△			1	講義	4	
S0554002	建築構工法2	2						△			1	講義	4	
S0557002	建築環境学	2						△			1	講義	4	
S0613000	卒業研究1	2							◎	◎	2	実習	1,2,3,4,5,6,7,8,9	
S0616000	卒業研究2	2							◎	◎	2	実習	1,2,3,4,5,6,7,8,9	
S0810002	国際ワークショップ1A	1	△（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0810102	国際ワークショップ2A	1	△（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0810202	国際ワークショップ3A	1	△（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0810302	国際ワークショップ4A	1	△（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0813002	国際ワークショップ1B	1	△（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0813102	国際ワークショップ2B	1	△（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0813202	国際ワークショップ3B	1	△（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0813302	国際ワークショップ4B	1	△（不定）								1	実習	6,7,8,9	集中
S0816000	インターンシップ1	1					△（不定）				1	実習	6,7,8,9	集中
S0819000	インターンシップ2	1					△（不定）				1	実習	6,7,8,9	集中
S0822002	海外建築研修	2				△					2	実習	6,7,9	集中
S0837002	韓国建築実習A	2					△（不定）				2	実習	6,7,9	集中
S0840002	韓国建築実習B	2					△（不定）				2	実習	6,7,9	集中
S0843002	フランス建築実習A	2					△（不定）				2	実習	6,7,9	集中
S0846002	フランス建築実習B	2					△（不定）				2	実習	6,7,9	集中
S0849002	イタリア・ラクイラ建築実習 A	2					△（不定）				2	実習	6,7,9	集中
S0852002	イタリア・ラクイラ建築実習 B	2					△（不定）				2	実習	6,7,9	集中
S0871002	国内ワークショップ1	1	△（不定）								1	実習	8,9	集中
S0872002	国内ワークショップ2	1	△（不定）								1	実習	8,9	集中
S0873002	国内ワークショップ3	1	△（不定）								1	実習	8,9	集中
S0874002	国内ワークショップ4	1	△（不定）								1	実習	8,9	集中

別表７……学部・課程・学科別卒業要件

別表８……納入金

別表９……学位の種類

別表７

学部・課程・学科別卒業要件（取得単位数）

工学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。

但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

以下の条件を満たした学生のみが卒業することができる。

・卒業要件に含む単位を124単位以上取得していること。

・各科目系列について、少なくとも以下の表において定められている単位数を取得していること。

・累積のGPAは2.0以上であること

機械工学課程　基幹機械コース

科目系列			各科目系列において最低限取得すべき単位数	（参考）必修科目の内訳
基礎・教養科目	数理基礎科目	数学科目	必修19単位を含み27単位	・線形代数1（2単位） ・線形代数2（2単位） ・微分積分1（4単位） ・微分積分2（4単位）
		物理学科目		・物理学実験（3単位） ・基礎力学（2単位）
		化学科目		・化学の基礎と実験(2単位)
	英語科目		必修4単位を含み8単位	・Reading＆Writing 1（2単位） ・Listening＆Speaking 1（2単位）
	情報科目		必修2単位	・データサイエンス演習（2単位）
	人文社会系教養科		必修2単位と選択必	・技術者の倫理（2単位）

	目		修4単位	
	体育健康科目		必修1単位	・スポーツ科学実技1（1単位）
	工学部共通教養科目		―	―
専門科目	工学部共通専門科目		必修2単位	・社会の中の工学（1単位） ・工学研究探訪1（1単位）
	自コース専門科目		必修26単位 選択必修A群から12単位 選択必修B群から12単位を含み62単位	・材料力学1（2単位） ・流体力学1（2単位） ・熱力学1（2単位） ・振動工学1（2単位） ・機械設計製図1（3単位） ・機械設計製図2（3単位） ・卒業研究1（2単位） ・卒業研究2（2単位） ・卒業研究3（4単位） ・卒業研究4（4単位）
	他コース専門科目		―	―
コース外科目			―	―
教職科目			―	―
総単位数			124単位	

工学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。

但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

以下の条件を満たした学生のみが卒業することができる。

・卒業要件に含む単位を124単位以上取得していること。

・各科目系列について、少なくとも以下の表において定められている単位数を取得していること。

・累積のGPAは2.0以上であること

機械工学課程　先進機械コース

科目系列	各科目系列において	（参考）必修科目の内訳

			最低限取得すべき単位数	
基礎・教養科目	数理基礎科目	数学科目	必修19単位を含み27単位	・線形代数1（2単位） ・線形代数2（2単位） ・微分積分1（4単位） ・微分積分2（4単位）
		物理学科目		・物理学実験（3単位） ・基礎力学（2単位）
		化学科目		・化学の基礎と実験(2単位)
	英語科目		必修4単位を含み8単位	・Reading＆Writing 1（2単位） ・Listening＆Speaking 1（2単位）
	情報科目		必修3単位	・C言語入門（3単位）
	人文社会系教養科目		必修2単位と選択必修4単位	・技術者の倫理（2単位）
	体育健康科目		必修1単位	・スポーツ科学実技1（1単位）
	工学部共通教養科目		―	―
専門科目	工学部共通専門科目		必修2単位	・社会の中の工学（1単位） ・工学研究探訪1（1単位）
	自コース専門科目		必修28単位 選択必修A群から12単位 選択必修B群から4単位を含み60単位	・先進機械基礎1（2単位） ・材料力学1（2単位） ・機械工学概論1（2単位） ・流体力学1（2単位） ・熱力学1（2単位） ・振動工学1（2単位） ・機械工学概論2（2単位） ・機械工学概論3（2単位） ・卒業研究1（2単位）

				・卒業研究2（2単位） ・卒業研究3（4単位） ・卒業研究4（4単位）
	他コース専門科目		—	—
コース外科目			—	—
教職科目			—	—
総単位数			124単位	

工学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。

但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

以下の条件を満たした学生のみが卒業することができる。

・卒業要件に含む単位を124単位以上取得していること。

・各科目系列について、少なくとも以下の表において定められている単位数を取得していること。

・累積のGPAは2.0以上であること

物質化学課程　環境・物質工学コース

科目系列			各科目系列において最低限取得すべき単位数	（参考）必修科目の内訳
基礎・教養科目	数理基礎科目	数学科目	必修2単位を含み12単位	—
		物理学科目		—
		化学科目		・化学実験（2単位）
	英語科目		必修4単位を含み8単位	・Reading＆Writing 1（2単位） ・Listening＆Speaking 1（2単位）
	情報科目		1単位	—
	人文社会系教養科目		必修2単位を含み8単位	・技術者の倫理（2単位）

	体育健康科目		必修1単位	・スポーツ科学実技1（1単位）
	工学部共通教養科目		―	―
専門科目	工学部共通専門科目		必修2単位	・社会の中の工学（1単位） ・工学研究探訪1（1単位）
	自コース専門科目		必修34単位 選択必修16単位を含み70単位	・環境と化学（2単位） ・環境物質工学入門(2単位) ・熱力学（2単位） ・有機材料（2単位） ・状態図と金属組織(2単位) ・環境物質工学通論(2単位) ・生体材料化学（2単位） ・環境物質科学実験1（2単位） ・環境物質科学実験2（2単位） ・環境物質工学実験1（2単位） ・環境物質工学実験2（2単位） ・卒業研究1（2単位） ・卒業研究2（2単位） ・卒業研究3（4単位） ・卒業研究4（4単位）
	他コース専門科目		―	―
コース外科目			―	―
教職科目			―	―
総単位数			124単位	

工学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。

但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

以下の条件を満たした学生のみが卒業することができる。

・卒業要件に含む単位を124単位以上取得していること。

・各科目系列について、少なくとも以下の表において定められている単位数を取得していること。

・累積のGPAは2.0以上であること

物質化学課程　化学・生命工学コース

科目系列			各科目系列において最低限取得すべき単位数	（参考）必修科目の内訳
基礎・教養科目	数理基礎科目	数学科目	8単位	—
		物理学科目		—
		化学科目	必修2単位	・化学実験（2単位）
	英語科目		必修4単位を含み10単位	・Reading＆Writing 1（2単位） ・Listening＆Speaking 1（2単位）
	情報科目		—	—
	人文社会系教養科目		必修2単位を含み8単位	・技術者の倫理（2単位）
	体育健康科目		必修1単位	・スポーツ科学実技1（1単位）
	工学部共通教養科目		—	—
専門科目	工学部共通専門科目		必修2単位	・社会の中の工学（1単位） ・工学研究探訪1（1単位）
	自コース専門科目		必修28単位 選択必修A群から8単位 選択必修B群から6	・工業化学概論（2単位） ・生物化学実験（2単位） ・分析化学実験（2単位） ・物理化学実験（2単位）

			単位 選択必修C群から6単位を含み64単位	・化学工学実験（3単位） ・有機化学実験（3単位） ・化学工業総論（2単位） ・卒業研究1（2単位） ・卒業研究2（2単位） ・卒業研究3（4単位） ・卒業研究4（4単位）
	他コース専門科目		―	―
コース外科目			―	―
教職科目			―	―
総単位数			124単位	

工学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。

但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

以下の条件を満たした学生のみが卒業することができる。

・卒業要件に含む単位を124単位以上取得していること。

・各科目系列について、少なくとも以下の表において定められている単位数を取得していること。

・累積のGPAは2.0以上であること

電気電子工学課程　電気・ロボット工学コース

科目系列			各科目系列において最低限取得すべき単位数	（参考）必修科目の内訳
基礎・教養科目	数理基礎科目	数学科目	必修14単位と選択必修2単位を含み20単位	・線形代数1（2単位） ・線形代数2（2単位） ・微分積分1（4単位） ・微分積分2（4単位） ・微分方程式（2単位）
		物理学科目		―
		化学科目		―

	英語科目		必修4単位を含み10単位	・Reading＆Writing 1（2単位） ・Listening＆Speaking 1（2単位）
	情報科目		必修6単位	・C言語入門（3単位） ・データサイエンス(3単位)
	人文社会系教養科目		必修4単位	・技術者の倫理（2単位） ・人間社会と環境問題（2単位）
	体育健康科目		必修1単位	・スポーツ科学実技1（1単位）
	工学部共通教養科目		―	―
専門科目	工学部共通専門科目		必修2単位	・社会の中の工学（1単位） ・工学研究探訪1（1単位）
	自コース専門科目		必修31単位 選択必修20単位を含み66単位	・電気回路1A（2単位） ・電気回路1B（2単位） ・電気磁気学1A（2単位） ・電気磁気学1B（2単位） ・基礎実験1（1単位） ・基礎実験2（3単位） ・電気・ロボット工学研究概論（1単位） ・応用実験1（2単位） ・電気工学技術英語(2単位) ・応用実験2（2単位） ・卒業研究1（2単位） ・卒業研究2（2単位） ・卒業研究3（4単位） ・卒業研究4（4単位）
	他コース専門科目		―	―

コース外科目	—	—
教職科目	—	—
総単位数	124単位	

工学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。

但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

以下の条件を満たした学生のみが卒業することができる。

・卒業要件に含む単位を124単位以上取得していること。

・各科目系列について、少なくとも以下の表において定められている単位数を取得していること。

・累積のGPAは2.0以上であること

電気電子工学課程　先端電子工学コース

科目系列			各科目系列において最低限取得すべき単位数	（参考）必修科目の内訳
基礎・教養科目	数理基礎科目	数学科目	6単位	—
		物理学科目	必修3単位を含み7単位	・物理学実験（3単位）
		化学科目	必修2単位を含み4単位	・化学実験（2単位）
	英語科目		必修4単位を含み8単位	・Reading＆Writing 1（2単位） ・Listening＆Speaking 1（2単位）
	情報科目		4単位	—
	人文社会系教養科目		8単位	—
	体育健康科目		必修1単位	・スポーツ科学実技1（1単位）
	工学部共通教養科目		—	—

専門科目	工学部共通専門科目		必修2単位	・社会の中の工学（1単位） ・工学研究探訪1（1単位）
	自コース専門科目		必修34単位 選択必修32単位を含み70単位	・電気数学1（2単位） ・電気回路1（2単位） ・電気数学2（2単位） ・電気回路2（2単位） ・電磁気学1（2単位） ・電気回路3（2単位） ・電磁気学2（2単位） ・電磁気学3（2単位） ・電子工学基礎実験（2単位） ・先端技術1（2単位） ・電子工学倫理（2単位） ・卒業研究1（2単位） ・卒業研究2（2単位） ・卒業研究3（4単位） ・卒業研究4（4単位）
	他コース専門科目		―	―
コース外科目			―	―
教職科目			―	―
総単位数			124単位	

工学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。

但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

以下の条件を満たした学生のみが卒業することができる。

・卒業要件に含む単位を124単位以上取得していること。

・各科目系列について、少なくとも以下の表において定められている単位数を取得していること。

・累積のGPAは2.0以上であること

情報・通信工学課程　情報通信コース

科目系列	各科目系列において	（参考）必修科目の内訳

			最低限取得すべき単位数	
基礎・教養科目	数理基礎科目	数学科目	必修19単位	・線形代数1（2単位） ・線形代数2（2単位） ・微分積分1（4単位） ・微分積分2（4単位）
		物理学科目		・物理学入門（4単位） ・物理学実験（3単位）
		化学科目		—
	英語科目		必修4単位を含み6単位	・Reading＆Writing 1（2単位） ・Listening＆Speaking 1（2単位）
	情報科目		—	—
	人文社会系教養科目		必修2単位を含み6単位	・技術者の倫理（2単位）
	体育健康科目		必修1単位	・スポーツ科学実技1（1単位）
	工学部共通教養科目		—	—
専門科目	工学部共通専門科目		必修2単位	・社会の中の工学（1単位） ・工学研究探訪1（1単位）
	自コース専門科目		必修26単位を含み64単位	・情報通信ソフトウェア演習A（1単位） ・情報通信ハードウェア実験A（1単位） ・情報通信ソフトウェア演習B（1単位） ・情報通信ハードウェア実験B（1単位） ・情報通信ソフトウェア演

				習C（1単位） ・情報通信ハードウェア実験C（1単位） ・情報通信ソフトウェア演習D（1単位） ・情報通信ハードウェア実験D（1単位） ・情報通信応用実験A（3単位） ・情報通信応用実験B（3単位） ・卒業研究1（2単位） ・卒業研究2（2単位） ・卒業研究3（4単位） ・卒業研究4（4単位）
	他コース専門科目		—	—
コース外科目			—	—
教職科目			—	—
総単位数			124単位	

工学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。

但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

以下の条件を満たした学生のみが卒業することができる。

・卒業要件に含む単位を124単位以上取得していること。

・各科目系列について、少なくとも以下の表において定められている単位数を取得していること。

・累積のGPAは2.0以上であること

情報・通信工学課程　情報工学コース

科目系列	各科目系列において最低限取得すべき単位数	（参考）必修科目の内訳

基礎・教養科目	数理基礎科目	数学科目	必修14単位	・線形代数1（2単位） ・微分積分1（4単位） ・確率と統計1（2単位）
		物理学科目		・物理学入門（4単位）
		化学科目		・基礎化学（2単位）
	英語科目		必修4単位を含み10単位	・Reading＆Writing 1（2単位） ・Listening＆Speaking 1（2単位）
	情報科目		—	—
	人文社会系教養科目		6単位	—
	体育健康科目		必修1単位	・スポーツ科学実技1（1単位）
	工学部共通教養科目		—	—
専門科目	工学部共通専門科目		必修2単位	・社会の中の工学（1単位） ・工学研究探訪1（1単位）
	自コース専門科目		必修34単位 選択必修6単位を含み66単位	・コンピュータ科学序説（2単位） ・離散数学1（2単位） ・プログラミング入門1（2単位） ・情報工学通論（2単位） ・プログラミング入門2（2単位） ・コンピュータアーキテクチャ（2単位） ・データ構造とアルゴリズム1（2単位）

				・基礎情報演習1A（2単位） ・基礎情報演習1B（2単位） ・基礎情報演習2A（2単位） ・基礎情報演習2B（2単位） ・卒業研究1（2単位） ・卒業研究2（2単位） ・卒業研究3（4単位） ・卒業研究4（4単位）
	他コース専門科目		―	―
コース外科目			―	―
教職科目			―	―
総単位数			124単位	

工学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。

但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

以下の条件を満たした学生のみが卒業することができる。

・卒業要件に含む単位を124単位以上取得していること。

・各科目系列について、少なくとも以下の表において定められている単位数を取得していること。

・累積のGPAは2.0以上であること

土木工学課程　都市・環境コース

科目系列			各科目系列において最低限取得すべき単位数	（参考）必修科目の内訳
基礎・教養科目	数理基礎科目	数学科目	必修10単位を含み12単位	・線形代数1（2単位） ・線形代数2（2単位） ・微分積分1（4単位）
		物理学科目		―
		化学科目		・基礎環境化学（2単位）
	英語科目		必修4単位を含み8単	・Reading＆Writing 1（2

			位	単位） ・Listening＆Speaking 1（2単位）
	情報科目		3単位	—
	人文社会系教養科目		必修4単位を含み8単位	・技術者の倫理（2単位） ・土木と経済学（2単位）
	体育健康科目		必修1単位	・スポーツ科学実技1（1単位）
	工学部共通教養科目		—	—
専門科目	工学部共通専門科目		必修2単位	・社会の中の工学（1単位） ・工学研究探訪1（1単位）
	自コース専門科目		必修42単位を含み78単位	・導入ゼミナール（1単位） ・環境の科学（2単位） ・土木数学1（2単位） ・土木情報処理（2単位） ・地盤工学1（2単位） ・土木の力学（2単位） ・マテリアルデザイン（2単位） ・流れの力学（2単位） ・地盤工学2（2単位） ・都市計画（2単位） ・土木工学総合講義(2単位) ・水理学（2単位） ・材料実験（1単位） ・土質実験（1単位） ・水理実験（1単位） ・地盤工学演習（1単位） ・土木応用実験（1単位） ・土木キャリアセミナー（1

			単位） ・土木設計演習（1単位） ・卒業研究1（2単位） ・卒業研究2（2単位） ・卒業研究3（4単位） ・卒業研究4（4単位）
	他コース専門科目	—	—
コース外科目		—	—
教職科目		—	—
総単位数		124単位	

工学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。

但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

以下の条件を満たした学生のみが卒業することができる。

・卒業要件に含む単位を124単位以上取得していること。

・各科目系列について、少なくとも以下の表において定められている単位数を取得していること。

・累積のGPAは2.0以上であること

先進国際課程

専門科目群	先端工学研究科目	必修　64単位
	先端工学概論科目	選択　6単位以上
	専門科目	選択　6単位以上
数理基礎科目・情報科目	数理基礎科目 情報科目	選択　6単位以上
教養科目	人文社会系教養科目 体育・健康科目	必修　1単位 6単位以上
総単位		124単位

システム理工学部卒業要件

卒業要件の総取得単位数は124単位以上

<table>
<tr><td colspan="3">全学共通科目</td><td>生命科学科</td><td colspan="2"></td><td rowspan="6">専門科目以外単位数</td><td rowspan="6">生命科学科
56単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="5">共通科目</td><td colspan="2">教職科目</td><td rowspan="4">生命科学科</td><td colspan="2" rowspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">総合科目</td><td>エンジニア・リテラシー科目、社会科学系科目</td><td>必修1単位　計5単位以上</td><td>12単位以上</td></tr>
<tr><td>人文科学系科目、保健・体育系科目、第2外国語科目</td><td>6単位以上
（体育実技2単位迄）</td></tr>
<tr><td>英語科目</td><td colspan="2">8単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">基礎科目</td><td>生命科学科</td><td colspan="2">必修4単位　計16単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">システム・情報科目</td><td>生命科学科</td><td colspan="2">必修12単位　計16単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="3">専門科目</td><td>生命科学科</td><td colspan="4">必修8単位　計64単位以上</td></tr>
</table>

システム理工学部卒業要件

卒業要件の総取得単位数は124単位以上

<table>
<tr><td colspan="2">科目系列</td><td>情報課程</td><td>機械・電気課程</td><td>建築・環境課程</td><td>数理科学課程</td><td>総単位数</td></tr>
<tr><td rowspan="3">学際科目</td><td>SDGs・キャリアデザイン
システム工学
アントレプレナーシップ</td><td colspan="4">13単位以上</td><td rowspan="3">124単位以上</td></tr>
<tr><td>理数・情報</td><td>10単位以上</td><td>18単位以上</td><td>10単位以上</td><td>18単位以上</td></tr>
<tr><td>社会科学
人文科学
保健体育</td><td colspan="4">6 単位以上</td></tr>
</table>

目			
	英語	８単位以上	
(小計)単位数		48単位以上	
専門科目	主専攻	主専攻５モジュール または 主専攻４モジュール+副専攻１モジュール	
	副専攻		
(小計)単位数		60単位以上	
専門科目	総合研究	12単位以上	

モジュールとはある職能上で必要な知識と技術を修得するために必要な科目12単位以上のまとまりである

デザイン工学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。

但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

卒業要件の総取得単位数は124単位以上、GPAは2.0以上

全学共通科目		10単位以上	22単位以上
共通教養科目	英語を除く共通教養科目		
	英語科目	8単位以上	
データ・サイエンス科目		必修　6単位	必修　14単位
デザイン科目		必修　8単位	選択必修　4単位
エンジニアリング科目		選択必修　4単位	選択64単位以上
プロジェクト科目		必修　14単位 選択　6単位	
総単位数		124単位以上	

建築学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。

但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

以下の卒業要件を満たし、かつGPAは、2.0以上であること。

卒業要件の総取得単位数は124単位以上

<table>
<tr><td>基礎・教養科目群</td><td colspan="3">基礎・教養科目群から32単位以上
1．数理基礎科目
必修科目　1単位　を含み「数学科目」・「理科科目」から9単位以上を取得すること。
2．外国語科目
「英語科目」から8単位以上を取得すること。
3．人文社会・情報系教養科目
「人文社会・情報系教養科目」から12単位以上を取得すること。
4．体育・健康科目</td></tr>
<tr><td>専門科目群</td><td>必修科目　13単位　を含み　72単位以上</td><td>総単位数</td><td>124単位以上</td></tr>
</table>

別表８

納入金

１．学費等

【工学部・システム理工学部・デザイン工学部・建築学部】

	1年次	2年次	3年次	4年次
入学金（一時金）	280,000円			
維持料（年額）	283,000円	283,000円	283,000円	283,000円
授業料（年額）	1,199,000円	1,199,000円	1,299,000円	1,299,000円
休学在籍料（年額）	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円

※再入学の入学金は免除する。

２．科目等履修生の学費等

(1)　審査料　10,000円（ただし、本学卒業生は不要）

(2)　入学金（一時金）　30,000円（ただし、本学卒業生は２分の１額）

(3)　履修料（１単位につき）　15,000円（ただし、本学大学院生は２分の１額

※本学大学院生が教員免許状取得を目的として必要な科目を履修する場合､履修料は不要

３．研究生の学費等

(1)　検定料　35,000円

(2) 登録料　59,000円（ただし、本学卒業生は２分の１額）

(3) 研究指導料（年額）　300,000円（半期　150,000円）

(4) 実験実習料　実費

別表９

学位の種類

工学部

学科・課程名	学位の種類
機械工学課程	学士（工学）
物質化学課程	学士（工学）
電気電子工学課程	学士（工学）
情報・通信工学課程	学士（工学）
土木工学課程	学士（工学）
先進国際課程	学士（工学）

システム理工学部

課程名	学位の種類
情報課程	学士（工学）
機械・電気課程	学士（工学）
建築・環境課程	学士（工学）
生命科学科	学士（生命科学）
数理科学課程	学士（数理科学）

デザイン工学部

学科名	学位の種類
デザイン工学科	学士（デザイン工学）

建築学部

学科名	学位の種類
建築学科	学士（建築学）

学則の変更事項を記載した書類

【変更の事由】

芝浦工業大学システム理工学部収容定員に係る学則の変更

【変更箇所】

・学則条文の変更

第4条、第11条

・附則条項の追加

・学則中の別表部分の変更

別表1　収容定員

別表2-2　学部等における教育研究上の目的及び方針

別表4　システム理工学部授業科目(教職課程を含む)

別表7　学部・課程・学科別卒業要件

別表9　学位の種類

芝浦工業大学学則 新旧対照表

新	旧
○芝浦工業大学学則 昭和24年３月25日 制定	○芝浦工業大学学則 昭和24年３月25日 制定
第1章　総則	第1章　総則
(目的)	(目的)
第1条　本学は教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、学術の中心として深く工学の研究を行い世界文化に貢献し、併せて広く一般の学術教養と専門の工業教育を施すことにより、学生の人格を陶冶し、学理を究めさせ体位の向上を図り、もって優秀なる技術者を養成することを目的とする。	第1条　本学は教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、学術の中心として深く工学の研究を行い世界文化に貢献し、併せて広く一般の学術教養と専門の工業教育を施すことにより、学生の人格を陶冶し、学理を究めさせ体位の向上を図り、もって優秀なる技術者を養成することを目的とする。
(自己点検・評価等)	(自己点検・評価等)
第1条の2　本学は、教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。点検及び評価に関する必要事項は別に定める。	第1条の2　本学は、教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。点検及び評価に関する必要事項は別に定める。
(認証評価)	(認証評価)
第1条の3　本学は、第１条の２の措置に加え、学校教育法に則り、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受審し、その結果を公表するものとする。 (学校教育基本法施行規則第165条の２第１項に定める方針)	第1条の3　本学は、第１条の２の措置に加え、学校教育法に則り、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受審し、その結果を公表するものとする。 (学校教育基本法施行規則第165条の２第１項に定める方針)
第1条の4　本学は、第１条の目的を踏まえた方針について、別表２―１のとおり定める。	第1条の4　本学は、第１条の目的を踏まえた方針について、別表２―１のとおり定める。
(設置等)	(設置等)
第2条　本学は芝浦工業大学と称する。	第2条　本学は芝浦工業大学と称する。
第3条　本学は東京都江東区豊洲３丁目７番５号に置く。	第3条　本学は東京都江東区豊洲３丁目７番５号に置く。
(学部、課程、学科)	(学部、課程、学科)
第4条　本学に次の学部・課程・学科を置く。	第4条　本学に次の学部・課程・学科を置く。
【工学部】	【工学部】
機械工学課程	機械工学課程
物質化学課程	物質化学課程
電気電子工学課程	電気電子工学課程

情報・通信工学課程 土木工学課程 先進国際課程 【システム理工学部】 情報課程 機械・電気課程 建築・環境課程 生命科学科 数理科学課程 【デザイン工学部】 デザイン工学科 【建築学部】 建築学科	情報・通信工学課程 土木工学課程 先進国際課程 【システム理工学部】 電子情報システム学科 機械制御システム学科 環境システム学科 生命科学科 数理科学科 【デザイン工学部】 デザイン工学科 【建築学部】 建築学科
2　この学則に定めるもののほか、各学部に関する規則は別に定める。	2　この学則に定めるもののほか、各学部に関する規則は別に定める。
(大学院) 第5条　本学に大学院を置く。 2　大学院に関する学則は、別に定める。	(大学院) 第5条　本学に大学院を置く。 2　大学院に関する学則は、別に定める。
(学術情報センター) 第6条　本学に学術情報センターを置く。 2　学術情報センターに関する規程は別に定める。	(学術情報センター) 第6条　本学に学術情報センターを置く。 2　学術情報センターに関する規程は別に定める。
(研究所等) 第7条　本学にSIT総合研究所を置く。 2　SIT総合研究所に関する規程は別に定める。	(研究所等) 第7条　本学にSIT総合研究所を置く。 2　SIT総合研究所に関する規程は別に定める。
(教育イノベーション推進センター) 第8条　本学に教育イノベーション推進センターを置く。 2　教育イノベーション推進センターに関する規程は別に定める。	(教育イノベーション推進センター) 第8条　本学に教育イノベーション推進センターを置く。 2　教育イノベーション推進センターに関する規程は別に定める。
(収容定員) 第9条　本学の収容定員は別表１のとおりとする。	(収容定員) 第9条　本学の収容定員は別表１のとおりとする。
(学部等における教育研究上の目的及び方針) 第10条　学部、課程、学科における人材養成に関する目的、その他の教育研究上の目的及び方針は、別表２―２のとおりとする。	(学部等における教育研究上の目的及び方針) 第10条　学部、課程、学科における人材養成に関する目的、その他の教育研究上の目的及び方針は、別表２―２のとおりとする。
第2章　学部 第1節　教育課程及び授業科目 (教育課程の編成) 第11条　本学は学部等における教育研究上の目的を達成するために学位プログラム	第2章　学部 第1節　教育課程及び授業科目 (教育課程の編成) 第11条　本学は学部等における教育研究上の目的を達成するために学位プログラムごと

ごとに教育課程を編成し、必要な授業科目を開設する。	に教育課程を編成し、必要な授業科目を開設する。
第11条の2　(削除)	
(主要授業科目)	（追加）
第11条の3　第１条の４の方針を達成すべき能力を育成するために必要な科目群を主要授業科目とする。（主要授業科目は別表３、別表４、別表５、別表６のとおりとする。）	（追加）
2　主要授業科目は、原則として基幹教員（教育課程の編成その他の学部の運営について責任を担う教員であって、当該学部の教育課程に係る主要授業科目を担当する者（専任教員に限る）、又は1年につき8単位以上の当該学部の教育課程に係る授業科目を担当する者）が担当する。	（追加）
3　主要授業科目に関する必要な事項は、別に定める。	（追加）
(成績評価基準等の明示等)	(成績評価基準等の明示等)
第12条　本学は、学生に対して、授業方法、内容並びに授業計画をあらかじめ明示するものとする。	第12条　本学は、学生に対して、授業方法、内容並びに授業計画をあらかじめ明示するものとする。
2　学修の成果に係る評価及び卒業の認定にあたっては、客観性及び厳格性を保持するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに当該基準に従って適切に行うものとする。	2　学修の成果に係る評価及び卒業の認定にあたっては、客観性及び厳格性を保持するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに当該基準に従って適切に行うものとする。
(教育課程)	(教育課程)
第13条　本学の教育課程は各授業科目を必修科目、選択科目、自由科目に分け、これを各年次に配当し編成する。	第13条　本学の教育課程は各授業科目を必修科目、選択科目、自由科目に分け、これを各年次に配当し編成する。
各学部の授業科目、単位数は別表３、別表４、別表５、別表６のとおりとし、卒業要件は別表７のとおりとする。	各学部の授業科目、単位数は別表３、別表４、別表５、別表６のとおりとし、卒業要件は別表７のとおりとする。
(修業年限)	(修業年限)
第14条　学部の修業年限は４年とする。ただし、８年を越えて在籍することはできない。	第14条　学部の修業年限は４年とする。ただし、８年を越えて在籍することはできない。
(教育内容等改善のための組織的研修等)	(教育内容等改善のための組織的研修等)
第15条　本学は各学部の授業の内容及び方法の改善等を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。	第15条　本学は各学部の授業の内容及び方法の改善等を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

第2節　履修及び授業科目修了認定	第2節　履修及び授業科目修了認定
(単位)	(単位)
第16条　本学所定の授業科目に対する課程を修了し、正規の試験その他の本学が定める 適切な方法により学修の成果を評価して、その授業科目所定の単位を与える。	第16条　本学所定の授業科目に対する課程を修了し、正規の試験その他の本学が定める 適切な方法により学修の成果を評価して、その授業科目所定の単位を与える。
2　各授業科目の１単位は45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して、次の基準によって単位数を計算する。	2　各授業科目の１単位は45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して、次の基準によって単位数を計算する。
(1)　講義及び演習については、15時間から30時間までの授業をもって１単位とする。	(1)　講義及び演習については、15時間から30時間までの授業をもって１単位とする。
(2)　実験、実習及び実技等については、30時間から45時間の授業をもって１単位とする。	(2)　実験、実習及び実技等については、30時間から45時間の授業をもって１単位とする。
(3)　前項の各規定に関わらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。	(3)　前項の各規定に関わらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。
(4)　学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、学生が１年間または１学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を別に定める。	(4)　学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、学生が１年間または１学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を別に定める。
(5)　所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、別に定めるところにより上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。	(5)　所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、別に定めるところにより上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。
(各授業科目の授業期間)	(各授業科目の授業期間)
第16条の2　各授業科目の授業は、14週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、この限りでない。	第16条の2　各授業科目の授業は、14週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、この限りでない。
(授業の方法)	(授業の方法)
第16条の3　授業は講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれ	第16条の3　授業は講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの

らの併用により行うものとする。	併用により行うものとする。
2　本学は前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。	2　本学は前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
3　本学は本条第１項の授業を外国において履修することができる。また、前項の規定により多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても同様とする。	3　本学は本条第１項の授業を外国において履修することができる。また、前項の規定により多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても同様とする。
4　本学は本条第1項の授業を校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。	4　本学は本条第1項の授業を校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。
(学外単位等認定及び入学前の既修得単位等認定)	(学外単位等認定及び入学前の既修得単位等認定)
第17条　本学学生が本学在籍中に外国を含む他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位は、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。	第17条　本学学生が本学在籍中に外国を含む他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位は、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
2　本学学生が本学入学前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を認めることができる。	2　本学学生が本学入学前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を認めることができる。
3　前項により修得したものとみなし、又は認めることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、第１項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。	3　前項により修得したものとみなし、又は認めることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、第１項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
4　本学に学士入学又は編入学を許可された者は、別に定めるところにより既修得単位の認定をうけることができる。	4　本学に学士入学又は編入学を許可された者は、別に定めるところにより既修得単位の認定をうけることができる。
5　本学に再入学した者は、別に定めるところにより既修得単位の認定をうけることができる。	5　本学に再入学した者は、別に定めるところにより既修得単位の認定をうけることができる。
6　本条第１項から前項で認定された単位は、本学で開講されている授業科目に振替えることができる。	6　本条第１項から前項で認定された単位は、本学で開講されている授業科目に振替えることができる。
(教育職員の免許状)	(教育職員の免許状)
第18条　教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を取得しなければならない。	第18条　教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を取得しなければならない。
2　本学の課程・学科において当該所要資格を取得できる教員免許状の種類・専門科	2　本学の課程・学科において当該所要資格を取得できる教員免許状の種類・専門科目及

目及び単位数は別表３、別表４、別表５に掲げるとおりとする。

(授業科目の修了認定)

第19条　授業科目履修修了の認定は試験等による。

(成績評価)

第20条　成績評価はS・A・B・C・D・Fとし、C以上を合格とする。

第3節　卒業及び学位の授与

(卒業認定)

第21条　別表７に定める所定の単位を取得した者につき、教授会の議を経て学長が認定する。

２　卒業の要件として修得すべき単位のうち、第16条の３第２項の授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。

(学位)

第22条　本学を卒業した者には別表９に定める学位を授与する。

第4節　入学、退学、休学及び転学

(入学時期)

第23条　入学の時期は、４月又は10月とする。

(入学資格)

第24条　本学に入学することのできる者は、次の各号の一つに該当する者でなければならない。

(1)　高等学校、若しくは中等教育学校を卒業した者

(2)　通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程により、これに相当する学校を修了したと文部科学大臣が認めた者を含む。)

(3)　文部科学大臣が指定した者

(4)　高等学校卒業程度認定試験規則により高等学校卒業程度認定試験に合格した者(大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)

(5)　外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者

(6)　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外

び単位数は別表３、別表４、別表５に掲げるとおりとする。

(授業科目の修了認定)

第19条　授業科目履修修了の認定は試験等による。

(成績評価)

第20条　成績評価はS・A・B・C・D・Fとし、C以上を合格とする。

第3節　卒業及び学位の授与

(卒業認定)

第21条　別表７に定める所定の単位を取得した者につき、教授会の議を経て学長が認定する。

２　卒業の要件として修得すべき単位のうち、第16条の３第２項の授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。

(学位)

第22条　本学を卒業した者には別表９に定める学位を授与する。

第4節　入学、退学、休学及び転学

(入学時期)

第23条　入学の時期は、４月又は10月とする。

(入学資格)

第24条　本学に入学することのできる者は、次の各号の一つに該当する者でなければならない。

(1)　高等学校、若しくは中等教育学校を卒業した者

(2)　通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程により、これに相当する学校を修了したと文部科学大臣が認めた者を含む。)

(3)　文部科学大臣が指定した者

(4)　高等学校卒業程度認定試験規則により高等学校卒業程度認定試験に合格した者(大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)

(5)　外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者

(6)　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育

教育施設の当該課程を修了した者 (7)　本学が、相当の年齢に達し高等学校、若しくは中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者	施設の当該課程を修了した者 (7)　本学が、相当の年齢に達し高等学校、若しくは中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
(入学許可) 第25条　前条の者のうち本学が行う選考に合格した者につき、教授会の議を経て学長が入学を許可する。	(入学許可) 第25条　前条の者のうち本学が行う選考に合格した者につき、教授会の議を経て学長が入学を許可する。
(学士入学) 第26条　大学を卒業した者及びこれと同等以上の資格を有する者で、本学に入学すること(学士入学と称する。)を希望する者があるときは、別に定めるところにより教授会の議を経て入学を許可することができる。	(学士入学) 第26条　大学を卒業した者及びこれと同等以上の資格を有する者で、本学に入学すること(学士入学と称する。)を希望する者があるときは、別に定めるところにより教授会の議を経て入学を許可することができる。
(編入学) 第27条　本学の各学部に編入学を志願する者があるときは、志願先課程、学科及び在学生の学修に支障のない限り、別に定めるところにより選考の上、当該学部教授会の議を経て、入学を許可することができる。	(編入学) 第27条　本学の各学部に編入学を志願する者があるときは、志願先課程、学科及び在学生の学修に支障のない限り、別に定めるところにより選考の上、当該学部教授会の議を経て、入学を許可することができる。
(外国人特別入学・帰国子女特別入学) 第28条　本学の各学部に入学を志願する外国人志願者及び帰国子女志願者があるときは、志願先課程、学科及び在学生の学修に支障のない限り、別に定めるところにより選考の上、当該学部教授会の議を経て、入学を許可することができる。	(外国人特別入学・帰国子女特別入学) 第28条　本学の各学部に入学を志願する外国人志願者及び帰国子女志願者があるときは、志願先課程、学科及び在学生の学修に支障のない限り、別に定めるところにより選考の上、当該学部教授会の議を経て、入学を許可することができる。
(出願書類等) 第29条　本学に入学を志願する者は、所定の入学願書、出身学校長の提出する調査書又はこれに代わるものと認められる証明書及び写真に入学検定料を添えて提出しなければならない。	(出願書類等) 第29条　本学に入学を志願する者は、所定の入学願書、出身学校長の提出する調査書又はこれに代わるものと認められる証明書及び写真に入学検定料を添えて提出しなければならない。
(入学手続) 第30条　入学を許可された者は、本学所定の誓約書に保証人と連署の上、住民票その他所定の書類に学費を添えて指定日までに提出しなければならない。	(入学手続) 第30条　入学を許可された者は、本学所定の誓約書に保証人と連署の上、住民票その他所定の書類に学費を添えて指定日までに提出しなければならない。
(保証人) 第31条　保証人は父母又は独立生計を営む成年者で、確実に保証人としての責を果たし得る者でなければならない。保証人とし	(保証人) 第31条　保証人は父母又は独立生計を営む成年者で、確実に保証人としての責を果たし得る者でなければならない。保証人として不適

て不適当と認めたときは変更を命ずることがある。なお、その身分及び住所に変更があったときは速やかに届け出なければならない。	当と認めたときは変更を命ずることがある。なお、その身分及び住所に変更があったときは速やかに届け出なければならない。
(休学)	(休学)
第32条　病気又はその他の理由によって出席できない者は、その理由(兵役の場合は、徴兵に関する証明書等)を記して保証人連署の休学願を提出し、学長の許可を経て休学することができる。ただし、入学初年度の１年前期は、休学することはできない。	第32条　病気又はその他の理由によって出席できない者は、その理由(兵役の場合は、徴兵に関する証明書等)を記して保証人連署の休学願を提出し、学長の許可を経て休学することができる。ただし、入学初年度の１年前期は、休学することはできない。
2　休学の願い出に際しては、休学開始日の前日の属する期までの学費等を納入していなければならない。	2　休学の願い出に際しては、休学開始日の前日の属する期までの学費等を納入していなければならない。
3　休学は１ヵ年以内とする。ただし、特別の理由のある者は休学延期の願い出により引き続き休学することができる。	3　休学は１ヵ年以内とする。ただし、特別の理由のある者は休学延期の願い出により引き続き休学することができる。
4　休学期間は、連続して２年を超えることはできない。また、通算して４年を越えることはできない。	4　休学期間は、連続して２年を超えることはできない。また、通算して４年を越えることはできない。
5　休学期間は在学年数に算入しないが、在籍年数には算入する。	5　休学期間は在学年数に算入しないが、在籍年数には算入する。
6　休学者は休学した学期の単位を取得することはできない。	6　休学者は休学した学期の単位を取得することはできない。
(休学期間中の学費)	(休学期間中の学費)
第33条　休学期間中の学費は、許可された期の翌期から、休学する期に限り、授業料および維持料を免除し、休学在籍料を徴収する。ただし、兵役による休学の場合は、兵役期間に限り授業料および維持料に加え、休学在籍料を免除する。	第33条　休学期間中の学費は、許可された期の翌期から、休学する期に限り、授業料および維持料を免除し、休学在籍料を徴収する。ただし、兵役による休学の場合は、兵役期間に限り授業料および維持料に加え、休学在籍料を免除する。
(復学)	(復学)
第34条　休学者が復学しようとするときはその理由を記し、保証人連署の復学願を提出し、学長の許可を経て復学することができる。	第34条　休学者が復学しようとするときはその理由を記し、保証人連署の復学願を提出し、学長の許可を経て復学することができる。
(退学)	(退学)
第35条　退学しようとする者は、保証人連署の上、その理由を記して願い出て学長の許可を受けなければならない。	第35条　退学しようとする者は、保証人連署の上、その理由を記して願い出て学長の許可を受けなければならない。
2　退学の願い出に際しては、退学の日の属する期までの学費等を納入していなければならない。	2　退学の願い出に際しては、退学の日の属する期までの学費等を納入していなければならない。
(再入学)	(再入学)

第36条　正当な理由により退学した者、又は第71条第１項第２号若しくは第４号により除籍された者が再入学を願い出た時は、第14条ただし書に定める在籍年数(通算年数とする。)内に卒業見込みのある者に限り、選考の上、教授会の議を経て入学許可することがある。	第36条　正当な理由により退学した者、又は第71条第１項第２号若しくは第４号により除籍された者が再入学を願い出た時は、第14条ただし書に定める在籍年数(通算年数とする。)内に卒業見込みのある者に限り、選考の上、教授会の議を経て入学許可することがある。
(転学)	(転学)
第37条　本学の学生が他に転学を志望するときは、その理由を記して願い出て学長の許可を受けなければならない。	第37条　本学の学生が他に転学を志望するときは、その理由を記して願い出て学長の許可を受けなければならない。
第5節　学費等	第5節　学費等
(学費等)	(学費等)
第38条　学費は別表８に定めるところによる。	第38条　学費は別表８に定めるところによる。
2　学費とは入学金、維持料、授業料をいう。	2　学費とは入学金、維持料、授業料をいう。
3　入学検定料は、諸納入金に関する内規に定めるところによる。	3　入学検定料は、諸納入金に関する内規に定めるところによる。
(学費の納付)	(学費の納付)
第39条　学費その他の納入金は指定の期日までに納入しなければならない。	第39条　学費その他の納入金は指定の期日までに納入しなければならない。
(転部・転課程・転科生等の学費)	(転部・転課程・転科生等の学費)
第40条　転部、転課程・コース、転科、又は再入学の許可を受けた者は、新たに所属する学年の学費を納入するものとする。	第40条　転部、転課程・コース、転科、又は再入学の許可を受けた者は、新たに所属する学年の学費を納入するものとする。
(学費の取扱)	(学費の取扱)
第41条　既に納入した学費は、事情のいかんにかかわらず一切返還しない。	第41条　既に納入した学費は、事情のいかんにかかわらず一切返還しない。
第6節　職員組織	第6節　職員組織
(職員)	(職員)
第42条　本学に次の職員を置く。	第42条　本学に次の職員を置く。
学長、副学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、その他必要な職員	学長、副学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、その他必要な職員
第7節　学長、学部長、教授会及び学部長・研究科長会議	第7節　学長、学部長、教授会及び学部長・研究科長会議
(学長・副学長)	(学長・副学長)
第43条　学長は校務をつかさどり、所属職員を統督するとともに本学を代表する。	第43条　学長は校務をつかさどり、所属職員を統督するとともに本学を代表する。
2　学長は、校務における決定権を有し、最終的な責任を負う。	2　学長は、校務における決定権を有し、最終的な責任を負う。
第43条の2　副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。	第43条の2　副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。
(学部長)	(学部長)
第44条　学部長は当該学部の校務をつかさ	第44条　学部長は当該学部の校務をつかさど

どり、当該学部を代表する。	り、当該学部を代表する。
(教授会)	(教授会)
第45条　各学部に教授会を置く。	第45条　各学部に教授会を置く。
2　教授会に関する事項は本学則によるほか、各学部教授会規則の定めるところによる。	2　教授会に関する事項は本学則によるほか、各学部教授会規則の定めるところによる。
第46条　学部長は教授会を招集する。	第46条　学部長は教授会を招集する。
第47条　教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり、意見を述べるものとする。	第47条　教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり、意見を述べるものとする。
(1)　学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項	(1)　学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
(2)　学位の授与に関する事項	(2)　学位の授与に関する事項
(3)　教育及び研究組織に関する事項	(3)　教育及び研究組織に関する事項
(4)　課程、学科、学科目及び授業に関する事項	(4)　課程、学科、学科目及び授業に関する事項
(5)　教員の研究育成及び留学に関する事項	(5)　教員の研究育成及び留学に関する事項
(6)　教育研究予算の配分の方針に関する事項	(6)　教育研究予算の配分の方針に関する事項
(7)　教員の任用に関する事項	(7)　教員の任用に関する事項
(8)　学生の指導育成に関する事項	(8)　学生の指導育成に関する事項
(9)　学生の賞罰に関する事項	(9)　学生の賞罰に関する事項
(10)　教員の資格審査に関する事項	(10)　教員の資格審査に関する事項
(11)　学則に関する事項	(11)　学則に関する事項
(12)　その他学長から意見を求められた事項	(12)　その他学長から意見を求められた事項
第48条　教授会は、前条各号に定める事項のほか、学長及び学部長その他の教授会等が置かれる組織の長(以下「学長等」という)がつかさどる次の事項について審議し、及び学長等の求めに応じて意見を述べることができる。	第48条　教授会は、前条各号に定める事項のほか、学長及び学部長その他の教授会等が置かれる組織の長(以下「学長等」という)がつかさどる次の事項について審議し、及び学長等の求めに応じて意見を述べることができる。
(1)　教授会の運営に関する事項	(1)　教授会の運営に関する事項
(2)　図書、設備及び施設に関する事項	(2)　図書、設備及び施設に関する事項
(3)　学生の試験、進級、転科、転課程・コース、転部に関する事項	(3)　学生の試験、進級、転科、転課程・コース、転部に関する事項
(4)　授業日数及び休業に関する事項	(4)　授業日数及び休業に関する事項
(5)　学生団体及び学生活動、並びに学生生活に関する事項	(5)　学生団体及び学生活動、並びに学生生活に関する事項
(6)　学部規則に関する事項	(6)　学部規則に関する事項
(7)　その他学長等から意見を求められた事項	(7)　その他学長等から意見を求められた事項
2　第１項にいう審議とは、議論・検討する	2　第１項にいう審議とは、議論・検討するこ

ことを意味し、決定権を含意するものではない。	とを意味し、決定権を含意するものではない。
第49条　学長が必要と認める時は、他の学部の教授会と共同して合同の委員会を設けることができる。	第49条　学長が必要と認める時は、他の学部の教授会と共同して合同の委員会を設けることができる。
(学部長・研究科長会議)	(学部長・研究科長会議)
第50条　本学に学部長・研究科長会議を置き、学長が求める教学に関する重要な事項を審議する。	第50条　本学に学部長・研究科長会議を置き、学長が求める教学に関する重要な事項を審議する。
2　学部長・研究科長会議について必要な事項は別に定める。	2　学部長・研究科長会議について必要な事項は別に定める。
第51条　(削除)	第51条　(削除)
第8節　科目等履修生、研究生、特別聴講生、外国人学生及び特別留学生	第8節　科目等履修生、研究生、特別聴講生、外国人学生及び特別留学生
(科目等履修生)	(科目等履修生)
第52条　本学学生以外の者が、本学所定の授業科目を一又は複数選択して履修する者を科目等履修生とする。	第52条　本学学生以外の者が、本学所定の授業科目を一又は複数選択して履修する者を科目等履修生とする。
2　科目等履修生に出願できる者は、高校卒業又はこれと同等以上の学力を有する者とする。	2　科目等履修生に出願できる者は、高校卒業又はこれと同等以上の学力を有する者とする。
3　科目等履修生は、本学学生の授業に支障のない限り教授会の議を経て、学長が入学を許可する。	3　科目等履修生は、本学学生の授業に支障のない限り教授会の議を経て、学長が入学を許可する。
4　科目等履修生の学費等は、別表８のとおりとする。	4　科目等履修生の学費等は、別表８のとおりとする。
5　科目等履修生について必要な事項は、別に定める。	5　科目等履修生について必要な事項は、別に定める。
(研究生)	(研究生)
第53条　一定の研究課題について研究する者を研究生とする。	第53条　一定の研究課題について研究する者を研究生とする。
2　研究生の入学資格は、大学卒業又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。	2　研究生の入学資格は、大学卒業又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。
3　選考は、研究内容の該当する課程・学科等が志願者の学力および希望と芝浦工業大学の受け入れ能力を検討し、教授会の議を経るものとする。	3　選考は、研究内容の該当する課程・学科等が志願者の学力および希望と芝浦工業大学の受け入れ能力を検討し、教授会の議を経るものとする。
4　研究生は、本学学生の授業、研究に支障のない限り教授会の議を経て、学長が入学を許可する。	4　研究生は、本学学生の授業、研究に支障のない限り教授会の議を経て、学長が入学を許可する。
5　研究生の研究期間は６ヶ月以上２年以内とする。	5　研究生の研究期間は６ヶ月以上２年以内とする。
6　研究生は、研究終了後、研究成果を指	6　研究生は、研究終了後、研究成果を指導

導教員を経て学長に報告しなければならない。	教員を経て学長に報告しなければならない。
7　研究生はその研究成果についての研究証明書の交付を受けることができる。	7　研究生はその研究成果についての研究証明書の交付を受けることができる。
8　研究生の学費等は、別表８のとおりとする。	8　研究生の学費等は、別表８のとおりとする。
(特別聴講生)	(特別聴講生)
第54条　国内の他の大学と本大学との間で締結した協定に基づき、当該大学に在学する学生のうち、本大学における授業科目の履修を許可された者を特別聴講生とする。	第54条　国内の他の大学と本大学との間で締結した協定に基づき、当該大学に在学する学生のうち、本大学における授業科目の履修を許可された者を特別聴講生とする。
2　特別聴講生について必要な事項は、別に定める。	2　特別聴講生について必要な事項は、別に定める。
(外国人学生)	(外国人学生)
第55条　日本国籍を有さず外国において通常の課程による12年の学校教育を修了した者は又はこれに準ずる者で、本学での学位取得を目的として入学を志願する者を外国人学生とする。	第55条　日本国籍を有さず外国において通常の課程による12年の学校教育を修了した者は又はこれに準ずる者で、本学での学位取得を目的として入学を志願する者を外国人学生とする。
第55条の2　外国人学生は、特別に選考の上、教授会の議を経て学長が入学を許可する。	第55条の2　外国人学生は、特別に選考の上、教授会の議を経て学長が入学を許可する。
2　外国人学生について必要な事項は、別に定める。	2　外国人学生について必要な事項は、別に定める。
(特別留学生)	(特別留学生)
第56条　日本国籍を有さず、外国において通常の課程による12年の学校教育を修了した者は又はこれに準ずる者で、本学での学位取得を目的とせず、１年以内の留学を希望する者を特別留学生とする。	第56条　日本国籍を有さず、外国において通常の課程による12年の学校教育を修了した者は又はこれに準ずる者で、本学での学位取得を目的とせず、１年以内の留学を希望する者を特別留学生とする。
第56条の2　特別留学生とは次の各号の一つに該当するものでなければならない。	第56条の2　特別留学生とは次の各号の一つに該当するものでなければならない。
(1)　本学との海外学術協定校に在籍する者	(1)　本学との海外学術協定校に在籍する者
(2)　学位授与権をもつ外国の大学に在籍する者	(2)　学位授与権をもつ外国の大学に在籍する者
(3)　その他、学部長・研究科長会議で認めた者	(3)　その他、学部長・研究科長会議で認めた者
2　特別留学生は、学部長・研究科長会議の議を経て、学長が入学を許可する。	2　特別留学生は、学部長・研究科長会議の議を経て、学長が入学を許可する。
3　特別留学生について必要な事項は、別に定める。	3　特別留学生について必要な事項は、別に定める。
第57条　科目等履修生、研究生、特別聴講生、外国人学生及び特別留学生については、本章に規定するもののほか本学則の各章の規定を準用する。	第57条　科目等履修生、研究生、特別聴講生、外国人学生及び特別留学生については、本章に規定するもののほか本学則の各章の規定を準用する。

第9節　公開講座	第9節　公開講座
(公開講座)	(公開講座)
第58条　本学は、技術者の再教育及び一般公衆の文化向上を期して講座を公開することがある。	第58条　本学は、技術者の再教育及び一般公衆の文化向上を期して講座を公開することがある。
第59条　(削除)	第59条　(削除)
第60条　公開講座の聴講料は、必要に応じ適当と認める額を納入させることがある。	第60条　公開講座の聴講料は、必要に応じ適当と認める額を納入させることがある。
第10節　学年・学期及び休業日	第10節　学年・学期及び休業日
(学年)	(学年)
第61条　本学の学年は４月１日に始まり、翌年３月31日に終わる。	第61条　本学の学年は４月１日に始まり、翌年３月31日に終わる。
(学期)	(学期)
第62条　学年を分けて、次の２学期とする。	第62条　学年を分けて、次の２学期とする。
(1)　春学期　４月１日より９月30日まで	(1)　春学期　４月１日より９月30日まで
(2)　秋学期　10月１日より３月31日まで	(2)　秋学期　10月１日より３月31日まで
2　各学期における授業開始日及び授業終了日等は、年度毎に定める学年暦による。	2　各学期における授業開始日及び授業終了日等は、年度毎に定める学年暦による。
(休業日)	(休業日)
第63条　本学の休業日は次のとおりとする。	第63条　本学の休業日は次のとおりとする。
(1)　日曜日	(1)　日曜日
(2)　国民の祝日に関する法律に規定する休日	(2)　国民の祝日に関する法律に規定する休日
(3)　創立記念日(11月４日)	(3)　創立記念日(11月４日)
(4)　春季休業	(4)　春季休業
(5)　夏季休業	(5)　夏季休業
(6)　冬季休業	(6)　冬季休業
2　学長は教授会の議を経て休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることができる。	2　学長は教授会の議を経て休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることができる。
3　第１項の休業日のうち春季、夏季及び冬季の休業日期間は別に定める。	3　第１項の休業日のうち春季、夏季及び冬季の休業日期間は別に定める。
第11節　寮及び厚生保健	第11節　寮及び厚生保健
(学生寮)	(学生寮)
第64条　必要に応じ学生寮を置き、本学が管理する。学生寮に関する規則は別に定める。	第64条　必要に応じ学生寮を置き、本学が管理する。学生寮に関する規則は別に定める。
(厚生寮等)	(厚生寮等)
第65条　本学に教職員学生のための寮、セミナーハウス等を置く。寮、セミナーハウス等に関する規則は別に定める。	第65条　本学に教職員学生のための寮、セミナーハウス等を置く。寮、セミナーハウス等に関する規則は別に定める。
(学校医・健康診断)	(学校医・健康診断)
第66条　本学は、学生の保健衛生に留意し体位向上を期するため、学校医を委嘱する。	第66条　本学は、学生の保健衛生に留意し体位向上を期するため、学校医を委嘱する。また、

また、毎年度定期に健康診断を行う。	毎年度定期に健康診断を行う。
第12節　賞罰	第12節　賞罰
(授業料免除)	(授業料免除)
第67条　品行方正、学力優秀、精勤で学生の範と認められた者には特待生として賞状を授け、授業料を免除することがある。ただし、特待生としての資格に欠けた場合は、その待遇は解かれるものとする。	第67条　品行方正、学力優秀、精勤で学生の範と認められた者には特待生として賞状を授け、授業料を免除することがある。ただし、特待生としての資格に欠けた場合は、その待遇は解かれるものとする。
(表彰)	(表彰)
第68条　在学期間中、品行方正、学力優秀等で学生の範と認められた者には表彰することができる。	第68条　在学期間中、品行方正、学力優秀等で学生の範と認められた者には表彰することができる。
(懲戒)	(懲戒)
第69条　学生にして本学則にそむき、又は学生の本分に反する行為があった場合は、教育目的のために懲戒する。懲戒処分はその事情によって譴責、停学及び退学とする。	第69条　学生にして本学則にそむき、又は学生の本分に反する行為があった場合は、教育目的のために懲戒する。懲戒処分はその事情によって譴責、停学及び退学とする。
(退学)	(退学)
第70条　次の各号の一つに該当する者は、教授会の議を経て学長が退学を命ずる。	第70条　次の各号の一つに該当する者は、教授会の議を経て学長が退学を命ずる。
(1)　入学誓約書に違反した者	(1)　入学誓約書に違反した者
(2)　性行不良で学生の品位を乱し、改善の見込みがないと認められた者	(2)　性行不良で学生の品位を乱し、改善の見込みがないと認められた者
(3)　学力劣等で成業の見込みがないと認められた者	(3)　学力劣等で成業の見込みがないと認められた者
(4)　正当な理由がなく常に出席しない者	(4)　正当な理由がなく常に出席しない者
(5)　学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者	(5)　学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者
第13節　除籍	第13節　除籍
(除籍)	(除籍)
第71条　学長は、次の各号の一つに該当する者について除籍する。	第71条　学長は、次の各号の一つに該当する者について除籍する。
(1)　行方不明の届け出のあった者	(1)　行方不明の届け出のあった者
(2)　学費の納入を怠り、督促を受けても納入しない者	(2)　学費の納入を怠り、督促を受けても納入しない者
(3)　第14条ただし書きに定める在籍年数を超えた者	(3)　第14条ただし書きに定める在籍年数を超えた者
(4)　休学期間満了となっても復学等の手続きをしない者	(4)　休学期間満了となっても復学等の手続きをしない者
第3章　雑則	第3章　雑則
(雑則)	(雑則)
第72条　この学則の改廃は、教授会で審議し、学部長・研究科長会議の議を経て学長	第72条　この学則の改廃は、教授会で審議し、学部長・研究科長会議の議を経て学長が行

が行う。	う。
附　則	附　則
昭和24年３月25日(機械工学科・土木工学科設置)	昭和24年３月25日(機械工学科・土木工学科設置)
昭和25年３月１日(電気工学科増設)	昭和25年３月１日(電気工学科増設)
昭和27年３月１日(教職課程設置)	昭和27年３月１日(教職課程設置)
昭和29年２月15日(建築学科・工業化学科増設)	昭和29年２月15日(建築学科・工業化学科増設)
昭和29年４月１日(教育職員免許状授与認定)	昭和29年４月１日(教育職員免許状授与認定)
昭和29年４月１日(同上。聴講生制度認定)	昭和29年４月１日(同上。聴講生制度認定)
昭和30年１月20日(機械工学科・電気工学科定員増)	昭和30年１月20日(機械工学科・電気工学科定員増)
昭和31年３月１日(二部機械工学科･電気工学科増設)	昭和31年３月１日(二部機械工学科･電気工学科増設)
昭和34年３月１日(金属工学科・電子工学科増設)	昭和34年３月１日(金属工学科・電子工学科増設)
昭和40年12月27日(機械工学第二学科・通信工学科・建築工学科・工業経営学科増設) (機械工学科・電気工学科定員変更)	昭和40年12月27日(機械工学第二学科・通信工学科・建築工学科・工業経営学科増設) (機械工学科・電気工学科定員変更)
昭和43年６月21日(教授会構成員・卒業単位数変更)	昭和43年６月21日(教授会構成員・卒業単位数変更)
昭和44年５月16日(教授会構成員変更)	昭和44年５月16日(教授会構成員変更)
昭和47年11月17日(講座制・教授会その他変更)	昭和47年11月17日(講座制・教授会その他変更)
昭和49年４月１日(全学科定員変更及び教育職員免許状取得に関する授業科目変更)	昭和49年４月１日(全学科定員変更及び教育職員免許状取得に関する授業科目変更)
本改正学則は昭和49年４月１日より実施する。ただし、入学検定料は昭和49年１月21日より実施し、学費は昭和49年度入学生に適用する。	本改正学則は昭和49年４月１日より実施する。ただし、入学検定料は昭和49年１月21日より実施し、学費は昭和49年度入学生に適用する。
昭和50年４月１日(大学院及び研究生の制度並びに抹籍処理の付加、別表１の授業科目、単位数の一部変更、一部学費の改訂及び休学中の授業料免除額の規定)	昭和50年４月１日(大学院及び研究生の制度並びに抹籍処理の付加、別表１の授業科目、単位数の一部変更、一部学費の改訂及び休学中の授業料免除額の規定)
本改正学則は、昭和50年４月１日より実施する。ただし、学費及び休学中の授業料の免除額については、昭和50年度以降の入学生に適用する。	本改正学則は、昭和50年４月１日より実施する。ただし、学費及び休学中の授業料の免除額については、昭和50年度以降の入学生に適用する。
昭和51年４月１日(教育職員免許状授与に関する記載事項の修正並びに入学検定料の変更)	昭和51年４月１日(教育職員免許状授与に関する記載事項の修正並びに入学検定料の変更)
本改正学則は、昭和51年４月１日より実施する。ただし、入学検定料は昭和51年１月10日より実施する。	本改正学則は、昭和51年４月１日より実施する。ただし、入学検定料は昭和51年１月10日より実施する。

昭和52年４月１日(授業料目・単位数の一部変更並びに入学検定料の変更) 本改正学則は、昭和52年４月１日より実施する。ただし、入学検定料は昭和52年１月10日より実施する。 昭和53年４月１日(授業料目・単位数の一部の変更並びに学費の変更) 本改正学則は、昭和53年４月１日より実施する。ただし、学費は昭和53年度以降の入学生に適用する。 昭和54年４月１日(編入学・休学・復学等の条文並びに授業料目・単位数の一部変更) 昭和55年４月１日(授業料目・単位数の一部変更並びに入学検定料の変更) 本改正学則は、昭和55年４月１日より実施する。ただし、入学検定料は昭和55年１月10日より実施する。 昭和56年４月１日(授業料目・単位数の一部変更並びに学費の変更) 本改正学則は、昭和56年４月１日より実施する。ただし、学費は昭和56年度以降の入学生に適用する。 昭和57年４月１日(授業料目・単位数の一部変更、学費納入に関する条文の修正並びに入学検定料の変更) 本改正学則は昭和57年４月１日より実施する。ただし、入学検定料は昭和57年１月10日より実施する。 昭和58年４月１日(授業科目・単位数の一部変更、教育職員免許状の資格取得に関する記載事項の修正) 昭和59年４月１日(授業料目・単位数の一部変更並びに入学検定料、学費の変更) 本改正学則は、昭和59年４月１日より実施する。ただし、入学検定料は昭和59年１月10日より実施し、学費は昭和59年度入学生に適用する。 昭和60年４月１日(授業料目・単位数の一部変更並びに学費の変更) 本改正学則は、昭和60年４月１日より実施する。ただし、学費は昭和60年度以降の入学生に適用する。 昭和60年12月25日(全学科定員変更) 本改正学則は、昭和61年４月１日より実施す	昭和52年４月１日(授業料目・単位数の一部変更並びに入学検定料の変更) 本改正学則は、昭和52年４月１日より実施する。ただし、入学検定料は昭和52年１月10日より実施する。 昭和53年４月１日(授業料目・単位数の一部の変更並びに学費の変更) 本改正学則は、昭和53年４月１日より実施する。ただし、学費は昭和53年度以降の入学生に適用する。 昭和54年４月１日(編入学・休学・復学等の条文並びに授業料目・単位数の一部変更) 昭和55年４月１日(授業料目・単位数の一部変更並びに入学検定料の変更) 本改正学則は、昭和55年４月１日より実施する。ただし、入学検定料は昭和55年１月10日より実施する。 昭和56年４月１日(授業料目・単位数の一部変更並びに学費の変更) 本改正学則は、昭和56年４月１日より実施する。ただし、学費は昭和56年度以降の入学生に適用する。 昭和57年４月１日(授業料目・単位数の一部変更、学費納入に関する条文の修正並びに入学検定料の変更) 本改正学則は昭和57年４月１日より実施する。ただし、入学検定料は昭和57年１月10日より実施する。 昭和58年４月１日(授業科目・単位数の一部変更、教育職員免許状の資格取得に関する記載事項の修正) 昭和59年４月１日(授業料目・単位数の一部変更並びに入学検定料、学費の変更) 本改正学則は、昭和59年４月１日より実施する。ただし、入学検定料は昭和59年１月10日より実施し、学費は昭和59年度入学生に適用する。 昭和60年４月１日(授業料目・単位数の一部変更並びに学費の変更) 本改正学則は、昭和60年４月１日より実施する。ただし、学費は昭和60年度以降の入学生に適用する。 昭和60年12月25日(全学科定員変更) 本改正学則は、昭和61年４月１日より実施す

る。	る。
昭和61年４月１日(定員の変更、授業料目・単位数の一部変更、一部廃寮に伴う条文修正及び入学検定料の変更)	昭和61年４月１日(定員の変更、授業料目・単位数の一部変更、一部廃寮に伴う条文修正及び入学検定料の変更)
本改正学則は、昭和61年４月１日より実施する。ただし、入学検定料は、昭和61年１月10日より実施する。	本改正学則は、昭和61年４月１日より実施する。ただし、入学検定料は、昭和61年１月10日より実施する。
昭和62年４月１日(授業科目・単位数の一部変更)	昭和62年４月１日(授業科目・単位数の一部変更)
本改正学則は、昭和62年４月１日より実施する。	本改正学則は、昭和62年４月１日より実施する。
昭和63年４月１日(授業料目・単位数の一部変更。)	昭和63年４月１日(授業料目・単位数の一部変更。)
本改正学則は、昭和63年４月１日より実施する。	本改正学則は、昭和63年４月１日より実施する。
平成元年４月１日(他大学等における既修得単位の認定に関する条項の追加、入学手続き時の提出書類に関する条文修正、抹籍及び再入学に関する条文の修正、授業料目の一部変更、学費・入学検定料等の変更)	平成元年４月１日(他大学等における既修得単位の認定に関する条項の追加、入学手続き時の提出書類に関する条文修正、抹籍及び再入学に関する条文の修正、授業料目の一部変更、学費・入学検定料等の変更)
本改正学則は、平成元年４月１日より実施する。	本改正学則は、平成元年４月１日より実施する。
ただし、入学検定料は、平成元年１月10日より実施する。	ただし、入学検定料は、平成元年１月10日より実施する。
平成２年４月１日(条文(第９条第２項、第21条)、授業科目・単位数の一部、教職課程に関する授業科目等及び学費の変更)	平成２年４月１日(条文(第９条第２項、第21条)、授業科目・単位数の一部、教職課程に関する授業科目等及び学費の変更)
本改正学則は、平成２年４月１日より実施する。	本改正学則は、平成２年４月１日より実施する。
ただし､学費は平成２年度入学生に適用する。	ただし、学費は平成２年度入学生に適用する。
平成３年４月１日(新学部設置による変更)	平成３年４月１日(新学部設置による変更)
学則条文の整理､別表(入学定員､授業科目等、卒業要件、学費等)の変更。	学則条文の整理、別表(入学定員、授業科目等、卒業要件、学費等)の変更。
この学則(改正)は、平成３年４月１日から施行する。ただし、学費および入学検定料は平成３年度入学生より適用する。	この学則(改正)は、平成３年４月１日から施行する。ただし、学費および入学検定料は平成３年度入学生より適用する。
平成３年10月１日(学費の一部変更)	平成３年10月１日(学費の一部変更)
本改正学則は平成３年10月１日より実施する。	本改正学則は平成３年10月１日より実施する。
平成４年４月１日(大学設置基準の改正に伴う学則条文の一部改正、別表の収容定員、授業科目・単位数、卒業要件及び学費等の一部変更)	平成４年４月１日(大学設置基準の改正に伴う学則条文の一部改正、別表の収容定員、授業科目・単位数、卒業要件及び学費等の一部変更)
この学則(改正)は、平成４年４月１日から実	この学則(改正)は、平成４年４月１日から実施

施する。
ただし、第９条、第18条、第34条に係る事項は次の通りとする。
１．第９条の別表１は、この規程にかかわらず、平成４年度から平成11年度までの入学定員を次表の通りとする。
期間付入学定員

工学部	学科名	入学定員
一部	機械工学科	90名
	機械工学第二学科	90名
	材料工学科	90名
	工業化学科	90名
	電気工学科	90名
	通信工学科	90名
	電子工学科	90名
	土木工学科	90名
	建築学科	90名
	建築工学科	90名
	工業経営学科	90名
	合計	990名

２．第18条は、平成４年３月18日より実施する。
３．第34条の別表第５は、平成４年度入学生より適用する。
平成５年４月１日(別表の授業科目・単位数、卒業要件、学費等の一部変更)
この学則(改正)は、平成５年４月１日から実施する。
ただし、第34条の別表第５は、平成５年度入学生より適用する。
平成６年４月１日(学則条文第13条、第24条、第46条、第48条、第49条、第50条、第51条、第52条、第53条の一部改正、別表の授業科目・単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)
この学則(改正)は、平成６年４月１日から実施する。
平成７年４月１日(二部新学科設置に係る学則条文第４条、収容定員の減少(修学年数の変更)に係る学則条文第11条、第28条の一部改正。別表の収容定員、授業科目・単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)
この学則(改正)は、平成７年４月１日入学生

する。
ただし、第９条、第18条、第34条に係る事項は次の通りとする。
１．第９条の別表１は、この規程にかかわらず、平成４年度から平成11年度までの入学定員を次表の通りとする。
期間付入学定員

工学部	学科名	入学定員
一部	機械工学科	90名
	機械工学第二学科	90名
	材料工学科	90名
	工業化学科	90名
	電気工学科	90名
	通信工学科	90名
	電子工学科	90名
	土木工学科	90名
	建築学科	90名
	建築工学科	90名
	工業経営学科	90名
	合計	990名

２．第18条は、平成４年３月18日より実施する。
３．第34条の別表第５は、平成４年度入学生より適用する。
平成５年４月１日(別表の授業科目・単位数、卒業要件、学費等の一部変更)
この学則(改正)は、平成５年４月１日から実施する。
ただし、第34条の別表第５は、平成５年度入学生より適用する。
平成６年４月１日(学則条文第13条、第24条、第46条、第48条、第49条、第50条、第51条、第52条、第53条の一部改正、別表の授業科目・単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)
この学則(改正)は、平成６年４月１日から実施する。
平成７年４月１日(二部新学科設置に係る学則条文第４条、収容定員の減少(修学年数の変更)に係る学則条文第11条、第28条の一部改正。別表の収容定員、授業科目・単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)
この学則(改正)は、平成７年４月１日入学生よ

より適用する。
ただし、第９条の別表１は、この規程にかかわらず、平成７年度から平成10年度までの工学部二部機械工学科・電気工学科の収容定員は、次の通りとする。

学部	年度	機械工学科	電気工学科
工学部二部	平成7年度	400名	400名
	平成8年度	400名	400名
	平成9年度	400名	400名
	平成10年度	400名	400名

平成８年４月１日(学科名称変更に係る学則条文第４条の一部変更。学則条文第13条の一部改正。別表の収容定員。工学部授業科目(教職課程を含む)単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)
(経過措置)
工学部一部金属工学科は、平成８年３月31日に当該学科に在学するものが当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
この学則(改正)は、平成８年４月１日から実施する。
平成９年４月１日(学則条文第７条の一部改正、第８条の削除、別表の授業科目、単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)
この学則(改正)は、平成９年４月１日から実施する。
ただし、第34条の別表５は平成９年度入学生より適用する。
平成10年４月１日(学則条文第６条並びに第46条の一部改正、別表の授業科目、単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)
この学則(改正)は、平成10年４月１日から実施する。
ただし、第34条の別表５は平成10年度入学生より適用する。
また、第６条の学術情報センターについては平成10年２月１日より適用する。
平成11年４月１日(別表の授業科目・単位数、卒業要件、学費等の一部変更)
この学則(改正)は、平成11年４月１日から実施する。

り適用する。
ただし、第９条の別表１は、この規程にかかわらず、平成７年度から平成10年度までの工学部二部機械工学科・電気工学科の収容定員は、次の通りとする。

学部	年度	機械工学科	電気工学科
工学部二部	平成7年度	400名	400名
	平成8年度	400名	400名
	平成9年度	400名	400名
	平成10年度	400名	400名

平成８年４月１日(学科名称変更に係る学則条文第４条の一部変更。学則条文第13条の一部改正。別表の収容定員。工学部授業科目(教職課程を含む)単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)
(経過措置)
工学部一部金属工学科は、平成８年３月31日に当該学科に在学するものが当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
この学則(改正)は、平成８年４月１日から実施する。
平成９年４月１日(学則条文第７条の一部改正、第８条の削除、別表の授業科目、単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)
この学則(改正)は、平成９年４月１日から実施する。
ただし、第34条の別表５は平成９年度入学生より適用する。
平成10年４月１日(学則条文第６条並びに第46条の一部改正、別表の授業科目、単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)
この学則(改正)は、平成10年４月１日から実施する。
ただし、第34条の別表５は平成10年度入学生より適用する。
また、第６条の学術情報センターについては平成10年２月１日より適用する。
平成11年４月１日(別表の授業科目・単位数、卒業要件、学費等の一部変更)
この学則(改正)は、平成11年４月１日から実施する。

ただし、第34条の別表５は平成11年度入学生より適用する。

平成12年４月１日(システム工学部電子情報システム学科の定員の変更、工学部一部の臨時定員の延長および恒常化入学定員の変更、授業科目・単位数、卒業要件及び学費等の一部変更)

この学則は、平成12年４月１日から実施する。

ただし、第９条、第34条に係わる事項は次の通りとする。

１．第９条の別表１は、この規程にかかわらず、平成12年度から平成15年度までの入学定員を次表の通りとする。

期間付入学定員

工学部一部	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
機械工学科	89名	88名	87名	86名
機械工学第二学科	89名	88名	87名	86名
材料工学科	89名	88名	87名	86名
工業化学科	89名	88名	87名	86名
電気工学科	89名	88名	87名	86名
通信工学科	89名	88名	87名	86名
電子工学科	89名	88名	87名	86名
土木工学科	89名	88名	87名	86名
建築学科	89名	88名	87名	86名
建築工学科	89名	88名	87名	86名
工業経営学科	89名	88名	87名	86名

２．第34条の別表５は、平成12年度入学生から適用する。

平成13年４月１日(学科名称変更に係る学則条文第４条の一部変更。別表の収容定員。授業科目(教職課程を含む)、単位数、学部・学

ただし、第34条の別表５は平成11年度入学生より適用する。

平成12年４月１日(システム工学部電子情報システム学科の定員の変更、工学部一部の臨時定員の延長および恒常化入学定員の変更、授業科目・単位数、卒業要件及び学費等の一部変更)

この学則は、平成12年４月１日から実施する。

ただし、第９条、第34条に係わる事項は次の通りとする。

１．第９条の別表１は、この規程にかかわらず、平成12年度から平成15年度までの入学定員を次表の通りとする。

期間付入学定員

工学部一部	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
機械工学科	89名	88名	87名	86名
機械工学第二学科	89名	88名	87名	86名
材料工学科	89名	88名	87名	86名
工業化学科	89名	88名	87名	86名
電気工学科	89名	88名	87名	86名
通信工学科	89名	88名	87名	86名
電子工学科	89名	88名	87名	86名
土木工学科	89名	88名	87名	86名
建築学科	89名	88名	87名	86名
建築工学科	89名	88名	87名	86名
工業経営学科	89名	88名	87名	86名

２．第34条の別表５は、平成12年度入学生から適用する。

平成13年４月１日(学科名称変更に係る学則条文第４条の一部変更。別表の収容定員。授業科目(教職課程を含む)、単位数、学部・学科別卒

科別卒業要件、納入金等の一部変更) (経過措置) 工学部一部工業化学科及び工業経営学科は、平成13年３月31日に当該学科に在学するものが当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。 この学則(改正)は、平成13年４月１日から実施する。 ただし、第34条の別表５は平成13年度入学生より適用する。 平成14年４月１日(学則条文第32条、第38条、第46条、第67条の一部改正。別表の授業科目(教職課程を含む)、単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更。) この学則(改正)は、平成14年４月１日から実施する。 ただし、第34条の別表５は平成14年度入学生より適用する。 平成15年４月１日(工学部の収容定員の増加に係る学則条文第４条の一部変更。別表の収容定員。工学部の名称及び入学定員の変更、工学部二部２学科の廃止、授業科目・単位数、学部・学科別卒業要件、教育職員免許状の種類・教科の一部変更。学則条文第10条、第24条の一部改正、別表の納入金等の一部変更。) (経過措置) 工学部一部及び工学部二部機械工学科・電気工学科は、平成15年３月31日に当該学部・学科に在学するものが当該学部・学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。 この学則(改正)は、平成16年４月１日から実施する。 ただし、第34条の別表５は平成15年度入学生より適用する。 平成16年４月１日(工学部の収容定員の増加に係る学則条文第４条の一部変更。別表１の収容定員、入学定員の変更。工学部二部１学科の廃止に係わる学則第29条、第34条、別表２の授業科目・別表４の単位数等の一部変更。学費に係わる別表５の一部変更。) (経過措置)	業要件、納入金等の一部変更) (経過措置) 工学部一部工業化学科及び工業経営学科は、平成13年３月31日に当該学科に在学するものが当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。 この学則(改正)は、平成13年４月１日から実施する。 ただし、第34条の別表５は平成13年度入学生より適用する。 平成14年４月１日(学則条文第32条、第38条、第46条、第67条の一部改正。別表の授業科目(教職課程を含む)、単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更。) この学則(改正)は、平成14年４月１日から実施する。 ただし、第34条の別表５は平成14年度入学生より適用する。 平成15年４月１日(工学部の収容定員の増加に係る学則条文第４条の一部変更。別表の収容定員。工学部の名称及び入学定員の変更、工学部二部２学科の廃止、授業科目・単位数、学部・学科別卒業要件、教育職員免許状の種類・教科の一部変更。学則条文第10条、第24条の一部改正、別表の納入金等の一部変更。) (経過措置) 工学部一部及び工学部二部機械工学科・電気工学科は、平成15年３月31日に当該学部・学科に在学するものが当該学部・学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。 この学則(改正)は、平成16年４月１日から実施する。 ただし、第34条の別表５は平成15年度入学生より適用する。 平成16年４月１日(工学部の収容定員の増加に係る学則条文第４条の一部変更。別表１の収容定員、入学定員の変更。工学部二部１学科の廃止に係わる学則第29条、第34条、別表２の授業科目・別表４の単位数等の一部変更。学費に係わる別表５の一部変更。) (経過措置)

工学部二部電気設備学科は、平成16年３月31日に当該学部・学科に在学するものが当該学部・学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。	工学部二部電気設備学科は、平成16年３月31日に当該学部・学科に在学するものが当該学部・学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
この学則(改正)は、平成16年４月１日から実施する。ただし、第34条の別表５は平成16年度入学生より適用する。	この学則(改正)は、平成16年４月１日から実施する。ただし、第34条の別表５は平成16年度入学生より適用する。
平成17年４月１日(学則条文第８条の追加、第29条の一部改正。別表５の納入金等の一部改正。)	平成17年４月１日(学則条文第８条の追加、第29条の一部改正。別表５の納入金等の一部改正。)
この学則(改正)は、平成17年４月１日から実施する。ただし、第29条の休学期間中の学費の取扱は、平成17年度の在籍者から適用する。	この学則(改正)は、平成17年４月１日から実施する。ただし、第29条の休学期間中の学費の取扱は、平成17年度の在籍者から適用する。
平成18年４月１日(学則条文第３条の変更、第10条、第46条の一部改正。別表２の工学部授業科目、別表３のシステム工学部授業科目、別表４の学部・学科別卒業要件、別表５の納入金等の一部改正。)	平成18年４月１日(学則条文第３条の変更、第10条、第46条の一部改正。別表２の工学部授業科目、別表３のシステム工学部授業科目、別表４の学部・学科別卒業要件、別表５の納入金等の一部改正。)
この学則(改正)は、平成18年４月１日から実施する。	この学則(改正)は、平成18年４月１日から実施する。
平成19年４月１日(学則条文第38条並びに第43条の一部改正。別表２の工学部授業科目、別表３のシステム工学部授業科目、別表４の学部・学科別卒業要件、別表５の納入金等の一部改正。)	平成19年４月１日(学則条文第38条並びに第43条の一部改正。別表２の工学部授業科目、別表３のシステム工学部授業科目、別表４の学部・学科別卒業要件、別表５の納入金等の一部改正。)
この学則(改正)は、平成19年４月１日から実施する。	この学則(改正)は、平成19年４月１日から実施する。
平成20年４月１日(学則条文第１条、第４条、第18条、第34条、第36条、の一部改正。別表１収容定員、別表２の工学部授業科目、別表３システム工学部授業科目、別表４の学部学科別・卒業要件の変更、別表５の納入金の一部改正、別表６学位の種類の追加。)	平成20年４月１日(学則条文第１条、第４条、第18条、第34条、第36条、の一部改正。別表１収容定員、別表２の工学部授業科目、別表３システム工学部授業科目、別表４の学部学科別・卒業要件の変更、別表５の納入金の一部改正、別表６学位の種類の追加。)
この学則(改正)は、平成20年４月１日から施行する。	この学則(改正)は、平成20年４月１日から施行する。
平成21年４月１日(学則条文第29条、第46条、別表６の一部改正。デザイン工学部設置、システム工学部数理科学科設置、工学部機械工学第二学科名称変更、システム工学部名称変更、収容定員の変更に係る学則第４条、第10条、第17条、第18条、第34条、第51条の一部改正。別表１収容定員、	平成21年４月１日(学則条文第29条、第46条、別表６の一部改正。デザイン工学部設置、システム工学部数理科学科設置、工学部機械工学第二学科名称変更、システム工学部名称変更、収容定員の変更に係る学則第４条、第10条、第17条、第18条、第34条、第51条の一部改正。別表１収容定員、別表２の工学部

別表２の工学部授業科目、別表３システムの工学部授業科目、別表４のデザイン工学部授業科目、別表５学部学科別・卒業要件の変更、別表７学位の種類の一部追加ならびに改正。)	授業科目、別表３システムの工学部授業科目、別表４のデザイン工学部授業科目、別表５学部学科別・卒業要件の変更、別表７学位の種類の一部追加ならびに改正。)
工学部機械工学第二学科は、平成21年３月31日に当該学科に在学するものが当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。	工学部機械工学第二学科は、平成21年３月31日に当該学科に在学するものが当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
システム工学部は、平成21年３月31日に在学するものが、当該学部に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。	システム工学部は、平成21年３月31日に在学するものが、当該学部に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
この学則(改正)は、平成21年４月１日から実施する。	この学則(改正)は、平成21年４月１日から実施する。
ただし、別表６納入金の取り扱いは、平成21年度の在籍者から適用する。	ただし、別表６納入金の取り扱いは、平成21年度の在籍者から適用する。
平成22年４月１日(条項に項目(見出し)を追加。認証評価に係る学則第１条の３の追加。SIT総合研究所に係る学則第７条の２の追加。学部等における教育研究上の目に係る学則第10条の追加。教育課程編成方針に係る学則第11条の追加。成績評価基準等の明示等に係る学則第12条の追加。教育内容等改善のための組織的研修等に係る学則第15条の追加。学則条文第21条、第30条、第63条の一部改正。学則第65条と第66条の入れ替え。学部等における教育研究上の目に係る別表２の追加。別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５のデザイン工学部授業科目、別表６学部学科別・卒業要件の変更。)	平成22年４月１日(条項に項目(見出し)を追加。認証評価に係る学則第１条の３の追加。SIT総合研究所に係る学則第７条の２の追加。学部等における教育研究上の目に係る学則第10条の追加。教育課程編成方針に係る学則第11条の追加。成績評価基準等の明示等に係る学則第12条の追加。教育内容等改善のための組織的研修等に係る学則第15条の追加。学則条文第21条、第30条、第63条の一部改正。学則第65条と第66条の入れ替え。学部等における教育研究上の目に係る別表２の追加。別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５のデザイン工学部授業科目、別表６学部学科別・卒業要件の変更。)
この学則(改正)は、平成22年４月１日から適用する。	この学則(改正)は、平成22年４月１日から適用する。
平成23年４月１日(学長に係る学則第43条の追加。公開講座に係る学則第59条の削除。学期係る学則第62条第２項の追加。別表２芝浦工業大学における教育研究上の目的、別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５デザイン工学部授業科目、別表６学部学科別・卒業要件の変更。)	平成23年４月１日(学長に係る学則第43条の追加。公開講座に係る学則第59条の削除。学期係る学則第62条第２項の追加。別表２芝浦工業大学における教育研究上の目的、別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５デザイン工学部授業科目、別表６学部学科別・卒業要件の変更。)
この学則(改正)は、平成23年４月１日から適用する。	この学則(改正)は、平成23年４月１日から適用する。
平成24年４月１日(学則条文第８条の変更。	平成24年４月１日(学則条文第８条の変更。別

別表２学部等における教育研究上の目的、別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５デザイン工学部授業科目、別表６学部学科別・卒業要件の変更。)

この学則(改正)は、平成24年４月１日から実施する。

教育イノベーション推進センター設置にともない教育支援センターは廃止する。

平成25年４月１日別表２学部等における教育研究上の目的、別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５デザイン工学部授業科目、別表６学部学科別・卒業要件の変更。学則条文第８条の変更)

この学則(改正)は、平成25年４月１日から実施する。

平成26年４月１日(学則第11条の２に副専攻プログラムを追加。学則第16条の一部改正。学則第23条入学時期の一部改正。別表２学部等における教育研究上の目的、別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５デザイン工学部授業科目、別表６学部学科別・卒業要件の変更。)

この学則(改正)は、平成26年４月１日から実施する。

平成27年４月１日(学校教育法および同施行規則改正に伴う変更)学則第43条学長の権限と責任、及び同第43条の２副学長職務についての追加。同44条から同48条まで教授会の役割について改正および一部削除。同50条大学協議会の役割について一部改正。

この学則(改正)は、平成27年４月１日から実施する。

平成28年４月１日(学則第３条の変更。先端工学研究機構に係る学則第７条の１及び２の削除。学則第16条を単位、各授業科目の授業期間、授業の方法に分類。学則第16条２に卒業論文等の授業科目に係わる単位数及び履修科目として登録できる単位数上限を追加。学則第16条の３に授業の方法を追加。学則第17条の一部改正。学則第18条の２の一部改正。学則第21条の一部改正。学則第24条の一部改正。学則第27条

表２学部等における教育研究上の目的、別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５デザイン工学部授業科目、別表６学部学科別・卒業要件の変更。)

この学則(改正)は、平成24年４月１日から実施する。

教育イノベーション推進センター設置にともない教育支援センターは廃止する。

平成25年４月１日別表２学部等における教育研究上の目的、別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５デザイン工学部授業科目、別表６学部学科別・卒業要件の変更。学則条文第８条の変更)

この学則(改正)は、平成25年４月１日から実施する。

平成26年４月１日(学則第11条の２に副専攻プログラムを追加。学則第16条の一部改正。学則第23条入学時期の一部改正。別表２学部等における教育研究上の目的、別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５デザイン工学部授業科目、別表６学部学科別・卒業要件の変更。)

この学則(改正)は、平成26年４月１日から実施する。

平成27年４月１日(学校教育法および同施行規則改正に伴う変更)学則第43条学長の権限と責任、及び同第43条の２副学長職務についての追加。同44条から同48条まで教授会の役割について改正および一部削除。同50条大学協議会の役割について一部改正。

この学則(改正)は、平成27年４月１日から実施する。

平成28年４月１日(学則第３条の変更。先端工学研究機構に係る学則第７条の１及び２の削除。学則第16条を単位、各授業科目の授業期間、授業の方法に分類。学則第16条２に卒業論文等の授業科目に係わる単位数及び履修科目として登録できる単位数上限を追加。学則第16条の３に授業の方法を追加。学則第17条の一部改正。学則第18条の２の一部改正。学則第21条の一部改正。学則第24条の一部改正。学則第27条の一部改正。学則第2

の一部改正。学則第28条の一部改正。学則第31条の一部改正。別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５デザイン工学部授業科目の変更。)	8条の一部改正。学則第31条の一部改正。別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５デザイン工学部授業科目の変更。)
この学則(改正)は、平成28年４月１日から実施する。 平成28年６月15日(学則第43条の３を追加)	この学則(改正)は、平成28年４月１日から実施する。 平成28年６月15日(学則第43条の３を追加)
この学則(改正)は、平成28年６月15日から実施する。 平成28年６月15日(学則第44条の２を追加)	この学則(改正)は、平成28年６月15日から実施する。 平成28年６月15日(学則第44条の２を追加)
この学則(改正)は、平成28年６月15日から実施する。 平成28年６月15日(学則第48条の(6)学部長選挙に関する事項の削除) この学則(改正)は、平成28年６月15日から実施する。	この学則(改正)は、平成28年６月15日から実施する。 平成28年６月15日(学則第48条の(6)学部長選挙に関する事項の削除) この学則(改正)は、平成28年６月15日から実施する。
平成29年４月１日(建築学部設置及び収容定員の変更に係る学則第４条、第13条、第21条、第22条、第38条、第50条の２、第55条の改正。別表１収容定員、別表２教育研究上の目的、別表６建築学部授業科目、別表７学部・学科別卒業要件、別表８納入金、別表９学位の種類の一部追加ならびに改正。) 工学部建築学科及び建築工学科は、平成29年３月31日に在学するものが、当該学部に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。	平成29年４月１日(建築学部設置及び収容定員の変更に係る学則第４条、第13条、第21条、第22条、第38条、第50条の２、第55条の改正。別表１収容定員、別表２教育研究上の目的、別表６建築学部授業科目、別表７学部・学科別卒業要件、別表８納入金、別表９学位の種類の一部追加ならびに改正。) 工学部建築学科及び建築工学科は、平成29年３月31日に在学するものが、当該学部に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
この学則(改正)は、平成29年４月１日から実施する。 平成30年４月１日(工学部通信工学科名称変更に係る学則条文第４条の一部変更。別表の収容定員、授業科目(教職課程を含む)、単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。第７節 大学協議会廃止に係わる学部長・研究科長会議の役割について一部改正。第８節 科目等履修生・委託生・研究生の一部改正および項目削除。	この学則(改正)は、平成29年４月１日から実施する。 平成30年４月１日(工学部通信工学科名称変更に係る学則条文第４条の一部変更。別表の収容定員、授業科目(教職課程を含む)、単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。第７節　大学協議会廃止に係わる学部長・研究科長会議の役割について一部改正。第８節　科目等履修生・委託生・研究生の一部改正および項目削除。
この学則(改正)は、平成30年４月１日から実施する。	この学則(改正)は、平成30年４月１日から実施する。

平成31年４月１日(兵役義務により休学する場合の学費免除に係る第32条第１項、第33条の一部改正)	平成31年４月１日(兵役義務により休学する場合の学費免除に係る第32条第１項、第33条の一部改正)
この学則(改正)は、平成31年４月１日から実施する。	この学則(改正)は、平成31年４月１日から実施する。
令和２年４月１日(工学部先進国際課程の設置に係わる学則条文第４条、10条、27条、28条、別表１収容定員、別表２芝浦工業大学における教育研究上の目的、別表３工学部授業科目(教職課程含む)、別表７学部・学科別卒業要件、別表８納入金、別表９学位の種類の一部追加ならびに改正)	令和２年４月１日(工学部先進国際課程の設置に係わる学則条文第４条、10条、27条、28条、別表１収容定員、別表２芝浦工業大学における教育研究上の目的、別表３工学部授業科目(教職課程含む)、別表７学部・学科別卒業要件、別表８納入金、別表９学位の種類の一部追加ならびに改正)
この学則(改正)は、令和２年４月１日から実施する。	この学則(改正)は、令和２年４月１日から実施する。
令和３年４月１日(別表７工学部・システム理工学部・建築学部卒業要件の一部追加ならびに改正)	令和３年４月１日(別表７工学部・システム理工学部・建築学部卒業要件の一部追加ならびに改正)
この学則(改正)は、令和３年４月１日から実施する。	この学則(改正)は、令和３年４月１日から実施する。
令和４年４月１日(休学に係わる学則条文第32条、休学期間中の学費に係わる学則条文第33条の一部変更。別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５デザイン工学部授業科目、別表６建築学部授業科目、別表７工学部・システム理工学部・デザイン工学部・建築学部卒業要件、別表８納入金の一部追加ならびに改正)	令和４年４月１日(休学に係わる学則条文第32条、休学期間中の学費に係わる学則条文第33条の一部変更。別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５デザイン工学部授業科目、別表６建築学部授業科目、別表７工学部・システム理工学部・デザイン工学部・建築学部卒業要件、別表８納入金の一部追加ならびに改正)
この学則(改正)は、令和４年４月１日から実施する。ただし、第33条休学期間中の学費の取扱は、令和４年度の在籍者から適用する。	この学則(改正)は、令和４年４月１日から実施する。ただし、第33条休学期間中の学費の取扱は、令和４年度の在籍者から適用する。
令和５年４月１日(自己点検・評価等に係わる学則条文第１条の２、設置等に係わる学則条文第３条の住所、教育課程に係わる学則条文第13条別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５デザイン工学部授業科目、別表６建築学部授業科目、卒業認定に係る学則条文第21条別表７システム理工学部卒業要件、学費等に係る学則条文第38条別表８科目等履修生の学費等の一部改正)	令和５年４月１日(自己点検・評価等に係わる学則条文第１条の２、設置等に係わる学則条文第３条の住所、教育課程に係わる学則条文第13条別表３工学部授業科目、別表４システム理工学部授業科目、別表５デザイン工学部授業科目、別表６建築学部授業科目、卒業認定に係る学則条文第21条別表７システム理工学部卒業要件、学費等に係る学則条文第38条別表８科目等履修生の学費等の一部改正)
この学則(改定)は、令和５年４月１日から実施する。	この学則(改定)は、令和５年４月１日から実施する。
令和６年４月１日(学校教育法施行規則第165条の２第１項に定める方針に係わる学則	令和６年４月１日(学校教育法施行規則第165条の２第１項に定める方針に係わる学則条

条文第１条の４、学部等における教育研究上の目的及び方針に係わる学則条文第10条、教育課程の編成に係わる学則条文第11条、授業期間に係わる学則条文第16条の２、芝浦工業大学における三つの方針に係わる別表２―１、学部等における教育研究上の目的及び方針に係わる別表２―２、工学部５課程の設置に係わる学則条文第４条、別表１収容定員、別表３工学部授業科目(教職課程含む)、別表７学部・課程・学科別卒業要件、別表９学位の種類の一部追加ならびに改正)工学部機械工学科及び機械機能工学科・材料工学科・応用化学科・電気工学科・情報通信工学科・電子工学科・土木工学科・情報工学科は、令和６年３月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

この学則(改定)は、令和６年４月１日から実施する。

この学則(改定)は、令和７年４月１日から実施する。

別表

別表1……収容定員

別表2―1……芝浦工業大学における三つの方針

別表2―2……学部等における教育研究上の目的及び方針

別表3……工学部授業科目(教職課程含む)

別表4……システム理工学部授業科目(教職課程含む)

別表5……デザイン工学部授業科目(教職課程含む)

別表6……建築学部授業科目

別表7……学部・課程・学科別卒業要件

別表8……納入金

別表9……学位の種類

別表1

収容定員

学部	課程・学科名	入学定員	収容定員
工学部	機械工学課程	228	912

文第１条の４、学部等における教育研究上の目的及び方針に係わる学則条文第10条、教育課程の編成に係わる学則条文第11条、授業期間に係わる学則条文第16条の２、芝浦工業大学における三つの方針に係わる別表２―１、学部等における教育研究上の目的及び方針に係わる別表２―２、工学部５課程の設置に係わる学則条文第４条、別表１収容定員、別表３工学部授業科目(教職課程含む)、別表７学部・課程・学科別卒業要件、別表９学位の種類の一部追加ならびに改正)工学部機械工学科及び機械機能工学科・材料工学科・応用化学科・電気工学科・情報通信工学科・電子工学科・土木工学科・情報工学科は、令和６年３月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

この学則(改定)は、令和６年４月１日から実施する。

この学則(改定)は、令和７年４月１日から実施する。

別表

別表1……収容定員

別表2―1……芝浦工業大学における三つの方針

別表2―2……学部等における教育研究上の目的及び方針

別表3……工学部授業科目(教職課程含む)

別表4……システム理工学部授業科目(教職課程含む)

別表5……デザイン工学部授業科目(教職課程含む)

別表6……建築学部授業科目

別表7……学部・課程・学科別卒業要件

別表8……納入金

別表9……学位の種類

別表1

収容定員

学部	課程・学科名	入学定員	収容定員
工学部	機械工学課程	228	912

	物資化学課程	208	832
	電気電子工学課程	208	832
	情報・通信工学課程	218	872
	土木工学課程	104	416
	先進国際課程	9	36
	合計	975名	3,900名
システム理工学部	情報課程	240	960
	機械・電気課程	90	360
	建築・環境課程	120	480
	生命科学科	115	460
	数理科学課程	75	300
	合計	640名	25,60名
デザイン工学部	デザイン工学科	160	640
	合計	160名	640名
建築学部	建築学科	240	960
	合計	240名	960名

別表2―1

芝浦工業大学における三つの方針

大学の目的

本学は教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、学術の中心として深く工学の研究を行い世界文化に貢献し、併せて広く一般の学術教養と専門の工業教育を施すことにより、学生の人格を陶冶し、学理を究めさせ体位の向上を図り、もって優秀なる技術者を養成することを目的とする。

(芝浦工業大学学則第１条第１項)

三つの方針	
卒業の認定に関する方針	芝浦工業大学は、理工学の基礎知識及び幅広い専門分野の知識を活用して、持続型社会の実現のために世界の諸問題を解決できると

	物資化学課程	208	832
	電気電子工学課程	208	832
	情報・通信工学課程	218	872
	土木工学課程	104	416
	先進国際課程	9	36
	合計	975名	3,900名

システム理工学部	電子情報システム学科	115	460
	機械制御システム学科	90	360
	環境システム学科	90	360
	生命科学科	115	460
	数理科学科	75	300
	合計	485名	1,940名
デザイン工学部	デザイン工学科	160	640
	合計	160名	640名
建築学部	建築学科	240	960
	合計	240名	960名

別表2―1

芝浦工業大学における三つの方針

大学の目的

本学は教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、学術の中心として深く工学の研究を行い世界文化に貢献し、併せて広く一般の学術教養と専門の工業教育を施すことにより、学生の人格を陶冶し、学理を究めさせ体位の向上を図り、もって優秀なる技術者を養成することを目的とする。

(芝浦工業大学学則第１条第１項)

三つの方針	
卒業の認定に関する方針	芝浦工業大学は、理工学の基礎知識及び幅広い専門分野の知識を活用して、持続型社会の実現のために世界の諸問題を解決できると

(ディプロマ・ポリシー)	ともに、建学の精神に謳われる社会に貢献する理工学人材にふさわしい能力を有し、卒業要件を満たしたものに学位を授与します。 (学修・教育目標) ・世界と社会の多様性を認識し、高い倫理観を持った理工学人材として行動できる。 ・問題を特定し、問題解決に必要な知識・スキルを認識し、不足分を自己学修し、社会・経済的制約条件を踏まえ、基礎科学と専門知識を運用し、問題を解決できる。 ・関係する人々とのコミュニケーションを図り、チームで仕事ができる。	(ディプロマ・ポリシー)	ともに、建学の精神に謳われる社会に貢献する理工学人材にふさわしい能力を有し、卒業要件を満たしたものに学位を授与します。 (学修・教育目標) ・世界と社会の多様性を認識し、高い倫理観を持った理工学人材として行動できる。 ・問題を特定し、問題解決に必要な知識・スキルを認識し、不足分を自己学修し、社会・経済的制約条件を踏まえ、基礎科学と専門知識を運用し、問題を解決できる。 ・関係する人々とのコミュニケーションを図り、チームで仕事ができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)	芝浦工業大学は、学位授与の方針に掲げる知識・スキル・能力・態度を修得させるため、講義、演習、実験、実習により体系的にカリキュラムを編成します。学生の主体的・能動的な学修・研究を促す教育方法を実施し、その学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことにより、学修・教育到達目標を達成します。	教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)	芝浦工業大学は、学位授与の方針に掲げる知識・スキル・能力・態度を修得させるため、講義、演習、実験、実習により体系的にカリキュラムを編成します。学生の主体的・能動的な学修・研究を促す教育方法を実施し、その学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことにより、学修・教育到達目標を達成します。
入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)	芝浦工業大学へ入学を志望する受験生は、本学の建学の精神と以下に挙げる「求める人物像」を理解し、さらに各学部の教育方針、学科のカリキュラム、教育および研究の内容をよく理解して出願することが望まれます。 本学が求める人物像を以下に示します。 ・本学での学修、研究を強く希望し、本学で自己成長・自己実現を成そうと希望する人。 ・数学および自然科学(物理学、化学、生物学などの科目)の基礎を学び、理工学と科学技術に対して強い興味関心を持ち、将来こ	入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)	芝浦工業大学へ入学を志望する受験生は、本学の建学の精神と以下に挙げる「求める人物像」を理解し、さらに各学部の教育方針、学科のカリキュラム、教育および研究の内容をよく理解して出願することが望まれます。 本学が求める人物像を以下に示します。 ・本学での学修、研究を強く希望し、本学で自己成長・自己実現を成そうと希望する人。 ・数学および自然科学(物理学、化学、生物学などの科目)の基礎を学び、理工学と科学技術に対して強い興味関心を持ち、将来こ

	の学問を通じて我が国と世界の持続的発展に貢献しようという意思を持つ人。 ・大学において幅広い教養と経験、さらにコミュニケーション能力を身につけ、世界が多様であることを意識しながら市民社会の一員としての責務を自覚し、人類の進歩と地球環境の保全に尽くすとの気概を持つ人 上記に賛同し、本学への入学を希望する人は、高等学校等において以下の能力等を身につけておくことが望まれます。 (1) 高等学校等の課程で学ぶ知識・技能(特に外国語、数学、理科) (2) 思考力・判断力・表現力等の能力 (3) 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度 ・一般選抜の前期日程、英語資格・検定試験利用方式、全学統一日程、後期日程では、(1)及び(2)を評価します。 ・一般入試の大学入学共通テスト利用方式では、多科目の成績により(1)及び(2)を評価します。 ・総合型選抜では、筆記試験や外部検定試験などにより(1)及び(2)を評価し、面接や口頭試問などにより(1)及び(2)、(3)を総合的に評価します。 ・学校推薦型選抜では、調査書や外部検定試験などにより(1)及び(2)を評価し、面接や口頭試問などにより(1)及び(2)、(3)を総合的に評価します。

別表2―2

学部等における教育研究上の目的及び方針

1　工学部

人材の育成及び教育研究上の目的
工学部では、現代社会が抱える様々な課

	の学問を通じて我が国と世界の持続的発展に貢献しようという意思を持つ人。 ・大学において幅広い教養と経験、さらにコミュニケーション能力を身につけ、世界が多様であることを意識しながら市民社会の一員としての責務を自覚し、人類の進歩と地球環境の保全に尽くすとの気概を持つ人 上記に賛同し、本学への入学を希望する人は、高等学校等において以下の能力等を身につけておくことが望まれます。 (1) 高等学校等の課程で学ぶ知識・技能(特に外国語、数学、理科) (2) 思考力・判断力・表現力等の能力 (3) 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度 ・一般選抜の前期日程、英語資格・検定試験利用方式、全学統一日程、後期日程では、(1)及び(2)を評価します。 ・一般入試の大学入学共通テスト利用方式では、多科目の成績により(1)及び(2)を評価します。 ・総合型選抜では、筆記試験や外部検定試験などにより(1)及び(2)を評価し、面接や口頭試問などにより(1)及び(2)、(3)を総合的に評価します。 ・学校推薦型選抜では、調査書や外部検定試験などにより(1)及び(2)を評価し、面接や口頭試問などにより(1)及び(2)、(3)を総合的に評価します。

別表2―2

学部等における教育研究上の目的及び方針

1　工学部

人材の育成及び教育研究上の目的
工学部では、現代社会が抱える様々な課

題を自ら発見、解決する工学技術者を養成するため、確かな基礎学力に基づく各専門分野の高い専門能力に加え、工学部内の多彩な専門分野を横断的に学べる新たな教育プログラムにより学際的な思考能力を涵養する。さらに、修得した分野横断的知識に加え、研究を軸とした実践型教育により課題解決能力を高め、様々な課題の本質を捉え、学際的アプローチにより解決する能力を涵養し、持続可能な社会の発展に、多様な価値観と高い倫理観をもって貢献する創造性豊かな人材を養成する。 具体的には、卒業までに以下に挙げる能力を持った人材を養成することを教育研究上の目的とする。 ・工学専門教育の修得に必要な基礎学力・教養を身に付けている。 (豊かな教養を涵養する学修) ・工学の専門知識と論理的思考法を体系的に学び、身に付けている。 (工学知識の体系的学修) ・複数分野の知識を修得し、学際的な思考能力を身に付けている。 (分野横断的知識の修得) ・研究を通じ、課題を発見・解決し、未踏分野に挑戦できる力を身に付けている。 (創造性の育成) ・社会の要求、多様な価値観を理解し、他者と協働して主体的に行動できる能力を身に付けている。(他者との共生)	題を自ら発見、解決する工学技術者を養成するため、確かな基礎学力に基づく各専門分野の高い専門能力に加え、工学部内の多彩な専門分野を横断的に学べる新たな教育プログラムにより学際的な思考能力を涵養する。さらに、修得した分野横断的知識に加え、研究を軸とした実践型教育により課題解決能力を高め、様々な課題の本質を捉え、学際的アプローチにより解決する能力を涵養し、持続可能な社会の発展に、多様な価値観と高い倫理観をもって貢献する創造性豊かな人材を養成する。 具体的には、卒業までに以下に挙げる能力を持った人材を養成することを教育研究上の目的とする。 ・工学専門教育の修得に必要な基礎学力・教養を身に付けている。 (豊かな教養を涵養する学修) ・工学の専門知識と論理的思考法を体系的に学び、身に付けている。 (工学知識の体系的学修) ・複数分野の知識を修得し、学際的な思考能力を身に付けている。 (分野横断的知識の修得) ・研究を通じ、課題を発見・解決し、未踏分野に挑戦できる力を身に付けている。 (創造性の育成) ・社会の要求、多様な価値観を理解し、他者と協働して主体的に行動できる能力を身に付けている。(他者との共生)
三つの方針	三つの方針
卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)	工学部は、確かな基礎学力に基づく高い専門能力を備え、社会が抱えるさまざまな課題を発見・解決することで、持続可能な社会の発展に貢献する創造性豊かな人材を育成します。そして以下の能力を身に付けて卒業要件を満たした者に、学位を授与します。 1．豊かな人格形成の基本と基礎的な学力を備え、課題を自ら発見し、関係する人々と意思疎通を図りながら協働できる。
卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)	工学部は、確かな基礎学力に基づく高い専門能力を備え、社会が抱えるさまざまな課題を発見・解決することで、持続可能な社会の発展に貢献する創造性豊かな人材を育成します。そして以下の能力を身に付けて卒業要件を満たした者に、学位を授与します。 1．豊かな人格形成の基本と基礎的な学力を備え、課題を自ら発見し、関係する人々と意思疎通を図りながら協働できる。

	2．工学の本質の体系的な理解に加え、分野横断的な知識による多様な手法によって課題の核心に迫り、その解決方法を導き出せる。 3．工学技術者教育や研究を軸とした実践型教育を通じ、社会の多様性を認識して高い倫理観を持った理工学人材として行動できる。		2．工学の本質の体系的な理解に加え、分野横断的な知識による多様な手法によって課題の核心に迫り、その解決方法を導き出せる。 3．工学技術者教育や研究を軸とした実践型教育を通じ、社会の多様性を認識して高い倫理観を持った理工学人材として行動できる。
教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)	工学部ではディプロマ・ポリシーに掲げる能力を身に付けるため、以下の教育課程の編成、教育内容・方法および学修成果の評価に基づいた教育を実施します。 教育課程の編成 教育課程を「基礎・教養科目」と「専門科目」に区分し、工学を体系的に学修できるように科目を以下のように配置する。 「基礎・教養科目」は、「数理基礎科目」「英語科目」「情報科目」「人文社会系教養科目」「体育健康科目」「工学部共通教養科目」の細区分で構成した科目を配置する。また「専門科目」は、「工学部共通専門科目」「自コース専門科目」「他コース専門科目」の細区分で構成した科目を配置する。 教育内容・方法の実施 ・技術者として必要な基礎能力を得るため、各科目で質の高い授業を展開する。 ・「数理基礎科目」「英語科目」「情報科目」「人文社会系教養科目」により、工学の専門教育の修得に必要な基礎学力・教養・倫理観を涵養する。 「体育健康科目」「工学部共通教養科目」により社会の要求、多様な価値観を理解し、他者と協働して主体的に行動できる能力を育成する。	教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)	工学部ではディプロマ・ポリシーに掲げる能力を身に付けるため、以下の教育課程の編成、教育内容・方法および学修成果の評価に基づいた教育を実施します。 教育課程の編成 教育課程を「基礎・教養科目」と「専門科目」に区分し、工学を体系的に学修できるように科目を以下のように配置する。 「基礎・教養科目」は、「数理基礎科目」「英語科目」「情報科目」「人文社会系教養科目」「体育健康科目」「工学部共通教養科目」の細区分で構成した科目を配置する。また「専門科目」は、「工学部共通専門科目」「自コース専門科目」「他コース専門科目」の細区分で構成した科目を配置する。 教育内容・方法の実施 ・技術者として必要な基礎能力を得るため、各科目で質の高い授業を展開する。 ・「数理基礎科目」「英語科目」「情報科目」「人文社会系教養科目」により、工学の専門教育の修得に必要な基礎学力・教養・倫理観を涵養する。 「体育健康科目」「工学部共通教養科目」により社会の要求、多様な価値観を理解し、他者と協働して主体的に行動できる能力を育成する。

	・「専門科目」では工学の専門知識と論理的思考法を体系的に学び、身に付ける。また未踏分野に挑戦し、社会における課題を自ら発見、社会の多様性を認識しながら他者と協働して解決できる創造性豊かな技術者を養成するため、研究を軸とした実践型教育を実施する。 ・複数分野の知識を修得した学際的な思考能力を養成するため、技術者に必要な分野横断的知識を学修する。具体的には、所属するコースの専門科目に加えて所属するコース以外の専門科目履修も可能とする。 ・カリキュラムツリーを示し、学修・教育到達目標に応じた科目履修の理解を促す。 学修成果の評価 ・単位制を採用し、学修成果を総合的に評価する。 ・各コースに設定した学修・教育到達目標、各授業科目の達成目標に対して、学修成果が一定のレベルに達した際に単位を付与する。 ・所属するコース以外からの専門科目を履修し、所定の条件を満たした場合に副コース認定を行う。		・「専門科目」では工学の専門知識と論理的思考法を体系的に学び、身に付ける。また未踏分野に挑戦し、社会における課題を自ら発見、社会の多様性を認識しながら他者と協働して解決できる創造性豊かな技術者を養成するため、研究を軸とした実践型教育を実施する。 ・複数分野の知識を修得した学際的な思考能力を養成するため、技術者に必要な分野横断的知識を学修する。具体的には、所属するコースの専門科目に加えて所属するコース以外の専門科目履修も可能とする。 ・カリキュラムツリーを示し、学修・教育到達目標に応じた科目履修の理解を促す。 学修成果の評価 ・単位制を採用し、学修成果を総合的に評価する。 ・各コースに設定した学修・教育到達目標、各授業科目の達成目標に対して、学修成果が一定のレベルに達した際に単位を付与する。 ・所属するコース以外からの専門科目を履修し、所定の条件を満たした場合に副コース認定を行う。
入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)	工学部では知識偏重教育ではなく、実践型教育による課題解決型人材の輩出に力点を置いた教育を行なっています。そのため、本学の建学の精神と工学部の教育方針、各コースのカリキュラム、教育・研究の内容をよく理解した、以下のような学生を求めます。 (工学部が求める人物像) ・工学部での学修・研究を強く志望し、関連する教育分野における基礎学力を身に付けた人	入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)	工学部では知識偏重教育ではなく、実践型教育による課題解決型人材の輩出に力点を置いた教育を行なっています。そのため、本学の建学の精神と工学部の教育方針、各コースのカリキュラム、教育・研究の内容をよく理解した、以下のような学生を求めます。 (工学部が求める人物像) ・工学部での学修・研究を強く志望し、関連する教育分野における基礎学力を身に付けた人

	・工学各分野における技術と、その基礎・応用に興味がある人 ・実際に対象に触れ、実践的に学修・研究することに価値を見出す人 ・国際的な視野を持って社会の課題解決に主体的に取り組み、人類や社会の持続的発展に貢献しようという意志を持つ人

課程

課程名	人材の育成及び教育研究上の目的
機械工学課程	科学技術の現状や社会の要望をグローバルな視点で捉え、環境や感性との調和に配慮しながら、機械工学の学理を用いて有用な機械やシステムを創成できる人材を養成する。 具体的には、卒業までに以下のような人材を養成することを教育研究上の目的とする。 ・機械工学に関わる数理知識を用いて機械のメカニズムを理解する能力と、それらを活用して有用な機能を創成できる設計能力を身に付けている。 ・社会や環境との関わりに配慮して機械工学の必要性を常に見直すことができる倫理観および責任感を持ち、グローバルな視点から多面的に科学技術を捉える能力を身に付けている。 ・工学的な問題に対して機械工学の見地から取り組むべき事柄を整理し、与えられた条件の下で様々な分野の知識を関連付けて課題解決に適用できる能力を身に付けている。 ・地球的視野から科学技術の現状を捉えて能動的に考え分析し、社会の発展に向けて行動することができる研究推進能力を身に付けている。 ・多様性を尊重し他者と協調して

	・工学各分野における技術と、その基礎・応用に興味がある人 ・実際に対象に触れ、実践的に学修・研究することに価値を見出す人 ・国際的な視野を持って社会の課題解決に主体的に取り組み、人類や社会の持続的発展に貢献しようという意志を持つ人

課程

課程名	人材の育成及び教育研究上の目的
機械工学課程	科学技術の現状や社会の要望をグローバルな視点で捉え、環境や感性との調和に配慮しながら、機械工学の学理を用いて有用な機械やシステムを創成できる人材を養成する。 具体的には、卒業までに以下のような人材を養成することを教育研究上の目的とする。 ・機械工学に関わる数理知識を用いて機械のメカニズムを理解する能力と、それらを活用して有用な機能を創成できる設計能力を身に付けている。 ・社会や環境との関わりに配慮して機械工学の必要性を常に見直すことができる倫理観および責任感を持ち、グローバルな視点から多面的に科学技術を捉える能力を身に付けている。 ・工学的な問題に対して機械工学の見地から取り組むべき事柄を整理し、与えられた条件の下で様々な分野の知識を関連付けて課題解決に適用できる能力を身に付けている。 ・地球的視野から科学技術の現状を捉えて能動的に考え分析し、社会の発展に向けて行動することができる研究推進能力を身に付けている。 ・多様性を尊重し他者と協調して

	活動できる能力と、意思疎通を図りながら自らの判断や意見について説明できるコミュニケーション能力を身に付けている。 ・技術的課題の探求に関心を持ち、情報環境等を利用して継続的に自己学修できる能力を身に付けている。		活動できる能力と、意思疎通を図りながら自らの判断や意見について説明できるコミュニケーション能力を身に付けている。 ・技術的課題の探求に関心を持ち、情報環境等を利用して継続的に自己学修できる能力を身に付けている。
物質化学課程	環境・物質工学分野ならびに化学・生命工学分野における広範囲な産業界に適用し、柔軟な対応力に加え、即戦力、実践力を持って活躍できる人材、社会の財産となりうる人材を養成する。 具体的には、卒業までに以下のような人材を養成することを教育研究上の目的とする。 ・物質化学を基盤とする自然科学ならびに工学にかかわる幅広い視野を育み、広範囲な領域の課題を探求する姿勢と技術を身に付けている。 ・物質化学の体系的な理解・整理と生産技術の開発・管理を基に、環境保全や生命工学を含めた分野における課題を見出し、問題を解決する能力を身に付けている。 ・物質化学の幅広い分野において、境界領域や融合領域および未踏科学分野に、創造力を持って積極的に取り組む姿勢や能力を身に付けている。 ・高度な知性に加え、産業界での即戦力となる創造性豊かな実践力を身に付けている。 ・社会における責任感と倫理感、他者との協力・協働の姿勢を基に、社会貢献できる能力を身に付けている。	物質化学課程	環境・物質工学分野ならびに化学・生命工学分野における広範囲な産業界に適用し、柔軟な対応力に加え、即戦力、実践力を持って活躍できる人材、社会の財産となりうる人材を養成する。 具体的には、卒業までに以下のような人材を養成することを教育研究上の目的とする。 ・物質化学を基盤とする自然科学ならびに工学にかかわる幅広い視野を育み、広範囲な領域の課題を探求する姿勢と技術を身に付けている。 ・物質化学の体系的な理解・整理と生産技術の開発・管理を基に、環境保全や生命工学を含めた分野における課題を見出し、問題を解決する能力を身に付けている。 ・物質化学の幅広い分野において、境界領域や融合領域および未踏科学分野に、創造力を持って積極的に取り組む姿勢や能力を身に付けている。 ・高度な知性に加え、産業界での即戦力となる創造性豊かな実践力を身に付けている。 ・社会における責任感と倫理感、他者との協力・協働の姿勢を基に、社会貢献できる能力を身に付けている。
電気電子工学課程	技術の進歩に対応して主体的に活動できる人間性豊かな人材、電気電子分野の技術をもって、持続的	電気電子工学課程	技術の進歩に対応して主体的に活動できる人間性豊かな人材、電気電子分野の技術をもって、持続的

	な社会の構築に貢献できる人材を養成する。 具体的には、卒業までに以下のような人材を養成することを教育研究上の目的とする。 ・電気電子工学に関わる専門分野の基本知識を有し、これらを用いて、技術者として当該分野の問題を分析し、その問題解決のために応用できる力を身に付けている。 ・自らの意見を文書あるいは口頭説明で他者に論理的に説明する、他者が発信した情報や意見を理解することができ、自らの意図を実現できるプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身に付けている。 ・チームの一員として自己のなすべき行動を理解し実行できる協調性、自らの活動の結果が社会および環境に及ぼす影響を認識できる倫理観、および社会から付託されている責任を理解し実務の場で技術者倫理に基づいた行動ができる責任感を身に付けている。		な社会の構築に貢献できる人材を養成する。 具体的には、卒業までに以下のような人材を養成することを教育研究上の目的とする。 ・電気電子工学に関わる専門分野の基本知識を有し、これらを用いて、技術者として当該分野の問題を分析し、その問題解決のために応用できる力を身に付けている。 ・自らの意見を文書あるいは口頭説明で他者に論理的に説明する、他者が発信した情報や意見を理解することができ、自らの意図を実現できるプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身に付けている。 ・チームの一員として自己のなすべき行動を理解し実行できる協調性、自らの活動の結果が社会および環境に及ぼす影響を認識できる倫理観、および社会から付託されている責任を理解し実務の場で技術者倫理に基づいた行動ができる責任感を身に付けている。
情報・通信工学課程	コンピュータと情報通信を利用して人間の社会と生活を豊かにする技術を体系的に広く学ぶことを教育の目的とし、時代に左右されない技術の基盤を支える普遍的な基礎学力を身に付けた技術者を養成する。 具体的には、卒業までに以下のような人材を養成することを教育研究上の目的とする。 ・技術の基盤を支える数学と物理などの自然科学の基礎学力を身に付けている。 ・情報・通信工学の基本的な考え方と基礎技術、およびそれらを創造的に応用して課題を解決す	情報・通信工学課程	コンピュータと情報通信を利用して人間の社会と生活を豊かにする技術を体系的に広く学ぶことを教育の目的とし、時代に左右されない技術の基盤を支える普遍的な基礎学力を身に付けた技術者を養成する。 具体的には、卒業までに以下のような人材を養成することを教育研究上の目的とする。 ・技術の基盤を支える数学と物理などの自然科学の基礎学力を身に付けている。 ・情報・通信工学の基本的な考え方と基礎技術、およびそれらを創造的に応用して課題を解決す

	る能力を身に付けている。 ・情報技術・情報通信技術が社会に及ぼす影響や制約条件を考えながらシステムの設計・実装を行うことで課題を解決する能力を身に付けている。 ・幅広い教養と豊かな人間性を基に、地球的視点からの広い視野を持って課題に自律的に取り組み探求する能力を身に付けている。 ・技術者として必要な他者とのコミュニケーションの能力を身に付けている。		る能力を身に付けている。 ・情報技術・情報通信技術が社会に及ぼす影響や制約条件を考えながらシステムの設計・実装を行うことで課題を解決する能力を身に付けている。 ・幅広い教養と豊かな人間性を基に、地球的視点からの広い視野を持って課題に自律的に取り組み探求する能力を身に付けている。 ・技術者として必要な他者とのコミュニケーションの能力を身に付けている。
土木工学課程	グローバルな視点で持続可能な社会に貢献できる創造性豊かな土木技術者の育成を目指す。土木工学の対象である「人」、「自然」、「モノ」が相互に影響する社会基盤システムを大局的に捉える能力と集団の中での自己の役割と責任の自覚をもつ人材を養成する。 具体的には、卒業までに以下のような人材を養成することを教育研究上の目的とする。 ・真に市民の立場に立った都市づくりを行える姿勢や能力を身に付けている。 ・科学技術と土木工学の専門知識を基礎とした問題を分析、洞察、解決する能力を身に付けている。 ・自然や社会の環境変化に対処する能力と創造力を身に付けている。 ・日本のみならず国際社会での指導力と倫理観に基づく行動力を身に付けている。	土木工学課程	グローバルな視点で持続可能な社会に貢献できる創造性豊かな土木技術者の育成を目指す。土木工学の対象である「人」、「自然」、「モノ」が相互に影響する社会基盤システムを大局的に捉える能力と集団の中での自己の役割と責任の自覚をもつ人材を養成する。 具体的には、卒業までに以下のような人材を養成することを教育研究上の目的とする。 ・真に市民の立場に立った都市づくりを行える姿勢や能力を身に付けている。 ・科学技術と土木工学の専門知識を基礎とした問題を分析、洞察、解決する能力を身に付けている。 ・自然や社会の環境変化に対処する能力と創造力を身に付けている。 ・日本のみならず国際社会での指導力と倫理観に基づく行動力を身に付けている。
先進国際課程	工学、理学など広く学問を統合することをもって、持続的社会の構築に貢献できる人材を育成することを目的とする。特に、多様な価値観のもと産業と技術革新基盤を	先進国際課程	工学、理学など広く学問を統合することをもって、持続的社会の構築に貢献できる人材を育成することを目的とする。特に、多様な価値観のもと産業と技術革新基盤を

	創造できる人材の育成に重点を置く。

2　システム理工学部　学科

人材の育成及び教育研究上の目的
システム理工学部は、幅広い教養、国際性及び理工学に対する体系的な知識を身に付け、総合的問題解決のためのシステム工学の思考と手法を活用して持続可能な社会の構築に貢献できる人材を養成することを目的とする。

三つの方針	
卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)	システム理工学部は、理工学の基礎知識と幅広い専門分野の知識に加え、学問体系を横断し関連づけるシステム工学の手法、すなわち総合的解決策を追求する「システム思考」、目標達成の機能を作る「システム手法」、および問題解決の人・知識・技術を統合する「システムマネジメント」を修得し、地域と人類社会の発展に貢献する高い倫理観を持ち、卒業要件を満たしたものに学位を授与します。 (学修・教育到達目標) 1．地球的観点から多面的に物事を考える幅広い教養を備え、他分野・異文化と相互理解・交流し、社会や世界の問題解決に取り組み、高い倫理観を持った理工学人材として行動できる。 2．科学技術の知識を修得するとともに、これを総合して問題解決するまでの行動計画を推進するためのシステム思考を修得し、問題を発見し、総合的解決策を導き出すことができる。 3．社会の問題解決に必要なシステム工学の理論とその運用能力を備え、人・知識・技術をマネジメントし、関係する人々とのコミュニケーションを図り

	創造できる人材の育成に重点を置く。

2　システム理工学部

人材の育成及び教育研究上の目的
システム理工学部は、幅広い教養、国際性及び理工学に対する体系的な知識を身に付け、総合的問題解決のためのシステム工学の思考と手法を活用して持続可能な社会の構築に貢献できる人材を養成することを目的とする。

三つの方針	
卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)	システム理工学部は、理工学の基礎知識と幅広い専門分野の知識に加え、学問体系を横断し関連づけるシステム工学の手法、すなわち総合的解決策を追求する「システム思考」、目標達成の機能を作る「システム手法」、および問題解決の人・知識・技術を統合する「システムマネジメント」を修得し、地域と人類社会の発展に貢献する高い倫理観を持ち、卒業要件を満たしたものに学位を授与します。 (学修・教育到達目標) 1．地球的観点から多面的に物事を考える幅広い教養を備え、他分野・異文化と相互理解・交流し、社会や世界の問題解決に取り組み、高い倫理観を持った理工学人材として行動できる。 2．科学技術の知識を修得するとともに、これを総合して問題解決するまでの行動計画を推進するためのシステム思考を修得し、問題を発見し、総合的解決策を導き出すことができる。 3．社会の問題解決に必要なシステム工学の理論とその運用能力を備え、人・知識・技術をマネジメントし、関係する人々とのコミュニケーションを図り

	ながらチームで仕事ができる。 4．専門的知識とその運用能力を備え、問題解決に必要な知識・スキルを認識し、不足分を自己学修し、問題を解決できる。		ながらチームで仕事ができる。 4．専門的知識とその運用能力を備え、問題解決に必要な知識・スキルを認識し、不足分を自己学修し、問題を解決できる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	システム理工学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、学問体系を横断し関連づけるシステム工学の手法と、専門的知識を深めるための学科専門教育を体系的に学修・研究するための手法により、教育プログラムを実施しています。この教育プログラムは、全学共通科目、共通科目、専門科目の講義、演習、実験、実習で構成されています。 学部理念の核となる共通科目のシステム工学教育では、学生の主体的・能動的な学修を促すために、プロジェクトを通した演習と講義の組み合わせにより実践と経験を繰り返して学修していくカリキュラムを編成しています。 カリキュラムは、次の科目群で編成され、その学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことで学修・教育到達目標を達成します。 1．全学共通科目　建学の精神に則り教養を養う。 2．共通科目　システム理工学部生として共通に有すべき基礎力の育成 2―1　教職科目　教育職に関する専門的知識と技能、実践的指導力を修得し、豊かな人間性を養う。 2―2　総合科目　幅広い教養と他分野・異文化の理解力を修得 2―3　基礎科目　理工学人材の基盤となる数学、物理、化	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	システム理工学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、学問体系を横断し関連づけるシステム工学の手法と、専門的知識を深めるための学科専門教育を体系的に学修・研究するための手法により、教育プログラムを実施しています。この教育プログラムは、全学共通科目、共通科目、専門科目の講義、演習、実験、実習で構成されています。 学部理念の核となる共通科目のシステム工学教育では、学生の主体的・能動的な学修を促すために、プロジェクトを通した演習と講義の組み合わせにより実践と経験を繰り返して学修していくカリキュラムを編成しています。 カリキュラムは、次の科目群で編成され、その学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことで学修・教育到達目標を達成します。 1．全学共通科目　建学の精神に則り教養を養う。 2．共通科目　システム理工学部生として共通に有すべき基礎力の育成 2―1　教職科目　教育職に関する専門的知識と技能、実践的指導力を修得し、豊かな人間性を養う。 2―2　総合科目　幅広い教養と他分野・異文化の理解力を修得 2―3　基礎科目　理工学人材の基盤となる数学、物理、化

	学、生物学の修得 2—4　システム・情報科目　社会の問題解決に必要な情報リテラシーとシステム工学理論を　修め、グループワークによる解決力を養成 3. 専門科目　専門的知識を深める。 3—1　学科専門科目　学科特有の専門的知識を深める。 3—2　総合研究　各自が設定したテーマを解明、解決策を導く。		学、生物学の修得 2—4　システム・情報科目　社会の問題解決に必要な情報リテラシーとシステム工学理論を　修め、グループワークによる解決力を養成 3. 専門科目　専門的知識を深める。 3—1　学科専門科目　学科特有の専門的知識を深める。 3—2　総合研究　各自が設定したテーマを解明、解決策を導く。
入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)	システム理工学部は、分野横断教育を特徴としています。本学部への入学を志望する受験生は、以下に挙げる「求める人物像」及び本学部の教育方針、学科のカリキュラム、教育・研究の内容をよく理解して出願することが望まれます。 (システム理工学部が求める人物像) 1.　身の回りにあるさまざまな「もの」や「こと」の仕組みや成り立ちに関心を持ち、それについて深く考え、問題点を解明することに興味を持っている人。 2.　他学科の学生とチームを組んで課題に取り組むなど、システム理工学部における学科の枠を超えた演習科目に興味を持ち、主体的であり積極的に学修することに強い意欲を持っている人。 3.　システムを構成する要素のつながりを重視した付加価値のある「ものづくり」や「新たな枠組みづくり」に携わることを通じて社会に貢献する意志	入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)	システム理工学部は、分野横断教育を特徴としています。本学部への入学を志望する受験生は、以下に挙げる「求める人物像」及び本学部の教育方針、学科のカリキュラム、教育・研究の内容をよく理解して出願することが望まれます。 (システム理工学部が求める人物像) 1.　身の回りにあるさまざまな「もの」や「こと」の仕組みや成り立ちに関心を持ち、それについて深く考え、問題点を解明することに興味を持っている人。 2.　他学科の学生とチームを組んで課題に取り組むなど、システム理工学部における学科の枠を超えた演習科目に興味を持ち、主体的であり積極的に学修することに強い意欲を持っている人。 3.　システムを構成する要素のつながりを重視した付加価値のある「ものづくり」や「新たな枠組みづくり」に携わることを通じて社会に貢献する意志

	を持っている人。 上記に賛同し、本学部への入学を志望する人は、高等学校等において芝浦工業大学アドミッション・ポリシーに定める(1)～(3)の能力を身につけておくことが望まれます。

課程

養成する人材像
持続可能な社会の実現に貢献するために、科学技術が社会や自然に及ぼす利点と欠点を見据えて、ひと・もの・ことが関係する現象をシステムと捉え(システム思考)、総合的、学際的に問題解決できる知識やスキルを修得し、世界に貢献する職業人としての倫理観をもつグローバル理工系人材を養成する。
教育研究上の目的
地球規模で複雑化、多様化する現代社会において、諸問題を総合的、学際的に解決できる力が必要とされている。 システム理工学部は、複数の学問体系を横断し関連付けるシステム思考とシステム工学の知識と手法を生かし、新たな時代の要請に応え、地域と人類社会の発展に寄与する教育研究を行う。幅広い教養と国際性を礎にした分野横断型の教育を通して、体系的な理工学の知識や自ら行動し多様な人々と共創できる能力を身につけたグローバル理工系人材を養成することを目的とする。

三つの方針	
卒業の認定に関する方針	
教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)	システム理工学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、学問体系を横断し関連付けるシステム思考とシステム工学の知識、学修者の主軸となる専門知識と他分野を関連付ける分野横断型の知識、そして自ら行動し多様な人々と共創できる能力を修得します。カリキュラムは、「学際科目」、「基礎教養科目」、「専門科目」で構成し

	を持っている人。 上記に賛同し、本学部への入学を志望する人は、高等学校等において芝浦工業大学アドミッション・ポリシーに定める(1)～(3)の能力を身につけておくことが望まれます。

	ています。専門科目は、新たな価値を創生し、社会に貢献する職業人としてのキャリア形成に必要となるスキルに紐づけられます。スキルに紐づけられた科目のセット（モジュール）を組み合わせることで、主軸となる分野の専門知識と他分野を関連付け問題解決するための能力を修得することもできます。 　各科目の学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことで学修・教育到達目標を達成します １．学際科目 ・システム工学 　取り組むべき具体的な課題を設定し、目的達成に向けて、関連するひと・もの・ことの諸現象をシステムと捉え（システム思考）、総合的、学際的に解決策を導き出すためのシステムズアプローチの方法論と、プロジェクト活動によりチームで共同して活動できる能力を養成する。 ・SDGs・キャリアデザイン 　持続可能な社会の構成員としての職業人生を主体的・能動的にデザインし、実現に向けて行動するためのスキルを養成する。 ・アントレプレナーシップ 　社会の具体的な課題を解決するアイデアをかたちにし、社会実装に向けて行動できるスキルを養成する。 ２．基礎教養科目 ・理数・情報 　自然科学、情報技術等に関する基礎知識を養成する。 ・社会科学・人文科学・保健体育・英語 　英語、職業倫理 、幅広い視野と教養を養成する。 ３．専門科目 ・主軸となる分野の専門知識を修得		

	し、課題の解決に応用できる能力を養成する。 ・主軸となる分野の専門知識を他分野と関連付ける能力を養成する。 ・総合研究では、各自が設定したテーマについての問題を解明し、具体的な解決策を導く能力を修得し、総合的、学際的に問題解決できる能力を養成する。システム理工学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、学問体系を横断し関連づけるシステム工学の手法と、専門的知識を深めるための学科専門教育を体系的に学修・研究するための手法により、教育プログラムを実施しています。この教育プログラムは、全学共通科目、共通科目、専門科目の講義、演習、実験、実習で構成されています。学部理念の核となる共通科目のシステム工学教育では、学生の主体的・能動的な学修を促すために、プロジェクトを通した演習と講義の組み合わせにより実践と経験を繰り返して学修していくカリキュラムを編成しています。カリキュラムは、次の科目群で編成され、その学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことで学修・教育到達目標を達成します。
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本学部への入学を志望する者は、本学の建学の精神と以下に挙げる「求める人物像」及び教育方針、課程のカリキュラム、教育・研究の内容をよく理解して出願することを求めます。 (システム理工学部が求める人物像) 1. 身の回りのさまざまなひと・こと・ものの仕組みや成り立ちについて深く考え、課題を解決することに興味や関心を持つ者。 2. 総合的、学際的に課題を解決する

	ことで、新たな価値を創生し、社会に貢献する意志を持つ者。 3. 他分野の学生とチームを組んで課題に取り組む等、システム理工学部における分野の枠を超えたプロジェクト演習に興味を持ち、主体的かつ積極的に行動することに強い意欲を持つ者

学科

情報課程

養成する人材像
情報に関連する幅広い分野に対する基礎的知識と職業倫理を身につけた上で専門とする分野をもち、これらの技術に関する社会的ニーズに対して、システム思考に基づく創造的な発想から問題解決できる人材を養成する。
教育研究上の目的
「IoT技術」、「ソフトウェア技術」、「メディア技術」、「データサイエンス」のいずれかの分野に基盤を置き、幅広い裾野をもった基礎的専門知識と実践的専門知識・技術を修得させ、自ら問題を発見し、具体的な解決策を探るための「使える知識」をもった創意ある情報技術人材を養成する。研究においては、実践的な研究活動を通して、情報に関連するさまざまな問題を、システム思考に基づく創造的な発想からグローバルな視点で問題解決し、情報社会の発展に貢献することを目的とする。

機械・電気課程

養成する人材像
価値創造と社会の持続的発展を担う「ものづくり」を実現するために、多様な人々と協働する力と職業倫理を身につけ、未来の機械・電気システムに関する社会的ニーズに対して、システム思考に基づく創造的な発想から問題解決できる人材を養成する。
教育研究上の目的
機械・電気分野の基礎的専門知識と、機械、電気、電気・熱流体、モビリティ・ロ

学科名	人材の育成及び教育研究上の目的
電子情報システム学科	電子情報システム学科は、ソフトウェア、メディア・ネットワーク、及びハードウェア技術分野の専門的知識の習得と、問題を自ら発見し解決できるシステム志向のエンジニアを目指し、技術者としての倫理観をもち、多様性を尊重し、持続可能な社会の構築に貢献できる人材を養成することを的とする。
機械制御システム学科	機械制御システム学科では、機械システムを開発するための機械工学の基礎と多要素を組合せて有機的に制御するために必要な理論を身に付け、もの・人・環境を総合した新たな価値創造と社会の持続的発展を担う「ものづくり」「ことづくり」ができる人材の育成を目的とする。

ボティクス、デザイン領域の内の３つの領域の実践的専門知識・技術を修得させ、専門知識と分野横断型の知識を有機的に組み合わせ、機械・電気システムを研究開発できる技術者を養成する。研究においては、社会的ニーズに適切に対応した機械・電気システムに関連する実践的な研究活動を通して、高度情報社会の発展に貢献することを目的とする。	

建築・環境課程

養成する人材像	
建築・環境・都市分野を中心とする実践的専門知識・技術、および市民や企業との合意形成手法と職業倫理を身につけ、システム思考に基づく創造的な発想から国際社会や地域における諸問題を解決できる人材を養成する。	
教育研究上の目的	
建築・環境・都市分野を中心とする実践的専門知識・技術と、これらを横断的に関連付ける知識・手法を修得させ、多様なステークホルダーと協働し、持続可能な社会の形成に貢献できる人材を養成する。研究においては、国際社会や地域における諸問題の探究と多様化する社会的ニーズに対応した学際的な研究を通して、持続可能な社会の発展に貢献することを目的とする。	
環境システム学科	環境システム学科は、建築や都市、環境分野を中心とする専門的な知識と実践的な技術や、これらを横断的に関連づける手法、多様なステークホルダーと協働し、国際社会や地域における諸問題を解決できる能力を修得し、持続可能な社会の形成に貢献することができる人材を育成することを目的とする。
生命科学科	生命科学科は､生命科学に対する体系的な知識を身に付け､生命現象の科学的解明、健康の回復・増進や生活支援を実現する新しい技術の開発を通して､健康寿命の延伸と活気あふれる持続可能な社会の実現に貢献できる人材を養成することを目的とする。
生命科学科	生命科学科は、生命科学に対する体系的な知識を身に付け、生命現象の科学的解明、健康の回復・増進や生活支援を実現する新しい技術の開発を通して、健康寿命の延伸と活気あふれる持続可能な社会の実現に貢献できる人材を養成することを目的とする。

数理科学課程	
養成する人材像	
数理科学の専門知識と職業倫理を身につけ、理論に基づくシミュレーション技術等の応用力をもち、社会が要請する具体的な	
数理科学科	「数学に強く、幅広い応用分野に対応でき自ら考える学生を育てる」ことを教育の基本目標として、実社会で数理科学的手法を実践し、持続可能な社会の構築の基

問題を見据え、システム思考に基づく創造的な発想から科学・教育・産業の幅広い分野で諸問題を論理的に解決できる人材を養成する。	盤技術・理論の進展に貢献し得る人材を育成していく。

教育研究上の目的
数理科学は、数学はもとより数学と諸科学との学際領域の総称であり、持続可能な社会を支える科学技術の基礎である。数理科学コースは、純粋数学と応用数学を両輪とした数理科学の教育研究を行うとともに、数学および学際領域の専門知識をもつ人材を養成することによって、数理科学の発展に寄与し、社会に貢献することを目的とする。

3　デザイン工学部

人材の育成及び教育研究上の目的
デザイン工学部は、幅広い工学の素養をもち、コンセプトが明確になっていない段階からアイディアを生み出し、人間の感性及び社会との調和・融合を図りながら創造的なものづくりをすることによって、持続可能な社会の構築に貢献できる実践的な人材を育成することを目的とする。

三つの方針	
卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)	デザイン工学部は、社会が求める「あるべき姿(当為)を構築する設計科学技術」を身につけ、工学的知識と技術を基礎として、人間の感性および社会との調和・融合を図り、創造的ものづくり能力、すなわちものづくり全体を表現するための　1)認識力、2)構想力、3)計画力、4)意匠・設計力というデザイン能力を有し、卒業要件を満たしたものに学位を授与します。 【学修・教育到達目標】 A.　幅広い教養を身につけ、地球的視点から多面的に物事を考えることができる。 B.　技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者の社会に対する貢献と責任を理解し、

3　デザイン工学部

人材の育成及び教育研究上の目的

デザイン工学部は、幅広い工学の素養をもち、コンセプトが明確になっていない段階からアイディアを生み出し、人間の感性及び社会との調和・融合を図りながら創造的なものづくりをすることによって、持続可能な社会の構築に貢献できる実践的な人材を育成することを目的とする。

三つの方針

卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

デザイン工学部は、社会が求める「あるべき姿(当為)を構築する設計科学技術」を身につけ、工学的知識と技術を基礎として、人間の感性および社会との調和・融合を図り、創造的ものづくり能力、すなわちものづくり全体を表現するための　1)認識力、2)構想力、3)計画力、4)意匠・設計力というデザイン能力を有し、卒業要件を満たしたものに学位を授与します。

【学修・教育到達目標】

A.　幅広い教養を身につけ、地球的視点から多面的に物事を考えることができる。

B.　技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者の社会に対する貢献と責任を理解し、

	行動できる。 C.　数学、自然科学、および情報技術の基礎的な考え方を理解し、それらを応用することができる。 D.　種々の科学、技術及び情報を活用して、人間の感性や社会との調和・融合を図ったうえで、社会の要求を解決するためのデザインをすることができる。 D―1　社会的要請や利用者からの要望を認識・理解し、求められている姿・あるべき姿を見い出し、目標を設定するという全体を構想することができる。 D―2　目標に対して情報を収集・分析し課題設定を行い、計画を立案し、他者と協力して進め、結果をまとめることができる。 E.　専門分野の知識・技術を継続的・自主的に修得して、意匠・設計力を身に付け、それらを応用して課題を解決できる。 F.　論理的な記述、口頭発表、ならびに討議等のコミュニケーションができる。		行動できる。 C.　数学、自然科学、および情報技術の基礎的な考え方を理解し、それらを応用することができる。 D.　種々の科学、技術及び情報を活用して、人間の感性や社会との調和・融合を図ったうえで、社会の要求を解決するためのデザインをすることができる。 D―1　社会的要請や利用者からの要望を認識・理解し、求められている姿・あるべき姿を見い出し、目標を設定するという全体を構想することができる。 D―2　目標に対して情報を収集・分析し課題設定を行い、計画を立案し、他者と協力して進め、結果をまとめることができる。 E.　専門分野の知識・技術を継続的・自主的に修得して、意匠・設計力を身に付け、それらを応用して課題を解決できる。 F.　論理的な記述、口頭発表、ならびに討議等のコミュニケーションができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	デザイン工学部は、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、工学と人間の感性および社会との調和・融合を図り、創造的なものづくり能力を素養にもつ、実践的な人材を育成するため、次のように科目を編成しています。幅広い工学の素養や技術を身につけるため、共通教養科目とデータ・サイエンス科目を置きます。また、コンセプトが明確になっていない段階からアイディアを生み出し、リーダーシップをもって個々の要求を整理・統合化し、ものづくりができるようにな	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	デザイン工学部は、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、工学と人間の感性および社会との調和・融合を図り、創造的なものづくり能力を素養にもつ、実践的な人材を育成するため、次のように科目を編成しています。幅広い工学の素養や技術を身につけるため、共通教養科目とデータ・サイエンス科目を置きます。また、コンセプトが明確になっていない段階からアイディアを生み出し、リーダーシップをもって個々の要求を整理・統合化し、ものづくりができるようにな

	るためのデザイン科目とエンジニアリング科目を置きます。さらに知識を実践的に修得するためのプロジェクト科目を置きます。これらの科目を講義、演習、実験、実習により体系的に編成します。学生の主体的・能動的な学修・研究を促す教育方法を実施し、その学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことにより、教育目標を達成します。
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	デザイン工学部は、デザイン能力醸成教育を特徴としています。本学部への入学を志望する受験生は、以下に挙げる「求める人物像」及び本学部の教育方針、学科のカリキュラム、教育・研究の内容をよく理解して出願することが望まれます。 (デザイン工学部が求める人物像) 1．十分な基礎学力に加えて、21世紀における社会と産業が求める技術者をめざす人。 2．創造的な発想と、問題発見・解決能力、そして総合的な視野に立ち自律的に思考できる素養を持つ人。 3．多彩な才能と可能性を秘め、国際社会、産業、個人の生活・関心の変化に対して敏感に適応できる人。 上記に賛同し、本学部への入学を志望する人は、高等学校等において芝浦工業大学アドミッション・ポリシーに定める(1)～(3)の能力を身につけておくことが望まれます。

4　建築学部

人材の育成及び教育研究上の目的
建築学部は、これからの時代に建築を「いかにつくるか」だけでなく「何のためにつくるか」を重視します。そのために、自然科学や人文社会科学なども含んだ学際的視

	るためのデザイン科目とエンジニアリング科目を置きます。さらに知識を実践的に修得するためのプロジェクト科目を置きます。これらの科目を講義、演習、実験、実習により体系的に編成します。学生の主体的・能動的な学修・研究を促す教育方法を実施し、その学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことにより、教育目標を達成します。
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	デザイン工学部は、デザイン能力醸成教育を特徴としています。本学部への入学を志望する受験生は、以下に挙げる「求める人物像」及び本学部の教育方針、学科のカリキュラム、教育・研究の内容をよく理解して出願することが望まれます。 (デザイン工学部が求める人物像) 1．十分な基礎学力に加えて、21世紀における社会と産業が求める技術者をめざす人。 2．創造的な発想と、問題発見・解決能力、そして総合的な視野に立ち自律的に思考できる素養を持つ人。 3．多彩な才能と可能性を秘め、国際社会、産業、個人の生活・関心の変化に対して敏感に適応できる人。 上記に賛同し、本学部への入学を志望する人は、高等学校等において芝浦工業大学アドミッション・ポリシーに定める(1)～(3)の能力を身につけておくことが望まれます。

4　建築学部

人材の育成及び教育研究上の目的
建築学部は、これからの時代に建築を「いかにつくるか」だけでなく「何のためにつくるか」を重視します。そのために、自然科学や人文社会科学なども含んだ学際的視

点を持ち、持続可能な社会における豊かな建築や都市空間を創造する力を持った人材を育てます。また、多様な価値観が共存する21世紀の世界に適応できる、建築をベースにした特色ある人材を育てます。具体的には、卒業までに以下に挙げる能力を持った人材を養成します。 1　歴史的発展を踏まえてさまざまな側面を理解し、現代の建築の技術的・社会的問題点を理解することができる。 2　人々の生命や財産に深く関連する建築に、技術者や設計者としてたずさわるための倫理観を身に付ける。 3　普遍的法則である科学に関する基礎知識を身に付け、なおかつ建築設計や建築技術に関する幅広い専門知識を身に付ける。 4　それらの幅広い知識を統合、駆使し、建築や都市をめぐる現在的課題に対して自らの役割や責任を認識しつつ、解決に導くことができる 5　豊富なコミュニケーション能力を使って他者や他集団とのあいだに適切な社会関係を築くことができ、さらにそれを踏まえて21世紀のグローバル社会で活躍できる。	点を持ち、持続可能な社会における豊かな建築や都市空間を創造する力を持った人材を育てます。また、多様な価値観が共存する21世紀の世界に適応できる、建築をベースにした特色ある人材を育てます。具体的には、卒業までに以下に挙げる能力を持った人材を養成します。 1　歴史的発展を踏まえてさまざまな側面を理解し、現代の建築の技術的・社会的問題点を理解することができる。 2　人々の生命や財産に深く関連する建築に、技術者や設計者としてたずさわるための倫理観を身に付ける。 3　普遍的法則である科学に関する基礎知識を身に付け、なおかつ建築設計や建築技術に関する幅広い専門知識を身に付ける。 4　それらの幅広い知識を統合、駆使し、建築や都市をめぐる現在的課題に対して自らの役割や責任を認識しつつ、解決に導くことができる 5　豊富なコミュニケーション能力を使って他者や他集団とのあいだに適切な社会関係を築くことができ、さらにそれを踏まえて21世紀のグローバル社会で活躍できる。
三つの方針	三つの方針
卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)	建築学部は、自然科学や人文社会科学を含んだ学際的視点を持ち、豊かな建築・都市空間の創造により社会に貢献できる能力、また、多様な価値観が共存する21世紀の世界に適応できる能力を有し、卒業要件を満たしたものに学位を授与します。 (学修・教育到達目標) ①　歴史的発展を踏まえて建築を捉え、現代の建築を取り巻く技術的･社会的問題を理解できる。 ②　自然・社会・人間に深く関わる建築に、専門家としてたずさわるための高い倫理観を身につけている。
卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)	建築学部は、自然科学や人文社会科学を含んだ学際的視点を持ち、豊かな建築・都市空間の創造により社会に貢献できる能力、また、多様な価値観が共存する21世紀の世界に適応できる能力を有し、卒業要件を満たしたものに学位を授与します。 (学修・教育到達目標) ①　歴史的発展を踏まえて建築を捉え、現代の建築を取り巻く技術的･社会的問題を理解できる。 ②　自然・社会・人間に深く関わる建築に、専門家としてたずさわるための高い倫理観を身につけている。

	③　自然科学や人文社会科学に関する基礎知識と、建築設計や建築技術に関する幅広い専門知識を身につけている。 ④　世界と社会の多様性を認識し、高いコミュニケーション能力を持ち、21世紀のグローバル社会で活躍できる国際感覚とチームで仕事ができる能力を身につけている。 ⑤　豊富な教養と幅広い知識を統合・駆使し、建築や都市をめぐる現代的課題を解決できる。 ⑥　課題の発見・解決のために、建築に関わる広範な知識・技術を自ら進んで探求し、理解しようとする姿勢を身につけている。		③　自然科学や人文社会科学に関する基礎知識と、建築設計や建築技術に関する幅広い専門知識を身につけている。 ④　世界と社会の多様性を認識し、高いコミュニケーション能力を持ち、21世紀のグローバル社会で活躍できる国際感覚とチームで仕事ができる能力を身につけている。 ⑤　豊富な教養と幅広い知識を統合・駆使し、建築や都市をめぐる現代的課題を解決できる。 ⑥　課題の発見・解決のために、建築に関わる広範な知識・技術を自ら進んで探求し、理解しようとする姿勢を身につけている。
教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)	・建築学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、これからの時代に建築を「いかにつくるか」だけでなく「何のためにつくるか」を重視します。そのため、建築の専門科目に加えて多様な基礎・教養科目によってカリキュラムを構成し教育を行います。 ・専門科目が建築学の専門性を高めるための科目であるのに対し、基礎・教養科目は自然科学の一般法則の知識とその運用方法、基本的な外国語・コミュニケーション能力、社会・文化に関する教養などを身につけるための科目です。また、「建築デザイン」、「工学」、「幅広い教養」の融合を実現するため、専門性の高い科目と基礎・教養科目の横断的な学修を促し、各科目間の相乗効果を生むようカリキュラムを設計しています。これらの教育課程編成方針に基づき、以下の科目構成により授	教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)	・建築学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、これからの時代に建築を「いかにつくるか」だけでなく「何のためにつくるか」を重視します。そのため、建築の専門科目に加えて多様な基礎・教養科目によってカリキュラムを構成し教育を行います。 ・専門科目が建築学の専門性を高めるための科目であるのに対し、基礎・教養科目は自然科学の一般法則の知識とその運用方法、基本的な外国語・コミュニケーション能力、社会・文化に関する教養などを身につけるための科目です。また、「建築デザイン」、「工学」、「幅広い教養」の融合を実現するため、専門性の高い科目と基礎・教養科目の横断的な学修を促し、各科目間の相乗効果を生むようカリキュラムを設計しています。これらの教育課程編成方針に基づき、以下の科目構成により授

	業を実施します。 ① 専門科目では建築設計や建築技術に関する幅広い専門知識と倫理観を身につけることを狙いとした科目を配置しています。 ② 基礎・教養科目では、数学・理科・英語のほか、幅広い分野を持つ人文社会系科目を中心に構成し、年次を通じて履修可能とすることで専門教育との横断的融合を実現します。 ③ 講義科目で学んだ知識を演習・実習科目で実践することで理解を深めていくことを基本としますが、実社会や現場の体験から得られる視点やコミュニケーション能力も重視しています。そのため、国内外でのプロジェクト型実習科目も豊富に配置しています。 ・上記の各授業科目においては知識の伝達のみならず、学生同士や教員との双方向のやり取りを通じて専門知識の深化とコミュニケーション能力の向上を図ります。なお、建築学部では学生が無理のない学修計画を立てられるよう、年間に履修できる科目数に制限を設けています。 ・各授業科目に評価方法・評価基準を設定し、学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことにより、建築学部の学修・教育到達目標を達成します。		業を実施します。 ① 専門科目では建築設計や建築技術に関する幅広い専門知識と倫理観を身につけることを狙いとした科目を配置しています。 ② 基礎・教養科目では、数学・理科・英語のほか、幅広い分野を持つ人文社会系科目を中心に構成し、年次を通じて履修可能とすることで専門教育との横断的融合を実現します。 ③ 講義科目で学んだ知識を演習・実習科目で実践することで理解を深めていくことを基本としますが、実社会や現場の体験から得られる視点やコミュニケーション能力も重視しています。そのため、国内外でのプロジェクト型実習科目も豊富に配置しています。 ・上記の各授業科目においては知識の伝達のみならず、学生同士や教員との双方向のやり取りを通じて専門知識の深化とコミュニケーション能力の向上を図ります。なお、建築学部では学生が無理のない学修計画を立てられるよう、年間に履修できる科目数に制限を設けています。 ・各授業科目に評価方法・評価基準を設定し、学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことにより、建築学部の学修・教育到達目標を達成します。
入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリ	建築学部は、豊かな感性と技術力を身につけた高い志を持つ建築の専門家を養成します。本学部への入学を志望する受験生は、以下に挙げる 「求める人物像」及び本学部の教育方針、カリキュラム、教育・研究の内容をよく理解して出願する	入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリ	建築学部は、豊かな感性と技術力を身につけた高い志を持つ建築の専門家を養成します。本学部への入学を志望する受験生は、以下に挙げる 「求める人物像」及び本学部の教育方針、カリキュラム、教育・研究の内容をよく理解して出願する

シー)	ことが望まれます。 (建築学部が求める人物像) 1. 建築・都市におけるさまざまな課題に対して積極的な興味・関心を持つ人 2. 本学部での学修、研究を強く志望し、自らの意思と行動力を持って人々の暮らしを支え喜びをもたらす建築を生み出すことに、情熱を持つ人 3. 建築をベースに、社会や時代・環境の変化を見据え、多様な価値観を受け入れ、場所・地域・国を問わずに活躍することを志向する人上記に賛同し、本学部への入学を志望する人は、高等学校等において以下の能力を身につけていることが望まれます。 上記に賛同し、本学部への入学を志望する人は、高等学校等において、以下の能力を身につけていることが望まれます。 (1) 科学的な思考・判断をするための基礎学力(特に数学・物理・化学・英語) (2) 論理的な思考にもとづく、判断力、読解力、表現力 (3) 建築・都市を取り巻く社会や文化について、その歴史をふまえて理解するための基礎的知識 (4) 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度 (5) 独自の視点により空間や思考を表現する能力

別表３　工学部授業科目一覧(略)

シー)	ことが望まれます。 (建築学部が求める人物像) 1. 建築・都市におけるさまざまな課題に対して積極的な興味・関心を持つ人 2. 本学部での学修、研究を強く志望し、自らの意思と行動力を持って人々の暮らしを支え喜びをもたらす建築を生み出すことに、情熱を持つ人 3. 建築をベースに、社会や時代・環境の変化を見据え、多様な価値観を受け入れ、場所・地域・国を問わずに活躍することを志向する人上記に賛同し、本学部への入学を志望する人は、高等学校等において以下の能力を身につけていることが望まれます。 上記に賛同し、本学部への入学を志望する人は、高等学校等において、以下の能力を身につけていることが望まれます。 (1) 科学的な思考・判断をするための基礎学力(特に数学・物理・化学・英語) (2) 論理的な思考にもとづく、判断力、読解力、表現力 (3) 建築・都市を取り巻く社会や文化について、その歴史をふまえて理解するための基礎的知識 (4) 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度 (5) 独自の視点により空間や思考を表現する能力

別表３　工学部授業科目一覧(略)

別表4
授業科目
システム理工学部

別表4
授業科目
システム理工学部
【全学科共通】

授業科目		単位数			適要
		必修	選択	自由	
全学共通科目	ダイバーシティ入門		2		
	アントレプレナーシップ入門		2		
	アントレプレナーシップ応用		2		
	芝浦工業大学通論		2		
	消費者行動論		2		
	マーケティング概論		2		
	デジタルプレゼンテーション		2		
	Japanese Language Ⅰ			2	
	Japanese LanguageⅡ			2	
	Japanese LanguageⅢ			2	
	Japanese LanguageⅣ			2	

システム理工学部
【各学科共通】

授業科目			単位数			適要
			必修	選択	自由	
共通科目	教職科目	教職論		2		
		人間関係論		2		
		教育の方法及び技術		1		

				教育におけるICT活用		1		
				特別支援教育論		1		
				生徒・進路指導論		2		
			エンジニアリテラシー科目	社会ニーズ調査法		2		
				ソーシャル・イノベーション		2		
				文章論		2		
				科学技術史		2		
				科学技術と社会		2		
				SITBuddy			1	
				統計学基礎	1			□…教科及び教科の指導法に関する科目(情報)
				SDGs入門		2		
			社会科学系科目	行政学		2		
				政治学		2		
				社会福祉論		2		
				情報社会と法		2		
				日本国憲法		2		
				経済学Ⅰ		2		
				経済学Ⅱ		2		

					意思決定論		2			
					経営戦略論		2			
					マーケティング論		2			
					先端技術とビジネス		2			
					知的財産入門		2			
					社会学概論		2			
					教育社会学		2			
					SDGsとサステナビリティ		2			
					人間と自然環境		2			
					クリエイティブ産業論		2			
					サイバーセキュリティと社会		2			
				人文科学系科目	哲学Ⅰ		2			
					哲学Ⅱ		2			
					倫理学		2			
					生命倫理概論		2			
					技術者と倫理		2			
					世界史A		2			
					世界史B		2			
					国際デザイン		2			

					史				
					認知心理学		2		
					組織心理学		2		
					教育心理学		2		
					教育の近現代史		2		
					教育原論		2		
					教育課程論		2		
					教育相談論		2		

システム理工学部

【各学科共通】

授業科目					単位数			適要
					必修	選択	自由	
共通科目	総合科目	英語科目	保健体育系科目	体育実技(フライング・ディスク)		1		
				体育実技(テニス)		1		
				体育実技(卓球)		1		
				体育実技(バドミントン)		1		
				体育実技(ソフトボール)		1		
				体育実技(バレーボール)		1		
				体育実技(バスケットボール)		1		
				体育実技(ゴルフ		1		

						Ⅰ)		1			
						体育実技(ゴルフⅡ)		1			
						体育実技(スキー)		1			
						体育実技(フットサル)		1			
						体育実技(軟式野球)		2			
						からだの仕組みと運動		2			
						身体運動のメカニズム		2			
						健康科学論A		2			
						健康科学論B		2			
					外国語科目(英語以外)	ドイツ語Ⅰ		2			
						ドイツ語Ⅱ		2			
						中国語Ⅰ		2			
						中国語Ⅱ		2			
						韓国語(朝鮮語) Ⅰ		2			
						韓国語(朝鮮語) Ⅱ		2			
						フランス語 Ⅰ		2			
						フランス語 Ⅱ		2			
						スペイン語 Ⅰ		2			
						スペイン語 Ⅱ		2			
					英外	English		2			

				語科目	国語科目（英語）	Basic Skills I						
						English Basic Skills Ⅱ	2					
						English Advanced Skills I	2					
						English Advanced Skills Ⅱ	2					
						English Remedial Course I		2				
						English Remedial Course Ⅱ		2				
						Basic English for Science and Technology I	2					
						Basic English for Science and Technology Ⅱ	2					
						Advanced English for Science and Technology I	2					
						Advanced English for Science and Technology Ⅱ	2					
						理工系英語プレゼ	2					

				ンテーション					
				語学検定対策講座		2			
				海外英語研修　Ⅰ		2			
				海外英語研修　Ⅱ		2			
				学外英語検定　Ⅰ		2			
				学外英語検定　Ⅱ		2			
				海外短期英語研修Ⅰ		1			
				海外短期英語研修Ⅱ		1			

別表4

授業科目

システム理工学部

【全学科共通】

授業科目		単位数			適要
		必修	選択	自由	
全学共通科目	ダイバーシティ入門		2		
	アントレプレナーシップ入門		2		
	アントレプレナーシップ応用		2		
	芝浦工業大学通論		2		
	消費者行動論		2		
	マーケティング概論		2		
	デジタルプレゼンテーション		2		
	Japanese Language Ⅰ			2	
	Japanese Language Ⅱ			2	
	Japanese LanguageⅢ			2	
	Japanese LanguageⅣ			2	

システム理工学部

【各学科共通】

授業科目					単位数			適要
					必修	選択	自由	
共通科目	教職科目			教職論		2		
				人間関係論		2		
				教育の方法及び技術		1		
				教育におけるICT活用		1		
				特別支援教育論		1		
				生徒・進路指導論		2		
	総合科目	英語科目以外	エンジニアリテラシー科目	社会ニーズ調査法		2		
				ソーシャル・イノベーション		2		
				文章論		2		
				科学技術史		2		□…教科及び教科の指導法に関する科目(情報)
				科学技術と社会		2		
				SITBuddy			1	
				統計学基礎	1			
				SDGs入門		2		
			社会科学系科目	行政学		2		
				政治学		2		
				社会福祉論		2		
				□ 情報社会と法		2		
				日本国憲法		2		
				経済学Ⅰ		2		
				経済学Ⅱ		2		
				意思決定論		2		
				経営戦略論		2		
				マーケティング論		2		
				先端技術とビジネス		2		
				□ 知的財産入門		2		
				社会学概論		2		
				教育社会学		2		
				SDGsとサステナビリティ		2		
				人間と自然環境		2		
				□ クリエイティブ産業論		2		
				□ サイバーセキュリティと社会		2		
			人文科学系科目	哲学Ⅰ		2		
				哲学Ⅱ		2		
				倫理学		2		
				生命倫理概論		2		
				□ 技術者と倫理		2		
				世界史A		2		
				世界史B		2		
				国際デザイン史		2		
				認知心理学		2		
				組織心理学		2		

				教育心理学		2		
				教育の近現代史		2		
				教育原論		2		
				教育課程論		2		
				教育相談論		2		

システム理工学部

【各学科共通】

授業科目					単位数			適要
					必修	選択	自由	
共通科目	総合科目	英語科目以外	保健・体育系科目	体育実技(フライングディスク)		1		
				体育実技(テニス)		1		
				体育実技(卓球)		1		
				体育実技(バドミントン)		1		
				体育実技(ソフトボール)		1		
				体育実技(バレーボール)		1		
				体育実技(バスケットボール)		1		
				体育実技(ゴルフⅠ)		1		
				体育実技(ゴルフⅡ)		1		
				体育実技(スキー)		1		
				体育実技(フットサル)		1		
				体育実技(軟式野球)		1		
				からだの仕組みと運動		2		
				身体運動のメカニズム		2		
				健康科学論A		2		
				健康科学論B		2		
			外国語科目(英語以外)	ドイツ語　Ⅰ		2		
				ドイツ語　Ⅱ		2		
				中国語　Ⅰ		2		
				中国語　Ⅱ		2		
				韓国語(朝鮮語)　Ⅰ		2		
				韓国語(朝鮮語)　Ⅱ		2		
				フランス語　Ⅰ		2		
				フランス語　Ⅱ		2		
				スペイン語　Ⅰ		2		
				スペイン語　Ⅱ		2		
		英語科目	外国語科目(英語)	English Basic Skills Ⅰ		2		
				English Basic Skills Ⅱ		2		
				English Advanced Skills Ⅰ		2		
				English Advanced Skills Ⅱ		2		
				English Remedial Course Ⅰ			2	
				English Remedial Course Ⅱ			2	
				Basic English for Science and Technology Ⅰ		2		
				Basic English for Science and Technology Ⅱ		2		
				Advanced English for Science and Technology Ⅰ		2		
				Advanced English for Science and Technology Ⅱ		2		
				理工系英語プレゼンテーション		2		
				語学検定対策講座		2		
				海外英語研修　Ⅰ		2		
				海外英語研修　Ⅱ		2		
				学外英語検定　Ⅰ		2		
				学外英語検定　Ⅱ		2		
				海外短期英語研修　Ⅰ		1		
				海外短期英語研修　Ⅱ		1		

システム理工学部

【電子情報システム学科】

授業科目			単位数			適要
			必修	選択	自由	
		微分積分Ⅰ	2			
		微分積分Ⅱ		2		

基礎科目		線形代数Ⅰ	2			
		線形代数Ⅱ		2		
		微分方程式	2			
		ベクトル解析	2			
		力学Ⅰ	2			
		力学Ⅱ		2		
		波動・熱力学		2		
		電磁気学		2		
		生物学Ⅰ		2		
		生物学Ⅱ		2		
		化学Ⅰ		2		
		化学Ⅱ		2		
		現代物理学概論		2		
システム・情報科目	□	情報処理Ⅰ	2			□…教科及び教科の指導法に関する科目(情報)
	□	情報処理Ⅱ	2			
	□	情報処理演習Ⅰ	1			
	□	情報処理演習Ⅱ	1			
	□	システム工学A(システム計画方法論)	2			
		システム工学B(数理計画法)	2			
	□	システム工学C(データサイエンス)		2		
	□	システム工学演習A	1			
		システム工学演習B	1			
	□	システム工学演習C		2		
		創る		2		
		信頼性工学		2		
		人間工学		2		
		システム理工学入門		2		
		データサイエンス(応用)		2		
		AI基礎		1		
		データサイエンスリテラシー		1		
		Advanced Systems Science and Engineering		2		
		システム科学		2		

授業科目			単位数			適要
			必修	選択	自由	
		Introduction to Embedded Programming(International Training)		2		□…教科及び教科の指導法に関する科目(情報)
	□	離散数学	2			
	□	データ構造とアルゴリズムⅠ	2			
	□	データ構造とアルゴリズムⅡ		2		
	□	プログラミング演習Ⅰ		1		
	□	オブジェクト指向プログラミングⅠ		2		
	□	オブジェクト指向プログラミングⅡ		2		
	□	プログラミング演習Ⅱ		1		
	□	Embedded Systems		2		
	□	データベース		2		
		Embedded Control Systems(International Training)		2		
	□	ソフトウェア設計論		2		
	□	オペレーティングシステム		2		
	□	言語処理系		2		
	□	人工知能基礎		2		

専門科目	□	Computer Simulation		2			
	□	自然言語処理		2			
	□	パターン認識		2			
	□	Programming Language Processor		2			
	□	メディア処理基礎		2			
	□	情報通信基礎	2				
	□	通信網工学		2			
		計測工学		2			
	□	情報理論	2				
	□	コミュニケーションシステム		2			
	□	ネットワークアプリケーション		2			
		電子計測		2			
		VR／AR		2			
		信号解析		2			
	□	画像情報処理		2			
	□	グラフ理論とネットワーク		2			
		ディジタル信号処理		2			
		宇宙観測技術		2			
	□	符号理論		2			
	□	ICT Systems Design		2			
	□	ハードウェア基礎		2			
		電気回路	2				
		電気回路演習	1				
		電気磁気学Ⅰ		2			
		電気磁気学Ⅱ		2			
	□	論理回路		2			
		電子回路Ⅰ		2			
		電子回路Ⅱ		2			
		回路理論		2			
		システム制御		2			
	□	LSI設計基礎		2			
		半導体工学		2			
		電子デバイス		2			
	□	LSI設計		2			
	□	電子情報基礎実験		2			
	○	Introduction to Control Engineering		2			
	□	電子情報システム総論	2				
	□	情報実験Ⅰ		2			
	□	情報実験Ⅱ		2			
	□	電子情報実験Ⅰ		2			
	□	電子情報実験Ⅱ		2			
		テクニカルセミナー		1			
		Global PBL		2			
		国際電子情報システム実験Ⅰ		2			
		国際電子情報システム実験Ⅱ		2			
	□	Recent Trends on Electronic Systems		2			
	□	Recent Trends on Information Systems		2			
	□	マイクロプロセッサ		2			
	□	情報セキュリティ		2			
	○	Basic Control Engineering		2			
		総合研究Ⅰ	4				
		総合研究Ⅱ	4				
	□	情報科指導法1		2			
	□	情報科指導法2		2			

【情報課程】

科目区分		授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	適要
	SDGs・キャリアデザイン	SDGs入門	2			☆…教科及び教科
		未来を創る1	2			
		未来を創る2	1			
		ダイバーシティ入門		2		

学際科目	キャリアデザイン	インターンシップ		2		科の指導法□…教科及び教科の指導法に関
		芝浦工業大学通論		2		
	アントレプレナーシップ	アントレプレナーシップA(価値創造)	2			
		アントレプレナーシップB(事業創出)		2		
		経営工学		2		
		産学官金連携PBL		2		
		会計簿記		2		
	システム工学	システム工学A(システム計画方法論)	3			△…教科及び教科の指導法に関する科目(工業)
		システム工学B(数理計画法)	3			
		プロジェクトマネジメント		2		
		Advanced Systems Science and Engineering1		2		
		Advanced Systems Science and Engineering2		2		
		信頼性工学		2		
		人間工学		2		
		サイバーセキュリティと社会		2		
基礎教養科目	理数・情報	微分積分1	2			○…教科及び教科の指導法に関する科目(数学)
		微分積分2		2		
		線形代数1	2			
		線形代数2		2		
		力学1		2		
		力学2		2		
		波動・熱力学		2		
		電磁気学		2		
		生物学		2		
		化学		2		
		現代物理学概論		2		
		情報基礎	3			
		AI基礎	1			
		統計学基礎	1			
		データサイエンスリテラシー	1			
	社会科学	科学技術史		2		
		科学技術と社会		2		
		行政学		2		
		政治学		2		
		社会福祉論		2		
		情報社会と法		2		
		日本国憲法		2		
		社会学概論		2		
		人間と自然環境		2		
		教育社会学		2		
	人文科学	哲学1		2		
		哲学2		2		
		倫理学		2		
		生命倫理概論		2		
		技術者と倫理		2		
		世界史A		2		
		世界史B		2		
		国際デザイン史		2		
		認知心理学		2		
		組織心理学		2		
		教育の近現代史		2		
		教育原論		2		
		人間関係論		2		
		体育実技1		1		
		体育実技2		1		

基礎教養科目	保健体育	からだの仕組みと運動		2		
		身体運動のメカニズム		2		
		健康科学論A		2		
		健康科学論B		2		
	英語	English Basic Skills1		2		
		English Basic Skills2		2		
		English Advanced Skills1		2		
		English Advanced Skills2		2		
		English Remedial Course1			2	
		English Remedial Course2			2	
		Basic English for Science and Technology1		2		
		Basic English for Science and Technology2		2		
		Advanced English for Science and Technology1		2		
		Advanced English for Science and Technology2		2		
		理工系英語プレゼンテーション		2		
		海外英語研修1		2		
		海外英語研修2		2		
		海外短期英語研修1		1		
		海外短期英語研修2		1		
		学外英語検定1		2		
		学外英語検定2		2		
教職課程		事前・事後指導			1	
		教育実習1			2	
		教育実習2			2	
		教職実践演習(中・高)			2	
		教職インターンシップ1			1	
		教職インターンシップ2			1	
		□ Cプログラミング(情報)		3		
		Global Project-based Learning		2		
		ICT Systems Design		2		
		Introduction to Embedded Programming		2		
		□ IoT基礎		2		
		□ IoT設計論		2		
		□ IoTプロジェクト		3		
		LSI設計		3		
		MATALBプログラミング		2		
		□ プログラミング入門		1		
		□ Python入門		1		
		Recent Trends on IoT		2		
		Recent Trends on Media Technology		2		
		Recent Trends on Software Engineering		2		
		□ VR/AR1		2		
		□ VR/AR2		2		
		宇宙観測技術		2		
		□ エージェントシミュレーション		3		
		エレクトロニクスプロジェクト		2		
		□ エンタテインメントコンピューティング		2		

			マーケティング論		2			
		□	オブジェクト指向言語		2			
			オペレーティングシステム		2			
			音声音響情報処理		2			
		□	画像情報処理		2			
			環境・都市基礎		2			
			環境ビジネス		3			
			脱炭素と地域創発		2			
			機械学習		2			
		□	機械学習プロジェクト		2			
		□	機械学習データサイエンス演習		1			
		□	組込みシステム		2			
			クラウドコンピューティング		2			
		□	クリエイティブ産業論		2			
			計測工学		2			
		□	シミュレーション＆ゲーミング		2			
		□	ゲーミング入門		1			
		□	ゲームプログラミング		2			
		□	現代的ソフトウェア構築技法		2			
			交通システム計画		2			
		□	コミュニケーションシステム		2			
			コンピュータアーキテクチャ		2			
		□	コンピュータグラフィックス		2			
			Computer Simulation		2			
		□	サイバーセキュリティ		2			
		□	資源・エネルギーシステム論		3			
			システム科学		2			
			システム制御		2			
			Basic Control Engineering		2			
			自然言語処理		2			
		□	データ解析		2			
		□	社会シミュレーション入門		1			
			社会システム入門		1			
		□	データサイエンス入門		1			
			社会システム実践演習		3			
		□	情報処理入門		2			
	主専攻	□	情報セキュリティ		2			
		□	インターネットプロトコル		2			
		□	情報ネットワークプロジェクト		2			
		□	情報理論		2			
		□	情報倫理	1				
			信号解析		2			
		□	人工知能基礎		2			
		□	人工知能データサイエンス演習		1			
		□	深層学習		2			
		□	深層学習データサイエンス演習		1			
			センサとアクチュエータ		2			
		□	ソフトウェア開発管理		2			
		□	ソフトウェア開発プロジェクト		2			
		□	ソフトウェア設計論		2			
			多変量解析		2			
			ディジタル信号処理		2			
		□	データ構造とアルゴリズム		3			
		□	データサイエンス応用		3			

専門科目		□	データサイエンス実践1		3		
		□	データサイエンス実践2		3		
		□	データサイエンス実践3		3		
		□	データサイエンス実践4		3		
		□	データベース		2		
			電気回路		2		
			電気回路演習		1		
			電子回路		3		
			都市計画基礎		2		
			ビジネスエコノミクス		2		
		□	ネットワークアプリケーション		2		
		□	ネットワークプログラミング		2		
			ハードウェア基礎		2		
		□	ヒューマンコンピュータインタラクション		2		
		□	符号理論		2		
			フロントエンドとインタフェース基礎		2		
		□	数値解析		2		
		□	数理シミュレーション		3		
			消費者行動論		2		
			保健医療福祉政策概論		2		
			メディアコンテンツビジネス		2		
		□	メディア処理基礎		2		
			メディアデザイン1		2		
			メディアデザイン2		2		
			メディア処理1		2		
			メディア処理2		2		
		□	メディア認知心理・人間工学		2		
			メディア表現応用		2		
		□	メディア表現基礎		2		
		□	モバイルプログラミング		2		
		□	離散数学		2		
			環境政策		2		
			金融・経済リテラシー		2		
			社会調査法		2		
			情報経営論		2		
			都市・地域システム計画		2		
		□	情報科指導法1		2		
		□	情報科指導法2		2		
			教育の方法及び技術		1		
			教育におけるICT活用		1		
			Cross-cultural Student Support		1		
			教職論		2		
			特別活動の指導法		1		
			総合的な学習の時間の指導法		1		
			道徳の理論及び指導法		2		
			生徒・進路指導論		2		
			教育課程論		2		
			教育相談論		2		
			教育心理学		2		
			特別支援教育論		1		
			機械・電気システムセミナー		2		
			機構学		2		
			電気機器システム		2		
			材料・加工学		2		

		Introduction to Industrial Design		2			
		ものづくり工学		2			
		制御工学		2			
		機械計測工学		2			
		自動車工学		2			
		建築史		2			
		建築基礎演習		2			
		建築構造基礎		2			
		建築計画基礎		2			
		建築環境設備基礎		2			
		建築設計情報演習		2			
		建設プロジェクトマネジメント		2			
		建築材料		2			
		建築生産・施工		2			
		建築環境工学		2			
		建築構造設計		3			
		建築構造力学1		2			
		建築構造力学2		2			
		環境・都市基礎演習		1			
		SDGsと環境		2			
		都市計画演習		1			
		都市環境デザイン		2			
		都市及び都市計画史		2			
		Global Governance and Sustainable Strategy		2			
	副専攻	土地利用計画		3			
		景観・ランドスケープデザイン		2			
		生命科学概論		2			
		神経生理学		2			
		分子生物学		2			
		有機化学		2			
		食品栄養学		2			
		微生物学		2			
		発生生物学		2			
		分析化学		2			
		生物物理学		2			
		バイオイメージング		2			
		医工学概論		1			
		機械力学		2			
		バイオマテリアル		2			
		バイオレオロジー		2			
		バイオメカニクス		2			
		メカトロニクス		2			
		バイオエレクトロニクス		2			
		バイオメカニカルエンジニアリング		2			
		スポーツ工学概論		2			
		スポーツ工学研究法		2			
		生体計測学		2			
		電気電子回路		2			
		スポーツ信号処理		2			
		映像メディア解析		2			
		応用バイオメカニクス		2			
		脳機能計測学		2			
		健康長寿学		2			
		論理と集合		2			
		解析基礎		2			
		代数学1		2			

		幾何学1		2		
		ベクトル解析		2		
		複素解析		2		
		数値解析1		2		
		数理計画法		2		
		現象の数理		2		
		数理科学概論		2		
		金融工学		2		
		保険数学		2		
	総合研究	総合研究1	2			
		総合研究2	2			
		総合研究3	4			
		総合研究4	4			

システム理工学部

【機械制御システム学科】

授業科目			単位数			適要
			必修	選択	自由	
基礎科目		微分積分Ⅰ	2			△…教科及び教科の指導法に関する科目(工業)
		微分積分Ⅱ	2			
		線形代数Ⅰ	2			
		線形代数Ⅱ		2		
		微分方程式	2			
		ベクトル解析		2		
	△	力学Ⅰ	2			
	△	力学Ⅱ		2		
	△	波動・熱力学	2			
	△	電磁気学		2		
	△	生物学Ⅰ		2		
	△	生物学Ⅱ		2		
		化学Ⅰ		2		
		化学Ⅱ		2		
		現代物理学概論		2		
システム・情報科目	△	情報処理Ⅰ(データサイエンス)	2			△…教科及び教科の指導法に関する科目(工業)
	△	情報処理Ⅱ	2			
	△	情報処理演習Ⅰ(データサイエンス)	1			
	△	情報処理演習Ⅱ	1			
	△	システム工学A(システム計画方法論)	2			
	△	システム工学B(数理計画法)	2			
		システム工学C(データサイエンス)		2		
	△	システム工学演習A	1			
	△	システム工学演習B	1			
		システム工学演習C		2		
		創る		2		
	△	信頼性工学		2		
		人間工学		2		
	△	システム理工学入門		2		
		データサイエンス(応用)		2		
		AI基礎		1		
		データサイエンスリテラシー		1		
		Advanced Systems Science and Engineering		2		
		システム科学		2		

システム理工学部

【機械制御システム学科】

授業科目			単位数			適要
			必修	選択	自由	
	△	機械力学	2			△…教科及び教科の指導法に関する科目(工業)
		振動工学	2			
	△	材料力学	2			
	△	応用材料力学		2		
	△	流れ学	2			
	△	熱力学	2			
	△	機械工学実験Ⅰ		2		
	△	機械工学実験Ⅱ		2		
	△	数値流体力学概論		2		
	△	機械システム基礎数学	2			
	△	計測工学		2		
	△	基礎エレクトロニクス		2		
		Introduction to Control Engineering		2		
	△	制御工学	2			

		Basic Control Engineering		2		
	△	線形システム基礎論		2		
	△	機構学	2			
	△	機械材料		2		
	△	加工工学		2		
	△	基礎製図	2			
	△	設計製図	2			
	△	応用設計		2		
	△	応用設計演習		1		
	△	機械工学実習	2			
専門科目		Introduction to Embedded Programming(International Training)		2		
	△	メカトロニクス		2		
	△	自動車工学		2		
	△	ロボティクス		2		
		Introduction of Bioengineering		2		
		Assistive Technology		2		
		Biomedical Measurements		2		
		Embedded Control Systems(International Training)		2		
		Introduction to Industrial Design		2		
	△	デザインエルゴノミクス		2		
	△	工業デザイン演習		2		
	△	創生設計		2		
	△	創生設計演習		1		
	△	伝熱工学		2		
		工業科指導法1		2		
		工業科指導法2		2		
	△	ものづくり工学		2		
		エンジニアリング・プラクティスⅠ		1		
		エンジニアリング・プラクティスⅡ		2		
	△	機械システムセミナー		2		
		総合研究Ⅰ	4			
		総合研究Ⅱ	4			

システム理工学部

【環境システム学科】

授業科目			単位数			適要
			必修	選択	自由	
基礎科目		微分積分Ⅰ	2			
		微分積分Ⅱ		2		
		線形代数Ⅰ	2			
		線形代数Ⅱ		2		
		微分方程式	2			
		ベクトル解析		2		
		力学Ⅰ		2		
		力学Ⅱ		2		
		波動・熱力学		2		
		電磁気学		2		
		生物学Ⅰ		2		
		生物学Ⅱ		2		
		化学Ⅰ		2		
		化学Ⅱ		2		
		現代物理学概論		2		
		情報処理Ⅰ(データサイエンス)	2			
		情報処理Ⅱ	2			
		情報処理演習Ⅰ(データサイエンス)	1			
		情報処理演習Ⅱ	1			
		システム工学A(システム計画方法論)	2			

システム・情報科目		システム工学B(数理計画法)	2			
		システム工学C(データサイエンス)		2		
		システム工学演習A	1			
		システム工学演習B	1			
		システム工学演習C		2		
		創る		2		
		信頼性工学		2		
		人間工学		2		
		システム理工学入門		2		
		データサイエンス(応用)		2		
		AI基礎		1		
		データサイエンスリテラシー		1		
		Advanced Systems Science and Engineering		2		
		システム科学		2		

【機械・電気課程】

科目区分		授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	適要
学際科目	SDGs・キャリアデザイン	◇ △ SDGs入門	2			☆…教科及び教科の指導に関する科目(理科)
		△ 未来を創る1	2			
		△ 未来を創る2	1			
		ダイバーシティ入門		2		
		インターンシップ		2		
		芝浦工業大学通論		2		
	アントレプレナーシップ	△ アントレプレナーシップA(価値創造)	2			□…教科及び教科の指導に関する科目(情報)
		△ アントレプレナーシップB(事業創出)		2		
		△ 経営工学		2		
		産学官金連携PBL		2		
		会計簿記		2		
	システム工学	△ システム工学A(システム計画方法論)	3			△…教科及び教科の指導に関する科目(工業)
		△ システム工学B(数理計画法)	3			
		プロジェクトマネジメント		2		
		Advanced Systems Science and Engineering1		2		
		Advanced Systems Science and		2		
		信頼性工学		2		
		人間工学		2		
		◇ △ サイバーセキュリティと社会		2		
	理数・情報	微分積分1	2			○…教科及び教科の指導に関する科目(数学)
		微分積分2	2			
		線形代数1	2			
		線形代数2	2			
		力学1	2			
		力学2		2		
		波動・熱力学	2			
		電磁気学		2		
		生物学		2		
		化学		2		
		現代物理学概論		2		
		◇ △ 情報基礎	3			
		◇ △ AI基礎	1			
		◇ △ 統計学基礎	1			
		◇ △ データサイエンスリテ	1			
		科学技術史		2		
		科学技術と社会		2		

基礎教養科目	社会科学	行政学		2		
		政治学		2		
		社会福祉論		2		
		情報社会と法		2		
		日本国憲法		2		
		社会学概論		2		
		人間と自然環境		2		
		教育社会学		2		
	人文科学	哲学1		2		
		哲学2		2		
		倫理学		2		
		生命倫理概論		2		
		技術者と倫理		2		
		世界史A		2		
		世界史B		2		
		◇ △ 国際デザイン史		2		
		認知心理学		2		
		組織心理学		2		
		教育の近現代史		2		
		教育原論		2		
		人間関係論		2		
	保健体育	体育実技1		1		
		体育実技2		1		
		からだの仕組みと運動		2		
		身体運動のメカニズム		2		
		健康科学論Ａ		2		
		健康科学論Ｂ		2		
	英語	English Basic Skills1		2		
		English Basic Skills2		2		
		English Advanced Skills1		2		
		English Advanced Skills2		2		
		English Remedial Course1			2	
		English Remedial Course2			2	
		Basic English for Science and Technology1		2		
		Basic English for Science and Technology2		2		
		Advanced English for Science and Technology1		2		
		Advanced English for Science and Technology2		2		
		理工系英語プレゼンテーション		2		
		海外英語研修1		2		
		海外英語研修2		2		
		海外短期英語研修1		1		
		海外短期英語研修2		1		
		学外英語検定1		2		
		学外英語検定2		2		
教職課程		事前・事後指導			1	
		教育実習1			2	
		教育実習2			2	
		教職実践演習(中・高)			2	
		教職インターンシップ1			1	
		教職インターンシップ2			1	
		Basic Control Engineering		2		
		◇ △ 制御工学		2		
		Introduction to Control Engineering		2		
		◇ △ 生体計測学		2		
		◇ △ Cプログラミング(機械・電気)	3			

		◇ △ 医工学概論		1			
		Introduction to Biomedical-Engineering		1			
		Introduction to Embedded Programming		2			
		Introduction to Industrial Design		2			
		◇ △ デザインエルゴノミクス		2			
		ディジタル信号処理		2			
		◇ △ メカトロニクス		2			
		◇ △ ものづくり工学		2			
		◇ △ ロボット工学演習		1			
		◇ △ ロボティクス		2			
		◇ △ 応用材料力学		2			
		◇ △ 応用設計		3			
		◇ △ 回路とシステム		2			
		◇ △ 機械・電気システムセミナー		2			
		機械・電気基礎数学	2				
		◇ △ 機械・電気工学実験		3			
		◇ △ ものづくり工学実習	2				
		◇ △ 機械基礎製図		2			
		◇ △ 機械計測工学		2			
		◇ △ 機械力学	2				
		◇ △ 機構学		2			
		◇ △ 計測工学		2			
		◇ △ 工業デザイン演習		2			
	主専攻	材料・加工学		2			
		◇ △ 材料力学		2			
		◇ △ 自動車工学		2			
		◇ △ 振動工学		2			
		数値流体力学概論		2			
		◇ △ 設計製図		2			
		◇ △ 線形システム制御		2			
		◇ △ 創生設計		3			
		◇ △ 伝熱工学		2			
		◇ △ 電気・熱流体機器演習		3			
		◇ △ 電気電子回路		2			
		◇ △ 電気機器システム		2			
		◇ △ 熱力学		2			
		微分方程式	2				
		◇ △ 流れ学		2			
		◇ △ フロントエンドとインタフェース基礎		2			
		◇ △ センサとアクチュエータ		2			
		エンジニアリング・プラクティス1		1			
		エンジニアリング・プラクティス2		2			
		◇ 技術科指導法１		2			
		◇ 技術科指導法2		2			
		◇ 技術科指導法３		2			
		◇ 技術科指導法４		2			
		△ 工業科指導法１		2			
		△ 工業科指導法2		2			
		△ 職業指導		2			
		◇ △ 工学基礎概論		1			
		◇ △ 栽培学		2			
		教育におけるICT活用		1			
		教育の方法及び技術		1			
		Cross-cultural Student Support		1			
		教職論		2			
		特別活動の指導法		1			
		総合的な学習の時間の指導法		1			
		道徳の理論及び指導法		2			
		生徒・進路指導論		2			
		教育課程論		2			
		教育相談論		2			
		教育心理学		2			
		特別支援教育論		1			
		IoT基礎		2			

専門科目		IoT設計論	2			
		電気回路	2			
		数値解析	2			
		電子回路	3			
		プログラミング入門	1			
		Python入門	1			
		Cプログラミング(情報)		3		
		データ構造とアルゴリズム	3			
		オブジェクト指向言語	2			
		モバイルプログラミング	2			
		ネットワークプログラミング	2			
		Computer Simulation	2			
		ソフトウェア設計論	2			
		ソフトウェア開発管理	2			
		現代的ソフトウェア構築技法	2			
		ゲームプログラミング	2			
		データベース	2			
		情報セキュリティ	2			
		インターネットプロトコル	2			
		情報理論	2			
		符号理論	2			
		ネットワークアプリケーション	2			
		ICT Systems Design	2			
		クラウドコンピューティング	2			
		メディア処理基礎	2			
		メディア処理1	2			
		メディア処理2	2			
		音声音響情報処理	2			
		自然言語処理	2			
		画像情報処理	2			
		コンピュータグラフィックス	2			
		VR/AR1	2			
		VR/AR2	2			
		ヒューマンコンピュータインタラクション	2			
		サイバーセキュリティ	2			
		エンタテインメントコンピューティング	2			
		メディアデザイン1	2			
		メディアデザイン2	2			
		メディア認知心理・人間工学	2			
		メディア表現基礎	2			
		メディア表現応用	2			
		メディアコンテンツビジネス	2			
		社会システム入門	1			
		システム科学	2			
		社会システム実践演習	3			
		データサイエンス応用	3			
		数理シミュレーション	3			
		シミュレーション&ゲーミング	2			
		消費者行動論	2			
		社会調査法	2			
		ビジネスエコノミクス	2			
		金融・経済リテラシー	2			
	副専攻	マーケティング論	2			
		クリエイティブ産業論	2			
		保健医療福祉政策概論	2			
		建築史	2			
		建築基礎演習	2			
		建築構造基礎	2			
		建築計画基礎	2			
		建築環境設備基礎	2			
		建築設計情報演習	2			
		建設プロジェクトマネジメント	2			
		建築材料	2			
		建築生産・施工	2			

		建築環境工学		2		
		建築構造設計		3		
		建築構造力学1		2		
		建築構造力学2		2		
		環境・都市基礎		2		
		環境・都市基礎演習		1		
		SDGsと環境		2		
		都市計画基礎		2		
		都市計画演習		1		
		都市環境デザイン		2		
		都市及び都市計画史		2		
		都市・地域システム計画		2		
		Global Governance and Sustainable Strategy		2		
		土地利用計画		3		
		景観・ランドスケープデザイン		2		
		資源・エネルギーシステム論		3		
		環境政策		2		
		環境ビジネス		3		
		脱炭素と地域創発		2		
		生命科学概論		2		
		神経生理学		2		
		分子生物学		2		
		有機化学		2		
		食品栄養学		2		
		微生物学		2		
		発生生物学		2		
		分析化学		2		
		生物物理学		2		
		バイオイメージング		2		
		バイオマテリアル		2		
		バイオレオロジー		2		
		バイオメカニクス		2		
		バイオエレクトロニクス		2		
		バイオメカニカルエンジニアリング		2		
		スポーツ工学概論		2		
		スポーツ工学研究法		2		
		スポーツ信号処理		2		
		映像メディア解析		2		
		応用バイオメカニクス		2		
		脳機能計測学		2		
		健康長寿学		2		
		論理と集合		2		
		解析基礎		2		
		代数学1		2		
		幾何学1		2		
		ベクトル解析		2		
		複素解析		2		
		数値解析1		2		
		数理計画法		2		
		現象の数理		2		
		数理科学概論		2		
		金融工学		2		
		保険数学		2		
	総合研究	総合研究１	2			
		総合研究２	2			
		総合研究３	4			
		総合研究４	4			

システム理工学部
【環境システム学科】

授業科目			単位数			適要
			必修	選択	自由	
基礎科目		微分積分Ⅰ	2			
		微分積分Ⅱ		2		
		線形代数Ⅰ	2			
		線形代数Ⅱ		2		
		微分方程式	2			
		ベクトル解析		2		
		力学Ⅰ		2		
		力学Ⅱ		2		
		波動・熱力学		2		
		電磁気学		2		
		生物学Ⅰ		2		
		生物学Ⅱ		2		
		化学Ⅰ		2		
		化学Ⅱ		2		
		現代物理学概論		2		
システム・情報科目		情報処理Ⅰ(データサイエンス)	2			
		情報処理Ⅱ	2			
		情報処理演習Ⅰ(データサイエンス)	1			
		情報処理演習Ⅱ	1			
		システム工学A(システム計画方法論)	2			
		システム工学B(数理計画法)	2			
		システム工学C(データサイエンス)		2		
		システム工学演習A	1			
		システム工学演習B	1			
		システム工学演習C		2		
		創る		2		
		信頼性工学		2		
		人間工学		2		
		システム理工学入門		2		
		データサイエンス(応用)		2		
		AI基礎		1		
		データサイエンスリテラシー		1		
		Advanced Systems Science and Engineering		2		
		システム科学		2		

システム理工学部
【環境システム学科】

授業科目			単位数			適要
			必修	選択	自由	
		環境システム入門		2		
		建築基礎演習		1		
		環境・都市基礎演習		1		
		International Environmental Field Experience 1		2		
		International Environmental Field Experience 2		2		
		環境システム応用演習A		3		

		環境システム応用演習B		3		
		環境システム総論	2			
		建設プロジェクトマネジメント		2		
		International Workshop on Environmental Planning and Design 1		2		
		International Workshop on Environmental Planning and Design 2		2		
		社会実習Ⅰ		1		
		社会実習Ⅱ		2		
		総合研究Ⅰ	4			
		総合研究Ⅱ	4			
		Environmental Research Seminar 1		2		
		Environmental Research Seminar 2		2		
専門科目		建築史		2		
		建築計画基礎	2			
		建築設計情報演習		2		
		建築デジタルデザイン		2		
		居住環境デザイン論		2		
		居住環境デザイン演習		2		
		建築構造基礎	2			
		建築構造力学Ⅰ		2		
		建築構造力学Ⅱ		2		
		建築構造設計		2		
		建築構造システム演習		1		
		建築材料		2		
		建築生産・施工		2		
		都市及び都市計画史		2		
		都市計画基礎	2			
		都市計画演習		1		
		土地利用計画演習		2		
		都市・地域システム計画		2		
		交通システム計画		2		
		Planning for Community Resilience		2		
		環境システム解析演習		1		

システム理工学部

【環境システム学科】

授業科目			単位数			適要
			必修	選択	自由	
		建築デジタル・ファブリケーション		3		
		脱炭素と地域創発		2		
		環境政策		2		
		資源・エネルギーシステム論		2		
		地理情報科学		2		
		都市住宅論		2		
		都市環境デザイン	2			
		都市環境デザイン演習		2		
		建築・都市法規		2		
		Architecture and Environmental Design		2		
		Architectural Design Studio		2		
		建築・環境デザイン演習		2		

専門科目		環境フィールド実習		2		
		Basic Urban Infrastructure Engineering		2		
		景観・ランドスケープデザイン		2		
		都市環境基盤計画	2			
		Life Cycle Assessment		2		
		Global Governance and Sustainable Strategy		2		
		Environmental Land Use Planning		2		
		Environmental Field Survey A		1		
		Environmental Field Survey B		1		
		Urban and Regional Studies		2		
		History of Housing and Interior Design		2		
		Architectural Planning and Design		2		
		Sustainable Business Practices		2		
		Workshop on Planning, Architecture and Environmental Systems C		3		
		Introduction to Embedded Programming (International Training)		2		
		建築環境工学	2			
		建築設備学		3		
		観光建築デザイン論		2		

【建築・環境課程】

科目区分		授業科目の名称	単位数 必修	選択	自由	適要
学際科目	SDGs・キャリアデザインインターンシップ	△ SDGs入門	2			☆…教科及び教科の指導法に関する科目(理科)
		△ 未来を創る1	2			
		△ 未来を創る2	1			
		ダイバーシティ入門		2		
		インターンシップ		2		
		芝浦工業大学通論		2		
	アントレプレナーシップ	△ アントレプレナーシップA(価値創造)	2			□…教科及び教科の指導法に関する科目(情報)
		△ アントレプレナーシップB(事業創出)		2		
		△ 経営工学		2		
		産学官金連携PBL		2		
		会計簿記		2		
	システム工学	△ システム工学A(システム計画方法論)	3			△…教科及び教科の指導法に関する科目(工業)
		△ システム工学B(数理計画法)	3			
		プロジェクトマネジメント		2		
		Advanced Systems Science and Engineering1		2		
		Advanced Systems Science and Engineering2		2		
		信頼性工学		2		
		人間工学		2		
		△ サイバーセキュリティと社会		2		
		微分積分1		2		○…教科及び
		微分積分2		2		

基礎教養科目	理数・情報	線形代数1		2		教科の指導法に関する科目(数学)
		線形代数2		2		
		力学1		2		
		力学2		2		
		波動・熱力学		2		
		電磁気学		2		
		生物学		2		
		化学		2		
		現代物理学概論		2		
		△ 情報基礎	3			
		△ AI基礎	1			
		△ 統計学基礎	1			
		△ データサイエンスリテラシー	1			
	社会科学	科学技術史		2		
		科学技術と社会		2		
		行政学		2		
		政治学		2		
		社会福祉論		2		
		情報社会と法		2		
		日本国憲法		2		
		社会学概論		2		
		人間と自然環境		2		
		教育社会学		2		
	人文科学	哲学1		2		
		哲学2		2		
		倫理学		2		
		生命倫理概論		2		
		技術者と倫理		2		
		世界史A		2		
		世界史B		2		
		△ 国際デザイン史		2		
		認知心理学		2		
		組織心理学		2		
		教育の近現代史		2		
		教育原論		2		
		人間関係論		2		
	保健体育	体育実技1		1		
		体育実技2		1		
		からだの仕組みと運動		2		
		身体運動のメカニズム		2		
		健康科学論A		2		
		健康科学論B		2		
		English Basic Skills1		2		
		English Basic Skills2		2		
		English Advanced Skills1		2		
		English Advanced Skills2		2		
		English Remedial Course1			2	
		English Remedial Course2			2	

	英語	Basic English for Science and Technology1		2		
		Basic English for Science and Technology2		2		
		Advanced English for Science and Technology1		2		
		Advanced English for Science and Technology2		2		
		理工系英語プレゼンテーション		2		
		海外英語研修1		2		
		海外英語研修2		2		
		海外短期英語研修1		1		
		海外短期英語研修2		1		
		学外英語検定1		2		
		学外英語検定2		2		
教職課程		事前・事後指導			1	
		教育実習1			2	
		教育実習2			2	
		教職実践演習(中・高)			2	
		教職インターンシップ1			1	
		教職インターンシップ2			1	
		社会システム入門		1		
		△ SDGsと環境		2		
		マーケティング論		2		
		消費者行動論		2		
		□ データサイエンス入門		1		
		ビジネスエコノミクス		2		
		社会調査法		2		
		都市及び都市計画史		2		
		△ 環境・都市基礎		2		
		△ 建築基礎演習		2		
		△ 建築構造基礎		2		
		建築史		2		
		□ データサイエンス応用		3		
		□ 環境・都市基礎演習		1		
		△ 環境フィールド実習		2		
		Urban and Regional Studies		2		
		△ 建築計画基礎		2		
		△ 建築環境設備基礎		2		
		△ 建築構造力学1		2		
		△ 建築構造力学2		2		
		□ 建築設計情報演習		2		
		□ 資源・エネルギーシステム論		3		
		都市計画演習		1		
		都市計画基礎		2		
		□ 情報倫理		1		
		Architecture and Environmental Design		2		
		Environmental Management		2		

		Environmental Urban Planning		2			
		Global Governance and Sustainable Strategy		2			
		History of Housing and Interior Design		2			
		International Comparison of AEC Industry		2			
		△ 観光建築デザイン論		2			
		△ 建築環境工学		2			
		□ 建築デジタルデザイン演習		2			
		△ 都市住宅論		2			
		環境ビジネス		3			
		□ 建築デジタル・ファブリケーション		3			
		土地利用計画		3			
		Architectural Planning and Design		2			
	主専攻	□ Life Cycle Assessment		2			
		Planning for Community Resilience		2			
		Sustainable Business Practices		2			
		□ 居住環境デザイン演習		2			
		△ 建築生産・施工		2			
		△ 建築材料		2			
		□ 建築構造設計		3			
		居住環境デザイン論		2			
		△ 建築・都市・環境総論		2			
		△ 交通システム計画		2			
		都市・地域システム計画		2			
		都市環境デザイン		2			
		都市環境デザイン演習		2			
		International Studies on Planning, Architecture and Environmental Systems		1			
		景観・ランドスケープデザイン		2			
		△ 建設プロジェクトマネジメント		2			
		△ 建築・都市法規		2			
		△ 環境政策		2			
		□ 建築・都市・環境応用演習A		3			
		□ 建築・都市・環境応用演習B		3			
		△ 建築設備学		3			
		△ 脱炭素と地域創発		2			
		△ 都市環境基盤計画		2			
		Introduction to Embedded Programming		1			
		Environmental Field Survey 1		1			
		Environmental Field Survey 2		1			

		International Workshop on Environmental Planning and Design 1		1			
		International Workshop on Environmental Planning and Design 2		1			
		□ 情報科指導法1		2			
		□ 情報科指導法２		2			
		△ 工業科指導法１		2			
		△ 工業科指導法2		2			
		△ 職業指導		2			
		△ 工学基礎概論		1			
		教育の方法及び技術		1			
		教育におけるICT活用		1			
		Cross-cultural Student Support		1			
専門科目		教職論		2			
		生徒・進路指導論		2			
		教育課程論		2			
		教育相談論		2			
		特別支援教育論		1			
		特別活動の指導法		1			
		総合的な学習の時間の指導法		1			
		道徳の理論及び指導法		2			
		教育心理学		2			
		IoT基礎		2			
		IoT設計論		2			
		電気回路		2			
		フロントエンドとインタフェース基礎		2			
		センサとアクチュエータ		2			
		ディジタル信号処理		2			
		数値解析		2			
		電子回路		3			
		プログラミング入門		1			
		Python入門		1			
		Cプログラミング(情報)		3			
		□ データ構造とアルゴリズム		3			
		オブジェクト指向言語		2			
		モバイルプログラミング		2			
		ネットワークプログラミング		2			
		Computer Simulation		2			
		ソフトウェア設計論		2			
		ソフトウェア開発管理		2			
		現代的ソフトウェア構築技法		2			
		ゲームプログラミング		2			
		□ データベース		2			
		情報セキュリティ		2			
		□ インターネットプロトコル		2			
		□ 情報理論		2			
		符号理論		2			

		ネットワークアプリケーション		2			
		ICT Systems Design		2			
		クラウドコンピューティング		2			
		□ メディア処理基礎		2			
		メディア処理1		2			
		メディア処理2		2			
		音声音響情報処理		2			
		自然言語処理		2			
		画像情報処理		2			
		コンピュータグラフィックス		2			
		VR/AR1		2			
		VR/AR2		2			
		ヒューマンコンピュータインタラクション		2			
		サイバーセキュリティ		2			
		エンタテインメントコンピューティング		2			
		メディアデザイン1		2			
		メディアデザイン2		2			
		メディア認知心理・人間工学		2			
		メディア表現基礎		2			
	副専攻	メディア表現応用		2			
		メディアコンテンツビジネス		2			
		システム科学		2			
		社会システム実践演習		3			
		数理シミュレーション		3			
		シミュレーション＆ゲーミング		2			
		金融・経済リテラシー		2			
		クリエイティブ産業論		2			
		保健医療福祉政策概論		2			
		機械・電気システムセミナー		2			
		機構学		2			
		電気機器システム		2			
		材料・加工学		2			
		Introduction to Industrial Design		2			
		ものづくり工学		2			
		制御工学		2			
		機械計測工学		2			
		自動車工学		2			
		生命科学概論		2			
		神経生理学		2			
		分子生物学		2			
		有機化学		2			
		食品栄養学		2			
		微生物学		2			
		発生生物学		2			
		分析化学		2			
		生物物理学		2			
		バイオイメージング		2			
		医工学概論		1			
		機械力学		2			
		電気電子回路		2			
		バイオマテリアル		2			

		バイオレオロジー		2		
		バイオメカニクス		2		
		メカトロニクス		2		
		バイオエレクトロニクス		2		
		バイオメカニカルエンジニアリング		2		
		スポーツ工学概論		2		
		スポーツ工学研究法		2		
		生体計測学		2		
		スポーツ信号処理		2		
		映像メディア解析		2		
		応用バイオメカニクス		2		
		脳機能計測学		2		
		健康長寿学		2		
		論理と集合		2		
		解析基礎		2		
		代数学1		2		
		幾何学1		2		
		ベクトル解析		2		
		複素解析		2		
		数値解析1		2		
		数理計画法		2		
		現象の数理		2		
		数理科学概論		2		
		金融工学		2		
		保険数学		2		
	総合研究	総合研究１	2			
		総合研究２	2			
		総合研究３	4			
		総合研究４	4			

システム理工学部
【生命科学科】

授業科目		単位数 必修	選択	自由	適要
基礎科目	微分積分Ⅰ	2			
	微分積分Ⅱ		2		
	線形代数Ⅰ	2			☆…教科及び教科の指導法に関する科目(理科)
	線形代数Ⅱ		2		
	微分方程式		2		
	ベクトル解析		2		
	☆力学Ⅰ		2		
	☆力学Ⅱ		2		
	☆波動・熱力学		2		
	☆電磁気学		2		
	☆生物学Ⅰ		2		
	☆生物学Ⅱ		2		
	☆化学Ⅰ		2		
	☆化学Ⅱ		2		
	☆現代物理学概論		2		
システム・情報科目	情報処理Ⅰ	2			
	情報処理Ⅱ	2			
	情報処理演習Ⅰ	1			
	情報処理演習Ⅱ	1			
	システム工学A(システム計画方法論)	2			
	システム	2			

システム理工学部
【生命科学科】

授業科目		単位数 必修	選択	自由	適要
基礎科目	微分積分Ⅰ	2			
	微分積分Ⅱ		2		
	線形代数Ⅰ	2			☆…教科及び教科の指導法に関する科目(理科)
	線形代数Ⅱ		2		
	微分方程式		2		
	ベクトル解析		2		
	☆力学Ⅰ		2		
	☆力学Ⅱ		2		
	☆波動・熱力学		2		
	☆電磁気学		2		
	☆生物学Ⅰ		2		
	☆生物学Ⅱ		2		
	☆化学Ⅰ		2		
	☆化学Ⅱ		2		
	☆現代物理学概論		2		
システム・情報科目	情報処理Ⅰ	2			
	情報処理Ⅱ	2			
	情報処理演習Ⅰ	1			
	情報処理演習Ⅱ	1			
	システム工学A(システム計画方法論)	2			
	システム	2			

	工学B(数理計画法)				
	システム工学C(データサイエンス)		2		
	システム工学演習A	1			
	システム工学演習B	1			
	システム工学演習C		2		
	創る		2		
	信頼性工学		2		
	人間工学		2		
	システム理工学入門		2		
	データサイエンス(応用)		2		
	AI基礎		1		
	データサイエンスリテラシー		1		
	Advanced Systems Science and Engineering		2		
	システム科学		2		

システム理工学部

【生命科学科】

授業科目		単位数			適要
		必修	選択	自由	
専門科目	☆生命科学概論		2		
	☆解剖学		2		
	☆生理学Ⅰ		2		☆…教科及び

	工学B(数理計画法)				
	システム工学C(データサイエンス)		2		
	システム工学演習A	1			
	システム工学演習B	1			
	システム工学演習C		2		
	創る		2		
	信頼性工学		2		
	人間工学		2		
	システム理工学入門		2		
	データサイエンス(応用)		2		
	AI基礎		1		
	データサイエンスリテラシー		1		
	Advanced Systems Science and Engineering		2		
	システム科学		2		

システム理工学部

【生命科学科】

授業科目		単位数			適要
		必修	選択	自由	
専門科目	☆生命科学概論		2		
	☆解剖学		2		
	☆生理学Ⅰ		2		☆…教科及び

				教科の指導法に関する科目(理科)						教科の指導法に関する科目(理科)	
	☆生理学Ⅱ	2				☆生理学Ⅱ	2				
	☆分子生物学	2				☆分子生物学	2				
	☆医学概論	2				☆医学概論	2				
	☆微生物学	2				☆微生物学	2				
	☆発生遺伝学	2				☆発生遺伝学	2				
	☆環境化学	2				☆環境化学	2				
	☆公衆衛生学	2				☆公衆衛生学	2				
	☆生命倫理	2				☆生命倫理	2				
	生命統計学	2				生命統計学	2				
	☆生化学	2				☆生化学	2				
	☆生体計測学	2				☆生体計測学	2				
	☆Advanced Bioscience	2				☆Advanced Bioscience	2				
	Assistive Technology	2				Assistive Technology	2				
	☆Genetic Engineering	2				☆Genetic Engineering	2				
	☆Basic Biology	2				☆Basic Biology	2				
	グローバル課題解決実習1	1				グローバル課題解決実習1	1				
	グローバル課題解決実習2	1				グローバル課題解決実習2	1				
	グローバル課題解決実習3	1				グローバル課題解決実習3	1				
	キャリアデザイン	2				キャリアデザイン	2				
	インターンシップ	1				インターンシップ	1				

		総合研究Ⅰ	4								総合研究Ⅰ	4							
		総合研究Ⅱ	4								総合研究Ⅱ	4							
		✩無機化学		2							✩無機化学		2						
		✩物理化学		2							✩物理化学		2						
		✩分析化学		2							✩分析化学		2						
		✩有機化学Ⅰ		2							✩有機化学Ⅰ		2						
		✩有機化学Ⅱ		2							✩有機化学Ⅱ		2						
		✩生体高分子工学		2							✩生体高分子工学		2						
		✩食品栄養学		2							✩食品栄養学		2						
		✩細胞生理学		2							✩細胞生理学		2						
		✩環境生物学		2							✩環境生物学		2						
		✩応用生物工学		2							✩応用生物工学		2						
		✩医薬化学概論		2							✩医薬化学概論		2						
		✩生命科学実験A		3							✩生命科学実験A		3						
		✩生命科学実験B		3							✩生命科学実験B		3						
		✩生命科学実験C		3							✩生命科学実験C		3						
		✩応用生命科学実験		2							✩応用生命科学実験		2						
		✩機械力学		2							✩機械力学		2						
		✩材料力学		2							✩材料力学		2						
		✩流れ学		2							✩流れ学		2						
		✩電気回路		2							✩電気回路		2						
		✩生体力学		2							✩生体力学		2						
		機械設計製作演習		3							機械設計製作演習		3						
		制御工学		2							制御工学		2						
		✩電子回路		2							✩電子回路		2						
		メカトロニクス		2							メカトロニクス		2						
		医工学プ		2							医工学プ		2						

		ログラミング演習								ログラミング演習									
		医療福祉機器設計演習	3							医療福祉機器設計演習	3								
		☆生体材料学	2							☆生体材料学	2								
		☆生物物理学	2							☆生物物理学	2								
		CAD／CAM演習	2							CAD／CAM演習	2								
		福祉リハビリテーション工学	2							福祉リハビリテーション工学	2								
		医用画像工学	2							医用画像工学	2								
		生命医工学セミナー	2							生命医工学セミナー	2								
		☆生命医工学実験Ⅰ	3							☆生命医工学実験Ⅰ	3								
		☆生命医工学実験Ⅱ	3							☆生命医工学実験Ⅱ	3								
		Introduction to Embedded Programming(International Training)	2							Introduction to Embedded Programming(International Training)	2								
		☆Introduction of Bioengineering	2							☆Introduction of Bioengineering	2								
		Basic Control Engineering	2							Basic Control Engineering	2								
		Introduction to Control Engineering	2							Introduction to Control Engineering	2								
		Embedde	2							Embedde	2								

	d Control Systems (International Training)						d Control Systems (International Training)				
	理科指導法1		2				理科指導法1		2		
	理科指導法2		2				理科指導法2		2		

システム理工学部

【数理科学科】

授業科目				単位数			適要
				必修	選択	自由	
基礎科目		○	微分積分Ⅰ	2			○…教科及び教科の指導法に関する科目(数学)
		○	微分積分Ⅱ		2		
		○	線形代数Ⅰ	2			
		○	線形代数Ⅱ		2		
		○	微分方程式	2			
		○	ベクトル解析	2			
			力学Ⅰ	2			
			力学Ⅱ		2		
			波動・熱力学		2		
			電磁気学		2		
			生物学Ⅰ		2		
			生物学Ⅱ		2		
			化学Ⅰ		2		
			化学Ⅱ		2		
			現代物理学概論		2		
システム情報科目	□	○	情報処理Ⅰ	2			○…教科及び教科の指導法に関する科目(数学) □…教科及び教科の指導法に関する科目(情報)
	□	○	情報処理Ⅱ	2			
	□	○	情報処理演習Ⅰ	1			
	□	○	情報処理演習Ⅱ	1			
	□		システム工学A(システム計画方法論)	2			
			システム工学B(数理計画法)	2			
			システム工学C(データサイエンス)		2		
	□		システム工学演習A	1			
			システム工学演習B	1			
			システム工学演習C		2		
			創る		2		
			信頼性工学		2		
			人間工学		2		
			システム理工学入門		2		
			データサイエンス(応用)		2		
			AI基礎		1		
			データサイエンスリテラシー		1		
			Advanced Systems Science and Engineering		2		
			システム科学		2		

システム理工学部

【数理科学科】

授業科目				単位数			適要
				必修	選択	自由	
			基礎数理セミナー	2			○…教科及び教科の指導法に関する科目(数学)
		○	数学基礎	2			
			Practical English in Mathematical Sciences		2		
			国際数理科学実習Ⅰ		2		
			国際数理科学実習Ⅱ		2		
		○	Topics in Pure and Applied Mathematics		2		
		○	数理科学特論A		1		
		○	数理科学特論B		1		

			○	数理科学特論C		1		
			○	数理科学特論D		1		
				数理科学セミナー	2			
				数学科指導法1		2		
				数学科指導法2		2		
				情報科指導法1		2		□…教科及び教科の指導法に関する科目(情報)
				情報科指導法2		2		
				総合研究Ⅰ	4			
				総合研究Ⅱ	4			
			○	代数学Ⅰ	2			
			○	代数学Ⅱ		2		
			○	代数学Ⅲ		2		
			○	Introduction to Applied Algebra		2		
			○	幾何学Ⅰ	2			
			○	幾何学Ⅱ		2		
			○	幾何学Ⅲ		2		
	専門科目		○	Introduction to Advanced Mathematics		2		
			○	解析基礎		2		
			○	複素解析		2		
			○	Calculus with Differential Equations		2		
			○	Linear Space and Vector Calculus		2		
			○	関数方程式論		2		
			○	関数解析Ⅰ		2		
			○	関数解析Ⅱ		2		
		□	○	Topics in Numerical Analysis		2		
			○	応用解析		2		
		□	○	数値解析Ⅰ		2		
		□	○	数値解析Ⅱ		2		
		□	○	制御理論基礎		2		
			○	数理計画法		2		
			○	現象の数理		2		
		□	○	Advanced Control Theory		2		
		□	○	シミュレーション		2		
			○	数理科学特別講義		2		
		□	○	データ構造とアルゴリズム		2		
		□	○	Javaプログラミング		3		
		□	○	記号処理		2		
		□	○	計算理論基礎		2		
		□	○	Theory of Computation		2		
			○	計算機代数		2		
			○	確率統計		2		
			○	多変量解析		2		
			○	確率統計学特論		2		
			○	金融・保険数理		2		

【数理科学課程】

科目区分			単位数 必修	選択	自由	適要
	SD	SDGs入門	2			

学際科目	DGS・キャリアデザイン		未来を創る1	2			☆…教科及び教科の指導法に関する科目(理科)
			未来を創る2	1			
			ダイバーシティ入門		2		
			インターンシップ		2		
			芝浦工業大学通論		2		
	アントレプレナーシップ		アントレプレナーシップA(価値創造)	2			□…教科及び教科の指導法に関する科目(情報)
			アントレプレナーシップB(事業創出)		2		
			経営工学		2		
			産学官金連携PBL		2		
			会計簿記		2		
	システム工学		システム工学A(システム計画方法論)	3			△…教科及び教科の指導法に関する科目(工業)
			システム工学B(数理計画法)	3			
			プロジェクトマネジメント		2		
			Advanced Systems Science and Engineering1		2		
			Advanced Systems Science and Engineering2		2		
			信頼性工学		2		
			人間工学		2		
			サイバーセキュリティと社会		2		
	理数・情報	○	微分積分1	2			○…教科及び教科の指導法に関する科目(数学)
		○	微分積分2	2			
		○	線形代数1	2			
		○	線形代数2	2			
			力学1	2			
			力学2		2		
			波動・熱力学		2		
			電磁気学		2		
			生物学		2		
			化学		2		
			現代物理学概論		2		
			情報基礎	3			
			AI基礎	1			
			統計学基礎	1			
			データサイエンスリテラシー	1			
	社会科学		科学技術史		2		
			科学技術と社会		2		
			行政学		2		
			政治学		2		
			社会福祉論		2		
			情報社会と法		2		
			日本国憲法		2		
			社会学概論		2		
			人間と自然環境		2		
			教育社会学		2		
	人文科		哲学1		2		
			哲学2		2		
			倫理学		2		
			生命倫理概論		2		
			技術者と倫理		2		
			世界史A		2		
			世界史B		2		

基礎教養科目	学	国際デザイン史		2		
		認知心理学		2		
		組織心理学		2		
		教育の近現代史		2		
		教育原論		2		
		人間関係論		2		
	保健体育	体育実技1		1		
		体育実技2		1		
		からだの仕組みと運動		2		
		身体運動のメカニズム		2		
		健康科学論Ａ		2		
		健康科学論Ｂ		2		
	英語	English Basic Skills1		2		
		English Basic Skills2		2		
		English Advanced Skills1		2		
		English Advanced Skills2		2		
		English Remedial Course1			2	
		English Remedial Course2			2	
		Basic English for Science and Technology1		2		
		Basic English for Science and Technology2		2		
		Advanced English for Science and Technology1		2		
		Advanced English for Science and Technology2		2		
		理工系英語プレゼンテーション		2		
		海外英語研修1		2		
		海外英語研修2		2		
		海外短期英語研修1		1		
		海外短期英語研修2		1		
		学外英語検定1		2		
		学外英語検定2		2		
教職課程		事前・事後指導			1	
		教育実習1			2	
		教育実習2			2	
		教職実践演習(中・高)			2	
		教職インターンシップ1			1	
		教職インターンシップ2			1	
		基礎数理セミナー	2			
		○ □ 情報リテラシー	1			
		○ □ Cプログラミング(数理科学)	3			
		数学入門1	2			
		数学入門2	2			
		○ 論理と集合	2			
		○ 確率統計	2			
		○ 微分方程式	2			
		○ □ 数値解析1	2			
		□ 数値解析2		2		
		数理科学概論		2		

			○		集合と位相		2		
			○		代数学1	2			
					代数学2		2		
					代数学3		2		
					Introduction to Applied Algebra		2		
			○		幾何学1	2			
					幾何学2		2		
					幾何学3		2		
					Introduction to Advanced Mathematics		2		
				□	計算機代数		2		
					Linear Space and Vector Calculus		2		
					数理科学特論A		1		
					数理科学特論B		1		
					数理科学特論C		1		
					数理科学特論D		1		
			○		解析基礎		2		
					現象の数理		2		
			○		複素解析		2		
					測度と積分		2		
					関数方程式論		2		
					ベクトル解析		2		
					関数解析1		2		
					関数解析2		2		
		主専攻			Calculus with Differential Equations		2		
					数理計画法		2		
				□	制御理論基礎		2		
			○	□	離散数理		2		
				□	シミュレーション		2		
					Advanced Control Theory		2		
					Topics in Numerical Analysis		2		
				□	計算理論基礎		2		
				□	ハイパフォーマンスコンピューティング		2		
			○	□	Javaプログラミング		3		
				□	記号処理		2		
					Theory of Computation		2		
				□	情報理論		2		
				□	インターネットプロトコル		2		
				□	メディア処理基礎		2		
					多変量解析		2		
					金融工学		2		
					保険数学		2		
			○		確率統計学特論		2		
					Practical English in Mathematical Sciences		2		
					Topics in Pure and Applied Mathematics		2		
					国際数理科学実習1		2		
					国際数理科学実習2		2		
			○		数学科指導法1		2		
			○		数学科指導法2		2		
			○		数学科指導法3		2		
			○		数学科指導法4		2		

		教育の方法及び技術		1		
		教育におけるICT活用		1		
		□ 情報科指導法1		2		
		□ 情報科指導法2		2		
		□ 情報倫理		1		
		□ データサイエンス入門		1		
		□ データベース		2		
		Cross-cultural Student Support		1		
		教職論		2		
		特別活動の指導法		1		
		総合的な学習の時間の指導法		1		
		道徳の理論及び指導法		2		
		生徒・進路指導論		2		
		教育課程論		2		
		教育相談論		2		
		教育心理学		2		
		特別支援教育論		1		
		IoT基礎		2		
		IoT設計論		2		
		データ構造とアルゴリズム		3		
		電気回路		2		
		フロントエンドとインタフェース基礎		2		
		センサとアクチュエータ		2		
		ディジタル信号処理		2		
		数値解析		2		
		電子回路		3		
		プログラミング入門		1		
		Python入門		1		
		Cプログラミング(情報)			3	
		オブジェクト指向言語		2		
		モバイルプログラミング		2		
		ネットワークプログラミング		2		
		Computer simulation		2		
		ソフトウェア設計論		2		
		ソフトウェア開発管理		2		
		現代的ソフトウェア構築技法		2		
		ゲームプログラミング		2		
		情報セキュリティ		2		
専門科目		符号理論		2		
		ネットワークアプリケーション		2		
		ICT Systems Design		2		
		クラウドコンピューティング		2		
		メディア処理1		2		
		メディア処理2		2		
		音声音響情報処理		2		
		自然言語処理		2		
		画像情報処理		2		
		コンピュータグラフィックス		2		
		VR/AR1		2		
		VR/AR2		2		
		ヒューマンコンピュータインタラクション		2		

			サイバーセキュリティ		2			
			エンタテインメントコンピューティング		2			
			メディアデザイン1		2			
			メディアデザイン2		2			
			メディア認知心理・人間工学		2			
			メディア表現基礎		2			
			メディア表現応用		2			
			メディアコンテンツビジネス		2			
			社会システム入門		1			
			システム科学		2			
			社会システム実践演習		3			
			データサイエンス応用		3			
			数理シミュレーション		3			
			シミュレーション＆ゲーミング		2			
			消費者行動論		2			
			社会調査法		2			
			ビジネスエコノミクス		2			
			金融・経済リテラシー		2			
			マーケティング論		2			
			クリエイティブ産業論		2			
			保健医療福祉政策概論		2			
		副専攻	機械・電気システムセミナー		2			
			機構学		2			
			電気機器システム		2			
			材料・加工学		2			
			Introduction to Industrial Design		2			
			ものづくり工学		2			
			制御工学		2			
			機械計測工学		2			
			自動車工学		2			
			建築史		2			
			建築基礎演習		2			
			建築構造基礎		2			
			建築計画基礎		2			
			建築環境設備基礎		2			
			建築設計情報演習		2			
			建設プロジェクトマネジメント		2			
			建築材料		2			
			建築生産・施工		2			
			建築環境工学		2			
			建築構造設計		3			
			建築構造力学1		2			
			建築構造力学2		2			
			環境・都市基礎		2			
			環境・都市基礎演習		1			
			SDGsと環境		2			
			都市計画基礎		2			
			都市計画演習		1			
			都市環境デザイン		2			
			都市及び都市計画史		2			
			都市・地域システム計画		2			
			Global Governance and Sustainable Strategy		2			
			土地利用計画		3			

		景観・ランドスケープデザイン		2		
		資源・エネルギーシステム論		3		
		環境政策		2		
		環境ビジネス		3		
		脱炭素と地域創発		2		
		生命科学概論		2		
		神経生理学		2		
		分子生物学		2		
		有機化学		2		
		食品栄養学		2		
		微生物学		2		
		発生生物学		2		
		分析化学		2		
		生物物理学		2		
		バイオイメージング		2		
		医工学概論		1		
		機械力学		2		
		生体計測学		2		
		電気電子回路		2		
		バイオマテリアル		2		
		バイオレオロジー		2		
		バイオメカニクス		2		
		メカトロニクス		2		
		バイオエレクトロニクス		2		
		バイオメカニカルエンジニアリング		2		
		スポーツ工学概論		2		
		スポーツ工学研究法		2		
		生体計測学		2		
		スポーツ信号処理		2		
		映像メディア解析		2		
		応用バイオメカニクス		2		
		脳機能計測学		2		
		健康長寿学		2		
	総合研究	総合研究１	2			
		総合研究２	2			
		総合研究３	4			
		総合研究４	4			

システム理工学部

【教職課程】

システム理工学部　電子情報システム学科　機械制御システム学科　生命科学科　数理科学科

授業科目			単位数			摘要
			必修	選択	自由	
教育の基礎的理解に関する科目		教育原論		2		共通科目(総合科目)
		教育の近現代史		2		共通科目(総合科目)
		教育心理学		2		共通科目(総合科目)
		教育社会学		2		共通科目(総合科目)
		教職論		2		共通科目(教職科目)
		特別支援教育論		1		共通科目(教職科目)
		教育課程論		2		共通科目(総合科目)
		総合的な学習の時間の指導法			1	
		道徳の理論及び指導法			2	
		特別活動の指導法			1	
		教育の方法及び技術		1		共通科目(教職科目)

		教育におけるICT活用		1		共通科目(教職科目)
		生徒・進路指導論		2		共通科目(教職科目)
		教育相談論		2		共通科目(総合科目)
		事前・事後指導			1	
		教職インターンシップ1			1	
		教職インターンシップ2			1	
		教育実習1			2	
		教育実習2			2	
		教職実践演習(中・高)			2	
	○	数学科指導法1		2		○…教科及び教科の指導法に関する科目(数学)
	○	数学科指導法2		2		
	○	数学科指導法3			2	
	○	数学科指導法4			2	
	☆	理科指導法1		2		
	☆	理科指導法2		2		
	☆	理科指導法3			2	

教科及び教科の指導に関する科目	☆	理科指導法4			2		☆…教科及び教科の指導法に関する科目（理科）　△…教科及び教科の指導法に関する科目（工業）　□…教科及び教科の指導法に関する科目（情報）
	☆	総合科実験			1		
	△	工業科指導法1		2			
	△	工業科指導法2		2			
	△	職業指導			2		
	□	情報科指導法1		2			
	□	情報科指導法2		2			

		道徳の理論及び指導法			2	高等学校免許の課程のみ適用
大学が独自に設定する科目		人間関係論		2		共通目(教職科目)

教育職員免許状の種類・教職課程開設科目及び修得単位数

1．教育職員免許状の種類・教科

学部	学科名	免許状の種類	教科名
システム理工学部	電子情報システム学科	高等学校教諭一種免許状	情報
	機械制御システム学科	高等学校教諭一種免許状	工業
	生命科学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科
	数理科学科	中学校教諭一種免許状	数学
		高等学校教諭一種免許状	数学・情報

2．教員免許状取得に要する教科別単位数

所要資格等 ＼ 基礎資格		免許状取得に必要な最低修得単位数			
		教科及び教科の指導法に関する科目		教育の基礎的理解に関する科目	大学が独自に設定する科目
		教科名	単位数		
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること 日本国憲法 体育 外国語コミュニケーション 情報機器の操作 それぞれ2単位取得を要する	数学	28単位以上	28単位	3単位
		理科	28単位以上		
高等	学士の学位を有すること 日本国憲法 体育 それぞ	数学	24単位以上		
		理科	24単位		

学校教諭一種免許状	外国語コミュニケーション 情報機器の操作	れ2単位取得を要する	情報	24単位以上	24単位	11単位
			工業	24単位以上		

3．教育の基礎的理解に関する科目および大学が独自に設定する科目

資格・教科 / 授業科目名	中学校教諭一種免許状		高等学校教諭一種免許状			
	数学	理科	数学	理科	情報	工業
教職論●	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
教育原論○	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
教育の近代現代史○	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
教育心理学○	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
特別支援教育論●	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
教育社会学○	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
教育課程論○	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
道徳の理論及び指導法	2単位	2単位	2単位＊	2単位＊	2単位＊	2単位＊
総合的な学習時間の指導	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
特別活動の指導法	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
教育の方法及び技術●	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位

教育におけるICT活用●	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
生徒・進路指導論●	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
教育相談論○	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
人間関係論●	2単位＊	2単位＊	2単位＊	2単位＊	2単位＊	2単位＊
事前・事後指導	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
教育実習1	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
教育実習2	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
教職実践演習(中・高)	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位

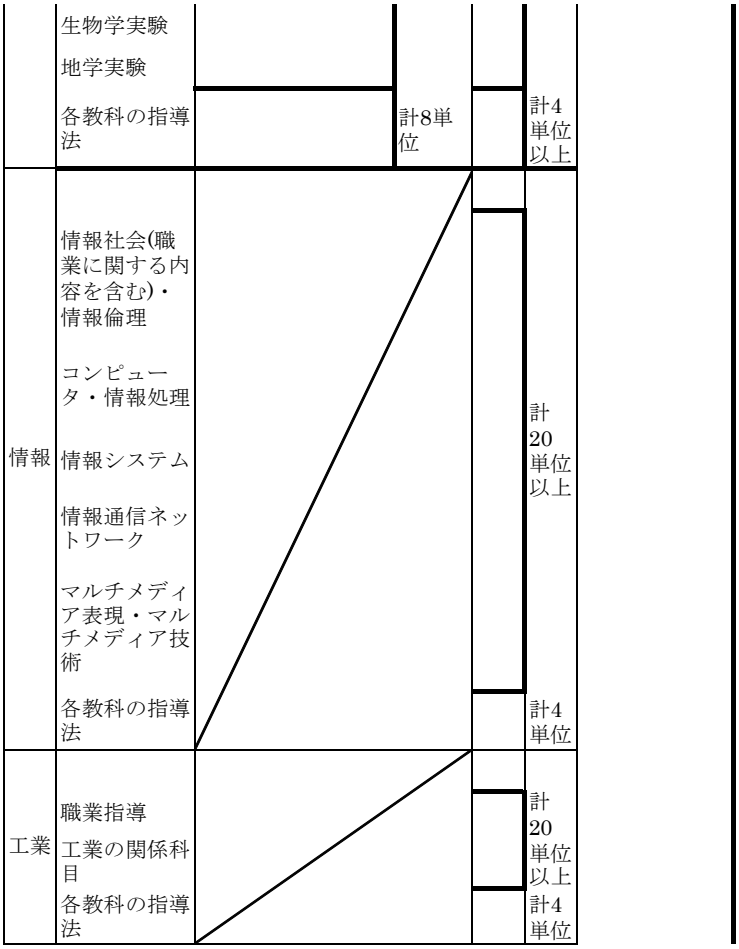
○共通科目(総合科目)

●共通科目(教職科目)

＊大学が独自に設定する科目

４．教科及び教科の指導法に関する科目

教科名	施行規則に定める科目区分等	修得単位数			
		中学校教諭一種免許状		高等学校教諭一種	
数学	代数学 幾何学 解析学 確率論・統計学 コンピュータ		計20単位以上		計20単位以上
	各教科の指導法		計8単位		計4単位以上
理科	物理学 化学 生物学 地学 物理学実験 化学実験		計20単位以上		計20単位以上



システム理工学部

【教職課程】

システム理工学部　情報課程　機械・電気課程　建築・環境課程　生命科学科　数理科学課程

授業科目		単位数			摘要
		必修	選択	自由	
	教育原論		2		共通科目(総合科目)
	教育の近現代史		2		共通科目(総合科目)
	教育心理学		2		共通科目(総合科目)
	教育社会学		2		共通科目(総合科目)
	教職論		2		共通科目(教職科目)
	特別支援教育論		1		共通科目(教職科目)

教育の基礎的理解に関する科目	教育課程論		2		共通科目(総合科目)
	総合的な学習の時間の指導法			1	
	道徳の理論及び指導法			2	
	特別活動の指導法			1	
	教育の方法及び技術		1		共通科目(教職科目)
	教育におけるICT活用		1		共通科目(教職科目)
	生徒・進路指導論		2		共通科目(教職科目)
	教育相談論		2		共通科目(総合科目)
	事前・事後指導			1	
	教職インターンシップ1			1	
	教職インターンシップ2			1	
	教育実習1			2	
	教育実習2			2	
	教職実践演習(中・高)			2	
	○ 数学科指導法1		2		
	○ 数学科指導法2		2		
	○ 数学科指導法3			2	
	○ 数学科指導法4			2	

教科及び教科の指導法に関する科目	☆ 理科指導法1		2		
	☆ 理科指導法2		2		
	☆ 理科指導法3			2	○…教科及び教科の指導法に関する科目(数学)
	☆ 理科指導法4			2	☆…教科及び教科の指導法に関する科目(理科)
	☆ 総合科実験			1	△…教科及び教科の指導法に関する科目(工業)
	△ 工業科指導法1		2		□…教科及び教科の指導法に関する科目(情報)
	△ 工業科指導法2		2		
	△ 職業指導			2	
	□ 情報科指導法1		2		
	□ 情報科指導法2		2		
	道徳の理論及び指導法			2	高等学校免許状の課程のみ適用
大学が独自に設定する科目	人間関係論		2		共通科目(教職科目)

教育職員免許状の種類・教職課程開設科目及び修得単位数

1．教育職員免許状の種類・教科

学部	課程名	免許状の種類	教科名
システム理工学部	情報課程	高等学校教諭一種免許状	
	機械・電気課程	高等学校教諭一種免許状	
	建築・環境課程	中学校教諭一種免許状	
	生命科学科	高等学校教諭一種免許状	
	数理科学課程	中学校教諭一種免許状	

2．教員免許状取得に要する教科別単位数

所要資格等 ＼ 免許状の種類	基礎資格	免許状取得に必要な最低修得単位数			
		教科及び教科の指導法に関する科目		教育の基礎的理解に関する科目	大学が独自に設定する科目
		教科名	単位数		
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること 日本国憲法 体育 外国語コミュニケーション 情報機器の操作 （それぞれ2単位取得を要する）	数学	28単位以上	28単位	3単位
		理科	28単位以上		
高等学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること 日本国憲法 体育 （それぞれ2単位取得を要する）	数学	24単位以上	24単位	11単位
		理科	24単位以上		

	外国語コミュニケーション 情報機器の操作				
		情報	24単位以上		
		工業	24単位以上		

3．教育の基礎的理解に関する科目および大学が独自に設定する科目

資格・教科	中学校教諭一種免許状		高等学校教諭一種免許状			
授業科目名	数学	理科	数学	理科	情報	工業
教職論●	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
教育原論○	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
教育の近現代史○	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
教育心理学○	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
特別支援教育論●	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
教育社会学○	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
教育課程論○	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
道徳の理論及び指導法	2単位	2単位	2単位＊	2単位＊	2単位＊	2単位＊

総合的な学習の時間の指導法	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
特別活動の指導法	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
教育の方法及び技術●	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
教育におけるICT活用●	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
生徒・進路指導論●	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
教育相談論○	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
人間関係論●	2単位＊	2単位＊	2単位＊	2単位＊	2単位＊	2単位＊
事前・事後指導	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
教育実習1	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
教育実習2	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
教職実践演習(中・高)	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位

○共通科目(総合科目)

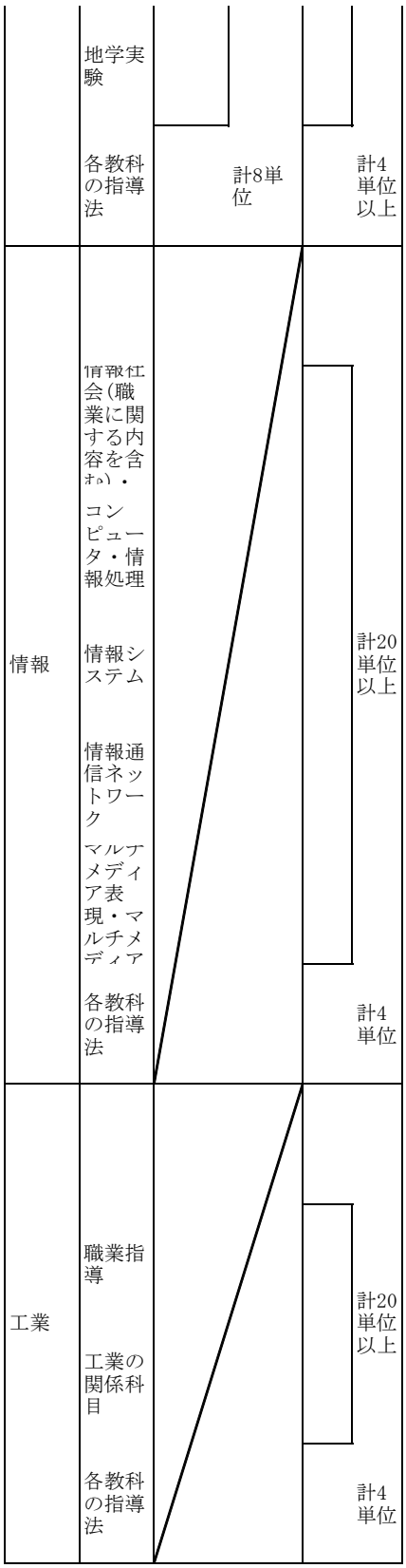
●共通科目(教職科目)

＊大学が独自に設定する科目

4. 教科及び教科の指導法に関する科目

教科名	施行規則に定める科	修得単位数

教科名	必要科目区分等	中学校教諭一種免許状		高等学校教諭一種免許状	
数学	代数学 幾何学 解析学 確率論・統計学 コンピュータ		計20単位以上		計20単位以上
	各教科の指導法		計8単位		計4単位以上
理科	物理学 化学 生物学 地学 物理学実験 化学実験 生物学実験		計20単位以上		計20単位以上


地学実験
各教科の指導法
計8単位
計4単位以上
情報
情報社会(職業に関する内容を含む)・コンピュータ・情報処理
情報システム
情報通信ネットワーク
マルチメディア表現・マルチメディア
各教科の指導法
計20単位以上
計4単位
工業
職業指導
工業の関係科目
各教科の指導法
計20単位以上
計4単位

	他コース専門科目	—	—
コース外科目		—	—
教職科目		—	—
総単位数		124単位	

工学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。

但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

以下の条件を満たした学生のみが卒業することができる。

・卒業要件に含む単位を124単位以上取得していること。

・各科目系列について、少なくとも以下の表において定められている単位数を取得していること。

・累積のGPAは2.0以上であること

先進国際課程

専門科目群	先端工学研究科目	必修　64単位	
	先端工学概論科目	選択　6単位以上	
	専門科目	選択　6単位以上	
数理基礎科目・情報科目	数理基礎科目	選択　6単位以上	
	情報科目		
教養科目	人文社会系教養科目	必修　1単位	6単位以上
	体育・健康科目		
総単位		124単位	

システム理工学部卒業要件

卒業要件の総取得単位数は124単位以上

全学共通科目		生命科学科		専門科目	
共通	教職科目				

	他コース専門科目	—	—
コース外科目		—	—
教職科目		—	—
総単位数		124単位	

工学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。

但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

以下の条件を満たした学生のみが卒業することができる。

・卒業要件に含む単位を124単位以上取得していること。

・各科目系列について、少なくとも以下の表において定められている単位数を取得していること。

・累積のGPAは2.0以上であること

先進国際課程

専門科目群	先端工学研究科目	必修　64単位	
	先端工学概論科目	選択　6単位以上	
	専門科目	選択　6単位以上	
数理基礎科目・情報科目	数理基礎科目	選択　6単位以上	
	情報科目		
教養科目	人文社会系教養科目	必修　1単位	6単位以上
	体育・健康科目		
総単位		124単位	

システム理工学部卒業要件

卒業要件の総取得単位数は124単位以上

全学共通科目		電子情報システム学科		専門科目	電子情報システム学科
共通	教職科目				

科目					以外単位数	生命科学科 56単位以上 数理科学科 54単位以上
	総合科目	エンジニア・リテラシー科目、社会科学系科目	生命科学科	必修1単位　計5単位以上	12単位以上	
		人文科学系科目、保健・体育系科目、第2外国語科目		6単位以上 (体育実技2単位迄)		
		英語科目		8単位以上		
	基礎科目					

科目			機械制御システム学科 環境システム学科 生命科学科 数理科学科		以外単位数	60単位以上 機械制御システム学科 60単位以上 環境システム学科 50単位以上 生命科学科 56単位以上 数理科学科 54単位以上
	総合科目	エンジニア・リテラシー科目、社会科学系科目	電子情報システム学科 機械制御システム学科 環境システム学科 生命科学科 数理科学科	必修1単位　計5単位以上	12単位以上	
		人文科学系科目、保健・体育系科目、第2外国語科目		6単位以上 (体育実技2単位迄)		
		英語科目		8単位以上		
	基礎科目		電子情報システム学科	必修10単位　計16単位以上		
			機械制御システム学科	必修12単位　計18単位以上		
			環境システム	必修4単位　計10単位		

		生命科学科	必修4単位	計16単位以上	
システム・情報科目		生命科学科	必修12単位	計16単位以上	
専門科目		生命科学科	必修8単位	計64単位以上	

課程

卒業要件の総取得単位数は124単位以上

		学科		以上	
		生命科学科	必修4単位	計16単位以上	
		数理科学科	必修14単位	計16単位以上	
	システム・情報科目	電子情報システム学科	必修12単位	計18単位以上	
		機械制御システム学科	必修12単位	計18単位以上	
		環境システム学科	必修12単位	計18単位以上	
		生命科学科	必修12単位	計16単位以上	
		数理科学科	必修12単位	計16単位以上	
専門科目		電子情報システム学科	必修21単位	計60単位以上	
		機械制御システム学科	必修30単位	計58単位以上	
		環境システム学科	必修22単位	計70単位以上	
		生命科学科	必修8単位	計64単位以上	
		数理科学科	必修18単位	計58単位以上	

<table>
<tr><th colspan="2">科目系列</th><th>情報課程</th><th>機械・電気課程</th><th>建築・環境課程</th><th>数理科学課程</th><th>総単位数</th></tr>
<tr><td rowspan="4">学際科目</td><td rowspan="3">SDGs・キャリアデザイン
システム工学
アントレプレナーシップ</td><td colspan="4" rowspan="3">13単位以上</td><td rowspan="8">124単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基礎教養科目</td></tr>
<tr><td rowspan="2">理数・情報</td></tr>
<tr><td>10単位以上</td><td>18単位以上</td><td>10単位以上</td><td>18単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基礎教養科目</td><td>社会科学
人文科学
保健体育</td><td colspan="4">6単位以上</td></tr>
<tr><td>英語</td><td colspan="4">8単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">(小計)単位数</td><td colspan="4">48単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="3">専門科目</td><td>主専攻</td><td colspan="4" rowspan="2">主専攻5モジュール
または
主専攻4モジュール+
副専攻1モジュール</td></tr>
<tr><td>副専攻</td></tr>
<tr><td colspan="2">(小計)単位数</td><td colspan="4">60単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門科目</td><td>総合研究</td><td colspan="4">12単位以上</td></tr>
</table>

モジュールとはある職能上で必要な知識と技術を修得するために必要な科目12単位以上のまとまりである

デザイン工学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。

但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

卒業要件の総取得単位数は124単位以上、GPAは2.0以上

全学共通科目		10単位以上	22単位以上
共通教養科目	英語を除く共通教養科目		
	英語科目	8単位以上	
データ・サイエンス科目		必修　6単位	必修　14単位
デザイン科目		必修　8単位	選択必修　4単位
エンジニアリング科目		選択必修　4単位	選択64単位以上
プロジェクト科目		必修　14単位 選択　6単位	
総単位数		124単位以上	

建築学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。

但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

以下の卒業要件を満たし、かつGPAは、2.0以上であること。

卒業要件の総取得単位数は124単位以上

基礎・教養科目群	基礎・教養科目群から32単位以上 1．数理基礎科目 必修科目　1単位　を含み「数学科目」・「理科科目」から9単位以上を取得すること。 2．外国語科目 「英語科目」から8単位以上を取得すること。 3．人文社会・情報系教養科目 「人文社会・情報系教養科目」から12単位以上を取得すること。

デザイン工学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。

但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

卒業要件の総取得単位数は124単位以上、GPAは2.0以上

全学共通科目		10単位以上	22単位以上
共通教養科目	英語を除く共通教養科目		
	英語科目	8単位以上	
データ・サイエンス科目		必修　6単位	必修　14単位
デザイン科目		必修　8単位	選択必修　4単位
エンジニアリング科目		選択必修　4単位	選択64単位以上
プロジェクト科目		必修　14単位 選択　6単位	
総単位数		124単位以上	

建築学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。

但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

以下の卒業要件を満たし、かつGPAは、2.0以上であること。

卒業要件の総取得単位数は124単位以上

基礎・教養科目群	基礎・教養科目群から32単位以上 1．数理基礎科目 必修科目　1単位　を含み「数学科目」・「理科科目」から9単位以上を取得すること。 2．外国語科目 「英語科目」から8単位以上を取得すること。 3．人文社会・情報系教養科目 「人文社会・情報系教養科目」から12単位以上を取得すること。

	4. 体育・健康科目		
専門科目群	必修科目　13単位　を含み　72単位以上	総単位数	124単位以上

別表8

納入金

１．学費等

【工学部・システム理工学部・デザイン工学部・建築学部】

	1年次	2年次	3年次	4年次
入学金(一時金)	280,000円			
維持料(年額)	283,000円	283,000円	283,000円	283,000円
授業料(年額)	1,199,000円	1,199,000円	1,299,000円	1,299,000円
休学在籍料(年額)	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円

※再入学の入学金は免除する。

２．科目等履修生の学費等

(1)　審査料　10,000円(ただし、本学卒業生は不要)

(2)　入学金(一時金)　30,000円(ただし、本学卒業生は２分の１額)

(3)　履修料(１単位につき)　15,000円(ただし、本学大学院生は２分の１額

※本学大学院生が教員免許状取得を目的として必要な科目を履修する場合、履修料は不要

３．研究生の学費等

(1)　検定料　35,000円

(2)　登録料　59,000円(ただし、本学卒業生は２分の１額)

(3)　研究指導料(年額)　300,000円(半期　150,000円)

(4)　実験実習料　実費

別表9

学位の種類

工学部

学科・課程名	学位の種類
機械工学課程	学士(工学)
物質化学課程	学士(工学)
電気電子工学課程	学士(工学)
情報・通信工学課程	学士(工学)

	4. 体育・健康科目		
専門科目群	必修科目　13単位　を含み　72単位以上	総単位数	124単位以上

別表8

納入金

１．学費等

【工学部・システム理工学部・デザイン工学部・建築学部】

	1年次	2年次	3年次	4年次
入学金(一時金)	280,000円			
維持料(年額)	283,000円	283,000円	283,000円	283,000円
授業料(年額)	1,199,000円	1,199,000円	1,299,000円	1,299,000円
休学在籍料(年額)	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円

※再入学の入学金は免除する。

２．科目等履修生の学費等

(1)　審査料　10,000円(ただし、本学卒業生は不要)

(2)　入学金(一時金)　30,000円(ただし、本学卒業生は２分の１額)

(3)　履修料(１単位につき)　15,000円(ただし、本学大学院生は２分の１額

※本学大学院生が教員免許状取得を目的として必要な科目を履修する場合、履修料は不要

３．研究生の学費等

(1)　検定料　35,000円

(2)　登録料　59,000円(ただし、本学卒業生は２分の１額)

(3)　研究指導料(年額)　300,000円(半期　150,000円)

(4)　実験実習料　実費

別表9

学位の種類

工学部

学科・課程名	学位の種類
機械工学課程	学士(工学)
物質化学課程	学士(工学)
電気電子工学課程	学士(工学)
情報・通信工学課程	学士(工学)

土木工学課程	学士(工学)
先進国際課程	学士(工学)

システム理工学部

学科名	学位の種類
情報課程	学士(工学)
機械・電気課程	学士(工学)
建築・環境課程	学士(工学)
生命科学科	学士(生命科学)
数理科学課程	学士(数理科学)

デザイン工学部

学科名	学位の種類
デザイン工学科	学士(デザイン工学)

建築学部

学科名	学位の種類
建築学科	学士(建築学)

土木工学課程	学士(工学)
先進国際課程	学士(工学)

システム理工学部

学科名	学位の種類
電子情報システム学科	学士(工学)
機械制御システム学科	学士(工学)
環境システム学科	学士(工学)
生命科学科	学士(生命科学)
数理科学科	学士(数理科学)

デザイン工学部

学科名	学位の種類
デザイン工学科	学士(デザイン工学)

建築学部

学科名	学位の種類
建築学科	学士(建築学)

収容定員に係る学則変更の趣旨等を記載した書類

目次

収容定員に係る学則変更の趣旨等を記載した書類 1
ア　学則変更(収容定員変更)の内容 2
イ　学則変更(収容定員変更)の必要性 2
ウ　学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容 4
（ア） 教育課程の変更内容 4
（イ） 教育方法及び履修指導方法の変更内容 7
（ウ） 教育組織の変更内容 11
（エ） 施設・設備の変更内容 13

ア　学則変更(収容定員変更)の内容

芝浦工業大学（以下「本学」という。）のシステム理工学部について、令和８年度から既存の５学科を募集停止とし、新たに５課程を設置する。あわせて、入学定員を485名から705名とし、収容定員を1,940名から2,820名とする変更を行うため、次のとおり学則を変更する。

・ 電子情報システム学科（入学定員115名、収容定員460名）を募集停止とする。
・ 情報課程を設置し、入学定員を240名、収容定員を960名とする。
・ 機械制御システム学科（入学定員90名、収容定員360名）を募集停止とする。
・ 機械・電気課程を設置し、入学定員90名、収容定員360名とする。
・ 環境システム学科（入学定員90名、収容定員360名）を募集停止とする。
・ 建築・環境課程を設置し、入学定員120名、収容定員480名とする。
・ 生命科学科（入学定員115名、収容定員460名）を募集停止とする。
・ 生命科学課程を設置し、入学定員180名、収容定員720名とする。
・ 数理科学科（入学定員75名、収容定員300名）を募集停止とする。
・ 数理科学課程を設置し、入学定員75名、収容定員300名とする。

イ　学則変更(収容定員変更)の必要性

本学部改組の目的は、「分野横断型教育の強化」「学修者の主体性を発揮させる教育カリキュラムの構築」「特定成長分野（デジタル・Well-being・グリーン）への転換等に貢献できる人材育成の促進」である。中でも「特定成長分野（デジタル・Well-being・グリーン）への転換等に貢献できる人材育成の促進」は、デジタル化の加速度的な進展、少子・超高齢社会時代における人々の健康、そして脱炭素の世界的な潮流を背景にした現代社会の諸課題に応えるために掲げたものである。

デジタル系では、「情報」や「デジタル化」を中心とした急速な社会構造の変革を背景に情報人材の育成の必要性が高まっており、それに応えるために現在の電子情報システム学科（入学定員115名、収容定員460名）を「情報課程」とし、「IoTコース」「ソフトウェアコース」「メディアコース」「データサイエンスコース」を設ける。情報学の特定領域に精通し、かつ他分野と連携してさまざまな社会課題の解決ができる次世代の情報人材をより多く輩出するため、入学定員を240名、収容定員を960名と増員する。

Well-being系では、少子高齢化の進行に伴い医療・福祉への関心が高まる中、人々のWell-beingに貢献できる人材の育成の必要性が高まっている。それに応えるために現在の生命科学科（入学定員115名、収容定員460名）を「生命科学課程」とし、「生命科学コース」「医工学コース」「スポーツ工学コース」を設ける。生命科学の特定領域に精通し、かつ他分野と連携してすべての人々を対象とした健康な生活や福祉の促進に貢献できる人材をより多く輩出するため、入学定員180

名、収容定員720名と増員する。

グリーン系では、災害が多発し気候変動の影響も深刻化する中、豊かに安心して暮らし続けることのできる、強靭で魅力ある持続可能な「まちづくり」に貢献できる人材育成の必要性が高まっている。それに応えるために現在の環境システム学科（入学定員90名、収容定員360名）を「建築・環境課程」とし、「建築コース」「環境・都市コース」を設ける。建築学と環境工学・都市工学の特定領域に精通し、かつ他分野と連携してさまざまな社会課題の解決と持続可能な社会の形成に貢献できる人材をより多く輩出するため、入学定員120名、収容定員480名と増員する。

特定成長分野（デジタル・Well-being・グリーン）における人材需要の社会的動向では、日本の経済産業界から高い需要が見込まれている。システム理工学部は、持続可能な社会の実現に貢献するために、科学技術が社会や自然に及ぼす利点と欠点を見据えて、ひと・もの・ことが関係する現象をシステムと捉え（システム思考）、総合的、学際的に問題解決できる知識やスキルを修得し、世界に貢献する職業人としての倫理観をもつグローバル理工系人材を養成する。

各専門分野に関係する幅広い知識と専門性を持ち、かつシステム思考、アントレプレナーシップ、そしてSDGs貢献などの学際的な教育によって、分野横断的で創造的な問題解決能力を育んだ人材は、特定成長分野（デジタル・Well-being・グリーン）の改革に不可欠である。本学部改組は、学修者の主体的な学修計画を課すために、より自由度の高い教育プログラムを構築するものである。これによって、多様化する経済産業界のニーズに柔軟に対応できる独自のスキルセット（ある仕事を進めるために必要となる知識・技術・能力などの組み合わせ）を持つ人材を輩出する。これらの能力を持つ人材は、特定成長分野を支える、情報・生命科学・環境分野に関する問題を体系的に捉え、システム思考に基づき創造的に問題解決できる能力を持つため、多様な分野での活躍が期待される。

尚、本学部のこれまでの取り組みと改組構想は、文部科学省が進める「デジタル・グリーン等の成長分野をけん引する高度専門人材の育成」を目的とする事業「令和5年大学・高専機能強化支援事業」において、「支援１」に採択され「特筆すべき内容がある」と評価されている。

特筆すべき内容と評価された点は以下の通りである。

・分野横断型のプログラム設計、アントレプレナーシップ教育の充実、海外協定校からのピアレビューで国際的な質を担保する点
・学外からも利用できる研究実験施設及び産学官金連携の拠点となる共同研究拠点を整備し、広く連携ができる施設を整備する点。
・産学官金連携によるPBLに加え、アントレプレナーシップ教育を行うとともに、海外協定大学との国際PBLや時と場所を選ばずに学修できる国際連携環境の構築を行う点。
・女子高生と保護者を対象としたシンポジウムの実施、公募制推薦入試（女子）や理工系女子技術者支援奨学金など、女子学生の確保についての取組を行う点。

ウ 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容

(ア) 教育課程の変更内容

本学部改組の目的である「分野横断型教育の強化」「学修者の主体性を発揮させる教育カリキュラムの構築」「特定成長分野（デジタル・Well-being・グリーン）への転換等に貢献できる人材育成の促進」を推進、実現できる教育組織体制を確立するために、学科制から課程制へ移行することとした。

システム理工学部全体としては、「情報課程」「機械・電気課程」「建築・環境課程」「生命科学課程」「数理科学課程」の5課程体制となる。

本申請書においては上記のうち、収容定員の変更を行う「情報課程」「生命科学課程」「建築・環境課程」について記載する。

本学部改組の目的の中で、特に「分野横断型教育の強化」「学修者の主体性を発揮させる教育カリキュラムの構築」を推進、実現するために、学修者が主体的に自分と社会をつなぐ学修計画を立て、複数の専門分野を横断的につなぐ知識・技能・方法、そして心構えを身につけ、社会の変化に合わせて諸課題と積極的に向き合える力を培う「学際科目」を学部共通の科目として配当する。主体的に学ぶ動機と目的を理解した上で、自身の専門分野に関する基礎力を修得し、その応用力の学修へと進む履修順序を方針として学修カリキュラムを構築している。

また、主専攻モジュール（モジュール：ある職能上で必要な知識と技術を修得するために必要な科目12単位以上のまとまり）に副専攻モジュールを加えることで、分野横断的な学修を促進できるようにしている。

開講科目は、「基礎教養科目」「学際科目」「専門科目」に区分し、「教職課程」の6科目を加えて配置する。

「基礎教養科目」は、「理数・情報科目」「社会科学・人文科学・保健体育科目」「英語科目」で構成し、全ての専門分野の学修を支える基礎力を養う科目群として位置付ける。

「学際科目」は、「SDGs・キャリアデザイン科目」「システム工学科目」「アントレプレナーシップ科目」で構成し、本学部改組の目的に掲げる「分野横断型教育の強化」「学修者の主体性を発揮させる教育カリキュラムの構築」を推進する科目群として位置付ける。

「専門科目」は、5課程11コースで編成する。各科目は、新たな価値を創生し社会に貢献する職業人としてのキャリア形成に必要となるスキルに紐づけられている。スキルに紐づけられた科目のセット（モジュール）を組み合わせることで、主軸となる分野（主専攻）の専門知識と他分野（副専攻）を関連付け、問題解決するための能力を修得することもできる。学生は所属する各課程・コース（主専攻）から4モジュールを完成し、他の課程・コース（副専攻）から1モジュール（主専攻からでもよい）を完成させることを卒業要件とする。

収容定員の変更を行う情報課程では、学修・教育到達目標の達成に強く関与す

る科目を「必修科目」に設定している。また、ディプロマ・ポリシーとして設定されている「専門知識を応用できる能力」は、IoT、ソフトウェア、メディア、データサイエンス分野の情報技術者としてのキャリア形成に必要とされるスキルを具体的に示したモジュール群を履修することで学修・教育到達目標を達成する。モジュール群は、主専攻モジュールと副専攻モジュールで構成される。主専攻モジュールは、情報課程の専門知識やスキルを修得するため、副専攻モジュールは、情報課程の専門知識を他分野と関連付ける分野横断型の知識を修得するために設定されている。

主専攻モジュールのうち、専門基礎モジュールは、IoT、ソフトウェア、メディア、データサイエンス分野の基礎的素養を学修するために必修としている。

IoTコースでは、目指すキャリアの専門基礎を学ぶために、エレクトロニクス・センシングモジュール、データ収集と分析モジュールを、目指すキャリアを見据えた高度な専門知識等を学ぶために、信号処理・制御モジュール、ネットワーク・システムインテグレーションモジュール、情報（情報）教職モジュールを設定している。

ソフトウェアコースでは、目指すキャリアの専門基礎を学ぶために、プログラミングモジュールを、目指すキャリアを見据えた高度な専門知識等を学ぶために、ソフトウェア開発モジュール、情報ネットワークモジュール、機械学習モジュール、情報（情報）教職モジュールを設定している。

メディアコースでは、目指すキャリアの専門基礎を学ぶために、ソフトウェアモジュールを、目指すキャリアを見据えた高度な専門知識等を学ぶために、メディア工学モジュール 、サイバースペースモジュール、メディアデザインモジュール、情報（情報）教職モジュールを設定している。

データサイエンスコースでは、目指すキャリアの専門基礎を学ぶために、社会データサイエンスモジュール、社会シミュレーションモジュール を、目指すキャリアを見据えた高度な専門知識等を学ぶために、データサイエンス実践モジュール、経営経済モジュール、政策科学モジュール、情報（情報）教職モジュールを設定している。

また各コースでは、分野横断型の知識を修得するために副専攻モジュール群、および海外留学を促進する留学モジュールを設定している。

学修・教育到達目標の達成に寄与する主要な科目を「必修科目」「選択必修科目」として設定し、モジュール完成のために必須となる科目を「モジュール必修科目」「モジュール選択必修科目」と設定している。上記以外の科目とモジュール内の科目については、履修者の関心や必要性に応じて自主的に選択する科目を開講しており、卒業・修了要件に含まれるものを「選択科目」、卒業・修了要件に含まれないものを「自由科目」としている。

収容定員の変更を行う建築・環境課程では、学修・教育到達目標の達成に強く関与する科目を「必修科目」に設定している。また、ディプロマ・ポリシーとして設定されている「専門知識を応用できる能力」は、建築、環境・都市分野のエ

ンジニア、プランナー、デザイナーとしてのキャリア形成に必要とされるスキルを具体的に示したモジュール群を履修することで学修・教育到達目標に達成する。モジュール群は、主専攻モジュールと副専攻モジュールで構成される。主専攻モジュールは、建築・環境課程の専門知識やスキルを修得するため、副専攻モジュールは、建築・環境課程の専門知識を他分野と関連付ける分野横断型の知識を修得するために設定されている。

主専攻モジュールのうち、専門基礎モジュールは、建築、環境・都市分野の基礎的素養を学修するために必修としている。つぎに、目指すキャリアを見据えた高度な専門知識を学ぶために、建築コースでは、建築計画モジュール、建築デザインモジュール、建築構造・建築生産モジュール、建築環境・建築設備モジュール、建築・環境（情報・工業）教職モジュールを、環境・都市コースでは、都市計画モジュール、都市デザインモジュール、環境工学・環境政策モジュール、環境ビジネスモジュール、建築・環境（情報・工業）教職モジュールを設定している。また両コース共に分野横断型の知識を修得するために副専攻モジュール群、および海外留学を促進する留学モジュールを設定している。

学修・教育到達目標の達成に寄与する主要な科目を「必修科目」「選択必修科目」として設定し、モジュール完成のために必須となる科目を「モジュール必修科目」「モジュール選択必修科目」と設定している。上記以外の科目とモジュール内の科目については、履修者の関心や必要性に応じて自主的に選択する科目を開講しており、卒業・修了要件に含まれるものを「選択科目」、卒業・修了要件に含まれないものを「自由科目」としている。

収容定員の変更を行う生命科学課程では、学修・教育到達目標の達成に強く関与する科目を「必修科目」に設定している。また、ディプロマ・ポリシーとして設定されている「専門知識を応用できる能力」は、生命科学、医工学、スポーツ工学分野における技術者・研究者としてのキャリア形成に必要とされるスキルを具体的に示したモジュール群を履修することで学修・教育到達目標を達成する。モジュール群は、主専攻モジュールと副専攻モジュールで構成される。主専攻モジュールは、生命科学課程の専門知識やスキルを修得するため、副専攻モジュールは、生命科学課程の専門知識を他分野と関連付ける分野横断型の知識を修得するために設定されている。

主専攻モジュールのうち、専門基礎モジュールは、生命科学・医工学・スポーツ工学分野の基礎的素養を学修するために必修としている。

生命科学コースでは、目指すキャリアの専門基礎を学ぶために、バイオサイエンステクニカルモジュール、ライフサイエンスモジュール を、目指すキャリアを見据えた高度な専門知識等を学ぶために、ヒューマンヘルスモジュール、サステナブルバイオサイエンスモジュール、生命科学（理科・工業）教職モジュールを設定している。

医工学コースでは、目指すキャリアの専門基礎を学ぶために、医工学モジュール、ものづくりモジュールを、目指すキャリアを見据えた高度な専門知識等を学

ぶために、バイオエンジニアリングモジュール、メディカルエンジニアリングモジュール、生命科学（理科・工業）教職モジュールを設定している。

スポーツ工学コースでは、目指すキャリアの専門基礎を学ぶために、ものづくり理論モジュール、エンジニアリングモジュールを、目指すキャリアを見据えた高度な専門知識等を学ぶために、運動理論モジュール、データ計測・解析モジュール、生命科学（理科・工業）教職モジュールを設定している。また各コースでは、分野横断型の知識を修得するために副専攻モジュール群、および海外留学を促進する留学モジュールを設定している。

学修・教育到達目標の達成に寄与する主要な科目を「必修科目」「選択必修科目」として設定し、モジュール完成のために必須となる科目を「モジュール必修科目」「モジュール選択必修科目」と設定している。上記以外の科目とモジュール内の科目については、履修者の関心や必要性に応じて自主的に選択する科目を開講しており、卒業・修了要件に含まれるものを「選択科目」、卒業・修了要件に含まれないものを「自由科目」としている。

上記のとおり、学修者自身の目的、興味に合ったモジュールを自由に組み合わせて学修計画を立てることができる。学生は、課程・コースをまたいで分野別の専門科目モジュールを活用することで、効果的・効率的に他分野の学びを進めることができる。収容定員の変更にあたり、これら教育課程の変更内容において変更前と比較して、学修者の主体性、分野横断性、特定成長分野への貢献度を一層高めた内容としている。

【資料１】教育課程の概要

（イ） 教育方法及び履修指導方法の変更内容

本学部改組の目的である「学修者の主体性を発揮させる教育カリキュラムの構築」の推進、実現と学修成果の向上を目指し、講義科目、演習を含む講義科目、実験・実習科目と、授業内容に適した授業方法を設定している。また、複数教員による授業や、ラーニングマネジメントシステム（LMS）やオンライン・メディア等の情報技術を活用した授業、およびティーチング・アシスタントを活用した授業等を取り入れることで、実質的な担当学生数が過度に多くならないよう工夫している。

全学部生が履修する学際科目の「システム工学A、B（演習を含む講義科目・必修）」では、学生の主体的学修の促進と学修成果の向上を目指し、事前課題を提示した学生同士の教え合いを導入した反転授業とSDGsの目標に対する企画提案プロジェクトを学部全体で実施している。講義は、反転授業の形式で複数の教室に分けて実施する。プロジェクト演習の実施体制は、1チーム10名程度のグループで構成する。各グループには、講義担当教員を含む複数の教員とティーチング・アシスタントを配置し、プロジェクトのマネジメントを行う。

各課程においての履修指導は、学年別に「履修指導担当教員」を配置し、個々の学生の学修状況に合わせたきめ細かな履修指導を行っている。また、上述した全学部共通の「学際科目」に「SDGs・キャリアデザイン科目」を配当する。「SDGs科目」では、学修者の学びがいかなる社会の課題と結びつくのかを知る機会（社会起点）、「キャリアデザイン科目」では、学修者が目指したい人材像を自ら描いてみる機会（自分起点）を提供し、社会が抱える課題や取り組み、および分野横断性の必要性を学ぶことで、主体的に自らの学修計画を立案させる履修指導を行う。

収容定員の変更を行う情報課程では、1年次には、学際科目のSDGs・キャリアデザイン科目にて、学修者が目指したい人材像を自ら描き、学ぶ動機や意欲を形成する「未来を創る1」と、学修者の学びがいかなる社会の課題と結びつくのかを知る機会を提供する「SDGs入門」を配置する。基礎教養科目では、全ての分野に共通する教養力、職業倫理、自然科学や情報技術の知識を修得することで専門分野を支える基礎力を身につけられるように配置する。専門科目では、「主専攻モジュール」の「専門基礎モジュール」を配置することで、情報分野の基礎的専門知識・技術を学修する。1年次から、全コースで、「専門基礎モジュール」において、分野の基礎知識や技術を将来の応用に結びつける能力を修得できる。自身の学びの動機となる社会課題を総合的、学際的に解決するために、「副専攻モジュール」を配置することで、分野横断型の知識と行動力の修得を開始できる。

2年次には、分野を越えて複数の専門領域をつなぐためのシステム思考とシステム工学の知識・技能・方法を学修するために「システム工学A」「システム工学B」を配置する。専門科目では、目指すキャリアの主軸となる分野を選択するために、各コース複数のモジュールを配置し、主軸となる分野を選択し、専門分野の基礎的素養を学修する。例えば、IoTコースの「エレクトロニクス・センシングモジュール」では、1年次後期に「フロントエンドとインタフェース基礎」、2年次前期に「センサとアクチュエータ」、2年次後期に「組込みシステム」および「エレクトロニクスプロジェクト」を配置することで、授業内容が基礎から応用へと円滑に接続するように考慮されている。また、「副専攻モジュール」を学修することで、分野横断型の知識と行動力の修得を進める。2年次後期には、学際科目のSDGs・キャリアデザイン科目にて「未来を創る2」を配置する。「未来を創る1」で立てた学修計画を基に、めざす職業や職能を具体化し、実現するための研究内容を構想し、3年次以降の総合研究で取り組むべき方向性を策定する。

3年次には、学際科目のアントレプレナーシップ科目にて「アントレプレナーシップA」を配置する。2年次のシステム工学教育により得られた知識を組み合わせ、社会の課題を解決するアイデアを実現するための行動力を学修する。専門科目では、目指す職業や職能を具体化していくために、IoTコースでは、「信号処理・制御モジュール」「ネットワーク・システムインテグレー

ションモジュール」「情報（情報）教職モジュール」から、ソフトウェアコースでは、「ソフトウェア開発モジュール」「情報ネットワークモジュール」「機械学習モジュール」「情報（情報）教職モジュール」から、メディアコースでは、「メディア工学モジュール」「サイバースペースモジュール」「メディアデザインモジュール」「情報（情報）教職モジュール」から、データサイエンスコースでは、「データサイエンス実践モジュール」「経営経済モジュール」「政策科学モジュール」「情報（情報）教職モジュール」から複数選択し、キャリアを見据えた高度な専門知識を修得する。これらのモジュール群は、総合研究を進めて行く上での基礎知識となる。

3年次前期の「総合研究1」から開始し「総合研究2」、4年次の「総合研究3」「総合研究4」まで、段階的に研究活動を実践することで、持続可能な社会の実現へ向けて、社会や科学における取り組むべき課題を自ら設定し、総合的、学際的な視野に立って、理工学分野の専門知識と技術を活用した問題解決力を学修する。

収容定員の変更を行う建築・環境課程では、1年次には、学際科目のSDGｓ・キャリアデザイン科目にて、学修者が目指したい人材像を自ら描き、学ぶ動機や意欲を形成する「未来を創る1」と、学修者の学びがいかなる社会の課題と結びつくのかを知る機会を提供する「SDGs入門」を配置する。基礎教養科目では、全ての分野に共通する教養力、職業倫理、自然科学や情報技術の知識を修得することで専門分野を支える基礎力を身につけられるように配置する。専門科目では、「主専攻モジュール」の「専門基礎モジュール」を配置することで、建築・環境分野の基礎的専門知識・技術を学修する。1年次から、建築、環境・都市の両コースで、「専門基礎モジュール」において、分野の基礎知識や技術を将来の応用に結びつける能力を修得できる。自身の学びの動機となる社会課題を総合的、学際的に解決するために、「副専攻モジュール」を配置することで、分野横断型の知識と行動力の修得を開始できる。

2年次には、分野を越えて複数の専門領域をつなぐためのシステム思考とシステム工学の知識・技能・方法を学修するために「システム工学A」「システム工学B」を配置する。専門科目では、目指すキャリアの主軸となる分野を選択するために、各コース複数のモジュールを配置し、主軸となる分野を選択し、専門分野の基礎的素養を学修する。例えば、建築コースの「建築デザインモジュール」では、2年次前期に「建築設計情報演習」、後期に「建築デジタルデザイン演習」を配置することで、授業内容が基礎から応用へと円滑に接続するように考慮されている。また、「副専攻モジュール」を学修することで、分野横断型の知識と行動力の修得を進める。2年次後期には、学際科目のSDGｓ・キャリアデザイン科目にて「未来を創る2」を配置する。「未来を創る1」で立てた学修計画を基に、めざす職業や職能を具体化し、実現するための研究内容を構想し、3年次以降の総合研究で取り組むべき方向性を策定する。

3年次には、学際科目のアントレプレナーシップ科目にて「アントレプレナーシップA」を配置する。2年次のシステム工学教育により得られた知識を組み合わせ、社会の課題を解決するアイデアを実現するための行動力を学修する。専門科目では、目指す職業や職能を具体化していくために、建築コースでは、「建築計画モジュール」「建築デザインモジュール」「建築構造・建築生産モジュール」「建築環境・建築設備モジュール」「建築・環境（情報・工業）教職モジュール」から、環境・都市コースでは、「都市計画モジュール」「都市デザインモジュール」「環境工学・環境政策モジュール」「環境ビジネスモジュール」「建築・環境（情報・工業）教職モジュール」から複数選択し、キャリアを見据えた高度な専門知識を修得する。これらのモジュール群は、総合研究を進めて行く上での基礎知識となる。

3年次前期の「総合研究1」から開始し「総合研究2」、4年次の「総合研究3」「総合研究4」まで、段階的に研究活動を実践することで、持続可能な社会の実現へ向けて、社会や科学における取り組むべき課題を自ら設定し、総合的、学際的な視野に立って、理工学分野の専門知識と技術を活用した問題解決力を学修する。

収容定員の変更を行う生命科学課程では、1年次には、学際科目のSDGｓ・キャリアデザイン科目にて、学修者が目指したい人材像を自ら描き、学ぶ動機や意欲を形成する「未来を創る1」と、学修者の学びがいかなる社会の課題と結びつくのかを知る機会を提供する「SDGs入門」を配置する。基礎教養科目では、全ての分野に共通する教養力、職業倫理、自然科学や情報技術の知識を修得することで専門分野を支える基礎力を身につけられるように配置する。専門科目では、「主専攻モジュール」の「専門基礎モジュール」を配置することで、生命科学分野の基礎的専門知識・技術を学修する。1年次から、全コースで、「専門基礎モジュール」において、分野の基礎知識や技術を将来の応用に結びつける能力を修得できる。自身の学びの動機となる社会課題を総合的、学際的に解決するために、「副専攻モジュール」を配置することで、分野横断型の知識と行動力の修得を開始できる。

2年次には、分野を越えて複数の専門領域をつなぐためのシステム思考とシステム工学の知識・技能・方法を学修するために「システム工学A」「システム工学B」を配置する。専門科目では、目指すキャリアの主軸となる分野を選択するために、各コース複数のモジュールを配置し、主軸となる分野を選択し、専門分野の基礎的素養を学修する。例えば、生命科学コースの「バイオサイエンステクニカルモジュール」では、1年次後期に「生命科学実験（基礎）」、2年次前期に「生命科学実験（応用）」、2年次後期に「生命科学実験（発展）」を配置することで、授業内容が基礎から応用へと円滑に接続するように考慮されている。また、「副専攻モジュール」を学修することで、分野横断型の知識と行動力の修得を進める。2年次後期には、学際科目のSDGｓ・キャリアデザイン科目にて「未来を創る2」を配置する。「未来を創る1」

で立てた学修計画を基に、めざす職業や職能を具体化し、実現するための研究内容を構想し、3年次以降の総合研究で取り組むべき方向性を策定する。

3年次には、学際科目のアントレプレナーシップ科目にて「アントレプレナーシップA」を配置する。2年次のシステム工学教育により得られた知識を組み合わせ、社会の課題を解決するアイデアを実現するための行動力を学修する。専門科目では、目指す職業や職能を具体化していくために、生命科学コースでは、「ヒューマンヘルスサイエンスモジュール」「サステナブルバイオサイエンスモジュール」「生命科学（理科・工業）教職モジュール」から、医工学コースでは、「バイオエンジニアリングモジュール」「メディカルエンジニアリングモジュール」「生命科学（理科・工業）教職モジュール」から、スポーツ工学コースでは、「運動理論モジュール」「データ計測・解析モジュール」「生命科学（理科・工業）教職モジュール」から複数選択し、キャリアを見据えた高度な専門知識を修得する。これらのモジュール群は、総合研究を進めて行く上での基礎知識となる。

3年次前期の「総合研究1」から開始し「総合研究2」、4年次の「総合研究3」「総合研究4」まで、段階的に研究活動を実践することで、持続可能な社会の実現へ向けて、社会や科学における取り組むべき課題を自ら設定し、総合的、学際的な視野に立って、理工学分野の専門知識と技術を活用した問題解決力を学修する。

以上のとおり、収容定員の変更にあたり、これら「教育方法及び履修指導方法」において、変更前と比較して、学修者の主体的な学修計画の実践、分野横断的学修への意欲の醸成をより図り、さらに専門分野における基礎力からキャリアを見据えた高度な専門知識の修得への履修順序の合理性を一層高めた内容としている。

（ウ） 教育組織の変更内容

本学部に所属する教員の内訳は次のとおりであり、所属する教員が各課程の基幹教員として教育・運営の中核を担っている。大学設置基準において定める必要基幹教員数は50名であるが、本学部に所属する基幹教員は75名となり、設置基準において定める必要基幹教員数の1.5倍の教員数となる。

以上のとおり、収容定員の変更にあたり教員組織においては必要十分な内容を担保している。

① 教員の任用と配置について

システム理工学部では、大学の教育理念と長期ビジョン〔Centennial SIT Action（CSA）〕に向けた期首目標、中期経営目標の達成を鑑みて、システム理工学部教員資格審査委員会審査方法に関する内規で定める教員に求められる能力・資質を有し、学部・課程のディプロマ・ポリシー

とカリキュラム・ポリシー、ならびにアドミッション・ポリシーを具現するのにふさわしい教員を配置することを基本方針とする。

学修・教育到達目標の達成につながる教育や研究等の実施に適した専門領域を明確化し、各専門領域でバランスのとれた教員構成を編成し、法令で必要とされる数よりも多い75名で構成されている。教員構成は、各課程の「専門科目」を担当する基幹教員と学部に共通する「基礎教養科目」および「学際科目」を担当する基幹教員で構成されている。「専門科目」を担当する基幹教員が、「基礎教養科目」および「学際科目」を担当することもある。

システム理工学部の教員組織の編成方針は以下のとおりである。

システム理工学部は、幅広い教養、国際性および理工学に対する体系的な知識を身につけ、 総合的問題解決のためのシステム工学の思考と手法を活用し、持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成することを目的としている。これを実現するために、以下の方針により教員組織を編成する。

(1) 学部のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに深い理解と共感をもち、高い倫理観と社会性を有した教員を採用する。
(2) システム工学に造詣が深く、高度な専門知識を備えた実践的な教育を行える教員を配置する。
(3) 最先端の研究を通じて学術の発展に寄与し、その成果を教育にフィードバックできる教員を配置する。
(4) グローバル・コミュニケーション能力に富み、産学官および地域との連携を通じて、社会の持続的発展に寄与できる教員組織を編成する。

② 主要授業科目を担当する教員配置について

主要授業科目（必修科目、選択必修科目）を担当する基幹教員の任用は、公募要領に、研究分野（大分類／小分類）、応募資格（学位、本学の教育理念の理解、研究実績と計画、語学能力、担当科目）について明示し、詳細な提出書類を求め、面接では担当科目の模擬授業を課し、教育・研究方針について十分質疑応答するなど、責任を果たせる能力を全課程から選出された複数の選考委員によって確認することとしている。

システム理工学部では、学部・課程の教育理念・目的から、1つの科目を複数の教員が（ときに分野横断的に）分担することもある。その場合は、代表となる主担当教員（基幹教員）を置き、授業全体の進行、最終的な成績評価を責任をもって行なう体制としている。

学修・教育達成目標に到達する科目の整合性や適合性についての妥当性確認は、年1回の教育イノベーション推進センターが主導し、カリキュ

ラムの整合性チェックを教員相互で実施し、個々の教員のみで判断することのないようにしている。

本学教員は、必要に応じて教育課程や授業方法の開発、および改善につなげる研修（教育イノベーション推進センター主催）を受講することができる。また、教員の教育能力向上のための組織的な機会創出として、全学的なFD委員会の活動を行い、定期的にFD・SD研修会を実施している。これによって、教育課程の改革や実施体制の再整備を担うための教育能力の向上を図っている。

③　実務経験のある教員による授業科目について

本学部改組の目的である「特定成長分野（デジタル・Well-being・グリーン）への転換等に貢献できる人材育成の促進」を実現するためには、社会情勢や社会ニーズに柔軟に対応できる教育内容と体制の整備が不可欠であり、大学教育と実務をつなぐ学修科目を編制する上で、実務経験のある基幹教員（専任教員）が重要な役割を担っている。官公庁管理職、企業研究所主任研究員、総合研究所主任研究員、大手ゼネコン研究者・技術者・設計者、著名建築家建築設計事務所設計者、海外建築設計事務所設計者、民間企業研究所デザイナー等、多彩な実務的職歴を有する基幹教員を数多く配置している。

また、各課程において、卒業に修得が必要となる単位数の1割以上、実務経験のある教員による授業科目を配置し、学生がそれらを履修できる環境を整えている。シラバスには「実務経験のある教員による授業科目」の情報を記載し、「実務経験のある教員による授業科目」である場合は、履修する学生にわかりやすく伝えるために、「その実務経験を生かしてどのような教育を行っているか」を具体的に明記している。

（エ） 施設・設備の変更内容

本学部は、埼玉県さいたま市見沼区深作にある大宮キャンパスに設置されている。約17万㎡の敷地を有し、グリーンキャンパスの愛称で親しまれる緑豊かなキャンパスである。敷地内には、芝生広場や休憩スペースも多く設けられ、開放感溢れるキャンパスである。また、総合グラウンドや多目的コート、バレーコート、テニスコート、弓道場、アーチェリー場等、各種の運動施設をキャンパスに整備している。

校舎としては、収容定員増のための増床と本学部改組の目的である「特定成長分野（デジタル・Well-being・グリーン）への転換等に貢献できる人材育成の促進」を実現するための新施設を令和７年12月に完成させる。本新施設の規模・構造は、地上7階、延床面積21,720.63㎡、構造は鉄筋コンクリート造（一部S造）であり、研究室・学生実験室群（2つのオープンラボを含む）、教室群、自主学修スペース群、学外関係者も使用できる実験施設群、地域健康増進センター、産学官連携コーナー、体育館、サブアリーナなどを整備する。

既存施設としては、2～8号館の校舎、先端工学研究機構棟、齋藤記念館、大

学会館、第1～3学生クラブハウス、生協・食堂棟を配置し、敷地に隣接して国際学生寮、白亜寮等を配置している。各校舎には、研究室・学生実験室群、教室群、実験・実習室群、PC教室群等を設けている。その他、全学共用の教育研究設備として、最先端機器から汎用機器に至るまで多種多様な機器を備える共通機器センターとものづくりセンターを整備し、学生・教員の教育研究を支援する施設を整備している。

大宮図書館の延床面積は、2,779.04㎡であり、収容能力冊数約10万冊、座席数434席となっている。PC2台を設置したエリア、個室30部屋、グループ学習10部屋、ゼミナール室1部屋を備えている。資料利用促進のため、資料別や授業対応等、多様なガイダンスを実施すると共に、関連した動画や案内を作成し、図書館ホームページ等で公開し、支援を進めている。図書館での貸出しは、一人30冊まで可能である。また、他大学所蔵資料利用の利便性を高めるため、ILL（図書館間相互貸借システム）を無料化し、教育研究への支援を行っている。

本学部改組の開設年度における図書数は、大宮キャンパスで約9.5万冊であり、継続的に充実を図っている。デジタルデータベース、および電子ジャーナルの需要は年々高まっており、大宮キャンパス内、および自宅（学内ネットワーク経由）から24時間利用できるように、利用条件等の基盤整備を推進している。導入した電子資料をより有効活用するため、さまざまな電子媒体を同一のインタフェースで検索できるディスカバリーサービス「SIT Search」の利便性を向上させている。これまで紙媒体で契約してきた雑誌や学会誌等も媒体変更を進め、デジタル技術を活用した電子図書館の構築を推進している。

尚、本学部改組後の教育課程を合理的に運営していくために必要な教育研究の支援施設・設備の容量ついては、時間割の作成等を通じてシミュレーションを行い確認できている。

以上のとおり、収容定員の変更にあたり、これら施設・設備整備が、変更前と比較して、学生・教職員の教育研究活動を支える機能性を一層高めた内容となっていることを確認できる。

以　上

収容定員に係る学則変更の趣旨等を記載した書類

≪資料目次≫

資料１　教育課程の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（システム理工学部　生命科学課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
学際科目	ＳＤＧｓ・キャリアデザイン	SDGs入門	1前	○	2			○			1						
		未来を創る1	1前	○	2			○			1						※演習
		未来を創る2	2後	○	1			○			1						※演習
		ダイバーシティ入門	1前・後			2		○								1	
		インターンシップ	2前・後			2		○			2						※演習、共同
		芝浦工業大学通論	1前・後			2										1	
		小計(6科目)		－	5	6		－			3					2	
	アントレプレナーシップ	アントレプレナーシップA（価値創造）	3前	○	2			○			1	1				1	共同
		アントレプレナーシップB（事業創出）	3後			2		○			1	1				1	共同
		経営工学	２前			2		○				1					
		産学官金連携PBL	3前・後			2		○			2						※演習、共同
		会計簿記	３後			2		○								1	
		小計(5科目)		－	2	8		－			2	1				2	
	システム工学	システム工学Ａ（システム計画方法論）	2前	○	3			○	○		3	1					※演習、共同
		システム工学Ｂ（数理計画法）	2後	○	3			○	○		3	1					※演習、共同
		プロジェクトマネジメント	3前			2		○								1	
		Advanced Systems Science and Engineering1	2前・後			2		○			2	1					共同
		Advanced Systems Science and Engineering2	2前・後			2		○			2	1					共同
		信頼性工学	3後			2		○								1	
		人間工学	2前			2		○								1	
		サイバーセキュリティと社会	3後			2		○				1					
		小計(8科目)		－	6	12		－			3	2				3	
	理数・情報	微分積分１	1前			2		○								2	
		微分積分２	1後			2		○								2	
		線形代数1	1前			2		○				1				1	
		線形代数2	1後			2		○								2	
		力学1	1前			2		○			1					1	
		力学2	1後			2		○								1	
		波動・熱力学	1後			2		○								1	
		電磁気学	2前			2		○			2						
		生物学	1前			2		○			1						
		化学	1前			2		○			1	1					オムニバス
		現代物理学概論	2後			2		○			1						
		情報基礎	1前	○	3			○			2	2		1			共同
		AI基礎	2後	○	1			○			2	1		1			共同、標準外
		統計学基礎	1前	○	1						2	1		1			共同、標準外
		データサイエンスリテラシー	1後	○	1						2	1		1			共同
		小計(15科目)		－	6	22		－			6	4		1		6	
	社会科学	科学技術史	1後			2		○								1	
		科学技術と社会	1前			2		○								1	
		行政学	1後			2		○								1	
		政治学	1後			2		○								1	
		社会福祉論	1前			2		○								1	
		情報社会と法	1前			2		○								1	
		日本国憲法	1後			2		○								1	
		社会学概論	1後			2		○			1						

基礎教養科目		人間と自然環境	1後			2		○								1	
		教育社会学	1前・後			2		○								1	
		小計(10科目)		－		20		－			1					8	
	人文科学	哲学1	1前			2		○								1	
		哲学2	1後			2		○								1	
		倫理学	1前・後			2		○								1	
		生命倫理概論	1前・後			2		○								1	
		技術者と倫理	3前			2		○								1	
		世界史A	1前			2		○								1	
		世界史B	1前			2		○								1	
		国際デザイン史	1後			2		○			1						
		認知心理学	1前			2		○								1	
		組織心理学	1後			2		○								1	
		教育の近現代史	1前・後			2		○				1					
		教育原論	1前・後			2		○				1					
		人間関係論	1前・後			2		○								1	
		小計(13科目)		－		26		－			1	1				6	
	保健体育	体育実技１	1前・後			1			○		4	3				10	
		体育実技２	1前・後			1			○		4	3				10	
		からだの仕組みと運動	1前			2		○								1	
		身体運動のメカニズム	1後			2		○								1	
		健康科学論Ａ	1前			2		○								2	
		健康科学論Ｂ	1後			2		○								1	
		小計(6科目)		－		10		－			4	3				12	
	英語	English Basic Skills 1	1前			2		○			1					5	
		English Basic Skills 2	1後			2		○								5	
		English Advanced Skills 1	1前			2		○			1					2	
		English Advanced Skills 2	1後			2		○			1					2	
		English Remedial Course 1	1前				2	○								2	
		English Remedial Course 2	1後				2	○								2	
		Basic English for Science and Technology 1	2前			2		○			1					3	
		Basic English for Science and Technology 2	2後			2		○			1					3	
		Advanced English for Science and Technology 1	2前			2		○			1					3	
		Advanced English for Science and Technology 2	2後			2		○								3	
		理工系英語プレゼンテーション	2前・後			2		○			1						
		海外英語研修1	1前・後			2			○		1						標準外
		海外英語研修2	1前・後			2			○		1						標準外
		海外短期英語研修1	1前・後			1			○		1						標準外
		海外短期英語研修2	1前・後			1			○		1						標準外
		学外英語検定1	1前・後			2			○		1						標準外
		学外英語検定2	1前・後			2			○		1						標準外
		小計(17科目)	－	－		28	4	－			3					12	
教職課程		事前・事後指導	3前・後				1	○			1	1					共同
		教育実習１	3前・後				2			○	1	1					共同
		教育実習２	3前・後				2			○	1	1					共同
		教職実践演習（中・高）	4前・後				2		○		1	1					共同
		教職インターンシップ１	1前・後				1		○		1	1					共同
		教職インターンシップ２	1前・後				1		○		1	1					共同
		小計(6科目)	－	－			9	－			1	1					

		Advanced Bioscience	2前			2		○			5	2						オムニバス
		Basic Bioscience	1後			2		○				1						
		Basic Control Engineering	2後			2		○			1							
		CAD/CAM演習	3前	○		3			○		1	1						オムニバス
		Genetic Engineering	3前			2						1						
		医工学概論	1前	○		1		○			3	4						オムニバス
		Introduction to Biomedical-Engineering	1後			1		○			3	4						オムニバス
		Introduction to Control Engineering	2前			2		○			1							
		Introduction to Embedded Programming	1前			2		○			3	1						
		Global Project-Based Learning 1	2前後			2			○		3	2						標準外、共同
		Global Project-Based Learning 2	2前後			2			○		3	2						標準外、共同
		Global Project-Based Learning 3	2前後			2			○		3	2						標準外、共同
		健康データサイエンス	3後			2		○				1						
		健康長寿学	3後			2		○			1							
		スポーツ工学実験演習1	2前	○		3			○		2	1						オムニバス
		スポーツ工学実験演習2	2後	○		3			○		2	1						オムニバス
		健康行動栄養学	3前			2		○				1						
		スポーツ画像工学	3後			2		○			1							
		スポーツ信号処理	2前			2		○				1						
		応用バイオメカニクス	3前			2		○				1						
		映像メディア解析	3前			2		○			1							
		スポーツ工学とSDGs	3前			2			○			1						
		スポーツ工学概論	1後			2		○			3	2						オムニバス
		スポーツ工学研究法	3前			2		○			1							
		生理学	1後	○		2		○			1							
		体力医科学	2後			2		○			1							
		データ解析	1後			2		○			1	1						
		データサイエンス入門	1前			1		○			2	1		1				オムニバス
		バイオイメージング	3後			2		○				1						
		バイオエレクトロニクス	3後			2		○			1							
		バイオエンジニアリング実験	3後			3			○			1						
		バイオマテリアル	3前			2		○				1						
		バイオメカニカルエンジニアリング	3後			2		○				1						
		バイオメカニクス	3前			2		○			1							
		Python入門	1前	○		1		○			1			1				共同
		Pythonプログラミング	1後	○		2		○				1						
		バイオレオロジー	3前			2		○			1							
		メカトロニクス	3前			2						1						
		メディア認知心理・人間工学	2前			2		○			1							
		メディカルエンジニアリング実験	3後			3			○		1	1						共同
		ものづくり工学	3前			2		○			2							オムニバス
		ロボティクス	3前			2		○			1							
		医学・医療概論	1後			2		○				1						
		医工学エレクトロニクス演習	2前	○		2			○			2						共同
		医工学セミナー	2後	○		2		○			3	4						オムニバス
		医工学プログラミング演習	3前	○		3			○		1							
		運動生理学	2前			2		○				1						
	主専攻	解剖学	1前	○		2		○				2						オムニバス
		環境化学	3後			2		○			1							
		機械・電気基礎数学	2前			2		○			1							
		機械設計製作演習	2後	○		3			○		1	2						共同
		機械力学	1前			2		○				1						
		機構学	1前			2		○			1							
		機能解剖学	2前			2		○			1	1						オムニバス
		公衆衛生学	3後			2		○				1						
		構造解析学	3後			2		○			1	1						オムニバス
		細胞生理学	3後			2		○			1							
		材料力学	2後			2		○			1							
		食品栄養学	2後			2		○				1						
		神経生理学	2前			2		○			1							
		人工知能基礎	2前			2		○				1						

		制御工学	2後			2		○			1							
		生化学	2前	○		2		○				1						
		生体計測学	2前			2		○			1							
		生物地球化学	2後			2		○			1							
		生物物理学	3前			2		○			1							
		生命科学概論	1前			2		○			5	2						オムニバス
		生命科学実験（基礎）	1後	○		4			○		5	2						オムニバス
		生命科学実験（応用）	2前	○		4			○		2	2						オムニバス
		生命科学実験（発展）	2前後	○		4			○		2	1						オムニバス
		生命統計学	1後			2		○			1							
		創薬化学	3後			2		○			1							
		電気電子回路	2前	○		2		○				1						
		脳機能計測学	3前			2		○			1							
		発生生物学	2後			2		○			1							
		微生物学	3前			2		○				1						
		分子遺伝学	3後			2		○			1							
		分子生物学	2後			2		○				1						
		分析化学	1後			2		○			1							
		保健医療福祉政策概論	1前			2		○			1							
		薬理学	3前			2		○				1						
		有機化学	1後			2		○			1							
		流れ学	2後			2		○			1							
		Cross-cultural Student Support	1前後			1		○			1							
		理科指導法1	2前後			2		○			1							
		理科指導法2	2前後			2		○			1							
		理科指導法3	3前後			2		○			1							
		理科指導法4	3前後			2		○			1							
		工業科指導法１	2前後			2		○								1		
		工業科指導法2	2前後			2		○								1		
		職業指導	1前後			2		○								1		
		工学基礎概論	1前後			1		○			1							
		教育におけるICT活用	1前後			1		○								2		
		教育の方法及び技術	1前後			1		○								2		
		総合科学実験	1後			1				○						2		
		小計(95科目)	－	－		194		－			19	9		1		5		
専門科目		教職論	1前後			2		○			1							
		特別活動の指導法	2前後			1		○								1		
		総合的な学習の時間の指導法	2前後			1		○								1		
		道徳の理論及び指導法	2前後			2		○				1						
		生徒・進路指導論	1前後			2		○								1		
		教育課程論	1前後			2		○								1		
		教育相談論	1前後			2		○								1		
		教育心理学	1前後			2		○								1		
		特別支援教育論	1前後			1		○								1		
		IoT基礎	1前			2		○			1							
		IoT設計論	2前			2		○			1							
		電気回路	1後			2		○			1	1						共同
		フロントエンドとインタフェース基礎	2前			2		○			1							
		センサとアクチュエータ	2前			2		○			2			1				オムニバス・共同（一部）
		ディジタル信号処理	2前			2		○								1		
		数値解析	2前			2		○				1						
		電子回路	2後			3		○								1		※演習、共同
		プログラミング入門	1前			1		○			1			1				共同
		社会シミュレーション入門	1後			1		○			2	1		1				オムニバス
		ゲーミング入門	1後			1		○			2	1		1				オムニバス
		Cプログラミング(情報)	1後			3		○				2						※演習、オムニバス
		データ構造とアルゴリズム	2前			3		○			1							
		オブジェクト指向言語	2前			2		○			1							※演習
		モバイルプログラミング	3後			2		○			1							
		ネットワークプログラミング	3前			2		○			1							
		Computer Simulation	3前			2		○								1		

		ソフトウェア設計論	3前			2		○			1						
		ソフトウェア開発管理	2前			2		○			2						オムニバス
		現代的ソフトウェア構築技法	2後			2		○			1						
		ゲームプログラミング	3後			2		○			1						
		データベース	2後			2		○								1	
		情報セキュリティ	3後			2		○				1					
		インターネットプロトコル	1後			2		○			1						
		情報理論	1前後			2		○			1						メディア
		符号理論	3後			2		○			1						
		ネットワークアプリケーション	2後			2		○				1					
		ICT Systems Design	3前			2		○				1					
		クラウドコンピューティング	3後			2		○			1						
		メディア処理基礎	1前			2		○			2						オムニバス
		メディア処理1	2後			2		○			1						
		メディア処理2	3前			2		○			1						
		音声音響情報処理	2前			2		○			1						
		自然言語処理	2後			2		○								1	
		画像情報処理	1後			2		○			1						
		コンピュータグラフィックス	2前			2		○			1						
		VR/AR1	2後			2		○			1						
		VR/AR2	3前			2		○			1						
		ヒューマンコンピュータインタラクション	3後			2		○			1						
		サイバーセキュリティ	3前			2		○				1					
		エンタテインメントコンピューティング	2前			2		○			1						
		メディアデザイン1	2後			2		○			1						
		メディアデザイン2	3前			2		○			1						
		メディア表現基礎	1後			2		○			1						
		メディア表現応用	2後			2		○			1						
		メディアコンテンツビジネス	3後			2		○				1					
	副専攻	社会システム入門	1前			1		○			2	1		1			オムニバス・共同（一部）
	副専攻	システム科学	4前			2		○			2	1		1			共同
	副専攻	社会システム実践演習	3後			3		○			2	1		1			共同
		データサイエンス応用	2後			3		○			1			1			※演習、共同
		数理シミュレーション	2後			3		○				1		1			※演習、共同
		シミュレーション&ゲーミング	2後			2		○			2						
		消費者行動論	1前			2		○			1	1					
		社会調査法	1前			2		○			1			1			
		ビジネスエコノミクス	1前			2		○			1						
		金融・経済リテラシー	1後			2		○			1						
		マーケティング論	1前			2		○								1	
		クリエイティブ産業論	1後			2		○			1						
		機械・電気システムセミナー	2後			2		○			10	1		1			オムニバス
		電気機器システム	1前			2		○						1			
		材料・加工学	1後			2		○								1	
		Introduction to Industrial Design	2前			2		○			1						
		機械計測工学	2前			2		○				1					
		自動車工学	3後			2		○			1						
		建築史	1後			2		○			1						
		建築基礎演習	1後			2		○			3	1				1	オムニバス・共同（一部）
		建築構造基礎	1後			2		○			1						
		建築計画基礎	2前			2		○				1					
		建築環境設備基礎	2前			2		○			1						
		建築設計情報演習	2前			2		○				1				1	共同
		建設プロジェクトマネジメント	3前			2		○			1						
		建築材料	3前			2		○								1	
		建築生産・施工	3後			2		○			1						
		建築環境工学	2後			2		○			1						
		建築構造設計	3前			3		○			1						※演習
		建築構造力学1	2前			2		○			1						
		建築構造力学2	2後			2		○			1						

		環境・都市基礎	1後			2		○			5	1					オムニバス
		環境・都市基礎演習	1後			1			○		5	1					オムニバス
		SDGsと環境	1前			2		○			1						
		都市計画基礎	2前			2		○			1						
		都市計画演習	2前			1			○		1						
		都市環境デザイン	3前			2		○			1						
		都市及び都市計画史	1前			2		○			1						
		都市・地域システム計画	3前			2		○			4	1					オムニバス
		Global Governance and Sustainable Strategy	2後			2		○			1						
		土地利用計画	2後			3		○			1						※演習
		景観・ランドスケープデザイン	3後			2		○			1						
		資源・エネルギーシステム論	2前			3		○			1						※演習
		環境政策	3前			2		○			1						
		環境ビジネス	2後			3		○			1						※演習
		脱炭素と地域創発	3前			2		○			1						
		論理と集合	1前			2		○			1						
		解析基礎	1後			2		○			1						
		代数学1	2前			2		○						1			
		幾何学1	2前			2		○				1					
		ベクトル解析	3前			2		○			1						
		複素解析	2後			2		○			1						
		数値解析1	2前			2		○			1						
		数理計画法	2前			2		○			1						
		現象の数理	2前			2		○			1						
		数理科学概論	1後			2		○			8	4		1			オムニバス
		金融工学	3前			2		○				1					
		保険数学	3前			2		○				1					
		小計（114科目）	—			227		－			38	11		3		12	
	総合研究	総合研究１	3前	○	2					○	12	8					
		総合研究２	3後	○	2					○	12	8					
		総合研究３	4前	○	4					○	12	8					
		総合研究４	4後	○	4					○	12	8					
		小計（4科目）	—		12						12	8					
合計（299科目）			—		31	553	13	－			51	22		3		65	

学位又は称号	学士（生命科学）	学位又は学科の分野	工学関係、理学関係、体育関係 【大学設置基準第49条の４に定める専攻分野】　生命科学

卒業・修了要件及び履修方法	授業期間等	
別紙１、別紙２に記載	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	14週
	１時限の授業の標準時間	100分

【別紙１】

【卒業・修了要件及び履修方法】

・所属する学生は、以下の要件を満たしたうえで１２４単位を取得すること。
・なお、履修上限は、通期４８単位以下（半期２４単位以下）とする。

【生命科学コース】

<table>
<tr><td rowspan="2">科目系列</td><td colspan="3">基礎教養科目</td><td>学際科目</td><td colspan="2">専門科目</td><td></td></tr>
<tr><td>理数・情報</td><td>社会科学
人文科学
保健体育</td><td>英語</td><td>SDGs・キャリアデザイン
システム工学
アントレプレナーシップ</td><td>主専攻</td><td>副専攻</td><td>総合研究</td></tr>
<tr><td rowspan="2">単位数</td><td>必修６単位、コース必修８
単位を含む
16単位以上</td><td>選択必修２
単位を含む
６単位以上</td><td>８単位以
上</td><td>必修１３単位以上</td><td>主専攻５モジュール
または
主専攻４モジュール+副専攻１モジュール</td><td></td><td rowspan="2">必修
１２単位</td></tr>
<tr><td colspan="4">必修19単位、選択必修２単位、コース必修8単位を含む４８単位以上</td><td colspan="2">コース必修16単位を含む６０単位以上</td></tr>
<tr><td>総単位数</td><td colspan="7">必修31単位、選択必修２単位、コース必修28単位を含む１２４単位以上</td></tr>
</table>

【基礎教養】
〈理数・情報〉
コース必修：微分積分1、線形代数１、生物学、化学
〈人文科学〉
選択必修：倫理学、生命倫理概論、技術者と倫理

【専門科目】
〈主専攻〉
コース必修：生理学、生化学、生命科学実験（基礎）、生命科学実験（応用）、生命科学実験（発展）
・※１12単位以上修得で1モジュールの完成とする
・科目が複数のモジュールで重複する場合はモジュールの完成※１には重複してカウントされるが、総単位数には単位数は重複してカウントされない
・専門基礎モジュールを必修とする
・バイオサイエンステクニカルモジュールをコース必修とする
・主専攻５モジュール または　主専攻４モジュール+副専攻１モジュール を完成すること
・上記いずれかのモジュール完成後、修得単位数が60単位に満たない場合は未修得科目から選択し、修得単位数を60単位以上にすること

【医工学コース】

<table>
<tr><td rowspan="2">科目系列</td><td colspan="3">基礎教養科目</td><td>学際科目</td><td colspan="2">専門科目</td><td></td></tr>
<tr><td>理数・情報</td><td>社会科学
人文科学
保健体育</td><td>英語</td><td>SDGs・キャリアデザイン
システム工学
アントレプレナーシップ</td><td>主専攻</td><td>副専攻</td><td>総合研究</td></tr>
<tr><td rowspan="2">単位数</td><td>必修6単位、コース必修8単
位を含む
16単位以上</td><td>選択必修２
単位を含む
６単位以上</td><td>８単位以
上</td><td>必修１３単位以上</td><td>主専攻５モジュール
または
主専攻４モジュール+副専攻１モジュール</td><td></td><td rowspan="2">必修
１２単位</td></tr>
<tr><td colspan="4">必修19単位、選択必修２単位、コース必修８単位を含む４８単位以上</td><td colspan="2">コース必修17単位を含む６０単位以上</td></tr>
<tr><td>総単位数</td><td colspan="7">必修31単位、選択必修２単位、コース必修22単位を含む１２４単位以上</td></tr>
</table>

【基礎教養】
〈理数・情報〉
コース必修：微分積分1、線形代数１、力学１、電磁気学
〈人文科学〉
選択必修：倫理学、生命倫理概論、技術者と倫理

【専門科目】
〈主専攻〉
コース必修：Pythｏｎ入門、Pythonプログラミング、医工学概論、医工学エレクトロニクス演習、機械設計製作演習、医工学セミナー、CAD/CAM演習、医工学プログラミング
・※１12単位以上修得で1モジュールの完成とする
・科目が複数のモジュールで重複する場合はモジュールの完成※１には重複してカウントされるが、総単位数には単位数は重複してカウントされない
・専門基礎モジュールを必修とする
・医工学モジュールをコース必修とする
・主専攻５モジュール または　主専攻４モジュール+副専攻１モジュール を完成すること
・上記いずれかのモジュール完成後、修得単位数が60単位に満たない場合は未修得科目から選択し、修得単位数を60単位以上にすること

【スポーツ工学コース】

<table>
<tr><td rowspan="2">科目系列</td><td colspan="3">基礎教養科目</td><td>学際科目</td><td colspan="2">専門科目</td><td></td></tr>
<tr><td>理数・情報</td><td>社会科学
人文科学
保健体育</td><td>英語</td><td>SDGs・キャリアデザイン
システム工学
アントレプレナーシップ</td><td>主専攻</td><td>副専攻</td><td>総合研究</td></tr>
<tr><td rowspan="2">単位数</td><td>必修６単位を含む
１０単位以上</td><td>選択必修２
単位を含む
６単位以上</td><td>８単位以
上</td><td>必修１３単位以上</td><td>主専攻５モジュール
または
主専攻４モジュール+副専攻１モジュール</td><td></td><td rowspan="2">必修
１２単位</td></tr>
<tr><td colspan="4">必修１９単位、選択必修２単位を含む４８単位以上</td><td colspan="2">コース必修13単位を含む６０単位以上</td></tr>
<tr><td>総単位数</td><td colspan="7">必修３1単位、選択必修２単位、コース必修13単位を含む１２４単位以上</td></tr>
</table>

【基礎教養】
〈人文科学〉
選択必修：倫理学、生命倫理概論、技術者と倫理

【専門科目】
〈主専攻〉
コース必修：生理学、解剖学、Pythｏｎ入門、Pythonプログラミング、スポーツ工学実験演習１、スポーツ工学実験演習２
・※１12単位以上修得で1モジュールの完成とする
・科目が複数のモジュールで重複する場合はモジュールの完成※１には重複してカウントされるが、総単位数には単位数は重複してカウントされない
・専門基礎モジュールを必修とする
・主専攻５モジュール または　主専攻４モジュール+副専攻１モジュール を完成すること
・上記いずれかのモジュール完成後、修得単位数が60単位に満たない場合は未修得科目から選択し、修得単位数を60単位以上にすること

【別紙２】

生命科学課程　生命科学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
主専攻モジュール	専門基礎モジュール（必修）	生理学	必修
		生化学	必修
		生命統計学	選択
		医学・医療概論	選択
		解剖学	選択
		Python入門	選択
		Pythonプログラミング	選択
		Global Project-Based Learning 1	選択
		Introduction to Embedded Programming	選択
	バイオサイエンステクニカルモジュール（必修）	生命科学実験（基礎）	必修
		生命科学実験（応用）	必修
		生命科学実験（発展）	必修
	ライフサイエンスモジュール	生命科学概論	選択
		有機化学	選択
		分析化学	選択
		Basic Bioscience	選択
		無機化学	選択
		物理化学	選択
		分子遺伝学	選択
		薬理学	選択
	ヒューマンヘルスサイエンスモジュール	食品栄養学	選択
		公衆衛生学	選択
		神経生理学	選択
		細胞生理学	選択
		発生生物学	選択
		分子生物学	選択
		生物物理学	選択
		Advanced Bioscience	選択
		健康行動栄養学	選択
	サステイナブルバイオサイエンスモジュール	生物地球化学	選択
		環境化学	選択
		構造解析学	選択
		創薬化学	選択
		微生物学	選択
		Genetic Engineering	選択
		Advanced Bioscience	選択
		生体高分子工学	選択
		健康データサイエンス	選択

【別紙２】

生命科学課程　生命科学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分	
ル	生命科学（理科・工業）教職モジュール	教育の方法及び技術	モジュール必修	
		教育におけるICT活用	モジュール必修	
		理科指導法1	モジュール選択必修A	モジュール選択必修AまたはBで４単位以上
		理科指導法2	モジュール選択必修A	
		理科指導法3	選択	
		理科指導法4	選択	
		環境化学	選択	
		総合科学実験	選択	
		生理学	選択	
		生化学	選択	
		物理化学	選択	
		生物地球化学	選択	
		電気電子回路	選択	
		無機化学	選択	
		有機化学	選択	
		生命科学概論	選択	
		工業科指導法１	モジュール選択必修B	モジュール選択必修AまたはBで４単位以上
		工業科指導法2	モジュール選択必修B	
		職業指導	選択	
		工学基礎概論	選択	
		生命健康統計学	選択	
		Pythonプログラミング	選択	
		医学・医療概論	選択	
		医工学概論	選択	
	留学モジュール	Introduction to Embedded Programming	モジュール選択必修	４単位以上
		Global Project-Based Learning 1	モジュール選択必修	
		Global Project-Based Learning 2	モジュール選択必修	
		Global Project-Based Learning 3	モジュール選択必修	
		Cross-cultural Student Support	選択	
		Introduction to Biomedical-Engineering	選択	
		Basic Control Engineering	選択	
		Introduction to Control Engineering	選択	
		生体計測学	選択	
		Basic Bioscience	選択	
		Advanced Bioscience	選択	
		Genetic Engineering	選択	
		スポーツ工学概論	選択	

【別紙２】

生命科学課程　生命科学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	教育モジュール	教職論	選択
		特別活動の指導法	選択
		総合的な学習の時間の指導法	選択
		道徳の理論及び指導法	選択
		生徒・進路指導論	選択
		教育課程論	選択
		教育相談論	選択
		教育心理学	選択
		特別支援教育論	選択
	IoT基礎モジュール	IoT基礎	モジュール必修
		IoT設計論	モジュール必修
		電気回路	選択
		フロントエンドとインタフェース基礎	選択
		センサとアクチュエータ	選択
		ディジタル信号処理	選択
		数値解析	選択
		電子回路	選択
	プログラミングモジュール	プログラミング入門	選択
		Python入門	モジュール必修
		Cプログラミング（情報）	選択
		データ構造とアルゴリズム	モジュール必修
		オブジェクト指向言語	選択
		モバイルプログラミング	選択
		ネットワークプログラミング	選択
		Computer　simulation	選択
	ソフトウエア開発モジュール	ソフトウェア設計論	モジュール必修
		ソフトウェア開発管理	モジュール必修
		現代的ソフトウェア構築技法	モジュール必修
		ゲームプログラミング	選択
		モバイルプログラミング	選択
		データベース	選択
		情報セキュリティ	選択
	情報ネットワークモジュール	インターネットプロトコル	モジュール必修
		情報理論	モジュール必修
		符号理論	選択
		ネットワークアプリケーション	選択
		ICT Systems Design	選択
		クラウドコンピューティング	選択
		ネットワークプログラミング	選択

【別紙２】

生命科学課程　生命科学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
副専攻モジュール	メディア工学モジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		メディア処理1	モジュール必修
		メディア処理2	選択
		音声音響情報処理	選択
		自然言語処理	選択
		画像情報処理	選択
		ディジタル信号処理	選択
		ICT Systems Design	選択
	サイバースペースモジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		コンピュータグラフィックス	モジュール必修
		VR/AR1	選択
		VR/AR2	選択
		ヒューマンコンピュータインタラクション	選択
		サイバーセキュリティ	選択
		エンタテインメントコンピューティング	選択
		ネットワークアプリケーション	選択
		インターネットプロトコル	選択
	メディアデザインモジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		コンピュータグラフィックス	モジュール必修
		メディアデザイン1	選択
		メディアデザイン2	選択
		メディア認知心理・人間工学	選択
		メディア表現基礎	選択
		メディア表現応用	選択
		メディアコンテンツビジネス	選択
	社会データサイエンスモジュール	プログラミング入門	選択
		Python入門	選択
		社会システム入門	モジュール必修
		データサイエンス入門	モジュール必修
		社会シミュレーション入門	モジュール必修
		ゲーミング入門	モジュール必修
		システム科学	選択
		社会システム実践演習	選択
		データサイエンス応用	モジュール必修
		数理シミュレーション	選択
		シミュレーション＆ゲーミング	選択
		消費者行動論	選択
		社会調査法	選択
		ビジネスエコノミクス	選択
		金融・経済リテラシー	選択
		マーケティング論	選択
		クリエイティブ産業論	選択
		保健医療福祉政策概論	選択

【別紙２】

生命科学課程　生命科学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	機械・電気工学入門モジュール	機械・電気システムセミナー	選択
		機構学	選択
		電気機器システム	選択
		材料・加工学	選択
		Introduction to Industrial Design	選択
		ものづくり工学	選択
		制御工学	選択
		機械計測工学	選択
		自動車工学	選択
	建築モジュール	建築史	選択
		建築基礎演習	選択
		建築構造基礎	選択
		建築計画基礎	選択
		建築環境設備基礎	選択
		建築設計情報演習	選択
		建設プロジェクトマネジメント	選択
		建築材料	選択
		建築生産・施工	選択
		建築環境工学	選択
		建築構造設計	選択
		建築構造力学1	選択
		建築構造力学2	選択
	都市・環境モジュール	環境・都市基礎	モジュール必修
		環境・都市基礎演習	選択
		SDGsと環境	選択
		都市計画基礎	モジュール必修
		都市計画演習	選択
		都市環境デザイン	選択
		都市及び都市計画史	選択
		都市・地域システム計画	選択
		Global Governance and Sustainable Strategy	選択
		土地利用計画	選択
		景観・ランドスケープデザイン	選択

【別紙２】

生命科学課程　生命科学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	環境・社会モジュール	環境・都市基礎	モジュール必修
		環境・都市基礎演習	選択
		SDGsと環境	選択
		資源・エネルギーシステム論	選択
		環境政策	選択
		環境ビジネス	選択
		脱炭素と地域創発	選択
	医工学モジュール	バイオイメージング	選択
		医工学概論	選択
		機械力学	選択
		生体計測学	選択
		電気電子回路	選択
		バイオマテリアル	選択
		バイオレオロジー	選択
		バイオメカニクス	選択
		メカトロニクス	選択
		バイオエレクトロニクス	選択
		バイオメカニカルエンジニアリング	選択
	スポーツ工学モジュール	スポーツ工学概論	選択
		スポーツ工学研究法	選択
		生体計測学	選択
		スポーツ信号処理	選択
		映像メディア解析	選択
		応用バイオメカニクス	選択
		脳機能計測学	選択
		健康長寿学	選択
	数理科学モジュール	論理と集合	選択
		解析基礎	選択
		代数学1	選択
		幾何学1	選択
		ベクトル解析	選択
		複素解析	選択
		数値解析1	選択
		数理計画法	選択
		現象の数理	選択
		数理科学概論	選択
		金融工学	選択
		保険数学	選択

【別紙２】

生命科学課程　医工学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
主専攻モジュール	専門基礎モジュール（必修）	解剖学	選択
		Introduction to Embedded Programming	選択
		Python入門	必修
		医学・医療概論	選択
		生命統計学	選択
		生理学	選択
		Pythonプログラミング	必修
		生化学	選択
		Global Project-Based Learning 1	選択
	医工学モジュール（必修）	医工学概論	必修
		Introduction to Biomedical-Engineering	選択
		医工学エレクトロニクス演習	必修
		機械設計製作演習	必修
		医工学セミナー	必修
		CAD/CAM演習	必修
		医工学プログラミング演習	必修
	ものづくりモジュール	機械力学	選択
		機構学	選択
		電気電子回路	必修
		機械・電気基礎数学	選択
		人工知能基礎	選択
		Introduction to Control Engineering	選択
		材料力学	選択
		流れ学	選択
		制御工学	選択
		Basic Control Engineering	選択
		ものづくり工学	選択
	バイオエンジニアリングモジュール	生体計測学	選択
		分子生物学	選択
		生物物理学	選択
		バイオマテリアル	選択
		バイオレオロジー	選択
		メカトロニクス	選択
		薬理学	選択
		バイオイメージング	選択
		バイオエレクトロニクス	選択
		バイオメカニカルエンジニアリング	選択
		バイオエンジニアリング実験	選択
	メディカルエンジニアリングモジュール	スポーツ信号処理	選択
		生体計測学	選択
		応用バイオメカニクス	選択
		バイオメカニクス	選択
		バイオレオロジー	選択
		メカトロニクス	選択
		ロボティクス	選択
		健康データサイエンス	選択
		バイオエレクトロニクス	選択
		バイオメカニカルエンジニアリング	選択
		メディカルエンジニアリング実験	選択

【別紙２】

生命科学課程　医工学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分	
	生命科学（理科・工業）教職モジュール	教育の方法及び技術	モジュール必修	
		教育におけるICT活用	モジュール必修	
		理科指導法1	モジュール選択必修A	モジュール選択必修AまたはBで4単位以上
		理科指導法2	モジュール選択必修A	
		理科指導法3	選択	
		理科指導法4	選択	
		環境化学	選択	
		総合科学実験	選択	
		生理学	選択	
		生化学	選択	
		物理化学	選択	
		生物地球化学	選択	
		電気電子回路	選択	
		無機化学	選択	
		有機化学	選択	
		生命科学概論	選択	
		工業科指導法１	モジュール選択必修B	モジュール選択必修AまたはBで4単位以上
		工業科指導法2	モジュール選択必修B	
		職業指導	選択	
		工学基礎概論	選択	
		生命健康統計学	選択	
		Pythonプログラミング	選択	
		医学・医療概論	選択	
		医工学概論	選択	
	留学モジュール	Introduction to Embedded Programming	モジュール選択必修	４単位以上
		Global Project-Based Learning 1	モジュール選択必修	
		Global Project-Based Learning 2	モジュール選択必修	
		Global Project-Based Learning 3	モジュール選択必修	
		Cross-cultural Student Support	選択	
		Introduction to Biomedical-Engineering	選択	
		Basic Control Engineering	選択	
		Introduction to Control Engineering	選択	
		生体計測学	選択	
		Basic Bioscience	選択	
		Advanced Bioscience	選択	
		Genetic Engineering	選択	
		スポーツ工学概論	選択	
	教育モジュール	教職論	選択	
		特別活動の指導法	選択	
		総合的な学習の時間の指導法	選択	
		道徳の理論及び指導法	選択	
		生徒・進路指導論	選択	
		教育課程論	選択	
		教育相談論	選択	
		教育心理学	選択	
		特別支援教育論	選択	
	ＩｏＴ基礎モジュール	IoT基礎	モジュール必修	
		IoT設計論	モジュール必修	
		電気回路	選択	
		フロントエンドとインタフェース基礎	選択	
		センサとアクチュエータ	選択	
		ディジタル信号処理	選択	
		数値解析	選択	
		電子回路	選択	

【別紙２】

生命科学課程　医工学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	プログラミングモジュール	プログラミング入門	選択
		Python入門	モジュール必修
		Cプログラミング（情報）	選択
		データ構造とアルゴリズム	モジュール必修
		オブジェクト指向言語	選択
		モバイルプログラミング	選択
		ネットワークプログラミング	選択
		Computer　simulation	選択
	ソフトウエア開発モジュール	ソフトウェア設計論	モジュール必修
		ソフトウェア開発管理	モジュール必修
		現代的ソフトウェア構築技法	モジュール必修
		ゲームプログラミング	選択
		モバイルプログラミング	選択
		データベース	選択
		情報セキュリティ	選択
	情報ネットワークモジュール	インターネットプロトコル	モジュール必修
		情報理論	モジュール必修
		符号理論	選択
		ネットワークアプリケーション	選択
		ICT Systems Design	選択
		クラウドコンピューティング	選択
		ネットワークプログラミング	選択
	メディア工学モジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		メディア処理1	モジュール必修
		メディア処理2	選択
		音声音響情報処理	選択
		自然言語処理	選択
		画像情報処理	選択
		ディジタル信号処理	選択
		ICT Systems Design	選択
	サイバースペースモジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		コンピュータグラフィックス	モジュール必修
		VR/AR1	選択
		VR/AR2	選択
		ヒューマンコンピュータインタラクション	選択
		サイバーセキュリティ	選択
		エンタテインメントコンピューティング	選択
		ネットワークアプリケーション	選択
		インターネットプロトコル	選択
	メディアデザインモジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		コンピュータグラフィックス	モジュール必修
		メディアデザイン1	選択
		メディアデザイン2	選択
		メディア認知心理・人間工学	選択
		メディア表現基礎	選択
		メディア表現応用	選択
		メディアコンテンツビジネス	選択

【別紙２】

生命科学課程　医工学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
副専攻モジュール	社会データサイエンスモジュール	プログラミング入門	選択
		Python入門	選択
		社会システム入門	モジュール必修
		データサイエンス入門	モジュール必修
		社会シミュレーション入門	モジュール必修
		ゲーミング入門	モジュール必修
		システム科学	選択
		社会システム実践演習	選択
		データサイエンス応用	モジュール必修
		数理シミュレーション	選択
		シミュレーション＆ゲーミング	選択
		消費者行動論	選択
		社会調査法	選択
		ビジネスエコノミクス	選択
		金融・経済リテラシー	選択
		マーケティング論	選択
		クリエイティブ産業論	選択
		保健医療福祉政策概論	選択
	機械・電気工学入門モジュール	機械・電気システムセミナー	選択
		機構学	選択
		電気機器システム	選択
		材料・加工学	選択
		Introduction to Industrial Design	選択
		ものづくり工学	選択
		制御工学	選択
		機械計測工学	選択
		自動車工学	選択
	建築モジュール	建築史	選択
		建築基礎演習	選択
		建築構造基礎	選択
		建築計画基礎	選択
		建築環境設備基礎	選択
		建築設計情報演習	選択
		建設プロジェクトマネジメント	選択
		建築材料	選択
		建築生産・施工	選択
		建築環境工学	選択
		建築構造設計	選択
		建築構造力学1	選択
		建築構造力学2	選択

【別紙２】

生命科学課程　医工学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	都市・環境モジュール	環境・都市基礎	モジュール必修
		環境・都市基礎演習	選択
		SDGsと環境	選択
		都市計画基礎	モジュール必修
		都市計画演習	選択
		都市環境デザイン	選択
		都市及び都市計画史	選択
		都市・地域システム計画	選択
		Global Governance and Sustainable Strategy	選択
		土地利用計画	選択
		景観・ランドスケープデザイン	選択
	環境・社会モジュール	環境・都市基礎	モジュール必修
		環境・都市基礎演習	選択
		SDGsと環境	選択
		資源・エネルギーシステム論	選択
		環境政策	選択
		環境ビジネス	選択
		脱炭素と地域創発	選択
	バイオサイエンスモジュール	生命科学概論	選択
		神経生理学	選択
		分子生物学	選択
		有機化学	選択
		食品栄養学	選択
		微生物学	選択
		発生生物学	選択
		分析化学	選択
		生物物理学	選択
	スポーツ工学モジュール	スポーツ工学概論	選択
		スポーツ工学研究法	選択
		生体計測学	選択
		スポーツ信号処理	選択
		映像メディア解析	選択
		応用バイオメカニクス	選択
		脳機能計測学	選択
		健康長寿学	選択

【別紙２】

生命科学課程　医工学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	数理科学モジュール	論理と集合	選択
		解析基礎	選択
		代数学1	選択
		幾何学1	選択
		ベクトル解析	選択
		複素解析	選択
		数値解析1	選択
		数理計画法	選択
		現象の数理	選択
		数理科学概論	選択
		金融工学	選択
		保険数学	選択

【別紙２】

生命科学課程　スポーツ工学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
主専攻モジュール	専門基礎モジュール	生理学	必修
		生化学	選択
		生命統計学	選択
		医学・医療概論	選択
		Introduction to Embedded Programming	選択
		解剖学	必修
		Python入門	必修
		Pythonプログラミング	必修
		Global Project-Based Learning 1	選択
	データ計測・解析モジュール	データサイエンス入門	選択
		データ解析	選択
		スポーツ工学実験演習1	必修
		スポーツ工学実験演習2	必修
		スポーツ工学とSDGs	選択
		健康データサイエンス	選択
		保健医療福祉政策概論	選択
		スポーツ工学研究法	選択
		健康長寿学	選択
		脳機能計測学	選択
		映像メディア解析	選択
	運動理論モジュール	健康行動栄養学	選択
		スポーツ工学概論	選択
		健康長寿学	選択
		体力医科学	選択
		食品栄養学	選択
		公衆衛生学	選択
		運動生理学	選択
		機能解剖学	選択
		バイオメカニクス	選択
		応用バイオメカニクス	選択
		神経生理学	選択
	エンジニアリングモジュール	スポーツ信号処理	選択
		スポーツ工学概論	選択
		生体計測学	選択
		機械力学	選択
		材料力学	選択
		応用バイオメカニクス	選択
		メディア認知心理・人間工学	選択
		スポーツ画像工学	選択
		映像メディア解析	選択
	ものづくり理論身体運動モジュール	機械力学	選択
		機構学	選択
		電気電子回路	選択
		材料力学	選択
		流れ学	選択
		バイオメカニクス	選択
		バイオレオロジー	選択
		ものづくり工学	選択
		メカトロニクス	選択
		Basic Control Engineering	選択
		Introduction to Control Engineering	選択

【別紙２】

生命科学課程　スポーツ工学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分	
	生命科学（理科・工業）教職モジュール	教育の方法及び技術	モジュール必修	
		教育におけるICT活用	モジュール必修	
		理科指導法1	モジュール選択必修A	モジュール選択必修AまたはBで4
		理科指導法2	モジュール選択必修A	
		理科指導法3	選択	
		理科指導法4	選択	
		環境化学	選択	
		総合科学実験	選択	
		生理学	選択	
		生化学	選択	
		物理化学	選択	
		生物地球化学	選択	
		電気電子回路	選択	
		無機化学	選択	
		有機化学	選択	
		生命科学概論	選択	
		工業科指導法１	モジュール選択必修B	モジュール選択必修AまたはBで4
		工業科指導法2	モジュール選択必修B	
		職業指導	選択	
		工学基礎概論	選択	
		生命統計学	選択	
		Pythonプログラミング	選択	
		医学・医療概論	選択	
		医工学概論	選択	
	留学モジュール	Introduction to Embedded Programming	モジュール選択必修	4単位以上
		Global Project-Based Learning 1	モジュール選択必修	
		Global Project-Based Learning 2	モジュール選択必修	
		Global Project-Based Learning 3	モジュール選択必修	
		Cross-cultural Student Support	選択	
		Introduction to Biomedical-Engineering	選択	
		Basic Control Engineering	選択	
		Introduction to Control Engineering	選択	
		生体計測学	選択	
		Basic Bioscience	選択	
		Advanced Bioscience	選択	
		Genetic Engineering	選択	
		スポーツ工学概論	選択	

【別紙２】

生命科学課程　スポーツ工学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	教育モジュール	教職論	選択
		特別活動の指導法	選択
		総合的な学習の時間の指導法	選択
		道徳の理論及び指導法	選択
		生徒・進路指導論	選択
		教育課程論	選択
		教育相談論	選択
		教育心理学	選択
		特別支援教育論	選択
	IoT基礎モジュール	IoT基礎	モジュール必修
		IoT設計論	モジュール必修
		電気回路	選択
		フロントエンドとインタフェース基礎	選択
		センサとアクチュエータ	選択
		ディジタル信号処理	選択
		数値解析	選択
		電子回路	選択
	プログラミングモジュール	プログラミング入門	選択
		Python入門	モジュール必修
		Cプログラミング（情報）	選択
		データ構造とアルゴリズム	モジュール必修
		オブジェクト指向言語	選択
		モバイルプログラミング	選択
		ネットワークプログラミング	選択
		Computer　simulation	選択
	ソフトウエア開発モジュール	ソフトウェア設計論	モジュール必修
		ソフトウェア開発管理	モジュール必修
		現代的ソフトウェア構築技法	モジュール必修
		ゲームプログラミング	選択
		モバイルプログラミング	選択
		データベース	選択
		情報セキュリティ	選択
	情報ネットワークモジュール	インターネットプロトコル	モジュール必修
		情報理論	モジュール必修
		符号理論	選択
		ネットワークアプリケーション	選択
		ICT Systems Design	選択
		クラウドコンピューティング	選択
		ネットワークプログラミング	選択
	メディア工学モジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		メディア処理1	モジュール必修
		メディア処理2	選択
		音声音響情報処理	選択
		自然言語処理	選択
		画像情報処理	選択
		ディジタル信号処理	選択
		ICT Systems Design	選択

【別紙２】

生命科学課程　スポーツ工学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
副専攻モジュール	サイバースペースモジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		コンピュータグラフィックス	モジュール必修
		VR/AR1	選択
		VR/AR2	選択
		ヒューマンコンピュータインタラクション	選択
		サイバーセキュリティ	選択
		エンタテインメントコンピューティング	選択
		ネットワークアプリケーション	選択
		インターネットプロトコル	選択
	メディアデザインモジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		コンピュータグラフィックス	モジュール必修
		メディアデザイン1	選択
		メディアデザイン2	選択
		メディア認知心理・人間工学	選択
		メディア表現基礎	選択
		メディア表現応用	選択
		メディアコンテンツビジネス	選択
	社会データサイエンスモジュール	プログラミング入門	選択
		Python入門	選択
		社会システム入門	モジュール必修
		データサイエンス入門	モジュール必修
		社会シミュレーション入門	モジュール必修
		ゲーミング入門	モジュール必修
		システム科学	選択
		社会システム実践演習	選択
		データサイエンス応用	モジュール必修
		数理シミュレーション	選択
		シミュレーション&ゲーミング	選択
		消費者行動論	選択
		社会調査法	選択
		ビジネスエコノミクス	選択
		金融・経済リテラシー	選択
		マーケティング論	選択
		クリエイティブ産業論	選択
		保健医療福祉政策概論	選択
	機械・電気工学入門モジュール	機械・電気システムセミナー	選択
		機構学	選択
		電気機器システム	選択
		材料・加工学	選択
		Introduction to Industrial Design	選択
		ものづくり工学	選択
		制御工学	選択
		機械計測工学	選択
		自動車工学	選択

【別紙２】

生命科学課程　スポーツ工学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	建築モジュール	建築史	選択
		建築基礎演習	選択
		建築構造基礎	選択
		建築計画基礎	選択
		建築環境設備基礎	選択
		建築設計情報演習	選択
		建設プロジェクトマネジメント	選択
		建築材料	選択
		建築生産・施工	選択
		建築環境工学	選択
		建築構造設計	選択
		建築構造力学1	選択
		建築構造力学2	選択
	都市・環境モジュール	環境・都市基礎	モジュール必修
		環境・都市基礎演習	選択
		SDGsと環境	選択
		都市計画基礎	モジュール必修
		都市計画演習	選択
		都市環境デザイン	選択
		都市及び都市計画史	選択
		都市・地域システム計画	選択
		Global Governance and Sustainable Strategy	選択
		土地利用計画	選択
		景観・ランドスケープデザイン	選択
	環境・社会モジュール	環境・都市基礎	モジュール必修
		環境・都市基礎演習	選択
		SDGsと環境	選択
		資源・エネルギーシステム論	選択
		環境政策	選択
		環境ビジネス	選択
		脱炭素と地域創発	選択
	バイオサイエンスモジュール	生命科学概論	選択
		神経生理学	選択
		分子生物学	選択
		有機化学	選択
		食品栄養学	選択
		微生物学	選択
		発生生物学	選択
		分析化学	選択
		生物物理学	選択

【別紙２】

生命科学課程　スポーツ工学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	医工学モジュール	バイオイメージング	選択
		医工学概論	選択
		機械力学	選択
		生体計測学	選択
		電気電子回路	選択
		バイオマテリアル	選択
		バイオレオロジー	選択
		バイオメカニクス	選択
		メカトロニクス	選択
		バイオエレクトロニクス	選択
		バイオメカニカルエンジニアリング	選択
	数理科学モジュール	論理と集合	選択
		解析基礎	選択
		代数学1	選択
		幾何学1	選択
		ベクトル解析	選択
		複素解析	選択
		数値解析1	選択
		数理計画法	選択
		現象の数理	選択
		数理科学概論	選択
		金融工学	選択
		保険数学	選択

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（システム理工学部　情報課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
学際科目	SDGs・キャリアデザイン	SDGs入門	1前	○	2			○			1						
		未来を創る1	1前	○	2			○			1						※演習
		未来を創る2	2後	○	1			○			1						※演習
		ダイバーシティ入門	1前・後			2		○								1	
		インターンシップ	2前・後			2		○			2						※演習、共同
		芝浦工業大学通論	1前・後			2										1	
		小計(6科目)		－	5	6		－			3					2	
	アントレプレナーシップ	アントレプレナーシップA(価値創造)	3前	○	2			○			1	1				1	※演習、共同
		アントレプレナーシップB(事業創出)	3後			2		○			1	1				1	※演習、共同
		経営工学	２前			2		○				1					
		産学官金連携PBL	3前・後			2		○			2						※演習、共同
		会計簿記	３後			2		○								1	
		小計(5科目)		－	2	8		－			2	1				2	
	システム工学	システム工学Ａ(システム計画方法論)	2前	○	3			○	○		3	1					※演習、共同
		システム工学Ｂ(数理計画法)	2後	○	3			○	○		3	1					※演習、共同
		プロジェクトマネジメント	3前			2		○								1	
		Advanced Systems Science and Engineering1	2前・後			2		○			2	1					共同
		Advanced Systems Science and Engineering2	2前・後			2		○			2	1					共同
		信頼性工学	3後			2		○								1	
		人間工学	2前			2		○								1	
		サイバーセキュリティと社会	3後			2		○				1					
		小計(8科目)		－	6	12		－			3	2				3	
基礎教養科目	理数・情報	微分積分1	1前	○	2			○			1					2	共同
		微分積分2	1後			2		○								1	
		線形代数1	1前	○	2			○			1					2	共同
		線形代数2	1後			2		○								1	
		力学1	1前			2		○			2						共同
		力学2	1後			2		○			1						
		波動・熱力学	1後			2		○			1						
		電磁気学	2前			2		○			2						共同
		生物学	1前			2		○								1	
		化学	1前			2		○								1	
		現代物理学概論	2後			2		○			1						
		情報基礎	1前	○	3			○			2	2		1			共同
		AI基礎	2後	○	1			○			2	1		1			共同、標準外
		統計学基礎	1前	○	1			○			2	1		1			共同、標準外
		データサイエンスリテラシー	1後	○	1			○			2	1		1			共同
		小計(15科目)		－	10	18		－			7	2		1		6	
	社会科学	科学技術史	1後			2		○								1	
		科学技術と社会	1前			2		○								1	
		行政学	1後			2		○								1	
		政治学	1後			2		○								1	
		社会福祉論	1前			2		○								1	
		情報社会と法	1前			2		○								1	
		日本国憲法	1後			2		○								1	
		社会学概論	1後			2		○			1						
		人間と自然環境	1後			2		○								1	
		教育社会学	1前・後			2		○								1	
		小計(10科目)		－		20		－			1					8	
	人文科学	哲学1	1前			2		○								1	
		哲学2	1後			2		○								1	
		倫理学	1前・後			2		○								1	
		生命倫理概論	1前・後			2		○								1	
		技術者と倫理	3前			2		○								1	
		世界史A	1前			2		○								1	
		世界史B	1前			2		○								1	
		国際デザイン史	1後			2		○			1						
		認知心理学	1前			2		○								1	
		組織心理学	1後			2		○								1	
		教育の近現代史	1前・後			2		○				1					
		教育原論	1前・後			2		○				1					
		人間関係論	1前・後			2		○								1	
		小計(13科目)		－		26		－			1	1				6	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（システム理工学部　情報課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
	保健体育	体育実技1	1前・後			1			○		3	3				11	共同
		体育実技2	1前・後			1			○		3	3				11	共同
		からだの仕組みと運動	1前			2		○								1	
		身体運動のメカニズム	1後			2		○								1	
		健康科学論Ａ	1前			2		○								1	
		健康科学論Ｂ	1後			2		○								1	
		小計(6科目)		－		10		－			3	3				11	
	英語	English Basic Skills1	1前			2		○			1					5	共同
		English Basic Skills2	1後			2		○								5	共同
		English Advanced Skills1	1前			2		○			1					2	共同
		English Advanced Skills2	1後			2		○			1					2	共同
		English Remedial Course1	1前				2	○								2	共同
		English Remedial Course2	1後				2	○								2	共同
		Basic English for Science and Technology1	2前			2		○			1					3	共同
		Basic English for Science and Technology2	2後			2		○			1					3	共同
		Advanced English for Science and Technology1	2前			2		○			1					3	共同
		Advanced English for Science and Technology2	2後			2		○								3	共同
		理工系英語プレゼンテーション	2前・後			2		○			1						
		海外英語研修1	1前・後			2			○		1						標準外
		海外英語研修2	1前・後			2			○		1						標準外
		海外短期英語研修1	1前・後			1			○		1						標準外
		海外短期英語研修2	1前・後			1			○		1						標準外
		学外英語検定1	1前・後			2			○		1						標準外
		学外英語検定2	1前・後			2			○		1						標準外
		小計(17科目)	－	－		28	4	－			3					12	
	教職課程	事前・事後指導	3前・後				1	○			1	1					共同
		教育実習1	3前・後				2			○	1	1					共同
		教育実習2	3前・後				2			○	1	1					共同
		教職実践演習(中・高)	4前・後				2		○		1	1					共同
		教職インターンシップ1	1前・後				1		○		1	1					共同
		教職インターンシップ2	1前・後				1		○		1	1					共同
		小計(6科目)	－	－			9	－			1	1					
		Cプログラミング(情報)	1後	○		3		○				2					※演習、オムニバス
		Global Project-based Learning	2前・後			2				○	1						標準外
		ICT Systems Design	3前			2		○				1					
		Introduction to Embedded Programming	1前・後			2		○			3	1					オムニバス
		IoT基礎	1前	○		2		○			1						
		IoT設計論	2前	○		2		○			1						
		IoTプロジェクト	3前	○		3				○	2	1					共同
		LSI設計	3前			3		○								1	※演習
		MATALBプログラミング	2前			2		○								1	
		プログラミング入門	1前	○		1		○			1			1			共同
		Python入門	1前	○		1		○			1			1			※演習、共同
		Recent Trends on IoT	1後			2		○			4	1					オムニバス
		Recent Trends on Media Technology	2後			2		○			3	1					オムニバス
		Recent Trends on Software Engineering	2前			2		○			3	2					オムニバス
		VR/AR1	2後			2		○			1						
		VR/AR2	3前			2		○			1						
		宇宙観測技術	3後			2		○			2						オムニバス
		エージェントシミュレーション	3前			3		○			1	1		1			※演習、共同
		エレクトロニクスプロジェクト	2後	○		2				○	2	1					共同
		エンタテインメントコンピューティング	2前			2		○			1						
		マーケティング論	1前			2		○								1	
		オブジェクト指向言語	2前	○		2		○			1						※演習
		オペレーティングシステム	3前			2		○								1	
		音声音響情報処理	2前			2		○			1						
		画像情報処理	1後			2		○			1						
		環境・都市基礎	1後			2		○			5	1					オムニバス
		環境ビジネス	2後			3		○			1						※演習
		脱炭素と地域創発	3前			2		○			1						
		機械学習	2後	○		2		○			1						
		機械学習プロジェクト	3前			2			○			1					
		機械学習データサイエンス演習	2後			1			○		2	1		1			共同
		組込みシステム	2後	○		2		○			1					1	※演習
		クラウドコンピューティング	3後			2		○			1						
		クリエイティブ産業論	1後			2		○			1						

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（システム理工学部　情報課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
専門科目	主専攻	計測工学	1後			2		○			1						
		シミュレーション＆ゲーミング	2後			2		○			2						共同
		ゲーミング入門	1後			1		○			2	1		1			オムニバス
		ゲームプログラミング	3後			2		○			1						
		現代的ソフトウェア構築技法	2後			2		○			1						
		交通システム計画	3前			2		○								1	
		コミュニケーションシステム	2後			2		○			1						
		コンピュータアーキテクチャ	2後			2		○								1	
		コンピュータグラフィックス	2前			2		○			1						
		Computer Simulation	3前			2		○								1	
		サイバーセキュリティ	3前			2		○				1					
		資源・エネルギーシステム論	2前			3		○			1						※演習
		システム科学	4前			2		○			2	1		1			共同
		システム制御	2後	○		2		○			1						
		Basic Control Engineering	2後			2		○			1						
		自然言語処理	2後			2		○								1	
		データ解析	1後	○		2		○			1	1					
		社会シミュレーション入門	1後			1		○			2	1		1			オムニバス
		社会システム入門	1前			1		○			2	1		1			オムニバス
		データサイエンス入門	1前			1		○			2	1		1			オムニバス
		社会システム実践演習	3後			3			○		2	1		1			共同
		情報処理入門	1前	○		2		○			2	1					オムニバス
		情報セキュリティ	3後			2		○				1					
		インターネットプロトコル	1後	○		2		○			1						
		情報ネットワークプロジェクト	3前			2			○		1	1					共同
		情報理論	2前			2		○			1						メディア
		情報倫理	1前・後	○	1			○			1						標準外
		信号解析	3前			2		○			1						
		人工知能基礎	2前			2		○				1					
		人工知能データサイエンス演習	2前			1			○		2	1		1			共同
		深層学習	2前	○		2		○				1					
		深層学習データサイエンス演習	2前			1			○		2	1		1			共同
		センサとアクチュエータ	2前			2		○			2			1			オムニバス
		ソフトウェア開発管理	2前			2		○			2						オムニバス
		ソフトウェア開発プロジェクト	3前			2			○		2						共同
		ソフトウェア設計論	3前			2		○			1						
		多変量解析	2後			2		○								1	
		ディジタル信号処理	2前			2		○								1	
		データ構造とアルゴリズム	2前	○		3		○			1						※演習
		データサイエンス応用	1後			3		○			1			1			※演習、共同
		データサイエンス実践1	1後	○		3			○		2	1		1			共同
		データサイエンス実践2	2前	○		3			○		2	1		1			共同
		データサイエンス実践3	2後	○		3			○		2	1		1			共同
		データサイエンス実践4	3前	○		3			○		2	1		1			共同
		データベース	2後			2		○								1	
		電気回路	1後	○		2		○			1	1					共同
		電気回路演習	1後	○		1			○		1	1					共同
		電子回路	2後			3		○								1	※演習、共同
		都市計画基礎	2前			2		○			5	1					共同
		ビジネスエコノミクス	1前			2		○			1						
		ネットワークアプリケーション	2後			2		○				1					
		ネットワークプログラミング	3前			2		○			1						
		ハードウェア基礎	1前			2		○			1						
		ヒューマンコンピュータインタラクション	3後			2		○			1						
		符号理論	3前			2		○			1						
		フロントエンドとインタフェース基礎	1後			2		○			1						
		数値解析	2前			2		○				1					
		数理シミュレーション	2後			3		○				1		1			※演習、共同
		消費者行動論	1後			2		○			1	1					※演習、共同
		保健医療福祉政策概論	1前			2		○			1						
		メディアコンテンツビジネス	3後			2		○				1					
		メディア処理基礎	1前	○		2		○			2						オムニバス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（システム理工学部　情報課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
		メディアデザイン1	2後			2		○			1						
		メディアデザイン2	3前			2		○			1						
		メディア処理1	2後			2		○			1						
		メディア処理2	3前			2		○			1						
		メディア認知心理・人間工学	2前			2		○			1						
		メディア表現応用	2後			2		○			1						
		メディア表現基礎	1後			2		○			1						
		モバイルプログラミング	3後			2		○			1						
		離散数学	1後	○		2		○				1					
		環境政策	3前			2		○			1						
		金融・経済リテラシー	1後			2		○			1						
		社会調査法	1前			2		○			1			1			共同
		情報経営論	1後			2		○								1	
		都市・地域システム計画	3前			2		○			4	1					オムニバス
		情報科指導法1	2前			2		○								1	
		情報科指導法2	2後			2		○								1	
		教育の方法及び技術	2前・後			1		○								2	
		教育におけるICT活用	2前・後			1		○								2	
		Cross-cultural Student Support	1前・後			1				○	1						
		小計(115科目)	－	－	1	230		－			23	7		1		12	－
		教職論	1前・後			2		○			1						
		特別活動の指導法	2前・後			1		○								1	
		総合的な学習の時間の指導法	2前・後			1		○								1	
		道徳の理論及び指導法	2前・後			2		○				1					
		生徒・進路指導論	1前・後			2		○								1	
		教育課程論	1前・後			2		○								1	
		教育相談論	1前・後			2		○								1	
		教育心理学	1前・後			2		○								1	
		特別支援教育論	1前・後			1		○								1	
		機械・電気システムセミナー	2後			2		○			10	1		1			オムニバス
		機構学	1前			2		○			1						
		電気機器システム	2前			2		○						1			
		材料・加工学	1後			2		○								1	
		Introduction to Industrial Design	3前			2		○			1						
		ものづくり工学	3前			2		○			2						オムニバス
		制御工学	2後			2		○			1						
		機械計測工学	3前			2		○				1					
		自動車工学	3後			2			○		1						
		建築史	1後			2		○			1						
		建築基礎演習	1後			2			○		3	1				1	オムニバス・共同（一部）
		建築構造基礎	1後			2		○			1						
		建築計画基礎	2前			2		○				1					
		建築環境設備基礎	2前			2		○			1						
		建築設計情報演習	2前			2			○							1	
		建設プロジェクトマネジメント	3前			2		○			2						共同
		建築材料	3前			2		○								1	
		建築生産・施工	3後			2		○			2						共同
		建築環境工学	2後			2		○			1						
		建築構造設計	3前			3		○			1						※演習
		建築構造力学1	2前			2		○			1						
		建築構造力学2	2後			2		○			1						
		環境・都市基礎演習	1後			1			○		5	1					オムニバス
		SDGsと環境	1前			2		○			1						
		都市計画演習	2前			1			○		1						
		都市環境デザイン	3前			2		○			1						
		都市及び都市計画史	1前			2		○			1						
		Global Governance and Sustainable Strategy	2後			2		○			1						
		土地利用計画	2後			3		○			1						
		景観・ランドスケープデザイン	3後			2		○			1						
		生命科学概論	1前			2		○			5	2					オムニバス
		神経生理学	2前			2		○			1						
		分子生物学	2後			2		○				1					

専門科目

副専攻

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（システム理工学部　情報課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
		有機化学	1後			2		○			1						
		食品栄養学	2後			2		○				1					
		微生物学	3前			2		○				1					
		発生生物学	2後			2		○			1						
		分析化学	1後			2		○			1						
		生物物理学	3前			2		○			1						
		バイオイメージング	3後			2		○				1					
		医工学概論	1前			1		○			3	4					オムニバス
		機械力学	1前			2		○				1					
		バイオマテリアル	3前			2		○				1					
		バイオレオロジー	3前			2		○			1						
		バイオメカニクス	3前			2		○			1						
		メカトロニクス	3前			2		○				1					
		バイオエレクトロニクス	3後			2		○			1						
		バイオメカニカルエンジニアリング	3後			2		○				1					
		スポーツ工学概論	1後			2		○			2	2					オムニバス
		スポーツ工学研究法	3前			2		○			1						
		生体計測学	2前			2		○			1						オムニバス
		電気電子回路	2前	○		2		○				1					
		スポーツ信号処理	2前			2		○				1					
		映像メディア解析	3前			2		○			1						
		応用バイオメカニクス	3前			2		○				1					
		脳機能計測学	3前			2		○			1						
		健康長寿学	3後			2		○			1						
		論理と集合	1前			2		○			1						
		解析基礎	1後			2		○			1						
		代数学1	2前			2		○						1			
		幾何学1	2前			2		○				1					
		ベクトル解析	3前			2		○			1						
		複素解析	2後			2		○			1						
		数値解析1	2前			2		○			1						
		数理計画法	2前			2		○			1						
	副専攻	現象の数理	2前			2		○			1						
		数理科学概論	1後			2		○			8	4		1			オムニバス
		金融工学	3前			2		○				1					
		保険数学	3前			2		○				1					
		小計(81科目)		－		154		－			39	14		2		7	
	総合研究	総合研究1	3前	○	2					○	13	5		1			共同
		総合研究2	3後	○	2					○	13	5		1			共同
		総合研究3	4前	○	4					○	13	5		1			共同
		総合研究4	4後	○	4					○	13	5		1			共同
		小計(4科目)		－	12			－			13	5		1			
合計（286科目）			－	－	36	516	13	－			53	19		3		75	－

学位又は称号	学士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係 【大学設置基準第49条の４に定める専攻分野】 情報

卒業・修了要件及び履修方法	授業期間等	
別紙１、別紙２に記載	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	14週
	１時限の授業の標準時間	100分

【卒業・修了要件及び履修方法】

・所属する学生は、以下の要件を満たしたうえで124単位を取得すること。

・なお、履修上限は、通期48単位以下（半期24単位以下）とする。

＜情報課程　各コースの卒業要件＞

【IoTコース】

<table>
<tr><td rowspan="2">系列</td><td colspan="3">基礎教養</td><td>学際</td><td colspan="3">専門</td></tr>
<tr><td>理数・情報</td><td>社会科学
人文科学
保健体育</td><td>英語</td><td>SDGs・キャリアデザイン
システム工学
アントレプレナーシップ</td><td>主専攻</td><td>副専攻</td><td>総合研究</td></tr>
<tr><td rowspan="2">単位数</td><td>必修10単位、コース必修2単位を含む
18単位以上</td><td>選択必修2単位を含む
6単位以上</td><td>8単位以上</td><td>必修13単位以上</td><td colspan="2">主専攻5モジュール
または
主専攻4モジュール+副専攻1モジュール</td><td rowspan="2">必修
12単位</td></tr>
<tr><td colspan="4">必修23単位、選択必修2単位、コース必修2単位を含む48単位以上</td><td colspan="2">必修1単位、コース必修14単位を含む60単位以上</td></tr>
<tr><td>総単位数</td><td colspan="7">必修36単位、選択必修2単位、コース必修16単位を含む124単位以上</td></tr>
</table>

【基礎教養】
〈理数・情報〉
　コース必修：力学1
〈人文科学〉
　選択必修：倫理学、生命倫理概論、技術者と倫理

【専門科目】
〈主専攻〉
　コース必修：IoT基礎、IoT設計論、IoTプロジェクト、電気回路、電気回路演習、エレクトロニクスプロジェクト、組込みシステム
・※112単位以上修得で1モジュールの完成とする
・科目が複数のモジュールで重複する場合はモジュールの完成※1には重複してカウントされるが、総単位数には単位数は重複してカウントされない
・専門基礎モジュールを必修とする
・主専攻5モジュール または　主専攻4モジュール+副専攻1モジュール を完成すること
・上記いずれかのモジュール完成後、修得単位数が60単位に満たない場合は未修得科目から選択し、修得単位数を60単位以上にすること

【ソフトウェアコース】

<table>
<tr><td rowspan="2">系列</td><td colspan="3">基礎教養</td><td>学際</td><td colspan="3">専門</td></tr>
<tr><td>理数・情報</td><td>社会科学
人文科学
保健体育</td><td>英語</td><td>SDGs・キャリアデザイン
システム工学
アントレプレナーシップ</td><td>主専攻</td><td>副専攻</td><td>総合研究</td></tr>
<tr><td rowspan="2">単位数</td><td>必修10単位、コース必修4単位を含む
18単位以上</td><td>選択必修2単位を含む
6単位以上</td><td>8単位以上</td><td>必修13単位以上</td><td colspan="2">主専攻5モジュール
または
主専攻4モジュール+副専攻1モジュール</td><td rowspan="2">必修
12単位</td></tr>
<tr><td colspan="4">必修23単位、選択必修2単位、コース必修4単位を含む48単位以上</td><td colspan="2">必修1単位、コース必修16単位を含む60単位以上</td></tr>
<tr><td>総単位数</td><td colspan="7">必修36単位、選択必修2単位、コース必修20単位を含む124単位以上</td></tr>
</table>

【基礎教養】
〈理数・情報〉
コース必修：線形代数2、微分積分2
〈人文科学〉
選択必修：倫理学、生命倫理概論、技術者と倫理

【専門科目】
〈主専攻〉
コース必修：離散数学、情報処理入門、インターネットプロトコル、プログラミング入門、Python入門、Cプログラミング(情報)、データ構造とアルゴリズム
・※112単位以上修得で1モジュールの完成とする
・科目が複数のモジュールで重複する場合はモジュールの完成※1には重複してカウントされるが、総単位数には単位数は重複してカウントされない
・専門基礎モジュールを必修とする
・ソフトウエア開発モジュールをコース必修とする
・主専攻5モジュール または　主専攻4モジュール+副専攻1モジュール を完成すること
・上記いずれかのモジュール完成後、修得単位数が60単位に満たない場合は未修得科目から選択し、修得単位数を60単位以上にすること

【メディアコース】

<table>
<tr><td rowspan="2">系列</td><td colspan="3">基礎教養</td><td>学際</td><td colspan="3">専門</td></tr>
<tr><td>理数・情報</td><td>社会科学
人文科学
保健体育</td><td>英語</td><td>SDGs・キャリアデザイン
システム工学
アントレプレナーシップ</td><td>主専攻</td><td>副専攻</td><td>総合研究</td></tr>
<tr><td rowspan="2">単位数</td><td>必修10単位、コース必修2単位を含む
16単位以上</td><td>選択必修2単位を含む
6単位以上</td><td>8単位以上</td><td>必修13単位以上</td><td colspan="2">主専攻5モジュール
または
主専攻4モジュール+副専攻1モジュール</td><td rowspan="2">必修
12単位</td></tr>
<tr><td colspan="4">必修23単位、選択必修2単位、コース必修2単位を含む48単位以上</td><td colspan="2">必修1単位、コース必修10単位を含む60単位以上</td></tr>
<tr><td>総単位数</td><td colspan="7">必修36単位、選択必修2単位、コース必修12単位を含む124単位以上</td></tr>
</table>

【基礎教養】
〈理数・情報〉
コース必修：力学1
〈人文科学〉
選択必修：倫理学、生命倫理概論、技術者と倫理

【専門科目】
〈主専攻〉
コース必修：情報処理入門、プログラミング入門、Python入門、深層学習、機械学習、メディア処理基礎
・※112単位以上修得で1モジュールの完成とする
・科目が複数のモジュールで重複する場合はモジュールの完成※1には重複してカウントされるが、総単位数には単位数は重複してカウントされない
・専門基礎モジュールを必修とする
・主専攻5モジュール または　主専攻4モジュール+副専攻1モジュール を完成すること
・上記いずれかのモジュール完成後、修得単位数が60単位に満たない場合は未修得科目から選択し、修得単位数を60単位以上にすること

【データサイエンスコース】

<table>
<tr><td rowspan="2">系列</td><td colspan="3">基礎教養</td><td>学際</td><td colspan="3">専門</td></tr>
<tr><td>理数・情報</td><td>社会科学
人文科学
保健体育</td><td>英語</td><td>SDGs・キャリアデザイン
システム工学
アントレプレナーシップ</td><td>主専攻</td><td>副専攻</td><td>総合研究</td></tr>
<tr><td rowspan="2">単位数</td><td>必修10単位を含む
10単位以上</td><td>選択必修2単位を含む
6単位以上</td><td>8単位以上</td><td>必修13単位以上を含む
１９単位以上</td><td colspan="2">主専攻5モジュール
または
主専攻4モジュール+副専攻1
モジュール</td><td rowspan="2">必修
12単位</td></tr>
<tr><td colspan="4">必修23単位、選択必修2単位を含む48単位以上</td><td colspan="2">必修1単位、コース必修20単
位を含む60単位以上</td></tr>
<tr><td>総単位数</td><td colspan="7">必修36単位、選択必修2単位、コース必修20単位を含む124単位以上</td></tr>
</table>

【基礎教養】
〈人文科学〉
選択必修：倫理学、生命倫理概論、技術者と倫理

【専門科目】
〈主専攻〉
コース必修：プログラミング入門、Python入門、社会システム入門、データ解析、データサイエンス入門、社会シミュレーション入門、ゲーミング入門、データサイエンス実践1、データサイエンス実践2、データサイエンス実践3、データサイエンス実践4
・※112単位以上修得で1モジュールの完成とする
・科目が複数のモジュールで重複する場合はモジュールの完成※1には重複してカウントされるが、総単位数には単位数は重複してカウントされない
・専門基礎モジュールを必修とする
・社会データサイエンスモジュール、社会シミレーションモジュールをコース必修とする
・主専攻5モジュール または　主専攻4モジュール+副専攻1モジュール を完成すること
・上記いずれかのモジュール完成後、修得単位数が60単位に満たない場合は未修得科目から選択し、修得単位数を60単位以上にすること

情報課程　IoTコース

モジュール名称		科目名称	単位区分
主専攻モジュール	専門基礎モジュール	IoT基礎	必修
		IoT設計論	必修
		IoTプロジェクト	必修
		電気回路	必修
		電気回路演習	必修
		プログラミング入門	選択
		Python入門	選択
		情報倫理	必修
		Recent Trends on IoT	選択
		Global Project-based Learning	選択
	エレクトロニクス・センシングモジュール	エレクトロニクスプロジェクト	必修
		組込みシステム	必修
		ハードウェア基礎	モジュール必修
		フロントエンドとインタフェース基礎	モジュール必修
		センサとアクチュエータ	選択
		電子回路	選択
		LSI設計	選択
		宇宙観測技術	選択
	信号処理・制御モジュール	エレクトロニクスプロジェクト	必修
		システム制御	モジュール必修
		計測工学	選択
		画像情報処理	選択
		数値解析	選択
		ディジタル信号処理	選択
		MATLABプログラミング	選択
		信号解析	選択
		宇宙観測技術	選択
	データ収集と分析モジュール	データ構造とアルゴリズム	モジュール必修
		Cプログラミング(情報)	選択
		データベース	モジュール必修
		データサイエンス入門	選択
		社会システム入門	選択
		人工知能基礎	選択
		数値解析	選択
		機械学習	選択
		クラウドコンピューティング	選択
		情報セキュリティ	選択

情報課程　IoTコース

モジュール名称		科目名称	単位区分	
	ネットワーク・システムインテグレーションモジュール	コンピュータアーキテクチャ	選択	
		インターネットプロトコル	選択	
		ソフトウェア開発管理	選択	
		コミュニケーションシステム	選択	
		ネットワークアプリケーション	選択	
		ICT Systems Design	選択	
		ソフトウェア設計論	選択	
		モバイルプログラミング	選択	
		クラウドコンピューティング	選択	
		情報セキュリティ	選択	
	情報（情報）教職モジュール	情報科指導法1	モジュール必修	
		情報科指導法2	モジュール必修	
		教育の方法及び技術	モジュール必修	
		教育におけるICT活用	モジュール必修	
		情報倫理	選択	
		データベース	選択	
		情報理論	選択	
		インターネットプロトコル	選択	
		データサイエンス入門	選択	
		メディア処理基礎	選択	
		Python入門	選択	
		Cプログラミング(情報)	選択	
	留学モジュール	Introduction to Embedded Programming	モジュール選択必修	4単位以上
		Global Project-based Learning	モジュール選択必修	
		Cross-cultural Student Support	選択	
		データサイエンス入門	選択	
		社会システム入門	選択	
		Recent Trends on IoT	選択	
		Recent Trends on Software Engineering	選択	
		Recent Trends on Media Technology	選択	
		電気回路	選択	
		組込みシステム	選択	
		Basic Control Engineering	選択	
		ICT Systems Design	選択	
	教育モジュール	教職論	選択	
		特別活動の指導法	選択	
		総合的な学習の時間の指導法	選択	
		道徳の理論及び指導法	選択	
		生徒・進路指導論	選択	
		教育課程論	選択	
		教育相談論	選択	
		教育心理学	選択	
		特別支援教育論	選択	
	プログラミングモジュール	プログラミング入門	選択	
		Python入門	モジュール必修	
		Cプログラミング(情報)	選択	
		データ構造とアルゴリズム	モジュール必修	
		オブジェクト指向言語	選択	
		モバイルプログラミング	選択	
		ネットワークプログラミング	選択	
		Computer Simulation	選択	

情報課程　IoTコース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	ソフトウェア開発モジュール	ソフトウェア設計論	モジュール必修
		ソフトウェア開発管理	モジュール必修
		現代的ソフトウェア構築技法	モジュール必修
		ゲームプログラミング	選択
		モバイルプログラミング	選択
		データベース	選択
		情報セキュリティ	選択
	情報ネットワークモジュール	インターネットプロトコル	モジュール必修
		情報理論	モジュール必修
		符号理論	選択
		ネットワークアプリケーション	選択
		ICT Systems Design	選択
		クラウドコンピューティング	選択
		ネットワークプログラミング	選択
	メディア工学モジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		メディア処理1	モジュール必修
		メディア処理2	選択
		音声音響情報処理	選択
		自然言語処理	選択
		画像情報処理	選択
		ディジタル信号処理	選択
		ICT Systems Design	選択
	サイバースペースモジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		コンピュータグラフィックス	モジュール必修
		VR/AR1	選択
		VR/AR2	選択
		ヒューマンコンピュータインタラクション	選択
		サイバーセキュリティ	選択
		エンタテインメントコンピューティング	選択
		ネットワークアプリケーション	選択
		インターネットプロトコル	選択
	メディアデザインモジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		コンピュータグラフィックス	モジュール必修
		メディアデザイン1	選択
		メディアデザイン2	選択
		メディア認知心理・人間工学	選択
		メディア表現基礎	選択
		メディア表現応用	選択
		メディアコンテンツビジネス	選択

情報課程　IoTコース

モジュール名称		科目名称	単位区分
副専攻モジュール	社会データサイエンスモジュール	プログラミング入門	選択
		Python入門	選択
		社会システム入門	選択
		システム科学	選択
		社会システム実践演習	選択
		データサイエンス応用	選択
		数理シミュレーション	選択
		シミュレーション＆ゲーミング	選択
		消費者行動論	モジュール必修
		社会調査法	モジュール必修
		ビジネスエコノミクス	モジュール必修
		金融・経済リテラシー	選択
		マーケティング論	選択
		クリエイティブ産業論	選択
		保健医療福祉政策概論	選択
	機械・電気工学入門モジュール	機械・電気システムセミナー	選択
		機構学	選択
		電気機器システム	選択
		材料・加工学	選択
		Introduction to Industrial Design	選択
		ものづくり工学	選択
		制御工学	選択
		機械計測工学	選択
		自動車工学	選択
	建築モジュール	建築史	選択
		建築基礎演習	選択
		建築構造基礎	選択
		建築計画基礎	選択
		建築環境設備基礎	選択
		建築設計情報演習	選択
		建設プロジェクトマネジメント	選択
		建築材料	選択
		建築生産・施工	選択
		建築環境工学	選択
		建築構造設計	選択
		建築構造力学1	選択
		建築構造力学2	選択
	都市・環境モジュール	環境・都市基礎	モジュール必修
		環境・都市基礎演習	選択
		SDGsと環境	選択
		都市計画基礎	モジュール必修
		都市計画演習	選択
		都市環境デザイン	選択
		都市及び都市計画史	選択
		都市・地域システム計画	選択
		Global Governance and Sustainable Strategy	選択
		土地利用計画	選択
		景観・ランドスケープデザイン	選択

情報課程　IoTコース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	環境・社会モジュール	環境・都市基礎	モジュール必修
		環境・都市基礎演習	選択
		SDGsと環境	選択
		資源・エネルギーシステム論	選択
		環境政策	選択
		環境ビジネス	選択
		脱炭素と地域創発	選択
	バイオサイエンスモジュール	生命科学概論	選択
		神経生理学	選択
		分子生物学	選択
		有機化学	選択
		食品栄養学	選択
		微生物学	選択
		発生生物学	選択
		分析化学	選択
		生物物理学	選択
	医工学モジュール	バイオイメージング	選択
		医工学概論	選択
		機械力学	選択
		生体計測学	選択
		電気電子回路	選択
		バイオマテリアル	選択
		バイオレオロジー	選択
		バイオメカニクス	選択
		メカトロニクス	選択
		バイオエレクトロニクス	選択
		バイオメカニカルエンジニアリング	選択
	スポーツ工学モジュール	スポーツ工学概論	選択
		スポーツ工学研究法	選択
		生体計測学	選択
		スポーツ信号処理	選択
		映像メディア解析	選択
		応用バイオメカニクス	選択
		脳機能計測学	選択
		健康長寿学	選択
	数理科学モジュール	論理と集合	選択
		解析基礎	選択
		代数学1	選択
		幾何学1	選択
		ベクトル解析	選択
		複素解析	選択
		数値解析1	選択
		数理計画法	選択
		現象の数理	選択
		数理科学概論	選択
		金融工学	選択
		保険数学	選択

情報課程　ソフトウェアコース

モジュール名称		科目名称	単位区分
主専攻モジュール	専門基礎モジュール	情報倫理	必修
		離散数学	必修
		情報処理入門	必修
		インターネットプロトコル	必修
		コンピュータアーキテクチャ	選択
		オペレーティングシステム	選択
		データベース	選択
		情報セキュリティ	選択
		Recent Trends on Software Engineering	選択
		Global Project-based Learning	選択
	プログラミングモジュール	プログラミング入門	必修
		Python入門	必修
		Cプログラミング(情報)	必修
		データ構造とアルゴリズム	必修
		オブジェクト指向言語	必修
		ゲームプログラミング	選択
		モバイルプログラミング	選択
		ネットワークプログラミング	選択
		Computer Simulation	選択
	ソフトウエア開発モジュール	ソフトウェア設計論	モジュール必修
		ソフトウェア開発管理	モジュール必修
		現代的ソフトウェア構築技法	モジュール必修
		ネットワークアプリケーション	選択
		ゲームプログラミング	選択
		モバイルプログラミング	選択
		組込みシステム	選択
		ソフトウェア開発プロジェクト	モジュール必修
	情報ネットワークモジュール	情報理論	モジュール必修
		符号理論	選択
		ネットワークアプリケーション	モジュール必修
		ICT Systems Design	選択
		クラウドコンピューティング	選択
		ネットワークプログラミング	選択
		情報ネットワークプロジェクト	モジュール必修
	機械学習モジュール	データサイエンス入門	選択
		社会システム入門	選択
		データ解析	選択
		多変量解析	選択
		人工知能基礎	選択
		自然言語処理	選択
		深層学習	モジュール必修
		機械学習	モジュール必修
		機械学習プロジェクト	モジュール必修

情報課程　ソフトウェアコース

モジュール名称		科目名称	単位区分	
	情報（情報）教職モジュール	情報科指導法1	モジュール必修	
		情報科指導法2	モジュール必修	
		教育の方法及び技術	モジュール必修	
		教育におけるICT活用	モジュール必修	
		情報倫理	選択	
		データベース	選択	
		情報理論	選択	
		インターネットプロトコル	選択	
		データサイエンス入門	選択	
		メディア処理基礎	選択	
		Python入門	選択	
		Cプログラミング(情報)	選択	
	留学モジュール	Introduction to Embedded Programming	モジュール選択必修	４単位以上
		Global Project-based Learning	モジュール選択必修	
		Cross-cultural Student Support	選択	
		データサイエンス入門	選択	
		社会システム入門	選択	
		Recent Trends on IoT	選択	
		Recent Trends on Software Engineering	選択	
		Recent Trends on Media Technology	選択	
		組込みシステム	選択	
		ICT Systems Design	選択	
		Computer Simulation	選択	
	教育モジュール	教職論	選択	
		特別活動の指導法	選択	
		総合的な学習の時間の指導法	選択	
		道徳の理論及び指導法	選択	
		生徒・進路指導論	選択	
		教育課程論	選択	
		教育相談論	選択	
		教育心理学	選択	
		特別支援教育論	選択	
	IoT基礎モジュール	IoT基礎	モジュール必修	
		IoT設計論	モジュール必修	
		電気回路	選択	
		フロントエンドとインタフェース基礎	選択	
		センサとアクチュエータ	選択	
		ディジタル信号処理	選択	
		数値解析	選択	
		電子回路	選択	
	メディア工学モジュール	メディア処理基礎	モジュール必修	
		メディア処理1	モジュール必修	
		メディア処理2	選択	
		音声音響情報処理	選択	
		自然言語処理	選択	
		画像情報処理	選択	
		ディジタル信号処理	選択	
		ICT Systems Design	選択	

情報課程　ソフトウェアコース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	サイバースペースモジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		コンピュータグラフィックス	モジュール必修
		VR/AR1	選択
		VR/AR2	選択
		ヒューマンコンピュータインタラクション	選択
		サイバーセキュリティ	選択
		エンタテインメントコンピューティング	選択
		ネットワークアプリケーション	選択
		インターネットプロトコル	選択
	メディアデザインモジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		コンピュータグラフィックス	モジュール必修
		メディアデザイン1	選択
		メディアデザイン2	選択
		メディア認知心理・人間工学	選択
		メディア表現基礎	選択
		メディア表現応用	選択
		メディアコンテンツビジネス	選択
	社会データサイエンスモジュール	プログラミング入門	選択
		Python入門	選択
		社会システム入門	選択
		システム科学	選択
		社会システム実践演習	選択
		データサイエンス応用	選択
		数理シミュレーション	選択
		シミュレーション&ゲーミング	選択
		消費者行動論	モジュール必修
		社会調査法	モジュール必修
		ビジネスエコノミクス	モジュール必修
		金融・経済リテラシー	選択
		マーケティング論	選択
		クリエイティブ産業論	選択
		保健医療福祉政策概論	選択
	機械・電気工学入門モジュール	機械・電気システムセミナー	選択
		機構学	選択
		電気機器システム	選択
		材料・加工学	選択
		Introduction to Industrial Design	選択
		ものづくり工学	選択
		制御工学	選択
		機械計測工学	選択
		自動車工学	選択

情報課程　ソフトウェアコース

モジュール名称		科目名称	単位区分
副専攻モジュール	建築モジュール	建築史	選択
		建築基礎演習	選択
		建築構造基礎	選択
		建築計画基礎	選択
		建築環境設備基礎	選択
		建築設計情報演習	選択
		建設プロジェクトマネジメント	選択
		建築材料	選択
		建築生産・施工	選択
		建築環境工学	選択
		建築構造設計	選択
		建築構造力学1	選択
		建築構造力学2	選択
	都市・環境モジュール	環境・都市基礎	モジュール必修
		環境・都市基礎演習	選択
		SDGsと環境	選択
		都市計画基礎	モジュール必修
		都市計画演習	選択
		都市環境デザイン	選択
		都市及び都市計画史	選択
		都市・地域システム計画	選択
		Global Governance and Sustainable Strategy	選択
		土地利用計画	選択
		景観・ランドスケープデザイン	選択
	環境・社会モジュール	環境・都市基礎	モジュール必修
		環境・都市基礎演習	選択
		SDGsと環境	選択
		資源・エネルギーシステム論	選択
		環境政策	選択
		環境ビジネス	選択
		脱炭素と地域創発	選択
	バイオサイエンスモジュール	生命科学概論	選択
		神経生理学	選択
		分子生物学	選択
		有機化学	選択
		食品栄養学	選択
		微生物学	選択
		発生生物学	選択
		分析化学	選択
		生物物理学	選択

情報課程　ソフトウェアコース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	医工学モジュール	バイオイメージング	選択
		医工学概論	選択
		機械力学	選択
		生体計測学	選択
		電気電子回路	選択
		バイオマテリアル	選択
		バイオレオロジー	選択
		バイオメカニクス	選択
		メカトロニクス	選択
		バイオエレクトロニクス	選択
		バイオメカニカルエンジニアリング	選択
	スポーツ工学モジュール	スポーツ工学概論	選択
		スポーツ工学研究法	選択
		生体計測学	選択
		スポーツ信号処理	選択
		映像メディア解析	選択
		応用バイオメカニクス	選択
		脳機能計測学	選択
		健康長寿学	選択
	数理科学モジュール	論理と集合	選択
		解析基礎	選択
		代数学1	選択
		幾何学1	選択
		ベクトル解析	選択
		複素解析	選択
		数値解析1	選択
		数理計画法	選択
		現象の数理	選択
		数理科学概論	選択
		金融工学	選択
		保険数学	選択

情報課程　メディアコース

モジュール名称		科目名称	単位区分
主専攻モジュール	専門基礎モジュール	情報処理入門	必修
		Python入門	必修
		プログラミング入門	必修
		情報倫理	必修
		深層学習	必修
		機械学習	必修
		メディア処理基礎	必修
		IoT基礎	選択
		Recent Trends on Media Technology	選択
		Global Project-based Learning	選択
		データサイエンス入門	選択
		社会システム入門	選択
	メディア工学モジュール	コンピュータグラフィックス	モジュール必修
		メディア処理1	モジュール必修
		メディア処理2	モジュール必修
		音声音響情報処理	選択
		自然言語処理	選択
		画像情報処理	選択
		ディジタル信号処理	選択
		ICT Systems Design	選択
	サイバースペースモジュール	コンピュータグラフィックス	モジュール必修
		VR/AR1	モジュール必修
		VR/AR2	モジュール必修
		ヒューマンコンピュータインタラクション	選択
		サイバーセキュリティ	選択
		エンタテインメントコンピューティング	選択
		ネットワークアプリケーション	選択
		インターネットプロトコル	選択
	メディアデザインモジュール	コンピュータグラフィックス	モジュール必修
		メディアデザイン1	モジュール必修
		メディアデザイン2	モジュール必修
		メディア認知心理・人間工学	選択
		メディア表現基礎	選択
		メディア表現応用	選択
		メディアコンテンツビジネス	選択
	ソフトウェアモジュール	Cプログラミング(情報)	モジュール必修
		データ構造とアルゴリズム	モジュール必修
		離散数学	選択
		オブジェクト指向言語	選択
		ソフトウェア設計論	選択
		データベース	選択
		オペレーティングシステム	選択
		情報セキュリティ	選択
		Computer Simulation	選択

情報課程　メディアコース

モジュール名称	科目名称	単位区分	
情報（情報）教職モジュール	情報科指導法1	モジュール必修	
	情報科指導法2	モジュール必修	
	教育の方法及び技術	モジュール必修	
	教育におけるICT活用	モジュール必修	
	情報倫理	選択	
	データベース	選択	
	情報理論	選択	
	インターネットプロトコル	選択	
	データサイエンス入門	選択	
	メディア処理基礎	選択	
	Python入門	選択	
	Cプログラミング(情報)	選択	
留学モジュール	Introduction to Embedded Programming	モジュール選択必修	4単位以上
	Global Project-based Learning	モジュール選択必修	
	Cross-cultural Student Support	選択	
	データサイエンス入門	選択	
	社会システム入門	選択	
	Recent Trends on IoT	選択	
	Recent Trends on Software Engineering	選択	
	Recent Trends on Media Technology	選択	
	ICT Systems Design	選択	
	サイバーセキュリティ	選択	
	Computer Simulation	選択	
教育モジュール	教職論	選択	
	特別活動の指導法	選択	
	総合的な学習の時間の指導法	選択	
	道徳の理論及び指導法	選択	
	生徒・進路指導論	選択	
	教育課程論	選択	
	教育相談論	選択	
	教育心理学	選択	
	特別支援教育論	選択	
IoT基礎モジュール	IoT基礎	モジュール必修	
	IoT設計論	モジュール必修	
	電気回路	選択	
	フロントエンドとインタフェース基礎	選択	
	センサとアクチュエータ	選択	
	ディジタル信号処理	選択	
	数値解析	選択	
	電子回路	選択	
プログラミングモジュール	プログラミング入門	選択	
	Python入門	モジュール必修	
	Cプログラミング(情報)	選択	
	データ構造とアルゴリズム	モジュール必修	
	オブジェクト指向言語	選択	
	モバイルプログラミング	選択	
	ネットワークプログラミング	選択	
	Computer Simulation	選択	
ソフトウエア開発モジュール	ソフトウェア設計論	モジュール必修	
	ソフトウェア開発管理	モジュール必修	
	現代的ソフトウェア構築技法	モジュール必修	
	ゲームプログラミング	選択	
	モバイルプログラミング	選択	
	データベース	選択	
	情報セキュリティ	選択	

情報課程　メディアコース

モジュール名称		科目名称	単位区分
副専攻モジュール	情報ネットワークモジュール	インターネットプロトコル	モジュール必修
		情報理論	モジュール必修
		符号理論	選択
		ネットワークアプリケーション	選択
		ICT Systems Design	選択
		クラウドコンピューティング	選択
		ネットワークプログラミング	選択
	社会データサイエンスモジュール	プログラミング入門	選択
		Python入門	選択
		社会システム入門	選択
		システム科学	選択
		社会システム実践演習	選択
		データサイエンス応用	選択
		数理シミュレーション	選択
		シミュレーション＆ゲーミング	選択
		消費者行動論	モジュール必修
		社会調査法	モジュール必修
		ビジネスエコノミクス	モジュール必修
		金融・経済リテラシー	選択
		マーケティング論	選択
		クリエイティブ産業論	選択
		保健医療福祉政策概論	選択
	機械・電気工学入門モジュール	機械・電気システムセミナー	選択
		機構学	選択
		電気機器システム	選択
		材料・加工学	選択
		Introduction to Industrial Design	選択
		ものづくり工学	選択
		制御工学	選択
		機械計測工学	選択
		自動車工学	選択
	建築モジュール	建築史	選択
		建築基礎演習	選択
		建築構造基礎	選択
		建築計画基礎	選択
		建築環境設備基礎	選択
		建築設計情報演習	選択
		建設プロジェクトマネジメント	選択
		建築材料	選択
		建築生産・施工	選択
		建築環境工学	選択
		建築構造設計	選択
		建築構造力学1	選択
		建築構造力学2	選択
	都市・環境モジュール	環境・都市基礎	モジュール必修
		環境・都市基礎演習	選択
		SDGsと環境	選択
		都市計画基礎	モジュール必修
		都市計画演習	選択
		都市環境デザイン	選択
		都市及び都市計画史	選択
		都市・地域システム計画	選択
		Global Governance and Sustainable Strategy	選択
		土地利用計画	選択
		景観・ランドスケープデザイン	選択

情報課程　メディアコース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	環境・社会モジュール	環境・都市基礎	モジュール必修
		環境・都市基礎演習	選択
		SDGsと環境	選択
		資源・エネルギーシステム論	選択
		環境政策	選択
		環境ビジネス	選択
		脱炭素と地域創発	選択
	バイオサイエンスモジュール	生命科学概論	選択
		神経生理学	選択
		分子生物学	選択
		有機化学	選択
		食品栄養学	選択
		微生物学	選択
		発生生物学	選択
		分析化学	選択
		生物物理学	選択
	医工学モジュール	バイオイメージング	選択
		医工学概論	選択
		機械力学	選択
		生体計測学	選択
		電気電子回路	選択
		バイオマテリアル	選択
		バイオレオロジー	選択
		バイオメカニクス	選択
		メカトロニクス	選択
		バイオエレクトロニクス	選択
		バイオメカニカルエンジニアリング	選択
	スポーツ工学モジュール	スポーツ工学概論	選択
		スポーツ工学研究法	選択
		生体計測学	選択
		スポーツ信号処理	選択
		映像メディア解析	選択
		応用バイオメカニクス	選択
		脳機能計測学	選択
		健康長寿学	選択
	数理科学モジュール	論理と集合	選択
		解析基礎	選択
		代数学1	選択
		幾何学1	選択
		ベクトル解析	選択
		複素解析	選択
		数値解析1	選択
		数理計画法	選択
		現象の数理	選択
		数理科学概論	選択
		金融工学	選択
		保険数学	選択

情報課程　データサイエンスコース

モジュール名称		科目名称	単位区分
主専攻モジュール	専門基礎モジュール	プログラミング入門	必修
		Python入門	必修
		情報倫理	必修
		社会システム入門	必修
		データ解析	必修
		システム科学	選択
		データベース	選択
		IoT基礎	選択
		インターネットプロトコル	選択
		メディア処理基礎	選択
	社会データサイエンスモジュール	データサイエンス入門	必修
		データサイエンス応用	モジュール必修
		機械学習	モジュール必修
		機械学習データサイエンス演習	モジュール必修
		深層学習	モジュール必修
		深層学習データサイエンス演習	モジュール必修
		人工知能基礎	モジュール必修
		人工知能データサイエンス演習	モジュール必修
	社会シミュレーションモジュール	社会シミュレーション入門	必修
		オブジェクト指向言語	モジュール必修
		数理シミュレーション	モジュール必修
		エージェントシミュレーション	モジュール必修
		ゲーミング入門	必修
		シミュレーション＆ゲーミング	モジュール必修
	データサイエンス実践モジュール	データサイエンス実践1	必修
		データサイエンス実践2	必修
		データサイエンス実践3	必修
		データサイエンス実践4	必修
		社会システム実践演習	選択
	経営経済モジュール	消費者行動論	モジュール必修
		社会調査法	モジュール必修
		ビジネスエコノミクス	選択
		金融・経済リテラシー	モジュール必修
		マーケティング論	選択
		クリエイティブ産業論	選択
		情報経営論	選択
		環境・都市基礎	選択
		環境ビジネス	選択

情報課程　データサイエンスコース

モジュール名称		科目名称	単位区分	
	政策科学モジュール	保健医療福祉政策概論	選択	
		都市計画基礎	モジュール必修	
		環境・都市基礎	選択	
		環境政策	選択	
		都市・地域システム計画	選択	
		資源・エネルギーシステム論	選択	
		脱炭素と地域創発	選択	
		環境ビジネス	選択	
		交通システム計画	選択	
		金融・経済リテラシー	モジュール必修	
	情報（情報）教職モジュール	情報科指導法1	モジュール必修	
		情報科指導法2	モジュール必修	
		教育の方法及び技術	モジュール必修	
		教育におけるICT活用	モジュール必修	
		情報倫理	選択	
		データベース	選択	
		情報理論	選択	
		インターネットプロトコル	選択	
		データサイエンス入門	選択	
		メディア処理基礎	選択	
		Python入門	選択	
		Cプログラミング(情報)	選択	
	留学モジュール	Introduction to Embedded Programming	モジュール選択必修	┐
		Global Project-based Learning	モジュール選択必修	┘ 4単位以上
		Cross-cultural Student Support	選択	
		データサイエンス入門	選択	
		社会システム入門	選択	
		社会シミュレーション入門	選択	
		ゲーミング入門	選択	
		Recent Trends on IoT	選択	
		Recent Trends on Software Engineering	選択	
		Recent Trends on Media Technology	選択	
		サイバーセキュリティ	選択	
		ICT Systems Design	選択	
	教育モジュール	教職論	選択	
		特別活動の指導法	選択	
		総合的な学習の時間の指導法	選択	
		道徳の理論及び指導法	選択	
		生徒・進路指導論	選択	
		教育課程論	選択	
		教育相談論	選択	
		教育心理学	選択	
		特別支援教育論	選択	
	IoT基礎モジュール	IoT基礎	モジュール必修	
		IoT設計論	モジュール必修	
		電気回路	選択	
		フロントエンドとインタフェース基礎	選択	
		センサとアクチュエータ	選択	
		ディジタル信号処理	選択	
		数値解析	選択	
		電子回路	選択	

情報課程　データサイエンスコース

モジュール名称		科目名称	単位区分
副専攻モジュール	プログラミングモジュール	プログラミング入門	選択
		Python入門	モジュール必修
		Cプログラミング(情報)	選択
		データ構造とアルゴリズム	モジュール必修
		オブジェクト指向言語	選択
		モバイルプログラミング	選択
		ネットワークプログラミング	選択
		Computer Simulation	選択
	ソフトウェア開発モジュール	ソフトウェア設計論	モジュール必修
		ソフトウェア開発管理	モジュール必修
		現代的ソフトウェア構築技法	モジュール必修
		ゲームプログラミング	選択
		モバイルプログラミング	選択
		データベース	選択
		情報セキュリティ	選択
	情報ネットワークモジュール	インターネットプロトコル	モジュール必修
		情報理論	モジュール必修
		符号理論	選択
		ネットワークアプリケーション	選択
		ICT Systems Design	選択
		クラウドコンピューティング	選択
		ネットワークプログラミング	選択
	メディア工学モジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		メディア処理1	モジュール必修
		メディア処理2	選択
		音声音響情報処理	選択
		自然言語処理	選択
		画像情報処理	選択
		ディジタル信号処理	選択
		ICT Systems Design	選択
	サイバースペースモジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		コンピュータグラフィックス	モジュール必修
		VR/AR1	選択
		VR/AR2	選択
		ヒューマンコンピュータインタラクション	選択
		サイバーセキュリティ	選択
		エンタテインメントコンピューティング	選択
		ネットワークアプリケーション	選択
		インターネットプロトコル	選択
	メディアデザインモジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		コンピュータグラフィックス	モジュール必修
		メディアデザイン1	選択
		メディアデザイン2	選択
		メディア認知心理・人間工学	選択
		メディア表現基礎	選択
		メディア表現応用	選択
		メディアコンテンツビジネス	選択
	機械・電気工学入門モジュール	機械・電気システムセミナー	選択
		機構学	選択
		電気機器システム	選択
		材料・加工学	選択
		Introduction to Industrial Design	選択
		ものづくり工学	選択
		制御工学	選択
		機械計測工学	選択
		自動車工学	選択

情報課程　データサイエンスコース

モジュール名称		科目名称	単位区分
ール	建築モジュール	建築史	選択
		建築基礎演習	選択
		建築構造基礎	選択
		建築計画基礎	選択
		建築環境設備基礎	選択
		建築設計情報演習	選択
		建設プロジェクトマネジメント	選択
		建築材料	選択
		建築生産・施工	選択
		建築環境工学	選択
		建築構造設計	選択
		建築構造力学1	選択
		建築構造力学2	選択
	都市・環境モジュール	環境・都市基礎	モジュール必修
		環境・都市基礎演習	選択
		SDGsと環境	選択
		都市計画基礎	モジュール必修
		都市計画演習	選択
		都市環境デザイン	選択
		都市及び都市計画史	選択
		都市・地域システム計画	選択
		Global Governance and Sustainable Strategy	選択
		土地利用計画	選択
		景観・ランドスケープデザイン	選択
	環境・社会モジュール	環境・都市基礎	モジュール必修
		環境・都市基礎演習	選択
		SDGsと環境	選択
		資源・エネルギーシステム論	選択
		環境政策	選択
		環境ビジネス	選択
		脱炭素と地域創発	選択
	バイオサイエンスモジュール	生命科学概論	選択
		神経生理学	選択
		分子生物学	選択
		有機化学	選択
		食品栄養学	選択
		微生物学	選択
		発生生物学	選択
		分析化学	選択
		生物物理学	選択
	医工学モジュール	バイオイメージング	選択
		医工学概論	選択
		機械力学	選択
		生体計測学	選択
		電気電子回路	選択
		バイオマテリアル	選択
		バイオレオロジー	選択
		バイオメカニクス	選択
		メカトロニクス	選択
		バイオエレクトロニクス	選択
		バイオメカニカルエンジニアリング	選択

情報課程　データサイエンスコース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	スポーツ工学モジュール	スポーツ工学概論	選択
		スポーツ工学研究法	選択
		生体計測学	選択
		スポーツ信号処理	選択
		映像メディア解析	選択
		応用バイオメカニクス	選択
		脳機能計測学	選択
		健康長寿学	選択
	数理科学モジュール	論理と集合	選択
		解析基礎	選択
		代数学1	選択
		幾何学1	選択
		ベクトル解析	選択
		複素解析	選択
		数値解析1	選択
		数理計画法	選択
		現象の数理	選択
		数理科学概論	選択
		金融工学	選択
		保険数学	選択

別記様式第２号（その２の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（システム理工学部　機械・電気課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
学際科目	ＳＤＧｓ・キャリアデザイン	SDGs入門	1前	○	2			○			1						
		未来を創る1	1前	○	2			○			1						※演習
		未来を創る2	2後	○	1			○			1						※演習
		ダイバーシティ入門	1前・後			2		○								1	
		インターンシップ	2前・後			2		○			2						※演習、共同
		芝浦工業大学通論	1前・後			2		○								1	
		小計(6科目)		－	5	6		－			3					2	
	アントレプレナーシップ	アントレプレナーシップA(価値創造)	3前	○	2			○			1	1				1	共同
		アントレプレナーシップB(事業創出)	3後			2		○			1	1				1	共同
		経営工学	２前			2		○				1					
		産学官金連携PBL	3前・後			2		○			2						※演習、共同
		会計簿記	３後			2		○								1	
		小計(5科目)		－	2	8		－			2	1				2	
	システム工学	システム工学Ａ(システム計画方法論)	2前	○	3			○	○		3	1					※演習、共同
		システム工学Ｂ(数理計画法)	2後	○	3			○	○		3	1					※演習、共同
		プロジェクトマネジメント	3前			2		○								1	
		Advanced Systems Science and Engineering1	2前・後			2		○			2	1					共同
		Advanced Systems Science and Engineering2	2前・後			2		○			2	1					共同
		信頼性工学	3後			2		○								1	
		人間工学	2前			2		○								1	
		サイバーセキュリティと社会	3後			2		○				1					
		小計(8科目)		－	6	12		－			3	2				3	
	理数・情報	微分積分1	1前	○	2			○			1					1	共同
		微分積分2	1後	○	2			○			1					1	共同
		線形代数1	1前	○	2			○			1					1	共同
		線形代数2	1後	○	2			○				1				1	
		力学1	1前	○	2			○			1						
		力学2	1後			2		○								1	
		波動・熱力学	1後	○	2			○			1						
		電磁気学	2前			2		○			1					1	共同
		生物学	1前			2		○								1	
		化学	1前			2		○								1	
		現代物理学概論	2後			2		○			1						
		情報基礎	1前	○	3			○			2	2		1			共同
		AI基礎	2後	○	1			○			2	1		1			共同、標準外
		統計学基礎	1前	○	1			○			2	1		1			共同、標準外
		データサイエンスリテラシー	1後	○	1			○			2	1		1			共同
		小計(15科目)		－	18	10		－			6	3		1		7	

別記様式第２号（その２の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（システム理工学部　機械・電気課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
基礎教養科目	社会科学	科学技術史	1後			2		○								1	
		科学技術と社会	1前			2		○								1	
		行政学	1後			2		○								1	
		政治学	1後			2		○								1	
		社会福祉論	1前			2		○								1	
		情報社会と法	1前			2		○								1	
		日本国憲法	1後			2		○								1	
		社会学概論	1後			2		○			1						
		人間と自然環境	1後			2		○								1	
		教育社会学	1前・後			2		○								1	
		小計(10科目)		－		20		－			1					8	
	人文科学	哲学1	1前			2		○								1	
		哲学2	1後			2		○								1	
		倫理学	1前・後			2		○								1	
		生命倫理概論	1前・後			2		○								1	
		技術者と倫理	3前			2		○								1	
		世界史A	1前			2		○								1	
		世界史B	1前			2		○								1	
		国際デザイン史	1後			2		○			1						
		認知心理学	1前			2		○								1	
		組織心理学	1後			2		○								1	
		教育の近現代史	1前・後			2		○				1					
		教育原論	1前・後			2		○				1					
		人間関係論	1前・後			2		○								1	
		小計(13科目)		－		26		－			1	1				6	
	保健体育	体育実技1	1前・後			1			○		3	3				11	共同
		体育実技2	1前・後			1			○		3	3				11	共同
		からだの仕組みと運動	1前			2		○								1	
		身体運動のメカニズム	1後			2		○								1	
		健康科学論Ａ	1前			2		○								1	
		健康科学論Ｂ	1後			2		○								1	
		小計(6科目)		－		10		－			3	3				11	
	英語	English Basic Skills1	1前			2		○			1					5	共同
		English Basic Skills2	1後			2		○								5	共同
		English Advanced Skills1	1前			2		○			1					2	共同
		English Advanced Skills2	1後			2		○			1					2	共同
		English Remedial Course1	1前				2	○								2	共同
		English Remedial Course2	1後				2	○								2	共同
		Basic English for Science and Technology1	2前			2		○			1					3	共同
		Basic English for Science and Technology2	2後			2		○			1					3	共同
		Advanced English for Science and Technology1	2前			2		○			1					3	共同
		Advanced English for Science and Technology2	2後			2		○								3	共同
		理工系英語プレゼンテーション	2前・後			2		○			1						
		海外英語研修1	1前・後			2			○		1						標準外

別記様式第２号（その２の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（システム理工学部　機械・電気課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
		海外英語研修2	1前・後			2			○		1						標準外
		海外短期英語研修1	1前・後			1			○		1						標準外
		海外短期英語研修2	1前・後			1			○		1						標準外
		学外英語検定1	1前・後			2			○		1						標準外
		学外英語検定2	1前・後			2			○		1						標準外
		小計(17科目)	－	－		28	4	－			3					12	
教職課程		事前・事後指導	3前・後				1	○			1	1					共同
		教育実習1	3前・後				2			○	1	1					共同
		教育実習2	3前・後				2			○	1	1					共同
		教職実践演習(中・高)	4前・後				2		○		1	1					共同
		教職インターンシップ1	1前・後				1		○		1	1					共同
		教職インターンシップ2	1前・後				1		○		1	1					共同
		小計(6科目)	－	－			9	－			1	1					
	主専攻	Basic Control　Engineering	2後			2		○			1						
		制御工学	2後			2		○			1						
		Introduction to Control Engineering	2前			2		○			1						
		生体計測学	2前			2		○			1						
		Cプログラミング(機械・電気)	1後	○	3			○			1			1			オムニバス
		医工学概論	1前			1		○			3	4					オムニバス
		Introduction to Biomedical-Engineering	1後			1		○			3	4					オムニバス
		Introduction to Embedded Programming	1前			2				○	3	1					標準外、共同
		Introduction to Industrial Design	2前			2		○			1						
		デザインエルゴノミクス	2後			2			○		1						
		ディジタル信号処理	2前			2		○								1	
		メカトロニクス	3前			2		○				1					
		ものづくり工学	3前			2		○			2						オムニバス
		ロボット工学演習	2後			1			○		1						
		ロボティクス	3前			2		○			1						
		応用材料力学	3前			2		○			1						
		応用設計	3前			3		○			2						※演習、共同
		回路とシステム	2後			2		○						1			
		機械・電気システムセミナー	2後			2		○			10	1		1			オムニバス
		機械・電気基礎数学	2前	○	2			○			1						
		機械・電気工学実験	3前			3				○	1	1		1			共同
		ものづくり工学実習	1後	○	2					○	1					1	共同
		機械基礎製図	2前			2			○		1					1	共同
		機械計測工学	2前			2		○				1					
		機械力学	1前	○	2			○				1					
		機構学	1前			2		○			1						
		計測工学	1後			2		○			1						
		工業デザイン演習	3前			2			○		1						
		材料・加工学	1後			2		○								1	
		材料力学	2前			2		○			1						
		自動車工学	3後			2		○			1						
		振動工学	2前			2		○						1			
		数値流体力学概論	3前			2		○								1	
		設計製図	2後			2			○		1	1				1	共同
		線形システム制御	3前			2		○			1						
		創生設計	3後			3		○			2						※演習、共同
		伝熱工学	3後			2		○			1						
		電気・熱流体機器演習	3後			3		○			1						※演習
		電気電子回路	2前			2		○				1					
		電気機器システム	1前			2		○						1			
		熱力学	2後			2		○			1						
		微分方程式	1後	○	2			○			2						オムニバス
		流れ学	2前			2		○			1						
		フロントエンドとインタフェース基礎	1後			2		○								1	
		センサとアクチュエータ	2前			2		○			2			1			ニバス・共同（一
		エンジニアリング・プラクティス1	1前			1				○	2						共同
		エンジニアリング・プラクティス2	2前			2				○	2						共同
		技術科指導法１	2前・後			2		○								1	
		技術科指導法2	2前・後			2		○								1	
		技術科指導法３	3前・後			2		○								1	
		技術科指導法４	3前・後			2		○								1	
		工業科指導法１	2前・後			2		○								1	
		工業科指導法2	2前・後			2		○								1	
		職業指導	1前・後			2		○								1	
		工学基礎概論	1前・後			1		○			1						
		栽培学	1前・後			2		○			1						
		教育におけるICT活用	1前・後			1		○								2	
		教育の方法及び技術	1前・後			1		○								2	
		Cross-cultural Student Support	1前・後			1				○	1						
		小計（59科目）	—	—	11	104		－			19	5		1		7	
		教職論	1前・後			2		○			1						
		特別活動の指導法	2前・後			1		○								1	
		総合的な学習の時間の指導法	2前・後			1		○								1	
		道徳の理論及び指導法	2前・後			2		○				1					

別記様式第２号（その２の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（システム理工学部　機械・電気課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
専門科目	副専攻	生徒・進路指導論	1前・後			2		○								1	
		教育課程論	1前・後			2		○								1	
		教育相談論	1前・後			2		○								1	
		教育心理学	1前・後			2		○								1	
		特別支援教育論	1前・後			1		○								1	
		IoT基礎	1前			2		○			1						
		IoT設計論	2前			2		○			1						
		電気回路	1後			2		○			1	1					共同
		数値解析	2前			2		○				1					オムニバス
		電子回路	2後			3		○								1	※演習
		プログラミング入門	1前			1		○			1			1			オムニバス
		Python入門	1前			1		○			1			1			演習、オムニバ
		Cプログラミング(情報)	1後				3	○				2					演習、オムニバ
		データ構造とアルゴリズム	2前			3		○			1						※演習
		オブジェクト指向言語	2前			2		○			1						※演習
		モバイルプログラミング	3後			2		○			1						
		ネットワークプログラミング	3前			2		○			1						
		Computer　Simulation	3前			2		○								1	
		ソフトウェア設計論	3前			2		○			1						
		ソフトウェア開発管理	2前			2		○			2						オムニバス
		現代的ソフトウェア構築技法	2後			2		○			1						
		ゲームプログラミング	3後			2		○			1						
		データベース	2後			2		○								1	
		情報セキュリティ	3後			2		○				1					
		インターネットプロトコル	1後			2		○			1						
		情報理論	2前			2		○			1						メディア
		符号理論	3前			2		○			1						
		ネットワークアプリケーション	2後			2		○				1					
		ICT Systems Design	3前			2		○				1					
		クラウドコンピューティング	3後			2		○			1						
		メディア処理基礎	1前			2		○			2						オムニバス
		メディア処理1	2後			2		○			1						
		メディア処理2	3前			2		○			1						
		音声音響情報処理	2前			2		○			1						
		自然言語処理	2後			2		○								1	
		画像情報処理	1後			2		○			1						
		コンピュータグラフィックス	2前			2		○			1						
		VR/AR1	2後			2		○			1						
		VR/AR2	3前			2		○			1						
		ヒューマンコンピュータインタラクション	3後			2		○			1						
		サイバーセキュリティ	3前			2		○				1					
		エンタテインメントコンピューティング	2前			2		○			1						
		メディアデザイン1	2後			2		○			1						
		メディアデザイン2	3前			2		○			1						
		メディア認知心理・人間工学	2前			2		○			1						
		メディア表現基礎	1後			2		○			1						
		メディア表現応用	2後			2		○			1						
		メディアコンテンツビジネス	3後			2		○				1					
		社会システム入門	1前			1		○			2	1		1			オムニバス
		システム科学	4前			2		○			2	1		1			共同
		社会システム実践演習	3後			3		○			2	1		1			共同
		データサイエンス応用	1後			3		○			1			1			※演習、共同
		数理シミュレーション	2後			3		○				1		1			※演習、共同
		シミュレーション＆ゲーミング	2前			2		○			2						※共同
		消費者行動論	1後			2		○			1	1					※演習、共同
		社会調査法	1前			2		○			1			1			共同
		ビジネスエコノミクス	1前			2		○			1						
		金融・経済リテラシー	1後			2		○			1						
		マーケティング論	1前			2		○								1	
		クリエイティブ産業論	1後			2		○			1						
		保健医療福祉政策概論	1前			2		○			1						
		建築史	1後			2		○			1						
		建築基礎演習	1後			2		○			3	1				1	ニバス・共同（一
		建築構造基礎	1後			2		○			1						
		建築計画基礎	2前			2		○				1					
		建築環境設備基礎	2前			2		○			1						
		建築設計情報演習	2前			2		○				1				1	共同
		建設プロジェクトマネジメント	3前			2		○			1						
		建築材料	3前			2		○								1	
		建築生産・施工	3後			2		○			1						
		建築環境工学	2後			2		○			1						
		建築構造設計	3前			3		○			1						※演習
		建築構造力学1	2前			2		○			1						
		建築構造力学2	2後			2		○			1						
		環境・都市基礎	1後			2		○			5	1					オムニバス
		環境・都市基礎演習	1後			1			○		5	1					オムニバス
		SDGsと環境	1前			2		○			1						
		都市計画基礎	2前			2		○			1						
		都市計画演習	2前			1			○		1						
		都市環境デザイン	3前			2		○			1						
		都市及び都市計画史	1前			2		○			1						
		都市・地域システム計画	3前			2		○			4	1					オムニバス
		Global Governance and Sustainable Strategy	2後			2		○			1						
		土地利用計画	2後			3		○			1						
		景観・ランドスケープデザイン	3後			2		○			1						
		資源・エネルギーシステム論	2前			3		○			1						※演習
		環境政策	3前			2		○			1						

別記様式第２号（その２の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（システム理工学部　機械・電気課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
		環境ビジネス	2後			3		○			1						※演習
		脱炭素と地域創発	3前			2		○			1						
		生命科学概論	1前			2		○			5	2					オムニバス
		神経生理学	2前			2		○			1						
		分子生物学	2後			2		○				1					
		有機化学	1後			2		○			1						
		食品栄養学	2後			2		○				1					
		微生物学	3前			2		○				1					
		発生生物学	2後			2		○			1						
		分析化学	1後			2		○			1						
		生物物理学	3前			2		○			1						
		バイオイメージング	3後			2		○				1					
		バイオマテリアル	3前			2		○				1					
		バイオレオロジー	3前			2		○			1						
		バイオメカニクス	3前			2		○			1						
		バイオエレクトロニクス	3後			2		○			1						
		バイオメカニカルエンジニアリング	3後			2		○				1					
		スポーツ工学概論	1後			2		○			2	2					オムニバス
		スポーツ工学研究法	3前			2		○			1						
		スポーツ信号処理	2前			2		○				1					
		映像メディア解析	3前			2		○			1						
		応用バイオメカニクス	3前			2		○				1					
		脳機能計測学	3前			2		○			1						
		健康長寿学	3後			2		○			1						
		論理と集合	1前			2		○			1						
		解析基礎	1後			2		○			1						
		代数学1	2前			2		○						1			
		幾何学1	2前			2		○				1					
		ベクトル解析	3前			2		○			1						
		複素解析	2後			2		○			1						
		数値解析1	2前			2		○			1						
		数理計画法	2前			2		○			1						
		現象の数理	2前			2		○			1						
		数理科学概論	1後			2		○			8	4		1			オムニバス
		金融工学	3前			2		○				1					
		保険数学	3前			2		○				1					
		小計（128科目）				253	3	－			39	18		3		11	
	総合研究	総合研究１	3前	○	2					○	10	1		1			共同
		総合研究２	3後	○	2					○	10	1		1			共同
		総合研究３	4前	○	4					○	10	1		1			共同
		総合研究４	4後	○	4					○	10	1		1			共同
		小計（59科目）	—	—	12		3	－			10	1		1			
合計（181科目）				－	54	574	16	－			48	19		3		73	

学位又は称号	学士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係 【大学設置基準第49条の4に定める専攻分野】　機械・電気

卒業・修了要件及び履修方法	授業期間等	
別紙１、別紙２に記載	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	14週
	１時限の授業の標準時間	100分

【別紙１】

【卒業・修了要件及び履修方法】

・所属する学生は、以下の要件を満たしたうえで１２４単位を取得すること。

・なお、履修上限は、通期４８単位以下（半期２４単位以下）とする。

【機械・電気コース】

<table>
<tr><td rowspan="2">系列</td><td colspan="3">基礎教養科目</td><td>学際科目</td><td colspan="3">専門科目</td></tr>
<tr><td>理数・情報</td><td>社会科学
人文科学
保健体育</td><td>英語</td><td>SDGs・キャリアデザイン
システム工学
アントレプレナーシップ
その他</td><td>主専攻</td><td>副専攻</td><td>総合研究</td></tr>
<tr><td rowspan="2">単位数</td><td>必修18単位を含む
18単位以上</td><td>選択必修2単位を含む
６単位以上</td><td>8単位以上</td><td>必修13単位以上</td><td colspan="2">主専攻5モジュール
または
主専攻4モジュール+副専攻1モジュール</td><td rowspan="2">必修
12単位</td></tr>
<tr><td colspan="4">必修31単位、選択必修2単位を含む48単位以上</td><td colspan="2">必修11単位を含む60単位以上</td></tr>
<tr><td>総単位数</td><td colspan="7">必修54単位、選択必修2単位を含む124単位以上</td></tr>
</table>

【基礎教養】
〈人文科学〉
選択必修：倫理学、生命倫理概論、技術者と倫理

【専門科目】
・※１12単位以上修得で1モジュールの完成とする
・科目が複数のモジュールで重複する場合はモジュールの完成※１には重複してカウントされるが、総単位数には単位数は重複してカウントされない
・専門基礎モジュールは必修とする
・機械工学モジュール、電気工学モジュールのどちらか1モジュールを選択必修とする
・主専攻５モジュール または　主専攻４モジュール+副専攻１モジュール を完成すること
・上記いずれかのモジュール完成後、修得単位数が60単位に満たない場合は未修得科目から選択し、修得単位数を60単位以上にすること

【別紙２】

機械・電気課程 機械・電気コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	専門基礎モジュール（必修）	微分方程式	必修
		機械力学	必修
		Cプログラミング（機械・電気）	必修
		機械・電気基礎数学	必修
		ものづくり工学実習	必修
		機械・電気システムセミナー	選択
		エンジニアリング・プラクティス1	選択
		エンジニアリング・プラクティス2	選択
		ものづくり工学	選択
	機械工学モジュール（選択必修）	機構学	選択
		材料・加工学	選択
		機械基礎製図	モジュール必修
		熱力学	モジュール必修
		材料力学	モジュール必修
		流れ学	モジュール必修
		機械・電気工学実験	モジュール必修
		制御工学	選択
		ものづくり工学	選択
	電気工学モジュール（選択必修）	フロントエンドとインタフェース基礎	選択
		センサとアクチュエータ	選択
		電気電子回路	選択
		電気機器システム	選択
		制御工学	選択
		回路とシステム	モジュール必修
		メカトロニクス	選択
		ものづくり工学	選択
		機械・電気工学実験	モジュール必修
		機械基礎製図	モジュール必修

【別紙２】

機械・電気課程 機械・電気コース

モジュール名称		科目名称	単位区分	
主専攻モジュール	電気・熱流体モジュール	ディジタル信号処理	選択	
		伝熱工学	選択	
		計測工学	選択	
		数値流体力学概論	選択	
		医工学概論	選択	
		Introduction to Biomedical-Engineering	選択	
		電気・熱流体機器演習	選択	
		設計製図	モジュール必修	
	モビリティ・ロボティクスモジュール	振動工学	選択	
		制御工学	選択	
		Basic Control Engineering	選択	
		ロボット工学演習	選択	
		メカトロニクス	選択	
		線形システム制御	選択	
		自動車工学	選択	
		設計製図	モジュール必修	
		機械計測工学	選択	
		Introduction to Control Engineering	選択	
		ロボティクス	選択	
	デザインモジュール	Introduction to Industrial Design	選択	
		デザインエルゴノミクス	選択	
		設計製図	モジュール必修	
		応用材料力学	選択	
		工業デザイン演習	選択	
		応用設計	選択	
		創生設計	選択	
	機械・電気（技術・工業）教職モジュール	教育の方法及び技術	モジュール必修	
		教育のにおけるICT活用	モジュール必修	
		技術科指導法1	モジュール選択必修A	モジュール選択必修 AまたはBで ４単位以上
		技術科指導法2	モジュール選択必修A	
		工業科指導法１	モジュール選択必修B	
		工業科指導法2	モジュール選択必修B	
		職業指導	選択	
		工学基礎概論	選択	
		技術科指導法3	選択	
		技術科指導法4	選択	
		栽培学	選択	
		ものづくり工学実習	選択	
		Cプログラミング（機械・電気）	選択	
		機械基礎製図	選択	
		機械・電気システムセミナー	選択	
		設計製図	選択	
		工業デザイン演習	選択	
		機械・電気工学実験	選択	
		ロボティクス	選択	

【別紙２】

機械・電気課程 機械・電気コース

モジュール名称		科目名称	単位区分	
	留学モジュール	Introduction to Embedded Programming	モジュール選択必修	４単位以上
		エンジニアリング・プラクティス1	モジュール選択必修	
		エンジニアリング・プラクティス2	モジュール選択必修	
		Cross-cultural Student Support	選択	
		Introduction to Biomedical-Engineering	選択	
		機械・電気システムセミナー	選択	
		Introduction to Industrial Design	選択	
		Introduction to Control Engineering	選択	
		生体計測学	選択	
		Biomedical Measurement	選択	
		Basic Control Engineering	選択	
	教育モジュール	教職論	選択	
		特別活動の指導法	選択	
		総合的な学習の時間の指導法	選択	
		道徳の理論及び指導法	選択	
		生徒・進路指導論	選択	
		教育課程論	選択	
		教育相談論	選択	
		教育心理学	選択	
		特別支援教育論	選択	
	ＩｏＴ基礎モジュール	IoT基礎	モジュール必修	
		IoT設計論	モジュール必修	
		電気回路	選択	
		フロントエンドとインタフェース基礎	選択	
		センサとアクチュエータ	選択	
		ディジタル信号処理	選択	
		数値解析	選択	
		電子回路	選択	
	プログラミングモジュール	プログラミング入門	選択	
		Python入門	モジュール必修	
		Cプログラミング（情報）	選択	
		データ構造とアルゴリズム	モジュール必修	
		オブジェクト指向言語	選択	
		モバイルプログラミング	選択	
		ネットワークプログラミング	選択	
		Computer　Simulation	選択	
	ソフトウエア開発モジュール	ソフトウェア設計論	モジュール必修	
		ソフトウェア開発管理	モジュール必修	
		現代的ソフトウェア構築技法	モジュール必修	
		ゲームプログラミング	選択	
		モバイルプログラミング	選択	
		データベース	選択	
		情報セキュリティ	選択	

【別紙２】

機械・電気課程 機械・電気コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	情報ネットワークモジュール	インターネットプロトコル	モジュール必修
		情報理論	モジュール必修
		符号理論	選択
		ネットワークアプリケーション	選択
		ICT Systems Design	選択
		クラウドコンピューティング	選択
		ネットワークプログラミング	選択
	メディア工学モジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		メディア処理1	モジュール必修
		メディア処理2	選択
		音声音響情報処理	選択
		自然言語処理	選択
		画像情報処理	選択
		ディジタル信号処理	選択
		ICT Systems Design	選択
	サイバースペースモジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		コンピュータグラフィックス	モジュール必修
		VR/AR1	選択
		VR/AR2	選択
		ヒューマンコンピュータインタラクション	選択
		サイバーセキュリティ	選択
		エンタテインメントコンピューティング	選択
		ネットワークアプリケーション	選択
		インターネットプロトコル	選択
	メディアデザインモジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		コンピュータグラフィックス	モジュール必修
		メディアデザイン1	選択
		メディアデザイン2	選択
		メディア認知心理・人間工学	選択
		メディア表現基礎	選択
		メディア表現応用	選択
		メディアコンテンツビジネス	選択

【別紙２】

機械・電気課程 機械・電気コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
副専攻モジュール	社会データサイエンスモジュール	プログラミング入門	選択
		Python入門	選択
		社会システム入門	選択
		システム科学	選択
		社会システム実践演習	選択
		データサイエンス応用	選択
		数理シミュレーション	選択
		シミュレーション＆ゲーミング	選択
		消費者行動論	モジュール必修
		社会調査法	モジュール必修
		ビジネスエコノミクス	モジュール必修
		金融・経済リテラシー	選択
		マーケティング論	選択
		クリエイティブ産業論	選択
		保健医療福祉政策概論	選択
	建築モジュール	建築史	選択
		建築基礎演習	選択
		建築構造基礎	選択
		建築計画基礎	選択
		建築環境設備基礎	選択
		建築設計情報演習	選択
		建設プロジェクトマネジメント	選択
		建築材料	選択
		建築生産・施工	選択
		建築環境工学	選択
		建築構造設計	選択
		建築構造力学1	選択
		建築構造力学2	選択

【別紙２】

機械・電気課程 機械・電気コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	都市・環境モジュール	環境・都市基礎	モジュール必修
		環境・都市基礎演習	選択
		SDGsと環境	選択
		都市計画基礎	モジュール必修
		都市計画演習	選択
		都市環境デザイン	選択
		都市及び都市計画史	選択
		都市・地域システム計画	選択
		Global Governance and Sustainable Strategy	選択
		土地利用計画	選択
		景観・ランドスケープデザイン	選択
	環境・社会モジュール	環境・都市基礎	モジュール必修
		環境・都市基礎演習	選択
		SDGsと環境	選択
		資源・エネルギーシステム論	選択
		環境政策	選択
		環境ビジネス	選択
		脱炭素と地域創発	選択
	バイオサイエンスモジュール	生命科学概論	選択
		神経生理学	選択
		分子生物学	選択
		有機化学	選択
		食品栄養学	選択
		微生物学	選択
		発生生物学	選択
		分析化学	選択
		生物物理学	選択
	医工学モジュール	バイオイメージング	選択
		医工学概論	選択
		機械力学	選択
		生体計測学	選択
		電気電子回路	選択
		バイオマテリアル	選択
		バイオレオロジー	選択
		バイオメカニクス	選択
		メカトロニクス	選択
		バイオエレクトロニクス	選択
		バイオメカニカルエンジニアリング	選択

【別紙２】

機械・電気課程 機械・電気コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	スポーツ工学モジュール	スポーツ工学概論	選択
		スポーツ工学研究法	選択
		生体計測学	選択
		スポーツ信号処理	選択
		映像メディア解析	選択
		応用バイオメカニクス	選択
		脳機能計測学	選択
		健康長寿学	選択
	数理科学モジュール	論理と集合	選択
		解析基礎	選択
		代数学1	選択
		幾何学1	選択
		ベクトル解析	選択
		複素解析	選択
		数値解析1	選択
		数理計画法	選択
		現象の数理	選択
		数理科学概論	選択
		金融工学	選択
		保険数学	選択

別記様式第２号（その２の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（システム理工学部　建築・環境課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
学際科目	SDGs・キャリアデザイン	SDGs入門	1前	○	2			○			1						
		未来を創る1	1前	○	2			○			1						※演習
		未来を創る2	2後	○	1			○			1						※演習
		ダイバーシティ入門	1前・後			2		○								1	
		インターンシップ	2前・後			2		○			2						※演習、共同
		芝浦工業大学通論	1前・後			2										1	
		小計(6科目)		－	5	6		－			3					2	
	アントレプレナーシップ	アントレプレナーシップA(価値創造)	3前	○	2			○			1	1				1	共同
		アントレプレナーシップB(事業創出)	3後			2		○			1	1				1	共同
		経営工学	２前			2		○				1					
		産学官金連携PBL	3前・後			2		○			2						※演習、共同
		会計簿記	３後			2		○								1	
		小計(5科目)		－	2	8		－			2	1				2	
	システム工学	システム工学A(システム計画方法論)	2前	○	3			○	○		3	1					※演習、共同
		システム工学B(数理計画法)	2後	○	3			○	○		3	1					※演習、共同
		プロジェクトマネジメント	3前			2		○								1	
		Advanced Systems Science and Engineering1	2前・後			2		○			2	1					共同
		Advanced Systems Science and Engineering2	2前・後			2		○			2	1					共同
		信頼性工学	3後			2		○								1	
		人間工学	2前			2		○								1	
		サイバーセキュリティと社会	3後			2		○				1					
		小計(8科目)		－	6	12		－			3	2				3	
	理数・情報	微分積分1	1前			2		○								1	
		微分積分2	1後			2		○								1	
		線形代数1	1前			2		○								1	
		線形代数2	1後			2		○								1	
		力学1	1前			2		○								1	
		力学2	1後			2		○			1						
		波動・熱力学	1後			2		○								1	
		電磁気学	2前			2		○			1					1	共同
		生物学	1前			2		○								1	
		化学	1前			2		○								1	
		現代物理学概論	2後			2		○			1						
		情報基礎	1前	○	3			○			2	2		1			共同
		AI基礎	2後	○	1			○			2	1		1			共同、標準外
		統計学基礎	1前	○	1						2	1		1			共同、標準外
		データサイエンスリテラシー	1後	○	1						2	1		1			共同
		小計(15科目)		－	6	22		－			3	2		1		8	

別記様式第２号（その２の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（システム理工学部　建築・環境課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
基礎教養科目	社会科学	科学技術史	1後			2		○								1	
		科学技術と社会	1前			2		○								1	
		行政学	1後			2		○								1	
		政治学	1後			2		○								1	
		社会福祉論	1前			2		○								1	
		情報社会と法	1前			2		○								1	
		日本国憲法	1後			2		○								1	
		社会学概論	1後			2		○			1						
		人間と自然環境	1後			2		○								1	
		教育社会学	1前・後			2		○								1	
		小計(10科目)		－		20		－			1					8	
	人文科学	哲学1	1前			2		○								1	
		哲学2	1後			2		○								1	
		倫理学	1前・後			2		○								1	
		生命倫理概論	1前・後			2		○								1	
		技術者と倫理	3前			2		○								1	
		世界史A	1前			2		○								1	
		世界史B	1前			2		○								1	
		国際デザイン史	1後			2		○			1						
		認知心理学	1前			2		○								1	
		組織心理学	1後			2		○								1	
		教育の近現代史	1前・後			2		○				1					
		教育原論	1前・後			2		○				1					
		人間関係論	1前・後			2		○								1	
		小計(13科目)		－		26		－			1	1				6	
	保健体育	体育実技1	1前・後			1			○		3	3				11	共同
		体育実技2	1前・後			1			○		3	3				11	共同
		からだの仕組みと運動	1前			2		○								1	
		身体運動のメカニズム	1後			2		○								1	
		健康科学論Ａ	1前			2		○								1	
		健康科学論Ｂ	1後			2		○								1	
		小計(6科目)		－		10		－			3	3				11	
	英語	English Basic Skills1	1前			2		○			1					5	共同
		English Basic Skills2	1後			2		○								5	共同
		English Advanced Skills1	1前			2		○			1					2	共同
		English Advanced Skills2	1後			2		○			1					2	共同
		English Remedial Course1	1前				2	○								2	共同
		English Remedial Course2	1後				2	○								2	共同
		Basic English for Science and Technology1	2前			2		○			1					3	共同
		Basic English for Science and Technology2	2後			2		○			1					3	共同
		Advanced English for Science and Technology1	2前			2		○			1					3	共同
		Advanced English for Science and Technology2	2後			2		○								3	共同

別記様式第２号（その２の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（システム理工学部　建築・環境課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
		理工系英語プレゼンテーション	2前・後			2		○			1						
		海外英語研修1	1前・後			2			○		1						標準外
		海外英語研修2	1前・後			2			○		1						標準外
		海外短期英語研修1	1前・後			1			○		1						標準外
		海外短期英語研修2	1前・後			1			○		1						標準外
		学外英語検定1	1前・後			2			○		1						標準外
		学外英語検定2	1前・後			2			○		1						標準外
		小計(17科目)	－	－		28	4	－			3					12	
教職課程		事前・事後指導	3前・後				1	○			1	1					共同
		教育実習1	3前・後				2			○	1	1					共同
		教育実習2	3前・後				2			○	1	1					共同
		教職実践演習(中・高)	4前・後				2		○		1	1					共同
		教職インターンシップ1	1前・後				1		○		1	1					共同
		教職インターンシップ2	1前・後				1		○		1	1					共同
		小計(6科目)	－	－			9	－			1	1					
		社会システム入門	1前			1		○			2	1		1			オムニバス
		SDGsと環境	1前			2		○			1						
		マーケティング論	1前			2		○								1	
		消費者行動論	1後			2		○			1	1					※演習、共同
		データサイエンス入門	1前			1		○			2	1		1			オムニバス
		ビジネスエコノミクス	1前			2		○			1						
		社会調査法	1前			2		○			1			1			共同
		都市及び都市計画史	1前			2		○			1						
		環境・都市基礎	1後	○		2		○			5	1					オムニバス
		建築基礎演習	1後	○		2			○		3	1				1	オムニバス・共同（一部）
		建築構造基礎	1後			2		○			1						
		建築史	1後			2		○			1						
		データサイエンス応用	1後			3		○			1			1			※演習、共同
		環境・都市基礎演習	1後	○		1			○		5	1					オムニバス
		環境フィールド実習	2前・後			2				○	4						オムニバス・共同（一部）
		Urban and Regional Studies	2前			2		○			1						
		建築計画基礎	2前	○		2		○				1					
		建築環境設備基礎	2前			2		○			1						
		建築構造力学1	2前			2		○			1						
		建築構造力学2	2後			2		○			1						
		建築設計情報演習	2前			2			○			1				1	共同
		資源・エネルギーシステム論	2前			3		○			1						※演習
		都市計画演習	2前			1			○		1						
		都市計画基礎	2前	○		2		○			1						
		情報倫理	1前・後			1		○			1						標準外
		Architecture and Environmental Design	2後			2		○			5						オムニバス
		Environmental Management	2後			2		○			1						
		Environmental Urban Planning	2後			2		○			1						
		Global Governance and Sustainable Strategy	2後			2		○			1						
		History of Housing and Interior Design	2後			2		○			1						
		International Comparison of AEC Industry	2後			2		○			1						
		観光建築デザイン論	2後			2		○			1						
		建築環境工学	2後			2		○			1						
		建築デジタルデザイン演習	2後			2			○		1					2	共同
		都市住宅論	2後			2		○			1						
		環境ビジネス	2後			3		○			1						※演習
		建築デジタル・ファブリケーション	2後			3		○			1	1					※演習、オムニバス・共同（一部）
		土地利用計画	2後			3		○			1						※演習
主専攻		Architectural Planning and Design	3前			2		○			1						
		Life Cycle Assessment	3前			2		○			1						
		Planning for Community Resilience	3前			2		○			1						
		Sustainable Business Practices	3前			2		○			1						
		居住環境デザイン演習	3前			2			○		1					1	共同
		建築生産・施工	3後			2		○			1						
		建築材料	3前			2		○								1	
		建築構造設計	3前			3		○			1						※演習
		居住環境デザイン論	3前			2		○				1					
		建築・都市・環境総論	3前	○		2		○			10	1					オムニバス
		交通システム計画	3前			2		○								1	
		都市・地域システム計画	3前			2		○			4	1					オムニバス

別記様式第２号（その２の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（システム理工学部　建築・環境課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
専門科目		都市環境デザイン	3前			2		○			1						
		都市環境デザイン演習	3前			2			○		1	1				1	共同
		International Studies on Planning, Architecture and Environmental Systems	3後	○		1			○		4						共同
		景観・ランドスケープデザイン	3後			2		○			1						
		建設プロジェクトマネジメント	3前			2		○			1						
		建築・都市法規	3後			2		○			1					1	共同
		環境政策	3前			2		○			1						
		建築・都市・環境応用演習A	3後	○		3			○		10	1				6	共同
		建築・都市・環境応用演習Ｂ	3後	○		3			○		10	1				6	共同
		建築設備学	3前			3		○			1						※演習
		脱炭素と地域創発	3前			2		○			1						
		都市環境基盤計画	3前			2		○			1						
		Introduction to Embedded Programming	1前後			1		○			3	1					オムニバス
		Environmental Field Survey 1	2前後			1		○			2						共同
		Environmental Field Survey 2	3前後			1		○			2						共同
		International Workshop on Environmental Planning and Design 1	2前後			1		○			2						共同
		International Workshop on Environmental Planning and Design 2	3前後			1		○			2						共同
		情報科指導法1	2前後			2		○								1	
		情報科指導法２	2前後			2		○								1	
		工業科指導法１	2前後			2		○								1	
		工業科指導法2	2前後			2		○								1	
		職業指導	1前後			2		○								1	
		工学基礎概論	1前後			1		○			1						
		教育の方法及び技術	1前後			1		○								2	
		教育におけるICT活用	1前後			1		○								2	
		Cross-cultural Student Support	1前・後			1			○		1						
		小計(75科目)	－	－		146		－			16	3		1		17	
		教職論	1前・後			2		○			1						
		生徒・進路指導論	1前・後			2		○								1	
		教育課程論	1前・後			2		○								1	
		教育相談論	1前・後			2		○								1	
		特別支援教育論	1前・後			1		○								1	
		特別活動の指導法	2前・後			1		○								1	
		総合的な学習の時間の指導法	2前・後			1		○								1	
		道徳の理論及び指導法	2前・後			2		○				1					
		教育心理学	1前・後			2		○								1	
		IoT基礎	1前			2		○			1						
		IoT設計論	2前			2		○			1						
		電気回路	1後			2		○			1	1					共同
		フロントエンドとインタフェース基礎	1後			2		○			1						
		センサとアクチュエータ	2前			2		○			2			1			オムニバス・共同（一部）
		ディジタル信号処理	2前			2		○								1	
		数値解析	2前			2		○				1					
		電子回路	2後			3		○								1	※演習、共同
		プログラミング入門	1前			1		○			1			1			オムニバス
		Python入門	1前			1		○			1			1			※演習、オムニバス
		Cプログラミング(情報)	1後			3		○				2					※演習、オムニバス
		データ構造とアルゴリズム	2前			3		○			1						※演習
		オブジェクト指向言語	2前			2		○			1						※演習
		モバイルプログラミング	3後			2		○			1						
		ネットワークプログラミング	3前			2		○			1						
		Computer Simulation	3前			2		○								1	
		ソフトウェア設計論	3前			2		○			1						
		ソフトウェア開発管理	2前			2		○			2						オムニバス
		現代的ソフトウェア構築技法	2後			2		○			1						
		ゲームプログラミング	3後			2		○			1						
		データベース	2後			2		○								1	
		情報セキュリティ	3後			2		○				1					
		インターネットプロトコル	1後			2		○			1						
		情報理論	2前			2		○			1						メディア
		符号理論	3前			2		○			1						
		ネットワークアプリケーション	2後			2		○				1					
		ICT Systems Design	3前			2		○				1					
		クラウドコンピューティング	3後			2		○			1						
		メディア処理基礎	1前			2		○			2						オムニバス
		メディア処理1	2後			2		○			1						
		メディア処理2	3前			2		○			1						

別記様式第２号（その２の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（システム理工学部　建築・環境課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
副専攻	音声音響情報処理	2前			2		○			1						
	自然言語処理	2後			2		○								1	
	画像情報処理	1後			2		○			1						
	コンピュータグラフィックス	2前			2		○			1						
	VR/AR1	2後			2		○			1						
	VR/AR2	3前			2		○			1						
	ヒューマンコンピュータインタラクション	3後			2		○			1						
	サイバーセキュリティ	3前			2		○				1					
	エンタテインメントコンピューティング	2前			2		○			1						
	メディアデザイン1	2後			2		○			1						
	メディアデザイン2	3前			2		○			1						
	メディア認知心理・人間工学	2前			2		○			1						
	メディア表現基礎	1後			2		○			1						
	メディア表現応用	2後			2		○			1						
	メディアコンテンツビジネス	3後			2		○				1					
	システム科学	4前			2		○			2	1		1			共同
	社会システム実践演習	3後			3		○			2	1		1			共同
	数理シミュレーション	2後			3		○				1		1			※演習、共同
	シミュレーション＆ゲーミング	2後			2		○			2						共同
	金融・経済リテラシー	1後			2		○			1						
	クリエイティブ産業論	1後			2		○			1						
	保健医療福祉政策概論	1前			2		○			1						
	機械・電気システムセミナー	2後			2		○			10	1		1			オムニバス
	機構学	1前			2		○			1						
	電気機器システム	2前			2		○						1			
	材料・加工学	1後			2		○								1	
	Introduction to Industrial Design	3前			2		○			1						
	ものづくり工学	3前			2		○			2						オムニバス
	制御工学	2後			2		○			1						
	機械計測工学	3前			2		○				1					
	自動車工学	3後			2		○			1						
	生命科学概論	1前			2		○			5	2					オムニバス
	神経生理学	2前			2		○			1						
	分子生物学	2後			2		○				1					
	有機化学	1後			2		○			1						
	食品栄養学	2後			2		○				1					
	微生物学	3前			2		○				1					
	発生生物学	2後			2		○			1						
	分析化学	1後			2		○			1						
	生物物理学	3前			2		○			1						
	バイオイメージング	3後			2		○				1					
	医工学概論	1前			1		○			3	4					オムニバス
	機械力学	1前			2		○				1					
	電気電子回路	2前			2		○				1					
	バイオマテリアル	3前			2		○				1					
	バイオレオロジー	3前			2		○			1						
	バイオメカニクス	3前			2		○			1						
	メカトロニクス	3前			2			○			1					
	バイオエレクトロニクス	3後			2		○			1						
	バイオメカニカルエンジニアリング	3後			2		○				1					
	スポーツ工学概論	1後			2		○			2	2					オムニバス
	スポーツ工学研究法	3前			2		○			1						
	生体計測学	2前			2		○			1						オムニバス
	スポーツ信号処理	2前			2		○				1					
	映像メディア解析	3前			2		○			1						
	応用バイオメカニクス	3前			2		○				1					
	脳機能計測学	3前			2		○			1						
	健康長寿学	3後			2		○			1						
	論理と集合	1前			2		○			1						
	解析基礎	1後			2		○			1						
	代数学1	2前			2		○						1			
	幾何学1	2前			2		○				1					
	ベクトル解析	3前			2		○			1						
	複素解析	2後			2		○			1						
	数値解析1	2前			2		○			1						
	数理計画法	2前			2		○			1						
	現象の数理	2前			2		○			1						
	数理科学概論	1後			2		○			8	4		1			オムニバス
	金融工学	3前			2		○				1					
	保険数学	3前			2		○				1					

別記様式第２号（その２の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（システム理工学部　建築・環境課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	基幹教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	備考
		小計(111科目)	－			219		－			39	18		3		9	
	総合研究	総合研究１	3前	○	2					○	10	1					共同
		総合研究２	3後	○	2					○	10	1					共同
		総合研究３	4前	○	4					○	10	1					共同
		総合研究４	4後	○	4					○	10	1					共同
		小計(4科目)	－		12			－			10	1					
合計（272科目）			－		31	498	13	－			50	19		3		83	

学位又は称号	学位又は学科の分野
学士（工学）	工学関係 【大学設置基準第49条の４に定める専攻分野】　建築・環境

卒業・修了要件及び履修方法	授業期間等	
別紙１、別紙２に記載	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	14週
	１時限の授業の標準時間	100分

【別紙1】

【卒業・修了要件及び履修方法】

・所属する学生は、以下の要件を満たしたうえで124単位を取得すること。

・なお、履修上限は、通期48単位以下（半期24単位以下）とする。

【建築コース】

<table>
<tr><td rowspan="2">系列</td><td colspan="3">基礎教養科目</td><td>学際科目</td><td colspan="3">専門科目</td></tr>
<tr><td>理数・情報</td><td>社会科学
人文科学
保健体育</td><td>英語</td><td>SDGs・キャリアデザイン
システム工学
アントレプレナーシップ</td><td>主専攻</td><td>副専攻</td><td>総合研究</td></tr>
<tr><td rowspan="2">単位数</td><td>必修6単位、コース必修4単位を含む
10単位以上</td><td>選択必修2単位を含む
6単位以上</td><td>8単位以上</td><td>必修13単位以上</td><td colspan="2">主専攻5モジュール
または
主専攻4モジュール+副専攻1モジュール</td><td rowspan="2">必修
12単位</td></tr>
<tr><td colspan="4">必修19単位、選択必修2単位、コース必修4単位を含む48単位以上</td><td colspan="2">選択必修1科目、コース必修6単位を含む60単位以上</td></tr>
<tr><td>総単位数</td><td colspan="7">必修31単位、選択必修2単位と1科目、コース必修10単位を含む124単位以上</td></tr>
</table>

【基礎教養】
〈理数・情報〉
コース必修：微分積分1、線形代数1
〈人文科学〉
選択必修：倫理学、生命倫理概論、技術者と倫理

【専門科目】
〈主専攻〉
コース必修：建築基礎演習、建築計画基礎、建築・都市・環境総論
選択必修1科目：International Studies on Planning, Architecture and Environmental Systems、建築・都市・環境応用演習A、建築・都市・環境応用演習B
・※112単位以上修得で1モジュールの完成とする
・科目が複数のモジュールで重複する場合はモジュールの完成※1には重複してカウントされるが、総単位数には単位数は重複してカウントされない
・専門基礎モジュールは必修とする
・主専攻5モジュール または　主専攻4モジュール+副専攻1モジュール を完成すること
・上記いずれかのモジュール完成後、修得単位数が60単位に満たない場合は未修得科目から選択し、修得単位数を60単位以上にすること

【環境・都市コース】

<table>
<tr><td rowspan="2">系列</td><td colspan="3">基礎教養</td><td>学際</td><td colspan="3">専門</td></tr>
<tr><td>理数・情報</td><td>社会科学
人文科学
保健体育</td><td>英語</td><td>SDGs・キャリアデザイン
システム工学
アントレプレナーシップ</td><td>主専攻</td><td>副専攻</td><td>総合研究</td></tr>
<tr><td rowspan="2">単位数</td><td>必修6単位を含む
10単位以上</td><td>選択必修2単位を含む
6単位以上</td><td>8単位以上</td><td>必修13単位以上</td><td colspan="2">主専攻5モジュール
または
主専攻4モジュール+副専攻1モジュール</td><td rowspan="2">必修
12単位</td></tr>
<tr><td colspan="4">必修19単位、選択必修2単位を含む48単位以上</td><td colspan="2">コース必修7単位、選択必修1科目を含む60単位以上</td></tr>
<tr><td>総単位数</td><td colspan="7">必修31単位、選択必修2単位と1科目、コース必修7単位を含む124単位以上</td></tr>
</table>

【基礎教養】
〈人文科学〉
選択必修：倫理学、生命倫理概論、技術者と倫理

【専門科目】
〈主専攻〉
コース必修：環境・都市基礎演習、環境・都市基礎、都市計画基礎、建築・都市・環境総論
選択必修1科目：International Studies on Planning, Architecture and Environmental Systems、建築・都市・環境応用演習A、建築・都市・環境応用演習B
・※112単位以上修得で1モジュールの完成とする
・科目が複数のモジュールで重複する場合はモジュールの完成※1には重複してカウントされるが、総単位数には単位数は重複してカウントされない
・専門基礎モジュールは必修とする
・主専攻5モジュール または　主専攻4モジュール+副専攻1モジュール を完成すること
・上記いずれかのモジュール完成後、修得単位数が60単位に満たない場合は未修得科目から選択し、修得単位数を60単位以上にすること

【別紙２】

建築・環境課程　建築コース

モジュール名称		科目名称	単位区分	
主専攻モジュール	専門基礎モジュール	建築基礎演習	必修	
		建築構造基礎	選択	
		建築計画基礎	必修	
		建築環境設備基礎	選択	
		建築・都市・環境総論	必修	
		International Studies on Planning, Architecture and Environmental Systems	選択必修	１科目選択必修
		建築・都市・環境応用演習A	選択必修	
		建築・都市・環境応用演習B	選択必修	
		社会システム入門	選択	
		データサイエンス入門	選択	
	建築計画モジュール	建築史	選択	
		都市住宅論	選択	
		Architectural Planning and Design	選択	
		建築・都市法規	選択	
		History of Housing and Interior Design	選択	
		景観・ランドスケープデザイン	選択	
		観光建築デザイン論	選択	
		都市及び都市計画史	選択	
		Urban and Regional Studies	選択	
		Environmental Urban Planning	選択	
		Architecture and Environmental Design	選択	
	建築デザインモジュール	建築設計情報演習	モジュール必修	
		建築デジタルデザイン演習	モジュール必修	
		居住環境デザイン演習	選択	
		建築デジタル・ファブリケーション	選択	
		居住環境デザイン論	選択	
		都市環境デザイン	選択	
		Planning for Community Resilience	選択	
	建築構造・建築生産モジュール	建築構造力学1	モジュール必修	
		建築構造力学2	選択	
		建築材料	選択	
		建築生産・施工	選択	
		建設プロジェクトマネジメント	選択	
		建築構造設計	選択	
		International Comparison of AEC Industry	選択	
	建築環境・建築設備モジュール	建築環境工学	モジュール必修	
		建築設備学	モジュール必修	
		都市環境基盤計画	選択	
		資源・エネルギーシステム論	選択	
		環境政策	選択	
		脱炭素と地域創発	選択	
		環境フィールド実習	選択	
		Architecture and Environmental Design	選択	

建築・環境課程　建築コース

モジュール名称		科目名称	単位区分	
	建築・環境（情報・工業）教職モジュール	情報科指導法１	モジュール選択必修A	モジュール選択必修AまたはBで４単位以上
		情報科指導法２	モジュール選択必修A	
		工業科指導法１	モジュール選択必修B	
		工業科指導法2	モジュール選択必修B	
		職業指導	選択	
		工学基礎概論	選択	
		教育の方法及び技術	モジュール必修	
		教育におけるICT活用	モジュール必修	
		建築基礎演習	選択	
		建築計画基礎	選択	
		建築・都市・環境総論	選択	
		環境・都市基礎	選択	
		都市計画基礎	選択	
		情報倫理	選択	
		データサイエンス入門	選択	
		データベース	選択	
		情報理論	選択	
		インターネットプロトコル	選択	
		メディア処理基礎	選択	
	留学モジュール	Introduction to Embedded Programming	モジュール選択必修	４単位以上
		Environmental Field Survey1	モジュール選択必修	
		Environmental Field Survey2	モジュール選択必修	
		International Workshop on Environmental Planning and Design1	モジュール選択必修	
		International Workshop on Environmental Planning and Design2	モジュール選択必修	
		Cross-cultural Student Support	選択	
		International Studies on Planning, Architecture and Environmental Systems	選択	
		Recent trends on Social Systems	選択	
		Recent trends on Data Science	選択	
		Architectural Planning and Design	選択	
		History of Housing and Interior Design	選択	
		Tourism of architecture planning design	選択	
		Urban and Regional Studies	選択	
		Planning for Community Resilience	選択	
		International Comparison of AEC Industry	選択	
		Environmental Urban Planning	選択	
		Architecture and Environmental Design	選択	
	教育モジュール	教職論	選択	
		特別活動の指導法	選択	
		総合的な学習の時間の指導法	選択	
		道徳の理論及び指導法	選択	
		生徒・進路指導論	選択	
		教育課程論	選択	
		教育相談論	選択	
		教育心理学	選択	
		特別支援教育論	選択	

【別紙２】

建築・環境課程　建築コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	ＩｏＴ基礎モジュール	IoT基礎	モジュール必修
		IoT設計論	モジュール必修
		電気回路	選択
		フロントエンドとインタフェース基礎	選択
		センサとアクチュエータ	選択
		ディジタル信号処理	選択
		数値解析	選択
		電子回路	選択
	プログラミングモジュール	プログラミング入門	選択
		Python入門	モジュール必修
		Cプログラミング（情報）	選択
		データ構造とアルゴリズム	モジュール必修
		オブジェクト指向言語	選択
		モバイルプログラミング	選択
		ネットワークプログラミング	選択
		Computer　Simulation	選択
	ソフトウエア開発モジュール	ソフトウェア設計論	モジュール必修
		ソフトウェア開発管理	モジュール必修
		現代的ソフトウェア構築技法	モジュール必修
		ゲームプログラミング	選択
		モバイルプログラミング	選択
		データベース	選択
		情報セキュリティ	選択
	情報ネットワークモジュール	インターネットプロトコル	モジュール必修
		情報理論	モジュール必修
		符号理論	選択
		ネットワークアプリケーション	選択
		ICT Systems Design	選択
		クラウドコンピューティング	選択
		ネットワークプログラミング	選択
	メディア工学モジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		メディア処理1	モジュール必修
		メディア処理2	選択
		音声音響情報処理	選択
		自然言語処理	選択
		画像情報処理	選択
		ディジタル信号処理	選択
		ICT Systems Design	選択
	サイバースペースモジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		コンピュータグラフィックス	モジュール必修
		VR/AR1	選択
		VR/AR2	選択
		ヒューマンコンピュータインタラクション	選択
		サイバーセキュリティ	選択
		エンタテインメントコンピューティング	選択
		ネットワークアプリケーション	選択
		インターネットプロトコル	選択

【別紙２】

建築・環境課程　建築コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
副専攻モジュール	メディアデザインモジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		コンピュータグラフィックス	モジュール必修
		メディアデザイン1	選択
		メディアデザイン2	選択
		メディア認知心理・人間工学	選択
		メディア表現基礎	選択
		メディア表現応用	選択
		メディアコンテンツビジネス	選択
	社会データサイエンスモジュール	プログラミング入門	選択
		Python入門	選択
		社会システム入門	選択
		システム科学	選択
		社会システム実践演習	選択
		データサイエンス応用	選択
		数理シミュレーション	選択
		シミュレーション＆ゲーミング	選択
		消費者行動論	モジュール必修
		社会調査法	モジュール必修
		ビジネスエコノミクス	モジュール必修
		金融・経済リテラシー	選択
		マーケティング論	選択
		クリエイティブ産業論	選択
		保健医療福祉政策概論	選択
	機械・電気工学入門モジュール	機械・電気システムセミナー	選択
		機構学	選択
		電気機器システム	選択
		材料・加工学	選択
		Introduction to Industrial Design	選択
		ものづくり工学	選択
		制御工学	選択
		機械計測工学	選択
		自動車工学	選択
	都市・環境モジュール	環境・都市基礎	モジュール必修
		環境・都市基礎演習	選択
		SDGsと環境	選択
		都市計画基礎	モジュール必修
		都市計画演習	選択
		都市環境デザイン	選択
		都市及び都市計画史	選択
		都市・地域システム計画	選択
		Global Governance and Sustainable Strategy	選択
		土地利用計画	選択
		景観・ランドスケープデザイン	選択
	環境・社会モジュール	環境・都市基礎	モジュール必修
		環境・都市基礎演習	選択
		SDGsと環境	選択
		資源・エネルギーシステム論	選択
		環境政策	選択
		環境ビジネス	選択
		脱炭素と地域創発	選択

【別紙２】

建築・環境課程　建築コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	バイオサイエンスモジュール	生命科学概論	選択
		神経生理学	選択
		分子生物学	選択
		有機化学	選択
		食品栄養学	選択
		微生物学	選択
		発生生物学	選択
		分析化学	選択
		生物物理学	選択
	医工学モジュール	バイオイメージング	選択
		医工学概論	選択
		機械力学	選択
		生体計測学	選択
		電気電子回路	選択
		バイオマテリアル	選択
		バイオレオロジー	選択
		バイオメカニクス	選択
		メカトロニクス	選択
		バイオエレクトロニクス	選択
		バイオメカニカルエンジニアリング	選択
	スポーツ工学モジュール	スポーツ工学概論	選択
		スポーツ工学研究法	選択
		生体計測学	選択
		スポーツ信号処理	選択
		映像メディア解析	選択
		応用バイオメカニクス	選択
		脳機能計測学	選択
		健康長寿学	選択
	数理科学モジュール	論理と集合	選択
		解析基礎	選択
		代数学1	選択
		幾何学1	選択
		ベクトル解析	選択
		複素解析	選択
		数値解析1	選択
		数理計画法	選択
		現象の数理	選択
		数理科学概論	選択
		金融工学	選択
		保険数学	選択

【別紙２】

建築・環境課程　環境・都市コース

モジュール名称		科目名称	単位区分	
主専攻モジュール	専門基礎モジュール	SDGsと環境	選択	
		環境・都市基礎演習	必修	
		環境・都市基礎	必修	
		社会システム入門	選択	
		データサイエンス入門	選択	
		都市計画基礎	必修	
		International Studies on Planning, Architecture and Environmental Systems	選択必修	１科目 選択必修
		建築・都市・環境応用演習A	選択必修	
		建築・都市・環境応用演習B	選択必修	
		建築・都市・環境総論	必修	
	都市計画モジュール	都市及び都市計画史	選択	
		都市計画演習	モジュール必修	
		Urban and Regional Studies	選択	
		土地利用計画	選択	
		都市環境基盤計画	選択	
		交通システム計画	選択	
		都市・地域システム計画	選択	
		Environmental Urban Planning	選択	
		建築・都市法規	選択	
	都市デザインモジュール	建築基礎演習	モジュール必修	
		都市住宅論	選択	
		建築設計情報演習	選択	
		建築デジタルデザイン演習	選択	
		建築デジタル・ファブリケーション	選択	
		観光建築デザイン論	選択	
		Architecture and Environmental Design	選択	
		景観・ランドスケープデザイン	選択	
		都市環境デザイン	モジュール必修	
		都市環境デザイン演習	モジュール必修	
		Planning for Community Resilience	選択	
		Architectural Planning and Design	選択	
	環境工学・環境政策モジュール	社会調査法	選択	
		資源・エネルギーシステム論	モジュール必修	
		データサイエンス応用	選択	
		環境フィールド実習	選択	
		建築環境工学	選択	
		Environmental Management	選択	
		都市環境基盤計画	選択	
		環境政策	モジュール必修	
		Life Cycle Assessment	選択	
		建築設備学	選択	
	環境ビジネスモジュール	消費者行動論	選択	
		マーケティング論	選択	
		ビジネスエコノミクス	選択	
		環境フィールド実習	選択	
		データサイエンス応用	選択	
		環境ビジネス	モジュール必修	
		Global Governance and Sustainable Strategy	選択	
		脱炭素と地域創発	モジュール必修	
		Sustainable Business Practices	選択	

【別紙２】

建築・環境課程　環境・都市コース

モジュール名称		科目名称	単位区分	
	建築・環境（情報・工業）教職モジュール	情報科指導法１	モジュール選択必修A	モジュール選択必修AまたはBで４単位以上
		情報科指導法２	モジュール選択必修A	
		工業科指導法１	モジュール選択必修B	
		工業科指導法2	モジュール選択必修B	
		職業指導	選択	
		工学基礎概論	選択	
		教育の方法及び技術	モジュール必修	
		教育におけるICT活用	モジュール必修	
		建築基礎演習	選択	
		建築計画基礎	選択	
		建築・都市・環境総論	選択	
		環境・都市基礎	選択	
		都市計画基礎	選択	
		情報倫理	選択	
		データサイエンス入門	選択	
		データベース	選択	
		情報理論	選択	
		インターネットプロトコル	選択	
		メディア処理基礎	選択	
	留学モジュール	Introduction to Embedded Programming	モジュール選択必修	４単位以上
		Environmental Field Survey1	モジュール選択必修	
		Environmental Field Survey2	モジュール選択必修	
		International Workshop on Environmental Planning and Design1	モジュール選択必修	
		International Workshop on Environmental Planning and Design2	モジュール選択必修	
		Cross-cultural Student Support	選択	
		Recent trends on Social Systems	選択	
		Recent trends on Data Science	選択	
		International Studies on Planning, Architecture and Environmental Systems	選択	
		Architectural Planning and Design	選択	
		Tourism of architecture planning design	選択	
		Urban and Regional Studies	選択	
		Environmental Urban Planning	選択	
		Architecture and Environmental Design	選択	
		Planning for Community Resilience	選択	
		Environmental Management	選択	
		Life Cycle Assessment	選択	
		Global Governance and Sustainable Strategy	選択	
		Sustainable Business Practices	選択	
	教育モジュール	教職論	選択	
		特別活動の指導法	選択	
		総合的な学習の時間の指導法	選択	
		道徳の理論及び指導法	選択	
		生徒・進路指導論	選択	
		教育課程論	選択	
		教育相談論	選択	
		教育心理学	選択	
		特別支援教育論	選択	
	IoT基礎モジュール	IoT基礎	モジュール必修	
		IoT設計論	モジュール必修	
		電気回路	選択	
		フロントエンドとインタフェース基礎	選択	
		センサとアクチュエータ	選択	
		ディジタル信号処理	選択	
		数値解析	選択	
		電子回路	選択	

【別紙２】

建築・環境課程　環境・都市コース

モジュール名称	科目名称	単位区分
プログラミングモジュール	プログラミング入門	選択
	Python入門	モジュール必修
	Cプログラミング（情報）	選択
	データ構造とアルゴリズム	モジュール必修
	オブジェクト指向言語	選択
	モバイルプログラミング	選択
	ネットワークプログラミング	選択
	Computer　Simulation	選択
ソフトウェア開発モジュール	ソフトウェア設計論	モジュール必修
	ソフトウェア開発管理	モジュール必修
	現代的ソフトウェア構築技法	モジュール必修
	ゲームプログラミング	選択
	モバイルプログラミング	選択
	データベース	選択
	情報セキュリティ	選択
情報ネットワークモジュール	インターネットプロトコル	モジュール必修
	情報理論	モジュール必修
	符号理論	選択
	ネットワークアプリケーション	選択
	ICT Systems Design	選択
	クラウドコンピューティング	選択
	ネットワークプログラミング	選択
メディア工学モジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
	メディア処理1	モジュール必修
	メディア処理2	選択
	音声音響情報処理	選択
	自然言語処理	選択
	画像情報処理	選択
	ディジタル信号処理	選択
	ICT Systems Design	選択
サイバースペースモジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
	コンピュータグラフィックス	モジュール必修
	VR/AR1	選択
	VR/AR2	選択
	ヒューマンコンピュータインタラクション	選択
	サイバーセキュリティ	選択
	エンタテインメントコンピューティング	選択
	ネットワークアプリケーション	選択
	インターネットプロトコル	選択
メディアデザインモジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
	コンピュータグラフィックス	モジュール必修
	メディアデザイン1	選択
	メディアデザイン2	選択
	メディア認知心理・人間工学	選択
	メディア表現基礎	選択
	メディア表現応用	選択
	メディアコンテンツビジネス	選択

【別紙２】

建築・環境課程　環境・都市コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
副専攻モジュール	社会データサイエンスモジュール	プログラミング入門	選択
		Python入門	選択
		社会システム入門	選択
		システム科学	選択
		社会システム実践演習	選択
		データサイエンス応用	選択
		数理シミュレーション	選択
		シミュレーション&ゲーミング	選択
		消費者行動論	モジュール必修
		社会調査法	モジュール必修
		ビジネスエコノミクス	モジュール必修
		金融・経済リテラシー	選択
		マーケティング論	選択
		クリエイティブ産業論	選択
		保健医療福祉政策概論	選択
	機械・電気工学入門モジュール	機械・電気システムセミナー	選択
		機構学	選択
		電気機器システム	選択
		材料・加工学	選択
		Introduction to Industrial Design	選択
		ものづくり工学	選択
		制御工学	選択
		機械計測工学	選択
		自動車工学	選択
	建築モジュール	建築史	選択
		建築基礎演習	選択
		建築構造基礎	選択
		建築計画基礎	選択
		建築環境設備基礎	選択
		建築設計情報演習	選択
		建設プロジェクトマネジメント	選択
		建築材料	選択
		建築生産・施工	選択
		建築環境工学	選択
		建築構造設計	選択
		建築構造力学1	選択
		建築構造力学2	選択
	バイオサイエンスモジュール	生命科学概論	選択
		神経生理学	選択
		分子生物学	選択
		有機化学	選択
		食品栄養学	選択
		微生物学	選択
		発生生物学	選択
		分析化学	選択
		生物物理学	選択

【別紙２】

建築・環境課程　環境・都市コース

モジュール名称	科目名称	単位区分
医工学モジュール	バイオイメージング	選択
	医工学概論	選択
	機械力学	選択
	生体計測学	選択
	電気電子回路	選択
	バイオマテリアル	選択
	バイオレオロジー	選択
	バイオメカニクス	選択
	メカトロニクス	選択
	バイオエレクトロニクス	選択
	バイオメカニカルエンジニアリング	選択
スポーツ工学モジュール	スポーツ工学概論	選択
	スポーツ工学研究法	選択
	生体計測学	選択
	スポーツ信号処理	選択
	映像メディア解析	選択
	応用バイオメカニクス	選択
	脳機能計測学	選択
	健康長寿学	選択
数理科学モジュール	論理と集合	選択
	解析基礎	選択
	代数学1	選択
	幾何学1	選択
	ベクトル解析	選択
	複素解析	選択
	数値解析1	選択
	数理計画法	選択
	現象の数理	選択
	数理科学概論	選択
	金融工学	選択
	保険数学	選択

別記様式第２号（その２の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（システム理工学部　数理科学課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
学際科目	ＳＤＧｓ・キャリアデザインインターンシップ	SDGs入門	1前	○	2			○			1						
		未来を創る1	1前	○	2			○			1						※演習
		未来を創る2	2後	○	1			○			1						※演習
		ダイバーシティ入門	1前・後			2		○								1	
		インターンシップ	2前・後			2		○			2						※演習、共同
		芝浦工業大学通論	1前・後			2										1	
		小計(6科目)		－	5	6		－			3					2	
	アントレプレナーシップ	アントレプレナーシップA(価値創造)	3前	○	2			○			1	1				1	共同
		アントレプレナーシップB(事業創出)	3後			2		○			1	1				1	共同
		経営工学	2前			2		○				1					
		産学官金連携PBL	3前・後			2		○			2						※演習、共同
		会計簿記	3後			2		○								1	
		小計(5科目)		－	2	8		－			2	1				2	
	システム工学	システム工学A(システム計画方法論)	2前	○	3			○	○		3	1					※演習、共同
		システム工学B(数理計画法)	2後	○	3			○	○		3	1					※演習、共同
		プロジェクトマネジメント	3前			2		○								1	
		Advanced Systems Science and Engineering1	2前・後			2		○			2	1					共同
		Advanced Systems Science and Engineering2	2前・後			2		○			2	1					共同
		信頼性工学	3後			2		○								1	
		人間工学	2前			2		○								1	
		サイバーセキュリティと社会	3後			2		○				1					
		小計(8科目)		－	6	12		－			3	2				3	
	理数・情報	微分積分1	1前	○	2			○			1						
		微分積分2	1後	○	2			○			1						
		線形代数1	1前	○	2			○				1					
		線形代数2	1後	○	2			○						1			
		力学1	1前	○	2			○			1						
		力学2	1後			2		○			1						
		波動・熱力学	1後			2		○								1	
		電磁気学	2前			2		○			1					1	共同
		生物学	1前			2		○								1	
		化学	1前			2		○								1	
		現代物理学概論	2後			2		○			1						
		情報基礎	1前	○	3			○			2	2		1			共同
		AI基礎	2後	○	1			○			2	1		1			共同、標準外
		統計学基礎	1前	○	1			○			2	1		1			共同、標準外
		データサイエンスリテラシー	1後	○	1			○			2	1		1			共同
		小計(15科目)		－	16	12		－			5	3		2		4	
		科学技術史	1後			2		○								1	
		科学技術と社会	1前			2		○								1	
		行政学	1後			2		○								1	
		政治学	1後			2		○								1	

別記様式第２号（その２の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（システム理工学部　数理科学課程）

基礎教養科目	社会科学	社会福祉論	1前			2		○			1					1	
		情報社会と法	1前			2		○								1	
		日本国憲法	1後			2		○								1	
		社会学概論	1後			2		○			1						
		人間と自然環境	1後			2		○								1	
		教育社会学	1前・後			2		○								1	
		小計(10科目)		－		20		－			1					8	
	人文科学	哲学1	1前			2		○								1	
		哲学2	1後			2		○								1	
		倫理学	1前・後			2		○								1	
		生命倫理概論	1前・後			2		○								1	
		技術者と倫理	3前			2		○								1	
		世界史A	1前			2		○								1	
		世界史B	1前			2		○								1	
		国際デザイン史	1後			2		○			1						
		認知心理学	1前			2		○								1	
		組織心理学	1後			2		○								1	
		教育の近現代史	1前・後			2		○				1					
		教育原論	1前・後			2		○				1					
		人間関係論	1前・後			2		○								1	
		小計(13科目)		－		26		－			1	1				6	
	保健体育	体育実技1	1前・後			1			○		3	3				11	共同
		体育実技2	1前・後			1			○		3	3				11	共同
		からだの仕組みと運動	1前			2		○								1	
		身体運動のメカニズム	1後			2		○								1	
		健康科学論Ａ	1前			2		○								1	
		健康科学論Ｂ	1後			2		○								1	
		小計(6科目)		－		10		－			3	3				11	
	英語	English Basic Skills1	1前			2		○			1					5	共同
		English Basic Skills2	1後			2		○								5	共同
		English Advanced Skills1	1前			2		○			1					2	共同
		English Advanced Skills2	1後			2		○			1					2	共同
		English Remedial Course1	1前				2	○								2	共同
		English Remedial Course2	1後				2	○								2	共同
		Basic English for Science and Technology1	2前			2		○			1					3	共同
		Basic English for Science and Technology2	2後			2		○			1					3	共同
		Advanced English for Science and Technology1	2前			2		○			1					3	共同
		Advanced English for Science and Technology2	2後			2		○								3	共同
		理工系英語プレゼンテーション	2前・後			2		○			1						
		海外英語研修1	1前・後			2			○		1						標準外
		海外英語研修2	1前・後			2			○		1						標準外
		海外短期英語研修1	1前・後			1			○		1						標準外
		海外短期英語研修2	1前・後			1			○		1						標準外
		学外英語検定1	1前・後			2			○		1						標準外
		学外英語検定2	1前・後			2			○		1						標準外
		小計(17科目)	－	－		28	4	－			3					12	
		事前・事後指導	3前・後				1	○			1	1					共同

別記様式第２号（その２の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要																
（システム理工学部　数理科学課程）																
教職課程	教育実習1	3前・後				2			○	1	1					共同
	教育実習2	3前・後				2			○	1	1					共同
	教職実践演習(中・高)	4前・後				2		○		1	1					共同
	教職インターンシップ1	1前・後				1		○		1	1					共同
	教職インターンシップ2	1前・後				1		○		1	1					共同
	小計(6科目)	－	－			9		－		1	1					
主専攻	基礎数理セミナー	1前	○	2				○		8	4		1			共同
	情報リテラシー	1前	○	1				○		2						共同
	Cプログラミング(数理科学)	1後	○	3			○			2						共同
	数学入門1	1前	○	2			○			1	1					オムニバス
	数学入門2	1後	○	2			○			1			1			オムニバス
	論理と集合	1前	○	2			○			1						
	確率統計	2前	○	2			○				1					
	微分方程式	1後	○	2			○			1						
	数値解析1	2前	○	2			○			1						
	数値解析2	2後			2		○			1						
	数理科学概論	1後			2		○			8	4		1			オムニバス
	集合と位相	1後			2		○			1						
	代数学1	2前	○	2			○						1			
	代数学2	2後			2		○				1					
	代数学3	3前			2		○								1	
	Introduction to Applied Algebra	2後			2		○				1					
	幾何学1	2前	○	2			○				1					
	幾何学2	2後			2		○				1					
	幾何学3	3前			2		○								1	
	Introduction to Advanced Mathematics	2後			2		○			1	1		1			オムニバス
	計算機代数	3後			2		○			1						
	Linear Space and Vector Calculus	3前			2		○			1						
	数理科学特論Ａ	3前			1		○								1	標準外
	数理科学特論Ｂ	3前			1		○								1	標準外
	数理科学特論Ｃ	3後			1		○								1	標準外
	数理科学特論Ｄ	3後			1		○								1	標準外
	解析基礎	1後			2		○			1						
	現象の数理	2前			2		○			1						
	複素解析	2後			2		○			1						
	測度と積分	2後			2		○								1	
	関数方程式論	2後			2		○			1						
	ベクトル解析	3前			2		○			1						
	関数解析1	3前			2		○			1						
	関数解析2	3後			2		○								1	
	Calculus with Differential Equations	2前			2		○			1						
	数理計画法	2前			2		○			1						
	制御理論基礎	2後			2		○			1						
	離散数理	2後			2		○			2	1					オムニバス
	シミュレーション	3後			2		○			1						
	Advanced Control Theory	3前			2		○			1						
	Topics in Numerical Analysis	3前			2		○			3						オムニバス

別記様式第２号（その２の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要																
（システム理工学部　数理科学課程）																
		計算理論基礎	2前			2		○			1					
		ハイパフォーマンスコンピューティング	2前			2		○			1					
		Javaプログラミング	2後			3		○			1					※演習
		記号処理	2後			2		○			1					
		Theory of Computation	2後			2		○			1					
		情報理論	2前			2		○			1					メディア
		インターネットプロトコル	1後			2		○			1					
		メディア処理基礎	1前			2		○			1					
		多変量解析	2後			2		○							1	
		金融工学	3前			2		○				1				
		保険数学	3前			2		○				1				
		確率統計学特論	3後			2		○				1				
		Practical English in Mathematical Sciences	1前・後			2		○			8	4		1		標準外、共同
		Topics in Pure and Applied Mathematics	2前・後			2		○			8	4		1		オムニバス
		国際数理科学実習1	1前・後			2				○	8	4		1		標準外、共同
		国際数理科学実習2	1前・後			2				○	8	4		1		標準外、共同
		数学科指導法1	2前・後			2		○							2	共同
		数学科指導法2	2前・後			2		○							2	共同
		数学科指導法3	2前・後			2		○							2	共同
		数学科指導法4	2前・後			2		○							2	共同
		教育の方法及び技術	1前・後			1		○							2	
		教育におけるICT活用	1前・後			1		○							2	
		情報科指導法1	2前			2		○							2	
		情報科指導法2	2後			2		○							2	
		情報倫理	1前・後			1		○			1					標準外
		データサイエンス入門	1後			1		○			2	1		1		オムニバス
		データベース	2後			2		○							1	
		Cross-cultural Student Support	1前・後			1		○			1					
		小計　(69科目)	－	－	22	108		－			14	5		2		11	－
		教職論	1前・後			2		○			1					
		特別活動の指導法	2前・後			1		○							1	
		総合的な学習の時間の指導法	2前・後			1		○							1	
		道徳の理論及び指導法	2前・後			2		○				1				
		生徒・進路指導論	1前・後			2		○							1	
		教育課程論	1前・後			2		○							1	
		教育相談論	1前・後			2		○							1	
		教育心理学	1前・後			2		○							1	
		特別支援教育論	1前・後			1		○							1	
		IoT基礎	1前			2		○			1					
		IoT設計論	2前			2		○			1					
		データ構造とアルゴリズム	2前			3		○			1					
		電気回路	1後			2		○			1	1				共同
		フロントエンドとインタフェース基礎	1後			2		○			1					
		センサとアクチュエータ	2前			2		○			2			1		オムニバス・共同（一部）
		ディジタル信号処理	2前			2		○							1	
		数値解析	2前			2		○				1				
		電子回路	2後			3		○							1	※演習
		プログラミング入門	1前			1		○			1			1		オムニバス
		Python入門	1前			1		○			1			1		※演習、オムニバス

別記様式第２号（その２の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（システム理工学部　数理科学課程）

専門科目		Cプログラミング(情報)	1後				3	○				2					※演習、オムニバス
		オブジェクト指向言語	2前			2		○			1						※演習
		モバイルプログラミング	3後			2		○			1						
		ネットワークプログラミング	3前			2		○			1						
		Computer simulation	3前			2		○								1	
		ソフトウェア設計論	3前			2		○			1						
		ソフトウェア開発管理	2前			2		○			2						オムニバス
		現代的ソフトウェア構築技法	2後			2		○			1						
		ゲームプログラミング	3後			2		○			1						
		情報セキュリティ	3後			2		○				1					
		符号理論	3後			2		○			1						
		ネットワークアプリケーション	2後			2		○				1					
		ICT Systems Design	3前			2		○				1					
		クラウドコンピューティング	3後			2		○			1						
		メディア処理1	2後			2		○			1						
		メディア処理2	3前			2		○			1						
		音声音響情報処理	2前			2		○			1						
		自然言語処理	2後			2		○								1	
		画像情報処理	1後			2		○			1						
		コンピュータグラフィックス	2前			2		○			1						
		VR/AR1	2後			2		○			1						
		VR/AR2	3前			2		○			1						
		ヒューマンコンピュータインタラクション	3後			2		○			1						
		サイバーセキュリティ	3前			2		○				1					
		エンタテインメントコンピューティング	2前			2		○			1						
		メディアデザイン1	2後			2		○			1						
		メディアデザイン2	3前			2		○			1						
		メディア認知心理・人間工学	2前			2		○			1						
		メディア表現基礎	1後			2		○			1						オムニバス
		メディア表現応用	2後			2		○			1						
		メディアコンテンツビジネス	3後			2		○				1					
		社会システム入門	1前			1		○			2	1		1			オムニバス
		システム科学	4前			2		○			2	1		1			共同
		社会システム実践演習	3後			3		○			2	1		1			共同
		データサイエンス応用	2後			3		○			1			1			※演習、共同
		数理シミュレーション	2後			3		○				1		1			※演習、共同
		シミュレーション＆ゲーミング	2後			2		○			2						共同
		消費者行動論	1後			2		○			1	1					
		社会調査法	1前			2		○			1			1			
		ビジネスエコノミクス	1前			2		○			1						
		金融・経済リテラシー	1後			2		○			1						
		マーケティング論	1前			2		○								1	
		クリエイティブ産業論	1後			2		○			1						
		保健医療福祉政策概論	1前			2		○			1						
	副専攻	機械・電気システムセミナー	2後			2		○				1		1			オムニバス
		機構学	1前			2		○			1						
		電気機器システム	2前			2		○						1			
		材料・加工学	1後			2		○								1	
		Introduction to Industrial Design	3前			2		○			1						
		ものづくり工学	3前			2		○			2						オムニバス
		制御工学	2後			2		○			1						
		機械計測工学	3前			2		○				1					
		自動車工学	3後			2		○			1						
		建築史	1後			2		○			1						
		建築基礎演習	1後			2		○			3	1				1	オムニバス・共同（一部）
		建築構造基礎	1後			2		○			1						
		建築計画基礎	2前			2		○				1					
		建築環境設備基礎	2前			2		○			1						
		建築設計情報演習	2前			2		○				1				1	共同
		建設プロジェクトマネジメント	3前			2		○			1						
		建築材料	3前			2		○								1	

別記様式第２号（その２の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（システム理工学部　数理科学課程）

		建築生産・施工	3後			2		○			1						
		建築環境工学	2後			2		○			1						
		建築構造設計	3前			3		○			1						※演習
		建築構造力学1	2前			2		○			1						
		建築構造力学2	2後			2		○			1						
		環境・都市基礎	1後			2		○			5	1					オムニバス
		環境・都市基礎演習	1後			1			○		5	1					オムニバス
		SDGsと環境	1前			2		○			1						
		都市計画基礎	2前			2		○			1						
		都市計画演習	2前			1		○			1						
		都市環境デザイン	3前			2		○			1						
		都市及び都市計画史	1前			2		○			1						
		都市・地域システム計画	3前			2		○			4	1					オムニバス
		Global Governance and Sustainable Strategy	2後			2		○			1						
		土地利用計画	2後			3		○			1						
		景観・ランドスケープデザイン	3後			2		○			1						
		資源・エネルギーシステム論	2前			3		○			1						※演習
		環境政策	3前			2		○			1						
		環境ビジネス	2後			3		○			1						※演習
		脱炭素と地域創発	3前			2		○			1						
		生命科学概論	1前			2		○			5	2					オムニバス
		神経生理学	2前			2		○			1						
		分子生物学	2後			2		○				1					
		有機化学	1後			2		○			1						
		食品栄養学	2後			2		○				1					
		微生物学	3前			2		○				1					
		発生生物学	2後			2		○			1						
		分析化学	1後			2		○			1						
		生物物理学	3前			2		○			1						
		バイオイメージング	3後			2		○				1					
		医工学概論	1前			1		○			3	4					オムニバス
		機械力学	1前			2		○				1					
		生体計測学	2前			2		○			1						
		電気電子回路	2後			2		○			1						
		バイオマテリアル	3前			2		○				1					
		バイオレオロジー	3前			2		○			1						
		バイオメカニクス	3前			2		○			1						
		メカトロニクス	3前			2		○				1					
		バイオエレクトロニクス	3後			2		○			1						
		バイオメカニカルエンジニアリング	3後			2		○				1					
		スポーツ工学概論	1後			2		○			2	2					オムニバス
		スポーツ工学研究法	3前			2		○			1						
		生体計測学	2前			2		○			1						オムニバス
		スポーツ信号処理	2前			2		○				1					
		映像メディア解析	3前			2		○			1						
		応用バイオメカニクス	3前			2		○				1					
		脳機能計測学	3前			2		○			1						
		健康長寿学	3後			2		○			1						
		小計　（129科目）	－	－		256	3	－			41	16		2		11	－
	総合研究	総合研究１	3前	○	2			○			8	4		1			共同
		総合研究２	3後	○	2			○			8	4		1			共同
		総合研究３	4前	○	4			○			8	4		1			共同
		総合研究４	4後	○	4			○			8	4		1			共同
		小計　（4科目）	－	－	12			－			8	4		1			－
合計（288科目）			－	－	63	478	16	－			50	19		3		76	－

学位又は称号	学士（数理科学）	学位又は学科の分野	理学関係 【大学設置基準第49条の４に定める専攻分野】　数理科学

卒業・修了要件及び履修方法	授業期間等	
別紙１、別紙２に記載	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	14週
	１時限の授業の標準時間	100分

【別紙１】

＜履修方法＞

・所属する学生は、以下の要件を満たしたうえで124単位を取得すること。

・なお、履修上限は、通期48単位以下（半期24単位以下）とする。

＜数理科学課程　卒業要件＞

【数理科学コース】

<table>
<tr><td rowspan="2">系列</td><td colspan="3">基礎教養</td><td>学際</td><td colspan="3">専門</td></tr>
<tr><td>理数・情報</td><td>社会科学
人文科学
保健体育</td><td>英語</td><td>SDGs・キャリアデザイン
システム工学
アントレプレナーシップ
その他</td><td>主専攻</td><td>副専攻</td><td>総合研究</td></tr>
<tr><td rowspan="2">単位数</td><td>必修16単位を含む
１８単位以上</td><td>選択必修2単位を含む
6単位以上</td><td>8単位以上</td><td>必修13単位以上</td><td colspan="2">主専攻5モジュール
または
主専攻4モジュール+副専攻１モジュール</td><td rowspan="2">必修
12単位</td></tr>
<tr><td colspan="4">必修29単位、選択必修2単位を含む48単位以上</td><td colspan="2">必修22単位を含む60単位以上</td></tr>
<tr><td>総単位数</td><td colspan="7">必修63単位を含む124単位以上</td></tr>
</table>

【基礎教養】
〈人文科学〉
　選択必修：倫理学、生命倫理概論、技術者と倫理

【専門科目】
〈主専攻〉
・※１12単位以上修得で1モジュールの完成とする
・科目が複数のモジュールで重複する場合はモジュールの完成※１には重複してカウントされるが、総単位数には単位数は重複してカウントされない
・専門基礎モジュール、数理科学基礎モジュールを必修とする
・主専攻５モジュール または　主専攻４モジュール+副専攻１モジュール を完成すること
・上記いずれかのモジュール完成後、修得単位数が60単位に満たない場合は未修得科目から選択し、修得単位数を60単位以上にすること

【別紙２】

数理科学課程　数理科学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	専門基礎モジュール	基礎数理セミナー	必修
		情報リテラシー	必修
		Cプログラミング（数理科学）	必修
		数学入門1	必修
		数学入門2	必修
		論理と集合	必修
	数理科学基礎モジュール（必修）	確率統計	必修
		微分方程式	必修
		代数学1	必修
		幾何学1	必修
		数値解析1	必修
		数理科学概論	選択必修
		Topics in Pure and Applied Mathematics	選択必修
	代数学・幾何学モジュール	集合と位相	モジュール必修
		代数学2	モジュール必修
		代数学3	選択
		Introduction to Applied Algebra	選択
		幾何学2	モジュール必修
		幾何学3	選択
		Introduction to Advanced Mathematics	選択
		計算機代数	選択
		Linear Space and Vector Calculus	選択
		数理科学特論Ａ	選択
		数理科学特論Ｃ	選択
	解析学モジュール	解析基礎	モジュール必修
		集合と位相	モジュール必修
		現象の数理	選択
		複素解析	モジュール必修
		測度と積分	選択
		関数方程式論	選択
		ベクトル解析	選択
		関数解析1	選択
		関数解析2	選択
		Calculus with Differential Equations	選択
		数理科学特論Ａ	選択
		数理科学特論Ｃ	選択

【別紙２】

数理科学課程　数理科学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
主専攻モジュール	応用数学モジュール	現象の数理	モジュール必修
		数理計画法	モジュール必修
		数値解析2	選択
		制御理論基礎	選択
		離散数理	選択
		シミュレーション	選択
		Advanced Control Theory	選択
		Topics in Numerical Analysis	選択
		数理科学特論Ｂ	選択
		数理科学特論Ｄ	選択
	情報数理モジュール	計算理論基礎	モジュール必修
		ハイパフォーマンスコンピューティング	モジュール必修
		Javaプログラミング	モジュール必修
		数値解析2	選択
		記号処理	選択
		離散数理	選択
		計算機代数	選択
		シミュレーション	選択
		Theory of Computation	選択
		数理科学特論Ｂ	選択
		数理科学特論Ｄ	選択
		情報理論	選択
		インターネットプロトコル	選択
		メディア処理基礎	選択
	金融・保険モジュール	多変量解析	選択
		金融工学	モジュール必修
		保険数学	モジュール必修
		確率統計学特論	選択
		関数解析1	選択
		測度と積分	選択
		関数方程式論	選択
		数値解析2	選択
		シミュレーション	選択
		数理計画法	選択
		数理科学特論Ｂ	選択
		数理科学特論Ｄ	選択

【別紙２】

数理科学課程　数理科学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	数理科学（数学・情報）教職モジュール	数学科指導法1	モジュール選択必修
		数学科指導法2	モジュール選択必修
		数学科指導法3	選択
		数学科指導法4	選択
		教育の方法及び技術	モジュール必修
		教育におけるICT活用	モジュール必修
		情報科指導法1	モジュール選択必修
		情報科指導法2	モジュール選択必修
		データベース	選択
		情報倫理	選択
		データサイエンス入門	選択
		数値解析1	選択
		確率統計	選択
		微分方程式	選択
	留学モジュール	Calculus with Differential Equations	選択
		Topics in Pure and Applied Mathematics	選択
		Introduction to Applied Algebra	選択
		Theory of Computation	選択
		Introduction to Advanced Mathematics	選択
		Linear Space and Vector Calculus	選択
		Advanced Control Theory	選択
		Topics in Numerical Analysis	選択
		Practical English in Mathematical Sciences	モジュール選択必修（4単位以上）
		国際数理科学実習1	
		国際数理科学実習2	
		Cross-cultural Student Support	選択
	教育モジュール	教職論	選択
		特別活動の指導法	選択
		総合的な学習の時間の指導法	選択
		道徳の理論及び指導法	選択
		生徒・進路指導論	選択
		教育課程論	選択
		教育相談論	選択
		教育心理学	選択
		特別支援教育論	選択
	ＩｏＴ基礎モジュール	IoT基礎	モジュール必修
		IoT設計論	モジュール必修
		電気回路	選択
		フロントエンドとインタフェース基礎	選択
		センサとアクチュエータ	選択
		ディジタル信号処理	選択
		数値解析	選択
		電子回路	選択

【別紙２】

数理科学課程　数理科学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	プログラミングモジュール	プログラミング入門	選択
		Python入門	モジュール必修
		Cプログラミング（情報）	選択
		データ構造とアルゴリズム	モジュール必修
		オブジェクト指向言語	選択
		モバイルプログラミング	選択
		ネットワークプログラミング	選択
		Computer Simulation	選択
	ソフトウェア開発モジュール	ソフトウェア設計論	モジュール必修
		ソフトウェア開発管理	モジュール必修
		現代的ソフトウェア構築技法	モジュール必修
		ゲームプログラミング	選択
		モバイルプログラミング	選択
		データベース	選択
		情報セキュリティ	選択
	情報ネットワークモジュール	インターネットプロトコル	モジュール必修
		情報理論	モジュール必修
		符号理論	選択
		ネットワークアプリケーション	選択
		ICT Systems Design	選択
		クラウドコンピューティング	選択
		ネットワークプログラミング	選択
	メディア工学モジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		メディア処理1	モジュール必修
		メディア処理2	選択
		音声音響情報処理	選択
		自然言語処理	選択
		画像情報処理	選択
		ディジタル信号処理	選択
		ICT Systems Design	選択
	サイバースペースモジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		コンピュータグラフィックス	モジュール必修
		VR/AR1	選択
		VR/AR2	選択
		ヒューマンコンピュータインタラクション	選択
		サイバーセキュリティ	選択
		エンタテインメントコンピューティング	選択
		ネットワークアプリケーション	選択
		インターネットプロトコル	選択

【別紙２】

数理科学課程　数理科学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
副専攻モジュール	メディアデザインモジュール	メディア処理基礎	モジュール必修
		コンピュータグラフィックス	モジュール必修
		メディアデザイン1	選択
		メディアデザイン2	選択
		メディア認知心理・人間工学	選択
		メディア表現基礎	選択
		メディア表現応用	選択
		メディアコンテンツビジネス	選択
	社会データサイエンスモジュール	プログラミング入門	選択
		Python入門	選択
		社会システム入門	選択
		システム科学	選択
		社会システム実践演習	選択
		データサイエンス応用	選択
		数理シミュレーション	選択
		シミュレーション＆ゲーミング	選択
		消費者行動論	モジュール必修
		社会調査法	モジュール必修
		ビジネスエコノミクス	モジュール必修
		金融・経済リテラシー	選択
		マーケティング論	選択
		クリエイティブ産業論	選択
		保健医療福祉政策概論	選択
	機械・電気工学入門モジュール	機械・電気システムセミナー	選択
		機構学	選択
		電気機器システム	選択
		材料・加工学	選択
		Introduction to Industrial Design	選択
		ものづくり工学	選択
		制御工学	選択
		機械計測工学	選択
		自動車工学	選択

【別紙２】

数理科学課程　数理科学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	建築モジュール	建築史	選択
		建築基礎演習	選択
		建築構造基礎	選択
		建築計画基礎	選択
		建築環境設備基礎	選択
		建築設計情報演習	選択
		建設プロジェクトマネジメント	選択
		建築材料	選択
		建築生産・施工	選択
		建築環境工学	選択
		建築構造設計	選択
		建築構造力学1	選択
		建築構造力学2	選択
	都市・環境モジュール	環境・都市基礎	モジュール必修
		環境・都市基礎演習	選択
		SDGsと環境	選択
		都市計画基礎	モジュール必修
		都市計画演習	選択
		都市環境デザイン	選択
		都市及び都市計画史	選択
		都市・地域システム計画	選択
		Global Governance and Sustainable Strategy	選択
		土地利用計画	選択
		景観・ランドスケープデザイン	選択
	環境・社会モジュール	環境・都市基礎	モジュール必修
		環境・都市基礎演習	選択
		SDGsと環境	選択
		資源・エネルギーシステム論	選択
		環境政策	選択
		環境ビジネス	選択
		脱炭素と地域創発	選択
	バイオサイエンスモジュール	生命科学概論	選択
		神経生理学	選択
		分子生物学	選択
		有機化学	選択
		食品栄養学	選択
		微生物学	選択
		発生生物学	選択
		分析化学	選択
		生物物理学	選択

【別紙２】

数理科学課程　数理科学コース

モジュール名称		科目名称	単位区分
	医工学モジュール	バイオイメージング	選択
		医工学概論	選択
		機械力学	選択
		生体計測学	選択
		電気電子回路	選択
		バイオマテリアル	選択
		バイオレオロジー	選択
		バイオメカニクス	選択
		メカトロニクス	選択
		バイオエレクトロニクス	選択
		バイオメカニカルエンジニアリング	選択
	スポーツ工学モジュール	スポーツ工学概論	選択
		スポーツ工学研究法	選択
		生体計測学	選択
		スポーツ信号処理	選択
		映像メディア解析	選択
		応用バイオメカニクス	選択
		脳機能計測学	選択
		健康長寿学	選択

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

（１）新設組織の概要 2
①新設組織の概要（名称，入学定員（編入学定員），収容定員，所在地） 2
②新設組織の特色 2
（２）人材需要の社会的な動向等 3
①新設組織で養成する人材の全国的，地域的，社会的動向の分析 3
②中長期的な１８歳人口等入学対象人口の全国的，地域的動向の分析 4
③新設組織の主な学生募集地域 5
④既設組織の定員充足の状況 5
（３）学生確保の見通し 5
①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果 5
ア 既設組織における取組とその目標 5
イ 新設組織における取組とその目標 6
ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく，新設組織での入学者の見込み数 6
②競合校の状況分析（立地条件，養成人材，教育内容と方法の類似性と定員充足状況） 7
ア 競合校の選定理由と新設組織との比較分析，優位性 7
イ 競合校の入学志願動向等 11
ウ 学生納付金等の金額設定の理由 14
③先行事例分析 15
④学生確保に関するアンケート調査 15
⑤人材需要に関するアンケート調査等 18
（４）新設組織の定員設定の理由 18

（１）新設組織の概要

①新設組織の概要（名称，入学定員（編入学定員），収容定員，所在地）

新設組織	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	所在地 （教育研究を行うキャンパス）
システム理工学部情報課程	240	－	960	埼玉県さいたま市 （大宮キャンパス）
システム理工学部機械・電気課程	90	－	360	埼玉県さいたま市 （大宮キャンパス）
システム理工学部建築・環境課程	120	－	480	埼玉県さいたま市 （大宮キャンパス）
システム理工学部生命科学課程	180	－	720	埼玉県さいたま市 （大宮キャンパス）
システム理工学数理科学課程	75	－	300	埼玉県さいたま市 （大宮キャンパス）

②新設組織の特色

新設組織では、情報や機械工学、電気工学、建築・都市関係、生命科学関係、数理科学関係分野において職業倫理を身につけた上で専門とする分野をもち、これらの技術に関する社会的ニーズに対して、システム思考に基づく創造的な発想から問題解決できる人材を養成する。具体的には、課程制による複数の専門領域を横断して学ぶことができる教育プログラムを設置する。キャリアデザインやシステム工学、SDGs、アントレプレナーシップといった学際科目で専門領域を繋ぎ、スキルセットであるモジュールを自由に組み合わせることで個性のある自由度の高い学修計画を立てることが可能となっている。

【既設組織】

名称：システム理工学部電子情報システム学科
入学定員：115 名
収容定員：460 名
所在地の概要：埼玉県さいたま市（大宮キャンパス）
新組織開設後の予定：学生募集停止

名称：システム理工学部機械制御システム学科
入学定員：90 名
収容定員：360 名
所在地の概要：埼玉県さいたま市（大宮キャンパス）
新組織開設後の予定：学生募集停止

名称：システム理工学部環境システム学科
入学定員：90 名
収容定員：360 名

所在地の概要：埼玉県さいたま市（大宮キャンパス）
新組織開設後の予定：学生募集停止

名称：システム理工学部生命科学科
入学定員：115 名
収容定員：460 名
所在地の概要：埼玉県さいたま市（大宮キャンパス）
新組織開設後の予定：学生募集停止

名称：システム理工学部数理科学科
入学定員：75 名
収容定員：300 名
所在地の概要：埼玉県さいたま市（大宮キャンパス）
新組織開設後の予定：学生募集停止

（２）人材需要の社会的な動向等

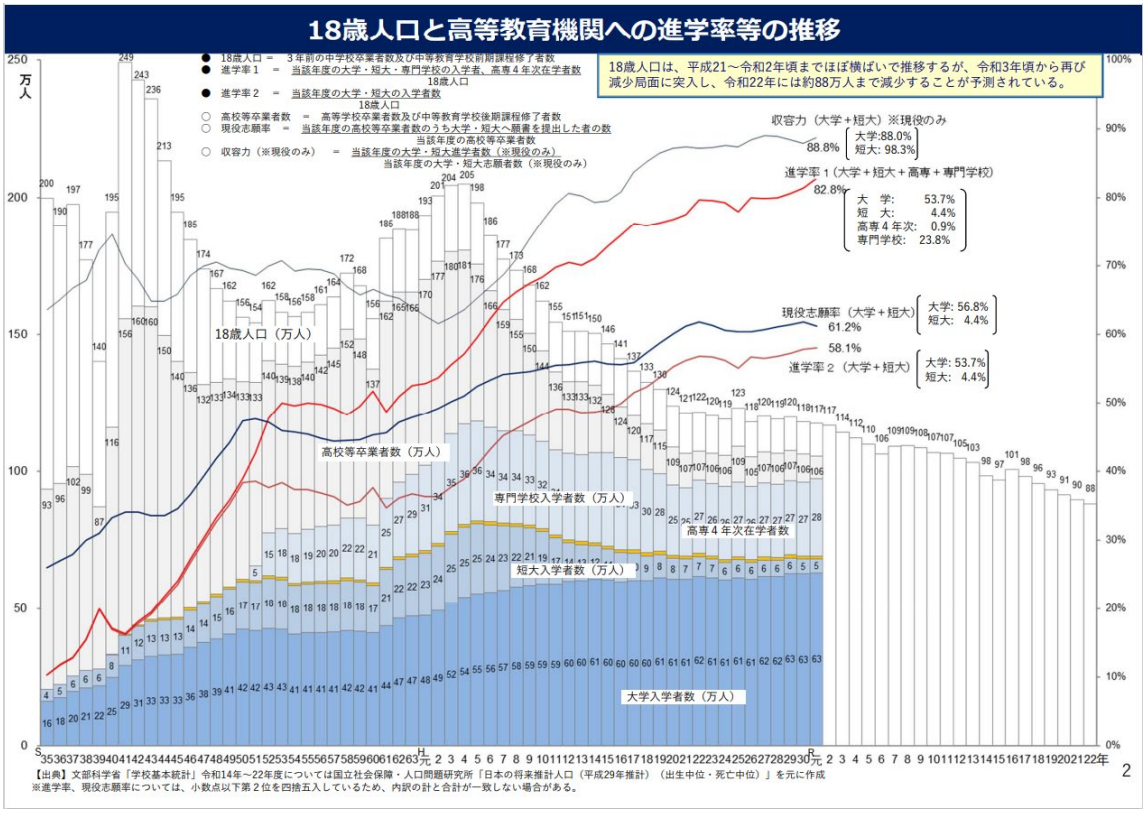
①新設組織で養成する人材の全国的，地域的，社会的動向の分析

新設組織で養成される人材は、日本社会において高い需要が見込まれる。関連分野の基礎知識と専門性を併せ持つ人材は、社会の変革に対応するために不可欠であり、柔軟な思考力と適応力を持つ人材のニーズが高まっている。システム思考に基づく問題解決能力は、複雑化する社会課題に対し有効なアプローチを可能にする。企業や組織が直面する課題に対し、根本的な解決策を見出す上で重要な能力である。アントレプレナーシップ教育は、不確実な未来を切り拓く人材育成に不可欠であり、「全国アントレプレナーシップ人材育成プログラム（注１）」などがあるように、国を挙げて推進されている。新設組織の人材は、この社会的要請に応える存在となる。SDGs やキャリアデザイン等の学際科目は、社会課題解決に貢献できる人材を育成し、持続可能な社会を目指す企業や組織にとって魅力的な人材となる。自由度の高い学習計画は、多様化する産業界のニーズに柔軟に対応できる独自のスキルセットを持つ人材を輩出する。新設組織が輩出する人材は、技術革新や社会変革に対応し、創造的に問題解決できる能力を持つため、多様な産業分野で活躍が期待される。

（注１）全国アントレプレナーシップ人材育成プログラム Web サイト
https://entrepreneurship-education.mext.go.jp/

②中長期的な１８歳人口等入学対象人口の全国的，地域的動向の分析

【図表１】18 歳人口と高等教育機関への進学率等の推移



文部科学省及び内閣府資料（「18　歳人口と高等教育機関への進学率の推移」【図表１】）によると、今後 18 歳人口は令和５年から令和９年頃までほぼ横ばいで推移し、令和 10 年以降緩やかに減少すると予想されている。

一方で、首都圏においては、人口減少の度合いは緩やかであり、進学率の高さと相まって今後も大規模なマーケットが持続的に存在すると予想される。【図表２】のとおり、新設組織が置かれる埼玉県に限定しても、都道府県別定員充足率は過去３年間の平均 98%超を得ていることからも安定して入学希望者がいるということがわかる。

【図表２】都道府県別定員充足率

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	平均
関東	104.56	99.49	97.47	100.50
埼玉	99.26	99.80	97.50	98.85
千葉	99.91	97.46	95.48	97.61
東京	100.80	103.48	103.46	102.58
神奈川	99.41	100.33	98.85	99.53
上記を除く全国	96.71	96.73	93.45	95.63

※関東は茨城・栃木・群馬の合計

※日本私立学校振興・共済事業団　私立大学・短期大学等入学志願動向より

また、新設組織が置かれる埼玉県への進学者については、【別紙１】のとおり、埼玉県と東京都出身者（出身高校）だけで 80%を超えており、特に地元である埼玉県の高校からの進学者が全体の 52.8%となっていることから、半分以上が地元からの進学であることが分かる。

これらのことから、本学は大学進学に高い意欲（実績）を示している地域から安定した志願者を確保しており、将来、国内の18歳人口が減少する局面にあっても新設組織が置かれる埼玉県において、志願者数が著しく減少する可能性は低いと考える。

【添付データ】

・新設組織が置かれる都道府県への入学状況（別紙１）

③新設組織の主な学生募集地域

【図表３】のとおり本学には首都圏から多くの入学者が集まっており、約83%の入学者が一都六県からとなっている。埼玉県に限定しても約18%と、その割合からも埼玉県に設置予定の新設組織への進学者は十分確保できると考える。

【図表３】一都六県からの本学入学者の状況

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	平均数	平均比率
茨城	55(2.82%)	75(3.67%)	67（3.73%）	65.66	3.40%
栃木	45(2.31%)	51(2.49%)	39（2.17%）	45	2.32%
群馬	35(1.80%)	32(1.56%)	32（1.78%）	33	1.71%
埼玉	368(18.93%)	402(19.68%)	324（18.05%）	364.66	18.85%
千葉	213(10.9%)	247(12.09%)	216（12.03%）	225.33	11.67%
東京	637(32.76%)	665(32.56%)	591（32.92%）	631	32.74%
神奈川	233(11.98%)	233(11.41%)	221（12.31%）	229	11.90%
一都六県計	1,586(81.58%)	1,705(83.49%)	1,490（83.00%）	1,593.66	82.69%
全国	1,944(100%)	2,042(100%)	1,795(100%)	1,927	100%

※本学の入試データより作成

④既設組織の定員充足の状況

既設学科の定員充足の状況については、別紙２のとおり、いずれの学科においても安定的に志願者および入学者を獲得できている。特に近年は総合型選抜、学校推薦型選抜などの年内入試の志願者が多くなっており、平均すると約 40%が年内入試での入学者となっている。年内に安定的に合格者、入学者を得た上で、一般入試においても競争率３倍以上を保っており、十分な志願者の選抜を行うことができる状況となっている。

【添付データ】

・既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）（別紙２）

（３）学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

学生確保に向けては、これまでもオープンキャンパスの開催や大学案内その他各種媒体を用いたプロモーション活動を行っており、【別紙３】のとおりの実績となっている。

《オープンキャンパス》

令和４年度入試に際してはオンラインでの開催、令和５年度入試に際しては事前申し込み定員制での参加者数となっている。受験率を見ても、過去２年でいずれも 70%を超えるなど高い率となっており、オープンキャンパスの満足度も高いことから、本イベントで出願を決めた、また出願意欲が高まった層

が多くいることがわかる。本学のオープンキャンパスは、キャンパスの雰囲気を体験し、実際に研究内容を見学することで自身のやりたい学問を見つけてもらう機会として実施しており、特に近年は年内入試の受験希望者がより具体的に学問分野を知りたいという理由で参加することも多く、高い受験率と直結していると考えられる。

《資料請求（大学案内パンフレット)》

各種メディアを通じて資料請求を受け付けているが、毎年２万人以上の資料請求者がおり、資料請求者のうち実際に受験した者が 48%となっていることから、資料請求者には本学の受験を真剣に考えている層が多くいると考えられ、こちらも高いプロモーション効果を得ている。

《高校との連携》

本学には２つの附属/併設校があり、毎年、各校の１年生、２年生に対してシステム理工学部主催による大宮キャンパス見学会が開催されている。システム理工学部の概要などの説明のほか、キャンパス見学、研究室体験などの企画が催され、これをきっかけに毎年システム理工学部を志す生徒が多くおり、推薦入試によって安定的に入学者を確保している。

また令和４年度には、埼玉県を拠点としている学校法人佐藤栄学園と協定を結び、高大連携の取り組みを実施している。同学園は、栄東高校、埼玉栄高校、栄北高校、花咲徳栄高校を設置しており、キャンパス見学イベントや説明会などを実施し連携を図っており、地元埼玉にあるシステム理工学部への進学意欲向上にもつながっている。また、あわせてシステム理工学部を中心に協定校推薦入試の制度も設けており、同学園から安定的に入学者を受け入れている。

そのほか、埼玉県、千葉県の高校の進路指導教員を大宮キャンパスに招き、大学説明会、学部長との懇談会、キャンパス見学会などを定期的に実施している。令和６年度は３回開催し、高校とのコミュニケーション増進を図っている。

【添付データ】

・既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績（別紙３）

イ 新設組織における取組とその目標

上記活動は、新設組織においても引き続き実施していく。

今後はさらに、まだ一般には耳慣れない「課程制」という新しい工学の学び方の認知度を高めるため、オープンキャンパス、高校説明会、相談会のほか Web サイトや SNS などのデジタル施策も含めて複合的に広報活動を実施し、システム理工学部の学び方がこれからの社会にとって必要なものであるという点を訴求する活動を行っていく。

そのため、イベントやパンフレット等でも、まず学問分野を選ぶ前に、課程制への理解を深めるためのコンテンツを多く用意して生徒たちに示す。

また、引き続き高校との連携を強化していく。特に新設組織のある埼玉県の高校からの注目度が高いと見込まれるため、埼玉県の高校訪問や相談会に積極的に参加していく。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく，新設組織での入学者の見込み数

オープンキャンパスについては、対面実施で各日、令和５年度は 1,000 人、令和６年度は 2,000 人と

事前申し込みの定員制と制限していたが、コロナ禍の収束とともに人数制限も大幅に緩和する予定としているため、参加者数も増加することが見込まれる。また資料請求も令和５年度までは有料としていたが、令和６年度からは無料にしたことで資料請求数も大幅に増えることが予想されている。前述のとおり、参加者、請求者からの受験率が高いこと、また埼玉エリアへの重点施策により施設組織の認知が高くなることで、入学者は十分定員を満たすことが可能と考えられる。

②競合校の状況分析（立地条件，養成人材，教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

ア 競合校の選定理由と新設組織との比較分析，優位性

各課程における競合校の選定理由と比較分析、優位性は以下とおりである。

【情報課程】

・東京電機大学システムデザイン学部情報システム工学科（設置場所：東京都足立区）

（カリキュラムの特徴）

1年次から実践的な演習や実験を通じてプログラミングとものづくりを体験し、「ネットワーク・コンピュータ」「データサイエンス」「プログラミング」分野の最先端知識と技術を学ぶ。情報通信の理論的基盤やセキュリティの基本から最新のネットワーク技術まで幅広く学ぶ。

・東洋大学理工学部電気電子情報工学科（設置場所：埼玉県川越市）

（カリキュラムの特徴）

電気工学、電子工学、情報通信工学の3分野を融合させた学科であり、エネルギー・制御、エレクトロニクス、情報通信の分野が充実している。技術者倫理も重視している。

・東京理科大学創域理工学部電気電子情報工学科（設置場所：千葉県野田市）

（カリキュラムの特徴）

電気工学、電子工学、情報通信工学の3分野を幅広く学べる。複数の系統にまたがる科目の柔軟な履修も可能。6年一貫教育コースが導入され、早期から最先端研究に触れる機会がある。分野横断的な企画力と国際的視野を持つ人材育成を目指している。

・明治大学理工学部情報科学科（設置場所：神奈川県川崎市）

（カリキュラムの特徴）

プログラミングやコンピュータシステムの設計・構築・評価などの実習・演習を重視し、実践的な能力の育成が特徴。他分野との境界領域も積極的に取り上げ、幅広い知識の習得が可能。３年次から研究室に所属し、ゼミや卒業研究に取り組む。

・中央大学理工学部情報工学科（設置場所：東京都文京区）

（カリキュラムの特徴）

実践的な演習と理論的な講義を組み合わせた特徴がある。１年次から多数のプログラミング演習科目を設置し、基礎から応用まで段階的に学ぶ。画像・映像コンテンツ演習やプロジェクト科目を通じて実践力を養う。

情報課程は、埼玉県さいたま市に設置される。カリキュラムの特徴としては、情報に関連する幅広い分野に対する基礎的知識と職業倫理を身につけるだけでなく、課程制による複数の専門領域を横断して学ぶことができる教育プログラムがあげられる。キャリアデザインやシステム工学、SDGs、アントレプレナーシップといった学際科目で専門領域を繋ぎ、スキルセットであるモジュールを自由に組

み合わせることで個性のある自由度の高い学修計画を立てることが可能となっている。これらの教育プログラムが競合校との比較において新設組織に優位性があると言える。

【機械・電気課程】

・法政大学理工学部機械工学科（設置場所：東京都小金井市）

（カリキュラムの特徴）

6つの履修モデルコースを設定し、学生の興味に応じて専門性を深められる。PBLやインターンシップを通じて実社会との接点を持ち、創造的エンジニアの育成を目指している。航空宇宙分野の材料に関する技術を学ぶことができる。

・東京電機大学未来科学部ロボット・メカトロニクス学科（設置場所：東京都足立区）

（カリキュラムの特徴）

「機械」「電気・電子」「情報」「制御」の4分野を総合的に学ぶ。全学年共通の統一実力テストで専門能力の習熟度を確認し、大学院生による「よろず相談室」でサポートを受けられる。グループワークが多いことも特徴。数学を基礎とし、AIや画像処理も学べるカリキュラムとなっている。

・東洋大学理工学部機械工学科（設置場所：埼玉県川越市）

（カリキュラムの特徴）

JABEEに認定された教育プログラムを採用し、基幹科目を中心に構成されてる。6つの基幹分野を重視し、これらを繰り返し学習することで幅広い分野に応用できる基礎力を養成する。実践的な学習を重視し、PBLやグループワーク、インターンシップなどを通じて実務能力を養成する。

・中央大学理工学部精密機械工学科（設置場所：東京都文京区）

（カリキュラムの特徴）

1年次の「精密機械工学特別講義」で業界の現状を学び、2年次の「精密機械工学プロジェクト」でグループ課題に取り組む。メカトロニクスや生体工学などの科目も提供され、システム全体を把握できるグローバルな視野の養成を目指している。

・明治大学理工学部機械工学科（設置場所：神奈川県川崎市）

（カリキュラムの特徴）

力学、物理学、数学を基礎とし、熱、流体、材料、加工、制御、設計などの専門科目を幅広く学ぶ。ロボット製作などの応用的な科目もあり、理論と実践のバランスが取れた教育を提供している。グローバルな視点と倫理観を持つ創造的技術者の育成を目指している。

機械・電気課程は、埼玉県さいたま市に設置される。カリキュラムの特徴としては、機械や電気に関連する幅広い分野に対する基礎的知識と職業倫理を身につけるだけでなく、課程制による複数の専門領域を横断して学ぶことができる教育プログラムがあげられる。キャリアデザインやシステム工学、SDGs、アントレプレナーシップといった学際科目で専門領域を繋ぎ、スキルセットであるモジュールを自由に組み合わせることで個性のある自由度の高い学修計画を立てることが可能となっている。これらの教育プログラムが競合校との比較において新設組織に優位性があると言える。

【建築・環境課程】

・法政大学デザイン工学部建築学科（設置場所：東京都千代田区）

（カリキュラムの特徴）

4年間を通じて、設計製図の基本から高度な建築デザインまでを段階的に学ぶ。「デザインスタジオ」での実践的な実習が特徴で、教員と共に手を動かしながら学習する。フィールドワークを通じて都市や建築の文化的価値を学び、工学的知識と芸術的感性を融合させた総合的な創造力を養成する。

・明治大学理工学部建築学科（設置場所：神奈川県川崎市）

（カリキュラムの特徴）

歴史・意匠・計画系、構造・材料系、環境・設備系の3つの系統を軸に科目が配置されている。実践的な演習を通じてスキルを養成する。各専門分野の概論科目を設置し、建築に関する幅広い知識を身につけられる。「Architecture in English」などの科目を通じてグローバルな視点を養成する。

・中央大学理工学部都市環境学科（設置場所：東京都文京区）

（カリキュラムの特徴）

「環境クリエーター」と「都市プランナー」の2コースを設け、学生の志向に合わせた専門性を深められる。デザインや演習科目を充実させ、理論とスキルを実践的に学ぶ。現場見学やインターンシップを通じて、実社会での経験を積む機会が提供されている。同窓生による講義で最新技術や課題を学び、キャリア支援も行う。FLP（学部横断教育プログラム）により、他学部生との協働学習が可能。

・東洋大学理工学部都市環境デザイン学科（設置場所：埼玉県川越市）

（カリキュラムの特徴）

建設技術の基盤強化と人工物・自然の調和した空間づくりに焦点を当てている。実験・演習を重視し、基礎力と応用力を養成する。環境問題対応、インフラ再構築、防災、都市計画など幅広い分野を学び、ハードウェアとソフトウェアの両面から都市システムの実現方法を探究する。

・東京理科大学創域理工学部社会基盤工学科（設置場所：千葉県野田市）

（カリキュラムの特徴）

構造工学、水工学、地盤工学、環境工学、交通計画学などの分野をカバーし、実験や実習を通じて実践的な学びを重視している。「基礎知識を備えた適応性・発展性に富む土木技術者」「倫理観・環境観を備えた自立できる土木技術者」「実行力を備えた信頼される土木技術者」の育成を目指している。

建築・環境課程は、埼玉県さいたま市に設置される。カリキュラムの特徴としては、建築や環境に関連する幅広い分野に対する基礎的知識と職業倫理を身につけるだけでなく、課程制による複数の専門領域を横断して学ぶことができる教育プログラムがあげられる。キャリアデザインやシステム工学、SDGs、アントレプレナーシップといった学際科目で専門領域を繋ぎ、スキルセットであるモジュールを自由に組み合わせることで個性のある自由度の高い学修計画を立てることが可能となっている。これらの教育プログラムが競合校との比較において新設組織に優位性があると言える。

【生命科学課程】

・法政大学生命科学部生命機能学科（設置場所：東京都小金井市）

（カリキュラムの特徴）

「ゲノム機能」「蛋白質機能」「細胞機能」の3コースで構成され、それぞれゲノムの全遺伝子機能

解明、蛋白質の合成と機能発現の仕組み、細胞の個性解明を目指す。科学英語の習得を重視し、最先端の生命科学教育を提供している。

・東京理科大学創域理工学部生命生物科学科（設置場所：千葉県野田市）

（カリキュラムの特徴）

動物・植物・微生物・薬学・環境など多様な分野をカバーし、研究室間の交流も盛ん。大学院進学を見据えた6年一貫教育コースも用意されており、早期から高度な専門教育を受けることができる。

・東京理科大学先進工学部機能デザイン工学科（設置場所：東京都葛飾区）

（カリキュラムの特徴）

基礎科学、デザイン思考、プログラミングを共通の学びとし、専門性の高い2コースへと発展させる。4年次では「メディカル機能」「知能認識」「運動ロボティクス」の3研究領域から1つを選び、卒業研究を通じて社会課題解決のためのデザイン思考を実践的に学ぶ。

・東京都市大学理工学部医用工学科（設置場所：東京都世田谷区）

（カリキュラムの特徴）

電気電子工学と機械工学の基礎を学びつつ、解剖学や生理学などの医学基礎も学習する。関連医療機関と連携し、医療現場での実践的な学びも提供している。このカリキュラム構成により、工学的アプローチで医療問題を解決できる複合技術エンジニアの育成を目指している。

・立教大学スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科（設置場所：埼玉県新座市）

（カリキュラムの特徴）

多元的な健康観「ウエルネス」を追究するため、「アスリートパフォーマンス」「ウエルネススポーツ」「環境・スポーツ教育」の3つの領域から専門的にアプローチし、段階的に学びを深める。実践的な学びも重視し、スポーツ指導者やトレーナーなどの資格取得も可能。

・東洋大学健康スポーツ科学部健康スポーツ科学科（設置場所：東京都北区）

（カリキュラムの特徴）

スポーツを機能的、社会・文化的側面から多角的に捉え、科学的思考を伴った専門知識と技術の修得を目指している。実践的な学びを重視し、充実したスポーツ施設を活用した実技や、多様なスポーツ体験を通じて、健康づくりやアスリートのパフォーマンス向上、QOL向上に貢献できる人材育成を目指している。

生命科学課程は、埼玉県さいたま市に設置される。カリキュラムの特徴としては、生命科学に関連する幅広い分野に対する基礎的知識と職業倫理を身につけるだけでなく、課程制による複数の専門領域を横断して学ぶことができる教育プログラムがあげられる。キャリアデザインやシステム工学、SDGs、アントレプレナーシップといった学際科目で専門領域を繋ぎ、スキルセットであるモジュールを自由に組み合わせることで個性のある自由度の高い学修計画を立てることが可能となっている。これらの教育プログラムが競合校との比較において新設組織に優位性があると言える。

【数理科学課程】

・中央大学理工学部数学科（設置場所：東京都文京区）

（カリキュラムの特徴）

コンピュータ設備を活用した情報処理やプログラミングの授業が1年次から組み込まれており、数

学研究だけでなく情報社会に必要なITスキルも習得できる。大学院生との交流機会があり、ステップアップ方式で学びを深められる環境が整っている。

・東京理科大学創域理工学部数理科学科（設置場所：千葉県野田市）

（カリキュラムの特徴）

「数学系」と「先端数理系」の2つの系統で構成されている。数学系は純粋数学を深く探究し、先端数理系は応用数学に焦点を当てており少人数制の対話型教育が特徴。先端数理系では「ダブルラボ」制度を採用し、4年次の卒業研究で他学科の研究室と共同研究を行う。教職課程も充実しており、数学教員の養成にも力を入れている。

・明治大学理工学部数学科（設置場所：神奈川県川崎市）

（カリキュラムの特徴）

多くの講義科目に演習科目が併設されており、理論の深い理解と応用力を養成する。数理科学リテラシーを培い、社会現象や自然現象を解析する力を身につけ、教育や金融、情報システムなどの分野で活躍できる人材の育成を目指している。

・立教大学理学部数学科（設置場所：東京都豊島区）

（カリキュラムの特徴）

講義と演習を組み合わせた体系的なカリキュラムで考える力を養う。「計算機入門」などの実践的な授業でプログラミングの基礎も学べる。純粋数学と情報科学の両分野をカバーし、理論と実践のバランスの取れた教育を提供している。

・東京理科大学理学部第一部数学科（設置場所：東京都新宿区）

（カリキュラムの特徴）

3年次からは高度な専門科目が提供され、少人数のセミナー形式で行う「数学研究1、2」を通じて研究の基礎を学ぶ。IT関連の専門選択科目も充実しており、情報産業への就職を目指す学生にも対応している。教職課程も充実しており、中学・高校の数学教員養成にも力を入れている。

数理科学課程は、埼玉県さいたま市に設置される。カリキュラムの特徴としては、数理科学に関連する幅広い分野に対する基礎的知識と職業倫理を身につけるだけでなく、課程制による複数の専門領域を横断して学ぶことができる教育プログラムがあげられる。キャリアデザインやシステム工学、SDGs、アントレプレナーシップといった学際科目で専門領域を繋ぎ、スキルセットであるモジュールを自由に組み合わせることで個性のある自由度の高い学修計画を立てることが可能となっている。これらの教育プログラムが競合校との比較において新設組織に優位性があると言える。

イ 競合校の入学志願動向等

【図表５】にあるとおり競合校となる学科等の過去３年間の入学志願状況については、総合型選抜及び学校推薦型選抜の志願者数が一部非公開であること等により、志願者数や受験者数、合格者数が不明の学科が多い。入学者数については各大学の公開している大学基礎資料等で把握することができた。いずれの大学も平均した定員充足率は100%を超えている。

【図表５】

情報課程における競合校の過去３年間の入学志願状況

		東京電機大学 システムデザイン 工学部 情報システム工学科	東洋大学 理工学部 電気電子情報工学科	東京理科大学 創域理工学部 電気電子情報工学科	明治大学 理工学部 情報科学科	中央大学 理工学部 情報工学科
令和４年度	志願者数	—	—	2,770 名	—	2,431 名
	受験者数	—	—	—	—	—
	合格者数	—	—	833 名	—	504 名
	入学者数	142 名	115 名	136 名	134 名	129 名
	定員充足率（%）	109.2	101.8	85.0	105.5	129.0
令和５年度	志願者数	—	—	2,023 名	—	2,848 名
	受験者数	—	—	—	—	—
	合格者数	—	—	867 名	—	439 名
	入学者数	148 名	123 名	189 名	145 名	114 名
	定員充足率（%）	113.8	108.8	126.0	114.2	114.0
令和６年度	志願者数	—	—	2,159 名	—	2,484 名
	受験者数	—	—	—	—	—
	合格者数	—	—	694 名	—	395 名
	入学者数	148 名	116 名	137 名	131 名	92 名
	定員充足率（%）	113.8	102.7	91.3	103.1	92.0

機械・電気課程における競合校の過去３年間の入学志願状況

		法政大学 理工学部 機械工学科	東京電機大学 未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科	東洋大学 理工学部 機械工学科	中央大学 理工学部 精密機械工学科	明治大学 理工学部 機械工学科
令和４年度	志願者数	—	—	—	1,969 名	名
	受験者数	—	—	—	—	—
	合格者数	—	—	—	595 名	名
	入学者数	138 名	117 名	186 名	138 名	135 名
	定員充足率（%）	94.5	106.4	103.3	95.2	97.8
令和５年度	志願者数	—	—	—	2,026 名	名
	受験者数	—	—	—	—	—
	合格者数	—	—	—	591 名	名
	入学者数	160 名	121 名	179 名	191 名	179 名
	定員充足率（%）	109.6	110.0	99.4	131.7	129.7
令和６年度	志願者数	—	—	—	2,132 名	名
	受験者数	—	—	—	—	—
	合格者数	—	—	—	526 名	名
	入学者数	155 名	132 名	190 名	138 名	112 名
	定員充足率（%）	106.2	120.0	105.6	95.2	81.2

建築・環境課程における競合校の過去３年間の入学志願状況

		法政大学 デザイン工学部 建築学科	明治大学 理工学部 建築学科	中央大学 理工学部 都市環境学科	東洋大学 理工学部 都市環境デザイン学科	東京理科大学 創域理工学部 社会基盤工学科
令和４年度	志願者数	—	—	1,119 名	—	1,731 名
	受験者数	—	—	—	—	—
	合格者数	—	—	372 名	—	561 名
	入学者数	132 名	178 名	111 名	114 名	104 名
	定員充足率（%）	97.8	102.9	123.3	100.9	86.7
令和５年度	志願者数	—	—	1,474 名	—	1,399 名
	受験者数	—	—	—	—	—
	合格者数	—	—	332 名	—	599 名
	入学者数	141 名	191 名	83 名	134 名	126 名
	定員充足率（%）	104.4	107.3	92.2	118.6	114.5
令和６年度	志願者数	—	—	1,467 名	—	1,561 名
	受験者数	—	—	—	—	—
	合格者数	—	—	308 名	—	581 名
	入学者数	136 名	168 名	90 名	123 名	87 名
	定員充足率（%）	100.7	94.4	100.0	108.8	79.0

生命科学課程における競合校の過去３年間の入学志願状況

		法政大学 生命科学部 生命機能学科	東京理科大学 創域理工学部 生命生物科学科	東京理科大学 先進工学部 機能デザイン工学科	東京都市大学 理工学部 医用工学科	立教大学 スポーツウエルネス学部 スポーツウエルネス学科	東洋大学 健康スポーツ科学部 健康スポーツ科学科
令和４年度	志願者数	—	1,817 名	—	—	—	—
	受験者数	—	—	—	—	—	—
	合格者数	—	718 名	—	—	—	—
	入学者数	65 名	102 名	—	70 名	—	—
	定員充足率（%）	87.8	85.0	—	116.7	—	—
令和５年度	志願者数	—	1,814 名	1,405 名	—	2,010 名	—
	受験者数	—	—	—	—	—	—
	合格者数	—	722 名	582 名	—	656 名	—
	入学者数	94 名	118 名	129 名	62 名	232 名	239 名
	定員充足率（%）	127.0	107.3	112.2	103.3	100.9	103.9
令和６年度	志願者数	—	1,984 名	1,752 名	—	2,089 名	—
	受験者数	—	—	—	—	—	—
	合格者数	—	720 名	571 名	—	650 名	—
	入学者数	102 名	111 名	133 名	61 名	231 名	249 名
	定員充足率（%）	137.8	100.9	115.7	101.7	100.4	108.3

数理科学課程における競合校の過去３年間の入学志願状況

		中央大学 理工学部 数学科	東京理科大学 創域理工学部 数理科学科	明治大学 理工学部 数学科	立教大学 理学部 数学科	東京理科大学 理学部第一部 数学科
令和４年度	志願者数	875 名	1,530 名	―	1,370 名	1,463 名
	受験者数	―	―	―	―	―
	合格者数	353 名	566 名	―	435 名	479 名
	入学者数	100 名	122 名	57 名	63 名	112 名
	定員充足率（%）	142.9	101.7	90.5	95.5	93.3
令和５年度	志願者数	1,016 名	1,108 名	―	1,150 名	1,607 名
	受験者数	―	―	―	―	―
	合格者数	302 名	505 名	―	431 名	492 名
	入学者数	73 名	130 名	67 名	76 名	107 名
	定員充足率（%）	104.3	144.4	106.3	115.2	93.0
令和６年度	志願者数	1,077 名	1,294 名	―	1,527 名	1,606 名
	受験者数	―	―	―	―	―
	合格者数	276 名	391 名	―	440 名	538 名
	入学者数	71 名	94 名	59 名	56 名	108 名
	定員充足率（%）	101.4	104.4	93.7	84.9	93.9

ウ 学生納付金等の金額設定の理由

新設組織の学費は【図表６】のとおりである。【図表７】からも分かるとおり、競合校の学費とほぼ同等の水準となり、妥当な金額設定であるといえる。

【図表６】新設組織の学費等

学費項目	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	4 年間合計
入学金	280,000	－	－	－	280,000
授業料	1,199,000	1,199,000	1,299,000	1,299,000	4,996,000
維持料	283,000	283,000	283,000	283,000	1,132,000
計	1,762,000	1,482,000	1,582,000	1,582,000	6,408,000

【図表７】

情報課程における競合校の学費等（初年度納入額）

大学	金額
東京電機大学	1,692,160 円（システムデザイン工学部）
東洋大学	1,690,000 円（理工学部）
東京理科大学	1,832,740 円（創域理工学部電気電子情報工学科）
明治大学	1,826,000 円（理工学部）
中央大学	1,867,400 円（理工学部）

機械・電気課程における競合校の学費等（初年度納入額）

大学	金額
法政大学	1,811,000 円（理工学部）
東京電機大学	1,692,160 円（未来科学部）
東洋大学	1,690,000 円（理工学部）
中央大学	1,867,400 円（理工学部）
明治大学	1,826,000 円（理工学部）

建築・環境課程における競合校の学費等（初年度納入額）

大学	金額
法政大学	1,811,000 円（デザイン工学部）
明治大学	1,826,000 円（理工学部）
中央大学	1,867,400 円（理工学部）
東洋大学	1,690,000 円（理工学部）
東京理科大学	1,832,740 円（創域理工学部電気電子情報工学科）

生命科学課程における競合校の学費等（初年度納入額）

大学	金額
法政大学	1,824,000 円（生命科学部生命機能学科）
東京理科大学	1,849,740 円（創域理工学部生命生物科学科）
東京理科大学	1,832,740 円（先進工学部機能デザイン工学科）
東京都市大学	1,822,000 円（理工学部医用工学科）
立教大学	1,473,500 円（スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科）
東洋大学	1,505,000 円（健康スポーツ科学部健康スポーツ科学科）

数理科学課程における競合校の学費等（初年度納入額）

大学	金額
中央大学	1,867,400 円（理工学部数学科）
東京理科大学	1,767,740 円（創域理工学部数理科学科）
明治大学	1,806,000 円（理工学部数学科）
立教大学	1,781,500 円（理学部数学科）
東京理科大学	1,767,740 円（理学部第一部数学科）

③先行事例分析

該当なし。

④学生確保に関するアンケート調査

令和６年 10 月から 12 月にかけて本学が独自に実施した高校生アンケート調査（別紙 4）における各課程での結果は以下のとおりである。

【情報課程】

高校卒業後の進路に「大学」、その上で志望する大学の設置者に「私立」、さらには芝浦工業大学が設置構想中のシステム理工学部 課程制 情報課程（仮称・以下同課程）と関連のある学問分野（いずれかまたは複数）に興味を示した高校生は 3,805 名であった。そのうち最も興味のあるものを新設組織のいずれかのコースとしたのは 1,599 名であった。その上で同新設組織を「第一志望として受験する」としたのは 275 名、「第二志望として受験する」268 名、「第三志望以降として受験する」445 名と合計すると 988 名（予定する入学定員 240 名の 4.1 倍）であった。同新設組織に対し「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は 232 名であり、「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は合計で 613 名にのぼる。

また、【図表８】にあるとおり、2023 年度入試結果においてシステム理工学部一般入試前期日程、英語資格・検定試験利用方式、全学統一日程における入学手続金の一括全額納入者は第一志望の者であり、入学手続金の内入学金のみを納入した分割納入者は第二志望の者と推察する。また、共通テスト利用方

式（前期）については国公立大学やその他上位私立大学との併願を想定した入試方式であり、最大 20 併願が可能であることから第三志望以降の者と推察する。

第二志望の者で分割納入者 391 名の内、最終的に全額納入した者は 209 名であったことから、入学率は 53.5%となる。

第三志望以降の者で分割納入者 163 名の内、最終的に全額納入した者は 44 名であったことから、入学率は 27.0%となる。

上記を高校生アンケート調査に当てはめると、情報課程を第二志望として受験すると答えた 268 名の内、入学すると予想される人数は 53.5%の 143 名、同課程を第三志望以降として受験すると答えた 445 名のうち入学すると予想される人数は 27%の 120 名、第一志望で入学すると答えた 232 名を足すと 495 名と定員を十分上回ると推察する。

以上のことから、新設組織の入学定員充足については十分な見通しがあると判断できる。

【機械・電気課程】

高校卒業後の進路に「大学」、その上で志望する大学の設置者に「私立」、さらには芝浦工業大学が設置構想中のシステム理工学部 課程制 機械・電気課程（仮称・以下同課程）と関連のある学問分野（いずれかまたは複数）に興味を示した高校生は 2,110 人であった。そのうち芝浦工業大学 システム理工学部 課程制（仮称）において最も興味があるのは同課程のコースとしたのは 721 人であった。その上で同課程を「第一志望として受験する」としたのは 142 人、「第二志望として受験する」154 人、「第三志望以降として受験する」198 人と合計すると 494 人（予定する入学定員 90 名の 5.5 倍）であった。同課程に対し「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は 125 人で入学定員を上回った。別途、「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は合計で 296 人おり、同課程の入学定員充足については十分な見通しがあると判断できる。

【建築・環境課程】

高校卒業後の進路に「大学」、その上で志望する大学の設置者に「私立」、さらには芝浦工業大学が設置構想中のシステム理工学部 課程制 建築・環境課程（仮称・以下同課程）と関連のある学問分野（いずれかまたは複数）に興味を示した高校生は 3,431 人であった。そのうち芝浦工業大学 システム理工学部 課程制（仮称）において最も興味があるのは同課程のいずれかのコースとしたのは 988 人であった。その上で同課程を「第一志望として受験する」としたのは 190 人、「第二志望として受験する」178 人、「第三志望以降として受験する」278 人と合計すると 646 人（予定する入学定員 120 名の 5.4 倍）であった。同課程に対し「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は 163 人で入学定員を上回った。別途、「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は合計で 381 人おり、同課程の入学定員充足については十分な見通しがあると判断できる。

【生命科学課程】

高校卒業後の進路に「大学」、その上で志望する大学の設置者に「私立」、さらには芝浦工業大学が設置構想中のシステム理工学部 課程制 生命・健康科学課程（仮称・以下同課程）と関連のある学問分野（いずれかまたは複数）に興味を示した高校生は 4,071 人であった。そのうち芝浦工業大学 システム理

工学部課程制（仮称）において最も興味があるのは同課程のいずれかのコースとしたのは 721 人であった。その上で同課程を「第一志望として受験する」としたのは 121 人、「第二志望として受験する」124 人、「第三志望以降として受験する」344 人と合計すると 589 人（予定する入学定員 180 名の 3.3 倍）であった。同課程に対し「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は 104 人であったが、「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は合計で 392 人おり、併願者を含めると同課程の入学定員充足については十分な見通しがあると判断できる。なお、本学の既設学部の入学実績を踏まえると「第二志望×入学する」の 5 割以上、「第 3 志望×入学する」の 2 割以上の入学が見込めるため、本アンケートによる入学見込者数は 104＋94×0.5＋298×0.2≒210 人となる。

また、アンケート実施後に生命・健康科学課程から生命科学課程に名称を変更したが、この名称の変更が入学意向に与える影響は少ないと思われるため、アンケート結果は有効であると考える。

【数理科学課程】

高校卒業後の進路に「大学」、その上で志望する大学の設置者に「私立」、さらには芝浦工業大学が設置構想中のシステム理工学部 課程制 数理科学課程（仮称・以下同課程）と関連のある学問分野（いずれかまたは複数）に興味を示した高校生は 2,141 人であった。そのうち芝浦工業大学 システム理工学部 課程制（仮称）において最も興味があるのは同課程のコースとしたのは 455 人であった。その上で同課程を「第一志望として受験する」としたのは 43 人、「第二志望として受験する」37 人、「第三志望以降として受験する」121 人と合計すると 201 人（予定する入学定員 75 名の 2.7 倍）であった。同課程に対し「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は 40 人であり、「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は合計で 139 人にのぼる。

また、【図表８】にあるとおり、2023 年度入試結果においてシステム理工学部一般入試前期日程、英語資格・検定試験利用方式、全学統一日程における入学手続金の一括全額納入者は第一志望の者であり、入学手続金の内入学金のみを納入した分割納入者は第二志望の者と推察する。また、共通テスト利用方式（前期）については国公立大学やその他上位私立大学との併願を想定した入試方式であり、最大 20 併願が可能であることから第三志望以降の者と推察する。

第二志望の者で分割納入者 391 名の内、最終的に全額納入した者は 209 名であったことから、入学率は 53.5%となる。

第三志望以降の者で分割納入者 163 名の内、最終的に全額納入した者は 44 名であったことから、入学率は 27.0%となる。

上記を高校生アンケート調査に当てはめると、数理科学課程を第二志望として受験すると答えた 37 名の内、入学すると予想される人数は 53.5%の 20 名、同課程を第三志望以降として受験すると答えた 121 名のうち入学すると予想される人数は 27%の 33 名、第一志望で入学すると答えた 40 名を足すと 93 名と定員を十分上回ると推察する。

以上のことから、同課程の入学定員充足については十分な見通しがあると判断できる。

【図表８】

2023年度　システム理工学部の入試方式別手続き者数

入試方式	①分納者（一次手続締切日時点）		②完納者（一次手続締切日時点）	③完納者（3月末日時点）	④　③－②		⑤　④÷①
前期日程	310	391	13	182	169	209	53.5%
英語検定利用	31		6	20	14		
全学統一日程	50		4	30	26		
共テ利用（前期）	163		8	52	44		27.0%

【添付データ】芝浦工業大学システム理工学部課程制（仮称）設置構想についての高校生アンケート調査報告書（別紙４）

⑤人材需要に関するアンケート調査等

令和６年 11 月から 12 月にかけて本学が独自に実施した人材需要に関するアンケート調査（別紙５）では、「ニーズは高い」が 322 箇所（57.9%）、「ニーズはある程度高い」200 箇所（36.0%）で、合計すると 522 箇所（93.9%）がそのニーズの高さを認める結果となった。また、478 箇所（86.0%）が採用意向を示し、そのうえで採用可能人数（単年度）合計は、予定する学部の総入学定員 705 名の 1.3 倍となる 928 名であった。

また、業種と卒業生の採用意向のクロス集計では、本学が人材需要アンケート選択肢として設定した 24 業種中、18 業種と幅広く回答を得た。このうち回答数が多く、また各業種で採用意向を示した割合が 8 割を超えていたのは「製造業」「IT 関連業」「建設業」であり、本学が設置構想中の「システム理工学部　課程制（仮称）」が養成する人材の採用が特に期待される分野であった。採用可能人数（単年度）の合計は、この３業種でのみで総入学定員 705 名を上回る 715 名であった。他にも「卸売業、小売業」の他、「電気・ガス・熱供給・水道業」「通信業」「金融業（銀行・信託・証券・貸金）」「保険業」「学術研究、専門・技術サービス」など幅広い業種で採用意向が示された。これらのことから、新設組織に対する社会的な人材ニーズは高いと判断できる。

【添付データ】芝浦工業大学システム理工学部課程制（仮称）設置構想についての人材需要アンケート調査報告書（別紙５）

（４）新設組織の定員設定の理由

各課程における定員設定の理由は以下のとおりである。

【情報課程】

前述のとおり、情報課程の人材需要の社会的動向においては、高い需要が見込まれている。情報関連の幅広い知識と専門性を持ち、システム思考による創造的な問題解決能力を備えた人材は、デジタル社会の変革に不可欠である。アントレプレナーシップやSDGsなどの学際的な教育は、社会課題解決に貢献できる人材を育成する。また、自由度の高い学習計画により、多様化する産業界のニーズに柔軟に対応できる独自のスキルセットを持つ人材を輩出する。国が進める不足するデジタル人材のへの対応となる事業である「大学・高専機能強化支援事業」において、新設組織は（支援１）に採択されており、これらの能力を持つ人材は、IT 業界、新規事業開発、研究開発など、幅広い分野での活躍が期待されている。

情報課程の人材需要を具体的に示すと、令和６年度に本学求人システムに登録された全求人件数 5,544 件の内、既設組織を対象としたものは 2,100 件あり、同年度大学院に進学した 44 名を除く既設組織の就職者 65 名と比較すると 32 倍の求人件数があり、定員を倍増しても昨年度実績で 16 倍と企業からの人材ニーズは充分ある。さらに平成 31 年の経済産業省の「IT 人材需給に関する調査」によると、中

位シナリオにおいても令和12年においてはIT人材が45万人不足すると予想されており、情報課程の主な就業先がIT業界であることから上記の求人・就職ギャップはさらに広がることが予想されるため、既設組織の収容定員460名から960名とおよそ倍増することは十分妥当性がある。

また、情報課程の過年度入学志願者の状況や定員充足の状況においては、過去５年間の平均志願者数は2,372名おり、平均合格者数は603名であることから、競争率は3.9倍ある。今後もPR施策としてオープンキャンパス参加定員人数の大幅緩和や大学案内の無料化、Webを通じてのデジタル施策の実施などにより、新設組織への注目度や志願度が益々高まると考える。収容定員を既設組織の460名から960名と約2倍増とするが、前述のとおり同新設組織に対して実施した高校生アンケート調査では、「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は232名であったが、「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は合計で613名おり、併願者を含めると新設組織の入学定員充足については十分な見通しがあると判断できる。なお、本学の既設学部の入学実績を踏まえると「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」の２割以上の入学が見込めるため、本アンケートによる入学見込者数は232＋613×0.2≒354人となり、十分に入学定員を確保できると判断できる。

【機械・電気課程】

前述のとおり、機械・電気課程の人材需要の社会的動向においては、高い需要が見込まれている。機械工学や電気工学関連の幅広い知識と専門性を持ち、システム思考による創造的な問題解決能力を備えた人材は、デジタル社会の変革に不可欠である。アントレプレナーシップや SDGs などの学際的な教育は、社会課題解決に貢献できる人材を育成する。また、自由度の高い学習計画により、多様化する産業界のニーズに柔軟に対応できる独自のスキルセットを持つ人材を輩出する。国が進める不足するデジタル人材のへの対応となる事業である「大学・高専機能強化支援事業」において、新設組織は（支援１）に採択されており、新設組織が輩出する人材は、現在日本が直面しているエンジニア不足の課題解消に貢献するとともに、技術革新や社会変革に対応し創造的に問題解決できる能力を持ち、多様な産業分野で活躍が期待される。

また、機械・電気課程の過年度入学志願者の状況や定員充足の状況においては、過去５年間の平均志願者数は1,551名おり、平均合格者数は565名であることから、競争率は2.7倍ある。今後もPR施策としてオープンキャンパス参加定員人数の大幅緩和や大学案内の無料化、Web を通じてのデジタル施策の実施などにより、新設組織への注目度や志願度が益々高まると考える。収容定員は新設組織でも引き続き既設組織の 360 名のままとしており、競争率と学力を担保しながら入学者数を獲得することは可能だと判断できる。

【建築・環境課程】

前述のとおり、建築・環境課程の人材需要の社会的動向においては、高い需要が見込まれている。建築や環境関連の幅広い知識と専門性を持ち、システム思考による創造的な問題解決能力を備えた人材は、デジタル社会の変革に不可欠である。アントレプレナーシップやSDGsなどの学際的な教育は、社会課題解決に貢献できる人材を育成する。また、自由度の高い学習計画により、多様化する産業界のニーズに柔軟に対応できる独自のスキルセットを持つ人材を輩出する。国が進める不足するデジタル人材のへの対応となる事業である「大学・高専機能強化支援事業」において、新設組織は（支援１）に採択されており、これらの能力を持つ人材は、持続可能な社会の実現やイノベーション創出など、幅広い分野での

活躍が期待されている。

また、建築・環境課程の過年度入学志願者の状況や定員充足の状況においては、過去５年間の平均志願者数は 1,289 名おり、平均合格者数は 450 名であることから、競争率は 2. 9 倍ある。今後も PR 施策としてオープンキャンパス参加定員人数の大幅緩和や大学案内の無料化、Web を通じてのデジタル施策の実施などにより、新設組織への注目度や志願度が益々高まると考える。収容定員を既設組織の 360 名から 480 名と約 1.3 倍増とするが、既設組織である建築学部の過去５年間の平均志願者数は 29,898 名おり、平均合格者数は 4,934 名であることから、競争率は 6.1 倍ある（図表９）。新設組織では課程名称に建築を付けることから既設組織である建築学部からの併願者が大幅に増加することが予想されることや建築や都市分野の社会的需要を各種 PR 施策で伝えることにより志願者を増やすことで、収容定員を 1.3 倍とするが、前述のとおり同新設に対し実施した高校生アンケート調査では、「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は 163 人で入学定員を上回った。別途、「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は合計で 381 人おり、同課程の入学定員充足については十分な見通しがあると判断できる。

【図表９】建築学部過去５年間の延べ志願者数と合格者数

年度	延べ志願者数	合格者数
2020	6,574	1,026
2021	5,763	878
2022	6,064	901
2023	5,513	1,082
2024	5,984	1,047
計	29,898	4,934

【生命科学課程】

前述のとおり、生命科学課程の人材需要の社会的動向においては、高い需要が見込まれている。生命科学関連の幅広い知識と専門性を持ち、システム思考による創造的な問題解決能力を備えた人材は、デジタル社会の変革に不可欠である。アントレプレナーシップや SDGs などの学際的な教育は、社会課題解決に貢献できる人材を育成する。また、自由度の高い学習計画により、多様化する産業界のニーズに柔軟に対応できる独自のスキルセットを持つ人材を輩出する。国が進める不足するデジタル人材のへの対応となる事業である「大学・高専機能強化支援事業」において、新設組織は（支援１）に採択されており、これらの能力を持つ人材は、生命や健康を体系的に捉え、システム思考に基づく創造的な発想から人の健康に関する諸問題を解決技術革新や社会変革に対応し、創造的に問題解決できる能力を持つため、多様な分野での活躍が期待される。

また、生命科学科の過年度入学志願者の状況や定員充足の状況においては、過去５年間の平均志願者数は 2,328 名おり、平均合格者数は 844 名であることから、競争率は 2.8 倍ある。今後も PR 施策としてオープンキャンパス参加定員人数の大幅緩和や大学案内の無料化、Web を通じてのデジタル施策の実施などにより、新設組織への注目度や志願度が益々高まると考える。収容定員を既設組織の 460 名から 720 名と約 1.6 倍とするが、前述のとおり同新組織に対して実施した高校生アンケート調査では、「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は 104 人であったが、「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は合計で 392 人おり、併願者を含めると同課程の入学定員充足については十分な見通しがあると判断できる。なお、本学の既設学部の入学実績を踏まえると「第二志望×入学する」の５割以上、「第３

志望×入学する」の 2 割以上の入学が見込めるため、本アンケートによる入学見込者数は 104＋94×0.5＋298×0.2≒210 人となる。

【数理科学課程】

前述のとおり、新設組織の人材需要の社会的動向において、高い需要が見込まれている。数理科学関連の幅広い知識と専門性を持ち、システム思考による創造的な問題解決能力を備えた人材は、デジタル社会の変革に不可欠である。アントレプレナーシップや SDGs などの学際的な教育は、社会課題解決に貢献できる人材を育成する。また、自由度の高い学習計画により、多様化する産業界のニーズに柔軟に対応できる独自のスキルセットを持つ人材を輩出する。国が進める不足するデジタル人材のへの対応となる事業である「大学・高専機能強化支援事業」において、新設組織は（支援１）に採択されており、これらの能力を持つ人材は、AI やビッグデータ解析、金融工学、情報セキュリティなど、幅広い分野での活躍が期待されている。数理科学課程の人材需要を具体的に示すと、令和６年度に本学求人システムに登録された全求人件数 5,544 件の内、既設組織を対象としたものは 1,876 件あり、同年度大学院に進学した 21 名を除く既設組織の就職者 43 名と比較すると、44 倍の求人件数があり、定員に対しての企業からの人材ニーズは充分ある。さらに平成 31 年の経済産業省の「IT 人材需給に関する調査」によると、中位シナリオにおいても令和 12 年においては IT 人材が 45 万人不足すると予想されており、数理科学課程の主な就業先が IT 業界であることから上記の求人・就職ギャップはさらに広がることが予想されるため、数理科学課程の収容定員は十分妥当性がある。

また、既設組織の過年度入学志願者の状況や定員充足の状況においては、過去５年間の平均志願者数は 1,423 名おり、平均合格者数は 614 名であることから、競争率は 2.3 倍ある。今後も PR 施策としてオープンキャンパス参加定員人数の大幅緩和や大学案内の無料化、Web を通じてのデジタル施策の実施などにより、新設組織への注目度や志願度が益々高まると考える。収容定員は新設組織でも引き続き既設組織の 300 名のままとしており、競争率と学力を担保しながら入学者数を獲得することは可能だと判断できる。

《別紙目次》

別紙１　新設組織が置かれる都道府県への入学状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
別紙２　既設学科等の入学定員の充足状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
別紙３　既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績・・・・・・・・・・・・・・・16
別紙４　芝浦工業大学システム理工学部課程制（仮称）設置構想についての高校生アンケート調
　　査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
別紙５　芝浦工業大学システム理工学部課程制（仮称）設置構想についての人材需要アンケート
　　調査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・49

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙１

〇出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位５都道府県）※直近年度

	都道府県名	人　　数	構成比
1	埼玉県	9,657人	52.8%
2	東京都	5,142人	28.1%
3	千葉県	1,625人	8.9%
4	栃木県	1,050人	5.7%
5	神奈川県	823人	4.5%
	全　　体	18,297人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

〇新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地（都道府県等）	充足率		
		令和４年度	令和５年度	令和６年度
1	埼玉県	98.83%	98.90%	98.03%
2				

※２校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

〇新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和４年度	令和５年度	令和６年度
1	理・工学系	100.90%	104.35%	101.88%
2				

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－１

大学学部学科等名：芝浦工業大学工学部機械工学課程

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員						0人	0人
	延べ人数	志願者数					8人	8人
		受験者数					8人	8人
		合格者数					7人	7人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					2人	2人
	実人数	志願者数					8人	8人
		受験者数					8人	8人
		合格者数					7人	7人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					2人	2人
	入学者数						5人	5人
学校推薦型選抜	募集人員						54人	54人
	延べ人数	志願者数					50人	50人
		受験者数					50人	50人
		合格者数					50人	50人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	実人数	志願者数					50人	50人
		受験者数					50人	50人
		合格者数					50人	50人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	入学者数						50人	50人
一般選抜	募集人員						124人	124人
	延べ人数	志願者数					2744人	2744人
		受験者数					2612人	2612人
		合格者数					749人	749人
		うち追加合格者数					23人	23人
		辞退者数					613人	613人
	実人数	志願者数					2181人	2181人
		受験者数					2081人	2081人
		合格者数					694人	694人
		うち追加合格者数					23人	23人
		辞退者数					558人	558人
	入学者数						136人	136人
共通テスト利用入試	募集人員						36人	36人
	延べ人数	志願者数					1431人	1431人
		受験者数					1424人	1424人
		合格者数					546人	546人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					521人	521人
	実人数	志願者数					1418人	1418人
		受験者数					1411人	1411人
		合格者数					546人	546人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					521人	521人
	入学者数						25人	25人
その他の特別選抜	募集人員						0人	0人
	延べ人数	志願者数					2人	2人
		受験者数					2人	2人
		合格者数					0人	0人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	実人数	志願者数					2人	2人
		受験者数					2人	2人
		合格者数					0人	0人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	入学者数						0人	0人
合計	募集人員		0人	0人	0人	0人	214人	43人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	4235人	847人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	4096人	819人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	1352人	270人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	23人	5人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1136人	227人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	3659人	732人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	3552人	710人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	1297人	259人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	23人	5人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1081人	216人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	216人	43人

２．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
入学定員					228人	228人
入学定員充足率	－	－	－	－	0.95	0.95
歩留率	－	－	－	－	0.16	0.16

令和６年度４月開設

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－２

大学学部学科等名：芝浦工業大学工学部物質化学課程

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員						0人	0人
	延べ人数	志願者数					18人	18人
		受験者数					18人	18人
		合格者数					18人	18人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					2人	2人
	実人数	志願者数					18人	18人
		受験者数					18人	18人
		合格者数					18人	18人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					2人	2人
	入学者数						16人	16人
学校推薦型選抜	募集人員						53人	53人
	延べ人数	志願者数					43人	43人
		受験者数					43人	43人
		合格者数					43人	43人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	実人数	志願者数					43人	43人
		受験者数					43人	43人
		合格者数					43人	43人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	入学者数						43人	43人
一般選抜	募集人員						114人	114人
	延べ人数	志願者数					1984人	1984人
		受験者数					1886人	1886人
		合格者数					760人	760人
		うち追加合格者数					37人	37人
		辞退者数					634人	634人
	実人数	志願者数					1559人	1559人
		受験者数					1487人	1487人
		合格者数					678人	678人
		うち追加合格者数					37人	37人
		辞退者数					552人	552人
	入学者数						126人	126人
共通テスト利用入試	募集人員						32人	32人
	延べ人数	志願者数					1361人	1361人
		受験者数					1349人	1349人
		合格者数					634人	634人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					606人	606人
	実人数	志願者数					1349人	1349人
		受験者数					1337人	1337人
		合格者数					631人	631人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					603人	603人
	入学者数						28人	28人
その他の特別選抜	募集人員						0人	0人
	延べ人数	志願者数					2人	2人
		受験者数					2人	2人
		合格者数					2人	2人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					1人	1人
	実人数	志願者数					2人	2人
		受験者数					2人	2人
		合格者数					2人	2人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					1人	1人
	入学者数						1人	1人
合計	募集人員		0人	0人	0人	0人	199人	40人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	3408人	682人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	3298人	660人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	1457人	291人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	37人	7人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1243人	249人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	2971人	594人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	2887人	577人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	1372人	274人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	37人	7人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1158人	232人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	214人	43人

２．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
入学定員					208人	208人
入学定員充足率	－	－	－	－	1.03	1.03
歩留率	－	－	－	－	0.15	0.15

令和６年度４月開設

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－３

大学学部学科等名：芝浦工業大学工学部電気電子工学課程

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員						0人	0人
	延べ人数	志願者数					4人	4人
		受験者数					4人	4人
		合格者数					4人	4人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	実人数	志願者数					4人	4人
		受験者数					4人	4人
		合格者数					4人	4人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	入学者数						4人	4人
学校推薦型選抜	募集人員						52人	52人
	延べ人数	志願者数					74人	74人
		受験者数					74人	74人
		合格者数					74人	74人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					1人	1人
	実人数	志願者数					74人	74人
		受験者数					74人	74人
		合格者数					74人	74人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					1人	1人
	入学者数						73人	73人
一般選抜	募集人員						118人	118人
	延べ人数	志願者数					2563人	2563人
		受験者数					2451人	2451人
		合格者数					733人	733人
		うち追加合格者数					3人	3人
		辞退者数					620人	620人
	実人数	志願者数					2026人	2026人
		受験者数					1946人	1946人
		合格者数					667人	667人
		うち追加合格者数					3人	3人
		辞退者数					554人	554人
	入学者数						113人	113人
共通テスト利用入試	募集人員						32人	32人
	延べ人数	志願者数					1354人	1354人
		受験者数					1335人	1335人
		合格者数					484人	484人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					467人	467人
	実人数	志願者数					1341人	1341人
		受験者数					1323人	1323人
		合格者数					482人	482人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					465人	465人
	入学者数						17人	17人
その他の特別選抜	募集人員						0人	0人
	延べ人数	志願者数					3人	3人
		受験者数					3人	3人
		合格者数					2人	2人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					1人	1人
	実人数	志願者数					3人	3人
		受験者数					3人	3人
		合格者数					2人	2人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					1人	1人
	入学者数						1人	1人
合計	募集人員		0人	0人	0人	0人	202人	40人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	3998人	800人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	3867人	773人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	1297人	259人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	3人	1人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1089人	218人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	3448人	690人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	3350人	670人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	1229人	246人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	3人	1人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1021人	204人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	208人	42人

２．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
入学定員					208人	208人
入学定員充足率	－	－	－	－	1.00	1.00
歩留率	－	－	－	－	0.16	0.16

令和６年度４月開設

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－４

大学学部学科等名：芝浦工業大学工学部情報・通信工学課程

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員						0人	0人
	延べ人数	志願者数					17人	17人
		受験者数					17人	17人
		合格者数					14人	14人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					4人	4人
	実人数	志願者数					17人	17人
		受験者数					17人	17人
		合格者数					14人	14人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					4人	4人
	入学者数						10人	10人
学校推薦型選抜	募集人員						53人	53人
	延べ人数	志願者数					57人	57人
		受験者数					57人	57人
		合格者数					57人	57人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	実人数	志願者数					57人	57人
		受験者数					57人	57人
		合格者数					57人	57人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	入学者数						57人	57人
一般選抜	募集人員						121人	121人
	延べ人数	志願者数					3863人	3863人
		受験者数					3700人	3700人
		合格者数					727人	727人
		うち追加合格者数					66人	66人
		辞退者数					617人	617人
	実人数	志願者数					2999人	2999人
		受験者数					2874人	2874人
		合格者数					657人	657人
		うち追加合格者数					66人	66人
		辞退者数					547人	547人
	入学者数						110人	110人
共通テスト利用入試	募集人員						34人	34人
	延べ人数	志願者数					1724人	1724人
		受験者数					1711人	1711人
		合格者数					458人	458人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					426人	426人
	実人数	志願者数					1711人	1711人
		受験者数					1698人	1698人
		合格者数					456人	456人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					424人	424人
	入学者数						32人	32人
その他の特別選抜	募集人員						0人	0人
	延べ人数	志願者数					11人	11人
		受験者数					11人	11人
		合格者数					7人	7人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					1人	1人
	実人数	志願者数					11人	11人
		受験者数					11人	11人
		合格者数					7人	7人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					1人	1人
	入学者数						6人	6人
合計	募集人員		0人	0人	0人	0人	208人	42人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	5672人	1134人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	5496人	1099人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	1263人	253人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	66人	13人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1048人	210人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	4795人	959人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	4657人	931人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	1191人	238人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	66人	13人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	976人	195人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	215人	43人

２．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
入学定員					218人	218人
入学定員充足率	－	－	－	－	0.99	0.99
歩留率	－	－	－	－	0.17	0.17

令和６年度４月開設

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－５

大学学部学科等名：芝浦工業大学工学部土木工学課程

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員						0人	0人
	延べ人数	志願者数					2人	2人
		受験者数					2人	2人
		合格者数					2人	2人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	実人数	志願者数					2人	2人
		受験者数					2人	2人
		合格者数					2人	2人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	入学者数						2人	2人
学校推薦型選抜	募集人員						26人	26人
	延べ人数	志願者数					38人	38人
		受験者数					38人	38人
		合格者数					38人	38人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	実人数	志願者数					38人	38人
		受験者数					38人	38人
		合格者数					38人	38人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	入学者数						38人	38人
一般選抜	募集人員						55人	55人
	延べ人数	志願者数					1088人	1088人
		受験者数					1044人	1044人
		合格者数					287人	287人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					237人	237人
	実人数	志願者数					789人	789人
		受験者数					758人	758人
		合格者数					241人	241人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					191人	191人
	入学者数						50人	50人
共通テスト利用入試	募集人員						16人	16人
	延べ人数	志願者数					609人	609人
		受験者数					607人	607人
		合格者数					243人	243人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					231人	231人
	実人数	志願者数					603人	603人
		受験者数					601人	601人
		合格者数					243人	243人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					231人	231人
	入学者数						12人	12人
その他の特別選抜	募集人員						0人	0人
	延べ人数	志願者数					1人	1人
		受験者数					1人	1人
		合格者数					1人	1人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					1人	1人
	実人数	志願者数					1人	1人
		受験者数					1人	1人
		合格者数					1人	1人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					1人	1人
	入学者数						0人	0人
合計	募集人員		0人	0人	0人	0人	97人	19人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	1738人	348人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	1692人	338人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	571人	114人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	469人	94人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	1433人	287人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	1400人	280人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	525人	105人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	423人	85人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	102人	20人

２．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
入学定員					104人	104人
入学定員充足率	－	－	－	－	0.98	0.98
歩留率	－	－	－	－	0.18	0.18

令和６年度４月開設

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－６

大学学部学科等名：芝浦工業大学工学部先進国際課程

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実　人　数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
学校推薦型選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実　人　数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
一般選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実　人　数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
共通テスト利用入試	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実　人　数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
その他の特別選抜	募集人員		9人	9人	9人	9人	9人	9人
	延べ人数	志願者数	19人	44人	38人	53人	78人	46人
		受験者数	19人	44人	38人	53人	78人	46人
		合格者数	11人	11人	12人	18人	15人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	3人	4人	5人	7人	5人
	実　人　数	志願者数	19人	44人	38人	53人	78人	46人
		受験者数	19人	44人	38人	53人	78人	46人
		合格者数	11人	11人	12人	18人	15人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	3人	4人	5人	7人	5人
	入学者数		7人	8人	8人	13人	8人	9人
合計	募集人員		9人	9人	9人	9人	9人	9人
	延べ人数	志願者数	19人	44人	38人	53人	78人	46人
		受験者数	19人	44人	38人	53人	78人	46人
		合格者数	11人	11人	12人	18人	15人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	3人	4人	5人	7人	5人
	実　人　数	志願者数	19人	44人	38人	53人	78人	46人
		受験者数	19人	44人	38人	53人	78人	46人
		合格者数	11人	11人	12人	18人	15人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	3人	4人	5人	7人	5人
	入学者数		7人	8人	8人	13人	8人	9人

２．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
入学定員	9人	9人	9人	9人	9人	9人
入学定員充足率	0.78	0.89	0.89	1.44	0.89	0.98
歩留率	0.64	0.73	0.67	0.72	0.53	0.66

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－７

大学学部学科等名：芝浦工業大学システム理工学部電子情報システム学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	2人	10人	8人	15人	17人	10人
		受験者数	2人	10人	8人	15人	17人	10人
		合格者数	2人	6人	7人	14人	7人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	実人数	志願者数	2人	10人	8人	15人	17人	10人
		受験者数	2人	10人	8人	15人	17人	10人
		合格者数	2人	6人	7人	14人	7人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	入学者数		2人	6人	7人	14人	6人	7人
学校推薦型選抜	募集人員		14人	15人	14人	20人	26人	18人
	延べ人数	志願者数	19人	36人	38人	66人	53人	42人
		受験者数	19人	36人	38人	66人	53人	42人
		合格者数	19人	36人	38人	66人	53人	42人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	19人	36人	38人	66人	53人	42人
		受験者数	19人	36人	38人	66人	53人	42人
		合格者数	19人	36人	38人	66人	53人	42人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		19人	36人	38人	66人	53人	42人
一般選抜	募集人員		67人	67人	67人	63人	59人	65人
	延べ人数	志願者数	1414人	1467人	1436人	1176人	1335人	1366人
		受験者数	1327人	1374人	1358人	1117人	1282人	1292人
		合格者数	306人	345人	276人	214人	282人	285人
		うち追加合格者数	0人	110人	18人	36人	10人	35人
		辞退者数	225人	300人	230人	185人	238人	236人
	実人数	志願者数	1148人	1168人	1137人	973人	1021人	1089人
		受験者数	1079人	1097人	1081人	923人	982人	1032人
		合格者数	289人	321人	259人	206人	256人	266人
		うち追加合格者数	0人	109人	18人	36人	10人	35人
		辞退者数	208人	276人	213人	177人	212人	217人
	入学者数		81人	45人	46人	29人	44人	49人
共通テスト利用入試	募集人員		26人	26人	26人	20人	18人	23人
	延べ人数	志願者数	999人	1172人	1066人	879人	640人	951人
		受験者数	989人	1151人	1053人	872人	637人	940人
		合格者数	346人	323人	288人	210人	168人	267人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	319人	303人	269人	199人	162人	250人
	実人数	志願者数	993人	1167人	1060人	875人	636人	946人
		受験者数	983人	1147人	1047人	868人	633人	936人
		合格者数	346人	323人	288人	210人	168人	267人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	319人	303人	269人	199人	162人	250人
	入学者数		27人	20人	19人	11人	6人	17人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	2人	1人	2人	3人	6人	3人
		受験者数	2人	1人	2人	3人	6人	3人
		合格者数	2人	1人	1人	1人	3人	2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	1人	1人	2人	1人
	実人数	志願者数	2人	1人	2人	3人	6人	3人
		受験者数	2人	1人	2人	3人	6人	3人
		合格者数	2人	1人	1人	1人	3人	2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	1人	2人	1人
	入学者数		1人	1人	0人	0人	1人	1人
合計	募集人員		107人	108人	107人	103人	103人	106人
	延べ人数	志願者数	2436人	2686人	2550人	2139人	2051人	2372人
		受験者数	2339人	2572人	2459人	2073人	1995人	2288人
		合格者数	675人	711人	610人	505人	513人	603人
		うち追加合格者数	0人	110人	18人	36人	10人	35人
		辞退者数	545人	603人	500人	385人	403人	487人
	実人数	志願者数	2164人	2382人	2245人	1932人	1733人	2091人
		受験者数	2085人	2291人	2176人	1875人	1691人	2024人
		合格者数	658人	687人	593人	497人	487人	584人
		うち追加合格者数	0人	109人	18人	36人	10人	35人
		辞退者数	527人	579人	483人	377人	377人	469人
	入学者数		130人	108人	110人	120人	110人	116人

２．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
入学定員	115人	115人	115人	115人	115人	115人
入学定員充足率	1.13	0.94	0.96	1.04	0.96	1.01
歩留率	0.19	0.15	0.18	0.24	0.21	0.20

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－８

大学学部学科等名：芝浦工業大学システム理工学部機械制御システム学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	2人	1人	0人	6人	7人	3人
		受験者数	2人	1人	0人	6人	7人	3人
		合格者数	0人	1人	0人	6人	6人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	実人数	志願者数	2人	1人	0人	6人	7人	3人
		受験者数	2人	1人	0人	6人	7人	3人
		合格者数	0人	1人	0人	6人	6人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	入学者数		0人	1人	0人	6人	5人	2人
学校推薦型選抜	募集人員		13人	13人	13人	20人	27人	17人
	延べ人数	志願者数	15人	11人	21人	14人	43人	21人
		受験者数	15人	11人	21人	14人	43人	21人
		合格者数	15人	11人	21人	14人	43人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	15人	11人	21人	14人	43人	21人
		受験者数	15人	11人	21人	14人	43人	21人
		合格者数	15人	11人	21人	14人	43人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		15人	11人	21人	14人	43人	21人
一般選抜	募集人員		50人	50人	50人	48人	44人	48人
	延べ人数	志願者数	881人	718人	792人	634人	1006人	806人
		受験者数	824人	671人	757人	601人	961人	763人
		合格者数	283人	266人	225人	294人	216人	257人
		うち追加合格者数	59人	58人	0人	47人	4人	34人
		辞退者数	222人	207人	197人	218人	184人	206人
	実人数	志願者数	685人	556人	605人	480人	759人	617人
		受験者数	638人	523人	581人	459人	732人	587人
		合格者数	249人	239人	197人	256人	193人	227人
		うち追加合格者数	59人	57人	0人	47人	4人	33人
		辞退者数	188人	180人	169人	180人	161人	176人
	入学者数		61人	59人	28人	76人	32人	51人
共通テスト利用入試	募集人員		26人	26人	26人	18人	15人	22人
	延べ人数	志願者数	938人	742人	687人	687人	542人	719人
		受験者数	932人	734人	685人	685人	536人	714人
		合格者数	288人	376人	350人	245人	162人	284人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	281人	354人	314人	233人	158人	268人
	実人数	志願者数	933人	739人	682人	681人	539人	715人
		受験者数	927人	731人	680人	679人	533人	710人
		合格者数	288人	376人	350人	245人	162人	284人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	281人	354人	314人	233人	158人	268人
	入学者数		7人	22人	36人	12人	4人	16人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	5人	1人	2人	0人	0人	2人
		受験者数	5人	1人	2人	0人	0人	2人
		合格者数	3人	0人	2人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	5人	1人	2人	0人	0人	2人
		受験者数	5人	1人	2人	0人	0人	2人
		合格者数	3人	0人	2人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		1人	0人	2人	0人	0人	1人
合計	募集人員		89人	89人	89人	86人	86人	88人
	延べ人数	志願者数	1841人	1473人	1502人	1341人	1598人	1551人
		受験者数	1778人	1418人	1465人	1306人	1547人	1503人
		合格者数	589人	654人	598人	559人	427人	565人
		うち追加合格者数	59人	58人	0人	47人	4人	34人
		辞退者数	505人	561人	511人	451人	343人	474人
	実人数	志願者数	1640人	1308人	1310人	1181人	1348人	1357人
		受験者数	1587人	1267人	1284人	1158人	1315人	1322人
		合格者数	555人	627人	570人	521人	404人	535人
		うち追加合格者数	59人	57人	0人	47人	4人	33人
		辞退者数	471人	534人	483人	413人	320人	444人
	入学者数		84人	93人	87人	108人	84人	91人

２．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
入学定員	90人	90人	90人	90人	90人	90人
入学定員充足率	0.93	1.03	0.97	1.20	0.93	1.01
歩留率	0.14	0.14	0.15	0.19	0.20	0.16

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	2人	5人	6人	8人	14人	7人
		受験者数	2人	5人	6人	8人	14人	7人
		合格者数	2人	5人	5人	7人	14人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	2人	5人	6人	8人	14人	7人
		受験者数	2人	5人	6人	8人	14人	7人
		合格者数	2人	5人	5人	7人	14人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		2人	5人	5人	7人	14人	7人
学校推薦型選抜	募集人員		13人	13人	13人	20人	27人	17人
	延べ人数	志願者数	29人	30人	17人	31人	60人	33人
		受験者数	29人	30人	17人	31人	60人	33人
		合格者数	29人	30人	17人	31人	60人	33人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	29人	30人	17人	31人	60人	33人
		受験者数	29人	30人	17人	31人	60人	33人
		合格者数	29人	30人	17人	31人	60人	33人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		29人	30人	17人	31人	60人	33人
一般選抜	募集人員		52人	52人	52人	48人	44人	50人
	延べ人数	志願者数	710人	576人	560人	687人	658人	638人
		受験者数	693人	553人	524人	658人	625人	611人
		合格者数	219人	221人	236人	136人	125人	187人
		うち追加合格者数	49人	51人	50人	30人	0人	36人
		辞退者数	170人	185人	171人	116人	104人	149人
	実人数	志願者数	559人	450人	431人	529人	469人	488人
		受験者数	544人	432人	403人	512人	448人	468人
		合格者数	204人	194人	217人	122人	104人	168人
		うち追加合格者数	47人	49人	50人	30人	0人	35人
		辞退者数	155人	158人	152人	102人	83人	130人
	入学者数		49人	36人	65人	20人	21人	38人
共通テスト利用入試	募集人員		24人	24人	24人	18人	15人	21人
	延べ人数	志願者数	637人	612人	601人	708人	493人	610人
		受験者数	633人	608人	599人	702人	488人	606人
		合格者数	202人	321人	307人	176人	105人	222人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	189人	302人	273人	169人	101人	207人
	実人数	志願者数	634人	608人	597人	701人	487人	605人
		受験者数	630人	604人	595人	695人	482人	601人
		合格者数	202人	321人	307人	176人	104人	222人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	189人	302人	273人	169人	100人	207人
	入学者数		13人	19人	34人	7人	4人	15人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	1人	0人	1人	0人	1人	1人
		受験者数	1人	0人	1人	0人	1人	1人
		合格者数	1人	0人	1人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	1人	0人	1人	0人	1人	1人
		受験者数	1人	0人	1人	0人	1人	1人
		合格者数	1人	0人	1人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		1人	0人	1人	0人	0人	0人
合計	募集人員		89人	89人	89人	86人	86人	88人
	延べ人数	志願者数	1379人	1223人	1185人	1434人	1226人	1289人
		受験者数	1358人	1196人	1147人	1399人	1188人	1258人
		合格者数	453人	577人	566人	350人	304人	450人
		うち追加合格者数	49人	51人	50人	30人	0人	36人
		辞退者数	359人	487人	444人	285人	205人	356人
	実人数	志願者数	1225人	1093人	1052人	1269人	1031人	1134人
		受験者数	1206人	1071人	1022人	1246人	1005人	1110人
		合格者数	438人	550人	547人	336人	282人	431人
		うち追加合格者数	47人	49人	50人	30人	0人	35人
		辞退者数	344人	460人	425人	271人	183人	337人
	入学者数		94人	90人	122人	65人	99人	94人

２．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
入学定員	90人	90人	90人	90人	90人	90人
入学定員充足率	1.04	1.00	1.36	0.72	1.10	1.04
歩留率	0.21	0.16	0.22	0.19	0.33	0.22

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－10

大学学部学科等名：芝浦工業大学システム理工学部生命科学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	1人	3人	1人	12人	16人	7人
		受験者数	1人	3人	1人	12人	16人	7人
		合格者数	1人	2人	1人	10人	14人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	4人	1人
	実人数	志願者数	1人	3人	1人	12人	16人	7人
		受験者数	1人	3人	1人	12人	16人	7人
		合格者数	1人	2人	1人	10人	14人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	4人	1人
	入学者数		1人	2人	1人	9人	10人	5人
学校推薦型選抜	募集人員		13人	14人	22人	20人	28人	19人
	延べ人数	志願者数	29人	34人	32人	33人	67人	39人
		受験者数	29人	34人	32人	33人	67人	39人
		合格者数	29人	34人	32人	33人	67人	39人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	29人	34人	32人	33人	67人	39人
		受験者数	29人	34人	32人	33人	67人	39人
		合格者数	29人	34人	32人	33人	67人	39人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		29人	34人	32人	33人	67人	39人
一般選抜	募集人員		65人	65人	65人	64人	58人	63人
	延べ人数	志願者数	1177人	1014人	1106人	1194人	1361人	1170人
		受験者数	1102人	952人	1042人	1118人	1284人	1100人
		合格者数	438人	407人	418人	400人	281人	389人
		うち追加合格者数	55人	55人	19人	3人	5人	27人
		辞退者数	366人	356人	368人	339人	245人	335人
	実人数	志願者数	944人	830人	883人	952人	1067人	935人
		受験者数	888人	777人	840人	896人	1014人	883人
		合格者数	398人	371人	380人	367人	265人	356人
		うち追加合格者数	52人	55人	19人	3人	5人	27人
		辞退者数	326人	320人	330人	306人	229人	302人
	入学者数		72人	51人	50人	61人	36人	54人
共通テスト利用入試	募集人員		28人	28人	28人	18人	16人	24人
	延べ人数	志願者数	1143人	1106人	1149人	1244人	897人	1108人
		受験者数	1137人	1096人	1146人	1239人	890人	1102人
		合格者数	454人	540人	541人	327人	178人	408人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	439人	506人	516人	317人	175人	391人
	実人数	志願者数	1136人	1101人	1139人	1235人	891人	1100人
		受験者数	1130人	1091人	1136人	1231人	884人	1094人
		合格者数	454人	539人	540人	326人	178人	407人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	439人	505人	515人	316人	175人	390人
	入学者数		15人	34人	25人	10人	3人	17人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	9人	8人	2人	1人	0人	4人
		受験者数	9人	8人	2人	1人	0人	4人
		合格者数	4人	6人	1人	1人	0人	2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	3人	0人	1人	0人	1人
	実人数	志願者数	9人	8人	2人	1人	0人	4人
		受験者数	9人	8人	2人	1人	0人	4人
		合格者数	4人	6人	1人	1人	0人	2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	3人	0人	1人	0人	1人
	入学者数		1人	3人	1人	0人	0人	1人
合計	募集人員		106人	107人	115人	102人	102人	106人
	延べ人数	志願者数	2359人	2165人	2290人	2484人	2341人	2328人
		受験者数	2278人	2093人	2223人	2403人	2257人	2251人
		合格者数	926人	989人	993人	771人	540人	844人
		うち追加合格者数	55人	55人	19人	3人	5人	27人
		辞退者数	808人	865人	884人	658人	424人	728人
	実人数	志願者数	2119人	1976人	2057人	2233人	2041人	2085人
		受験者数	2057人	1913人	2011人	2173人	1981人	2027人
		合格者数	886人	952人	954人	737人	524人	811人
		うち追加合格者数	52人	55人	19人	3人	5人	27人
		辞退者数	768人	828人	845人	624人	408人	695人
	入学者数		118人	124人	109人	113人	116人	116人

２．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
入学定員	115人	115人	115人	115人	115人	115人
入学定員充足率	1.03	1.08	0.95	0.98	1.01	1.01
歩留率	0.13	0.13	0.11	0.15	0.21	0.14

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－11

大学学部学科等名：芝浦工業大学システム理工学部数理科学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	2人	2人	1人
		受験者数	0人	0人	0人	2人	2人	1人
		合格者数	0人	0人	0人	1人	2人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	2人	2人	1人
		受験者数	0人	0人	0人	2人	2人	1人
		合格者数	0人	0人	0人	1人	2人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	1人	2人	1人
学校推薦型選抜	募集人員		13人	14人	12人	20人	21人	16人
	延べ人数	志願者数	4人	10人	14人	6人	27人	12人
		受験者数	4人	10人	14人	6人	27人	12人
		合格者数	4人	10人	14人	6人	27人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	4人	10人	14人	6人	27人	12人
		受験者数	4人	10人	14人	6人	27人	12人
		合格者数	4人	10人	14人	6人	27人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		4人	10人	14人	6人	27人	12人
一般選抜	募集人員		43人	43人	43人	36人	39人	41人
	延べ人数	志願者数	810人	733人	807人	816人	914人	816人
		受験者数	769人	695人	758人	767人	874人	773人
		合格者数	267人	354人	358人	397人	278人	331人
		うち追加合格者数	4人	97人	23人	42人	5人	34人
		辞退者数	226人	306人	316人	332人	242人	284人
	実人数	志願者数	687人	617人	665人	680人	734人	677人
		受験者数	653人	587人	635人	640人	703人	644人
		合格者数	255人	317人	323人	358人	255人	302人
		うち追加合格者数	4人	97人	23人	42人	5人	34人
		辞退者数	214人	269人	281人	293人	219人	255人
	入学者数		41人	48人	42人	65人	36人	46人
共通テスト利用入試	募集人員		15人	15人	15人	12人	12人	14人
	延べ人数	志願者数	581人	589人	647人	598人	544人	592人
		受験者数	575人	579人	640人	593人	539人	585人
		合格者数	322人	291人	290人	290人	154人	269人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	287人	274人	283人	272人	153人	254人
	実人数	志願者数	578人	587人	644人	597人	541人	589人
		受験者数	572人	578人	637人	592人	536人	583人
		合格者数	322人	291人	289人	290人	154人	269人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	287人	274人	282人	272人	153人	254人
	入学者数		35人	17人	7人	18人	1人	16人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	2人	1人	2人	0人	4人	2人
		受験者数	2人	1人	2人	0人	4人	2人
		合格者数	2人	0人	2人	0人	1人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	1人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	2人	1人	2人	0人	4人	2人
		受験者数	2人	1人	2人	0人	4人	2人
		合格者数	2人	0人	2人	0人	1人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	1人	0人	0人	1人
	入学者数		0人	0人	1人	0人	1人	0人
合計	募集人員		71人	72人	70人	68人	72人	71人
	延べ人数	志願者数	1397人	1333人	1470人	1422人	1491人	1423人
		受験者数	1350人	1285人	1414人	1368人	1446人	1373人
		合格者数	595人	655人	664人	694人	462人	614人
		うち追加合格者数	4人	97人	23人	42人	5人	34人
		辞退者数	515人	580人	600人	604人	395人	539人
	実人数	志願者数	1271人	1215人	1325人	1285人	1308人	1281人
		受験者数	1231人	1176人	1288人	1240人	1272人	1241人
		合格者数	583人	618人	628人	655人	439人	585人
		うち追加合格者数	4人	97人	23人	42人	5人	34人
		辞退者数	503人	543人	564人	565人	372人	509人
	入学者数		80人	75人	64人	90人	67人	75人

２．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
入学定員	75人	75人	75人	75人	75人	75人
入学定員充足率	1.07	1.00	0.85	1.20	0.89	1.00
歩留率	0.13	0.11	0.10	0.13	0.15	0.12

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－12

大学学部学科等名：芝浦工業大学デザイン工学部デザイン工学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	5人	1人	0人	14人	31人	10人
		受験者数	5人	1人	0人	14人	31人	10人
		合格者数	5人	1人	0人	12人	13人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	2人	1人	1人
	実人数	志願者数	5人	1人	0人	13人	31人	10人
		受験者数	5人	1人	0人	13人	31人	10人
		合格者数	5人	1人	0人	11人	13人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	1人	0人
	入学者数		5人	1人	0人	10人	12人	6人
学校推薦型選抜	募集人員		13人	12人	12人	12人	41人	18人
	延べ人数	志願者数	39人	64人	72人	86人	72人	67人
		受験者数	39人	64人	72人	86人	72人	67人
		合格者数	39人	64人	72人	86人	72人	67人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	39人	64人	72人	86人	72人	67人
		受験者数	39人	64人	72人	86人	72人	67人
		合格者数	39人	64人	72人	86人	72人	67人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		39人	64人	72人	86人	72人	67人
一般選抜	募集人員		94人	104人	104人	104人	84人	98人
	延べ人数	志願者数	1611人	1624人	1620人	1698人	1644人	1639人
		受験者数	1513人	1548人	1547人	1628人	1573人	1562人
		合格者数	371人	401人	398人	342人	406人	384人
		うち追加合格者数	116人	127人	33人	123人	90人	98人
		辞退者数	285人	319人	305人	293人	328人	306人
	実人数	志願者数	1453人	1453人	1481人	1510人	1457人	1471人
		受験者数	1375人	1390人	1415人	1445人	1397人	1404人
		合格者数	353人	384人	387人	321人	380人	365人
		うち追加合格者数	111人	126人	32人	117人	90人	95人
		辞退者数	267人	302人	294人	272人	302人	287人
	入学者数		86人	82人	93人	49人	78人	78人
共通テスト利用入試	募集人員		40人	40人	40人	34人	26人	36人
	延べ人数	志願者数	1208人	1348人	1164人	1244人	859人	1165人
		受験者数	1203人	1329人	1156人	1234人	846人	1154人
		合格者数	383人	385人	380人	252人	283人	337人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	347人	364人	363人	241人	264人	316人
	実人数	志願者数	878人	988人	856人	943人	626人	858人
		受験者数	874人	974人	849人	934人	615人	849人
		合格者数	286人	294人	306人	199人	218人	261人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	250人	273人	289人	188人	199人	240人
	入学者数		36人	21人	17人	11人	19人	21人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	2人	1人	1人	2人	0人	1人
		受験者数	2人	1人	1人	2人	0人	1人
		合格者数	1人	1人	1人	2人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	0人	1人	0人	1人
	実人数	志願者数	2人	1人	1人	2人	0人	1人
		受験者数	2人	1人	1人	2人	0人	1人
		合格者数	1人	1人	1人	2人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	0人	1人	0人	1人
	入学者数		0人	0人	1人	1人	0人	0人
合計	募集人員		147人	156人	156人	150人	151人	152人
	延べ人数	志願者数	2865人	3038人	2857人	3044人	2606人	2882人
		受験者数	2762人	2943人	2776人	2964人	2522人	2793人
		合格者数	799人	852人	851人	694人	774人	794人
		うち追加合格者数	116人	127人	33人	123人	90人	98人
		辞退者数	633人	684人	668人	537人	593人	623人
	実人数	志願者数	2377人	2507人	2410人	2554人	2186人	2407人
		受験者数	2295人	2430人	2337人	2480人	2115人	2331人
		合格者数	684人	744人	766人	619人	683人	699人
		うち追加合格者数	111人	126人	32人	117人	90人	95人
		辞退者数	518人	576人	583人	462人	502人	528人
	入学者数		166人	168人	183人	157人	181人	171人

２．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
入学定員	180人	180人	180人	180人	180人	180人
入学定員充足率	0.92	0.93	1.02	0.87	1.01	0.95
歩留率	0.21	0.20	0.22	0.23	0.23	0.22

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－13

大学学部学科等名：芝浦工業大学建築学部建築学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	9人	6人	18人	40人	63人	27人
		受験者数	9人	6人	18人	40人	63人	27人
		合格者数	7人	4人	6人	15人	14人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	2人	2人	1人
	実人数	志願者数	9人	6人	18人	34人	50人	23人
		受験者数	9人	6人	18人	34人	50人	23人
		合格者数	7人	4人	6人	13人	12人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		7人	4人	6人	13人	12人	8人
学校推薦型選抜	募集人員		46人	46人	46人	59人	70人	53人
	延べ人数	志願者数	77人	203人	173人	119人	145人	143人
		受験者数	77人	203人	173人	119人	145人	143人
		合格者数	77人	169人	133人	73人	86人	108人
		うち追加合格者数	0人	3人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	77人	172人	133人	73人	86人	108人
		受験者数	77人	172人	133人	73人	86人	108人
		合格者数	77人	169人	133人	73人	86人	108人
		うち追加合格者数	0人	3人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		77人	168人	133人	73人	86人	107人
一般選抜	募集人員		136人	136人	124人	123人	128人	129人
	延べ人数	志願者数	4024人	3365人	3755人	3448人	4073人	3733人
		受験者数	3816人	3185人	3581人	3281人	4009人	3574人
		合格者数	513人	475人	518人	647人	612人	553人
		うち追加合格者数	45人	205人	135人	225人	85人	139人
		辞退者数	376人	396人	403人	506人	482人	433人
	実人数	志願者数	3082人	2601人	2771人	2553人	2917人	2785人
		受験者数	2937人	2476人	2658人	2449人	2792人	2662人
		合格者数	452人	418人	456人	547人	512人	477人
		うち追加合格者数	42人	195人	129人	211人	85人	132人
		辞退者数	315人	339人	341人	406人	382人	357人
	入学者数		137人	79人	115人	141人	130人	120人
共通テスト利用入試	募集人員		48人	48人	42人	41人	30人	42人
	延べ人数	志願者数	2452人	2177人	2109人	1901人	1697人	2067人
		受験者数	2419人	2147人	2081人	1892人	1685人	2045人
		合格者数	424人	228人	240人	347人	332人	314人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	399人	224人	226人	329人	309人	297人
	実人数	志願者数	1606人	1359人	1314人	1200人	1066人	1309人
		受験者数	1582人	1338人	1293人	1192人	1057人	1292人
		合格者数	338人	172人	193人	260人	255人	244人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	313人	168人	179人	242人	232人	227人
	入学者数		25人	4人	14人	18人	23人	17人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	12人	12人	9人	5人	6人	9人
		受験者数	12人	12人	9人	5人	6人	9人
		合格者数	5人	2人	4人	0人	3人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	1人	2人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	9人	12人	9人	5人	6人	8人
		受験者数	12人	12人	9人	5人	6人	9人
		合格者数	5人	2人	4人	0人	3人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	1人	2人	0人	0人	1人
	入学者数		2人	1人	2人	0人	3人	2人
合計	募集人員		230人	230人	212人	223人	228人	225人
	延べ人数	志願者数	6574人	5763人	6064人	5513人	5984人	5980人
		受験者数	6333人	5553人	5862人	5337人	5908人	5799人
		合格者数	1026人	878人	901人	1082人	1047人	987人
		うち追加合格者数	45人	208人	135人	225人	85人	140人
		辞退者数	778人	622人	631人	837人	793人	732人
	実人数	志願者数	4783人	4150人	4245人	3865人	4125人	4234人
		受験者数	4617人	4004人	4111人	3753人	3991人	4095人
		合格者数	879人	765人	792人	893人	868人	839人
		うち追加合格者数	42人	198人	129人	211人	85人	133人
		辞退者数	631人	509人	522人	648人	614人	585人
	入学者数		248人	256人	270人	245人	254人	255人

２．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平　均
入学定員	240人	240人	240人	240人	240人	240人
入学定員充足率	1.03	1.07	1.13	1.02	1.06	1.06
歩留率	0.24	0.29	0.30	0.23	0.24	0.26

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙３

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：システム理工学部のオープンキャンパス

	R5年度 入学者入試	R6年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	7680人	8884人	①取組概要 ●R5年度入試に向けては、コロナ禍を鑑みて人数を制限したうえでキャンパスを開放し、既設学部の特色や養成する人材像の紹介、模擬授業、在学生との懇談、施設案内等を実施。計4回（2023年7月30日、31日、8月20日、21日）。 ●R6年度入試に向けては、コロナ禍の緩和を些か考慮しつつも一部人数を制限したうえでキャンパスを解放し、既設学部の特色や養成する人材像の紹介、模擬授業、在学生との懇談、施設案内等を実施。計5回（2024年7月29日、30日、8月18日、19日、20日）。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 左記2年分の本取組の「参加者等総数(a)」はコロナ禍のため参加者数に上限を設けた状況での数値であり、直近のR7年度入試に向けた同取組では参加者総数：約16000人、うち受験対象者数：約5500人であった。R8年度入試に向けても同程度以上の規模で実施予定であることから、R7年度実績の「うち受験対象者数」（約5500人）に左記入学率(7%)をかけ、約385人の入学者数の見込み。 ③「うち受験対象者数(b)」に該当すると判断した根拠 「参加者総数(a)」のうち、参加時アンケートにて「学年」を「高校3年」または「既卒」と回答したものの数から算出
うち受験対象者数(b)	2918人	3376人	
うち受験者数(c)	2129人	2543人	
うち入学者数(d)	221人	239人	
（受験率 c/b）	73%	75%	
（入学率 d/b）	8%	7%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：芝浦工業大学の大学案内の配付（郵送）

	R5年度 入学者入試	R6年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	22389人	24897人	①取組概要 大学公式Webサイトおよび各種進学情報サイトより資料請求を受付、配付（郵送）。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 左記2年分の本取組の「うち受験対象者数(b)」（約12000人）に左記入学率（3%）をかけると、約360人の入学者数の見込み。 ③「うち受験対象者数(b)」に該当すると判断した根拠 「参加者総数(a)」のうち、資料請求時のアンケートにて「学年」を「高校3年」または「既卒」と回答したものの数から算出
うち受験対象者数(b)	11298人	12494人	
うち受験者数(c)	5477人	6058人	
うち入学者数(d)	398人	343人	
（受験率 c/b）	48%	48%	
（入学率 d/b）	4%	3%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R5年度 入学者入試	R6年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
（受験率 c/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	
（入学率 d/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R5年度 入学者入試	R6年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
（受験率 c/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	
（入学率 d/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R5年度 入学者入試	R6年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
（受験率 c/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	
（入学率 d/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	

芝浦工業大学

システム理工学部 課程制（仮称）

設置構想についての高校生アンケート調査

報告書

目次

1.　高校生アンケート調査 概要..... 2

2.　調査実施高等学校等一覧..... 3

3.　高校生アンケート調査 集計結果..... 6

4.　高校生アンケート調査 結果の要点..... 15

（１）情報課程（仮称）..... 15

（２）機械・電気課程（仮称）..... 17

（３）建築・環境課程（仮称）..... 19

（４）生命・健康科学課程（仮称）..... 21

（５）数理科学課程（仮称）..... 23

高校生アンケート調査用紙..... 25

「システム理工学部 課程制（仮称）」リーフレット..... 27

1.高校生アンケート調査 概要

調査目的	令和8年（2026年）度に芝浦工業大学が設置構想中の「システム理工学部 課程制」（入学定員：情報課程240名、機械・電気課程90名、建築・環境課程120名、生命・健康科学課程180名、数理科学課程75名）における志願者・入学者等の学生確保の見込みを測定することを目的とする。
調査対象	[調査対象] 令和8年3月に高校卒業予定である高校2年生（令和6年度） [調査地域] 「システム理工学部 課程制」の主たる学生募集エリアと想定される高等学校133校から調査の協力を得た。 また、オープンキャンパスに来場した学生には個別で調査の協力を得た。
調査内容	・回答者の基本情報（性別、居住地） ・卒業後の志望進路 ・志望する大学等の設置者 ・興味のある学問分野 ・芝浦工業大学「システム理工学部 課程制」特色への興味・関心 ・芝浦工業大学「システム理工学部 課程制」への受験・入学意向
調査時期	令和6年10～12月
調査方法	高校側の希望に基づき、紙方式・WEB方式のいずれかでアンケート調査を実施。 [紙方式] ① 高校での実施依頼分については、各高校の希望に基づき、アンケート用紙・「システム理工学部 課程制」リーフレットを必要部数送付。ホームルームで配付の上、その場で回答し回収いただいた。 ② オープンキャンパス実施分については、協力を承諾いただいた来場者に対し、個別にアンケート用紙・「システム理工学部 課程制」リーフレットを配布し、その場で回答いただいた。 [WEB方式] 担当教員のメールアドレスにアンケート調査サイトURLおよびアクセス用QRコードを送付。自校対象生徒のタブレット端末等に配信の上、原則その場で回答し送信するよう促していただいた。
回収件数	有効回答数14,808件（計133校13,714件、オープンキャンパス1,094件）

2.調査実施高等学校等一覧

番号	高校コード	高校名	件数	番号	高校コード	高校名	件数
1	01298A	苫小牧東高等学校	210	31	10509A	樹徳高等学校	45
2	01556D	クラーク記念国際高等学校	117	32	10512A	高崎健康福祉大学高崎高等学校	104
3	04503K	東北学院高等学校	45	33	11102D	熊谷高等学校	168
4	04507B	尚絅学院高等学校	66	34	11105J	松山高等学校	22
5	04512J	聖ウルスラ学院英智高等学校	109	35	11117B	浦和西高等学校	10
6	05104H	秋田工業高等学校	19	36	11122J	越ケ谷高等学校	38
7	08104D	日立第一高等学校	78	37	11130K	朝霞高等学校	266
8	08122B	緑岡高等学校	131	38	11136J	坂戸高等学校	75
9	08147H	土浦第二高等学校	243	39	11175K	越谷南高等学校	36
10	08163K	下館第一高等学校	111	40	11184J	川越南高等学校	71
11	08175C	水海道第一高等学校	28	41	11205E	杉戸高等学校	101
12	08179F	古河第三高等学校	199	42	11213F	浦和南高等学校	110
13	08196F	水戸桜ノ牧高等学校	80	43	11223C	朝霞西高等学校	66
14	08211C	伊奈高等学校	75	44	11242K	大宮南高等学校	36
15	08510D	土浦日本大学高等学校	4	45	11507A	本庄第一高等学校	65
16	08512A	東洋大学附属牛久高等学校	15	46	11515A	本庄東高等学校	47
17	08515E	江戸川学園取手高等学校	153	47	11521F	星野高等学校	38
18	08517A	常総学院高等学校	54	48	11529A	浦和学院高等学校	239
19	08521K	つくば秀英高等学校	46	49	11530E	栄東高等学校	259
20	09102C	宇都宮東高等学校	74	50	11533K	獨協埼玉高等学校	30
21	09105H	宇都宮中央女子高等学校	263	51	11540B	花咲徳栄高等学校	69
22	09122H	栃木女子高等学校	122	52	11545C	東京農業大学第三高等学校	85
23	09153H	黒磯高等学校	158	53	11549F	栄北高等学校	167
24	09174A	栃木翔南高等学校	72	54	12103H	千葉東高等学校	57
25	09508H	佐野日本大学高等学校	68	55	12107A	千葉南高等学校	1
26	10103G	前橋女子高等学校	36	56	12111J	八千代高等学校	187
27	10111H	高崎工業高等学校	9	57	12117H	鎌ケ谷高等学校	188
28	10126F	沼田高等学校	28	58	12120H	国府台高等学校	133
29	10504A	新島学園高等学校	66	59	12121F	国分高等学校	238
30	10508C	東京農業大学第二高等学校	137	60	12125J	小金高等学校	29

番号	高校コード	高校名	件数	番号	高校コード	高校名	件数
61	12126G	松戸国際高等学校	90	91	13607H	江戸川女子高等学校	62
62	12130E	柏南高等学校	75	92	13608F	関東第一高等学校	85
63	12144E	佐原高等学校	137	93	13609D	品川翔英高等学校	125
64	12161E	長生高等学校	147	94	13612D	品川女子学院高等部	74
65	12230A	柏中央高等学校	114	95	13617E	立正大学付属立正高等学校	83
66	12504A	千葉敬愛高等学校	112	96	13632J	田園調布学園高等部	65
67	12512B	和洋国府台女子高等学校	19	97	13642F	駒場学園高等学校	75
68	12515G	千葉英和高等学校	358	98	13666C	東亜学園高等学校	37
69	12517C	日出学園高等学校	107	99	13681G	日本大学第二高等学校	153
70	12523H	敬愛学園高等学校	109	100	13685K	芝浦工業大学附属高等学校	179
71	12539D	八千代松陰高等学校	39	101	13696E	本郷高等学校	146
72	12546G	東京学館浦安高等学校	90	102	13709A	工学院大学附属高等学校	205
73	12554H	西武台千葉高等学校	330	103	13713J	八王子学園八王子高等学校	99
74	13009F	東京学芸大学附属国際中等教育学校	87	104	13714G	八王子実践高等学校	36
75	13120C	江戸川高等学校	115	105	13720A	錦城高等学校	22
76	13176J	石神井高等学校	252	106	13723F	拓殖大学第一高等学校	57
77	13204H	調布北高等学校	44	107	13731G	聖徳学園高等学校	166
78	13206D	豊島高等学校	282	108	13746E	穎明館高等学校	57
79	13236F	深川高等学校	187	109	14138A	横須賀（県立）高等学校	21
80	13289G	成瀬高等学校	254	110	14180B	伊志田高等学校	93
81	13501B	大妻高等学校	104	111	14206K	戸塚高等学校	36
82	13514D	東洋高等学校	145	112	14258B	大船高等学校	3
83	13515B	二松學舎大学附属高等学校	37	113	14503D	横浜共立学園高等学校	80
84	13537C	明治学院高等学校	77	114	14507G	関東学院高等学校	66
85	13539K	山脇学園高等学校	90	115	14510G	横浜清風高等学校	431
86	13550A	國學院高等学校	161	116	14535B	横須賀学院高等学校	34
87	13551J	実践女子学園高等学校	71	117	14544A	鎌倉学園高等学校	99
88	13556K	東京女学館高等学校	72	118	14554J	藤嶺学園藤沢高等学校	101
89	13562D	跡見学園高等学校	65	119	14557C	向上高等学校	57
90	13574H	昭和第一高等学校	64	120	14564F	相模女子大学高等部高等学校	125

番号	高校コード	高校名	件数
121	14568J	立花学園高等学校	376
122	14573E	桐光学園高等学校	67
123	15514E	新潟第一高等学校	33
124	19126E	吉田高等学校	99
125	20173B	松本県ケ丘高等学校	3
126	20515A	東海大学付属諏訪高等学校	54
127	22135A	静岡東高等学校	93
128	22507A	加藤学園暁秀高等学校	129
129	22508J	加藤学園高等学校	42
130	22535F	浜松学芸高等学校	59
131	28519G	滝川高等学校	196
132	34521A	広島城北高等学校	29
133	40529K	上智福岡高等学校	32
134	－	オープンキャンパス	1,094
合計			14,808

3.高校生アンケート調査 集計結果

※「構成比」（%）はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問１　あなたの現在の居住地をお答えください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
埼玉県	2,509	16.9%
東京都	3,625	24.5%
神奈川県	1,932	13.0%
千葉県	2,823	19.1%
茨城県	1,152	7.8%
栃木県	784	5.3%
群馬県	509	3.4%
長野県	70	0.5%
山梨県	109	0.7%
静岡県	355	2.4%
その他1	890	6.0%
無回答	50	0.3%
合計	14,808	100.0%

問２　あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
男性	7,665	51.8%
女性	6,532	44.1%
答えたくない	340	2.3%
無回答	271	1.8%
合計	14,808	100.0%

問３　卒業後の進路をどのように考えていますか。（あてはまるものすべて）

選択肢	回答数	回答割合
①大学	14,144	95.5%
②短期大学	298	2.0%
③専門職大学	279	1.9%
④専門職短期大学	72	0.5%
⑤専門学校	919	6.2%
⑥就職	242	1.6%
⑦その他	143	1.0%

問４　問３で①～④を選択した方に質問です。（※問3で①～④を選択しなかった方は問５に進んでください）　　志望する大学等の設置者の希望を選択してください。（あてはまるものすべて）

選択肢	回答数	回答割合
私立	10,525	71.1%
国立	6,226	42.0%
公立	3,223	21.8%

問５　高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。（あてはまるものすべて）※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。

選択肢	回答数	回答割合
機械工学	2,332	15.7%
電気通信工学	1,923	13.0%
土木建築工学	1,287	8.7%
応用化学	728	4.9%
経営工学	678	4.6%
工学その他	1,186	8.0%
数学	1,152	7.8%
物理学	1,246	8.4%
生物	1,287	8.7%
化学	1,204	8.1%
地学	302	2.0%
理学その他	534	3.6%
文学	1,039	7.0%
史学	497	3.4%
哲学	475	3.2%
心理学	1,314	8.9%
人文科学その他	270	1.8%
法学・政治学	1,005	6.8%
商学・経済学	1,865	12.6%
社会学	784	5.3%
社会科学その他	246	1.7%
農学	747	5.0%
農芸化学	270	1.8%
農業工学	149	1.0%
農業経済学	138	0.9%
水産学	241	1.6%
農学その他	250	1.7%
医学	921	6.2%
歯学	255	1.7%
薬学	1,218	8.2%
看護学	1,019	6.9%
保健その他	952	6.4%
教育学	1,004	6.8%
小学校課程	320	2.2%
中・高校課程	748	5.1%
体育学	471	3.2%
教育その他	185	1.2%
美術	406	2.7%
デザイン	847	5.7%
音楽	499	3.4%
芸術その他	287	1.9%
商船学	105	0.7%
家政学	163	1.1%
食物学	457	3.1%
被服学	125	0.8%
住居学	83	0.6%
児童学	188	1.3%
家政その他	61	0.4%
教養学	215	1.5%
総合科学	141	1.0%
国際学	819	5.5%
人間科学	383	2.6%
その他	548	3.7%

問６　芝浦工業大学「システム理工学部」の2026年度の学科制から課程制への移行に伴い設置構想中の課程のコースのうち、あなたが興味のあるものをお答えください。次より１つ選択してください。※以下の課程･コース名称はいずれも仮称です。

選択肢	回答数	回答割合
情報課程　Iotコース	1,013	6.8%
情報課程　ソフトウェアコース	1,252	8.5%
情報課程　メディアコース	1,071	7.2%
情報課程　データサイエンスコース	880	5.9%
機械・電気課程　機械・電気コース	1,353	9.1%
建築・環境課程　建築コース	1,375	9.3%
建築・環境課程　環境・都市コース	1,251	8.4%
生命・健康科学課程　生命科学コース	2,497	16.9%
生命・健康科学課程　医工学コース	1,401	9.5%
生命・健康科学課程　スポーツ健康工学コース	1,591	10.7%
数理科学課程　数理科学コース	1,020	6.9%
無回答	104	0.7%
合計	14,808	100.0%

問７　あなたは問6で興味があるとされた課程のコースを受験したいと思いますか。次より一つ選択してください。

選択肢	回答数	回答割合
第一志望として受験する	973	6.6%
第二志望として受験する	1,091	7.4%
第三志望以降として受験する	2,560	17.3%
受験しない	9,897	66.8%
無回答	287	1.9%
合計	14,808	100.0%

問８　上記、問７で①～③を選択した方に質問です。問７で興味があるとされた課程のコースを受験して合格した場合､入学を希望しますか｡次より一つ選択してください。

選択肢	回答数	回答割合
入学する	1,178	25.5%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	3,139	67.9%
入学しない	277	6.0%
無回答	30	0.7%
合計	4,624	100.0%

問９　芝浦工業大学システム理工学部は、一つの専門性だけではなく、分野を超えた学びを飛躍させます。以下に示す能力から、あなたが特に身に付けたいと思うものをお答えください。(5つまで複数選択可)

選択肢	回答数	回答割合
幅広い視野と教養を身につけ、それを活用応用する力	6,261	42.3%
デジタル技術を自由に使いこなす力	3,992	27.0%
人や物事を全体的総合的に理解する力	2,858	19.3%
誰にでもわかりやすい文章を書く力	4,596	31.0%
いろいろな分野を結び付けて問題を解決する力	3,414	23.1%
異なる文化や考え方を持つ人達とチームをつくる力	2,038	13.8%
人の役に立つアイデアを考え出す力	1,905	12.9%
他の人が納得できるようにプレゼンテーションする力	3,314	22.4%
人の役に立つアイデアを実際のかたちにする力	2,577	17.4%
英語で技術文書を理解し、自分でも書ける力	1,524	10.3%
アイデアを社会で実現するための行動力	2,157	14.6%
英語で技術的なコミュニケーションをする力	1,287	8.7%
特定の理工学分野で高度な技術を使う力	2,638	17.8%
社会の変化に対応して学び続ける力	2,373	16.0%

※問８のうち、問７で「第一志望として受験する」を選択した回答者のみの回答

情報課程　Iotコース

選択肢	回答数	回答割合
入学する	82	81.2%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	9	8.9%
入学しない	8	7.9%
無回答	2	2.0%
合計	101	100.0%

情報課程　ソフトウェアコース

選択肢	回答数	回答割合
入学する	123	83.7%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	22	15.0%
入学しない	1	0.7%
無回答	1	0.7%
合計	147	100.0%

情報課程　メディアコース

選択肢	回答数	回答割合
入学する	40	71.4%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	12	21.4%
入学しない	3	5.4%
無回答	1	1.8%
合計	56	100.0%

情報課程　データサイエンスコース

選択肢	回答数	回答割合
入学する	47	79.7%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	8	13.6%
入学しない	3	5.1%
無回答	1	1.7%
合計	59	100.0%

機械・電気課程　機械・電気コース

選択肢	回答数	回答割合
入学する	155	87.1%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	22	12.4%
入学しない	1	0.6%
無回答	0	0.0%
合計	178	100.0%

建築・環境課程　建築コース

選択肢	回答数	回答割合
入学する	121	82.9%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	19	13.0%
入学しない	6	4.1%
無回答	0	0.0%
合計	146	100.0%

建築・環境課程　環境・都市コース

選択肢	回答数	回答割合
入学する	73	86.9%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	10	11.9%
入学しない	1	1.2%
無回答	0	0.0%
合計	84	100.0%

生命・健康科学課程　生命科学コース

選択肢	回答数	回答割合
入学する	84	85.7%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	11	11.2%
入学しない	3	3.1%
無回答	0	0.0%
合計	98	100.0%

生命・健康科学課程　医工学コース

選択肢	回答数	回答割合
入学する	35	77.8%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	6	13.3%
入学しない	4	8.9%
無回答	0	0.0%
合計	45	100.0%

生命・健康科学課程　スポーツ健康工学コース

選択肢	回答数	回答割合
入学する	50	83.3%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	7	11.7%
入学しない	3	5.0%
無回答	0	0.0%
合計	60	100.0%

数理科学課程　数理科学コース

選択肢	回答数	回答割合
入学する	51	86.4%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	3	5.1%
入学しない	4	6.8%
無回答	1	1.7%
合計	59	100.0%

4.高校生アンケート調査 結果の要点

（1）情報課程（仮称）

高校卒業後の進路に「大学」、その上で志望する大学の設置者に「私立」、さらには芝浦工業大学が設置構想中のシステム理工学部 課程制 情報課程（仮称・以下同課程）と関連のある学問分野（いずれかまたは複数）に興味を示した高校生は3,805人であった。そのうち芝浦工業大学 システム理工学部 課程制（仮称）において最も興味があるのは同課程のいずれかのコースとしたのは1,599人であった。

その上で同課程を「第一志望として受験する」としたのは275人、「第二志望として受験する」268人、「第三志望以降として受験する」445人と合計すると988人（予定する入学定員240名の4.1倍）であった。同課程に対し「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は232人であったが、「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は合計で613人おり、併願者を含めると同課程の入学定員充足については十分な見通しがあると判断できる。

進路		設置者		興味のある学問分野		芝浦工業大学 システム理工学部 課程制で興味のある学科		受験意向		合格した場合の入学意向	
大学	14,144人	私立	10,371人	次頁・「情報課程（仮称）と関連のある学問分野」のいずれかまたは複数に興味	3,805人	情報課程（仮称）のいずれかのコース	1,599人	第一志望として受験する	275人	入学する	232人
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	33人
								第二志望として受験する	268人	入学する	54人
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	210人
								第三志望以降として受験する	445人	入学する	29人
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	403人

● 情報課程（仮称）と関連のある学問分野（コース別含む）

課程名	入学定員	コース名	機械工学	電気通信工学	経営工学	工学その他	数学	物理学	デザイン
情報課程	240	Iotコース	○	○		○	○	○	
		ソフトウェアコース	○	○		○	○	○	
		メディアコース	○	○	○	○			○
		データサイエンスコース	○	○		○	○	○	

● 情報課程（仮称）五重クロス集計後の受験・入学意向内訳

			第一志望			第二志望			第三志望以降			合計		
課程名	入学定員	コース名	受験	入学	併願入学	受験	入学	併願入学	受験	入学	併願入学	受験	入学	併願入学
情報課程	240	Iotコース	64	55	5	64	16	47	92	9	80	220	80	132
		ソフトウェアコース	122	104	17	124	25	98	168	7	159	414	136	274
		メディアコース	45	34	8	37	7	29	78	6	71	160	47	108
		データサイエンスコース	44	39	3	43	6	36	107	7	93	194	52	132
		合計	275	232	33	268	54	210	445	29	403	988	315	646

※併願入学＝志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する

（２）機械・電気課程（仮称）

高校卒業後の進路に「大学」、その上で志望する大学の設置者に「私立」、さらには芝浦工業大学が設置構想中のシステム理工学部 課程制 機械・電気課程（仮称・以下同課程）と関連のある学問分野（いずれかまたは複数）に興味を示した高校生は2,110人であった。そのうち芝浦工業大学 システム理工学部 課程制（仮称）において最も興味があるのは同課程のコースとしたのは721人であった。

その上で同課程を「第一志望として受験する」としたのは142人、「第二志望として受験する」154人、「第三志望以降として受験する」198人と合計すると494人（予定する入学定員90名の5.5倍）であった。同課程に対し「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は125人で入学定員を上回った。別途、「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は合計で296人おり、同課程の入学定員充足については十分な見通しがあると判断できる。

進路		設置者		興味のある学問分野		芝浦工業大学 システム理工学部 課程制で興味のある学科		受験意向		合格した場合の入学意向	
大学	14,144人	私立	10,371人	次頁・「機械・電気課程（仮称）と関連のある学問分野」のいずれかまたは複数に興味	2,110人	機械・電気課程（仮称）のコース	721人	第一志望として受験する	142人	入学する	125人
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	16人
								第二志望として受験する	154人	入学する	29人
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	125人
								第三志望以降として受験する	198人	入学する	21人
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	171人

● 機械・電気課程（仮称）と関連のある学問分野（コース別含む）

課程名	入学定員	コース名	機械工学	電気通信工学
機械・電気課程	90	機械・電気コース	○	○

● 機械・電気課程（仮称）五重クロス集計後の受験・入学意向内訳

			第一志望			第二志望			第三志望以降			合計		
課程名	入学定員	コース名	受験	入学	併願入学	受験	入学	併願入学	受験	入学	併願入学	受験	入学	併願入学
機械・電気課程	90	機械・電気コース	142	125	16	154	29	125	198	21	171	494	175	312
		合計	142	125	16	154	29	125	198	21	171	494	175	312

※併願入学＝志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する

（３）建築・環境課程（仮称）

高校卒業後の進路に「大学」、その上で志望する大学の設置者に「私立」、さらには芝浦工業大学が設置構想中のシステム理工学部 課程制 建築・環境課程（仮称・以下同課程）と関連のある学問分野（いずれかまたは複数）に興味を示した高校生は3,431人であった。そのうち芝浦工業大学 システム理工学部 課程制（仮称）において最も興味があるのは同課程のいずれかのコースとしたのは988人であった。

その上で同課程を「第一志望として受験する」としたのは190人、「第二志望として受験する」178人、「第三志望以降として受験する」278人と合計すると646人（予定する入学定員120名の5.4倍）であった。同課程に対し「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は163人で入学定員を上回った。別途、「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は合計で381人おり、同課程の入学定員充足については十分な見通しがあると判断できる。

進路		設置者		興味のある学問分野		芝浦工業大学 システム理工学部 課程制で興味のある課程・コース		受験意向		合格した場合の入学意向	
大学	14,144人	私立	10,371人	次頁・「建築・環境課程（仮称）と関連のある学問分野」のいずれかまたは複数に興味	3,431人	建築・環境課程（仮称）のいずれかのコース	988人	第一志望として受験する	190人	入学する	163人
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	23人
								第二志望として受験する	178人	入学する	46人
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	131人
								第三志望以降として受験する	278人	入学する	22人
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	250人

● 建築・環境課程（仮称）と関連のある学問分野（コース別含む）

課程名	入学定員	コース名	機械工学	土木建築工学	工学その他	物理学	デザイン
建築・環境課程	120	建築コース	○	○	○	○	○
		環境・都市コース	○	○	○		○

● 建築・環境課程（仮称）五重クロス集計後の受験・入学意向内訳

			第一志望			第二志望			第三志望以降			合計		
課程名	入学定員	コース名	受験	入学	併願入学	受験	入学	併願入学	受験	入学	併願入学	受験	入学	併願入学
建築・環境課程	120	建築コース	121	101	16	109	33	76	180	12	163	410	146	255
		環境・都市コース	69	62	7	69	13	55	98	10	87	236	85	149
		合計	190	163	23	178	46	131	278	22	250	646	231	404

※併願入学＝志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する

（４）生命・健康科学課程（仮称）

高校卒業後の進路に「大学」、その上で志望する大学の設置者に「私立」、さらには芝浦工業大学が設置構想中のシステム理工学部 課程制 生命・健康科学課程（仮称・以下同課程）と関連のある学問分野（いずれかまたは複数）に興味を示した高校生は4,071人であった。そのうち芝浦工業大学 システム理工学部 課程制（仮称）において最も興味があるのは同課程のいずれかのコースとしたのは721人であった。

その上で同課程を「第一志望として受験する」としたのは121人、「第二志望として受験する」124人、「第三志望以降として受験する」344人と合計すると589人（予定する入学定員180名の3.3倍）であった。同課程に対し「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は104人であったが、「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は合計で392人おり、併願者を含めると同課程の入学定員充足については十分な見通しがあると判断できる。

進路		設置者		興味のある学問分野		芝浦工業大学 システム理工学部 課程制で興味のある学科		受験意向		合格した場合の入学意向	
大学	14,144人	私立	10,371人	次頁・「生命・健康科学課程（仮称）と関連のある学問分野」のいずれかまたは複数に興味	4,071人	生命・健康科学課程（仮称）のいずれかコース	1,860人	第一志望として受験する	121人	入学する	104人
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	13人
								第二志望として受験する	124人	入学する	28人
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	94人
								第三志望以降として受験する	344人	入学する	19人
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	298人

● 生命・健康科学課程（仮称）と関連のある学問分野（コース別含む）

課程名	入学定員	コース名	機械工学	応用化学	生物	化学	医学	保健その他	体育学
生命・健康科学課程	180	生命科学コース		○	○	○			
		医工学コース	○		○		○	○	
		スポーツ健康工学コース			○			○	○

● 生命・健康科学課程（仮称）五重クロス集計後の受験・入学意向内訳

			第一志望			第二志望			第三志望以降			合計		
課程名	入学定員	コース名	受験	入学	併願入学	受験	入学	併願入学	受験	入学	併願入学	受験	入学	併願入学
生命・健康科学課程	180	生命科学コース	63	58	4	78	20	57	155	11	136	296	89	197
		医工学コース	30	24	5	26	7	18	86	5	72	142	36	95
		スポーツ健康工学コース	28	22	4	20	1	19	103	3	90	151	26	113
		合計	121	104	13	124	28	94	344	19	298	589	151	405

※併願入学＝志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する

（５）数理科学課程（仮称）

高校卒業後の進路に「大学」、その上で志望する大学の設置者に「私立」、さらには芝浦工業大学が設置構想中のシステム理工学部 課程制 数理科学課程（仮称・以下同課程）と関連のある学問分野（いずれかまたは複数）に興味を示した高校生は2,141人であった。そのうち芝浦工業大学 システム理工学部 課程制（仮称）において最も興味があるのは同課程のコースとしたのは455人であった。

その上で同課程を「第一志望として受験する」としたのは43人、「第二志望として受験する」37人、「第三志望以降として受験する」121人と合計すると201人（予定する入学定員75名の2.7倍）であった。同課程に対し「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は40人であったが、「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は合計で139人おり、併願者を含めると同課程の入学定員充足については十分な見通しがあると判断できる。

進路		設置者		興味のある学問分野		芝浦工業大学 システム理工学部 課程制で興味のある学科		受験意向		合格した場合の入学意向	
大学	14,144人	私立	10,371人	次頁・「数理科学課程（仮称）と関連のある学問分野」のいずれかまたは複数に興味	2,141人	数理科学課程（仮称）のコース	455人	第一志望として受験する	43人	入学する	40人
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	2人
								第二志望として受験する	37人	入学する	8人
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	28人
								第三志望以降として受験する	121人	入学する	2人
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	111人

● 数理科学課程（仮称）と関連のある学問分野（コース別含む）

課程名	入学定員	コース名	数学	物理学	化学	中・高校課程
数理科学課程	75	数理科学コース	○	○	○	○

● 数理科学課程（仮称）五重クロス集計後の受験・入学意向内訳

			第一志望			第二志望			第三志望以降			合計		
課程名	入学定員	コース名	受験	入学	併願入学	受験	入学	併願入学	受験	入学	併願入学	受験	入学	併願入学
数理科学課程	75	数理科学コース	43	40	2	37	8	28	121	2	111	201	50	141
		合計	43	40	2	37	8	28	121	2	111	201	50	141

※併願入学＝志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する

芝浦工業大学「システム理工学部　課程制（設置構想中）」
設置構想についての高校生アンケート調査（対象：高校２年生の皆さん）

芝浦工業大学は、2026年4月にシステム理工学部課程制の導入を構想中です。本学はこのアンケート調査を通して、皆さんからのご回答を参考に、計画の充実を図っていきたいと考えています。回答結果は、芝浦工業大学の新課程等の設置構想に係る統計資料としてのみ活用します。アンケート調査へのご協力をお願いいたします。

※本アンケート調査への回答は１回のみとなります。本アンケート調査と同一内容の芝浦工業大学が実施したアンケートに過去に回答した方は回答できません。
※本アンケート調査は芝浦工業大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。
※本アンケート調査および学部概要資料に記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

記入要領	1. 回答は**所定の欄を塗りつぶしてください。** 2. 回答用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください。 3. 記入は必ず**鉛筆及びシャープペンシル**で濃く書いてください。	記入例	良い例 ● 悪い例 ☑ ◉ ⬭ ○ ●

◆最初にあなた自身についてお聞きします。

問１　あなたの現在の居住地をお答えください。（あてはまるもの1つ）

① 埼玉県　② 東京都　③ 神奈川県　④ 千葉県　⑤ 茨城県　⑥ 栃木県　⑦ 群馬県
⑧ 長野県　⑨ 山梨県　⑩ 静岡県　⑪ その他

問２　あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つ）

① 男性　② 女性　③ 答えたくない

◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

問３　卒業後の進路をどのように考えていますか。（あてはまるものすべて）

① 大学　② 短期大学　③ 専門職大学　④ 専門職短期大学
⑤ 専門学校　⑥ 就職　⑦ その他

▶問４　問３で①～④を選択した方に質問です。（※問3で①～④を選択しなかった方は問５に進んでください）
志望する大学等の設置者の希望を選択してください。（あてはまるものすべて）

① 私立　② 国立　③ 公立

問５　高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。
（あてはまるものすべて）※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。

工　学	① 機械工学	② 電気通信工学	③ 土木建築工学	④ 応用化学	⑤ 経営工学	⑥ 工学その他
理　学	⑦ 数学	⑧ 物理学	⑨ 生物	⑩ 化学	⑪ 地学	⑫ 理学その他
人文科学	⑬ 文学	⑭ 史学	⑮ 哲学	⑯ 心理学	⑰ 人文科学その他	
社会科学	⑱ 法学･政治学	⑲ 商学･経済学	⑳ 社会学	㉑ 社会科学その他		
農　学	㉒ 農学	㉓ 農芸化学	㉔ 農業工学	㉕ 農業経済学	㉖ 水産学	㉗ 農学その他
保　健	㉘ 医学	㉙ 歯学	㉚ 薬学	㉛ 看護学	㉜ 保健その他	
教　育	㉝ 教育学	㉞ 小学校課程	㉟ 中･高校課程	㊱ 体育学	㊲ 教育その他	
芸　術	㊳ 美術	㊴ デザイン	㊵ 音楽	㊶ 芸術その他		
商　船	㊷ 商船学					
家　政	㊸ 家政学	㊹ 食物学	㊺ 被服学	㊻ 住居学	㊼ 児童学	㊽ 家政その他
その他	㊾ 教養学	㊿ 総合科学	(51) 国際学	(52) 人間科学	(53) その他	

→裏面に続く

以降は別添の芝浦工業大学「システム理工学部　課程制(設置構想中)」の概要資料および、以下の課程別併願大学例を見てお答えください。

◆課程別併願大学例

課程名	情報課程（仮称）			機械・電気課程（仮称）		
併願が想定される大学の学部・学科名	東京電機大学	システムデザイン工学部	情報システム工学科	法政大学	理工学部	機械工学科
	東洋大学	理工学部	電気電子情報工学科	東京電機大学	未来科学部	ロボット・メカトロニクス学科
	東京理科大学	創域理工学部	電気電子情報工学科	東洋大学	理工学部	機械工学科
	明治大学	理工学部	情報科学科	中央大学	理工学部	精密機械工学科
	中央大学	理工学部	情報工学科	明治大学	理工学部	機械工学科

課程名	建築・環境課程（仮称）			数理科学課程（仮称）		
併願が想定される大学の学部・学科名	法政大学	デザイン工学部	建築学科	中央大学	理工学部	数学科
	明治大学	理工学部	建築学科	東京理科大学	創域理工学部	数理科学科
	中央大学	理工学部	都市環境学科	明治大学	理工学部	数学科
	東洋大学	理工学部	都市環境デザイン学科	立教大学	理学部	数学科
	東京理科大学	創域理工学部	社会基盤工学科	東京理科大学	理学部第一部	数学科

課程名	生命・健康科学課程（仮称）		
併願が想定される大学の学部・学科名	法政大学	生命科学部	生命機能学科
	東京理科大学	創域理工学部	生命生物科学科
	東京理科大学	先進工学部	機能デザイン工学科
	東京都市大学	理工学部	医用工学科
	立教大学	スポーツウエルネス学部	スポーツウエルネス学科
	東洋大学	健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科

問６　芝浦工業大学「システム理工学部」の2026年度の学科制から課程制への移行に伴い設置構想中の課程のコースのうち、あなたが興味のあるものをお答えください。次より１つ選択してください。※以下の課程･コース名称はいずれも仮称です。

① 情報課程　IoTコース
② 情報課程　ソフトウェアコース
③ 情報課程　メディアコース
④ 情報課程　データサイエンスコース
⑤ 機械･電気課程　機械･電気コース
⑥ 建築･環境課程　建築コース
⑦ 建築･環境課程　環境･都市コース
⑧ 生命･健康科学課程　生命科学コース
⑨ 生命･健康科学課程　医工学コース
⑩ 生命･健康科学課程　スポーツ健康工学コース
⑪ 数理科学課程　数理科学コース

問７　あなたは問6で興味があるとされた課程のコースを受験したいと思いますか。次より一つ選択してください。

① 第一志望として受験する　② 第二志望として受験する　③ 第三志望以降として受験する　④ 受験しない

▶問８　上記、問７で①～③を選択した方に質問です。
問７で興味があるとされた課程のコースを受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より一つ選択してください。

① 入学する　② 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する　③ 入学しない

問９　芝浦工業大学システム理工学部は、一つの専門性だけではなく、分野を超えた学びを飛躍させます。以下に示す能力から、あなたが特に身に付けたいと思うものをお答えください。（5つまで複数選択可）

① 幅広い視野と教養を身につけ、それを活用（応用）する力
② 人や物事を全体的（総合的）に理解する力
③ いろいろな分野を結び付けて問題を解決する力
④ 人の役に立つアイデアを考え出す力
⑤ 人の役に立つアイデアを実際のかたちにする力
⑥ アイデアを社会で実現するための行動力
⑦ 特定の理工学分野で高度な技術を使う力
⑧ デジタル技術を自由に使いこなす力
⑨ 誰にでも分かりやすい文章を書く力
⑩ 異なる文化や考え方を持つ人達とチームをつくる力
⑪ 他の人が納得できるようにプレゼンテーションする力
⑫ 英語で技術文書を理解し、自分でも書ける力
⑬ 英語で技術的なコミュニケーションをする力
⑭ 社会の変化に対応して学び続ける力

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

迷うから、
遠くに
行けるんだ。

どんな発明も どんな発見も、
この世界にぱっと生まれたわけではありません。
たくさんの技術者 研究者たちが悩んで迷って、
行ったり来たり グルグルしながら
ようやく だれも見たことがない景色にたどりついたのです。
迷うのは、前に進んでいるから。
不安なのは、挑戦しているから。
2026年、システム理工学部は課程制に移行して、
一つの専門性だけではない、分野を越えた学びをさらに飛躍させます。
地域社会や国際社会での密度の濃い経験をさらに進化させます。
多種多様な視点が、あなたを迷わせるかもしれません。
でも、今日わからないことは、明日わかるようになればいい。
上手くいかなかったら、みんなで手を取り合えばいい。
答えなんか、一瞬で変わってしまう時代だから。
この経験が、あなたを はるか遠くに連れて行ってくれるから。
どこよりも、学びがいのある大学へ。
それがシステム理工学部の、宣言です。

2026年、課程制へ
芝浦工業大学 システム理工学部

※構想中の内容は未定であり、変更の可能性があります。

芝浦工業大學
SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY
Established 1927



分野を越えて、未来を創る

複雑化する課題

現代社会は、先行きが不透明な時代といわれています。情報技術の進展によって社会や産業の構造が激しく変化しているのです。次々と社会や地域に巻き起こるさまざまな課題は、多様化、複雑化し、その解決のためには、複数の分野にまたがる専門知識が必要なのです。

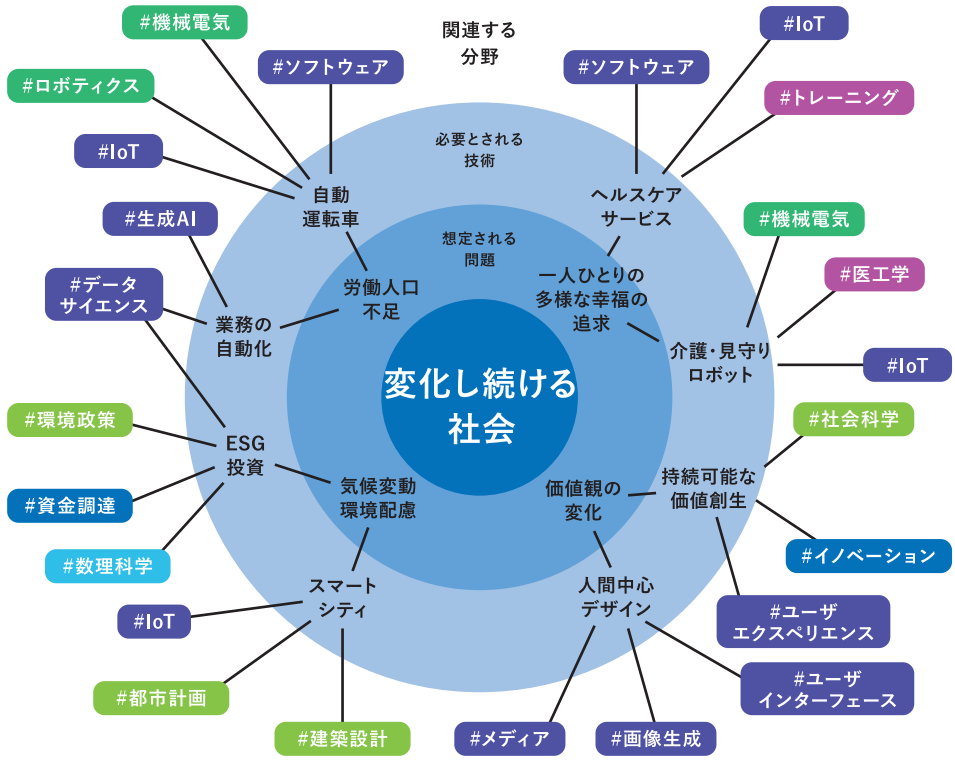
融合する分野

例えばお気に入りのスマートフォン。精密機械・カメラ（機械）、充電池（電気）、センサー（IoT）、アプリ（情報）、手触り（人間）…ひと・もの・ことに関わるあらゆる専門分野が日々進化し、融合し、バージョンアップを繰り返しています。

システム思考とイノベーション

現代社会が求める新たなテーマを、ひと・もの・ことが関係し合うシステムとして捉え（システム思考）、複数の理工学分野を総合して問題解決する力（システム工学）が求められています。システム理工学部は、システム思考からイノベーション（技術革新）を導き出すグローバル理工系人材を育成します。

例えば、「Society5.0」の社会で想定される分野融合とは？



Society5.0は、「我が国が目指すべき未来社会の姿であり、…サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」として、内閣府が提唱した用語です。

分野横断型の学びを促進する課程制

現5学科を5課程11コースへ

現学科	課程（仮称）／入学定員（予定）	コース（仮称）	養成する人材像（抜粋）	モジュール例／目指せる将来像（一例）	資格	学位
電子情報システム学科 115名	情報課程 240名	IoTコース	IoT技術の実践的能力をもち、多様な人々と協働しながら情報社会の基盤を構築できる人材	IoT × 環境・都市 × 留学 スマートシティの情報インフラを構築できるグローバルなIoTエンジニア	●高等学校教諭一種免許状（情報） ●CAPM※	学士（工学）
		ソフトウェアコース	ソフトウェア工学に精通し、プログラム開発を通して、社会的ニーズに適切に対応したソフトウェアを開発できる人材	ソフトウェア × 機械・電気 自動運転や車両間ネットワークを実現する自動車ソフトウェア開発エンジニア		
		メディアコース	画像や音響等のメディア情報を活用し、社会的ニーズに適切に対応したシステムを開発できる人材	メディア × スポーツ健康工学 スポーツ科学、健康科学に詳しいVR（Virtual Reality）エンジニア		
		データサイエンスコース	多様なデータを収集・分析・予測し、体験を通じて対象の理解を深め、エビデンスを基に解決法を考え提案できる人材	データサイエンス × 環境・都市 × 留学 データサイエンス、シミュレーションの技術を活用してビジネスを立案できる起業家		
機械制御システム学科 90名	機械・電気課程 90名	機械・電気コース	未来の機械・電気システムに関する社会的ニーズに対して、システム思考に基づく創造的な発想から問題解決できる人材	機械・電気 × メディア × 留学 機械・電気をネットワークでつなぐことができるグローバルエンジニア	●中学校教諭一種免許状（技術） ●高等学校教諭一種免許状（工業） ●CAPM※	学士（工学）
環境システム学科 90名	建築・環境課程 120名	建築コース	国内外を問わず多様な人々と協働しながら、新たな発想でこれからの社会に必要とされる空間（建築）を創出できる人材	建築 × データサイエンス 顧客ニーズの経済背景を分析し、デジタルツールを駆使して最適な建築計画を構想できる建築設計者	●高等学校教諭一種免許状（情報） ●高等学校教諭一種免許状（工業） ●一級・二級・木造 建築士 ●CAPM※	学士（工学）
		環境・都市コース	持続可能なまちづくりに必要な環境システム、対策、政策、ビジネス等を提案し、社会実装に寄与できる人材	環境・都市 × 留学 国内外のサステナビリティ経営やESG投資に貢献する施策を提言できる国際開発機関職員		
生命科学科 115名	生命・健康科学課程 180名	生命科学コース	多様性を尊重し、生命の仕組みの理解に必要な生命科学の知識と思考力を身につけ、健康寿命の延伸に貢献できる人材	生命科学 × データサイエンス × 留学 生命科学を理解しプログラミングができる国際的に活躍できるバイオインフォマティシャン	●中学校・高等学校教諭一種免許状（理科） ●高等学校教諭一種免許状（工業） ●CAPM※	学士（生命科学）
		医工学コース	医工学の幅広い専門知識・技術・論理的思考力を身につけ、生体機能を回復・補助する医療・福祉に貢献できる人材	医工学 × ソフトウェア 福祉・医療現場をはじめとした様々な場面での貢献が期待されるアプリ開発者		
		スポーツ健康工学コース	ヒトの心身機能を発展・拡張させるための手法を創出し活用することで、人々の健康増進に貢献できる人材	スポーツ健康工学 × 医工学 使いやすく効果的なトレーニング・リハビリテーション機器を開発できるエンジニア		
数理科学科 75名	数理科学課程 75名	数理科学コース	数理科学の専門知識とシミュレーション技術等の応用力をもち、科学・教育・産業の幅広い分野で諸問題を論理的に解決できる人材	数理科学 × ソフトウェア × 教職 プログラミングもできる数学教員や数学に強い情報教員	●中学校・高等学校教諭一種免許状（数学） ●高等学校教諭一種免許状（情報） ●CAPM※	学士（数理科学）

※Certified Associate in Project Management：プロジェクトマネジメントの国際資格。

学修の起点づくり「学際科目」

基礎教養

学際科目
分野を越えた専門を**つなぐ**パーツ

- キャリアデザイン
- システム工学
- SDGs
- アントレプレナーシップ

パーツを使って、自身の学びをデザインする

専門科目

社会課題を解決できるリーダーへ

「学際」とは、複数の学問領域にまたがることを意味します。「学際科目」は、道を見つけ出すための起点をつくる科目群です。「キャリアデザイン」では、社会のいかなるステージで活躍したいのかを自ら描き出し、「SDGs」では、自らの学びが社会のいかなる課題と結びつくのかを知ります。「システム工学」では、分野を越えて複数の専門領域をつなぐための知識・技能・方法を学び、「アントレプレナーシップ」では、社会の課題を解決するアイデアを実現するための行動力を養います。自分と社会をつなぐ学修計画を立て、専門科目を広げる知識と方法を身につけ、自身の学びをアップデートしていく起点をつくります。

「学際科目」で分野横断型の学びを支え促進する

	私の基礎をつくる		私の専門を探す	私の専門を深める	私の専門を究める	
	1年次	2年次	3年次	4年次	修士課程	博士課程
基礎教養	全ての学修・専門分野を支える基礎力 理数・情報・人文社会科学・英語					
学際科目	学ぶ動機・意欲を形成する学修計画 ・SDGs（社会起点） ・キャリアデザイン（自分起点）					
	社会貢献のための基礎知識・技能・方法 ・システム工学（包括的な課題解決手法）		・アントレプレナーシップ（主体的な態度・行動力）		分野横断型の学び（学際科目）によってあらゆる分野に通じる問題解決方法を学びます	
専門科目	>>> 主専攻型：私はこの道を究める!!					
	主専攻モジュール		総合研究1・2	総合研究3・4	社会課題を解決できるリーダーへ	
	>>> 副専攻型：私は2つのプロで幅を広げる!!					
	主専攻モジュール		総合研究1・2	総合研究3・4		
	副専攻モジュール					

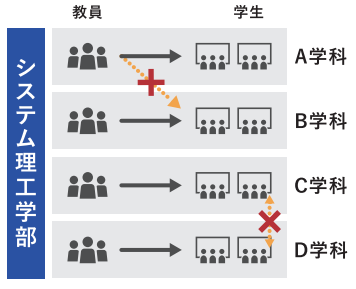
システム思考に基づく分野横断型の学び

芝浦工業大学 システム理工学部は、2026年4月、時代の大きな転換期を見据え、システム思考に基づく
分野横断型の教育理念をさらに進化、飛躍させます。学科制から、社会をアップデートするための学び方『課程制』に変わります。
分野を越えた自由な発想から問題解決できる力を育み、社会、そして自分の「あるべき姿」を見定めます。

『課程制』と学科制の違い

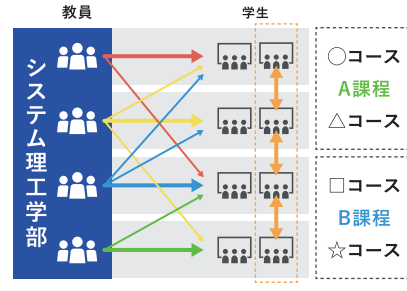
学科制

特定の専門領域に特化した教育プログラム・体制です。学生・教員は学科に所属し、基本的には学科の科目群から履修し単位を取得します。



課程制

複数の専門領域を横断して学ぶことができる教育プログラム・体制です。学生はコースに所属し、教員は学部に所属するため、コースにまたがって授業を担当します。複合的な社会的ニーズに応じて、複数の分野にわたって科目を選択し、単位を取得することができるのが特徴です。



『課程制』を支える「学際科目」と「モジュール制」

システム理工学部の『課程制』は、分野横断型の学びを促進するための「学際科目」と「モジュール制」を設けています。

「○○できる」を意識する「モジュール制」

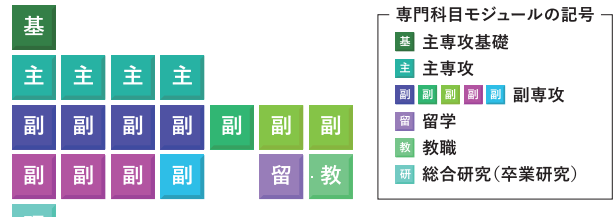
システム理工学部は5課程11コースで編成され、自らの専門分野の中心がコースです。各コースに設けられた科目は、「モジュール」と呼ばれる科目群で分類されます。モジュールとは、ある仕事をうまく進めるための能力「○○できる」を修得する専門科目のまとまりです。自身が所属するコース（主専攻）のみから履修し完成させる専門性の強い「主専攻型」、自コースと他コース（副専攻）にわたって履修し完成させる分野横断性のある「副専攻型」、あるいは留学を前提にしたモジュールを組み込んだ「主専攻（国際※）型」、教職課程を組み込んだ「副専攻（教職）型」など、自らの目的、好奇心に合った「○○できる」モジュールを自由に組み合わせて学修計画を立てることができます。モジュール制によって、従来の学科制では難しかった個性ある自由度の高い学びを実現します。

※国際プログラム：システム理工学部は、グローバル社会で活躍する理工系人材の育成に力を入れています。英語による科目履修、海外協定校への留学（半期以上）、英語による総合研究（卒業研究）によって学位を修める教育プログラムで、留学前教育も充実しています。

基礎教養 土台　専門を修得するための土台パーツ

学際科目 つなぐ　分野を越えた専門をつなぐパーツ

専門科目



目的に応じて自由に選べるパーツ

組み合わせは自由自在

	モジュール例	組み合わせ例／目指せる将来像（一例）	
主専攻型	基礎教養 ＋ 学際 ＋ 専門（基 主 主 主 主 研）／主専攻	建築コースモジュール	健康・快適・安全、省エネ・資源の建築環境を計画できる建築設計・技術者（一級建築士）
主専攻（国際）型	基礎教養 ＋ 学際 ＋ 専門（基 主 主 主 留 研）／主専攻	機械・電気コースモジュール × 留学モジュール	高知能ロボットのプロダクト化など国際的に活躍できるエンジニア
副専攻型	基礎教養 ＋ 学際 ＋ 専門（基 主 主 主 副 研）／主専攻／副専攻 ＋ 他コースのモジュール（副 副 副 副）	数理科学コースモジュール × スポーツ健康工学コースモジュール	グローバルな視点からスポーツを数理的に解析できるスポーツアナリスト
副専攻（教職）型	基礎教養 ＋ 学際 ＋ 専門（基 主 主 教 教 研）／主専攻／副専攻	データサイエンスコースモジュール × 教職モジュール	シミュレーションを用いて未来を予期・予測し、社会課題を解決できる高校教員（情報）

※記載の設置計画や課程・コース名称は予定であり、設置構想中です。内容は変更となる可能性があります。

設置の理念

地球規模で複雑化、多様化する現代社会において、諸問題を総合的、学際的に解決できる力が必要とされています。システム理工学部は、複数の学問体系を横断し関連付けるシステム思考とシステム工学の知識と手法を生かし、新たな時代の要請に応え、地域と人類社会の発展に寄与する教育研究を行います。幅広い教養と国際性を礎にした分野横断型の教育を通して、体系的な理工学の知識や自ら行動し多様な人々と共創できる能力を身につけたグローバル理工系人材を養成します。

アドミッション・ポリシー（求める人物像）

本学部への入学を志望する者は、本学の建学の精神と以下に挙げる「求める人物像」、および教育方針、課程のカリキュラム、教育・研究の内容をよく理解して出願することを求めます。

システム理工学部が求める人物像

(1) 身の回りのさまざまなひと・こと・ものの仕組みや成り立ちについて深く考え、課題を解決することに興味や関心を持つ者。

(2) 総合的、学際的に課題を解決することで、新たな価値を創生し、社会に貢献する意志を持つ者。

(3) 他分野の学生とチームを組んで課題に取り組む等、システム理工学部における分野の枠を越えたプロジェクト演習に興味を持ち、主体的かつ積極的に行動することに強い意欲を持つ者。

システム理工学部の「養成する人材像」

持続可能な社会の実現に貢献するために、科学技術が社会や自然に及ぼす利点と欠点を見据えて、ひと・もの・ことが関係する現象をシステムと捉え（システム思考）、総合的、学際的に問題解決できる知識やスキルを修得し、世界に貢献する職業人としての倫理観をもつグローバル理工系人材を養成します。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）抜粋

システム理工学部は、持続可能な社会の実現に貢献するために、科学技術が社会や自然に及ぼす利点と欠点を見据えて、ひと・もの・ことが関係する現象をシステムと捉え（システム思考）、総合的、学際的に問題解決できる知識やスキルを修得し、世界に貢献する職業人としての倫理観を持ち、卒業要件を満たした者に学位を授与します。

学修・教育到達目標（抜粋）

以下に示す能力と行動特性を有した世界に貢献するグローバル理工系人材を養成するために、学修・教育到達目標を定めます。

◆ **総合的、学際的な知識やスキル**

- 目的の達成へ向けて取り組むべき具体的な課題を設定し、対象とするひと・もの・ことが関係する現象をシステムとして捉えることができる。（システム思考）
- システム思考を用いて、包括的な解決策を導き出すことができる。（システム工学）
- 社会の具体的な課題を解決するアイデアをかたちにし、社会実装に向けて行動できる。（アントレプレナーシップ）
- 新たな課題の解決に必要な知識やスキルを認識し、自らの可能性を広げる学習を継続できる。（生涯学習能力）

◆ **専門知識を応用できる能力**

- 主軸となる分野の専門知識を修得し、問題解決に応用できる。
- 主軸となる分野の専門知識を他分野と関連付ける分野横断型の知識と行動力を修得し、社会で活用できる。

設置概要

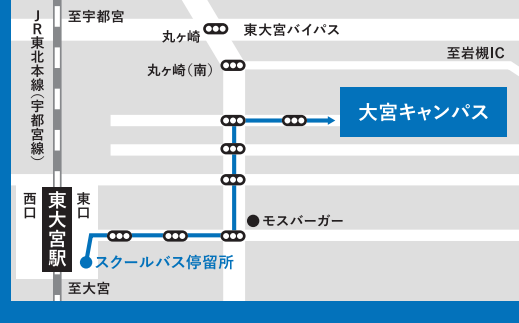
◆ **修業年限：4年**
◆ **開設時期：2026年4月（予定）**
◆ **初年度納付金：1,795,020円** ※2024年度実績

芝浦工業大学 システム理工学部

〒337-8570
埼玉県さいたま市見沼区深作307
TEL：03-5859-7100（入試課）
URL：https://newsystems2026.shibaura-it.ac.jp/

交通アクセス

JR宇都宮線（東北本線）「東大宮駅」より
スクールバス5分



100th
芝浦工業大學
100th ANNIVERSARY
Established 1927

理工学の可能性を追求し続ける芝浦工業大学は、100周年は通過点と捉えています。「常に前進する文化の醸成」をモットーに教員と職員と学生が協働で前進していくために、上の周年ロゴマークとスローガンを設定いたしました。

芝浦工業大学

システム理工学部 課程制（仮称）

設置構想についての人材需要アンケート調査

報告書

令和７年１月
株式会社高等教育総合研究所

目次

1.　人材需要アンケート調査 概要..... 2

2.　人材需要アンケート調査 集計結果..... 3

3.　人材需要アンケート調査 結果の要点..... 12

人材需要アンケート調査用紙..... 14

「システム理工学部 課程制（仮称）」リーフレット..... 16

1.人材需要アンケート調査 概要

調査目的	令和7年（2025年）度に芝浦工業大学が設置構想中の「システム理工学部 課程制（仮称） 」における卒業後の採用・就職（人材需要）の見込みを測定することを目的とする。
調査対象	［調査対象］ ・芝浦工業大学システム理工学部卒業生の採用実績がある地方公共団体や企業のうち 前述の学部学科が育成するそれぞれの人材像に適した業種等 ・養成するそれぞれの人材の就職先として適合する業種の新規企業 ［業種］ 製造業、IT関連業を中心とした理工学系技能を要する業種 ［調査地域］ 東京および関東近郊を主とした企業本社所在地 ［依頼件数］ 3,167件
調査内容	・回答対象先の基本情報（業種・所在地・従業員／職員規模） ・芝浦工業大学「システム理工学部 課程制（仮称）」卒業生の人材ニーズ ・芝浦工業大学「システム理工学部 課程制（仮称）」卒業生の採用意向
調査時期	令和6年11月～12月
調査方法	調査対象事業所に対しアンケートを郵送し依頼することにより実施 （紙方式・web方式での回答方法を案内し、いずれかで回答を依頼）
回収件数	有効回答数556件（回収率17.6%）

2.人材需要アンケート調査 集計結果

※「構成比」（%）はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問１　貴社の本社または貴団体の本部所在地について、お答えください。

選択肢	回答数	回答割合
北海道	9	1.6%
青森県	2	0.4%
岩手県	0	0.0%
宮城県	4	0.7%
秋田県	1	0.2%
山形県	0	0.0%
福島県	2	0.4%
茨城県	2	0.4%
栃木県	5	0.9%
群馬県	3	0.5%
埼玉県	12	2.2%
千葉県	14	2.5%
東京都	258	46.4%
神奈川県	42	7.6%
新潟県	11	2.0%
富山県	6	1.1%
石川県	5	0.9%
福井県	2	0.4%
山梨県	1	0.2%
長野県	10	1.8%
岐阜県	5	0.9%
静岡県	13	2.3%
愛知県	39	7.0%
三重県	3	0.5%

選択肢	回答数	回答割合
滋賀県	3	0.5%
京都府	9	1.6%
大阪府	49	8.8%
兵庫県	9	1.6%
奈良県	0	0.0%
和歌山県	1	0.2%
鳥取県	1	0.2%
島根県	0	0.0%
岡山県	2	0.4%
広島県	6	1.1%
山口県	2	0.4%
徳島県	0	0.0%
香川県	3	0.5%
愛媛県	2	0.4%
高知県	0	0.0%
福岡県	10	1.8%
佐賀県	0	0.0%
長崎県	2	0.4%
熊本県	3	0.5%
大分県	1	0.2%
宮崎県	0	0.0%
鹿児島県	2	0.4%
沖縄県	2	0.4%
無回答	0	0.0%
合計	556	100.0%

問２　貴社・貴団体の業種（主な事業内容）として、最もあてはまるものをお選びください。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答数	回答割合
農・林・漁・鉱業	0	0.0%
建設業	92	16.5%
電気・ガス・熱供給・水道業	8	1.4%
製造業	165	29.7%
通信業	8	1.4%
IT関連業	131	23.6%
放送、新聞、出版業	0	0.0%
運輸業、郵便業	1	0.2%
金融業（銀行・信託・証券・貸金）	9	1.6%
保険業	4	0.7%
学術研究、専門・技術サービス	6	1.1%
卸売業、小売業	99	17.8%
不動産業、物品賃貸業	5	0.9%
旅行業	0	0.0%
宿泊業、飲食サービス業	6	1.1%
教育・学習支援業	2	0.4%
生活関連サービス業、娯楽業	0	0.0%
医療	0	0.0%
福祉	1	0.2%
その他サービス業	10	1.8%
国家公務	1	0.2%
地方公務	0	0.0%
非営利団体	1	0.2%
その他	6	1.1%
無回答	1	0.2%
合計	556	100.0%

問３　貴社・貴団体の従業員・職員規模として、最もあてはまるものをお選びください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
20名未満	0	0.0%
20名～100名未満	32	5.8%
100名～300名未満	106	19.1%
300名～1,000名未満	233	41.9%
1,000名以上	185	33.3%
無回答	0	0.0%
合計	556	100.0%

問４　芝浦工業大学が設置構想中の「システム理工学部 課程制（仮称）」が養成する人材についての社会ニーズについてお答えください。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答数	回答割合
ニーズは高い	322	57.9%
ニーズはある程度高い	200	36.0%
ニーズはあまりない	10	1.8%
ニーズはない	1	0.2%
わからない	19	3.4%
無回答	4	0.7%
合計	556	100.0%

問５　芝浦工業大学が設置構想中の「システム理工学部 課程制（仮称）」が養成する人材について採用したいと思われますか。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答数	回答割合
採用したい	478	86.0%
採用しない	5	0.9%
わからない	73	13.1%
無回答	0	0.0%
合計	556	100.0%

問６　問５で「採用したい」とされた場合、単年度で採用可能な人数をお答えください。

選択肢	回答数	回答割合
1人	63	13.2%
2人	68	14.2%
3人	39	8.2%
4人	5	1.0%
5人以上	73	15.3%
人数は未定だが、最低1人	227	47.5%
無回答	3	0.6%
合計	478	100.0%

※芝浦工業大学が設置構想中の「システム理工学部 課程制（仮称）」について期待される点、ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

番号	回答
1	在学中に学生自身が興味をもった授業や分野に学科関係なく受講できる点が非常に興味深く、今後のキャリアの幅を持つことができるのではないかという点に期待しました。
2	貴大学野もつノウハウを踏まえて新たな人材育成が行われることを期待します。
3	即戦力となる人材を育成していただけますようおねがいいたします。
4	分野を超えて、魅力ある学生が育つ環境になるよう期待します。
5	施工機械の自動化、システム化のところに大きくニーズがあると考えています。
6	弊社は建設業であることから、即戦力という観点から考えると一級、二級の建築施工管理技士の資格を目材していただければと思います。
7	当社のニーズに一致しています。スキル知識に加え、コミュニケーション力も身につけいただきたいです。
8	プログラミング言語やネットワーク技術の知識のみならず、モジュールなどを活用して、様々な知識を身につけていただける人材をお会いしたいと考えています。
9	弊社の主な事業は建物のリニューアル工事です。ニーズを捉え、現在の経済、環境などを踏まえて、提案する力が必要不可欠です。そういった人材の教育の御校に期待いたします。
10	大学進学後でも日々の気づきによって自分の進路を改めたい日とも一定数以上いると思います。はっと思い立ったときのエネルギーを受け止めることが出ている課程制はモチベーションを維持し、成長を促すことができると思います。
11	コースがごとに得られる受験資格の有無を明記いただきたい
12	指示待ち人間では困ります。チャレンジして学び続ける方を育てていただきたいです。
13	自身の成長を選択するできることに期待しています。
14	マーケティング・プログラミングや業績管理、予測などの分野での活躍。ただし販売、製造の業務経験も必須なため、スペシャリストのみでは難しいです。
15	現時点ではとくにございませんが、課程制への移行に伴い、様々な専門分野で幅広い知識、考え方を身につけた人材と出会えることを期待したいト思います。
16	複数野専門領域の学べるトのことで学生たちの視野が広がることと思います。
17	IT業界にかかわらず、ほかの業界でもIT人材のニーズが高まる中、課程制で幅広く知識を身につけルことは社会のニーズとマッチした人材が育つと思う
18	複数野分野の教育ですので、バランスがとれた学生育成につながると期待します。
19	建築設備系に強い人材の輩出
20	広くて浅くても色々なことができる人材。専門職ではなく、総合職として活躍できる人を輩出すること
21	電機機械メーカーですが、ソフト、メか、エレキそれぞれ連動していいものが作られます、その観点で期待したいト思います。
22	施工管理を志望する学生を増やしてほしい
23	現状はもちろん、未来を予見したシステムを構築できる技術力と発想力
24	弊社は機械、電気系の技術者、建築系の2つの事業があるためニーズはとても高い
25	複数の専門領域を横断して学ぶことができる教育プログラム・体制ということなので優秀な人材の育成に期待しています。

26	いろんなことに興味の持てるプログラムで学生の学習意欲を高める
27	様々な幅広い知識のある応用力のある人材の育成を期待しています。
28	環境を学べることから当社へのエントリーやイベント参加者が増えることを期待
29	建築コース卒　積極的に採用させていただきたいです。よろしくお願いいたします。リフォームについての授業を期待します。
30	1つの専門性だけではなく、様々な分野を学ぶことができる点は就職後も問題解決や新しいアイデアの創造等で活躍できなそうだと感じます。そういった方は是非採用したいです。
31	制御や組み込みの経験など
32	特になし。
33	専門分野１つを深めるだけでなく分野を横断して学びを習得することで視野が広くより豊かな発想ができる人材育成につながると大変期待しております。 貴校学生様にお会いできることがとても楽しみです。
34	是非、御校主催の合同企業説明会に参加させていただきたいです。
35	色々な分野に対応しているので、それなりの思想がある学生が いるかと思うので、期待したい。
36	多方面の知識を習得できる点で非常に期待ができる。幹部候補生として積極的に採用したい。
37	一般教養、時代に即した価値観・考え方がない技術者は、ＡＩに対抗できない時代が近づいている気がしています。技術力だけではく、これからの時代に求められている力を身につけた人材の輩出に期待しております。
38	専門的な知識だけでなく、分野を超えた知識を身に付けられる点がたいへん興味深く感じました。
39	2023,2024入社はご縁がありませんでしたが、複数の生命科学科卒業生に活躍いただいております。弊社は医療機器メーカーですが、より広い分野の知見をもつ学生に興味を持ってもらえれば大変嬉しいです。
40	【期待点】ものごとに多様な選択肢が存在するなかで、ファクトやエビデンスを通して適切な意思決定を行う力が身につくこと。 システムに対しての理解とともに、AI活用の知見等を深めるカリキュラムがあると、なお良いと思います。
41	形だけを作れば良いのではなく、継続が重要と考えます。中途半端どっちづかずのがくせいよりうｊ
42	日本人の学生を育成してください。補助金をねらうために留学生を入学させることを前提にしないでください。ＩＴ分野の育成は国力の育成でもあります。国家にとって大切な人財を育成することを第一目的としてください。
43	VUCAの時代だからこそ、柔軟な思考を持ち、様々な学びを得た学生のチカラが必要であると感じています。 従来の発想を越えた・越えるような環境の中で学んだ学生に非常に興味があります。
44	高齢化がますます進む社会で求められる知識とシステム思考の融合が出来る学生の排出を望んでおります
45	ご同封いただいたパンフレットを拝見し、ただ指定された勉強をこなすだけではなく、自ら主体性をもって学び、それを生かしていける力を身に着けられるようなシステムだと感じました。自分から様々なことにチャレンジし、学びを深めることができる方に出会えることを期待しております。
46	貴校卒業生が既に活躍しており、学習指導の賜物と既存の学部卒を含め期待しております。現役学生の就活具体化の際には是非とも弊社への応募を薦めて頂けると幸いですし、新たな学部設置が実施されましたら、養成人材のご紹介をお願い申し上げます。
47	ＩＴサービス分野において、要求された欲しいものを作るサービスではなく、可能性から提案し提供するサービスを創造できる人材育成
48	特にないです。
49	弊社は、完全独立系IT企業として、DX&SI事業並びにパッケージ事業を展開しております。貴学の新設される予定の学部で学ぶカリキュラムを拝見すると親和性が高く是非とも卒業生を採用したいです。

50	ハードウェア・ソフトウェア両面の知識を持つことに興味を持っていただけると大変嬉しいです。
51	機械・電気・ソフトウェア、データサイエンスなど、専門的な学びを活かし、当社でも活躍していただけることを期待します。
52	弊社東急コミュニティーは総合不動産管理業を行っております。何か商品があるということではなく、コンサルティングを行っておりますので多くの知識が提案に繋がると考えます。課程制での学びはまさに複数の分野を学ぶことができるということで、弊社でぜひ活躍いただきたいと感じました。
53	リーフレットを拝見させていただきました。今日の企業活動継続において、新しい価値を考案し、提案できる人財の育成、採用が必須と考えております。御校の養成する人物像がそれに該当するものとして、非常に興味を持った次第でございます。
54	学生の主体性を重んじて、特定領域でない幅広い学びができる点。
55	昨今IT化が進む中、社内SEの需要が非常に高まってきております。今後さらなる業務改善の為にもシステム理工学部の学生様とご縁をいただければ幸甚です。
56	分野を超えた自由な発想から問題解決できる力に大変期待しております。
57	理系科目がメインですが、希望に応じて文系科目も受けられるなどの制度も一部あると良いかと思いました。
58	労働者不足の中、どの分野においてもデジタル化は必至である一方で、セキュリティやリテラシー、世代間のギャップなど、実務に繋げるには課題も多いため、貴校を適切な知識を身につける場とし、分野を問わず社会で活躍する人材を養成していただきたい。
59	幅広く学べる点はとても良いと思いました。
60	現在の社会情勢やトレンド、社会の課題解決に向けた学術領域への貢献度向上の機運、かかる産業界への成果や責任についての訴求の高まり、等々を鑑みた際、当該人財のニーズとして、今後増加していく可能性が高いと考えます。但し、その求められる要素や技術、知識、経験、等の具体については、今後の経済環境や世界動静等にも左右されるかと思われます。特に学部開設当初期については、よく動向や情勢等の把握と確認を行いながら、必要であれば、時流に合わせたカリキュラムや組織の変更も必要となるのではと考えます。
61	学生の意思で、分野を跨いで学べるのは、とても良いと思います。
62	これからの時代において、理系学生においても専門性を高めることは大事ながらも、ゼネラルに複合的な視点がビジネス現場では求められてきているので、学生教育の段階から取り入れていただくと将来的により良くなると考えます。
63	国際的な観点から物事を考えることができ、推進していく人材が育つことに期待。要望としては、グローバル化が進む中、理系学生の語学力が乏しいので英語での論文発表などの機会を作って世界で戦える学生を育成してほしい。
64	学生に「技術的専門性」「社会とのつながり」「グローバル視点」を兼ね備えた教育を提供することで、未来の日本のみならず、世界の産業を支える優れたエンジニアが多く輩出されることを大いに期待しています。
65	特にありません。
66	幅広く興味を持つ学生が、能動的に学習・成長するのに良い環境だと期待
67	総合的に幅広い知識を学べることは、社会に出る上で有意義なものだと感じますが、当社にマッチした学生になるのかどうかは、まだなんとも言えないです。
68	建設業界に関わる、ICT活用に携わる人材の輩出を期待します。
69	弊社のような食品小売業でも、バイヤーや店舗を全体的に管理・運営する本部において、市場動向を分析するのに、データサイエンスを学んだ学生は積極的に採用したい。
70	現時点ではなし
71	複数名で協力して課題を解決する力を身に付けていること期待します。
72	電子情報システム学科をご卒業される方に関しまして、お会いしてお話を聞きたいと感じました。

73	様々な領域を横断的・体系的に学ぶことができる仕組みなのかと感じました。選択肢が増えすぎて「学生が迷うことがないか」という点を１つ懸念点として浮かびましたが、主体的に考えることができる学生であれば大丈夫だと思いました。
74	昨今人材不足と言われている中で、ITによる省人化に期待されているのでシステムを学びの中に入れて、社会に出た際に人材不足による諸問題を解決してくれるような学生が増えてくれることは望ましいと考えます。
75	弊社が掲げる中期経営計画のキーワードとも非常に親和性が高いと感じた次第です。 https://www.ishiifood.co.jp/ir/management-plan/ 弊社は単なる食品メーカーの枠を超え社会課題の解決に向けて日々様々な取り組みを行っており、そうした未来創造に共感いただける学生さんに入社いただきたいと考えます。 弊社新卒採用においては千葉工業大学の卒業生が多部門で活躍しておりますのでぜひご興味いただけますと幸いです。
76	専門的な知識に加え、協調、コミュニケーション能力も期待します
77	将来の職種選択の幅が広がる点については、とても良いと思います。一方で、専門的に学んできた学生と知識の差が出てしまわないか心配な部分もあります。
78	平素より大変お世話になっております。新設される「システム理工学部課程制」に強い関心を抱いております。当社では学部・学科を問わず幅広く採用しておりますが、この新たな取り組みによって、自ら考え行動できる人材が成長していくことに期待を寄せております。
79	ジョブ型に偏らず、全体最適な視座を持った人材育成（専門人材育成も重要であるが、会社を自分事として捉えられるような感覚・意識を持つことも、教育課程において必要と感じています）
80	特に意見はありません。
81	より広い視野をもち、アジリティの高い学生が育成される期待がございます。 まさに弊社が欲している人財かと存じますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。
82	今後とも宜しくお願い致します。
83	学科制と比べてどのようなスキルがあるのか判りづらくなりそうなので、モジュールの組み合わせにどのような特徴・強みがあるのか判りやすくなるよう成績証明書等に工夫があると助かります。
84	当社はＢＩＭ、ＣＩＭ、ドローンの導入から１０年が経過するが、これだけではＤＸとしてすでに不足している。今後の人材はＡＩ、ｃｈａｔＧＰＴを使えるのは当然として、建築の知識だけでなくより幅広い情報に触れ、多面的な知見を持つ人間的にも多様性あふれる人材の育成を推進される貴校の取り組みは非常に素晴らしい。
85	新設に伴い、より専門的な知識や経験を身につけていただければと思います。しかしながら、弊社はこの専門性がなければならないなどの誓約はございませんので、幅広く興味を持って学んでいただければと思います。
86	技術者としての知識向上とビジネスの融合を期待しております。
87	学生さんが入学してから学びたい興味が変わることは多々あり、大学4年間の間でも世の中の動向は変化いたしますので、入学後の選択肢が多く良い試みと存じます。
88	特に無し
89	IT業界発展に併せた学習は有益で、企業のDX化に欠かせない人材が増えることに大変興味深く思います。
90	特に建築・環境過程へ入学される学生におかれましては、建設についての学びとともに、データ分析関連の知識も増やすことで、今後の建設業界のDX化や業務効率化に向けての取り組みにも寄与できる人材の育成を期待します。
91	広い分野の興味、知識を持つ学生さんが増えることを期待します。
92	学生ひとりひとりの個性を尊重した教育体制や、複数の学びを得られる環境により、物事を柔軟かつ多角的に見る力が養われた学生の輩出に期待できると考えています。何にも捉われない発想や、自由闊達な社風は弊社ともマッチしていますので、ぜひ良いご縁が作れたら嬉しく思っています。
93	自らの学習したい内容をより多く選択できる「課程制」制度はとても有意義であると考えられる。 弊社はITを事業形態としていることから、「システム理工学部 課程制（仮称）」の学生に是非入社して頂きたい。 要望としては、本年度以降の新卒採用においてコンタクトを行いたい。

94	機械メンテナンス等があるため、機械に強い人が来てくれると活躍できると思います。
95	要望は特にございません。 課程制導入による、今後の効果について興味関心がございます。
96	分野横断型で学ぶことができるとのことですので、多様性、多角的な視野・視点を持った学生様が増えるのではないかと思います。そのような方々はご入社後、大きくご活躍いただけるポテンシャルを秘めていると思います。
97	学生の選択肢が増え、今後のキャリア形成を自身で考えて学ぶことができるのは大変良い事だと思います。 成績証明書などで学生が何を学んできたか一目見てわかるようにしていただけると、採用時のコミュニケーションがとりやすく、ミスマッチを防げるのではないかと存じます。
98	電子・情報系を横断して知見のある学生の育成
99	知識を幅広く学んでいただいて、入社しても視野を広くご活躍いただける学生に期待しています。
100	視野が狭くならずに幅広く自身の可能性を考えることができると思うので良いと思います。
101	ぜひ、弊社のインターン等にもご参加いただきたいです。学部学生の雰囲気も感じてみたいです
102	特にございません
103	総合職採用となる弊社が、専門的な学びを納められた学生様のお役に立てるかは現段階では判断できかねますが、分野横断型で学ぶ事ができる御学科では広い知識を持たれている事と期待します。 よろしくお願いいたします。
104	DX推進を進めていく中で、 企業から求められていく学部だと考えます。
105	狭い分野にとらわれず、柔軟な考え方による問題解決力を身につけた人材を育成していただきたい。
106	システムでの変革が求められる中で活躍できるIT知識だけでなく、その他の分野についても専門知識を持つ人財の育成。
107	情報システム部門の人材育成
108	複数の視点で物事を捉え、創造する力が求められる時代に合った良い取り組みだと感じます。
109	基礎（土台）＋学際（つなぐ）＋専門科目（自由に選べる）が学びの多様性になっており、とても良いと思います。世の中の進化は著しく、ひとつに特化していることも大事ですがより多くのことを学び自分の引き出しを増やすことも大切だと感じており、期待しております。
110	理想として掲げる人材の育成に向けて、指導する教授陣が実ビジネスを理解した人材かどうか？が鍵だと考えます。
111	様々な分野から変化し続ける社会について学びを深めることは、変化し続ける証券業界でも生かせる部分があれば良いなと感じました。
112	情報社会の基盤を構築できる人材の育成面に期待をしています。
113	周囲とのコミュニケーション、主張と傾聴、意見集約、対立回避などの対外スキルについても磨き上げていただければ有難いと考えます。

3.人材需要アンケート調査 結果の要点

芝浦工業大学が設置構想中の「システム理工学部 課程制（仮称）」が養成する人材に係るニーズ、採用意向

芝浦工業大学が設置構想中の「システム理工学部 課程制（仮称）」が養成する人材の社会ニーズについては「ニーズは高い」322箇所（57.9%）、「ニーズはある程度高い」200箇所（36.0%）で合計すると522箇所（93.9%）がそのニーズの高さを認める結果となった。
また、478箇所（86.0%）が採用意向を示し、その上での採用可能人数（単年度）合計は予定する課程制の総入学定員705名の1.3倍となる928人であった。

問４　養成する人材の社会ニーズ

人材ニーズは高い・ある程度高い	522事業所	93.9%
人材ニーズはない・あまりない・わからない・無回答	34事業所	6.1%
合計	556事業所	100.0%

問５　卒業生の採用意向

採用したい	478事業所	86.0%
採用しない・わからない・無回答	78事業所	14.0%
合計	556事業所	100.0%

問６　採用可能人数（単年度）

	1人	2人	3人	4人	5人以上	人数は未定だが、最低1人	無回答	合計
「採用したい」の回答数	63	68	39	5	73	227	3	478
採用可能人数計（回答数×採用可能人数）	**63人**	**136人**	**117人**	**20人**	**365人**	**227人**	**0人**	**928人**

※「5人以上」は5人として計算した。
※「人数は未定だが、最低1人」は1人として計算した。
※採用可能人数へ無回答の場合は集計から除外（0人）した。

問２業種×問５卒業生の採用意向のクロス集計

本人材需要アンケートでは選択肢として設定した24業種中、18業種と幅広く回答を得た。このうち回答数が多く、また各業種で採用意向を示した割合が8割を超えていたのは「製造業」「IT関連業」「建設業」であり、芝浦工業大学が設置構想中の「システム理工学部 課程制（仮称）」が養成する人材の採用が特に期待される分野であった。採用可能人数（単年度）の合計は、この3業種でのみで総入学定員705名を上回る715人であった。他にも「卸売業、小売業」の他、「電気・ガス・熱供給・水道業」「通信業」「金融業（銀行・信託・証券・貸金）」「保険業」「学術研究、専門・技術サービス」など幅広い業種で採用意向が示された。

業種	回答事業所数	採用意向を示した事業所		採用可能人数（単年度）合計
		事業所数	割合	
農・林・漁・鉱業	0	0	－	－
建設業	92	85	92.4%	183
電気・ガス・熱供給・水道業	8	6	75.0%	13
製造業	165	149	90.3%	260
通信業	8	8	100.0%	12
IT関連業	131	116	88.5%	272
放送、新聞、出版業	0	0	－	－
運輸業、郵便業	1	1	100.0%	5
金融業（銀行・信託・証券・貸金）	9	7	77.8%	7
保険業	4	2	50.0%	6
学術研究、専門・技術サービス	6	6	100.0%	13
卸売業、小売業	99	70	70.7%	112
不動産業、物品賃貸業	5	3	60.0%	7
旅行業	0	0	－	－
宿泊業、飲食サービス業	6	4	66.7%	5
教育・学習支援業	2	2	100.0%	2
生活関連サービス業、娯楽業	0	0	－	－
医療	0	0	－	－
福祉	1	1	100.0%	1
その他サービス業	10	8	80.0%	17
国家公務	1	0	0.0%	0
地方公務	0	0	－	－
非営利団体	1	1	100.0%	1
その他	6	5	83.3%	5

芝浦工業大学 「システム理工学部 課程制（仮称）」
設置構想についての人材需要アンケート

芝浦工業大学では、2026 年 4 月開設に向けて、「システム理工学部 課程制（仮称）」を設置構想中です。つきましては、採用意向に関する調査にご協力をお願いいたします。なお、この調査の結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。また、設置計画は予定であり、今後変更となる可能性があります。

※このアンケート調査は芝浦工業大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

※本アンケートおよびリーフレットに記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

記入要領	1. 回答は**所定の欄を塗りつぶしてください。** 2. この用紙は電算処理しますので汚さないようにしてください。 3. 記入は必ず**鉛筆及びシャープペンシル**で濃く書いてください。	【記入例】 ● 北海道 0 茨城県

問１　貴社の本社または貴団体の本部所在地について、お答えください。（あてはまるもの１つ）

0 北海道	0 青森県	0 岩手県	0 宮城県	0 秋田県	0 山形県	0 福島県
0 茨城県	0 栃木県	0 群馬県	0 埼玉県	0 千葉県	0 東京都	0 神奈川県
0 新潟県	0 富山県	0 石川県	0 福井県	0 山梨県	0 長野県	0 岐阜県
0 静岡県	0 愛知県	0 三重県	0 滋賀県	0 京都府	0 大阪府	0 兵庫県
0 奈良県	0 和歌山県	0 鳥取県	0 島根県	0 岡山県	0 広島県	0 山口県
0 徳島県	0 香川県	0 愛媛県	0 高知県	0 福岡県	0 佐賀県	0 長崎県
0 熊本県	0 大分県	0 宮崎県	0 鹿児島県	0 沖縄県		

問２　貴社・貴団体の業種（主な事業内容）として、最もあてはまるものをお選びください。（あてはまるもの１つ）

0 農業、林業、漁業、鉱業	0 建設業	0 電気、ガス、熱供給、水道業	0 製造業
0 通信業	0 IT 関連業	0 放送、新聞、出版業	0 運輸業、郵便業
0 金融業（銀行・信託・証券・貸金）	0 保険業	0 学術研究、専門・技術サービス	0 卸売業、小売業
0 不動産業、物品賃貸業	0 旅行業	0 宿泊業、飲食サービス業	0 教育・学習支援業
0 生活関連サービス業、娯楽業	0 医療	0 福祉	0 その他サービス業
0 国家公務	0 地方公務	0 非営利団体	0 その他

問３　貴社・貴団体の従業員・職員規模として、最もあてはまるものをお選びください。（あてはまるもの１つ）

0 20 名未満	0 20 名以上 100 名未満	0 100 名以上 300 名未満
0 300 名以上 1,000 名未満	0 1,000 名以上	

⇒裏面に続く

ここからは別添の芝浦工業大学が設置構想中の「システム理工学部 課程制（仮称）」の
「リーフレット」をご確認いただき、ご回答をお願いいたします。

問４　芝浦工業大学が設置構想中の「システム理工学部 課程制（仮称）」が養成する人材についての社会ニーズについてお答えください。（あてはまるもの１つ）

0 ニーズは高い　0 ニーズはある程度高い　0 ニーズはあまりない
0 ニーズはない　0 わからない

問５　芝浦工業大学が設置構想中の「システム理工学部 課程制（仮称）」養成する人材について採用したいと思われますか。（あてはまるもの１つ）

0 ①採用したい　0 ②採用しない　0 ③わからない

問６　問５で「①採用したい」とされた場合、単年度で採用可能な人数をお答えください。

0 1人　0 2人　0 3人
0 4人　0 5人以上　0 人数は未確定だが、最低１人

※　芝浦工業大学が設置構想中の「システム理工学部 課程制（仮称）」について期待される点、
ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

※宜しければ貴社名をお教えください。こちらは、どの企業にご返送いただいたかを把握するための質問であり、アンケートの回答は統計的に処理され、特定の企業・団体が識別できる情報として公表されることはございません。
（ゴム印の押印でも問題ございません）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

迷うから、
遠くに
行けるんだ。

どんな発明も どんな発見も、
この世界にぱっと生まれたわけではありません。
たくさんの技術者 研究者たちが悩んで迷って、
行ったり来たり グルグルしながら
ようやく だれも見たことがない景色にたどりついたのです。
迷うのは、前に進んでいるから。
不安なのは、挑戦しているから。
2026年、システム理工学部は課程制に移行して、
一つの専門性だけではない、分野を越えた学びをさらに飛躍させます。
地域社会や国際社会での密度の濃い経験をさらに進化させます。
多種多様な視点が、あなたを迷わせるかもしれません。
でも、今日わからないことは、明日わかるようになればいい。
上手くいかなかったら、みんなで手を取り合えばいい。
答えなんか、一瞬で変わってしまう時代だから。
この経験が、あなたを はるか遠くに連れて行ってくれるから。
どこよりも、学びがいのある大学へ。
それがシステム理工学部の、宣言です。

2026年、課程制へ
芝浦工業大学 システム理工学部

※構想中の内容は未定であり、変更の可能性があります。

芝浦工業大學
SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY
Established 1927



分野を越えて、未来を創る

複雑化する課題

現代社会は、先行きが不透明な時代といわれています。情報技術の進展によって社会や産業の構造が激しく変化しているのです。次々と社会や地域に巻き起こるさまざまな課題は、多様化、複雑化し、その解決のためには、複数の分野にまたがる専門知識が必要なのです。

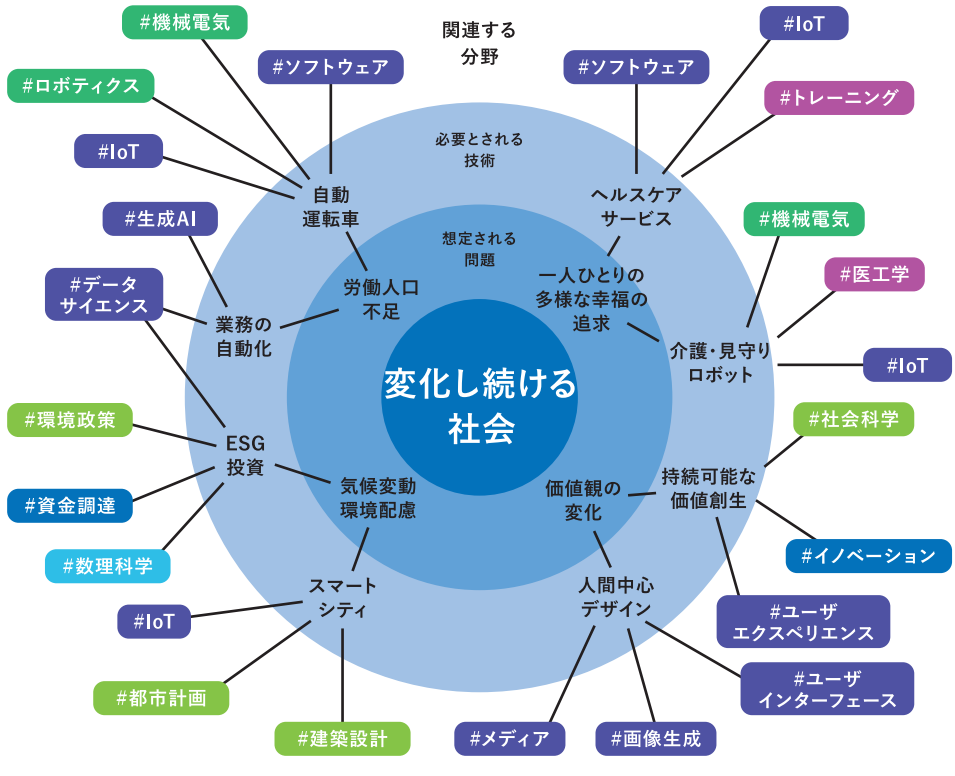
融合する分野

例えばお気に入りのスマートフォン。精密機械・カメラ（機械）、充電池（電気）、センサー（IoT）、アプリ（情報）、手触り（人間）…ひと・もの・ことに関わるあらゆる専門分野が日々進化し、融合し、バージョンアップを繰り返しています。

システム思考とイノベーション

現代社会が求める新たなテーマを、ひと・もの・ことが関係し合うシステムとして捉え（システム思考）、複数の理工学分野を総合して問題解決する力（システム工学）が求められています。システム理工学部は、システム思考からイノベーション（技術革新）を導き出すグローバル理工系人材を育成します。

例えば、「Society5.0」の社会で想定される分野融合とは？



Society5.0は、「我が国が目指すべき未来社会の姿であり、…サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」として、内閣府が提唱した用語です。

分野横断型の学びを促進する課程制

現5学科を5課程11コースへ

現学科	課程（仮称）／入学定員（予定）	コース（仮称）	養成する人材像（抜粋）	モジュール例／目指せる将来像（一例）	資格	学位
電子情報システム学科 115名	情報課程 240名	IoTコース	IoT技術の実践的能力をもち、多様な人々と協働しながら情報社会の基盤を構築できる人材	IoT × 環境・都市 × 留学 スマートシティの情報インフラを構築できるグローバルなIoTエンジニア	●高等学校教諭一種免許状（情報） ●CAPM※	学士（工学）
		ソフトウェアコース	ソフトウェア工学に精通し、プログラム開発を通して、社会的ニーズに適切に対応したソフトウェアを開発できる人材	ソフトウェア × 機械・電気 自動運転や車両間ネットワークを実現する自動車ソフトウェア開発エンジニア		
		メディアコース	画像や音響等のメディア情報を活用し、社会的ニーズに適切に対応したシステムを開発できる人材	メディア × スポーツ健康工学 スポーツ科学、健康科学に詳しいVR（Virtual Reality）エンジニア		
		データサイエンスコース	多様なデータを収集・分析・予測し、体験を通じて対象の理解を深め、エビデンスを基に解決法を考え提案できる人材	データサイエンス × 環境・都市 × 留学 データサイエンス、シミュレーションの技術を活用してビジネスを立案できる起業家		
機械制御システム学科 90名	機械・電気課程 90名	機械・電気コース	未来の機械・電気システムに関する社会的ニーズに対して、システム思考に基づく創造的な発想から問題解決できる人材	機械・電気 × メディア × 留学 機械・電気をネットワークでつなぐことができるグローバルエンジニア	●中学校教諭一種免許状（技術） ●高等学校教諭一種免許状（工業） ●CAPM※	学士（工学）
環境システム学科 90名	建築・環境課程 120名	建築コース	国内外を問わず多様な人々と協働しながら、新たな発想でこれからの社会に必要とされる空間（建築）を創出できる人材	建築 × データサイエンス 顧客ニーズの経済背景を分析し、デジタルツールを駆使して最適な建築計画を構想できる建築設計者	●高等学校教諭一種免許状（情報） ●高等学校教諭一種免許状（工業） ●一級・二級・木造 建築士 ●CAPM※	学士（工学）
		環境・都市コース	持続可能なまちづくりに必要な環境システム、対策、政策、ビジネス等を提案し、社会実装に寄与できる人材	環境・都市 × 留学 国内外のサステナビリティ経営やESG投資に貢献する施策を提言できる国際開発機関職員		
生命科学科 115名	生命・健康科学課程 180名	生命科学コース	多様性を尊重し、生命の仕組みの理解に必要な生命科学の知識と思考力を身につけ、健康寿命の延伸に貢献できる人材	生命科学 × データサイエンス × 留学 生命科学を理解しプログラミングができる国際的に活躍できるバイオインフォマティシャン	●中学校・高等学校教諭一種免許状（理科） ●高等学校教諭一種免許状（工業） ●CAPM※	学士（生命科学）
		医工学コース	医工学の幅広い専門知識・技術・論理的思考力を身につけ、生体機能を回復・補助する医療・福祉に貢献できる人材	医工学 × ソフトウェア 福祉・医療現場をはじめとした様々な場面での貢献が期待されるアプリ開発者		
		スポーツ健康工学コース	ヒトの心身機能を発展・拡張させるための手法を創出し活用することで、人々の健康増進に貢献できる人材	スポーツ健康工学 × 医工学 使いやすく効果的なトレーニング・リハビリテーション機器を開発できるエンジニア		
数理科学科 75名	数理科学課程 75名	数理科学コース	数理科学の専門知識とシミュレーション技術等の応用力をもち、科学・教育・産業の幅広い分野で諸問題を論理的に解決できる人材	数理科学 × ソフトウェア × 教職 プログラミングもできる数学教員や数学に強い情報教員	●中学校・高等学校教諭一種免許状（数学） ●高等学校教諭一種免許状（情報） ●CAPM※	学士（数理科学）

※Certified Associate in Project Management：プロジェクトマネジメントの国際資格。

学修の起点づくり「学際科目」

基礎教養

学際科目
分野を越えた専門を**つなぐ**パーツ

- キャリアデザイン
- システム工学
- SDGs
- アントレプレナーシップ

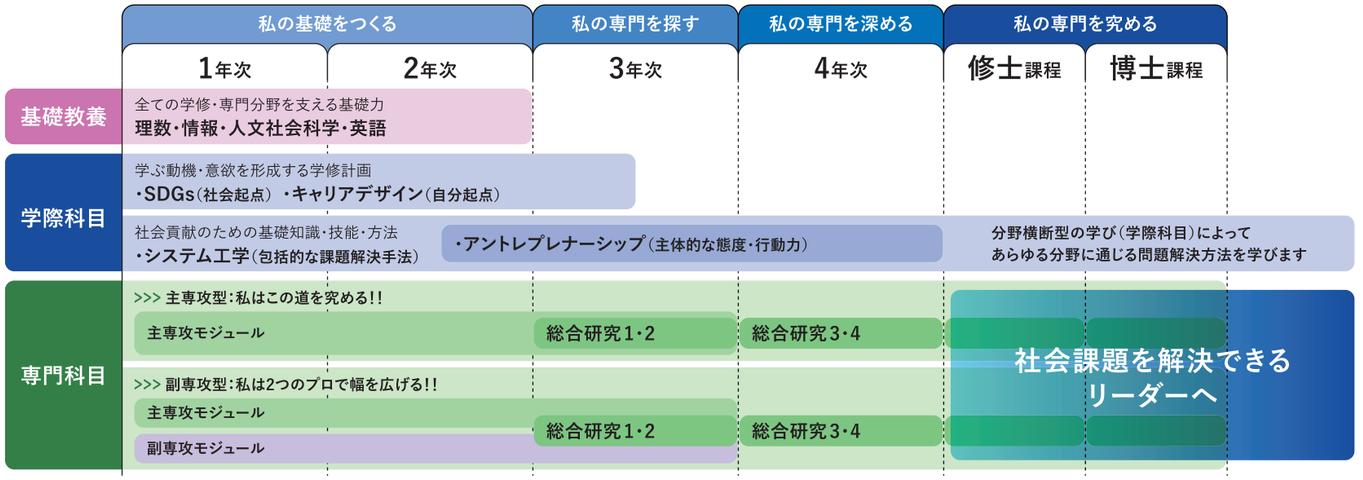
パーツを使って、自身の学びをデザインする

専門科目

社会課題を解決できるリーダーへ

「学際」とは、複数の学問領域にまたがることを意味します。「学際科目」は、道を見つけ出すための起点をつくる科目群です。「キャリアデザイン」では、社会のいかなるステージで活躍したいのかを自ら描き出し、「SDGs」では、自らの学びが社会のいかなる課題と結びつくのかを知ります。「システム工学」では、分野を越えて複数の専門領域をつなぐための知識・技能・方法を学び、「アントレプレナーシップ」では、社会の課題を解決するアイデアを実現するための行動力を養います。自分と社会をつなぐ学修計画を立て、専門科目を広げる知識と方法を身につけ、自身の学びをアップデートしていく起点をつくります。

「学際科目」で分野横断型の学びを支え促進する



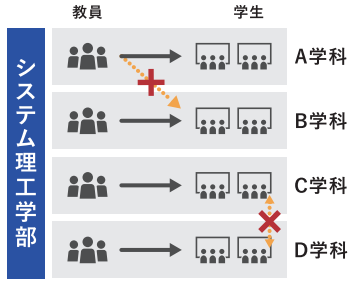
システム思考に基づく分野横断型の学び

芝浦工業大学 システム理工学部は、2026年4月、時代の大きな転換期を見据え、システム思考に基づく
分野横断型の教育理念をさらに進化、飛躍させます。学科制から、社会をアップデートするための学び方『課程制』に変わります。
分野を越えた自由な発想から問題解決できる力を育み、社会、そして自分の「あるべき姿」を見定めます。

『課程制』と学科制の違い

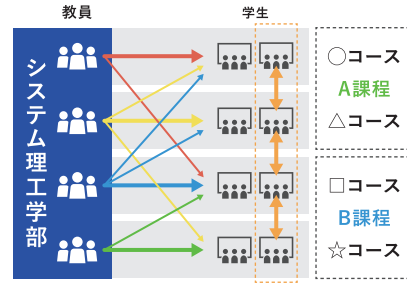
学科制

特定の専門領域に特化した教育プログラム・体制です。学生・教員は学科に所属し、基本的には学科の科目群から履修し単位を取得します。



課程制

複数の専門領域を横断して学ぶことができる教育プログラム・体制です。学生はコースに所属し、教員は学部に所属するため、コースにまたがって授業を担当します。複合的な社会的ニーズに応じて、複数の分野にわたって科目を選択し、単位を取得することができるのが特徴です。



『課程制』を支える「学際科目」と「モジュール制」

システム理工学部の『課程制』は、分野横断型の学びを促進するための「学際科目」と「モジュール制」を設けています。

「○○できる」を意識する「モジュール制」

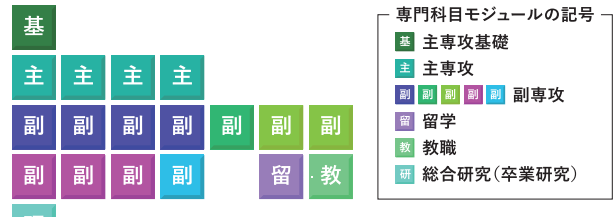
システム理工学部は5課程11コースで編成され、自らの専門分野の中心がコースです。各コースに設けられた科目は、「モジュール」と呼ばれる科目群で分類されます。モジュールとは、ある仕事をうまく進めるための能力「○○できる」を修得する専門科目のまとまりです。自身が所属するコース（主専攻）のみから履修し完成させる専門性の強い「主専攻型」、自コースと他コース（副専攻）にわたって履修し完成させる分野横断性のある「副専攻型」、あるいは留学を前提にしたモジュールを組み込んだ「主専攻（国際※）型」、教職課程を組み込んだ「副専攻（教職）型」など、自らの目的、好奇心に合った「○○できる」モジュールを自由に組み合わせて学修計画を立てることができます。モジュール制によって、従来の学科制では難しかった個性ある自由度の高い学びを実現します。

※国際プログラム：システム理工学部は、グローバル社会で活躍する理工系人材の育成に力を入れています。英語による科目履修、海外協定校への留学（半期以上）、英語による総合研究（卒業研究）によって学位を修める教育プログラムで、留学前教育も充実しています。

基礎教養 土台　専門を修得するための土台パーツ

学際科目 つなぐ　分野を越えた専門をつなぐパーツ

専門科目



目的に応じて自由に選べるパーツ

組み合わせは自由自在

	モジュール例	組み合わせ例／目指せる将来像（一例）	
主専攻型	基礎教養 ＋ 学際 ＋ 専門（基 主 主 主 主 研）／主専攻	建築コースモジュール	健康・快適・安全、省エネ・資源の建築環境を計画できる建築設計・技術者（一級建築士）
主専攻（国際）型	基礎教養 ＋ 学際 ＋ 専門（基 主 主 主 留 研）／主専攻	機械・電気コースモジュール × 留学モジュール	高知能ロボットのプロダクト化など国際的に活躍できるエンジニア
副専攻型	基礎教養 ＋ 学際 ＋ 専門（基 主 主 主 副 研）／主専攻／副専攻 ＋ 他コースのモジュール（副 副 副 副）	数理科学コースモジュール × スポーツ健康工学コースモジュール	グローバルな視点からスポーツを数理的に解析できるスポーツアナリスト
副専攻（教職）型	基礎教養 ＋ 学際 ＋ 専門（基 主 主 教 教 研）／主専攻／副専攻	データサイエンスコースモジュール × 教職モジュール	シミュレーションを用いて未来を予期・予測し、社会課題を解決できる高校教員（情報）

※記載の設置計画や課程・コース名称は予定であり、設置構想中です。内容は変更となる可能性があります。

設置の理念

地球規模で複雑化、多様化する現代社会において、諸問題を総合的、学際的に解決できる力が必要とされています。システム理工学部は、複数の学問体系を横断し関連付けるシステム思考とシステム工学の知識と手法を生かし、新たな時代の要請に応え、地域と人類社会の発展に寄与する教育研究を行います。幅広い教養と国際性を礎にした分野横断型の教育を通して、体系的な理工学の知識や自ら行動し多様な人々と共創できる能力を身につけたグローバル理工系人材を養成します。

アドミッション・ポリシー（求める人物像）

本学部への入学を志望する者は、本学の建学の精神と以下に挙げる「求める人物像」、および教育方針、課程のカリキュラム、教育・研究の内容をよく理解して出願することを求めます。

システム理工学部が求める人物像

(1) 身の回りのさまざまなひと・こと・ものの仕組みや成り立ちについて深く考え、課題を解決することに興味や関心を持つ者。

(2) 総合的、学際的に課題を解決することで、新たな価値を創生し、社会に貢献する意志を持つ者。

(3) 他分野の学生とチームを組んで課題に取り組む等、システム理工学部における分野の枠を越えたプロジェクト演習に興味を持ち、主体的かつ積極的に行動することに強い意欲を持つ者。

システム理工学部の「養成する人材像」

持続可能な社会の実現に貢献するために、科学技術が社会や自然に及ぼす利点と欠点を見据えて、ひと・もの・ことが関係する現象をシステムと捉え（システム思考）、総合的、学際的に問題解決できる知識やスキルを修得し、世界に貢献する職業人としての倫理観をもつグローバル理工系人材を養成します。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）抜粋

システム理工学部は、持続可能な社会の実現に貢献するために、科学技術が社会や自然に及ぼす利点と欠点を見据えて、ひと・もの・ことが関係する現象をシステムと捉え（システム思考）、総合的、学際的に問題解決できる知識やスキルを修得し、世界に貢献する職業人としての倫理観を持ち、卒業要件を満たした者に学位を授与します。

学修・教育到達目標（抜粋）

以下に示す能力と行動特性を有した世界に貢献するグローバル理工系人材を養成するために、学修・教育到達目標を定めます。

◆ **総合的、学際的な知識やスキル**

- 目的の達成へ向けて取り組むべき具体的な課題を設定し、対象とするひと・もの・ことが関係する現象をシステムとして捉えることができる。（システム思考）
- システム思考を用いて、包括的な解決策を導き出すことができる。（システム工学）
- 社会の具体的な課題を解決するアイデアをかたちにし、社会実装に向けて行動できる。（アントレプレナーシップ）
- 新たな課題の解決に必要な知識やスキルを認識し、自らの可能性を広げる学習を継続できる。（生涯学習能力）

◆ **専門知識を応用できる能力**

- 主軸となる分野の専門知識を修得し、問題解決に応用できる。
- 主軸となる分野の専門知識を他分野と関連付ける分野横断型の知識と行動力を修得し、社会で活用できる。

設置概要

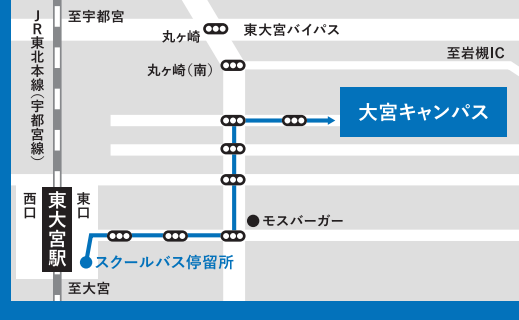
◆ **修業年限：4年**
◆ **開設時期：2026年4月（予定）**
◆ **初年度納付金：1,795,020円** ※2024年度実績

芝浦工業大学 システム理工学部

〒337-8570
埼玉県さいたま市見沼区深作307
TEL：03-5859-7100（入試課）
URL：https://newsystems2026.shibaura-it.ac.jp/

交通アクセス

JR宇都宮線（東北本線）「東大宮駅」より
スクールバス5分



100th
芝浦工業大學
100th ANNIVERSARY
Established 1927

理工学の可能性を追求し続ける芝浦工業大学は、100周年は通過点と捉えています。「常に前進する文化の醸成」をモットーに教員と職員と学生が協働で前進していくために、上の周年ロゴマークとスローガンを設定いたしました。

別記様式第３号（その１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教員名簿

学　長　又　は　校　長　の　氏　名　等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 （千円）	現　職 （就任年月）
－	学長	ヤマダ　ジュン 山田　純 ＜令和8年4月＞		博士(工学)		芝浦工業大学　学長 (令和3.4～令和10.4)

審査意見への対応を記載した書類（６月）

（目次）　芝浦工業大学

１．システム理工学部情報課程及び数理科学課程について、学生確保に関するアンケート調査の結果によれば、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和８年度開設用）」において求めているクロス集計の結果、「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した者の数が入学定員を下回っていることから、十分な学生確保の見通しがあるとは判断できない。このため、客観的なデータ等に基づき、学生確保の見通し及び収容定員を増加させることの妥当性について明確に説明すること。（是正事項）・・・

（是正事項）　芝浦工業大学

１．システム理工学部情報課程及び数理科学課程について、学生確保に関するアンケート調査の結果によれば、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和８年度開設用）」において求めているクロス集計の結果、「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した者の数が入学定員を下回っていることから、十分な学生確保の見通しがあるとは判断できない。このため、客観的なデータ等に基づき、学生確保の見通し及び収容定員を増加させることの妥当性について明確に説明すること。

（対応）

システム理工学部情報課程および数理科学課程において「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した者の数が入学定員を下回っているが、十分な学生確保の見通しがあるとする理由は下記のとおりである。

過去の本学受験生の入学金＋前期授業料分割納入者の入学実績より第二志望以下の者の入学者を推計した。

2023 年度入試結果において、システム理工学部一般入試前期日程、英語資格・検定試験利用方式、全学統一日程における入学手続金の一括全額納入者は第一志望の者であり、入学手続金の内入学金のみを納入した分割納入者は第二志望の者と推察する。また、共通テスト利用方式（前期）については国公立大学やその他上位私立大学との併願を想定した入試方式であり、最大 20 併願が可能であることから第三志望以降の者と推察する。

第二志望の者で分割納入者 391 名の内、最終的に全額納入した者は 209 名であったことから、入学率は 53.5%となる。

第三志望以降の者で分割納入者 163 名の内、最終的に全額納入した者は 44 名であったことから、入学率は 27.0%となる。

上記を高校生アンケート調査に当てはめると、情報課程を第二志望として受験すると答えた 268 名の内、入学すると予想される人数は 53.5%の 143 名、同課程を第三志望以降として受験すると答えた 445 名のうち入学すると予想される人数は 27%の 120 名、第一志望で入学すると答えた 232 名を足すと 495 名と定員を十分上回ると推察した。

また同様に、数理科学課程を第二志望として受験すると答えた 37 名の内、入学すると予想される人数は 53.5%の 20 名、同課程を第三志望以降として受験すると答えた 121 名のうち入学すると予想される人数は 27%の 33 名、第一志望で入学すると答えた 40 名を足すと 93 名と定員を十分上回ると推察した。

2023年度　システム理工学部の入試方式別手続き者数

入試方式	①分納者（一次手続締切日時点）		②完納者（一次手続締切日時点）	③完納者（3月末日時点）	④　③－②		⑥　④÷①
前期日程	310	391	13	182	169	209	53.5%
英語検定利用	31		6	20	14		
全学統一日程	50		4	30	26		
共通テスト利用（前期）	163		8	52	44		27.0%